F-01E

ISSUE DATE: '12.11

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書〈詳細版〉

docomo STYLE series

はじめに

「F-01E」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

FOMA端末のご使用にあたって

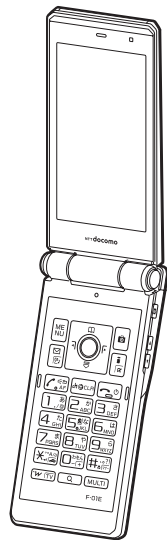
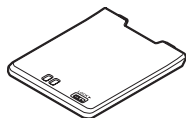
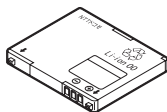
- F-01Eは、W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- FOMA端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナアイコンが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール、メモ、伝言メモ、音声メモ、動画メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkを利用して電話帳やメール、スケジュールなどの情報をパソコンに転送・保管できます。
- お客様はSSL／TLSをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。
  お客様によるSSL／TLSのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSL／TLSの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、GMOグローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社、株式会社コモドジャパン、Entrust, Inc.、Go Daddy, Inc.
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。

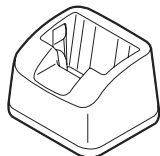
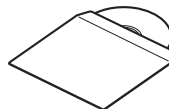
SIMロック解除

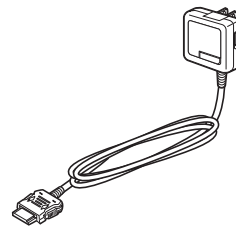
本FOMA端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。
- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

本体付属品および主なオプション品

〈本体付属品〉

F-01E（保証書付き）

リアカバー F75

電池パック F19

取扱説明書

卓上ホルダ F33

電子辞書データDVD（試供品）

〈主なオプション品〉

FOMA AC アダプタ 01 ／ 02
（保証書、取扱説明書付き）

その他のオプション品→P423

本書の見かた

- この『F-01E取扱説明書』の本文中においては、「F-01E」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書では、microSDカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途microSDカードが必要です。
  microSDカードについて→P284
- 本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本FOMA端末は、きせかえツール（→P95）に対応しております。きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。また、メニュー項目に割り当てられている番号（項目番号）が適用されないものがあります。
- ディスプレイに表示されるアイコンや画面は、FOMA端末にあらかじめ用意されている組み合わせの中から、FOMA端末のカラーに合わせてあらかじめ設定されています。
  本書は、きせかえツールの設定が「Silver」、カラーテーマ設定が「ホワイト」の場合で説明しています。
- 本書では、「ICカード機能に対応したおサイフケータイ対応ｉアプリ」を「おサイフケータイ対応ｉアプリ」と記載しています。
- 本書内の「認証操作」という表記は、4～8桁の端末暗証番号を入力する操作または指紋認証を行う操作を表しています。
  端末暗証番号→P102
  指紋認証→P104
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書についての最新情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
  「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
  http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
  ※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

基本的な操作手順とキーの表記

- 本書の操作の説明では、キーを押す動作をイラストで表現しています。→P22「各部の名称と機能」
- 操作手順の表記と意味は、次のとおりです。

表記の例	意　味
[メール]（1秒以上）	[メール]を1秒以上押し続ける。
[MENU][8][5][2]▶各項目を設定▶[カメラ]［登録］	待受画面で[MENU]を選んだ後、[8][5][2]を順番に選ぶ。続けて各項目を設定し、最後に[カメラ]［登録］を選ぶ。 ※［　］内の表記はガイド行表示を表します。

- 本書では[上][下][左][右]（マルチカーソルキー）で項目にカーソルを合わせ、[●]（決定キー）を押す操作を「選択」と表記しています。また、入力欄に文字を入力する操作においては、最後に[●]［確定］を押す操作を省略しています。
- 本書は主にお買い上げ時の設定をもとに説明しています。設定を変更していると、FOMA端末の表示や動作が本書の記載と異なる場合があります。お買い上げ時の設定については、メニュー一覧をご覧ください（→P396）。なお、本書内のメッセージはマチキャラを設定しない場合で記載しています。フレンドリーメッセージに対応しているマチキャラを設定している場合は、マチキャラ独特の表現になります。

目　次

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の項目に分けて説明しています。

◆FOMA端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードの取り扱い（共通）

⚠危険

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けがの原因となります。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

防水性能についてはこちらをご参照ください。→P17「防水／防塵性能」

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどの原因となります。

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。

ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。

(ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください)

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **FOMA端末の電源を切る。**
- **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

FOMA端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。

温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

◆FOMA端末の取り扱い

⚠警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。

赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末内のドコモminiUIMカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。

航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。

ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内でFOMA端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。

また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

ワンタッチアラームを鳴らす場合は、必ずFOMA端末を耳から離してください。

難聴の原因となります。

⚠注意

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

FOMA端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について→P12「材質一覧」

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。

けがなどの事故の原因となります。

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

◆ 電池パックの取り扱い

■ **電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。**

表　示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠危険

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠警告

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

◆ アダプタ、卓上ホルダの取り扱い

⚠警告

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れた手でアダプタのコード、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

◆ ドコモminiUIMカードの取り扱い

⚠注意

指示

ドコモminiUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。

けがの原因となります。

◆ 医用電気機器近くでの取り扱い

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

⚠警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

◆材質一覧

使用箇所		材　質	表面処理
外装ケース	可動部　背面ディスプレイ面	PC+GF樹脂	UVハードコート
	可動部ディスプレイ面	PA-GF樹脂	UVハードコート
	固定部　操作キー面	PA-GF樹脂	UVハードコート
	固定部　電池面	PC+ABS樹脂	UVハードコート
	ヒンジ部可動側	PC+ABS樹脂	UVハードコート
	ヒンジ部固定側	PC+ABS樹脂	UVハードコート
	リアカバー	PC+ABS樹脂	UVハードコート
	リアカバープレート	PCシート、シリコーンゴム	なし
	リアカバーロックレバー	POM樹脂	シボ加工
	リアカバーロックプレート	ステンレス鋼	なし
ケースパッド		ウレタン樹脂	なし
ディスプレイパネル		高強度アクリル樹脂	UVハードコート
背面パネル		アクリル樹脂+PC樹脂	UVハードコート
カメラレンズ部、カメラパネル		アクリル樹脂	UVハードコート
ライトレンズ部		アクリル樹脂	シボ加工
サイドキー		PC樹脂	UVハードコート
操作キー		ウレタンアクリレート樹脂	UVハードコート
オープンアシストボタン		PC樹脂	UVハードコート
ヒンジパーツ		PC樹脂	UVハードコート
外部接続端子キャップ	本体	PC+ABS樹脂	UVハードコート
	屈曲部	エラストマー樹脂	なし
	止水部	PC樹脂	なし
	ツメ部	PC樹脂	なし
	Oリング	シリコーンゴム	なし
外部接続端子		ステンレス鋼	錫メッキ
電池端子	電池端子コネクタ本体	PPS樹脂	なし
	電池端子	ベリリウム銅	金メッキ(下地 Ni-Pdメッキ)
ネジ（電池収納部）		ステンレス鋼	なし
電池収納面		プリント基板	金メッキ
電池パックF19	電池パック本体	PC樹脂	なし
	端子部	ベリリウム銅	金メッキ
充電端子	接点部	ステンレス鋼	金メッキ
	接点ホルダ部	LCP樹脂	なし
指紋センサー		フレキシブルプリント基板	なし

■卓上ホルダ F33

使用箇所		材　質	表面処理
外装ケース	上ケース	ABS樹脂	なし
	下ケース	ABS樹脂	なし
	フロントフック	POM樹脂	なし
	サイドフック	POM樹脂	なし
充電端子	端子レバー	POM樹脂	なし
	接点部	C5191W-H	金メッキ
ゴム足		PORON	なし

取り扱い上のご注意

◆共通のお願い

- F-01Eは防水／防塵性能を有しておりますが、FOMA端末内部に水や粉塵を侵入させたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。
  - 電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。
  - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
    また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
  - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
  - 多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子（イヤホンマイク端子）に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
  - 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

◆FOMA端末についてのお願い

- 極端な高温、低温は避けてください。
  - 温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上は風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  - 故障、破損の原因となります。
- 外部接続端子（イヤホンマイク端子）に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
  - 故障、破損の原因となります。
- ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。
  - 故障、破損の原因となります。
- 使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
  - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常は外部接続端子キャップを閉じた状態でご使用ください。
  - ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- リアカバーを外したまま使用しないでください。
  - 電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- ディスプレイやキーのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。
  - 故障、破損、誤動作の原因となります。
- 指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。
  - 指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。
- 指紋センサーは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で清掃してください。
  - 指紋センサーが汚れていたり表面に水分が付着していたりすると、指紋の読み取りができなくなり、認証性能の低下や誤動作の原因となります。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。
  - データの消失、故障の原因となります。

- 磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
  - キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
  - 強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

◆ 電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。
  - 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
  保管に適した電池残量は、目安として電池アイコン表示が2本、または残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

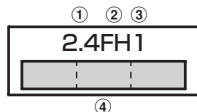
◆ アダプタについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
  - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
  - 故障の原因となります。

◆ ドコモminiUIMカードについてのお願い

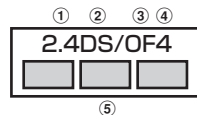
- ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身でドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  - データの消失、故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
  - 故障の原因となります。

◆Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- **周波数帯について**
  FOMA端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

① 2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② FH：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
③ 1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
④ ▭▭▭：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。
利用可能なチャンネルは国により異なります。
ご利用の国によってはBluetoothの使用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth機器使用上の注意事項
本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆無線LAN（WLAN）についてのお願い

- 無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- **無線LANについて**
  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- **周波数帯について**
  WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

① 2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② DS：変調方式がDS-SS方式であることを示します。
③ OF：変調方式がOFDM方式であることを示します。
④ 4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
⑤ ▭▭▭：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。
利用可能なチャンネルは国により異なります。WLANを海外で利用する場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆ FeliCaリーダー／ライターについて

- **FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。**
- **使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。**

◆ FMトランスミッタについて

- **FOMA端末のFMトランスミッタ機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。**
- **使用周波数は77.4～85.0MHz帯です。ご使用の際は、周囲のFMラジオ使用者への影響を避けるため、ご使用の地域のFM放送局と重ならない周波数に設定してください。**

◆ 注意

- **改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
  FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク㊜」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。
  FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
  技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
  ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **FMトランスミッタは日本国内で使用してください。**
  FOMA端末のFMトランスミッタは日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵性能

F-01Eは、外部接続端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けてロックした状態で、IPX5※1、IPX8※2の防水性能、IP5X※3の防塵性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 F-01EにおけるIPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの所にF-01Eを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有すること、また、常温で水道水、かつ静水の中に沈めている約30分間は静止画／動画撮影ができることを意味します。

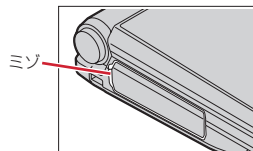
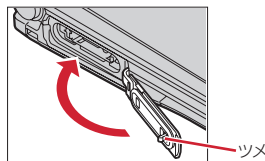
※3 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

❖F-01Eが有する防水性能でできること

- **1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通話、ワンセグ視聴ができます。**
  - 手が濡れているときやFOMA端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子キャップの開閉はしないでください。
- **水深1.5mのプールの中で静止画／動画撮影ができます。**
  - 水中で静止画／動画撮影以外の操作を行わないでください。
  - プールの水に浸けるときは、30分以内としてください。
  - プールの水がかかったり、プールの水に浸けたりした場合は、所定の方法（→P19）で洗い流してください。
- **風呂場で使用できます。**
  - 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。
  - 温泉や石鹸、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
  - 風呂場では、温度は5℃～45℃、湿度は45%～99%、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください。
  - 急激な温度変化は結露の原因となります。寒いところから暖かい風呂などにFOMA端末を持ち込むときは、FOMA端末が常温になるまで待ってください。
  - 蛇口やシャワーから水やお湯などをかけないでください。

◆防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- 常温の水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- 外部接続端子を使用するときには、次の図に示すミゾに指を掛けてキャップを開けてください。

また、外部接続端子使用後は次の図に示す方向にキャップを閉じ、ツメを押し込んでキャップの浮きがないことを確認してください。

- リアカバーの取り付けかたは、「電池パックの取り付け／取り外し」の「■取り付けかた」内で説明しています。→P42
- リアカバーは確実にロックし、外部接続端子キャップはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、浸水の原因となります。
- マイク（送話口）、受話口、スピーカーなどを尖ったものでつつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 外部接続端子キャップ、リアカバー裏面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。リアカバーをねじるなどして変形させたり、ゴムパッキンをはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換はFOMA端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

◆ ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉

石鹸／洗剤／入浴剤をつける

ブラシ／スポンジで洗う

洗濯機で洗う

強すぎる水流を当てる

海水につける

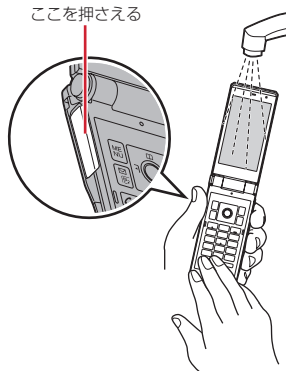
温泉で使う

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。付属の卓上ホルダにFOMA端末を差し込んだ状態でワンセグ視聴などをする場合、ACアダプタを接続していない状態でも、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 規定（→P17）以上の強い水流（例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。F-01EはIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。
- 万が一、塩水や海水、清涼飲料水がかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- FOMA端末を開いた状態で水中を移動したり、水面に叩きつけたりしないでください。
- 水道水やプールの水に浸けるときは、30分以内としてください。
- プールで使用するときは、その施設の規則を守って、使用してください。
- FOMA端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。電源端子がショートしたり、寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- マイク（送話口）、受話口、スピーカーに水滴を残さないでください。通話不良となるおそれがあります。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 外部接続端子キャップやリアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- 外部接続端子キャップやリアカバー裏面のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取替えください。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

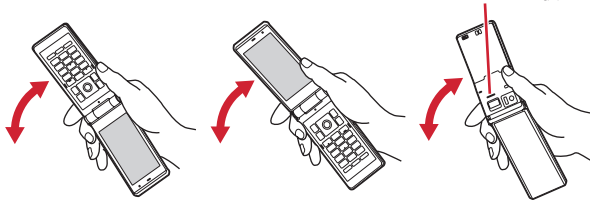
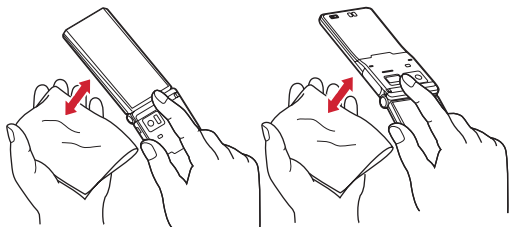
◆FOMA端末の洗いかた

外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま、強くこすらず水道水で手洗いしてください。

- 規定（→P17）以上の強い水流（例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。
- リアカバーを取り付けてロックした状態で、外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま、強くこすらず常温の水道水で手洗いしてください。
- ブラシやスポンジ、石鹸、洗剤などは使用しないでください。
- 泥や土が付着している場合は、開閉操作をせず、まず洗面器などに溜めた水道水の中で数回ゆすって汚れを落としてから、流水で洗い流してください。
- 洗い流した後は表面を乾いた布でよく拭いて、次の方法で水抜きを行った後、自然乾燥させてください。

◆水抜きについて

FOMA端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、下記の手順で水抜きを行ってください。

① FOMA端末表面、裏面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。

② FOMA端末のヒンジ部をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。

③ マイク（送話口）、受話口、スピーカー、キー、ヒンジ部、充電端子などの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などにFOMA端末を10回程度軽く押し当てて拭き取ってください。

④ FOMA端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。

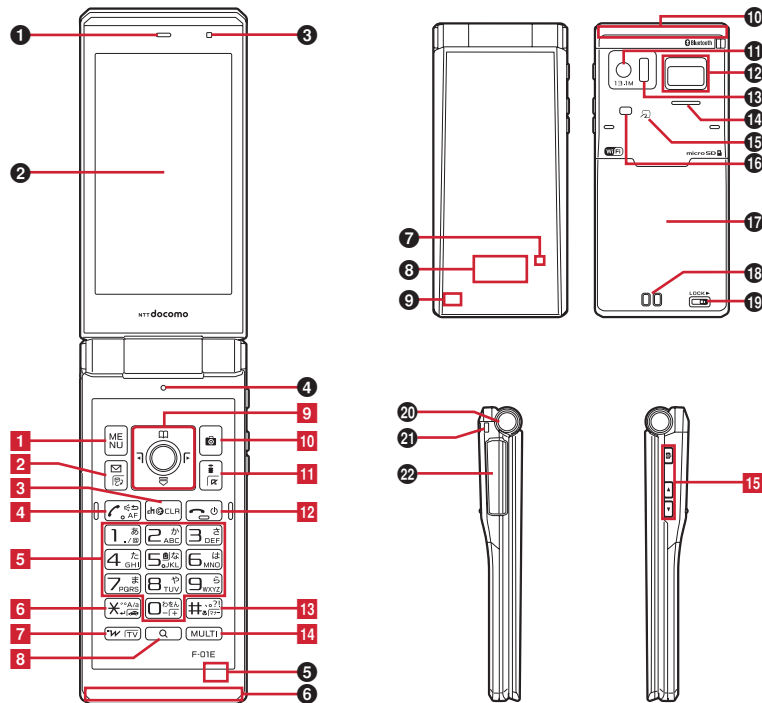
- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

◆ 充電のときには

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 充電時は、FOMA端末が濡れていないか確認してください。FOMA端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。
- FOMA端末が濡れている場合や水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、付属の卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子キャップを開いたりしてください。
- 外部接続端子キャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとキャップを閉じてください。なお、外部接続端子からの浸水を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- ACアダプタ、卓上ホルダは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。

ご使用前の確認

各部の名称と機能

〈イヤホンのご利用について〉

別売の外部接続端子対応のイヤホンを接続してください。なお、外部接続端子に非対応のイヤホンをご利用になる場合には、別売の変換アダプタを接続してご利用ください。

外部接続端子用
ステレオイヤホンマイク 01（別売）接続例

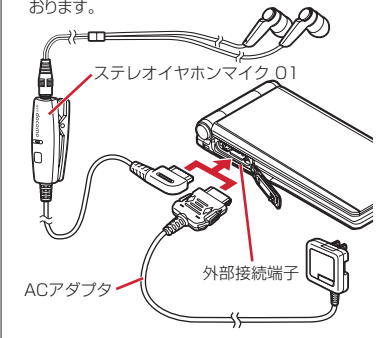
※ ACアダプタ（充電）およびステレオイヤホンマイク01（イヤホンマイク端子）の差込口が共通になっております。

ステレオイヤホンマイク 01

外部接続端子

ACアダプタ

〈各部の機能〉

❶ 受話口
相手の声をここから聞く

❷ ディスプレイ→P25

❸ 光センサー
周囲の明るさの感知（画面の明るさの自動調整）
※ ふさぐと正しく調整されない場合があります。

❹ マイク（送話口）
通話や音声メモ録音時などに自分の声をここから送る
※ 使用中にふさがないでください。

❺ Bluetooth／Wi-Fiアンテナ部
※ アンテナは本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

❻ ワンセグ／FMトランスミッタアンテナ部→P203
※ アンテナは本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

❼ ランプ
充電中、不在着信お知らせやイルミネーション設定に従って動作するほか、Music&Videoチャネルプレーヤーやミュージックプレーヤーの操作中、アラーム（スヌーズ中）、メモのアラーム、お知らせタイマー鳴動中など、さまざまな状態を点灯・点滅でお知らせ

❽ 背面ディスプレイ→P31

❾ GPSアンテナ部
※ アンテナは本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

❿ FOMAアンテナ部
※ アンテナは本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

⓫ カメラ
静止画や動画の撮影、テレビ電話で映像の送信

⓬ 指紋センサー→P104
指紋の登録・認証

⓭ 赤外線ポート→P299、303
赤外線通信、赤外線リモコン

⓮ スピーカー
着信音や、ハンズフリーONで通話中の相手の声などをここから聞く

⓯ マーク→P248、299
ICカードの搭載
※ マークを読み取り機にかざしておサイフケータイを利用したり、iC通信でデータを送受信したりできます。なお、ICカードは取り外せません。

⓰ ライト／撮影お知らせランプ→P67、190、303、322
テレビ電話や静止画／動画撮影時などのカメラのライト、簡易ライト、ボイスレコーダー録音時に点滅

⓱ リアカバー
※ リアカバーと電池パックを取り外すと、ドコモminiUIMカードスロットとmicroSDカードスロットがあります。→P40、285
※ リアカバーの裏面には、防水のためのゴムパッキンがついています。

⓲ 充電端子

⓳ リアカバーのレバー→P42

⓴ オープンアシストボタン→P25

㉑ ストラップ取付口

㉒ 外部接続端子
充電時およびイヤホン接続時などに使用する統合端子
※ 別売のACアダプタ、DCアダプタ、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02、ステレオイヤホンマイク 01などを接続できます。

〈キーの機能〉

各キーの主な機能は次のとおりです。

●：押す　■：1秒以上押す

1 MENU MENUキー
●メニューの表示
●ガイド表示領域左上に表示される操作の実行
■HOLDの起動／解除

2 ✉ メール／文字キー
●メールメニューの表示
●ガイド表示領域左下に表示される操作の実行
●文字入力モードの切り替え
■メール／メッセージ問合せ

3 CLR ch／α／クリアキー
●ｉチャネル一覧の表示、ｉアプリ待受画面とｉアプリ起動の切り替え
●文字の消去、1つ前の画面に戻る

4 音声電話開始（開始キー）／ハンズフリー／↩／AFキー
●音声電話をかける／受ける、ハンズフリーの通話切り替え
●文字入力中に1つ前の文字に戻す、手動オートフォーカス
■音声クイック起動の実行
■文字列を1つ前の状態に戻す

5 ダイヤルキー
1～9
●電話番号（1～9）や文字の入力、メニュー・項目選択
■セレクトメニューに登録されている機能の実行（お買い上げ時の状態で 5 を1秒以上押すと、ecoモードON／OFFの切り替え）
0
●電話番号（0）や文字の入力、メニュー・項目選択
■国際電話をかけるときの「+」の入力

6 [✂] ＊／A/a／改行／公共モード（ドライブモード）キー
●「＊」や「゛」「゜」の入力、大文字／小文字切り替え
●文字入力時の改行、メニュー・項目選択
■公共モード（ドライブモード）の起動／解除

7 [iw/TV] ｉウィジェット／TVキー
●ｉウィジェットの起動／終了
■ワンセグ視聴やマルチウィンドウの切り替え

8 [🔍] サーチキー
●クイック検索の起動
■しゃべって検索の起動

9 マルチカーソルキー※1
[●]決定キー
●操作の実行、フォーカスモードの実行
■ワンタッチｉアプリ起動
[上]電話帳／↑キー
●電話帳の表示
●音量調整、上方向へのカーソル移動
■プライバシーモードの起動／解除※2
[下]ショートカット一覧／↓キー
●ショートカット一覧の表示
●音量調整、下方向へのカーソル移動
[左]MyFACE（左）／←キー
●MyFACEの表示、着信履歴の表示※3、画面の切り替え、左方向へのカーソル移動
[右]MyFACE（右）／→キー
●MyFACEの表示、リダイヤルの表示※3、画面の切り替え、右方向へのカーソル移動

10 [📷] カメラキー
●静止画撮影の起動
●ガイド表示領域右上に表示される操作の実行

11 [iα] ｉモード／ｉアプリキー
●ｉモード接続してｉMenuを表示
●ガイド表示領域右下に表示される操作の実行
■ｉアプリフォルダ一覧を表示

12 [⏻]（電源）／終了キー
●応答保留、通話／操作中の機能の終了（待受画面に戻る）、待受カスタマイズのウィジェットやらくがきの表示／非表示
■2秒以上押す：電源を入れる／切る

13 [#] #／マナーモードキー
●「#」や「､」「｡」「?」「!」「・」の入力、メニュー・項目選択
●カメラ使用時のAFモードのサブメニュー表示
■マナーモードの起動／解除

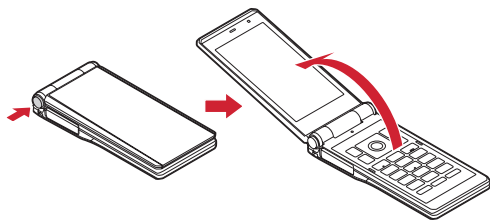
14 [MULTI] マルチタスクキー
●通話中や操作中に別の機能の実行（マルチアクセス／マルチタスク）
■プライバシービューの起動／解除

15 サイドキー
[📷]サイドカメラキー
●動画撮影の起動、カメラ起動時の撮影開始や保存、ミュージックプレーヤーやMusic&Videoチャネルプレーヤー、動画／ｉモーションの再生中の操作
■ワンセグ視聴中のビデオ録画開始／停止、ミュージックプレーヤーの終了
■FOMA端末を閉じているときはミュージックプレーヤーの起動※4
[▲]
●着信音や各種アラーム音、バイブレータの停止
■着信中にクイック伝言メモを起動、通話中に音声メモや動画メモの起動／停止
■待受画面表示中に伝言メモ／音声メモの起動
■FOMA端末を閉じているときはマナーモード設定／解除※4
[▼]
■待受画面表示中にメール／メッセージ問合せ、ビデオ再生中の音量消音
■FOMA端末を閉じているときはメール／メッセージ問合せ※4
[📷]、[▲]、[▼]共通
●FOMA端末を閉じているときは背面ディスプレイの照明点灯、表示切り替え
[▲]、[▼]共通
●各種音量調整、ページスクロール
■FOMA端末を閉じているときはワンタッチアラームの起動※5

※1 操作の説明では、[上下]（上下）、[左右]（左右）、[4方向]（4方向）、[8方向]（斜め方向を含む8方向）と表記する場合があります。
※2 プライバシーモード起動設定の起動／解除操作が「標準」の場合の動作です。
※3 MyFACE利用設定が「利用しない」の場合の動作です。
※4 サイドキー長押し設定がお買い上げ時の状態での動作です。
※5 ワンタッチアラーム設定が「ON」の場合の動作です。

オープンアシストボタン

ボタン操作で簡単にFOMA端末を開くことができます。

- オープンアシストボタンを使用しない場合でも、軽い力で簡単に開きます。

✔**お知らせ**

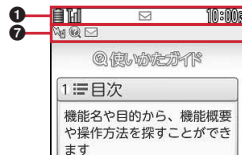
- FOMA端末を手に持って操作してください。また、FOMA端末を開くときに自分の顔、人や物などに当てたり、開くときの反動でFOMA端末を落としたりしないようにご注意ください。
- FOMA端末の向きによっては、ボタンを押しても完全に開かない場合があります。
- FOMA端末は手で閉じてください。完全に閉じないときは、FOMA端末を完全に開いた状態にしてから、もう一度閉じてください。

ディスプレイの見かた

ディスプレイに表示される情報の見かたや操作を説明します。

◆アイコンや情報の見かた

ディスプレイに表示されるマーク（アイコン）で新着情報や現在の状態（ステータス）、動作中の機能（タスク）などを確認できます。

「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

❶ステータスエリア
ステータスアイコンを表示するほかに、待受画面でエリアを選択するとアイコン詳細画面から設定や確認の操作ができます。→P30

- ステータスエリア（上段）のアイコン→P26

・ステータスエリア（下段）のアイコン→P27
❷MyFACEの更新通知→P91
❸ウォーキング／EXカウンター→P312
❹マチキャラ→P94
❺新着情報→P30
❻ショートカット→P30
❼タスクエリア→P28

■ ステータスエリア（上段）

ディスプレイ上部のステータスエリアの上段に表示されるアイコンは次のとおりです。機能によっては、アイコンの表示位置が異なったり、一部またはすべてのアイコンが表示されないことがあります。

① ：電池アイコン→P47
② ：アンテナアイコン→P48
圏外：圏外表示→P48
SELF：セルフモード中→P109
TML：使用できないドコモminiUIMカードを挿入中→P40
：データ転送モード中※1→P114、285、299、334
③ ／：ｉモード中（ｉモード接続中）／（パケット通信中）→P158
※2
④ ：自動キーロック中→P115
：赤外線通信中→P300
赤外線リモコン使用中→P303
（青）／（グレー）：Bluetoothオン／省電力中→P332
¥：積算通話料金が上限を超過→P324
※2
⑤ ：ハンズフリー対応機器で通信中→P60
：Bluetoothハンズフリー通信中→P333
：Bluetoothヘッドセット通信中→P333
：ハンズフリー ON→P60
：Bluetoothキーボード通信中→P333
（青）／（黄）／（赤）／（青）／（黄）／：利用中のネットワーク→P365
：フェムトセル利用可能→P337

※2
⑥ ：GPS測位中→P258
（青）：位置提供設定中→P260
（青）：位置提供設定中かつオートGPS機能起動中
（グレー）：位置提供設定中（許可期間外）→P260
（グレー）：位置提供設定中（許可期間外）かつオートGPS機能起動中
AUTO GPS：オートGPS機能起動中→P263
⑦ ／／／：Wi-Fi接続中／Wi-Fi接続中（IPアドレス自動取得失敗）／Wi-Fiでフルブラウザ起動中／Wi-Fiで通信中→P388
／：Wi-Fiモードオンで圏外
※2
⑧ 未読のエリアメール、メール、ｉコンシェルのインフォメーション、メッセージR/F状態表示→P136、151、152、154、182
：未読エリアメール
：自動送信メール送信中／圏内自動送信メールあり→P134
：予約送信失敗メールあり→P134
：未読ｉモードメール、SMS満杯かつドコモminiUIMカードにSMS満杯
：未読ｉモードメール、SMS満杯
：ドコモminiUIMカードにSMS満杯
：未読ｉモードメールとSMSあり
：未読ｉモードメールあり
：未読SMSあり
※3（赤）／※3（青）：未読メッセージR満杯／あり
※3（赤）／※3（緑）：未読メッセージF満杯／あり
※3：ｉコンシェルの新着インフォメーションあり
※2
⑨ ：センターにｉモードメールとメッセージR/F満杯、またはいずれかが満杯で未受信あり
／／：センターにｉモードメールまたはメッセージR/F満杯
：センターに未受信のｉモードメールとメッセージR/Fあり
／／：センターに未受信のｉモードメール、メッセージR/Fのいずれかがあり
：端末を傾けてブラウザ画面スクロール可能→P161
／：ｉモードブラウザ画面表示中（ノーマルモード）／（スクロールモード）→P161
：RSSリーダー表示中→P168
／：フルブラウザ画面をスクロールモードで表示中（ケータイモード）／（PCレイアウトモード）
／：フルブラウザ画面をノーマルモードで表示中（ケータイモード）／（PCレイアウトモード）

※2
⑩ ：電話帳、メモ・スケジュールがシークレット属性→P79、319
／：USB経由でパケット発信・通信中／送受信中
／：Bluetooth経由でパケット発信・通信中／送受信中
／：アクセスポイントモード通信中／アクセスポイントモードデータ送受信中→P383
／：SSL／TLSページのフレーム拡大表示中に他のフレーム通信中／SSL／TLSページのフレーム拡大表示中→P162
：SSL／TLSページ表示中／ｉアプリでSSL／TLS通信中、SSL／TLSページからダウンロードしたｉアプリを使用中→P159
／：フレーム拡大表示中に他のフレーム通信中／フレーム拡大表示中→P162
：Music&Videoチャネル番組取得予約あり→P225
：ワンタッチアラーム設定を「ON」に設定中→P315
：親子モード設定中→P117

※2
⑪ ｉアプリ／ｉアプリDX、ｉアプリコールの状態表示→P233、240、241
：ｉアプリ動作中
(オレンジ)：ｉアプリ待受画面からｉアプリ起動中
(グレー)：ｉアプリ待受画面表示中
：ｉアプリDX動作中
(オレンジ)：ｉアプリDX待受画面からｉアプリ起動中
(グレー)：ｉアプリDX待受画面表示中
：ｉアプリ動作中でｉアプリコール受信あり
(オレンジ)：ｉアプリ待受画面からｉアプリ起動中でｉアプリコール受信あり
(グレー)：ｉアプリ待受画面表示中でｉアプリコール受信あり
：ｉアプリDX動作中でｉアプリコール受信あり
(オレンジ)：ｉアプリDX待受画面からｉアプリ起動中でｉアプリコール受信あり
(グレー)：ｉアプリDX待受画面表示中でｉアプリコール受信あり
：ｉアプリコール受信あり

⑫ USBモードの状態表示→P294
：通信モード中（UBSケーブル接続時に表示）
(矢印が青）／：microSDモード中／設定中
(矢印が青）／：MTPモード中／設定中

※2、4
⑬ ：メモのアラームやワンセグ視聴／録画予約と、アラームを同時に設定中→P210、314、316
：アラーム設定中→P314
：ワンセグ視聴／録画予約中、メモのアラーム設定中→P210、316

※1 データ転送モード中は圏外と同じ状態になり、さらにマルチタスクの利用もできなくなります。
※2 現在優先度の高いものが1つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。
※3 未読ｉモードメールがある場合は、小さいアイコンで表示されます。
※4 待受画面以外のときなどは時刻が表示されます。

■ ステータスエリア（下段）

待受画面表示中にディスプレイ上部のステータスエリア（下段）に表示されるアイコンは次のとおりです。

① ：マナーモード中→P85
：オリジナルマナーモードまたはサイレントマナーモード中→P86
② ：電話着信音量消音設定中→P83
：音声電話着信のバイブレータ設定中→P84
：電話着信音量消音と音声電話着信のバイブレータを同時に設定中
③ ：公共モード（ドライブモード）中→P64
(青）／(グレー)：マナーサポート動作中／一時停止中→P87
④ ／：伝言メモ設定中／満杯→P65
⑤ ：ダイヤル発信制限中→P110

※
⑥ ／／：GPS位置提供成功／失敗／未応答で終了→P259
：パーソナルデータロック中→P109
／：Music&Videoチャネル取得失敗／成功→P225
／：ワンセグ予約録画失敗／完了→P211

※
⑦ ：ドコモminiUIMカード読み込み中→P40、48
：ICカードロック中→P250
⑧ ：遠隔カスタマイズ中→P125
：メール自動返信設定中→P148

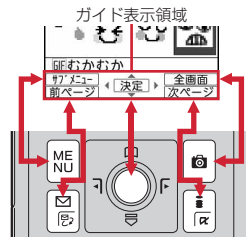
※
⑨ ：ネットワーク再検索可能→P367
／／：ワンセグ予約または視聴のみ終了で録画準備中／FOMA端末に録画中／microSDカードに録画中→P209、211
：マチキャラ更新可能→P94
：ｉアプリ自動起動失敗→P239
（緑）：ecoモード中→P93
（グレー）：ecoモード自動起動設定中→P94
⑩ ：microSDカードあり
：microSDカードありで使用不可
※
⑪ ：USBケーブルで外部機器と接続中→P69、295
：ウォーキング／Exカウンター設定中→P312
※
⑫ ：ソフトウェア更新書き換え予告→P436
：ソフトウェア更新予約中→P438
：更新お知らせアイコン→P437
／：最新パターンデータの自動更新失敗／成功→P439
※ 現在優先度の高いものが1つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。

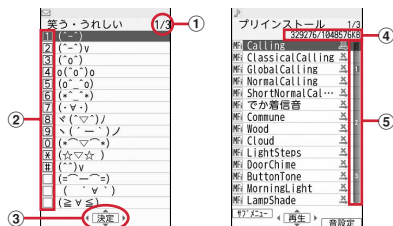
■ タスクエリア

タスクエリアには、動作中の機能（タスク）を示す次のようなアイコンが表示されます。マルチアクセス中、マルチタスク中に動作中の機能を確認できます。
：使いかたガイド
：しゃべって検索
：音声電話
：着信履歴
：リダイヤル
：伝言メモ／音声メモ
：テレビ電話
：外部機器によるテレビ電話
：電話（切り替え中）
：電話（切断中）
：電話帳
：プライバシーモードのシークレット反映
：マナーサポート
：きせかえツール
：メール／メッセージR/F
：エリアメール
：ｉモードメール受信中
：ｉモード／SMS問い合わせ中
／：メール送信履歴／受信履歴
：SMS受信中
：ｉモード（サイト閲覧履歴や画面メモの一覧表示中、Bookmark、ツータッチサイト表示を含む）／PDFデータ表示中（フルブラウザから保存したデータ表示時／ｉモードブラウザから部分取得したデータの残り取得時）
：フルブラウザ／PDFデータ表示中（フルブラウザから部分取得したデータの残り取得時）
：ｉコンシェル
：静止画撮影
：動画撮影
：バーコードリーダー
：名刺リーダー
：宛名印刷
：ワンセグ
：Music&Videoチャネル起動中
：Music&Videoチャネル番組取得中
：ミュージックプレーヤー
：ｉアプリ
：トルカ
：GPSの現在地確認
：GPSの位置提供
：GPSの現在地通知
：GPSの位置履歴／オートGPS履歴
：オートGPS機能
：マイピクチャ
：動画／ｉモーション
：マチキャラ
：キャラ電
：メロディ
：イルミネーション
：コンテンツパッケージ
：マイコレクション
（青）／（グレー）：microSDカードへアクセス中／アクセス待機中
：ボイスレコーダー
：マイドキュメント（PDFデータ）のフォルダ、データ一覧表示中
：その他（Word、Excel、PowerPointファイル）
：マルチタスクで音量設定中
：画像サーチ

：お知らせタイマー
：アラーム
：ワンタッチアラーム
：メモ・スケジュール／メモのアラーム鳴動中（ワンセグの開始通知含む）
：イミテーションコール
：プロフィール
：電卓
：ウォーキング／Exカウンター
：検索サービス
：電子辞書
：方位磁石
：Bluetooth機能
：USB経由またはBluetooth機能経由でパケット通信中
：Bluetooth機能経由で64Kデータ通信中
：お預かりセンターに接続中
：ケータイデータお預かりサービスの通信履歴表示中
：ネットワークサービス設定中
：64Kデータ通信中
：外部データ連携中
：Wi-Fi
：F-LINK
：ホームメディア
／：ソフトウェア更新／更新の通知あり
：パターンデータ更新／バージョン表示中
／（グレー）：各機能の設定中／保留中

◆ ガイド表示領域の見かた

ガイド表示領域には、MENU、✉、●、📷、iα を押して実行できる操作が表示されます。表示される操作は画面によって異なります。
表示位置とキーは、図のように対応しています。

• ガイド表示領域のは、マルチカーソルキーのに対応しています（使用する機能や表示しているサイトやホームページの作りかたによっては異なる場合があります）。

◆ 一覧画面の見かた

① 一覧が複数ページにわたる場合、表示中のページ番号と総ページ数が表示されます。
② 数字や記号が表示されている項目は、対応するキー（1～9、0、*、#）を押しても選択できます。
③ ▲▼は上下方向に選択項目が、◀ ▶は他のページがあることを示します。Ⓘや⊙で表示を切り替えます。
④ FOMA端末の使用中の共有領域とデータ全体で利用する共有領域の容量が表示されます。
⑤ 一覧が複数ページにわたる場合は、項目にカーソルを移動したりすると、一覧画面の右端に、ページなどを示すインデックスが数秒間表示されます。総ページ数の目安が表示され、現在の位置が青色で表示されます。メニュー一覧が複数ページにわたる場合は、スクロールバーが表示されます。

◆ ｉウィジェット画面

ｉウィジェット画面でもガイド表示領域と同様に、キーに対応する操作が表示されます。→P244

◆ 待受画面アイコンの利用

待受画面に新着情報やｉコンシェルのインフォメーションが表示されているとき、カレンダー／待受カスタマイズ、ショートカットを設定しているときなどは、待受画面で●を押すと、対応する情報をすばやく表示できるフォーカスモードになります。
- フォーカスモード中は、MENUを押してもメニューを表示できません（ショートカットにカーソルがあるときを除く）。

1 ●▶アイコンにカーソル▶●

解除：アイコンにカーソルがある状態でCLRまたは⌒
- カーソル位置のアイコンやウィジェットが赤い枠で囲まれるか、ショートカットアイコンが青色になると、マルチカーソルキーでカーソルを移動できます。

■ 新着情報のアイコン

- 新着情報アイコンを選択した場合の動作は次のようになります。
  - 2（不在着信）：着信履歴一覧が表示されます。2in1がデュアルモード時、Bナンバーへの不在着信のみがある場合はB1、AナンバーとBナンバーの不在着信がある場合はAB2が表示されます。
  - 1（伝言メモ）：伝言メモ一覧が表示されます。
  - 1（留守番電話サービスの伝言メッセージ）：メッセージ再生確認画面が表示されます。2in1がデュアルモード時、Bナンバーへの伝言メッセージのみがある場合はB1、AナンバーとBナンバーの伝言メッセージがある場合はAB2が表示されます。
  - 2（未読メール）：受信メールの一覧が表示されます。
  - 2（未読トルカ）：最新の未読トルカが保存されているフォルダのトルカ一覧が表示されます。
  - （ｉアプリコール）：ｉアプリコール履歴が表示されます。
- 新着情報アイコンにカーソルを合わせてCLRを1秒以上押すと、アイコンは一時的に消えます。留守番電話サービスの伝言メッセージの場合は、表示消去の確認画面が表示されます。新たに情報が蓄積されたり、情報を閲覧して件数が変化したりすると再び表示されます。

■ ステータスエリア（下段）のアイコン

- 待受画面でステータスエリア（下段）のアイコンを選択すると対応する機能が起動します。
  - ：USBケーブルで外部機器と接続
  - ／：ソフトウェア更新書き換え予告／お知らせ
  - ／：最新パターンデータの自動更新失敗／成功
  - ／／：GPS位置提供成功／失敗／未応答で終了
  - ／：Music&Videoチャネル番組取得の失敗／成功
  - ／：ワンセグ予約録画失敗／完了
  - ：ネットワーク再検索
  - ／／：ワンセグ予約または視聴のみ終了で録画準備中／FOMA端末に録画中／microSDカードに録画中
  - ：マチキャラ更新可能
  - ：ウォーキング／Exカウンター

■ ステータスエリア

- 待受画面でステータスエリアを選択すると、アイコン詳細画面が表示され、アイコンごとに現在の状態を確認できます。一覧から項目を選択すると、アイコンの種類によっては設定などができます。

■ ｉコンシェルのインフォメーション

- ｉコンシェルのインフォメーションを選択するとインフォメーション一覧が表示されます。→P182

■ カレンダー／待受カスタマイズの項目

- カレンダー／待受カスタマイズで設定した項目を選択すると、それぞれの情報が表示されます。
- ｉコンシェルのインフォメーションが表示されると、カレンダー／待受カスタマイズの項目にカーソルを移動できません。

■ ショートカット

- ショートカットアイコンを選択すると機能を起動できます。ショートカットアイコンにカーソルがある状態でを押すと、ショートカット一覧を表示できます。→P38

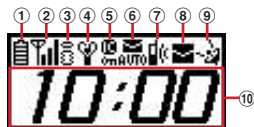
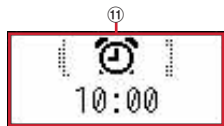
背面ディスプレイの見かた

FOMA端末の背面ディスプレイでさまざまな情報や状態を確認できます。

◆ 背面ディスプレイの表示

FOMA端末を閉じている場合は、背面ディスプレイにアイコンやメッセージが表示されます。不在着信や未読メールの詳細情報、ウォーキング／Exカウンターの情報を表示することもできます。

- FOMA端末を閉じると時計が表示されます。
- 一定時間何も操作しないでいると消灯しますが、やを押したり、時報設定による正時の通知があると再び点灯します。背面自動点灯設定が「ON」の場合は、FOMA端末を持ち上げて傾けても照明が自動点灯します。
- オールロック、おまかせロック、HOLD中は、やを押すとロックが設定されている旨のメッセージが表示され、しばらくたつと時計表示に切り替わります。
- モーションセンサー設定を「ON」にすると、FOMA端末の傾きに合わせて時計表示が180度変わります。

❖表示されるアイコンや状態

アイコンと時計（横表示）

状態表示（例：アラーム鳴動中）

① ：電池アイコン
② ：アンテナアイコン
　圏外：圏外表示
　SELF：セルフモード中
　：使用できないドコモUIMカードを挿入中
　：データ転送モード中
③ ／：：ｉモード中（ｉモード接続中）／（パケット通信中）※
④ ：マナーモード中
　：オリジナルマナーモード中
　：ワンタッチアラーム設定を「ON」に設定中
⑤ ：ICカードロック中
⑥ ：圏内自動送信メールあり、日時指定送信メール送信中
　：圏内自動送信失敗メールあり
⑦ ：不在着信／伝言メモ／留守番電話サービスの伝言メッセージあり※
⑧ ／／：未読エリアメールあり／未読ｉモードメール、SMS満杯／未読ｉモードメール、SMSあり
　R／R：未読メッセージR満杯／あり
　F／F：未読メッセージF満杯／あり
　C：ｉコンシェルの新着インフォメーションあり
　／：センターにｉモードメール、メッセージR/F満杯／あり
- 未読ｉモードメールやSMSがある場合、R／R／F／Fは縮小して表示されます。

⑨ ：GPS測位中
　GPS／GPS：位置提供設定中／許可期間外
　GPS：位置提供設定中かつオートGPS機能起動中
　GPS：位置提供設定中（許可期間外）かつオートGPS機能起動中
　AUTO GPS：オートGPS機能起動中
⑩ 時計が表示されます。
⑪ 次の状態をメッセージや画像でお知らせします。
- 音声電話やテレビ電話（留守番電話サービスの伝言メッセージ含む）、伝言メモの状態表示
- ｉモードメールやSMS、メッセージR/Fの問合せ中・受信中、エリアメールやｉコンシェルのインフォメーションの受信中
- GPSの現在地確認、位置提供、現在地通知などの状態表示
- ワンセグ視聴／録画中、ビデオ再生中、Music&Videoチャネルプレーヤー起動中、ミュージックプレーヤー起動中
- アラームやメモのアラーム（ワンセグの開始通知含む）鳴動中、お知らせタイマーのカウントダウン中や鳴動中
- パケット通信や64Kデータ通信、USB経由での通信、赤外線通信、iC通信、Bluetooth通信、Wi-Fiの状態表示
- お預かりサイト接続中、マナーサポートの操作要求
- 認証操作の要求や結果、各種ロックの状態表示、電池残量なし
- 簡易ライト点灯中、F-LINK起動中、ホームメディア起動中

※ 現在、優先度の高いものが1つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。

✔お知らせ

- 表面パネルの特性により、日光が当たる場所では表示が見えにくい場合があります。そのときは日陰で確認するか、手で影を作って表示を確認してください。

❖表示の切り替え

時計が表示されている場合は、を押すたびに大きな時計→日付と時計→アイコンと時計の順に切り替わります。ウォーキング／Exカウンター設定が「利用する」のときは、を押すたびに歩数表示→活動量表示→時計表示の順に切り替わります。
- 一定時間何も操作しないと時計表示に戻ります。

❖新着情報の表示

不在着信や伝言メモ、未読メール、未読メッセージR/F、留守番電話サービスの伝言メッセージ、ｉコンシェルのインフォメーションがあるときは、背面ディスプレイで件数や詳細情報を確認できます。

- 留守番電話サービスの伝言メッセージの詳細情報は表示されません。

〈例〉不在着信の件数と詳細情報の表示

1 時計表示中に▼

バイブレータが1回振動し、件数が表示されます。

- 他に新着情報がない場合は▼を押すと時計表示に切り替わります。新着情報の種類が複数あるときは、▼を押すたびに、各情報の件数や情報のあり／なしが表示されます。

2 件数表示中に▲

着信日時と相手の情報がスクロール表示されます。

- 各情報が複数件ある場合は、詳細表示中▼を押して10件まで確認できます。

不在着信
2件

〈件数表示の画面〉

不在着信
1/2件 12/21

〈詳細表示の画面〉

- 一定時間何も操作しないと時計表示に戻ります。
- 時計表示中に、FOMA端末のサイド面をダブルタップしても詳細情報を表示できます。複数件ある場合は、ダブルタップするたびに、次の情報の表示に切り替わります。

メニューの選択

待受画面でMENUを押し、表示されるメニューから各種機能を選択して実行します。

- 本書では、主にきせかえツールの設定が「Silver」で、カラーテーマ設定が「ホワイト」の場合で説明しています。なお、本書内のメッセージはマチキャラを設定しない場合で記載しています。フレンドリーメッセージに対応しているマチキャラを設定している場合は、マチキャラ独特の表現になります。
- メニューは機能ごとに分類されています。→P396

◆機能の選択方法

メニュー項目に対応したダイヤルキーでメニューを選択する方法（ショートカット操作）と、マルチカーソルキーでメニュー項目を選択する方法があります。

- 各種ロック機能やドコモminiUIMカード未挿入などの理由で機能が実行できない場合は、メニュー項目を選択すると実行できない理由などが表示されるか、文字の色が変わったり、アイコンがで表示されたりして選択できません。
- メニュー項目の機能説明文が表示される場合があります。メニュー項目によっては機能説明文や現在の設定値が表示されます。機能説明文表示のON／OFFは切り替えることができます。→P97

❖ダイヤルキーで選択（ショートカット操作）

メニュー項目に番号（項目番号）が割り当てられている場合に、対応するダイヤルキー（1～9、0）や*、#を押してメニュー項目を選択する方法です。

- 目的のメニュー項目に表示されている項目番号を押してください。項目番号がないメニューは、マルチカーソルキーで選択してください。
- きせかえツールで「シンプルメニュー」を設定した場合は、項目番号が異なります。→P413
- メニューの項目番号→P396

〈例〉「電卓」を選択する

1 MENU 6 2

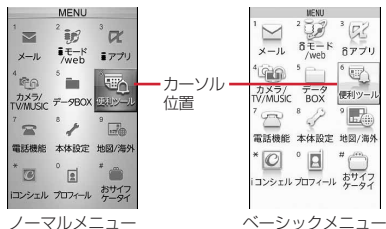
❖マルチカーソルキーで選択

◎を押して、目的のメニュー項目や表示項目にカーソルを移動し、●を押して項目を選択する方法です。

- メニューや項目によって◎（8方向）でも操作できます。

〈例〉「電卓」を選択する

1 MENU▶「便利ツール」にカーソル▶● ［決定］

ノーマルメニュー　　ベーシックメニュー

- ◎を押してカーソルを移動するとカーソル位置の色やデザインが変わります。メニューによっては◎での移動はできません。
- ノーマルメニューに「シンプルメニュー」を設定した場合は、カーソルを合わせて◎を押してもメニュー（2階層目まで）が選択できます。

2 「電卓」にカーソル▶● ［決定］

❖待受画面や1つ前のメニューに戻す

メニューを選択した後で待受画面や1つ前のメニューに戻すには、次のキーを押します。

⌐：待受画面に戻ります。

CLR：1つ前のメニューに戻ります。メニューによっては、◎を押しても戻ります。

❖ページを切り替えて選択

メニューや項目一覧に「1/2」などページ番号が表示されている場合や、画面右側にインデックスやスクロールバーが表示される場合は、複数ページにわたってメニューや項目があることを示しています。その場合は、◎や◎を押して、ページを切り替えます。

- 画像の選択画面で一行に複数項目表示されている場合などは、一覧画面によっては◎を押してもページを切り替えられません。

◆ メニュー画面の種類と切り替え

❖メニュー画面の種類

次のメニュー画面が利用できます。

■ ノーマルメニュー

きせかえツールを利用して、デザインを変更できるメニューです。→P95

動画に対応したメニューの他に、文字が大きくて見やすい「拡大メニュー」や、「シンプルメニュー」も利用できます。お買い上げ時は、FOMA端末のカラーに合わせたノーマルメニューが設定されています。

■ ベーシックメニュー

メニュー構成とメニュー番号が固定のメニューです。

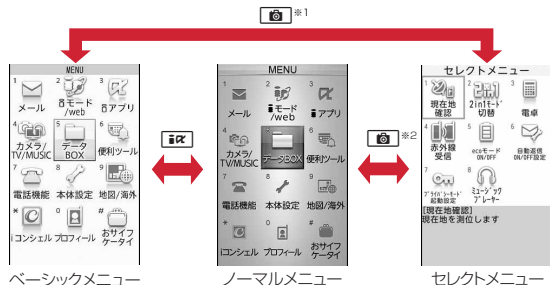
- メニューのカスタマイズによって、メニューアイコンや背景のデザインは変更することができます。→P97
- メニューの文字の大きさは、きせかえツールに連動して変わります。

■ セレクトメニュー

メニュー項目を自由に登録できるメニューです。→P321

❖メニュー画面を一時的に切り替える

各メニュー画面では、次の操作で一時的に別のメニュー画面に切り替えることができます。待受画面でMENUを押したときにどのメニュー画面を表示するかを設定することもできます。→P94

ベーシックメニュー　ノーマルメニュー　セレクトメニュー

※1 表示メニュー設定で、ノーマルメニューまたはセレクトメニューが設定されているときは切り替えられません。

※2 表示メニュー設定で、ベーシックメニューが設定されているときは切り替えられません。

✔お知らせ

- ノーマルメニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。また、メニュー項目に割り当てられている番号（項目番号）が適用されないものがあります。

◆ サブメニューの選択

ガイド表示領域の左上に「サブメニュー」と表示される場合は、サブメニューを使ってさまざまな操作ができます。

〈例〉リダイヤルのサブメニューを選択する

1 リダイヤル一覧画面でMENU［サブメニュー］▶項目番号に対応するダイヤルキーを押す

- 項目にカーソルを合わせて●または⊡を押しても選択できます。
- サブメニューが複数ページにわたる場合は、サブメニュー一覧の右側にスクロールバーが表示されます。先頭の項目または最後の項目で◎を押すとページを切り替えることができます。
- MENUまたはCLRを押すと、サブメニューが閉じます。

◆ 各項目の操作

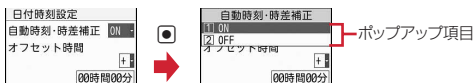
■ 項目の選択／チェックボックスの操作

数字や[＊][＃]が表示されている場合は対応するキーを押します。[十字キー]で項目にカーソルを合わせて[●]を押しても選択できます。

項目選択　　チェックボックス

- 機能によっては、項目にカーソルを合わせると、バイブレータの振動パターン、イルミネーション、キーイルミネーションのカラー、カラーテーマ設定の配色、画面の明るさなどを確認できます。
- チェックボックスは、ダイヤルキーまたはカーソル位置で[●]を押すたびに、☑（選択）と□（解除）に切り替わります。機能によっては[MENU]を押すと、すべての項目を選択または解除できます。

■ ポップアップ項目の操作

画面内に複数の設定欄がある場合などは、各設定欄の項目にカーソルを合わせて[●]を押し、画面上部に表示された項目の番号に対応するダイヤルキーを押します。

- 表示された項目にカーソルを合わせて[●]を押しても選択できます。

■ 確認画面の操作

登録内容の削除や設定などの操作中に、機能実行の確認画面が表示された場合は、「はい」または「いいえ」などにカーソルを合わせて[●]を押します。

- 機能によっては、表示される項目が異なります。
- 確認画面に表示された文章が複数ページにわたる場合は、[左右キー]を押すとページを切り替えることができます。

docomo Palette UI

待受画面を中心にさまざまな機能やサービスへ簡単にアクセスすることができます。

◆ MyFACE

待受画面の左右の領域には、サイトからMyFACEをダウンロードして貼り付けることができます。待受画面を起点に表示し、最大12個のMyFACEを利用できます。

- お買い上げ時は、発着信一覧、日々雑記、MyFACE naviが登録されています。
- MyFACEのダウンロード・貼り付け→P169
- MyFACE利用設定が「利用しない」のときは利用できません。
- MyFACE設定→P91

1 [左右キー]

- 同じ操作で次々に画面を切り替え、利用するMyFACEを表示させます。

- コンテンツ提供者の設定によっては、最大で1時間に1回、自動的にMyFACEが更新されます。自動更新されると待受画面に[F NEW]が表示され、自動更新されたMyFACE表示時には「NEW」と表示されます。自動更新されたMyFACEを表示すると「NEW」は消去され、自動更新されたMyFACEをすべて表示すると[F NEW]は消去されます。
- お買い上げ時に登録されているMyFACE以外は、更新時にパケット通信料がかかります。ただし、お買い上げ時に登録されているMyFACEも、iモードの接続先設定を変更したときや国際ローミング中は、パケット通信料がかかります。

- 国際ローミング中は、ローミング時自動更新設定が「自動更新しない」になり、MyFACEを表示すると自動更新設定の確認画面が表示されます。

■ 発着信一覧利用中の操作

[📷]：発着信一覧→着信履歴→リダイヤル→メール受信履歴→メール送信履歴の順に切り替え
[✉]／[iα]：上下スクロール
[●]：電話発信画面を表示（発着信一覧、着信履歴、リダイヤル）／メールまたはSMS作成画面を表示（メール送受信履歴）
[MENU]：サブメニューの表示

- 表示中の画面によってサブメニュー操作は異なります。一部を除いて通常のリダイヤル／着信履歴（→P54）、メール送受信履歴（→P145）と同様の操作ができます。
- 発着信一覧では、リダイヤル／着信履歴をマークで確認できます。
  リダイヤル　着信履歴
- 発着信一覧のサブメニューからリダイヤル／着信履歴を削除しても、リダイヤル／着信履歴一覧には反映されません。また、リダイヤル／着信履歴一覧のサブメニューからリダイヤル／着信履歴を削除しても、発着信一覧には反映されません。

■ 発着信一覧以外を利用中の操作

[📷]：MyFACEの更新
[✉]／[iα]：上下スクロール
[●]：リンク先や項目の選択など
[MENU]：サブメニューの表示

- テキスト範囲選択、画像保存、表示・設定などの操作ができます。

❖MyFACEの管理

並べ替えや削除、自動更新設定などを行います。

- お買い上げ時に登録されているMyFACEは、メールでURL送信、移動はできません。また、発着信一覧は、並べ替え、自動更新設定なども設定できません。
- 発着信一覧とMyFACE naviは削除できません。

1 MyFACEを表示

表示方法→P36

2 目的の操作を行う

並べ替え：[MENU]［サブメニュー］▶[1]▶移動先を選択

- 発着信一覧と待受画面の間には他のMyFACEを移動できません。

削除：[MENU]［サブメニュー］▶[2]▶「はい」

自動更新設定：[MENU]［サブメニュー］▶[3]▶[1]または[2]

- MyFACEごとに自動更新するかを設定できます。

メールでURL送信：[MENU]［サブメニュー］▶[4]

- MyFACE取得元サイトのURLをメールで送信します。URLは変更される場合がありますのでご注意ください。

microSDカードへ移動：[MENU]［サブメニュー］▶[6][1]▶[1]または[2]▶「はい」

- コンテンツ提供者の設定によっては移動できない場合があります。

microSDカードのMyFACE一覧表示：[MENU]［サブメニュー］▶「microSD内MyFACE一覧」（発着信一覧の場合）／[6][2]（発着信一覧以外の場合）

- MyFACE一覧画面のサブメニューから「削除」「本体へ移動」「情報表示」の操作ができます。

情報表示：[MENU]［サブメニュー］▶[9][2]

◆ショートカット

待受画面の下の領域には、よく使う機能やデータなどをアイコンとして貼り付けることができます（ショートカット）。ショートカットを選択するとすぐに起動できます。

❖ショートカット貼り付け

機能はメニュー画面から、フォルダやファイルなどは一覧から、ショートカットを貼り付ける操作ができます。
- 最大244件貼り付けられます。
- iモードメール（→P134）、SMS（→P153）、Bookmark（→P166）、画面メモ（→P168）を保存するときも、ショートカットを貼り付けることができます。

〈例〉機能のショートカットを貼り付ける

1 MENU ▶登録するメニュー項目にカーソル▶ MENU ［サブメニュー］
- カーソルを合わせている機能やフォルダ、ファイルやデータなどが貼り付け可能な場合は、MENU を押してサブメニューを表示したとき、ガイド表示領域に「ショートカット」が表示されます。
- メニュー画面からの機能の貼り付けは、お買い上げ時に登録されているノーマルメニューとベーシックメニューで操作できます。
- 電話番号、メールアドレスを貼り付ける場合は、FOMA端末電話帳の詳細画面で電話番号、メールアドレスを表示して MENU を押すと、「ショートカット」が表示されます。
- アラーム（個別の設定）を貼り付ける場合は、アラーム一覧を表示すると「ショートカット」が表示されます。

2 📷 ［ショートカット］

✔お知らせ
- 貼り付ける機能やデータの名称が全角12（半角24）文字を超える場合は、超過分が削除されてタイトルに登録されます。
- シークレット属性を設定した機能を含めて244件貼り付けているとき、プライバシーモード中に貼り付けを行うと、非表示になっているショートカットが削除され、新たにショートカットが貼り付けられます。
- ショートカット登録時にサムネイル画像を表示できない場合は、代替アイコンが表示されることがあります。

❖ショートカットから起動

貼り付けたショートカットから機能を起動したり、フォルダやファイル、データなどを表示したりします。

1 Ⓠ ▶ Ⓠ ▶ショートカットを選択
- ショートカット一覧でグループタブを選択するたびに、グループ内のショートカットの表示／非表示を切り替えられます。タブの右側にグループ内のショートカット数が表示されます。
- ショートカット一覧で Ⓠ を1秒以上押すと、グループへ連続カーソル移動できます。

❖ショートカットの管理

ショートカット一覧でショートカットの移動や削除、待受ショートカット設定、ショートカットのグループ管理などを行います。
- グループは最大24件登録できます。

1 Ⓠ ▶ Ⓠ

2 目的の操作を行う

ショートカットの移動：ショートカットにカーソルを合わせて ◉（1秒以上）▶移動先を選択▶ ◉ ［決定］
- ショートカット一覧の最下部に移動すると、新規グループが作成されます。

ショートカットの削除：📷 ［削除］▶ショートカットを選択▶ 📷 ［確定］▶「はい」
- MENU を押すと、全選択／全解除ができます。

ショートカットの追加：ショートカットにカーソル▶ MENU ［サブメニュー］▶ 5 ▶機能選択画面で機能にカーソル▶ 📷 ［貼り付け］
- 機能選択画面のサブメニューから「+の追加」「メニュー画面を登録」「ダイヤル入力を登録」「検索を登録」の操作ができます。「+の追加」を選択すると「新規追加」のショートカットを貼り付けられ、このショートカットからもショートカット追加操作ができます。

待受ショートカット設定：ショートカットにカーソル▶ MENU ［サブメニュー］▶ 7 ▶「常に表示」または「使用時のみ表示」
- グループに登録していない先頭から4つのショートカットを待受画面に表示するかを設定します。「使用時のみ表示」にすると、フォーカスモード中のみ表示されます。

グループ作成：MENU［サブメニュー］▶「新規グループ作成」▶グループ名を入力（全角12（半角24）文字以内）▶●［決定］
グループの移動：グループタブにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶1▶移動先を選択▶●［決定］
グループの削除：グループタブにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶2▶「はい」

- グループを削除するとグループに登録されているショートカットも削除されます。
- 他にもショートカットのサブメニューから「名称変更」、グループタブのサブメニューから「グループ名称変更」「グループ色変更」の操作ができます。名称は全角12（半角24）文字以内で変更できます。

✔お知らせ

- フォルダやファイルなどを削除した場合は、ショートカットも削除されます。
- 電話帳の電話番号やメールアドレスを変更、削除しても、ショートカットを登録したときの情報が残ります。ただし、電話帳を削除したり他の電話帳で上書きしたりするとショートカットは削除されます。
- ショートカットに貼り付けている未送信メールを送信すると、ショートカットは削除されます。
- ファイルなどを移動してもショートカットから起動できますが、microSDカードに移動すると起動できなくなり、ショートカットが削除されます。

モーションセンサー

モーションセンサーを利用すると、FOMA端末をダブルタップ（2回叩く）したり、傾けることでさまざまな操作ができます。

■ FOMA端末をダブルタップ

- FOMA端末を閉じた状態で、アラームやメモのアラーム、お知らせタイマー鳴動中にFOMA端末をダブルタップすると、鳴動が停止します。
- 背面ディスプレイに時計が表示されている状態で、FOMA端末のサイド面をダブルタップすると、新着情報の詳細を表示できます。

■ FOMA端末を傾ける

- FOMA端末の傾きに合わせて、縦画面と横画面が切り替わったり（オートローテーション）、表示や動作が変化したりします。ただし、機能によっては対応していないものがあります。
- 静止画撮影する際のFOMA端末の傾きに合わせて、保存される静止画の縦長／横長および天地が自動的に切り替わります（自動縦横判定）。
- ブラウザ画面で▲または▼を1秒以上押すと、FOMA端末を傾けることで、画面をスクロールできる操作が可能となります。

✔お知らせ

- 歩行中や振動の多い場所では、FOMA端末を傾けてのブラウザ画面のスクロールは正しく動作しません。また、画面を見ながらの歩行は危険ですのでおやめください。

◆ モーションセンサー設定

モーションセンサーやオートローテーションの有効／無効を設定します。

1 MENU 8 9 0 ▶各項目を設定▶📷［登録］

モーションセンサー：モーションセンサーを有効にするかを設定します。
オートローテーション：「ON」にすると、オートローテーションに対応したすべての機能が有効になります。「設定項目のみ有効」にして、各項目にカーソルを合わせてMENUを押すと、各機能のオートローテーションの説明が表示されます。

- マイコレクションのアルバム内の画像と動画のオートローテーションは、「マイピクチャ」と「ｉモーション・ムービー／レコーダー番組」の設定で動作します。

使いかたガイド

知りたい機能や困ったときの対処などを、目次、索引、キーワードなどから調べることができます。また、ブックマークを利用したり、便利なサイトを案内するページに接続したりすることもできます。

- 使いかたガイドでの操作手順は、お買い上げ時の設定をもとに説明しています。また、表記と意味は本書での表記ルールに従っています。

1 MENU 6 # ▶ **検索方法を選択**

- 説明画面では、「この機能を使う」や「お知らせ」を選択すると、機能を実行したり、お知らせを表示できます。また「関連機能」内の各リンク項目や「→コチラ」を選択すると、関連する説明画面が表示されます。
- 説明画面のサブメニューから、ズーム（文字サイズの変更）や、ブックマーク（最大20件）の登録ができます。

ドコモminiUIMカード

ドコモminiUIMカードとは、電話番号などのお客様情報が記録されているICカードです。

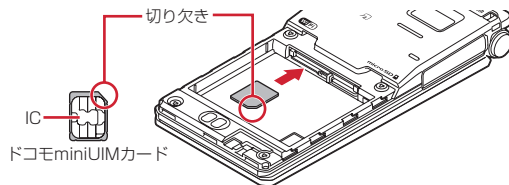
- 本FOMA端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモminiUIMカードを正しく取り付けていない場合や、ドコモminiUIMカードに異常がある場合は、電話の発着信やメールの送受信などはできません。
- ドコモminiUIMカードの取り扱いについての詳細は、ドコモminiUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

◆ ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外し

電源を切ってからFOMA端末を閉じ、リアカバーと電池パックを取り外した状態で手に持って行ってください。→P42

- ICに触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。

■ 取り付けかた

ドコモminiUIMカードのIC面を下にしてスロットにゆっくり差し込み、「カチッ」と音がするまでさらに差し込む

■ 取り外しかた

ドコモminiUIMカードを軽く押し込み、飛び出したドコモminiUIMカードをまっすぐ引き出す

✔お知らせ

- ドコモminiUIMカードの無理な取り付けや取り外しなどによって、ドコモminiUIMカードが壊れる場合がありますのでご注意ください。
- ドコモminiUIMカードとmicroSDカードのスロット位置にご注意ください。間違って取り付けると、取り外せなくなる場合があり、故障の原因となります。なお、取り外せない場合は、ドコモショップなど窓口にお持ちください。

◆ ドコモminiUIMカードの暗証番号

ドコモminiUIMカードには、「PIN1コード」「PIN2コード」という2つの暗証番号が設定されています。

- 暗証番号はお客様ご自身で変更できます。→P104

◆ ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護したり、第三者が著作権を有するデータやファイルを保護したりするための機能として、ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能が搭載されています。

- FOMA端末にお客様のドコモminiUIMカードを取り付けている状態で、サイトなどからファイルやデータをダウンロードしたり、メールに添付されたデータを取得したりすると、それらのデータやファイルにはドコモminiUIMカードのセキュリティ機能が自動的に設定されます。
- ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能の対象となるデータは次のとおりです。
  - テレビ電話伝言メモ、動画メモ、画面メモ
  - ｉモードメールの添付ファイル（トルカを除く）、デコメール®や署名に挿入されている画像、デコメアニメ®テンプレート、メッセージR/Fの添付ファイルや本文中の画像、ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能の対象となるデータが含まれたデコメール®テンプレート
  - ｉアプリ（ｉアプリ待受画面を含む）、トルカ（詳細）の画像
  - 画像（GIFアニメーションやFlash画像、お預かりセンターからダウンロードした画像を含む）、ｉモーション、コンテンツ移行対応のデータ、メロディ、PDFデータ、キャラ電、Word、Excel、PowerPointファイル、マチキャラ、コンテンツパッケージ
  - MyFACE、ダウンロードフォント、ダウンロード辞書
  - きせかえツール、着うた®・着うたフル®、うた文字、Music&Videoチャネルの番組

  ※「着うた」「着うたフル」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
- ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能が設定されたデータやファイルは、赤外線通信／iC通信、Bluetooth機器とのデータ送受信、microSDカードへのコピーや移動ができません。
- 異なるドコモminiUIMカードに差し替えた場合やドコモminiUIMカードを差し込んでいない場合、ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能が設定されたデータやファイルの表示や再生はできません。また、ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能が設定されたｉアプリは、削除以外の操作ができません。

✔**お知らせ**

- ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能の対象になっているデータを、待受画面や発着信時の画像、着信音などに設定しているとき、異なるドコモminiUIMカードに差し替えて使用したり、ドコモminiUIMカードを差し込まずに使用したりすると、音や画像の設定はお買い上げ時や標準のデータで動作します。その場合、設定されている音や画像と、実際に鳴る音や表示される画像が異なることがあります。データをダウンロードしたときに使用したドコモminiUIMカードを差し込むと、データのドコモminiUIMカードのセキュリティ機能は解除され、設定は元の状態に戻ります（データを待受スライドショーに利用していたときは、設定が解除される場合があります）。
- 赤外線通信／iC通信、Bluetooth機器でのデータ受信、microSDカード、ドコモケータイdatalinkを利用して入手したデータ、内蔵のカメラで撮影した静止画や動画などには、ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能は設定されません。
- 次の設定はドコモminiUIMカードに保存されます。
  - 自局電話番号
  - SMS設定（「送達通知設定」以外）
  - Select language、UIMカード（FOMAカード）設定、優先ネットワーク設定

◆ ドコモminiUIMカード差し替え時の設定

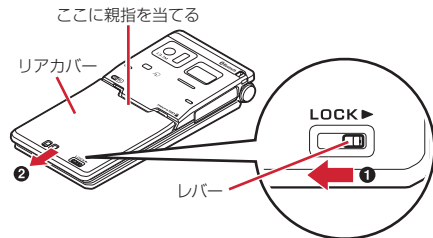
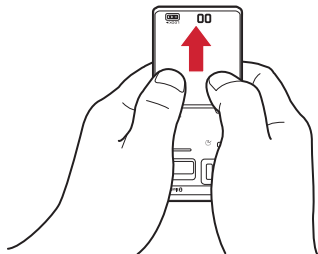
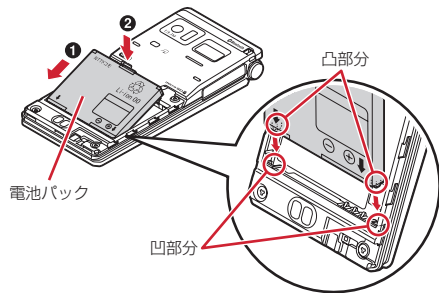
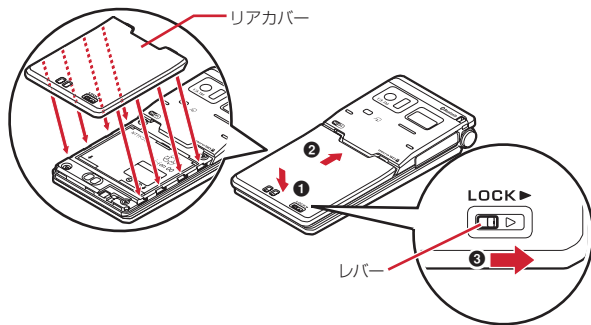
FOMA端末に取り付けられているドコモminiUIMカードを別のドコモminiUIMカードに差し替えた場合、次の設定は変更されます。

設　定	変更内容
プロフィールの自局電話番号、Select language、SMS設定（「送達通知設定」以外）、UIMカード（FOMAカード）設定のPIN1コードとPIN2コード、PIN1入力ON／OFF切替、優先ネットワーク設定	差し替えたドコモminiUIMカードに保存されている内容に変更されます。
テロップ表示設定、通話料金自動リセット設定、ｉウィジェット海外利用設定、オートGPSサービス情報の設定、日付時刻設定、マナーサポート検知設定の乗り物マナーサポート	お買い上げ時の設定に戻ります。 • テロップ表示設定は「テロップ表示設定」のみ、日付時刻設定は自動時刻・時差補正が「OFF」のときに日付と時刻のみがお買い上げ時の設定に戻ります。
フルブラウザ利用設定	差し替え前の設定に関わらず「利用しない」に設定されます。
Cookie設定	差し替え前の設定に関わらず「無効」に設定されます。Cookie情報は保持されますが、再度、有効に設定すると、Cookie情報を削除する確認画面が表示されます。
Music&Videoチャネルの番組設定	差し替え前の設定は解除されます。必要な場合は再度番組を設定してください。

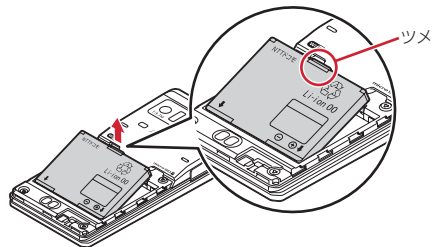
電池パックの取り付け／取り外し

- 電源を切ってからFOMA端末を閉じ、手に持って行ってください。
- 電池パックを取り外すと、ソフトウェア更新の予約が解除される場合があります。また、日付時刻設定で自動時刻・時差補正を「OFF」にして日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外すと日付・時刻が消去される場合があります。
- リアカバーのレバーは常にロックして使用してください。ロックせずに使用すると、リアカバーが外れる場合があります。

■ 取り付けかた

① リアカバーのレバーを❶の方向にスライドさせてロックを外した後、親指でリアカバーを押しながら、❷の方向に約2mmスライドさせて外す

※ リアカバーがスライドしにくい場合は、FOMA端末を持って、下図のように両方の親指でリアカバーをスライドさせてください。

② 電池パックのラベル面を上にして、電池パックの凸部分をFOMA端末の凹部分に合わせて❶の方向に差し込み、さらに、❷の方向に押し付けてはめ込む

③ リアカバーの8箇所のツメをFOMA端末のミゾに合わせて、FOMA端末とリアカバーにすき間が生じないように❶の方向に押さえながら、❷の方向にスライドさせて取り付け、リアカバーのレバーを❸の方向にスライドさせてロックする

■ 取り外しかた

① 取り付けかたの操作①を行う

② 電池パックのツメをつまんで、矢印方向に持ち上げて取り外す

✔**お知らせ**

- 電池パックを無理に取り付けようとするとFOMA端末の端子が壊れる場合があるため、ご注意ください。
- 他の方法で取り付け／取り外しを行ったり、力を入れすぎたりすると、FOMA端末やリアカバーが破損するおそれがあります。
- 水濡れや粉塵の浸入を防ぐため、リアカバーをしっかりと取り付けてレバーでロックしてください。
- リアカバー裏面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。リアカバーをねじるなどして変形させたり、ゴムパッキンをはがしたり傷をつけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

❖電池パックの上手な使いかた

- **電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。**
  FOMA端末の電源を入れた状態で充電が完了した後は、FOMA端末は電池パックから電源が供給されます。そのままの状態で長時間置くと、電池パックが消費され、短い時間しか使用できずに電池アラームが鳴ってしまう場合があります。その場合はFOMA端末をACアダプタや付属の卓上ホルダ、DCアダプタから外して、もう一度セットして充電し直してください。
- **環境保全のため、不要になった電池パックはNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。**

Li-ion 00

充電

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず専用のACアダプタまたはDCアダプタで充電してからお使いください。

- F-01Eの性能を十分に発揮するために、必ず電池パック F19をご利用ください。

❖充電時間（目安）

F-01Eの電源を切って、電池パックを空の状態から充電したときの時間です。電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。

ACアダプタ	約130分
DCアダプタ	約130分

❖十分に充電したときの使用時間（目安）

充電のしかたや使用環境によって、使用時間は変動します。

連続待受時間	FOMA／3G	静止時（自動）：約550時間
	GSM	静止時（自動）：約260時間
連続通話時間	FOMA／3G	音声電話時：約210分
	GSM	約240分
ワンセグ視聴時間		約230分

- 連続待受時間とは、F-01Eを閉じて電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。
- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態での時間の目安です。
- ワンセグ視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で、ステレオイヤホンマイク 01（別売）を使用して視聴できる時間の目安です。
- 電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受の時間が約半分程度になったり、ワンセグ視聴時間が短くなる場合があります。
- 通話やｉモード通信をしなくても、カメラ、ワンセグ、ｉアプリ、オートGPS、Wi-Fi、Bluetooth機能などの各種機能のご利用頻度が多い場合、通話（通信）・待受時間は短くなります。

❖電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグの視聴などを長時間行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。

❖充電について

- 詳しくは、FOMA ACアダプタ 01／02（別売）、FOMA 海外兼用ACアダプタ 01（別売）、FOMA DCアダプタ 01／02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ 02およびFOMA 海外兼用ACアダプタ 01はAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

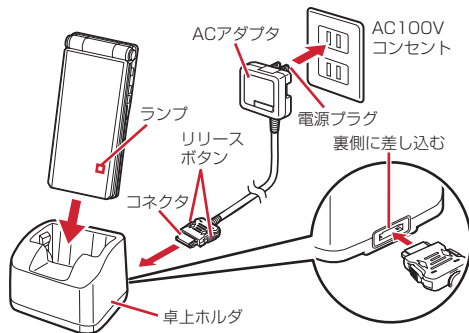
✔お知らせ

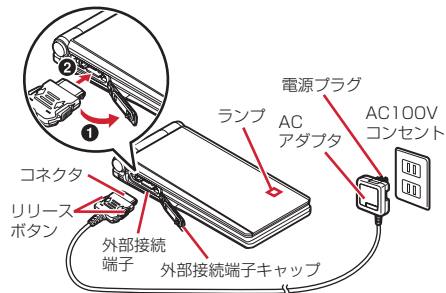
- ｉアプリによっては、FOMA端末を閉じていても常に動作状態となり、電力を消費し続ける場合があります。その場合、通話や通信、待受の時間が短くなることがあります。
- 通話中や通信中は充電が完了しない場合があります。また、ワンセグ視聴／録画中、動画／ｉモーション再生中、Music&Videoチャネル番組取得中、Music&Videoチャネルプレーヤーやミュージックプレーヤー起動中、ｉアプリの動作中などに充電を開始するとご使用の充電アダプタによっては電池残量が減り、充電が完了しないことがありますが、FOMA端末の異常ではありません。充電を完了させるには、動作を終了してから充電することをおすすめします。
- 照明設定の照明点灯時間設定で通常時を「常時点灯」にした状態で充電するなど、設定や充電のしかたによっては、充電が完了しない場合があります。
- 充電中にテレビ電話をかけたり、パケット通信や64Kデータ通信を行ったりすると、FOMA端末内部の温度が上昇し、充電が正常に終了しない場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がるのを待って充電を行ってください。

❖ACアダプタや卓上ホルダで充電する

別売のACアダプタの取扱説明書もご覧ください。

■ 卓上ホルダと組み合わせて充電する

① ACアダプタのコネクタを、矢印の表記面を上にして付属の卓上ホルダへ水平に差し込む
② ACアダプタの電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込む
③ FOMA端末を閉じた状態で、卓上ホルダに差し込む
　※ ランプが点灯したことを確認してください。充電が終了するとランプは消灯します。
④ 充電が終わったら、FOMA端末を卓上ホルダから取り外す

■ ACアダプタだけで充電する

① 外部接続端子キャップを開き（❶）、コネクタを矢印の表記面を上にして外部接続端子に水平に差し込む（❷）
② 電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込む
※ ランプが点灯したことを確認してください。充電が終了するとランプは消灯します。
③ 充電が終わったら、電源プラグをコンセントから抜き、コネクタの両側のリリースボタンを押しながら、FOMA端末から水平に引き抜く

❖自動車の中で充電するには

FOMA DCアダプタ01／02（別売）を使用すると、自動車の中でも充電できます。

- 詳しくは、DCアダプタの取扱説明書をご覧ください。
- FOMA端末を使用しないときや車から離れるときは、DCアダプタのシガーライタープラグをシガーライターソケットから外し、FOMA端末からDCアダプタのコネクタを抜いてください。
- DCアダプタのヒューズ（2A）は消耗品です。交換するときは、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

✔お知らせ

- ACアダプタやDCアダプタのコネクタを抜き差しする際は、コネクタ部分に無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。

❖充電中の動作と留意事項

充電が開始されると充電開始音が鳴り、ランプが点灯し、ディスプレイの電池アイコンが点滅します。充電が終わると充電完了音が鳴り、ランプは消灯し、電池アイコンの点滅も止まります。

- 充電を開始するとランプが「パプリカ」で点灯します。ただし、環境によっては充電開始時にすぐに点灯しない場合がありますが、故障ではありません。しばらくたっても点灯しない場合は、FOMA端末を一度ACアダプタや付属の卓上ホルダ、DCアダプタから外して、もう一度セットし直してから充電を行ってください。充電開始後、しばらくたっても点灯しない場合は、ドコモショップなどの窓口にお問い合わせください。
- 十分に充電されている電池パックをFOMA端末に取り付けてACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタに接続すると、ランプが一瞬点灯してすぐに消灯する場合がありますが、故障ではありません。
- 通話中や通信中、マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中、充電確認音が「OFF」の場合、充電開始時や完了時の確認音は鳴りません。
- 充電が完了してからも充電を続けていると、電池が消耗するため電池残量表示が100%にならない場合があります。
- 充電中はiC送信（ｉアプリタッチの利用を含む）ができません。

電池残量

ディスプレイに表示される電池アイコンで、電池残量の目安が確認できます。

(電池残量5)：十分残っています（81～100%）。
(電池残量4)：やや少なくなっています（61～80%）。
(電池残量3)：少なくなっています（41～60%）。
(電池残量2)：だいぶ少なくなっています（21～40%）。
(電池残量1)：ほとんどありません（20%以下）。充電が必要です。

- お買い上げ時の電池アイコンは、FOMA端末のカラーによって異なります。また、画面オフの状態からディスプレイの照明が点灯したときは、約3秒間だけ電池アイコンがパーセントの表示（1～100）になります。
- 電池残量の表示はあくまでも目安です。20%以下になった場合は、早めに充電してください。
- 使用状況によっては電池残量が大きく変動することがあります。
- お買い上げ時は、電池残量が40%になるとecoモード自動起動設定によりecoモードのON／OFFが切り替わります。

◆ 電池残量を音と表示で確認

電池残量を音と表示で確認できます。

1 MENU 8 7 3

電池残量が表示され、キー確認音（→P84）に設定した音が音量設定の電話着信音量で、残量に応じた回数分鳴ります。しばらくたつとメニュー一覧表示に戻ります。

❖電池が切れそうになると

電池残量が0%になると、電池がない旨のメッセージが表示されます。FOMA端末を開いた状態で●、CLR、⌐のいずれかを押すとメッセージは一時的に消えます。しばらくたつとスピーカーから電池アラームが鳴り、ディスプレイ上部のすべてのアイコンが点滅します。この約1分後に電源が切れます。充電を開始するとこれらの動作は止まりますが、すぐに電池アラームを止める場合は⌐を押します。

✔お知らせ

- 電池残量の表示精度を高くするため、残量情報の補正を行っています。補正情報は電池パック固有の情報のため、電池パックが交換された場合はリセットされます。このため、電池パックを取り付けた直後は、一時的に誤差が大きくなることがあります。
- 電池残量をパーセントで表示する場合、補正が行われる過程で表示が20%程度増減することがありますが、故障ではありません。ただし、残量20%程度の表示から補正が行われた場合は、急に0%の表示になり、電池アラームが鳴ることがありますのでご注意ください。
- 次の場合は、電池残量表示の誤差が一時的に大きくなる可能性があります。
  - 古い電池パック（使用頻度が高い電池パック）を使用した
  - 新しい電池パックと古い電池パックを交互に使用した
  - 電池パックとFOMA端末の温度差が大きい状態で使用した
  - 長時間放置した電池パックを使用した
- 3個以上の電池パックを交互に使用すると、電池残量の表示精度が極端に低くなる恐れがありますのでご注意ください。
- FOMA端末使用中は自動的に電池の使用状況が記録されます。この記録は故障修理の際の診断でのみ利用するものです。あらかじめご了承ください。

電源を入れる／切る

❖電源を入れる

1 [—]（2秒以上）

ウェイクアップ画面が表示された後、待受画面が表示されます。ドコモminiUIMカードの読み込み中は[□]が表示されます。

- ディスプレイに表示されるアンテナアイコンで、電波の受信レベルの目安が確認できます。

アイコン	[アンテナアイコン]	圏外
受信レベル	強 ←→ 弱	サービスエリア外や電波の届かない所

- お買い上げ時のアンテナアイコンは、FOMA端末のカラーによって異なります。
- 電源が入っている状態で電池パックを取り外してすぐに取り付け直すと、自動的に電源が入り、再起動の確認画面が表示されます。

❖電源を切る

1 [—]（2秒以上）

◆初めて電源を入れたとき（初期設定）

初めて電源を入れたときは、初期設定を行います。設定した内容は後から変更できます。

- 初期設定が終了すると、ソフトウェア更新機能の確認画面と端末エラー情報送信設定の確認画面が表示されます。

❖初期設定

- 端末暗証番号設定と位置提供可否設定は必ず設定してください。設定せずに終了すると、次に電源を入れたときに、再び初期設定画面が表示されます。

1 初期設定画面で各項目を設定▶[📷]［終了］

- 日付時刻設定→P49
- 端末暗証番号設定→P103
- 指紋設定（指紋登録）→P106
- キー確認音設定（操作確認音）→P84
- 文字サイズ設定→P99
- 位置提供可否設定→P260

メニュー操作から設定：[MENU][8][9][2]▶各項目を設定▶[📷]［終了］

❖Welcomeメールを確認する

お買い上げ時は、待受画面に[✉2]（未読メールの新着情報アイコン）が表示され、着信を知らせるランプが点滅します。

1 [●]▶新着情報アイコンを選択▶メールを選択

✔お知らせ

- ドコモminiUIMカードを差し替えたときは、電源を入れた後に認証操作を行う必要があります。誤った端末暗証番号を連続5回入力すると、電源が切れます（ただし、再び電源を入れることは可能です）。
- ディスプレイが表示されている状態で何も操作しないでいると、照明設定の画面オフ時間設定やecoモード設定に従って自動的に消灯します。音声電話中も同様です。操作をしたり、電話の着信などがあると、ディスプレイは再び点灯します。

日付時刻設定

時刻や時差を自動で補正するように設定するか、日付・時刻などを自分で入力します。

- 自動で補正するように設定すると、国内ではドコモのネットワークからの時刻情報を、海外では利用中の通信事業者のネットワークからの時差補正情報を受信した場合に補正します。

1 MENU 8 5 1 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷［登録］

自動時刻・時差補正：時刻や時差の補正を自動で行うかを設定します。

- 「ON」にすると、オフセット時間が設定できます。
- 「OFF」にすると、日付と時刻、タイムゾーン、サマータイムが設定できます。

オフセット時間：「＋」にすると、補正される時刻から設定した時間進めて、「－」にすると、補正される時刻から設定した時間遅らせて表示されます。

日付：2000年1月1日から2050年12月31日の間で日付を入力します。

時刻：24時間制で時刻を入力します。

タイムゾーン：時差のある場所に移動するとき、日付・時刻の設定を変更せずにタイムゾーンを設定します。

サマータイム：「ON」にすると、設定した時刻から1時間進めた時間が表示されます。

✔お知らせ

〈自動時刻・時差補正を「ON」に設定したとき〉

- 電源を入れたときに時刻や時差の補正を行います。電源を入れてもしばらく補正されない場合は、電源を入れ直してください。ただし、ドコモminiUIMカードを取り付けていない場合や電波状態によっては、電源を入れ直しても補正されません。
- 海外で時刻や時差の補正が行われた後は、発着信やメール送信などの表示時間は現地時間になります。
- 海外のネットワークによっては時差補正が行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 時刻や時差の補正には、数秒程度の誤差が生じる場合があります。

〈自動時刻・時差補正を「OFF」にして日付・時刻を設定したとき〉

- 電池パックの取り外しや電池が切れたまま長い間充電しなかったことによって日付・時刻が消去された場合は、充電後にもう一度日付・時刻を設定してください。

発信者番号通知設定

音声電話やテレビ電話をかけたときに、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させせます。

- 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- 相手の電話機が、発信者番号表示ができるときに表示されます。
- 圏外では設定の操作はできません。

1 MENU 7 4 3 2 ▶ 1 または 2

設定内容の確認：MENU 7 4 3 1 ▶「はい」

❖発信者番号通知の優先順位

自分の電話番号を相手に通知／非通知にする方法は複数あります。これらを同時に設定したり操作したりした場合、次の優先順位で番号通知動作が行われます。ただし、ディスプレイの表示と実際の通知／非通知が異なる場合があります。

① 発信時に発信オプションで番号通知方法を設定した場合→P57
② 相手の電話番号の前に「186」または「184」を付けた場合→P56
③ 電話帳の発番号設定→P76
④ 発信者番号通知設定→P49

✔お知らせ

- 電話をかけたときに番号通知お願いガイダンスが聞こえたときは、発信者番号通知を設定するか、「186」を付けてかけ直してください。

プロフィールの確認

機種名称、登録した名前、自局電話番号（ご契約電話番号）、メールアドレスなどを確認します。

- プロフィール登録→P322

1 MENU 0

通話中などに確認：MULTI ▶ 0

✔お知らせ

- ｉモードのメールアドレスの確認方法については『ご利用ガイドブック（ｉモード編）』をご覧ください。
- 2in1がデュアルモード時は、iα を押してAナンバーとBナンバーのプロフィールを切り替えられます。
- 2in1がONのときにドコモminiUIMカードを差し替えた（2in1契約者→2in1契約者）場合は、正しいBナンバーを取得するために、2in1をOFFにしてから再度2in1をONにするか、プロフィールからBナンバーを取得してください。→P358、360
- ドコモminiUIMカードを差し替えた（2in1契約者→2in1未契約者）場合も、正しいプロフィールに更新するために、2in1をOFFにしてください。

電話／テレビ電話

電話／テレビ電話のかけかた

電話／テレビ電話の受けかた

電話／テレビ電話に出られないとき／出られなかったとき

テレビ電話の設定

電話をかける

電話番号を入力したり、リダイヤル／着信履歴、伝言メモ、通話中音声メモの電話番号を選択したりして発信します。電話帳に電話番号を登録していれば、メールなどの各種履歴からも発信できます。

1 電話番号を入力（80桁以内）

- 同じ市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
- 訂正する場合はCLRを押します。

2 発信方法を選択

音声電話の発信：[発信キー]
テレビ電話の発信：[カメラキー]［テレビ電話］
テレビ電話接続中は、自分側の映像が表示されます。

3 通話が終わったら[終話キー]

✔お知らせ

〈音声電話・テレビ電話共通〉

- 登録済みフェムトセル圏内から発信した場合、発信中／呼出中／通話中画面にフェムトセル利用を示す文字が表示されます。
- 番号通知お願いガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を設定するか、「186」を付けてかけ直してください。
- 照明設定に関わらず、音声通話中は約3～5秒後に消灯し、テレビ電話中は消灯しません。ecoモードのON／OFF、ecoモード動作設定の設定内容によって消灯するまでの時間は異なります。

〈音声電話〉

- [発信キー]を押した後に電話番号を入力した場合は、約5秒後に電話がかかります。
- 音声電話を発信時にはっきりボイス動作中の場合は、揺れや移動状況などから行動を認識してさらに最適な音質に調整します。→P61

◆ 緊急通報

本FOMA端末から次の緊急通報に発信できます。

警察への通報：（局番なし）110
消防・救急への通報：（局番なし）119
海上での通報：（局番なし）118

✔お知らせ

- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、警察、消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、携帯電話からかけていることと、電話番号を伝えてから、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署、警察署に接続されない場合があります。
- テレビ電話動作設定の音声自動再発信が「ON」のとき、FOMA端末から110番、119番、118番へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。

◆ 災害用音声お届けサービス

災害時に音声メッセージをお届けするサービスです。メッセージを録音していただくと、SMSで相手先のお客様にお知らせします。また、相手先のお客様がメッセージを確認されると、お客様にSMSでお知らせします。

1 MENU 7 7 ▶「はい」▶メッセージに従って操作

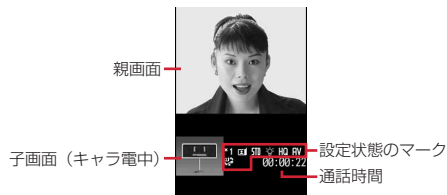
◆ テレビ電話

テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。

- テレビ電話は64kbpsでのみ通信できます。
- ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。
  - ※1 3GPP（3rd Generation Partnership Project）…第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体
  - ※2 3G-324M…第3世代携帯テレビ電話の国際規格

✔お知らせ

- テレビ電話中画面に「テレビ電話接続」と表示された時点から通話料金がかかります。
- テレビ電話のカメラ映像の代わりに代替画像を送信しても、通信料金は音声通話料ではなくデジタル通信料になります。
- テレビ電話が接続できなかった場合は、その理由がメッセージで表示され待受画面に戻ります。なお、相手の電話機の種類やネットワークサービスのご利用の有無により、実際の相手の状況とメッセージの表示が異なる場合があります。
  主なメッセージは次のとおりです。
  - **お話中です**：相手が話し中（相手の端末によっては、パケット通信中のときにも表示されることがある）
  - **発信者番号通知をONにしてください**：発信者番号が非通知
  - **音声電話でおかけ直しください**：相手が転送でんわサービスを設定していて転送先がテレビ電話非対応端末
  - **パケット通信中です**：相手がパケット通信中
  - **上限額を超過しているため接続出来ません**：リミット機能付料金プランの上限額を超過している
- ハンズフリー ON／OFFの切り替えはテレビ電話動作設定のハンズフリー設定に従います。
- 本FOMA端末はインカメラ非搭載のため、相手に送る画像はキャラ電、静止画、アウトカメラの映像となります。

❖テレビ電話中画面の見かた

- マークの意味は次のとおりです。
  ×1～×16: ズーム
  : カメラ映像送信中　: カメラオフ画像送信中　: キャラ電中
  : 静止画送信中　: 通話保留中　: 応答保留中
  : 伝言メモ録画中　: 動画メモ録画中
  Action／Parts: アクションモード（全体アクション／パーツアクション）
  STD: 撮影モード（標準）
  : ライトON
  ／HQ: 送信画質（動き優先／画質優先）
  A: 音声送受信中　V: 映像送受信中　AV: 音声・映像送受信中
  1～10: 受話音量調整中
  : テレビ電話切り替え可

リダイヤル／着信履歴

電話の発信と着信の履歴を記録しておく機能です。電話をかけ直したり、電話帳に登録したりします。

- リダイヤルと着信履歴はそれぞれ最大30件表示されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 MENU 7 3 ▶ 1 または 2

✔お知らせ

〈リダイヤル／着信履歴共通〉
- 通話中に電話／テレビ電話が切り替わっても、発着信時の種別が記録されます。
- 国際電話の場合は、電話番号の前に「+」が表示されます。「010」を付けて発信した場合は表示されません。
- 音声電話中に[ボタン]を押すと、リダイヤル／着信履歴が表示されます。
- 電話帳に画像登録時は、詳細画面の表示は画像／名前表示切替に従います。
- 2in1利用時は、リダイヤルと着信履歴はAナンバー最大30件、Bナンバー最大30件まで記録されます。
- 2in1利用時、Bナンバーのリダイヤル／着信履歴ではSMSは作成できません。

〈リダイヤル〉
- 同じ電話番号に発信した場合は、番号通知の「指定なし」「通知」「非通知」ごとに最新の1件がリダイヤルに記録されます。
- 同じ電話番号に声の宅配便で発信した場合は別のリダイヤルとして記録されます。
- マルチナンバー契約時、サブメニューからマルチナンバーを指定して発信した場合は、その名称が詳細画面に表示されます。

〈着信履歴〉
- 電話番号が通知されなかった場合は、発信者番号非通知理由が表示されます。
- 電話帳未登録でリダイヤルにある電話番号から着信した場合は、「折り返し着信」が表示されます。
- マルチナンバー契約時は着信したマルチナンバーの名称が詳細画面に表示されます。
- 会社などでダイヤルインを利用している相手から着信した場合、相手のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります（ダイヤルインとは、1本の回線で着信用の電話番号を複数持てるサービスです）。

❖リダイヤル／着信履歴の見かた

- マークの意味は次のとおりです。
  - [アイコン]／[アイコン]：音声電話／国際音声電話の発着信※1
  - [アイコン]／[アイコン]：テレビ電話／国際テレビ電話の発着信※1
  - [アイコン]／[アイコン]：フェムトセル在圏中の音声電話／国際音声電話の発着信
  - [アイコン]／[アイコン]：フェムトセル在圏中のテレビ電話／国際テレビ電話の発着信
  - [アイコン]：海外滞在時（UTC+09:00を除く）の発着信※2
  - [アイコン]：Bナンバーの発着信（2in1がデュアルモード時）
  - [アイコン]／[アイコン]：発信オプションまたは電話帳の発番号設定で設定した番号通知／非通知の発信
  - [アイコン]：声の宅配便で音声電話発信
  - [アイコン]／[アイコン]：不在着信／未確認不在着信
  - [アイコン]／[アイコン]：自動返信済みの不在着信／未確認不在着信※3
  - [アイコン]／[アイコン]：伝言メモ／未確認伝言メモ※4
  - [アイコン]／[アイコン]：自動返信済みの伝言メモ／未確認伝言メモ※3、4
  - [アイコン]／[アイコン]：64Kデータ通信／国際64Kデータ通信の着信
  - [アイコン]：不在着信の呼出時間

※1 「010」を直接入力または「010」を電話帳に登録して発信した場合は、国際電話のマークと「+」は表示されません。
※2 発着信日時が記録されていないときなどは表示されない場合があります。
※3 メール自動返信された着信で表示されます。自動返信が送信できなかった場合はその旨を通知するアイコンが表示されます。
※4 伝言メモを削除すると不在着信のマークに変わります。

❖不在着信

待受画面に[アイコン 2]（数字は件数）が表示され、着信履歴に不在着信として記録されます。

- 覚えのない番号からの不在着信があった場合、呼出時間により、着信履歴を残すことだけを目的としたような迷惑電話（「ワン切り」など）かどうかを確認できます。

◆ リダイヤル／着信履歴の操作

1 MENU 7 3 ▶ 1 または 2 ▶ 目的の操作を行う

詳細画面の表示：相手にカーソル▶ ● ［詳細］
電話の発信：相手にカーソル▶ ✆ または ｉα ［テレビ電話］
• 詳細画面で●を押すと、発着信時の方法で発信されます。
声の宅配便で発信：相手にカーソル▶ 📷 ［声宅配］
メール送信／受信履歴の表示：✉ ［送履歴／受履歴］

■ サブメニューからの操作

• リダイヤル／着信履歴一覧のサブメニューには「発信オプション」「マルチナンバー／自局番号」「居場所を確認」「登録」「削除」「リダイヤル」「着信履歴」「メール作成」が、リダイヤル／着信履歴詳細画面には「画像／名前表示切替」が、着信履歴一覧には「表示切替」「不在着信件数」があります。
• 「居場所を確認」では電話番号を検索対象として「イマドコかんたんサーチ」に接続します。イマドコかんたんサーチの詳細はドコモのホームページをご覧ください。
• 「登録」には電話帳への新規登録と更新登録があり、本体またはドコモminiUIMカードを選択します。更新登録する時は登録する電話帳を選択します。
• 「削除」する場合、1件削除ではカーソルを合わせたリダイヤル／着信履歴が削除されます。選択削除では選択操作▶ 📷 が、全件削除では認証操作が必要です。
• 「メール作成」ではｉモードメールまたはSMSを選択して作成します。
• 「画像／名前表示切替」で詳細画面の画像表示を設定します。
• 「表示切替」は着信詳細設定の呼出動作開始時間設定が「ON」のときに表示されます。「すべての履歴」では呼出開始時間内の不在着信を含むすべてが、「呼出開始時間外履歴」では呼出開始時間以上呼び出しされた着信履歴のみが表示されます。

声の宅配便

声の宅配便は、音声電話を利用して声のメッセージを相手に届けるサービスです。FOMA端末どうしであれば、相手を呼び出さずにメッセージを録音したり、録音されたメッセージを再生したりできます。

• 声の宅配便の詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。
• 声の宅配便サービスセンターに接続されるので、音声ガイダンスに従って操作します。
• メッセージは1件あたり最長15分、最大500件録音でき、720時間保存されます。また、最大5件保護でき、保護解除後は720時間経過後に自動的に削除されます。

■ 声の宅配便サービスの基本的な流れ

ステップ1：相手の電話番号に声の宅配便で電話をかけてメッセージを録音する
ステップ2：相手にSMSで通知される
ステップ3：相手がSMSから声の宅配便サービスセンターに電話をかけてメッセージを再生する
ステップ4：再生通知開始中はお客様のFOMA端末にSMSで通知される（初回再生時のみ）

■ 声の宅配便の通知SMSについて

声の宅配便では、新しくメッセージが録音されたり相手がメッセージを再生したりしたときに、SMSで通知されます。

• 録音または再生を通知するSMSは、SMS拒否設定に関わらず受信されます。
• メッセージを再生したことを相手に通知したくない場合は、声の宅配便の設定で再生通知を停止にします。お買い上げ時は、再生通知は開始に設定されています。また、メッセージの録音を通知するSMSを受けとりたくない場合は、声の宅配便サービスを停止してください。ただし、メッセージの録音を受け付けられなくなります。→P56
• SMS非対応端末でも声の宅配便を利用できますが、録音または再生を通知するSMSは受信できません。

✔お知らせ

• メッセージの録音・再生には通話料金がかかります。
• 声の宅配便サービスは、海外、マルチナンバーでは利用できません。ただし、海外で利用中でもメッセージの録音を受け付けることは可能です。

◆ メッセージの録音

相手の電話番号を入力するか相手を選択して声の宅配便サービスセンターへ発信すると、音声ガイダンスに従ってメッセージを録音できます。

1 電話番号を入力▶[iα]［声宅配］

電話帳から発信：[◎]▶電話帳検索▶相手を選択▶電話番号を表示▶[📷]［声宅配］

- 複数の電話番号を登録している場合、電話帳一覧で相手にカーソル▶[📷]▶電話番号を選択すると、選択した電話番号に声の宅配便で発信されます。

リダイヤル／着信履歴から発信：[MENU][7][3]▶[1]または[2]▶相手を選択▶[📷]［声宅配］

- 声の宅配便で発信したリダイヤルにカーソル▶[●]を押しても同様です。

✔お知らせ

- クイックダイヤル発信時は、メモリ番号を入力後に[iα]を押すと利用できます。
- 発信者番号を非通知にして発信しても声の宅配便のメッセージを録音できますが、相手が番号通知お願いサービス開始中の場合はメッセージを録音できません。また、SMSには非通知と表示されます。
- 発信側の電話番号が迷惑電話ストップサービスに登録されている場合はメッセージを録音できません。

◆ メッセージの確認や声の宅配便サービスの設定

録音されたメッセージを再生したり、声の宅配便サービスの設定を行います。

■ SMSから直接メッセージを再生する

メッセージが録音されるとSMSで通知されます。SMSからPhone To機能を使用して、メッセージを直接再生します。

1 [✉][1]▶フォルダを選択▶表示するSMSを選択

2 「再生」を選択▶[✉]［発信］

- 「設定」を選択すると声の宅配便サービスの設定を行います。

■ サイトからメッセージの確認／サービスの設定をする

声の宅配便サイトから録音されたメッセージを確認したり、サービスの設定ができます。

1 [MENU][7][8][1]▶「はい」

■ 音声ガイダンスからメッセージを再生する

音声ガイダンスに従ってメッセージを再生します。再生後に削除／保護／返信ができます。

1 [MENU][7][8][2]▶「はい」

■ 音声ガイダンスからサービスの設定をする

音声ガイダンスに従って声の宅配便サービスの開始／停止および再生通知の開始／停止を設定します。

1 [MENU][7][8][3]▶「はい」

✔お知らせ

- 発信者番号が非通知のメッセージを再生しても、再生を通知するSMSは送信されません。

番号通知（186）／非通知（184）

発信のたびに発信者番号の通知／非通知を設定できます。通知の場合は「186」を、非通知の場合は「184」を電話番号の前に入力します。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- 番号通知方法の優先順位→P49

1 「186（通知）または184（非通知）-電話番号」を入力▶[✓]または[📷]［テレビ電話］

✔お知らせ

- 国際電話では「186」を付けても、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されない場合があります。

発信オプション

発信方法や番号通知などの発信条件を発信ごとに設定します。

- 番号通知方法の優先順位→P49
- 海外から国際電話発信→P366

1 電話番号を入力▶MENU［サブメニュー］▶1▶各項目を設定▶✉［発信］またはiα［テレビ電話］

声の宅配便：声の宅配便での発信を設定
- 声の宅配便→P55
- 声の宅配便を「有効」にして✓を、または「指定なし」で📷を押すと声の宅配便で発信されます。
- 声の宅配便で発信したリダイヤルを選択した場合は、声の宅配便を「無効」にして✓または✉を押すと通常発信されます。

マルチナンバー／自局番号：発信番号を選択
マルチナンバーの発信方法→P357
- 「自局番号」は2in1がデュアルモードまたはBモード時に表示されます。

発信方法：発信方法を選択
- 発信方法を「テレビ電話」にしてiαを押すと、通話中に表示するキャラ電を選択できます。

番号通知：発信者番号の通知／非通知を設定
- 番号通知を「指定なし」にすると発信者番号通知設定に従います。

プレフィックス：先頭に付加する番号（プレフィックス）を選択→P59
国際電話発信：国際電話発信を設定
国際プレフィックス：日本から国際電話発信時の国際アクセス番号を選択
国番号：国際電話発信時の国番号を選択

✔お知らせ

- 発信方法の「SMS」は、SMS To機能を利用する場合などで選択できます。
- 受信／送信メール詳細画面からの操作時、またはPhone To（AV Phone To）機能利用時は、発信確認画面が表示される場合があります。「元の番号で発信」を選択すると、発信方法以外の設定が解除された状態で発信されます。
- 発信者番号通知を設定して発着信しても、利用している通信事業者によっては、発信者番号が通知されなかったり正しく番号表示されなかったりすることがあります。この場合、着信履歴から発信できません。

国際電話（WORLD CALL）

「WORLD CALL」は国内でドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話（音声電話・テレビ電話）サービスです。

FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。

- 海外利用→P364
- 音声電話は世界約240の国・地域にかけられます。海外の一般電話や携帯電話と音声電話がご利用できます。
- 国際テレビ電話は世界約50の国・地域にかけられます。テレビ電話に対応した海外通信事業者の携帯電話や一般電話と国際テレビ電話をご利用できます。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通話料金と合わせて請求させていただきます。
- 申込手数料・月額使用料は無料です。
- 「WORLD CALL」の詳細は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用いただく場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。
- 海外通信事業者によっては発信者番号が通知されないことや正しく表示されない場合があります。この場合、着信履歴を利用して電話をかけることはできません。
- 国際テレビ電話は接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。
- 接続可能な国および海外通信事業者などの情報については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

◆日本から海外に電話をかける

- 009130▶010▶国番号▶地域番号（市外局番）の先頭の「0」を除いた電話番号でもかけられます。
- 国番号を含めた電話番号を電話帳に登録できます。

〈例〉海外の一般電話へ電話をかける

1 「010-国番号-地域番号（市外局番）の先頭の0を除いた電話番号」を入力▶[発信]

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

海外の携帯電話へ電話をかける：「010-国番号-先頭の0を除いた携帯電話番号」を入力▶[発信]

❖「+」で国際電話を発信

[0]を1秒以上押すと「+」が入力されます。「+」の入力だけで、国際アクセス番号を入力しなくても国際電話をかけられます。

1 [0]（1秒以上）▶「国番号-地域番号（市外局番）の先頭の0を除いた電話番号」を入力▶[発信]▶「はい」

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

❖国際アクセス番号／国番号を指定して国際電話を発信

発信オプションで国際アクセス番号や国番号を選択して発信します。→P57

1 「地域番号（市外局番）-電話番号」を入力▶[MENU]［サブメニュー］▶[1]▶国際電話発信欄で[2]▶国際プレフィックス欄で国際アクセス番号を選択▶国番号欄で国番号を選択▶[✉]［発信］または[発信]▶「はい」

- 「元の番号で発信」を選択すると発信されません。

国際ダイヤルアシスト

国際電話発信時に利用する国番号と国際プレフィックスを簡単に呼び出せるように設定します。

❖自動変換機能

「+」を入力して国際アクセス番号を自動変換するかを設定します。また、海外から電話をかけるときに国番号を付加するかを設定します。

1 [MENU][9][9][5][1]▶各項目を設定▶[📷]［登録］

国番号変換：「ON」を選択して国番号を選択

- 海外で電話をかけるときに有効です。

国際プレフィックス変換：「ON」を選択して国際アクセス番号を選択

❖国番号

国際電話をかけるときに必要な国番号を最大22件登録できます。

1 [MENU][9][9][5][2]▶目的の操作を行う

- 修正するときは、国番号を選択して国名称を全角8（半角16）文字以内で、国番号を5桁以内で入力▶[📷]を押します。登録済みの国番号を削除した場合は、「〈未登録〉」を押すと新規登録できます。
- 国番号にカーソル▶[📷]を押すと、自動変換されます。
- サブメニューから削除を選択すると、カーソルを合わせた国番号が削除されます。

❖国際プレフィックス

国際電話をかけるときに電話番号の先頭に付加する国際アクセス番号を最大3件登録できます。

1 [MENU][9][9][5][3]▶目的の操作を行う

- 登録するときは、「〈未登録〉」を選択して名称を全角8（半角16）文字以内で、国際アクセス番号を10桁以内で入力▶[📷]を押します。登録済みの国際アクセス番号を選択すると修正できます。
- 国際アクセス番号にカーソル▶[📷]を押すと、自動変換されます。
- サブメニューから削除を選択すると、カーソルを合わせた国際アクセス番号が削除されます。

プッシュ信号（DTMF）

プッシュ信号を送って対応する各種サービスを操作します。ネットワークサービスの操作も行えます。
- ポーズとタイマーは音声電話にのみ有効です。

■ ポーズ「P」送出

ご自宅の留守番電話の操作、チケットの予約、銀行の残高照会などのサービスに利用します。

1 電話番号を入力▶[＊]（1秒以上）▶番号を入力▶[発信]

2 電話がつながったら[●]［実行］

ポーズ（「P」）以降の番号が送出されます。

■ タイマー「T」送出

外線番号に続けて内線番号を入力するときなどに利用します。

1 電話番号を入力▶[#]（1秒以上）▶内線番号を入力▶[発信]

外線番号に続いて、タイマー（「T」）1つにつき約1秒間の間隔をとって内線番号が送信されます。
- タイマー（「T」）は連続して入力できます。

■ テレビ電話中DTMF送信

テレビ電話中にプッシュ信号を送信します。

1 通話中に番号を入力▶プッシュ信号が送出される

送出解除：[CLR]
- 静止画送信中、キャラ電中は[MENU][7]を押して番号を入力します。このとき、送信中の静止画は解除され、ダイヤルキーによるキャラ電のアクション操作はできません。

✔お知らせ
- プッシュ信号は、受信側の機器によっては受信できない場合があります。
- 通話を保留にして別の相手にポーズ（「P」）、タイマー（「T」）を入力して電話をかけることはできません。

発信詳細設定

発信時に利用する機能の詳細を設定します。

1 [MENU][7][4][5]

2 目的の操作を行う

サブアドレス設定：[1]▶[1]または[2]

サブアドレスを指定して特定の端末を呼び出すかを設定します。
- サブアドレスとは、1つのISDN回線で複数の機器を接続している場合などに特定の機器を呼び出すときに使う番号です。

プレフィックス設定：[2]▶入力欄に番号を入力（10桁以内）▶[📷]［登録］

「184」「186」など電話番号の先頭に付加するプレフィックスをあらかじめ登録します。
- プレフィックスは最大3件登録できます。

❖サブアドレス指定発信

サブアドレスをつけて発信します。

1 「電話番号-＊-サブアドレスの番号」を入力▶[発信]または[📷]［テレビ電話］

- ポーズ（「P」）やタイマー（「T」）の後に「＊」を入力すると、サブアドレスではなく「＊」を含んだプッシュ信号として送出されます。

❖プレフィックス指定発信

プレフィックスを選択して発信します。

1 電話番号を入力▶[MENU]［サブメニュー］▶[1]▶プレフィックス欄でプレフィックスを選択▶[✉]［発信］または[iα]［テレビ電話］▶「はい」

- プレフィックスにポーズ（「P」）やタイマー（「T」）を含めた場合は発信できません。

ハンズフリー対応機器の利用

FOMA端末をカーナビなどのハンズフリー対応機器とUSBケーブル接続またはBluetooth接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。

- ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth通信対応のハンズフリー機器と接続するには、FOMA端末で機器登録や接続が必要です。→P329

✔お知らせ

- ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定のときは、マナーモードや着信音の設定に左右されません。また、通話中クローズ設定に関わらず、FOMA端末を閉じても通話は継続されます。
- 伝言メモ設定中の着信動作は、伝言メモの設定に従います。

通話中保留

- 通話保留音の設定→P62

1 通話中に[●]［保留］

通話が保留になり、ランプがミントで点滅し、メロディが流れます。テレビ電話のときは、自分と相手にテレビ電話保留中画像が表示されます。

通話中保留の解除：[●]［解除］または[発信]

テレビ電話通話中保留の解除：次のいずれかを押す

[●]［解除］：保留前に送信していた画像に戻る

[iα]［カメラ画像］：カメラ映像が送信される

[✉]［代替画像］／[発信]：代替画像が送信される

✔お知らせ

- 保留中も発信側に通話料金がかかります。
- 保留中は、3分経過するごとに5回までFOMA端末が振動します。ただし、公共モード（ドライブモード）中、オリジナルマナーモード中でオリジナルマナーモードのバイブレータが「OFF」の場合、サイレントマナーモード中は振動しません。

ハンズフリーの利用

FOMA端末を持たずに、スピーカーから相手の声が聞こえる状態で通話します。

- ハンズフリーONにすると音量が急に大きくなります。FOMA端末を耳から離して使用してください。
- FOMA端末に向かって約50cm以内の距離でお話しください。周囲や相手側の雑音が大きく、スピーカーから相手の声が聞き取りにくい場合は、ハンズフリーOFFにしてください。
- マナーモード中でも本機能を利用できます。

1 通話中に[発信]

画面上部に🔈が表示されます。

解除：ハンズフリーONで通話中に[発信]

ハンズフリーONで発信：電話番号を入力▶[発信]（1秒以上）または[📷]［テレビ電話］

- 電話帳または各種履歴から操作するときは、相手にカーソル▶[発信]（1秒以上）または[iα]を押します。
- 発信中／呼出中は、[発信]を押すたびに切り替えられます。

✔お知らせ

- テレビ電話動作設定のハンズフリー設定が「OFF」のとき、ハンズフリーONで発信する場合は、[📷]、[iα]のいずれかを1秒以上押します。

通話中の受話音量調整

通話中に受話音量を変更して、聞き取りやすくします。

- 本設定は音量設定の受話音量に反映されます。→P83
- ハンズフリーONで通話中の音量は通話終了後も保持されますが、受話音量には反映されません。

1 通話中に[▲▼]または[▲][▼]

はっきりボイス

音声電話中に、周囲の騒音に応じて最適な方法で調整し、聞き取りやすくします。また、相手や自分の声が小さいときにも自動で音量を大きくします。

- ハンズフリー ONで通話中、イヤホン使用時、海外のGSM/GPRSネットワークでは動作しません。
- 通話終了後も設定は保持されます。
- 本機能は受話音量を調整するためのものではありません。相手の声の音量は、受話音量で調整してください。→P83

1 音声電話中に MENU 7

ONにすると、「はっきりボイス」が青で表示されます。ONでも動作しないときはグレーで表示されます。

- 周囲の騒音から「静か」「騒がしい」「人ごみ」を判断し、最適な音質に調整します。このとき、調整結果を示すアイコンが表示されます。

解除：**はっきりボイスON中に MENU 7**

■ ぴったりボイス

はっきりボイスが動作している音声電話中には、揺れや移動状況などから現在の行動を認識して、はっきりボイスよりさらに最適な音質に調整します。

- 「新幹線乗車中」「歩行中」「走行中」を認識し、さらに最適な音質に調整します。このとき、認識した行動を示すアイコンがはっきりボイス動作中のアイコンとともに表示されます。
- 電池残量が少ない場合、ぴったりボイスは動作しませんがはっきりボイスによる調整は動作します。
- 海外の3Gネットワークで「新幹線乗車中」が表示される場合もあります。

ゆっくりボイス

音声電話中に、無音区間を利用して相手の話す声がゆっくり聞こえるように調節し、聞き取りやすくします。

- 相手が区切りのない話しかたをしたときなどは通常の速度で聞こえます。
- 海外のGSM/GPRSネットワークでは動作しません。
- 通話終了後、設定は解除されます。

1 音声電話中に ✉ ［ゆっくり／元の速さ］

ONにすると、「ゆっくりボイス」が赤で表示されます。ONでも動作しないときはグレーで表示されます。

- ゆっくりボイスをONにすると、相手の声質、音楽や時報などが変化する場合があります。

電話／テレビ電話切替

電話／テレビ電話切り替え対応機種どうしであれば、発信側からの操作で、音声電話をテレビ電話に、テレビ電話を音声電話に切り替えられます。

- 切り替え操作を行う／切り替えに応じるには、着信側がテレビ電話切替機能通知を開始にしている必要があります。→P68

❖発信側での切り替え操作

通話中に切り替え操作を行います。

〈例〉音声電話中にテレビ電話に切り替える

1 音声電話中に iα ［テレビ電話］▶「はい」

テレビ電話中の切り替え：**テレビ電話中に MENU ［サブメニュー］▶ 1 ▶「はい」**

❖着信側での対応

通話中に切り替え要求を受けると、電話を切り替える旨のガイダンスが流れて自動的に通話が切り替わります。

✔お知らせ
- 切り替えには5秒程度かかります。電波状態によっては、さらに時間がかかったり、切り替えができずに電話が切れたりする場合があります。切り替え中は通話時間に含まれず、料金は加算されません。
- 音声電話に切り替わるとハンズフリー OFFの、テレビ電話に切り替わるとハンズフリー ONの通話になります。
- キャッチホンでの音声電話中または相手側がパケット通信中はテレビ電話に切り替えられません。
- 音声電話中にパケット通信を行っている場合は、パケット通信を切断してテレビ電話に切り替えます。
- テレビ電話中に行った設定（→P67）は、音声電話切り替え時に解除されます。

通話中音声メモ／動画メモ

通話中に相手の声や画像を録音／録画します。

- 通話中音声メモは、1件につき最大30秒、待受中音声メモと合わせて最大4件録音できます。→P323
- 動画メモは、1件につき最大30秒録画できます。ｉモーション・ムービーの「カメラ」に保存され、保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは録画できません。
- 通話中音声メモの操作→P67
- 動画メモの再生（→P278）、削除（→P298）

1 通話中に▲（1秒以上）

録音／録画が開始されます。
- 録音／録画時間残り約5秒になると終了予告音（ピピッ）が、終了時には終了音（ピーッ）が鳴ります。
- 動画メモ録画中に●を押すと、録画時間の経過表示と通話時間表示が切り替わります。
- 動画メモ録画中は、テレビ電話画像選択の動画メモ画像の設定に従って画像が相手に送信されます。

停止：**録音／録画中に▲（1秒以上）**

✔お知らせ
- ガイダンスによっては録音できないものがあります。
- 電波の状態により、録音内容が途切れたり、録画画像が乱れたりする場合があります。

通話中詳細設定

通話中に利用する機能の詳細を設定します。

1 MENU 7 4 7

2 目的の操作を行う

通話品質アラーム音：**1▶1～3**
音声電話中に通話が途切れそうなときに鳴らすアラームを設定します。
再接続アラーム音：**2▶1～3**
途切れた通話を再接続するまでに鳴らすアラームを設定します。
ノイズキャンセラ設定：**3▶1または2**
通話を明瞭にするためノイズを抑えるかを設定します。
通話中クローズ設定：**4▶動作を選択**
通話中にFOMA端末を閉じたときの動作を設定します。
応答保留ガイダンス設定：**5 1▶各項目を設定▶📷［登録］**
- 内蔵音を設定するときは保留音欄で1を、自分の声を録音するときは2▶ガイダンスの編集欄で「録音」を押します。1件約10秒録音できます。録音データがあるときは「削除」ができます。

通話保留音：**5 2▶保留音を選択**
受話音量：**6▶✥または▲▼▶●［決定］**
- 受話音量は音量設定にも反映されます。

✔お知らせ
- 通話品質アラーム音の設定に関わらず、利用状態や電波状態によりアラームが鳴らずに通話が切れる場合があります。
- 利用状態や電波状態により再接続されるまでの時間は異なります（目安は最長10秒間）。再接続されるまで相手は無音状態となり、その間もかけた方に通話料金がかかります。
- ノイズキャンセラ設定は、通常は「ON」にした状態で使用することをおすすめします。
- 通話中クローズ設定が「通話継続（マイクミュート）」でハンズフリー ONのとき、自分の声は相手に聞こえませんが、相手の声がスピーカーから聞こえます。また、テレビ電話でカメラ映像送信中は代替画像が送信されます。
- 通話中クローズ設定の設定に関わらず、ステレオイヤホンマイク（別売）を接続中、ハンズフリー対応機器接続時に接続先機器から音を鳴らすように設定中、伝言メモ録音／録画中はFOMA端末を閉じても通話は継続されます。
- 応答保留ガイダンス設定で録音データを削除すると、内蔵音に戻ります。

電話を受ける

1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、ランプが点灯または点滅します。
[キー]：着信音量調整
[キー]：着信音、バイブレータの動作停止

2 応答方法を選択

音声電話に応答：[キー]
テレビ電話に応答：[キー]または[キー]［テレビ電話］
テレビ電話接続中は、自分側の映像が表示されます。

3 通話が終わったら[キー]

■ 着信中の表示

電話番号が通知されたときは電話番号が、電話番号を電話帳に登録しているときは登録している名前が表示されます。→P72

■ 発信者番号非通知理由

電話番号が通知されなかったときは、発信者番号非通知理由が表示されます。
非通知設定：発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
公衆電話：公衆電話などから発信した場合
通知不可能：海外や一般電話から各種転送サービスを経由した場合など、発信者番号を通知できない状態で発信した場合（経由する電話会社によっては通知される場合もあります）

✔お知らせ

- 留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかを契約済みで、通話中の着信動作選択が「通常着信」の場合、音声電話中に別の音声電話が着信すると「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえます。このとき、留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービス開始中は各サービスが動作します。
- FOMA端末からの転送電話着信時、転送元によっては電話番号や名前が表示されない場合があります。
- サブアドレスが通知されてきた場合、発信者番号の後ろに「＊」とサブアドレスが表示されます。
- 国際電話の場合は、発信者番号の先頭に「＋」が表示されます。
- 電話帳未登録でリダイヤルにある電話番号から着信した場合は、「折り返し着信」が表示されます。
- 音声電話応答時にはっきりボイス動作中の場合は、揺れや移動状況などから行動を認識してさらに最適な音質に調整します。→P61

❖着信中のサブメニューからの操作

着信中にサブメニューから次の操作ができます。
着信拒否：電話を受けずに切断
留守番電話：留守番電話サービスセンターに接続
転送でんわ：転送先に転送

応答保留

着信時にすぐに電話に出られないときは応答保留にします。

- 応答保留中も発信側に通話料金がかかります。
- 応答保留ガイダンスの設定→P62

1 着信中に[キー]

応答保留になり、相手に応答保留ガイダンスが流れます。テレビ電話の場合は、自分と相手にテレビ電話応答保留画像が表示されます。

2 電話に出られる状態になったら応答方法を選択

音声電話に応答：[キー]
テレビ電話に応答：[キー]または[キー]［テレビ電話］

- 応答保留中に[キー]を押すか相手が電話を切ると、通話が終了します。

着信詳細設定

着信時に利用する機能の詳細を設定します。

- 呼出動作開始時間設定→P120

1 MENU 7 4 6

2 **目的の操作を行う**

エニーキーアンサー設定： 1 ▶ 1 または 2

- 音声電話着信時に 以外のキー（0～9、●、、#）を押しても応答できます。

オート着信設定： 2 ▶ **各項目を選択** ▶ 📷［登録］

ステレオイヤホンマイク 01（別売）などを接続中の着信に自動的に応答できます。

マルチアクセス中表示： 4 ▶ **優先表示を設定**

- 着信時にマルチアクセス中となった場合に優先表示する画面を設定します。

着信中オープン応答： 5 ▶ 1 または 2

- 音声電話着信時、FOMA端末を開いて応答できます。

✔お知らせ

- エニーキーアンサー設定が「ON」でも、通話中の着信時は動作しません。
- オート着信設定の自動着信機能が「オート着信あり」でも、通話中の着信時や公共モード中は動作しません。また、自動着信時間を呼出動作開始時間設定の時間以内にすると、電話帳未登録の相手からの着信時には動作しません。
- マルチアクセス中表示が「設定なし」のときは後から着信した画面が表示されます。「パケット通信表示優先」でも、MULTIで画面切替メニューを呼び出して電話に切り替えられます。
- 着信中オープン応答が「ON」のときは、応答保留中、伝言メモ応答ガイダンス中、伝言メモ録音中でもFOMA端末を開いて応答できます。通話中または保留中の着信時にも動作します。

公共モードの利用

公共モード（ドライブモード／電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。

- テレビ電話着信時は、相手に公共モードの映像ガイダンスが表示されます。
- 公共モードとネットワークサービスを同時に設定している場合、留守番電話サービス※1、転送でんわサービス※1、番号通知お願いサービス※2は、公共モードに優先して動作します。

  ※1 呼出時間が「0秒」以外での音声電話に対しては、公共モードのガイダンスの後にサービスが動作します。

  ※2 相手が電話番号を通知している場合は、公共モードが動作します。
- 迷惑電話ストップサービスで着信拒否した相手からの電話に対しては、公共モードは動作しません。

◆ 公共モード（ドライブモード）

公共モード（ドライブモード）を設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控えるような場所（電車、バス、映画館など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

- 待受中に設定／解除できます。圏外でも可能です。
- 本機能設定中は、次の動作となります。
  - 通常通り電話をかけることができます。
  - 緊急通報（110番、119番、118番）すると、応答可能とするために設定は解除されます。
  - マナーモードや伝言メモより優先して動作します。

1 **（1秒以上）**

公共モード（ドライブモード）が設定され、待受画面にが表示されます。

解除： **（1秒以上）**

■ 公共モード（ドライブモード）を起動すると

本機能設定中、音声電話／テレビ電話着信時はFOMA端末は着信動作を行わず、待受画面に 2(数字は件数）が表示され、不在着信として記録されます。メール着信時は、着信音は鳴らず、待受画面に 2(数字は件数）が表示されます。

- 電源が入っていないときや電波が届かない所にいるときは、公共モード（ドライブモード）のガイダンスは流れず、圏外時と同じガイダンスが流れます。
- 次の音が鳴りません。また、バイブレータやランプも動作しません。
  - 電話、メール・メッセージ（メール・メッセージ問合せ時を除く）、ｉコンシェルの着信音
  - お知らせタイマー、アラーム、メモのアラームの音
  - ｉアプリのサウンド、ｉウィジェットの効果音
  - 通話料金上限通知（通話料金上限通知を「ON」にし、アラームを設定している場合でも、メッセージは表示されません）
  - 充電開始／完了音、電池アラーム音、GPS測位中の音、バーコードリーダーの読取確認音
- エリアメール設定で公共モード中に音が鳴るように設定している場合は、エリアメール受信時に専用ブザー音や専用着信音が鳴ります。
- ｉチャネルのテロップは表示されません。

◆ 公共モード（電源OFF）

公共モード（電源OFF）を設定すると、電源をOFFにしている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

- ダイヤル発信して設定します。音声ガイダンスで設定／解除をお知らせします。

1 「＊25251」を入力▶

公共モード（電源OFF）が設定されます。待受画面にアイコンなどは表示されません。

解除：「＊25250」を入力▶

設定の確認：「＊25259」を入力▶

■ 公共モード（電源OFF）を起動すると

- 「＊25250」をダイヤルして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。
- サービスエリア外または電波が届かない所にいる場合も、公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れます。

伝言メモ

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときに応答ガイダンスが流れ、相手の用件が録音／録画されます。

- 音声電話とテレビ電話を合わせて最大4件、１件につき約30秒間録音／録画できます。

1 MENU 7 2 4 ▶ 1 または 2

「ON」にすると、待受画面にが表示されます。

✔お知らせ

- 応答ガイダンス中、伝言メモ録音／録画中でもを押すと電話に出ることができます。テレビ電話の場合はを押しても出られます。このとき、電話を受けるまでの録音／録画内容は記録されません。
- 圏外では伝言メモは動作しません。留守番電話サービス開始中は留守番電話サービスが動作します。
- 伝言メモが4件録音／録画されると、待受画面にが表示され、伝言メモおよびクイック伝言メモは動作しません。不要な伝言メモを削除してください。留守番電話サービスまたは転送でんわサービス開始中は各サービスが動作します。
- オリジナルマナーモード中は、オリジナルマナーモードの伝言メモに従います。
- 2in1利用時、AナンバーとBナンバーに着信した伝言メモを合わせて最大4件録音／録画できます。表示はモードによって異なります。

❖伝言メモ応答時間設定

着信してから伝言メモが応答するまでの時間を設定します。

1 MENU 7 2 4 3 ▶時間を入力

❖伝言メモ応答ガイダンス設定

伝言メモ応答中に流すガイダンスを設定します。

1 MENU 7 2 4 4 ▶各項目を設定▶ 📷 ［登録］

- 内蔵音を設定するときは、伝言メモ応答ガイダンス欄で 1 を押します。
- 自分の声を録音するときは、伝言メモ応答ガイダンス欄で 2 ▶ガイダンスの編集欄で「録音」を押します。1件約10秒録音できます。
- ガイダンスを確認するときは、応答ガイダンスを選択後にガイダンスの編集欄で「再生」を選択します。
- 録音したガイダンスを削除すると、内蔵音に戻ります。

◆クイック伝言メモ

伝言メモを起動していなくても、その着信に限り1回だけ相手の用件を録音／録画できます。
- 伝言メモを起動する操作ではありません。

1 着信中に ▲ （1秒以上）

伝言メモ／音声メモの操作

伝言メモ、通話中音声メモ、待受中音声メモを再生／削除します。また、メモから電話をかけたり電話帳に登録したりします。

1 MENU 7 2

2 目的の操作を行う

伝言メモの再生：1 ▶メモを選択▶削除するかを選択

〈例〉伝言メモ一覧画面

- マークの意味は次のとおりです。
  - ／：伝言メモ／再生済み伝言メモ
  - ／：テレビ電話伝言メモ／再生済み伝言メモ
  - ／表示なし：通話中音声メモ／待受中音声メモ※1
  - ：Bナンバーの発着信（2in1がデュアルモード時）
  - ：海外滞在時（UTC+9:00を除く）※2
  - ：国際電話の伝言メモまたは通話中音声メモ

※1 待受中音声メモの名前欄には「音声メモ」と表示されます。

※2 着信または録音日時が記録されていないときなど、表示されない場合があります。

- 再生中は次の操作ができます。
  - ：音量調整
  - ●：停止
  - ：ハンズフリー ON／OFFの切り替え
- テレビ電話伝言メモ再生中はハンズフリー ONで再生され、OFFへの切り替えはできません。マナーモード中には音声の再生確認画面が表示され、「いいえ」を選択すると消音で再生されます。

音声メモの再生：2▶メモを選択▶削除するかを選択
伝言メモの削除：1▶メモにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶2▶1または2▶「はい」
音声メモの削除：2▶メモにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶2▶1または2▶「はい」
- 1件削除ではカーソルを合わせたメモが削除されます。
- 全件削除では認証操作が必要です。

電話の発信※：1または2▶メモにカーソル▶発信またはiα［テレビ電話］
- MENU 3を押すと、発信オプションを利用できます。→P57

電話帳に登録※：1または2▶メモにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶4または5▶1または2
- 更新登録するときは登録する電話帳を選択します。

※ 待受中音声メモでは利用できません。

テレビ電話中の表示設定

テレビ電話で会話しながら、送信する映像／画像を変更したり、画面表示を変更したりできます。

◆ 通話中送信映像の設定

1 通話中に目的の操作を行う

カメラ映像／代替画像の切り替え：✉［カメラ画像／代替画像］
ライト点灯／消灯※1：iα
- 通話中の設定操作などで一時的にライトが消える場合があります。

表示倍率の切り替え〈ズーム〉※1：🔘
映像の明るさ調整※1、2：MENU［サブメニュー］▶2 1▶明るさを選択
ちらつき調整※1、2：MENU［サブメニュー］▶2 2▶周波数を選択
お使いの地域の電源周波数に合った設定に切り替えると、ちらつきが抑えられる場合があります。
鏡像表示／正像表示の切り替え※1、2：MENU［サブメニュー］▶2 3
お互いの映像を見ながらの通話中、カメラ映像の左右を相手側と自分側で同じにします。
キャラ電設定：MENU 3 1 1▶フォルダを選択▶キャラ電にカーソル▶📷［決定］
- キャラ電送信中に次の操作ができます。
  1～9、#：対応するアクションの実行
  0：アクションの中止
  iα：アクション一覧の表示
  iα（1秒以上）：全体アクションとパーツアクションの切り替え
- キャラ電の表示→P282

カメラオフ画像の送信：MENU［サブメニュー］▶3 2
テレビ電話画像選択の代替画像で設定した代替画像が送信されます。
- 代替画像にキャラ電を設定していると標準画像が送信されます。

静止画の送信：MENU［サブメニュー］▶3 3▶フォルダを選択▶静止画を選択
- 解除するときは●を押します。

送信／受信画像品質の設定：MENU［サブメニュー］▶5▶1または2▶画質を選択
- 「動き優先」では動きが滑らかになりますが画質がやや粗くなり、「画質優先」では画質は細やかになりますが動きがやや鈍くなります。
- 受信画質を変更すると、相手の送信画質に反映されます。

※1 カメラ映像送信中のみ設定できます。
※2 通話終了後も設定は保持されます。

◆ 通話中画面表示の設定

- 通話終了後も設定は保持されます。

1 通話中に目的の操作を行う

親子画面の表示切り替え：📷［画面切替］
親画面のサイズ変更：📷（1秒以上）
- 押すたびに大→中→小→大の順に切り替わります。

画面表示の設定：MENU［サブメニュー］▶6▶各項目を設定▶📷［登録］
各項目設定→P68「テレビ電話動作設定」

テレビ電話切替機能通知

本FOMA端末が電話／テレビ電話切替機能対応であることをネットワークに通知するように設定します。

- 圏外では設定できません。
- お買い上げ時は、テレビ電話切替機能通知は開始に設定されています。

1 MENU 7 5 6 ▶ 1 ～ 3 ▶「はい」

テレビ電話画像選択

テレビ電話中に相手に送信する各種画像を設定します。

- サイズが176×144より大きい静止画、アニメーション、JPEG形式またはGIF形式以外の静止画、FOMA端末外への出力が禁止されている画像は送信画像に設定できません。

1 MENU 7 5 5 ▶ **画像を選択** ▶ **各項目を設定** ▶ 📷［登録］

イメージ表示：画像の種類を設定
イメージ一覧：イメージ表示が「選択キャラ電」（代替画像設定のみ）または「イメージ」のときに選択

✔お知らせ

- 代替画像に設定したキャラ電を削除した場合、代替画像は標準キャラ電に戻ります。静止画、標準キャラ電を削除した場合は標準画像になります。
- 伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像に設定した静止画を削除した場合は標準画像に戻ります。

テレビ電話動作設定

テレビ電話が接続できなかったときの動作やテレビ電話中の画面などを設定します。

- 相手へのアクセスをより確実なものとするために、音声自動再発信があります。「ON」にすると、テレビ電話をかけた相手がテレビ電話に対応していない端末の場合などに、音声電話に切り替えて再発信します。ただし、ISDN同期64Kのアクセスポイント、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など（2012年11月現在）、間違い電話をした場合は、このような動作にならないことがあります。通話料金が発生する場合もあるためご注意ください。

1 MENU 7 5 4 ▶ **各項目を設定** ▶ 📷［登録］

音声自動再発信：接続不可の場合の音声電話による再発信を設定
テレビ電話画面設定：画面表示を設定
子画面表示：子画面表示を設定
- テレビ電話画面設定を「両方」にすると設定できます。

画面サイズ設定：親画面表示サイズを設定
受信画質設定：相手からの受信画質を設定
明るさ調整：「端末設定に従う」選択時は照明設定の明るさ調整に従う
ハンズフリー設定：接続時のハンズフリー ON／OFFを設定

✔お知らせ

- 音声自動再発信が「ON」でも、音声電話中または64Kデータ通信中はテレビ電話を発信できません。ただし、パソコンとつないだパケット通信中はテレビ電話を発信すると音声電話で再発信されます。
- 音声自動再発信が「ON」で、音声で再発信したときの通話料金はデジタル通信料ではなく音声通話料になります。

パケット通信中着信設定

ｉモード中、Music&Videoチャネルの番組取得中にテレビ電話がかかってきたときの応答方法を設定します。

1 MENU 7 5 3 ▶ 応答方法を選択

- 「テレビ電話優先」にすると着信画面表示が優先され、テレビ電話に出るとパケット通信が切断されます。テレビ電話着信時がｉモード中の場合は、通話終了後ｉモードの画面に戻ります。Music&Videoチャネルの番組取得中の場合は番組取得が再開されます。
- 「パケット通信優先」にすると着信画面は表示されずに切断され、着信履歴に記録されます。
- 「留守番電話」「転送でんわ」にすると、留守番電話サービスまたは転送でんわサービスが停止中でも各サービスが動作します。

✔お知らせ

- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービス未契約時は、「留守番電話」または「転送でんわ」にしても「パケット通信優先」の動作となります。
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始にし、呼出時間が「0秒」の場合は、本設定に関わらず各サービスが動作し、着信履歴には記録されません。

テレビ電話使用機器設定

パソコンなどの外部機器とFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル02（別売）で接続することで、外部機器からテレビ電話の発着信操作ができます。
この機能を利用するためには、専用の外部機器、またはパソコンにテレビ電話アプリケーションをインストールし、さらにパソコン側にイヤホンマイクやUSB対応Webカメラなどの機器（市販品）を用意する必要があります。

- テレビ電話アプリケーションの動作環境や設定、操作方法については、外部機器の取扱説明書などをご覧ください。
- 本機能対応アプリケーションとして、「ドコモテレビ電話ソフト」をご利用いただけます。ドコモテレビ電話ソフトはドコモのホームページからダウンロードしてご利用ください。

1 MENU 7 5 7 ▶ 1 または 2

✔お知らせ

- 音声電話中は、外部機器からテレビ電話をかけられません。
- キャッチホン契約中は、音声電話中に外部機器からのテレビ電話の着信があった場合、着信履歴に不在着信として記録されます。外部機器からのテレビ電話中に音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信の着信があった場合も同様です。

電話帳

電話帳の種類

本FOMA端末では、FOMA端末電話帳とドコモUIMカード電話帳が使用できます。

○：可　×：不可

項目		FOMA端末電話帳	ドコモUIMカード電話帳
電話帳登録件数		最大2000件※1	最大50件
登録内容	メモリ番号	No.0000～1999	×
	名前	全角16（半角32）文字	全角10（半角21）文字※2
	フリガナ	半角32文字	全角12（半角25）文字※3
	画像・動画	○	×
	グループ	「グループなし」および30グループ	「グループなし」および10グループ
	電話番号	1件につき5番号、電話帳全体で最大6005番号※1	1件につき1番号
	電話番号アイコン	○	×
	メールアドレス	1件につき5アドレス、電話帳全体で最大6005アドレス※1	1件につき1アドレス
	メールアドレスアイコン	○	×
	その他の設定※4	○	×

※1 実際に登録できる件数は、登録内容により少なくなる場合があります。
※2 全角と半角が混在や半角カタカナを含む場合は10文字以内で入力します。
※3 全角と半角が混在の場合は12文字以内で入力します。
※4 設定できる項目は誕生日、テキストメモ、郵便番号／住所、位置情報、会社名、所属、役職名、URLです。
ｉコンシェルのインフォメーション（メモ、住所、URL）は、自動的に更新されます（ｉコンシェル契約の場合）。

- お客様のドコモminiUIMカードを他のFOMA端末に挿入しても、ドコモUIMカード電話帳を利用できます。
- ケータイデータお預かりサービスを利用して、FOMA端末電話帳を保存できます。保存した電話帳は、お預かりセンターに接続してFOMA端末に更新・復元できます。→P121

◆ 名前の表示

電話帳の名前は、電話帳を利用する他の機能でも表示されます。

■ 音声電話・テレビ電話

電話帳に登録した名前と電話番号が発着信中、呼出中、音声電話中の画面に表示されます。

■ ｉモードメール・SMS

電話帳に登録した名前が受信／送信／未送信メール一覧画面、メール詳細画面に表示されます。
メールを受信した際、発信元と電話帳のメールアドレスが@以降のドメイン名も含めて完全に一致すると、電話帳の名前が表示されます。ただし、発信元がｉモード端末の場合は、ドメイン名（@docomo.ne.jp）を省略して登録しても、電話帳の名前が表示されます。メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、「@docomo.ne.jp」を省略して電話帳に登録してください。

✔お知らせ

- FOMA端末電話帳に同じ電話番号／メールアドレスを異なる名前で登録している場合、先に登録した名前が表示されます。
- FOMA端末電話帳とドコモUIMカード電話帳に、同じ電話番号／メールアドレスを異なる名前で登録している場合、FOMA端末電話帳の名前が表示されます。

電話帳登録

FOMA端末電話帳またはドコモUIMカード電話帳に登録します。

- ドコモショップなど窓口での機種変更時など、新機種へ登録内容をコピーする際は、仕様によってはFOMA端末にコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- 最大登録件数→P72

◆ FOMA端末電話帳に登録

1 MENU 7 1 2 ▶名前を入力▶各項目を設定▶ 📷 ［登録］

メモリ番号：0000～1999までの任意の番号を設定します。10～1999までのうち、最も小さい空きメモリ番号が割り当てられています。空きがないときは、0～9が割り当てられます。

- メモリ番号が重複した場合は上書き確認画面が表示されます。上書きしない場合は「新規登録」を選択し、他の番号を入力してください。

フリガナ：フリガナ検索などで利用するフリガナを入力します。

- 名前を修正してもフリガナには反映されません。

画像選択・撮影：発着信時や電話帳確認時に表示するデータを登録します。

- フォルダから画像や動画／ｉモーションを選択するか、静止画や動画を撮影して設定できます。
- 画像のフォルダや一覧の見かた→P270
- 動画／ｉモーションのフォルダや一覧の見かた→P278
- 名刺リーダーからの電話帳登録時、静止画や動画の撮影は利用できません。
- 登録後に MENU を押すと画像を確認できます。● を押すと元の画面に戻ります。

グループ：「グループなし」に設定されています。

- FOMA端末電話帳では iα を押すとグループを追加できます。→P77

電話番号：26桁以内で入力します。ポーズ（「P」）、タイマー（「T」）、「＋」、「＃」、サブアドレスの区切り（「＊」）を登録できます。

- 1件目を登録すると追加登録する項目が表示されます。
- 「186」または「184」を付けた電話番号にSMS送信するとき、発信者番号の通知／非通知は設定できません。

メールアドレス：半角50文字以内で入力します。

- 1件目を登録すると追加登録する項目が表示されます。
シークレットコード設定→P76

誕生日：誕生日設定を「ON」にして誕生日を入力します。

- 入力した誕生日はスケジュールに表示されます。→P316

テキストメモ：全角100（半角200）文字以内で入力します。

郵便番号／住所：郵便番号は7桁、住所は全角100（半角200）文字以内で入力します。

位置情報：現在地や位置履歴などから位置情報を付加します。

- 位置情報利用メニュー→P258

会社名：全角50（半角100）文字以内で入力します。

- 名刺リーダーで読み取った会社名と入力した会社名が一致した場合は、同じ会社名として扱われます。

所属：全角50（半角100）文字以内で入力します。

役職名：全角50（半角100）文字以内で入力します。

URL：半角256文字以内で入力します。

✔お知らせ

- 着信画像（→P82）、発信画像（→P91）には優先順位があります。
- 2in1がデュアルモード時に電話帳を新規または修正登録すると、電話帳2in1設定を設定できます。このとき、電話帳2in1設定確認画面で「いいえ」を押したり、モード選択画面で CLR を押したりすると、電話帳2in1設定は「A」になります。→P360

◆ ドコモUIMカード電話帳に登録

1 MENU 7 1 3 ▶名前を入力▶各項目を設定▶ 📷 ［登録］

- 名前、フリガナ、電話番号、メールアドレスを登録します。タイマー（「T」）やポーズ（「P」）は登録できません。
- グループを選択できます。

電話帳検索

電話帳一覧を表示する際の検索方法を指定します。

- 全件表示（50音）、グループ検索、電話番号検索の電話帳一覧では、MENU 7 6 でドコモUIMカード電話帳に、MENU 6 4 でFOMA端末電話帳に切り替えられます。
- プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）は、シークレット属性を設定している電話帳（グループまたは会社名にシークレット属性設定時も含む）は検索できません。また、クイックダイヤル、クイックメール、イヤホンスイッチ発信、メール検索でも同様です。
- 電話帳一覧を表示、または表示中に を押すと、インデックスが表示されます。検索方法が全件表示（50音）ではひらがな（あ～ん）が、それ以外では総ページ数の目安が表示されます。→P30

1 MENU 7 1 1

FOMA端末⇔ドコモUIMカード電話帳の切り替え： [/]

2 **検索方法を指定する**

全件表示（50音）：電話帳全件が50音順に表示されます。

- フリガナを1文字ずつ入力するたびに、最も近いフリガナの電話帳が検索されます（フリガナ検索）。

グループ検索：グループごとに表示されます。

- グループ内ではフリガナ順（50音→アルファベット→数字→空白で始まるもの→記号→フリガナなし）で表示されます。
- ダイヤルキー 0 ～ 9 を押すと、各キーに割り当てられている行が表示されます。→P414
- フリガナがアルファベット、数字、記号のいずれかで始まる電話帳がある場合、# や * を押すとその先頭にカーソルが移動します。ただし、アルファベット、数字、記号ごとにカーソルを移動させることはできません。

会社名検索※：同じ会社名の電話帳が50音順に表示されます。

ランキング検索※：通話回数またはｉモードメール送受信回数が多い順に表示されます。

- 最大9999回カウントされます。カウントをリセットするときは、サブメニューで「確認／表示切替」▶「累積（ランキング）情報リセット」を選択します。

メモリ番号検索※：メモリ番号を入力して検索します。

- 何も入力せずに を押すと、メモリ番号順の電話帳一覧が表示されます。

電話番号検索：電話番号の一部を入力して検索します。

FOMA端末電話帳はメモリ番号順に、ドコモUIMカード電話帳はフリガナ順に電話帳一覧が表示されます。

- 何も入力せずに を押すと、メモリ番号順またはフリガナ順の電話帳一覧が表示されます。

シークレット検索※：シークレット属性を設定した電話帳がメモリ番号順に表示されます。

※ ドコモUIMカード電話帳では利用できません。

電話帳一覧の表示切替：MENU［サブメニュー］▶ 7 5 ▶表示形式を選択

- 「名刺表示」では名刺風のレイアウトで電話帳を表示します。「ピクチャー一覧」では設定した画像データをサムネイル表示します。
- ドコモUIMカード電話帳のサブメニューから「確認／表示切替」▶「表示切替」を押しても切り替えられます。

電話帳検索優先設定：検索方法にカーソル▶ MENU［優先設定］

✔お知らせ

- で電話帳検索時は、前回使用した電話帳（FOMA端末またはドコモUIMカード電話帳）を検索します。
- 電話帳一覧が複数ページあるときは、 でページを切り替えられます。全件表示（50音）では で行の切り替えが、 、 でページの切り替えができます。

◆ 電話帳の利用

電話帳を検索して電話をかけたりメールを送ったりします。

1 [◎]▶電話帳検索

電話帳一覧（全件表示（50音））

- 2in1がデュアルモード時は次のマークが表示されます。
  A：Aモードの電話帳
  B：Bモードの電話帳
  AB：A／B両モードの電話帳
- ｉコンシェルのインフォメーション登録時は[icon]が表示されます。

2 相手にカーソル▶目的の操作を行う

電話を発信：[発信]
- [MENU][1][1]を押すと、発信オプションを利用できます。→P57

テレビ電話を発信：[MENU]［サブメニュー］▶[1][1]▶発信方法欄で[2]▶[✉]［発信］
- 全件表示（50音）以外の電話帳一覧では、[iα]でテレビ電話をかけられます。

声の宅配便で発信：[📷]［声宅配］
- 電話帳詳細画面で電話番号を表示▶[📷]を押しても声の宅配便で発信できます。
- 声の宅配便→P55

ｉモードメールの作成：[MENU]［サブメニュー］▶[1][2]
- 全件表示（50音）以外の電話帳一覧では、[✉]でメールを作成できます。

SMSの作成：[MENU]［サブメニュー］▶[1][4]
- 全件表示（50音）以外の電話帳一覧では、[✉]（1秒以上）、電話番号のみ登録時は[✉]でSMSを作成できます。

■ サブメニューからの操作

- サブメニューから「発信オプション／メール」「位置情報／居場所」「確認／表示切替」などの操作ができます。
- 「発信オプション／メール」には「メール添付」「URL起動」「メール検索」「地図を見る」「宛名印刷」があります。
- 「位置情報／居場所」には「位置情報利用」「居場所を確認」があります。
- 「確認／表示切替」には「基本情報」「画像確認」「累積（ランキング）情報リセット」があります。
- 「地図を見る」では、地図設定の地図選択で設定したGPS対応ｉアプリが起動します。住所と位置情報が両方登録されている場合は、住所を基に地図を表示します。→P265
- 「位置情報利用」では位置情報利用メニュー（→P258）から各種操作をしたり、「居場所を確認」では電話番号を検索対象として「イマドコかんたんサーチ」に接続したりします。「イマドコかんたんサーチ」の詳細はドコモのホームページをご覧ください。
- 「累積（ランキング）情報リセット」をすると、通話とメールの累積がまとめてリセットされます。
- 宛名印刷→P336

❖ロケットサーチ

電話帳をダイヤルキー[0]～[9]に割り当てられている文字から検索します。

〈例〉「携帯花子」を検索する

1 [2]（か行）▶[◎]

全件表示（50音）の電話帳一覧が表示されます。

◆ 電話帳の詳細確認

詳細画面で登録内容を確認します。

1 [○] ▶ 電話帳検索 ▶ 電話帳を選択

FOMA端末電話帳の詳細画面

① メモリ番号
② 電話帳2in1設定で設定したマーク（2in1がデュアルモード時）
③ 名前、フリガナ
④ グループマーク、グループ名
⑤ 着信許可／拒否設定、発番号設定、シークレットコードの設定状態
⑥ 個別着信設定での設定状態（電話／メール）
⑦ 画像（画像／名前表示切替の設定に従って表示）
⑧ 登録したアイコン、アイコン種別

[↕]：前後の電話帳の表示
[↔]：登録した各項目の表示

- サブメニューの「確認／表示切替」には「累積通話」「累積メール」などがあります。

◆ 画像／名前表示切替

電話帳詳細画面の表示方法を設定します。

- 本設定は、リダイヤル、着信履歴、プロフィールにも反映されます。

1 [○] ▶ 電話帳検索 ▶ 電話帳を選択 ▶ [MENU]［サブメニュー］▶ [7][7] ▶ [1]～[3]

ドコモUIMカード電話帳の表示の切り替え：[MENU][7][1][1] ▶ [📷]［[▯]▸[▣]］▶ 電話帳検索 ▶ 電話帳を選択 ▶ [MENU]［サブメニュー］▶ [6][3] ▶ [1]～[3]

電話帳修正

電話帳の内容やグループを修正したり、個別着信設定をしたりします。

1 [○] ▶ 電話帳検索

電話帳2in1設定の変更：[MENU]［サブメニュー］▶ [3][4][5] ▶ 認証操作 ▶ モードを選択 ▶ 電話帳検索 ▶ 電話帳を選択 ▶ [📷]［確定］▶「はい」

- 2in1がOFFのときは、認証操作 ▶「はい」で2in1をONにして電話帳2in1設定を変更します。2in1はONのままになります。→P360
- 電話帳詳細画面から操作する場合は、[MENU][4][4][5] ▶ 認証操作 ▶ モードを選択します。

2 電話帳にカーソル ▶ 目的の操作を行う

- サブメニューの「編集／設定」から「編集」「入替え」「発番号設定」「シークレットコード設定」「ショートカット作成」などの操作ができます。
- 「編集」では、登録内容の修正ができます。
- 「入替え」では、電話番号、メールアドレス、メモリ番号の入れ替えができます。電話番号またはメールアドレスの入れ替えは電話帳の中で順番を入れ替えます。メモリ番号の入れ替えでは入れ替え先の電話帳を選択する操作が必要です。
- 「発番号設定」「シークレットコード設定」は認証操作が必要です。
- 発番号設定を「設定なし」にすると、発信者番号通知設定に従います。
- シークレットコードは本画面にのみ表示されます。解除する場合は、入力されているシークレットコードをすべて削除して[●]を押します。「携帯電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」と登録している相手にはメールを送信できません。
- ドコモUIMカード電話帳で登録内容を修正する場合は、サブメニューで「編集」を選択します。

✔お知らせ

- ドコモUIMカード電話帳では、電話番号に「＊」が含まれていると上書き登録ができないことがあります。
- 複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合、1件目の電話番号やメールアドレスを削除すると、2件目以降が繰り上げ登録されます。

◆ 個別着信設定

FOMA端末電話帳の電話番号やメールアドレスごとに、着信時の動作を設定できます。

- 「グループ／会社名なし」の場合はすべて「端末設定に従う」が、グループ／会社名を設定した場合は「グループ／会社名設定に従う」（テレビ電話代替画像のみ「端末設定に従う」）が表示されます。
- グループと会社名が両方設定されている場合は、グループ設定が優先されます。

1 [電話帳]▶電話帳検索▶電話帳にカーソル▶MENU［サブメニュー］▶3 2▶各項目を設定▶[カメラ]［登録］

[メール]：電話／メールの画面の切り替え
- 着信音、バイブレータ、イルミネーションなどを設定します。

✔お知らせ

- 着信時の動作には優先順位があります。→P82

グループ設定

グループを追加したり、グループごとの発着信動作を設定したりします。

- 「グループなし」は、削除、グループ名の変更、発着信動作の設定はできません。
- 「グループ削除」では、プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）でシークレット属性を設定していても削除されます。
- ドコモUIMカード電話帳ではグループ名の変更のみできます。

1 MENU 7 1 1 2▶目的の操作を行う

- サブメニューから「グループ追加」「グループ名変更」「グループ削除」「1つ上へ移動」「1つ下へ移動」「グループ別発着信設定」などの操作ができます。
- 「グループ削除」では、グループとそのグループ内の電話帳が削除されます。「グループなし」で削除すると、グループを設定していないすべての電話帳が削除されますのでご注意ください。
- ドコモUIMカード電話帳でグループ名の変更をする場合は、サブメニューで「グループ名変更」を選択します。全角と半角が混在または半角カタカナを含む場合は10文字以内でグループ名を入力します。
- 発着信画像の設定操作→P73
- 個別着信設定→P77

会社名別設定

会社名ごとに発着信動作を設定したり、同じ会社名の電話帳を一括で削除したりします。

- 「会社名なし」は、削除、名称の変更、発着信動作の設定はできません。
- 「会社名削除」では、プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）でシークレット属性を設定していても削除されます。

1 MENU 7 1 1 3▶目的の操作を行う

- サブメニューから「会社名削除」「1つ上へ移動」「1つ下へ移動」「会社名別発着信設定」などの操作ができます。
- 「会社名削除」では、会社名とその会社名が登録されている電話帳が削除されます。「会社名なし」で削除すると、会社名を入力していないすべての電話帳が削除されますのでご注意ください。

電話帳のコピー

FOMA端末電話帳をドコモUIMカード電話帳にコピーしたり、電話帳の項目をコピーして別の場所に貼り付けたりします。

◆ FOMA端末⇔ドコモUIMカード電話帳のコピー

FOMA端末電話帳とドコモUIMカード電話帳を相互にコピーします。
- コピー先に同じグループがある場合はそのグループにコピーされます。
- FOMA端末電話帳からドコモUIMカード電話帳へコピーすると、保存できる最大文字数を超えた部分は削除され、電話番号とメールアドレスのアイコンは置き換えられます。また、電話番号にタイマー（「T」）やポーズ（「P」）が含まれていると、電話帳をコピーすることができません。
- FOMA端末電話帳をmicroSDカードへコピーすることもできます。→P288

1 [ ]▶電話帳検索▶[MENU]［サブメニュー］▶[9][1]▶電話帳を選択▶[📷]［確定］

ドコモUIMカード電話帳からFOMA端末電話帳にコピー：[MENU][7][1][1]▶[📷]［[▮]▸[◘]］▶電話帳検索▶[MENU]［サブメニュー］▶[8]▶電話帳を選択▶[📷]［確定］

◆ 電話帳項目のコピー

電話帳に登録した項目の内容をコピーします。
- コピーした文字は最新の1件だけが電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。

1 [ ]▶電話帳検索▶コピー元の電話帳にカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[0]▶[1]〜[9]

- 電話番号とメールアドレスは、1件目の内容がコピーされます。

複数ある電話番号／メールアドレスのコピー：[ ]▶電話帳検索▶電話帳を選択▶コピー元の電話番号／メールアドレスを表示▶[MENU]［サブメニュー］▶[0]▶[2]または[3]

ドコモUIMカード電話帳からコピー：[MENU][7][1][1]▶[📷]［[▮]▸[◘]］▶電話帳検索▶コピー元の電話帳にカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[9]▶[1]〜[3]

2 貼り付け先の文字入力画面を表示▶文字を貼り付ける

文字の貼り付け方法→P346

電話帳削除

FOMA端末電話帳またはドコモUIMカード電話帳を削除します。
- 選択削除では選択操作▶[📷]が、全件削除では認証操作が必要です。

1 [ ]▶電話帳検索▶電話帳にカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[6]▶[1]〜[3]▶「はい」

ドコモUIMカード電話帳の削除：[MENU][7][1][1]▶[📷]［[▮]▸[◘]］▶電話帳検索▶電話帳にカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[4]▶[1]または[2]▶「はい」
- ドコモUIMカード電話帳で全件削除するには「選択削除」を押して全件選択します。

シークレット属性（電話帳）

他人に見られたくない電話帳にシークレット属性を設定します。プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）は、シークレット属性を設定した電話帳（グループまたは会社名にシークレット属性設定時も含む）は表示されません。

- ドコモUIMカード電話帳には設定できません。
- シークレット属性を変更すると、電話帳を終了し待受画面に戻ったときに、シークレット反映の実行確認画面が表示されます。
- シークレット属性を設定中は🔑が点滅します。
- プライバシーモードの利用の流れ→P110

❖電話帳へのシークレット属性設定

1 **[電話帳]▶電話帳検索▶電話帳にカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[3][4][1]**

- 解除する場合も同様の操作です。

❖グループへのシークレット属性設定

- グループ内の各電話帳にはシークレット属性は設定されません。
- 「グループなし」には設定できません。

1 **[MENU][7][1][1][2]▶グループにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[8]**

- 解除する場合も同様の操作です。

❖会社名へのシークレット属性設定

- 会社名ごとの各電話帳にはシークレット属性は設定されません。
- 「会社名なし」には設定できません。

1 **[MENU][7][1][1][3]▶会社名にカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[6]**

- 解除する場合も同様の操作です。

登録件数確認

電話帳の登録件数やシークレット属性設定の件数を確認します。

- プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）は、シークレット属性を設定している件数は表示されません。

1 **[電話帳]▶電話帳検索▶[MENU]［サブメニュー］▶[7][2]**

クイックダイヤル

FOMA端末電話帳のメモリ番号が0～99の相手には、簡単な操作で電話を発信できます。

- 1件目の電話番号が発信対象になります。
- 海外でのクイックダイヤル発信について→P366

1 **メモリ番号を入力▶[発信]または[カメラ]［テレビ電話］**

音／画面／照明設定

着信時の動作設定

電話、テレビ電話着信時の動作を設定します。

- 着信音、2in1の着信設定、電話発着信画像、テレビ電話画像、バイブレータ設定、イルミネーション設定、キーイルミネーション設定、背面アニメーション設定にも反映されます。
- 2in1利用時は、モードごとのナンバーの着信動作が設定できます（デュアルモード時は選択）。Bナンバーは着信音のみ設定できます。

◆電話着信設定

電話着信時の動作を設定します。

1 **MENU 7 4 ✂ 2 ▶各項目を設定▶📷［登録］**

- バイブレータ、イルミネーションを「メロディ連動」にしても、メロディによっては連動しない場合があります。

◆テレビ電話着信設定

テレビ電話着信時の動作を設定します。

1 **MENU 7 5 2 ▶各項目を設定▶📷［登録］**

- バイブレータ、イルミネーションを「メロディ連動」にしても、メロディによっては連動しない場合があります。

❖着信音と着信画像について

- 音声と映像のある動画／ｉモーションを、着信音と着信画像（イメージ表示）に個別に設定できません。設定は連動して変更されます。設定後、着信音を変更すると着信画像が「標準画像」に、着信画像を変更すると着信音がお買い上げ時の設定になります。
- 着信音と着信画像にミュージック、音声のみの動画／ｉモーション、映像のみの動画／ｉモーション、Flash画像のいずれかを組み合わせての設定はできません。着信音を変更すると着信画像が「標準画像」に、着信画像を変更すると着信音がお買い上げ時の設定になります。
- 着信音に設定できるミュージックについて→P222
- 着信音、着信画像に設定できる動画／ｉモーションについて→P280
- お買い上げ時に登録されているメロディ→P413

❖着信動作の優先順位

複数の機能で着信音、着信画像、バイブレータ、イルミネーション、キーイルミネーション、背面アニメーション（着信背面表示）を設定している場合は、次の優先順位で動作します。

① FOMA端末電話帳の個別着信設定、登録画像（人物画像表示設定が「ON」の場合の電話着信時）
② FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
③ FOMA端末電話帳の会社名別発着信設定
④ フル省電力時の電話発着信画像、テレビ電話発着信画像、メール送受信画像、メール受信結果画像、SMS受信完了画面、メッセージR/F受信完了画面、ｉモード問い合わせ中画面のフル省電力用静止画
⑤ 電話着信設定／テレビ電話着信設定／電話着信音／テレビ電話着信音／メール着信音／電話発着信画像／バイブレータ設定／イルミネーション設定／キーイルミネーション設定／背面アニメーション設定／マルチナンバーの着信音設定／2in1の着信設定

- 相手が発信者番号を通知してこなかったときは、音声電話は着信拒否設定に、テレビ電話はテレビ電話着信音／テレビ電話着信設定に従って動作します。
- 優先順位に従い動作する着信音が音声のみの動画／ｉモーションまたはミュージックの場合、着信画像に画像（Flash画像を除く）を設定している機能が有効になります。該当する機能が複数ある場合、優先順位に従います。該当しない場合は標準画像が表示されます。

着信音

電話、テレビ電話、メール、メッセージR/F、SMS、ｉコンシェルの着信音を設定します。

- 動画／ｉモーションを設定すると、着信時に映像や音が再生されます（着モーション）。
- 電話着信設定、テレビ電話着信設定、2in1の着信設定にも反映されます。
- 着信音と着信画像について→P82
- 2in1利用時、電話／テレビ電話／メール／SMSは、モードごとのナンバーまたはアドレスの着信音が設定できます（デュアルモード時は選択）。
- 着信音に動画／ｉモーションを設定している場合、カメラ起動中に着信があるとお買い上げ時の設定で動作することがあります。

〈例〉音声電話の着信音を設定する

1 MENU 8 2

2 1 1

テレビ電話着信音：1 2
メール、メッセージR/F、SMS着信音：1 3 ▶項目を選択
ｉコンシェル着信音：2 1

3 各項目を設定▶ 📷 ［登録］

- メール、メッセージR/F、SMS、ｉコンシェルの着信音の鳴動時間は、1～30秒の範囲で設定します。

❖ミュージックの着信音設定

音楽データ全体を着信音にする「まるごと着信音」と、音楽データの一部を着信音にする「オススメ着信音」があります。

1 各設定で「ミュージック」▶フォルダを選択▶設定するミュージックにカーソル▶ 📷 ［決定］▶設定を選択

- 「オススメ設定」を選択したときは、設定する部分にカーソルを合わせて 📷 を押します。
- microSDカードのミュージックを選択すると、本体への移動確認画面が表示されます。「はい」を選択するとミュージックが本体に移動され、着信音に設定されます。

音量設定

着信音、受話音量、GPS測位鳴動音、アラーム音、スケジュール音、ｉアプリ音、操作確認音、メロディ、待受ｉモーション、電子辞書の音量を設定します。

- 通話中の受話音量調整について→P60
- 受話音量は通話中詳細設定にも反映されます。

1 MENU 8 2 3 ▶項目を選択

- 着信音量、アラーム音量を選択したときは、さらに項目を選択します。

2 ✣または▲▼▶ ● ［決定］

- 受話音量は「Silent」と「Steptone」を設定できません。ワンセグアラーム、ｉアプリ、操作確認、メロディ、待受ｉモーション、電子辞書の各音量には「Steptone」を設定できません。
- 電話着信音量を「Silent」にすると待受画面に🔇が表示されます。電話着信時のバイブレータを同時に設定しているときは📳が表示されます。

✔お知らせ

- 電池残量確認時の音、通話料金上限通知のアラーム音量は、本設定の電話着信音量に従います。
- 音声クイック起動、音声電話伝言メモ、音声メモの再生音の音量は、本設定の受話音量に従います。
- お知らせタイマーの音量は、本設定のアラーム音量に従います。
- ワンセグ視聴予約のアラーム音量は、本設定のスケジュール音量に従います。
- メールやメッセージR/Fに添付されたメロディの再生音量は、本設定のメール・メッセージ着信音量に従います。ただし、「Silent」または「Steptone」に設定中は添付されたメロディが「Level 1」で再生されます。
- 操作確認音量を変更しても、シャッター音の音量は変更されません。
- 電子辞書音量を変更しても、電子辞書の動画再生音量は変更されません。

バイブレータ設定

着信時、GPS測位時、アラーム鳴動時、ｉアプリ利用時、マナーサポート検出時などの振動を設定します。

- 電話着信設定、テレビ電話着信設定、GPSの点灯色／鳴動音設定、ｉアプリ設定のバイブレータ設定、マナーサポート通知設定にも反映されます。
- 着信動作の優先順位→P82

1 MENU 8 2 4 ▶項目を選択

- 電話着信時、メール・メッセージ着信時、GPS測位時、アラーム鳴動時を選択したときは、さらに項目を選択します。

2 バイブレータを選択

- ｉアプリ利用時を選択したときは、「ON」または「OFF」を選択します。
- 「パターンA」～「パターンC」にカーソルを合わせると振動します。
- 「メロディ連動」にすると、着信音などに設定したメロディに合わせて振動します。ただし、メロディによっては連動しない場合があります。
- 電話着信時を「OFF」以外にすると、電話着信音量が「Level 1」以上のときは待受画面にが表示されます。電話着信音量が「Silent」のときはが表示されます。

✔お知らせ

- バイブレータ動作時にFOMA端末が机の上などにあると、振動が原因で落下するおそれがあります。
- 通話中に着信があったときは振動しません。
- 「OFF」のときでも、Flash画像の動作時に振動する場合があります。
- 64Kデータ通信着信時のバイブレータは、電話着信時の設定に従います。

メロディコール設定

音声電話をかけてきた相手に聞こえる呼出音をメロディに変更します。

- 設定サイトはパケット通信料がかかりません。ただし、IPサイト、ｉモードメニューサイト、無料楽曲コーナーに接続した場合はパケット通信料がかかります。

1 MENU 7 0 ▶「はい」

メロディコール設定サイトに接続されます。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

操作確認音

キー操作時、FOMA端末開閉時、静止画／動画撮影時（ボイスレコーダー録音時含む）のシャッター音を設定します。

- カメラ、ボイスレコーダーのシャッター音にも反映されます。

1 MENU 8 2 2 4 ▶項目を選択▶音を選択

✔お知らせ

- キー確認音を鳴るように設定しても、ｉアプリの起動中は音が鳴りません。
- キー確認音を「OFF」にすると、データ送受信設定の通信終了音を「ON」に設定中の通信終了音は鳴りません。
- 電池残量確認時の音は、キー確認音の設定に従います。

GPS測位鳴動音

GPS測位時に鳴る音を設定します。

- GPSの点灯色／鳴動音設定にも反映されます。

1 MENU 8 2 2 2 ▶項目を選択▶各項目を設定▶ 📷 ［登録］

アラーム音

アラーム音、スケジュール音を設定します。

1 MENU 8 2 2 3 ▶項目を選択▶各項目を設定▶ 📷 ［登録］

- 「ｉモーション」に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定すると、表示される画像は動画／ｉモーションの映像になります。

充電確認音

充電の開始時と完了時に確認音を鳴らすかどうかを設定します。

- 「ON」にしても通話中や通信中、マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中は充電確認音は鳴りません。

1 MENU 8 2 2 5 ▶ 1 または 2

電池アラーム音

電池が切れそうなときにアラームを鳴らすかどうかを設定します。

1 MENU 8 2 2 6 ▶ 1 または 2

- 「OFF」にしても、通話中に電池が切れそうになると受話口からアラームが鳴ります。

マナーモード

FOMA端末のスピーカーから音を鳴らさないように設定します。

◆ マナーモードの起動／解除

1 # （1秒以上）

マナーモードが起動／解除されます。起動すると、待受画面に（通常マナーモード中）または（オリジナル／サイレントマナーモード中）が表示されます。

- サイドキー長押し設定がお買い上げ時の状態のときは、FOMA端末を閉じて▲を1秒以上押してもマナーモードを起動／解除できます。ただし、ワンタッチアラームを起動できる状態のときに▲を1秒以上押すと、マナーモードは起動せずワンタッチアラームが鳴動しますのでご注意ください。

❖通常マナーモードを起動すると

- 着信音、キー確認音、開閉操作音、アラーム音、バーコードリーダーでコードを読み取ったときの確認音などFOMA端末のスピーカーから鳴る音を消します。
- 着信をバイブレータ（振動）でお知らせします。また、マイクの感度が上がり、小さな声でも通話できます。ただし、マナーモード選択の設定によっては動作が異なります。
- 次の場合は、バイブレータの動作は「パターンA」になります。
  - 電話／64Kデータ通信
  - メール受信時（バイブレータ設定が「OFF」の場合。また、エリアメールは「メロディ連動」）
  - ｉコンシェル着信時（バイブレータ設定が「OFF」の場合）
  - GPS測位中（鳴動音がメロディ、バイブレータ設定が「OFF」の場合）
  - お知らせタイマー、メモのアラームで指定した日時になったとき
- 添付ファイル自動再生設定を「自動再生する」に設定して送受信メールやメッセージR/Fを表示しても、メロディは自動再生されません。
- 音声クイック起動利用時、メロディ、Music&Videoチャネルの番組、ミュージック、電子辞書の音声再生時に確認画面が表示されます。
- テレビ電話伝言メモ、音声のある動画／ｉモーション、ワンセグの録画番組の再生時やワンセグ起動時には、音の再生（音声の出力）確認画面が表示されます。「いいえ」を選択すると映像のみ再生されます。
- ワンタッチアラーム設定を「ON」に設定中にサイドキーを操作しても、ワンタッチアラームは鳴動しません。

✔お知らせ

- マナーモード中でも、シャッター音、静止画撮影のオートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音は鳴ります。
- エリアメール設定でマナーモード中に音が鳴るように設定している場合は、エリアメール受信時に専用ブザー音や専用着信音が鳴ります。
- ワンセグ視聴予約の開始通知設定でワンセグの起動を「自動起動」にしている場合は、音声が出力されます。

◆マナーモード選択

マナーモード起動時に動作させるマナーモードを選択します。

1 [MENU][8][2][5]▶**マナーモードの種類を選択**

- オリジナルマナーモードを選択したときは、各項目を設定して[📷]を押します。

通常マナーモード：FOMA端末のスピーカーから鳴る音を消し、着信をバイブレータの振動でお知らせします。また、通話時にマイクの感度が上がります。

オリジナルマナーモード：特定の音を鳴らすようにしたり、バイブレータやマイク感度UPを設定したりします。

サイレントマナーモード：通常マナーモードに加え、バイブレータも振動しなくなります。

✔お知らせ

- オリジナルマナーモードでは、次のような制限があります。
  - バイブレータを「個別設定に従う」にすると、バイブレータ設定に従って動作します。「ON」にすると、バイブレータ設定で「OFF」に設定されている項目は「パターンA」で、それ以外はバイブレータ設定に従って動作します。ただし、エリアメール受信時はバイブレータの設定に関わらず、「メロディ連動」で振動します。
  - 電話着信音量を「消音」以外にすると、通話料金上限通知のアラームも鳴ります。
  - メール着信音量を「消音」に設定しても、他の設定項目のいずれかで音を鳴らすように設定しているときは、エリアメール受信時に専用ブザー音が鳴ります。また、エリアメール設定でマナーモード中に音が鳴るように設定している場合は、専用ブザー音や専用着信音が鳴ります。
  - アラーム音を「ON」にすると、お知らせタイマーやワンセグアラームの音も鳴ります。
  - 伝言メモは、伝言メモの設定に関わらず本設定に従って動作します。

マナーサポート設定

乗り物への乗車や場所を検知して、マナーモードやメールの自動返信を設定するよう促します。

- オートGPS機能が利用できない、海外にいる、電池残量が少ないなど、状態によっては動作しません。
- 乗り物マナーサポートは揺れや速度により乗り物（バス・電車・新幹線）を検知するため、お客様のご利用状況によっては類似の振動パターンや速度推移を検出し、乗車と判断する場合があります。
- ロケーションマナーサポートを設定すると、オートGPS機能により現在地を測位します。位置情報は送信されませんが、マナーモードや自動返信の設定変更時の位置情報はFOMA端末に記録されます。

◆ マナーサポート検知設定

マナーサポートの動作を設定します。

1 MENU 8 0 4 1 ▶各項目を設定▶ 📷 ［登録］

「ON」にすると、待受画面にが表示されます。検知できない状態のときはグレーで表示されます。

乗り物マナーサポート：乗車中に電話着信やメール受信をしたときに、マナーサポートを行うかどうかを設定します。
「ON」にすると、マナーモードと自動返信を個別に設定できます。自動返信設定を「ON」にしたときは、自動返信する本文と宛先を設定します。

ロケーションマナーサポート：以前にマナーモードや自動返信を設定した場所に近づいたことをオートGPS機能により検知して、マナーサポートを行うかどうかを設定します。
「ON」にすると、サポートエリアの変更や、自動返信する本文と宛先の設定ができます。

- オートGPS動作設定が「OFF」の状態でロケーションマナーサポートを「ON」に設定すると、オートGPS機能を有効にするかの確認画面が表示されます。
- ライフスタイル設定で場所毎ライフスタイルを登録している場合、サポートエリアを変更すると情報削除の確認画面が表示されます。

❖ マナーサポートを設定すると

- 乗り物マナーサポートを設定すると、バス、電車、新幹線乗車中に電話着信やメール受信したときに、乗り物マナーサポート画面が表示されます。
「いいえ」を押すと、乗り物マナーサポートの停止確認画面が表示されます。
- ロケーションマナーサポートを設定すると、以前にマナーモードや自動返信を設定した場所に近づいたことをオートGPS機能により検知したときに、バイブレータが振動してロケーションマナーサポート画面が表示されます。
その場所で初めて「はい」にしたときは、ライフスタイル設定への登録確認画面が表示されます。同じ場所で2回「いいえ」にすると、その場所での設定変更記録を削除します。
待受画面以外のときは、テロップにマナーモードや自動返信の設定を促すメッセージが表示されます。バイブレータは振動しません。
- マナーサポート設定中に着信や受信をしたときは、通常の着信動作を行います。
- マナーサポート画面が表示されてから約30秒間何も操作しないとマナーサポート画面の表示は消えます（ロケーションマナーサポートの場合はバイブレータが振動します）。
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに端末を開いて操作するようメッセージが表示されます。
- 自動返信はメール自動返信設定の自動返信契機設定に従い動作します。
- 自動返信の本文と宛先は、メール自動返信設定より本設定が優先されます。
自動返信設定中にマナーサポートが動作し、自動返信を継続して利用する場合も同様です。
- 自動返信時、乗り物マナーサポートで新幹線への乗車を検知したときは、本文の〈乗り物〉は「新幹線」に置き換えて送信されます。

◆ マナーサポート通知設定

ロケーションマナーサポート画面が表示されるときの動作を設定します。

- バイブレータ設定にも反映されます。

1 MENU 8 0 4 2 ▶各項目を設定▶ 📷 ［登録］

- 「パターンA」～「パターンC」にカーソルを合わせると振動します。
- 振動時間は、1～15秒の範囲で設定します。

ライフスタイル設定

時間や場所ごとに、マナーモードやメール自動返信の設定を変更します。指定した時間に、トータルカスタマイズを利用して画面デザインなどを変更したり、プライバシーモードの設定を変更したりするようにも設定できます。

- 場所毎ライフスタイルを設定するには、あらかじめマナーサポート設定のロケーションマナーサポートの設定が必要です。
- ライフスタイルは時間毎、場所毎にそれぞれ最大12件登録できます。
- 2in1のBモードとデュアルモードの待受画面は変更されません。

1 MENU 8 0 3 ▶ 1 または 2

2 タイトルを選択▶各項目を設定▶📷［登録］

- タイトル、場所毎ライフスタイルの登録位置名称は全角10（半角20）文字以内で入力します。
- 時間毎ライフスタイルの時刻は24時間制で入力します。
  繰り返しで「曜日指定」を選択したときは「曜日選択」を押し、曜日を選択して📷を押します。
  トータルカスタマイズで「変更する」を押したときは、トータルカスタマイズの選択欄を押し、カスタマイズにカーソルを合わせて📷を押します。
  トータルカスタマイズ→P98
- 場所毎ライフスタイルでは動作させる場所の登録が必要です。「測位」を押して位置情報付加メニューから機能を選択し、登録してください。
  位置情報貼り付け／付加／送信メニュー→P259

設定／解除：タイトルにカーソル▶MENU［設定／解除］

- 設定中のライフスタイル設定のタイトルには🕘または🏳が表示されます。

登録内容の削除：タイトルにカーソル▶📷［削除］▶「はい」

- 設定中のライフスタイル設定は削除できません。

✔お知らせ

〈時間毎／場所毎共通〉

- ｉアプリ待受画面を設定している場合や、指定した時刻に電源が切れているとき、オールロック中、おまかせロック中、他の機能が起動しているときは動作しません。
- ライフスタイル設定とアラームを同じ時刻に設定したときは、アラームが動作した後にライフスタイル設定が動作します。

〈時間毎〉

- 繰り返しを「曜日指定」に設定したときは、指定した曜日を過ぎても元の設定に戻りません。切り替えたいときは、複数のライフスタイルを登録してください。
- 設定されている項目が複数あり、動作時刻が同じときは、一覧で最も上にあるものが動作します。
- プライバシーの設定は、プライバシーモード起動設定に関わらず動作します。

〈場所毎〉

- マナーサポート検知設定でロケーションマナーサポートが「OFF」の場合や、オートGPS機能が利用できない状態、海外では場所を検知できません。
- 指定した場所（マナーサポート検知設定のロケーションマナーサポートで設定したサポートエリアの範囲）で動作しますが、場所を離れても元の設定に戻りません。
- 場所毎ライフスタイルの動作後に場所を移動しない状態で、時間毎ライフスタイルで設定した時間になると、時間毎ライフスタイルが動作します。
- 自動返信は、マナーサポート検知設定のロケーションマナーサポートの自動返信本文設定に従います。本文の〈場所〉は登録位置名称に置き換えて送信されます。

待受画面選択

待受画面に表示する画像、動画／ｉモーション、ｉアプリを選択します。

- 2in1利用時は、現在のモードの待受画面が設定されます。Bモードまたはデュアルモード時は、画像（イメージ設定）のみ設定できます。
- microSDカードの画像は設定できません。
- 待受画面に設定できる動画／ｉモーションについて→P280
- 各種ロックやドコモminiUIMカードのセキュリティ機能により、設定した待受画面が表示されない場合があります。

〈例〉画像を設定

1 MENU 8 1 2 1

2 1 ▶フォルダを選択▶画像にカーソル▶ 📷 ［決定］

- 2in1がBモードまたはデュアルモード時は 1 の選択は不要です。

動画／ｉモーションを設定： 2 ▶フォルダを選択▶動画／ｉモーションにカーソル▶ 📷 ［決定］

ｉアプリを設定： 3 ▶ｉアプリを選択

- 待受画面に対応しているｉアプリのみ選択できます。設定は他の待受画面より優先されます。

きせかえツールに従う： 4

- きせかえツールで待受画面を設定中のみ選択できます。操作3は不要です。

3 「はい」

- 画像サイズによっては、「はい（等倍表示）」または「はい（拡大表示）」を選択します。
- ｉアプリ待受画面を設定すると、待受画面に▣または▣が表示されます。

✔**お知らせ**

- 待受画面に設定したFlash画像やGIFアニメーションは、電源を入れたときやFOMA端末を開いたとき、待受画面に戻ったときに再生されます。また、⌐で一時停止／再生ができます。
- 待受画面に設定した動画／ｉモーションは、FOMA端末を開くと再生されます。また、⌐で停止／再生が、CLRで停止が、▣または▲▼で音量調整ができます。
- 待受画面に設定した動画／ｉモーションの再生中は、▣を押して電話帳やショートカット一覧を表示できません。
- ｉアプリ待受画面の操作→P241
- 待受画面を表示すると、Flash画像やGIFアニメーションは、一定時間再生した後に停止します。時計として機能するFlash画像を設定している場合に時計が止まったときは、Flash画像の再生を行うと再開できます。
- 待受画面に表示されているマチキャラによっては、Flash画像の再生速度が遅くなる場合があります。
- GIFアニメーションを拡大表示で設定すると表示が乱れることがあります。
- マイピクチャの「プリインストール」フォルダのFlash画像を設定すると、画像によっては時刻や季節などにより表示が変化します。
- ウォーキング／Exカウンター設定が「利用する」のとき、マイピクチャの「プリインストール」フォルダのFlash画像を設定すると、画像によっては歩数などの値が表示されたり、値に応じて画像が変化したりします。

待受スライドショー

マイピクチャのフォルダやマイコレクションのアルバムを指定すると、待受画面に画像を切り替えて表示します。
- 2in1利用時は、Aモードの待受画面のみ設定できます。
- 指定したフォルダやアルバムのJPEG形式の画像のみ再生されます。
- 各種ロックやドコモminiUIMカードのセキュリティ機能により、一部またはすべての画像が表示されない場合があります。

1 MENU 8 1 2 2 ▶各項目を設定▶ 📷［登録］▶「はい」
- 照明点灯時間設定を押すと、待受スライドショーの利用シーン（通常時、ACアダプタ接続時など）にあわせてディスプレイを明るくする時間を設定できます。CLRを押すと待受スライドショー設定画面に戻ります。

✔お知らせ
- 再生中は、⌐で一時停止／再生ができます。

カレンダー／待受カスタマイズ

待受画面をいくつかのエリアに分割し、新着情報、スケジュール、カレンダー、メモ、歩数・活動量情報を表示します。
- 待受画面に動画／ｉモーション、ｉアプリが設定されているときは表示されません。

1 MENU 8 1 2 3

2 1

解除：2

3 でパターンを切り替え

リセット：MENU［リセット］▶「はい」

4 エリアを選択▶表示する情報を選択
- 新着情報を選択した場合は、表示する情報を選択して📷を押します。
- 小さいエリアにはカレンダーや歩数・活動量情報を設定できません。また、エリアの大きさにより、カレンダーや歩数・活動量情報で選択できる項目は異なります。
- パーソナルデータロック中は、新着情報の不在着信一覧とカレンダー以外の情報は選択できません。

5 📷［登録］▶「はい」

◆ 待受画面で情報を確認

カレンダー／待受カスタマイズの情報を確認します。

1 ●▶エリアにカーソル▶●
- エリアが表示されていないときは、⌐を押してエリアを表示させてから操作します。

✔お知らせ
- ⌐を押すとエリアの表示と非表示を切り替えられます。待受画面にアニメーションを設定しているときは、再生が停止または一時停止した後に操作します。
- インフォメーション表示中は操作できません。

◆ 各情報の表示内容

- 表示される情報の件数や行数はエリアのサイズによって異なるため、情報の一部が表示されない場合があります。
- 各情報の日時は、当日は時刻が、当日以外では日付が表示されます。

新着情報：情報が新しいものから順に表示されます。エリアを選択すると先頭の情報が確認できます。

スケジュール：開始日時になっていないメモやワンセグの視聴／録画予約の早いものから順に表示されます。エリアを選択すると、先頭のメモまたは視聴／録画予約が確認できます。
- 開始日時と終了日時が同じ日でないメモには⇔が表示されます。
- ｉスケジュール内の予定は表示されません。

カレンダー：当日は黄で表示されます。スケジュールのメモやワンセグの視聴／録画予約が設定されているときは、日付の右上に赤いマークが表示されます。エリアを選択すると、スケジュールのカレンダーが表示されます。

メモ一覧：メモの件名一覧が表示されます。ToDo設定ありのメモの先頭にはマークが表示されます。エリアを選択するとメモ一覧が表示されます。
メモ内容：メモの件名と詳細が表示されます。エリアを選択するとメモの詳細が表示されます。
歩数・活動量情報：「シンプル」にすると、ウォーキング／Exカウンターで計測した今日の歩数や活動量、今週の活動量が表示されます。「ノーマル」にするとさらに一週間の目標活動量（23Ex）に対する達成状況が表示されます。「フル」にすると、「ノーマル」で表示される情報に加え、消費カロリーや脂肪燃焼量が表示されます。エリアを選択すると歩数／活動量／カロリー情報が表示されます。

MyFACE設定

MyFACEに関する設定を行います。

1 MENU 8 1 3

2 目的の操作を行う

MyFACE利用設定：1 ▶ 1 または 2
MyFACEを利用するかを設定します。「利用しない」にした場合、MyFACE表示操作を行うと通常のリダイヤル／着信履歴が表示されます。
- MyFACE表示中のサブメニューからも設定できます。

更新通知表示設定：2 ▶ 1 または 2
MyFACEが更新されたときに更新通知を表示するかを設定します。
- 「表示する」にすると、MyFACEが更新されたときは待受画面にが表示されます。

ローミング時自動更新設定：3 ▶ 1 または 2
国際ローミング中にMyFACEの自動更新を行うかを設定します。
- 「個別設定に従う」にすると、MyFACE表示中のサブメニューにある「自動更新設定」に従います。

低電力時動作設定：4 ▶ 1 または 2
電池残量が少なくなったときに、MyFACEを自動更新するかを設定します。

MyFACEビューア設定：5 ▶ **各項目を設定**
発着信一覧以外のMyFACE表示中の各種動作を設定します。
- サウンド設定、ページ内データ取得設定、Script動作設定、端末情報利用設定、Cookie設定、Cookie削除について→P172
- 通信継続確認設定は、最大サイズを超える通信時に確認画面を表示するかを設定します。

電話発着信画像

電話の発着信時に表示する画像を設定します。
- 電話着信設定、テレビ電話着信設定にも反映されます。
- 着信音と着信画像について→P82
- 着信動作の優先順位→P82

1 MENU 8 1 5 ▶ 1 または 3 ▶ 1 または 2 ▶ **各項目を設定** ▶ 📷［登録］

❖発信画像の優先順位

複数の機能で発信画像を設定している場合は、次の優先順位で画像が表示されます。
① FOMA端末電話帳に登録した画像（人物画像表示設定が「ON」の場合）
② FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
③ FOMA端末電話帳の会社名別発着信設定
④ 電話発信設定／テレビ電話発信設定

発着信番号表示設定

電話の発着信・通話時に、タイトルに表示する記号を設定します。
- 2in1の発着信番号表示設定のAナンバーにも反映されます。
- マルチナンバーの利用時は、記号は表示されません。

1 MENU 7 4 ✱ 3 ▶ **各項目を設定** ▶ 📷［登録］
- 識別表示を「ON」にすると識別記号を設定できます。

発着信の人物画像表示設定

電話発着信時に、FOMA端末電話帳の画像などを表示するかを設定します。
- 着信時は、相手が電話番号を通知してきたときに表示されます。

1 MENU 8 1 5 1 3 ▶ 1 または 2

メール送受信画像

メールの送信、メールの受信や受信完了、SMS受信完了、メッセージR/F受信完了、問合せ時に表示する画像を設定します。
- 着信音と着信画像について→P82

1 MENU 8 1 5 2 ▶ 項目を選択 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷 ［登録］

背面アニメーション設定

FOMA端末を閉じたときや着信時に、背面ディスプレイにアニメーションを表示します。
- 着信アニメーションを設定すると、電話／メール着信時設定の背面ディスプレイ着信表示は動作しません。

1 MENU 8 1 0 ▶ 項目を選択 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷 ［登録］
- メモリ別／グループ別／会社名別アニメーションでは、FOMA端末電話帳の個別着信設定、グループ別発着信設定、会社名別発着信設定の着信背面表示を設定できます。

照明設定

ディスプレイの照明点灯時間、画面オフ時間、明るさ調整を設定します。
- ブラウザの共通設定の照明設定、ｉアプリ設定の照明点灯時間設定、カメラの詳細設定の照明点灯時間にも反映されます。

1 MENU 8 3 1

2 目的の操作を行う

照明点灯時間設定：1 ▶ 項目を選択 ▶ 時間または動作を選択
画面オフ時間設定：2 ▶ 時間を選択
明るさ調整：3 ▶ 項目を選択 ▶ 明るさを選択

✔お知らせ
- 照明点灯時間設定で「常時点灯」にすると、明るさ調整で設定した明るさで常に照明が点灯します。ただし、ACアダプタ接続時を「常時点灯」にすると、充電時は明るさ調整の設定に関わらず「明るさ2」で点灯します。
- 照明点灯時間設定で「端末設定に従う」にすると、通常時で設定した点灯時間に従って照明が点灯します。
- 照明点灯時間設定でｉアプリを「ソフトに従う」にすると、ｉアプリの設定に従って点灯します。常時点灯のｉアプリの場合、照明は消灯しません。
- 画面オフ時間設定は、照明点灯時間設定で「常時点灯」に設定している機能では無効です。
- 画面オフ時間設定で設定した時間が経過しても、着信中や受信中、テレビ電話中、カメラ操作中、ワンセグ視聴中、ワンセグのビデオ再生中、アラーム鳴動中などは表示は消えません。動作終了後に設定時間が経過すると表示が消えます。
- 明るさ調整で「自動調整」にすると、ディスプレイの照明が周囲の明るさによって自動的に変更されます。周囲が明るい場所ではキーバックライトは点灯しません。
- 明るさ調整で「端末設定に従う」にすると、通常時で設定した明るさになります。

プライバシービュー

周りの人からディスプレイを見えにくくします。

◆ プライバシービューの起動／解除

1 MULTI（1秒以上）

- 待受画面以外でも操作できます。

◆ プライバシービューレベル設定

プライバシービュー起動中の表示レベルを設定します。

1 MENU 8 1 9 ▶ 1〜3

ecoモード設定

一時的にディスプレイの照明や音などを調整し、電池の消費を抑えます。

◆ ecoモードON／OFF

1 MENU 8 7 1 1 ▶ 1 または 2

- ONにすると、待受画面にが表示されます。
- セレクトメニューの設定がお買い上げ時の状態のときは、5 を1秒以上押してもecoモードのON／OFFを切り替えられます。

✔**お知らせ**

- 次の場合、ecoモードはOFFに設定され、ecoモードで変更された設定は元の状態に戻ります。
  - ecoモードで設定される項目を個別に変更したとき（照明設定の照明点灯時間設定の通常時と画面オフ時間設定をecoモードで設定される値以下に設定した場合を除く）
  - きせかえツールのリセットで画面／音設定の初期化をしたり、「明るさ1」以外の明るさを含むきせかえツールを設定したりしたとき
  - トータルカスタマイズを設定したり、トータルカスタマイズを「変更する」に設定したライフスタイル設定が動作したりしたとき

◆ ecoモード動作設定

ecoモードがONのときの動作を選択します。

1 MENU 8 7 1 2 ▶ 1 または 2

❖ecoモードにすると

- 標準省電力にすると、次のように動作します。
  - 操作確認音（シャッター音を除く）、イルミネーション設定の通話中、現在地確認、現在地通知、ICカードアクセス、端末クローズ、キーイルミネーション設定、キーバックライト設定、不在着信お知らせ、時報設定は「OFF」になります。
  - 照明設定の照明点灯時間設定の通常時は「10秒」（設定が0秒、5秒の場合を除く）、通常時以外は「端末設定に従う」に、画面オフ時間設定は「15秒」（設定が10秒の場合を除く）、明るさ調整は「明るさ1」になります。
  - ワンセグecoモードはONになります。
- フル省電力にすると、標準省電力の動作に加えて次のように動作します。
  - モーションセンサー設定、背面自動点灯設定、マチキャラ設定の表示設定、オートGPS動作設定は「OFF」になります。
  - マナーサポート、待受スライドショー、背面ディスプレイ表示は動作しなくなります。
  - 照明設定の照明点灯時間設定の通常時は「0秒」、画面オフ時間設定は「10秒」、ウォーキング／Exカウンター設定は「利用しない」になります。
  - 電話発着信画像、テレビ電話発着信画像、メール送受信画像、メール受信結果画像、SMS受信完了画面、メッセージR/F受信完了画面、ｉモード問い合わせ中画面は、フル省電力用静止画になります。ただし、設定によってはフル省電力用静止画を表示せず、設定した画像を表示する場合があります。

◆ ecoモード自動起動設定

電池残量によってecoモードのON／OFFが切り替わるように設定します。
- 待受画面表示中に電池残量が設定した値（お買い上げ時は40%）になると、ecoモードが切り替わります。待受画面以外を表示していたときは、待受画面を表示するかディスプレイの照明が消灯すると切り替わります。
- お買い上げ時やecoモード自動起動設定を「ON」に設定後に初めてecoモードが切り替わるときは、確認画面が表示されます。

1 MENU 8 7 2 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷［登録］

自動起動設定を「ON」にすると、待受画面に（グレー）が表示されます。ただし、ecoモードがONのときは（緑）が表示されます。
- 自動起動設定を「ON」にすると、電池残量と設定アシスト機能が設定できます。電池残量は20%、40%、60%、80%から選択できます。
- 設定アシスト機能を「ON」にすると、指定した電池残量以下の状態でecoモードをOFFにしても、ディスプレイの表示が消えるたびにecoモードがONに切り替わります。

背面自動点灯設定

FOMA端末を持ち上げて傾けたときに背面ディスプレイの照明を自動点灯させるかどうかを設定します。

1 MENU 8 1 8 ▶ 1 または 2

✔**お知らせ**
- FOMA端末を閉じた静止状態から持ち上げて傾けたときの速度や角度などによっては、背面ディスプレイの照明が点灯しない場合があります。
- 歩行中や振動の多い場所でFOMA端末を傾けたままの状態にしたときに、背面ディスプレイの照明が自動点灯する場合があります。

カラーテーマ設定

画面の背景のデザインを変更します。

1 MENU 8 1 4 ▶ カラーテーマを選択

表示メニュー設定

待受画面でMENUを押すと表示されるメニューのタイプを設定します。
- メニュー画面の種類→P34

1 MENU 8 1 7 1 ▶ メニューのタイプを選択

マチキャラ設定

待受画面にキャラクタを表示します。
設定を行ったときの確認メッセージなどをマチキャラ独自の話しかたで表現したり、FOMA端末の状態や入力文字の内容に合わせてメッセージを表示したりするフレンドリーメッセージ対応のマチキャラも利用できます。
- 「リーフロボット」「くーまん」がフレンドリーメッセージに対応しています。
©Dora communications

1 MENU 8 1 6

2 1 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷［登録］
- 表示設定を「ON」にするとマチキャラを選択できます。
- フレンドリーメッセージに対応したマチキャラを選択すると、フレンドリーメッセージを設定できます。「ON」にすると、待受画面に戻ったときにマチキャラに呼びかたを確認されます。●を2回押すとユーザ名称入力画面が表示され、マチキャラに呼びかけられたい名前（ユーザ名称）を設定できます。

自動アップデート設定：2▶1または2
- マチキャラを自動更新するかどうかを設定します。

アップデート通知設定：3▶1または2
- 自動アップデート設定を「ON」にした場合に設定できます。
- 「ON」にすると、マチキャラが更新されたときに待受画面にが表示されます。待受画面で●▶アイコンを選択▶「はい」を押すとアップデートできます。

✔お知らせ
- ｉアプリ待受画面を設定している場合や、待受画面に設定した動画／ｉモーションの再生中は、マチキャラは表示されません。
- マチキャラによっては、アップデートにｉコンシェルの契約が必要です。
- 自動アップデート設定を「OFF」にしても、データBOXのマチキャラ一覧のサブメニューから手動アップデートできます。
- ユーザ名称はマチキャラごとに保持され、データBOXのマチキャラ一覧のサブメニューから一括情報リセットを行うと消去されます。一括情報リセットを行うと、設定経過時間、積算通話時間、送受信メール数もリセットされます。

◆ マチキャラおしゃべり設定

音声クイック起動利用時に質問を読み上げるかどうかを設定します。
- 「ON」にしても、音声出力に対応していないマチキャラの設定中は動作しません。
- 「セイリアン」が音声出力に対応しています。

1 MENU 8 2 7 ▶ 1または2
- 「ON」にしたときは、さらに音声出力先を選択します。

きせかえツールの利用

きせかえツールを利用すると、待受画像、メニュー、発着信画像などを一括で設定できます。
- microSDカードのきせかえツールは設定できません。
- きせかえツールでは、次の項目が設定できます（きせかえツールによって、設定できる項目の組み合わせの内容は異なります）。
  - アンテナアイコン、電池アイコン、カスタムメニュー※、待受画面、音声電話発信画面、テレビ電話発信画面、音声電話着信画面、テレビ電話着信画面、メール送信画面、メール受信画面、メール受信完了画面、SMS受信完了画面、ｉモード問い合わせ画面、メッセージ受信完了画面、待受時計デザイン、待受時計形式、待受時計表示位置、待受時計曜日、カラーテーマ、ｉモードメニュー背景、メールメニュー背景、マチキャラ、音声電話着信音、テレビ電話着信音、メール着信音、メッセージR着信音、メッセージF着信音、SMS着信音、ｉコンシェル着信音、アラーム音、フォント、明るさ

  ※ ノーマルメニュー用のデザインです。「基本メニュー背景」や「メール」などのアイコンが個別の項目として設定されている場合があります。
- きせかえツールに含まれるカスタムメニューによっては、ショートカット操作や、Select languageを「English」にしたときの英語表示に対応していないものがあります。
- 2in1のBモードとデュアルモードの待受画面、Bナンバーの着信音にはきせかえツールの項目は設定されません。

1 MENU 5 8

→microSD：microSDカードのフォルダ一覧を表示
ｉモード：サイトからダウンロードしたきせかえツール
プリインストール：プリインストールされているきせかえツール
ｉモードで探す：ｉモードサイトからきせかえツールを探す→P169

2 **フォルダを選択▶きせかえツールにカーソルを合わせる**

- マークの意味は次のとおりです。
  データBOX共通のマーク→P269
  ☑／▣：設定中／設定されていないきせかえツール
- サムネイル表示できない場合は次のように表示されます。
  ▣：サムネイル画像を取得できないきせかえツール
  ▣：ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能により使用不可

3 **[📷]［一括設定］▶「はい」**

きせかえツールの項目が一括設定されます。設定されていた文字サイズとの組み合わせによっては、文字サイズの一括設定の確認画面が表示されます。

項目の表示：きせかえツールを選択
- サブメニューから再生時の音量や待受iモーションの表示サイズが設定できます。
- 項目を選択すると、イメージや設定内容が表示できます。

✔お知らせ
- 「シンプルメニュー」を設定するとSelect languageは設定できません。
- 各設定画面で「きせかえツールに従う」に設定されている項目は、「きせかえツールに従う」以外を選択するときせかえツールの解除確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、該当項目のみ解除されます。きせかえツールの設定に戻すには、再度きせかえツールを設定してください。
- きせかえツール内に表示・再生できないデータがあるときは、きせかえツールを設定しても、そのデータのみ設定されません。
- 着信音または着信画像のいずれかが含まれるきせかえツールを設定した場合、設定中の着信画像または着信音との組み合わせによっては、そのデータのみ設定されません。また、「きせかえツールに従う」に設定されても、お買い上げ時の設定で着信音が鳴ったり「標準画像」が表示されたりする場合があります。
- [MULTI][8][7]からリセットができます。
- フォルダ一覧のサブメニューからフォルダ管理やメモリ確認が、きせかえツール一覧のサブメニューからタイトル（情報）編集、情報表示、削除、移動、表示切替、ソートなどができます。→P296〜299

◆スペシャルモード

スペシャルモードにすると、きせかえツールの「プリインストール」フォルダに「Rocket」が追加され、自動的に設定されます。

1 **[MENU]▶[📷]［セレクト］▶[MENU]▶[1]または[2]▶[3]▶グループ名欄に全角で「ロケット」と入力▶[📷]［登録］**

- 次の項目が設定されます。
  - アンテナアイコン、電池アイコン、カスタムメニュー、待受画面、音声電話発信画面、テレビ電話発信画面、音声電話着信画面、テレビ電話着信画面、メール送信画面、メール受信画面、メール受信完了画面、SMS受信完了画面、iモード問い合わせ画面、メッセージ受信完了画面、待受時計デザイン、待受時計形式、待受時計表示位置、待受時計曜日、カラーテーマ
- 設定手順と同じ操作をすると、「プリインストール」フォルダから「Rocket」が削除され、各設定はお買い上げ時の状態になります。
- スペシャルモードに関する情報は、「@Fケータイ応援団」サイトの「裏技紹介」をご覧ください。→P298

メニューのカスタマイズ

ノーマルメニューのメニュー項目を変更したり、ベーシックメニューのデザインを変更したりします。

◆ ノーマルメニューのカスタマイズ

ノーマルメニューのメニュー項目を変更します。
- メニュー項目の変更や入れ替えに対応したきせかえツールをダウンロードして設定している場合のみ操作できます。

1 MENU ▶ メニュー項目にカーソル

2 目的の操作を行う

機能上書き登録：MENU［サブメニュー］▶ 2 ▶ 登録する機能にカーソル ▶ 📷［登録］
- 2階層目のメニューからも登録できます。

機能入替え：MENU［サブメニュー］▶ 3 ▶ 入れ替え先の項目を選択

◆ ベーシックメニューのカスタマイズ

ベーシックメニューのデザインを変更します。

1 MENU ▶ iα［ベーシック］
- ベーシックメニュー利用中は iα を押す必要はありません。

2 MENU［サブメニュー］▶ 2

3 機能を選択 ▶ フォルダを選択 ▶ 画像にカーソル ▶ 📷［決定］
- 静止画を選択したときは、選択時アイコンの画像設定確認画面が表示されます。「はい」を選択したときは、フォルダを選択 ▶ 画像にカーソル ▶ 📷 を押します。
- 続けて他の機能のメニューアイコンも同様に設定できます。

1件解除：アイコンにカーソル ▶ MENU［サブメニュー］▶ 1 ▶「はい」
全件解除：MENU［サブメニュー］▶ 2 ▶「はい」

4 iα［背景］▶ フォルダを選択 ▶ 画像にカーソル ▶ 📷［決定］

背景解除：MENU［サブメニュー］▶ 4 ▶「はい」

5 📷［確定］▶「はい」
- ベーシックメニュー利用中は「はい」の選択は不要です。

✔お知らせ
- Flash画像は設定できません。また、アイコンには画像サイズが76×76、152×152以外の画像は設定できません。
- パーソナルデータロック中は、ベーシックメニューのアイコンと背景を変更できません。

◆ 機能説明文表示

メニュー項目の機能説明文を表示するかどうかを設定します。
- 文字サイズ設定の全体を「大」「最大」「極大」に設定中、大きめフォント対応のノーマルメニュー利用中に設定できます。ただし、セレクトメニュー画面では設定できません。

1 メニュー画面で MENU 6（ベーシックメニュー画面では MENU 5）
- 操作するたびに機能説明文表示のON／OFFが切り替わります。

✔お知らせ
- 「機能説明文表示OFF」に設定しても、ノーマルメニューの「シンプルメニュー」利用中の2階層目までのメニュー画面や、セレクトメニュー画面では機能説明文が表示されます。

◆ メニューのリセット

メニュー操作履歴リセットを選択すると、メニューの使用回数や使用日時の情報が削除されます。メニュー設定オールリセットを選択すると、表示メニュー設定、ノーマルメニュー、セレクトメニューがお買い上げ時の状態に戻ります。

1 MENU 8 1 7 3 ▶ 1 または 2 ▶「はい」
- メニュー設定オールリセットでは認証操作が必要です。

画面のトータルカスタマイズ

メニューデザイン、カラーテーマ設定、待受画像設定、待受時計、電池／アンテナアイコン、端末クローズイルミネーション、キーバックライト色を組み合わせて、3種類のオリジナルコーディネイトを作成できます。

- トータルカスタマイズを設定すると、照明設定の明るさ調整、文字サイズ設定、フォント選択、ecoモード、ワンセグのユーザ設定の字幕サイズがお買い上げ時の設定に戻ります。また、照明設定の照明点灯時間の通常時を「0秒」に設定していたときは、それ以前の設定値に変更されます。
- 2in1のBモードとデュアルモードの待受画面は変更されません。

1 MENU 8 0 2 ▶タイトルを選択▶各項目を設定▶ 📷 ［登録］▶タイトルにカーソル▶ 📷 ［設定］

- タイトルは全角10（半角20）文字以内で入力します。

電池／アンテナアイコン設定

電池／アンテナアイコンを変更します。

1 MENU 8 1 2 ▶ 5 または 6 ▶アイコンを選択

イルミネーション設定

着信時、通話中、GPS測位時、ICカードアクセス時、FOMA端末を閉じたときに点灯するイルミネーションを設定します。

- 電話着信設定、テレビ電話着信設定、GPSの点灯色／鳴動音設定にも反映されます。
- 着信動作の優先順位→P82
- ランプの点灯色や明るさについて→P427

1 MENU 8 3 2 ▶ 1 または 2

- 「一括設定」を選択したときは、さらに項目を選択します。操作2は不要です。

2 機能を選択▶各項目を設定▶ 📷 ［登録］

- 着信イルミネーションパターンを「メロディ連動」に設定してもメロディによっては連動しない場合があります。
- GPS測位イルミネーションパターンは「メロディ連動」に設定できません。また、位置提供／許可、位置提供／毎回確認には「OFF」も設定できません。
- 端末クローズイルミネーションパターンは「メロディ連動」「OFF」に設定できません。

キーイルミネーション設定

着信時、メール送信時、データ送受信時、FOMA端末を開いたときなどに点灯するキーイルミネーションを設定します。

- 電話着信設定、テレビ電話着信設定にも反映されます。

1 MENU 8 3 3 ▶ 2 または 3

- 「一括設定」を選択したときは、さらに項目を選択します。操作2は不要です。

2 機能を選択▶各項目を設定▶ 📷 ［登録］

◆ キーバックライト設定

キーを押したときに点灯するキーバックライトの動作を設定します。

1 MENU 8 3 3 1 ▶各項目を設定▶ 📷 ［登録］

- キーバックライトを「ON」にすると、キーバックライト色を設定できます。
- キーバックライトを「OFF」にすると、キーイルミネーションも動作しなくなります。

不在着信お知らせ（ランプ）

不在着信や未読メール（SMS含む）があることをランプの点滅でお知らせします。

1 MENU 8 1 5 4 2 ▶ 1 または 2

✔**お知らせ**

- エリアメール、メッセージR/F受信時は動作しません。
- FOMA端末を閉じた状態で電話着信やメール受信があると、ランプは着信・受信時の点灯色で約10秒間隔で点滅します。
- 次の場合は、ランプはイルミネーション設定のイルミネーションカラーで、約30分間隔で点滅します。複数の新着情報がある場合、電話着信、メール着信の順に優先されます。
  - FOMA端末を閉じた状態でインフォメーション受信があった場合
  - FOMA端末を開いた状態で電話着信、メール受信、インフォメーション受信があり、情報を確認せずにFOMA端末を閉じた場合
  - FOMA端末を閉じた状態で新着情報の件数が変化してから、FOMA端末を開かずに約6時間経過した場合
  - 約10秒間隔でランプが点滅しているときにFOMA端末を開き、情報を確認せずにFOMA端末を閉じた場合
  - 約10秒間隔でランプが点滅しているときにFOMA端末の電源を入れ直し、情報を確認せずにFOMA端末を閉じた場合
- 新着情報の件数が変化してから約12時間（インフォメーションは約6時間）経過するか、新着情報アイコンを消去するとランプは消灯します。

時報設定

設定した時間の正時を、背面ディスプレイの表示やランプでお知らせします。音を鳴らすようにも設定できます。

- FOMA端末を開いているときや、背面ディスプレイに情報が表示されているとき、公共モード（ドライブモード）中、おまかせロック中は動作しません。
- ランプの点灯色は時刻によって異なります。

1 MENU 8 5 4 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷［登録］

フォント選択

文字の種類を変更します。

- カメラ、ｉアプリ、ｉモーションなどの機能の一部には反映されません。

1 MENU 8 4 2 ▶ 文字種欄を選択

2 フォントを選択 ▶ 📷［登録］

削除：フォントにカーソル ▶ MENU［削除］▶「はい」

- お買い上げ時に登録されているフォントや、現在利用中のフォントは削除できません。

文字サイズ設定

文字の大きさを設定します。

- ｉモード、フルブラウザ、受信／送信メール（サブメニュー）、MyFACE、電子辞書の文字サイズ設定にも反映されます。

1 MENU 8 4 1 ▶ 項目を選択 ▶ 文字サイズを選択

- 全体で選択した文字サイズによっては、メニューの文字サイズ変更の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、きせかえツールを選択できます。
- 項目により選択できる文字サイズは異なります。全体で選択した文字サイズが対応していない項目には、最も近い文字サイズが設定されます。

着信ひかえめ設定

着信時に表示される文字を小さくして、周りの人から内容を見えにくくします。

1 MENU 8 4 6 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷［登録］

- 着信ひかえめ設定を「ON」にすると文字サイズを設定できます。背面ディスプレイの文字も小さくなりますが、文字サイズは設定できません。

時計表示設定

待受画面の時計デザインや曜日の表示言語、時刻の表示形式などを設定します。

1 MENU 8 5 2 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷［登録］

- デザインを「ON」にすると、時計のデザイン、表示位置、曜日を設定できます。
- 曜日を「バイリンガルに従う」にすると、Select languageの設定に従って表示されます。
- デザインで「デジタル5」を選択し、タイムゾーンなどを設定すると、日本と設定したタイムゾーンの時刻を左右に並べて表示できます。サマータイムを「ON」にすると、タイムゾーンの時刻が1時間進められて表示されます。

✔お知らせ

- 待受画面以外の画面では、ディスプレイ右上に時刻が表示されます。この表示は、形式の設定（「24時間表示」または「12時間表示」）に従います。
- 待受画面に動画／ｉモーションやｉアプリが設定されているときは、本設定に関わらず画面右上に時計表示されます。また、オールロック中は表示位置が「上」になります。

Select language

メニューなどに表示される言語を英語に変更できます。

1 MENU 8 4 4 ▶ 1 または 2

✔お知らせ

- 本設定は、ドコモminiUIMカードにも保存されます。
- 「English」に設定しても、きせかえツールによってはノーマルメニューが英語に切り替わらないものがあります。ただし、「プリインストール」フォルダのきせかえツールを設定しているときは「English」専用のメニューが表示されます。
- ショートカットのタイトルは貼り付けたときの言語から切り替わりません。

あんしん設定

暗証番号

操作・機能の制限

親子モード

着信の制限

その他のあんしん設定

FOMA端末で利用する暗証番号

FOMA端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要な場合があります。暗証番号には、各種端末操作用の端末暗証番号の他、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

- 入力した端末暗証番号やネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどは「*」で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

❖端末暗証番号

お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P103

- 誤った端末暗証番号を連続5回入力すると、電源が切れます。

✔お知らせ

- パスワードマネージャーをご利用になる場合は、端末暗証番号を必ず変更してください。変更する端末暗証番号も、電話番号の下4桁などのわかりやすい番号の使用は避け、他人に知られないよう十分ご注意ください。また、設定した端末暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようご注意ください。
  ※ 万が一、第三者の不正な使用による不利益があっても、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

❖パスワード（子供用）

親子モード中に認証操作が必要な場合に、端末暗証番号の代わりに使用する暗証番号です。パスワード（子供用）ではセキュリティ機能などの設定は変更できません。お子様用としてご利用ください。お買い上げ時には「1111」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。万が一パスワードをお忘れになっても、パスワード変更で端末暗証番号を入力することで再設定できます。→P118

- パスワード入力が必要なときは、端末暗証番号入力または指紋認証操作をしても認証されます。

❖ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

なお、ｉモードからは、ｉMenu→「お客様サポート」→「各種設定（確認・変更・利用）」→「ネットワーク暗証番号変更」からお客様ご自身で変更ができます。

- 「My docomo」「お客様サポート」については、取扱説明書裏面の裏側をご覧ください。

❖ｉモードパスワード

マイメニューの登録／削除、メッセージサービス、ｉモード有料サービスのお申し込み／解約などを行う際には、4桁の「ｉモードパスワード」が必要です。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P159
この他にも各IP（情報サービス提供者）が独自にパスワードを設定している場合があります。

❖PIN1コード／PIN2コード

ドコモminiUIMカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P104
PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、ドコモminiUIMカードを取り付ける、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。PIN1コードを入力すると、発着信および端末操作ができます。
PIN2コードは、積算通話料金リセット、通話料金自動リセット設定を変更するときなどに使用する4～8桁の暗証番号（コード）です。

- 別のFOMA端末で利用していたドコモminiUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前に設定されたPIN1／PIN2コードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。

❖microSDパスワード

microSDカードにパスワードを設定できます。パスワードを設定したmicroSDカードを他の携帯電話に取り付けて使用する場合は、その携帯電話にパスワード認証をする必要があります。パソコンやパスワード設定機能のない携帯電話などに取り付けた場合には、データの利用や初期化ができません。→P294

- microSDカードによっては本機能に対応していない場合があります。

❖PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための数字8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を連続10回間違えると、ドコモminiUIMカードがロックされます。

PIN1／PIN2コード入力 → 連続3回間違い → PINロック解除コード入力 → OK → 新PIN1／PIN2コード設定可能
PINロック解除コード入力 → 連続10回間違い → ドコモショップ窓口にお問い合わせください

端末暗証番号設定

端末暗証番号を設定します。お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されています。

- パスワード（子供用）と同じ番号は設定できません。また、親子モード中は端末暗証番号の設定はできません。

1 MENU 8 6 3 1 ▶認証操作

2 新しい端末暗証番号を入力▶新しい端末暗証番号（確認）欄に新しい端末暗証番号を入力▶［カメラ］［登録］

PINコードの設定

電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定したり、PIN1／PIN2コードを変更したりします。

◆PIN1入力ON／OFF切替

電源を入れたときにPIN1コードを入力するかを設定します。
- 現在の設定を変更する場合のみPIN1コード入力画面が表示されます。

1 **MENU 8 6 9 3 ▶ 1 または 2 ▶ PIN1コードを入力**

- PIN1コードを連続3回間違えると、PIN1コードがロックされます。「OK」を選択してPINロック解除コードを入力してください。
- 「ON」にしたときは、正しいPIN1コードを入力しないと、すべての操作ができません。

✔お知らせ

- 本設定は、ドコモminiUIMカードに保存されます。
- アラーム自動電源ONによって自動的に電源が入った場合、アラームにダウンロードしたメロディやｉモーション、ミュージックを設定していても、お買い上げ時の設定で動作し、[終話]を押してアラームを止めた後にPIN1コード入力画面が表示されます。

◆PIN1／PIN2コードの変更

PIN1／PIN2コードを変更します。ご契約時はどちらも「0000」に設定されています。
- PIN1コードを変更するときは、PIN1入力ON／OFF切替を「ON」にする必要があります。

1 **MENU 8 6 9 ▶ 1 または 2 ▶ 認証操作**

2 **現在のPIN1／PIN2コードを入力▶新しいPIN1／PIN2コード欄に新しいPIN1／PIN2コードを入力▶新しいPIN1／PIN2コード（確認）欄に新しいPIN1／PIN2コードを入力▶ [カメラ] ［登録］**

- PIN1／PIN2コードを間違えると、認証の失敗を示す画面が表示されます。「OK」を選択して正しいPIN1／PIN2コードを入力してください。連続3回間違えると、PINコードがロックされます。「OK」を選択してPINロック解除コードを入力してください。

✔お知らせ

- 本設定は、ドコモminiUIMカードに保存されます。
- PIN2コードの入力を連続3回間違えてPIN2コードがロックされた場合でも、電話の発着信、メールの送受信などはできますが、PIN1コードの入力を連続3回間違えてPIN1コードがロックされた場合には、それらの操作はできなくなります。

PINロックの解除

PINコードのロックを解除し、新しいPINコードを設定します。
- PINロック解除コードの入力を連続10回間違えるとドコモminiUIMカードがロックされます。

1 **PINロック解除コード入力画面で、PINロック解除コードを入力**

2 **新しいPIN1／PIN2コード欄に新しいPIN1／PIN2コードを入力▶新しいPIN1／PIN2コード（確認）欄に新しいPIN1／PIN2コードを入力▶ [カメラ] ［登録］**

指紋認証機能

指紋認証機能は、ダイヤルキーで端末暗証番号を入力する代わりに、指を指紋センサー上でスライドすることで行う認証機能です。
- 指紋認証画面でMENU［暗証番号］またはダイヤルキーを押すと、端末暗証番号入力画面に切り替わります。ただし、指紋のみ認証設定が「ON」の場合は、端末暗証番号での認証操作ができません。

◆ 指紋認証機能利用時の留意事項

指紋認証機能利用時の留意事項は次のとおりです。

- 本機能は指紋画像の特徴情報を認証に利用するものです。このため、指紋の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証機能が利用できないことがあります。
- 指紋の登録には同じ指で3回の読み取りが必要です。異なる指で登録を行わないでください。
- 認証性能（正しく指をスライドさせた際に指紋が認証される性能）はお客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を洗う、手を拭く、認証する指を変える、手荒れや乾いている場合はクリームを塗るなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
  - 風呂上がりなどで指がふやけていたり、濡れたり、汗をかいたりしている
  - 指に汗や脂が多く、指紋の間が埋まっていたり、泥や油などで汚れている
  - 手が荒れたり、指に損傷（切傷やただれなど）を負ったりしている
  - 手が極端に乾燥している、乾燥肌である
  - 太ったりやせたりして指紋が変化した
  - 磨耗して指紋が薄い
  - 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる
- 指紋の登録・認証の際は、第1関節をセンサー中央に合わせ、センサーと平行になるように指を押し当てながら指紋センサーの領域を通過するまで下方向へスライドさせます。登録時と認証時の指の位置の違いによる認証失敗を防ぐためには、端末と同じ方向に指を置いてスライドさせてください。
- スライドが速すぎたり遅すぎたりすると、正常に認識できないことがあります。
- 親指は指紋の渦の中心がずれたりゆがんだりして、登録や認証が困難な場合があります。できるだけ指紋の渦の中心が指紋センサーの中心を通過するようにスライドさせてください。
- 指紋が正常に読み取れなかったときは、警告メッセージが表示されます。一定時間内に認証されなかったときは、確認メッセージが表示され1つ前の画面に戻ります。
- 指紋センサーに指を置いたまま指紋の登録・認証を開始すると、起動できない場合があります。指を離して操作をやり直してください。
- FOMA端末を、デスクトップパソコンなどアースを必要とする機器にUSBケーブルで接続するときは、必ず機器のアースが接続されていることを確認してください。アースが接続されていない状態で接続している間は、指紋認証できない場合があります。その場合は、接続する機器の金属部分（筐体や外部接続用コネクタなど）に触れながら指紋認証を行うか、FOMA端末を機器から取り外して指紋認証を行ってください。
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では本製品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◆ 指紋センサー利用時の留意事項

指紋センサー利用時の留意事項は次のとおりです。

- 指紋センサー表面のシート部は防水性を維持するための保護膜です。はがしたり、ペン先など鋭利なものでつついたりしないでください。
- 指紋センサー表面は防水性を有していますが、指紋センサー表面や操作する指先に水滴や汚れが付着した場合は誤動作の原因となります。柔らかい布で水滴・汚れを取り除いてご使用ください。また、水分により指先がふやけた場合でも、誤動作の原因となる場合があります。
- 次のような場合は、故障および破損の原因となることがあります。
  - ぶつけたり、強い衝撃を与えたりする
  - ひっかいたり、先の尖ったものでつついたりする
  - 爪やストラップの金具など硬いものを押し付け、指紋センサー表面にキズが入る
  - 泥などで指紋センサー表面にキズが入る、表面が汚れる
  - シールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりする
- 次のような場合は、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
  - ほこりや皮脂などの汚れ、汗などの水分の付着や結露
- 次のような現象が起きる場合は、指紋センサー表面を清掃してください。現象が改善されることがあります。
  - 「センサー表面の汚れを取り除いてください」というメッセージが表示される
  - 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する
- 指紋センサーを清掃する際には、静電気の発生しにくい乾いた柔らかい布で表面の汚れを取り除いてください。長期間の使用によりゴミがたまることがありますが、その場合でも先の尖ったもので取り除かないでください。
- 静電気が故障の原因となる場合があります。指紋センサーに指を置く前に、金属に手を触れるなどして静電気を取り除いてください。冬期など乾燥する時期は、特にご注意ください。

◆ 指紋登録

指紋による認証操作を行うには、最初に指紋を登録します。
- 通常の場合と親子モード中の指紋は、それぞれ最大10件登録できます。
- 親子モード中に登録した指紋は、親子モード中にのみ利用できます。

1 MENU 8 6 3 2 ▶ 認証操作

2 「OK」▶ メッセージに従って指紋センサーに指を押し当ててスライド

- 指紋の読み取り中に電話がかかってきたり、アラームやメモのアラームで指定日時になったりした場合、その時点で登録は中止されます。

3 登録名を入力（全角10（半角20）文字以内）▶ 📷 ［登録］

- 利用設定を示す✔が表示されます。
- 続けて指紋登録をする場合は 📷 を押します。

◆ 指紋のみ認証設定

指紋のみ認証設定を「ON」にする場合は、異なる指での指紋登録および利用設定が2件以上必要です。指紋のみ認証設定を「ON」にすると、端末暗証番号での認証操作ができなくなります。
- 親子モード中は、指紋のみ認証設定は利用できません。
- お客様の使用状況や指の状態、指紋センサーの故障などにより、登録したいずれの指による認証もできない場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。

〈例〉指紋のみ認証設定を「ON」にする

1 MENU 8 6 3 4 ▶ 認証操作

2 1 ▶ 「OK」▶ iα ［設定完了］

- 2件以上の指紋登録と利用設定をしないと、設定完了できません。📷 を押して操作を完了させてください。

解除：2

◆ 指紋認証の操作

指紋認証画面が表示されたときに、利用設定した指紋で認証操作を行います。

1 指紋認証画面が表示されたら、指紋センサー上で利用設定した指をスライド

- 正しく認証されなかった場合は、指を指紋センサーから離し、もう一度認証操作を行ってください。認証性能が低いときは、指紋を登録し直してください。

✔お知らせ

- 指紋認証を連続5回失敗すると、端末暗証番号入力画面が表示されます。指紋のみ認証設定が「ON」のときには、電源が切れます。認証失敗の累積回数は、正しい認証操作や指紋認証画面の再表示によってクリアされます。

◆ 指紋の管理

利用設定した指紋の確認や削除、登録名の変更などを行います。
- 指紋のみ認証設定が「ON」のときは、利用設定中の指紋を削除できません。また、利用設定中の指紋が2件の場合は利用解除できません。
- 親子モード中は、親子モード中に登録した指紋のみ管理できます。

〈例〉指紋を削除する

1 MENU 8 6 3 3 ▶ 認証操作

2 指紋にカーソル ▶ MENU ［サブメニュー］▶ 3 ▶ 1 ～ 3 ▶「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせた指紋が削除されます。
- 選択削除では選択操作 ▶ 📷 が必要です。
- ✉ を押すと、登録した指紋が確認できます。

利用設定／解除：利用設定／解除する指紋を選択
利用設定した指紋には✔が表示されます。

登録名を編集：指紋にカーソル ▶ MENU ［サブメニュー］▶ 4 ▶ 登録名を編集 ▶ 📷 ［登録］

順番を変更：指紋にカーソル ▶ MENU ［サブメニュー］▶ 5 または 6

オールロック

オールロックを起動すると、各種メニューの操作などができなくなり、他人が不正にFOMA端末を使用するのを防げます。

オールロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、待受画面で緊急通報番号を入力して[発信]または[iα]を押します。
※ 端末暗証番号入力画面で入力した緊急通報番号は「*」で表示されます。

■ **指紋認証のとき**
待受画面で[MENU]を押し、指紋認証画面で緊急通報番号を入力して[発信]または[iα]を押します。

■ **指紋のみ認証設定が「ON」のとき**
待受画面で[MENU][発信]を押し、緊急通報番号を入力して[発信]を押します。

- オールロックを起動しても、ICカードロックは起動されません。ICカードロックとオールロックの両方を起動するには、先にICカードロックを起動してからオールロックを起動してください。→P250
- ドコモminiUIMカードやmicroSDカードにはロックはかかりません。

1 [MENU][8][6][1][2]▶**認証操作**

待受画面に「オールロック中」と表示されます。
解除：**端末暗証番号を入力（指紋認証設定中は[MENU]▶認証操作）**

❖オールロックを起動すると

- 次の機能は利用できます。
  - 電源を入れる／切る操作
  - 音声電話やテレビ電話を受ける操作※1
  - ケータイデータお預かりサービスの自動更新
  - メール（SMS含む）やメッセージR/Fの受信※2
  - エリアメールの受信、おまかせロックの起動
  - ｉアプリコールの受信※3
  - おサイフケータイ（トルカを含む）の読み取り機にかざしての利用※4
  - GPSの位置提供の要求を受けたときの操作※5
  - ワンタッチアラーム
  - ソフトウェア更新、パターンデータの自動更新

※1 電話帳に登録している相手の名前や画像は表示されず、電話番号のみ表示されます。また、着信時の着信画像や着信音などは標準のデータで動作します。テレビ電話の代替画像は標準画像になります。
※2 受信中および受信完了の画面表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。また、メール自動返信設定を「ON」にしていても、メールの自動返信は行われません。
※3 自動受信はできますが、応答確認画面の表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。
※4 トルカの取得が完了したときの音は鳴動しません。
※5 位置提供の要求者IDが電話帳と一致しても、要求者名は表示されません。

✔お知らせ

- 着信拒否設定の登録外着信拒否、メモリ別着信拒否／許可の設定に関わらず着信します。
- 待受画像はお買い上げ時の設定になりますが、マチキャラやショートカットは表示されません。時計の表示位置は上になります。
- 電話／メール着信時設定で名前を表示するように設定していても、着信時の画面には電話番号のみ表示されます。また、受信結果テロップを表示するように設定していても、表示されません。
- アラームやメモのアラームは動作しません。また、ワンセグの視聴予約や録画予約による起動もしません。ワンセグ予約録画中または視聴のみ終了で録画中にオールロックを起動すると、録画が終了します。
- ライフスタイル設定は切り替わりません。オールロックを解除すると、動作していない時間毎ライフスタイルが順に動作します。

おまかせロック

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにお電話でご連絡いただくだけで、電話帳などの個人データやおサイフケータイのICカード機能にロックをかけることができます。
お客様の大切なプライバシーとおサイフケータイを守ります。また、お申し込み時に圏外などでおまかせロックがかからない場合で、1年以内に通信が可能になった場合は自動的にロックがかかります。ただし、解約を行った場合や、電話番号変更・紛失時などで新しいドコモminiUIMカードの発行（番号を指定してロックした場合のみ）を行った場合などは、1年以内であっても自動的にロックがかからないことがあります。
お客様からのお電話などによりロックを解除することができます。
※ ドコモプレミアクラブ会員の場合、手数料無料で何回でもご利用いただけます。ドコモプレミアクラブ未入会の場合、有料のサービスとなります。（ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。）おまかせロック中も位置提供可否設定を「位置提供ON」または「電話帳登録外拒否」に設定している場合は、ケータイお探しサービスなどのGPS機能の位置提供要求に対応します。

■ おまかせロックの設定／解除
0120-524-360　受付時間　24時間（年中無休）
※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。
※ パソコンなどでMy docomoのサイトからも設定／解除ができます。

- おまかせロックの詳細については『ご利用ガイドブック（基本編）』をご覧ください。

❖おまかせロックを起動すると

待受画面に「おまかせロック中です」と表示されます。
- おまかせロック中は電源を入れる／切る操作や、音声電話やテレビ電話を受ける操作、GPSの位置提供の要求を受けたときの操作以外のキー操作ができなくなるほか、ICカード機能も使用することができなくなります。
- ドコモminiUIMカードやmicroSDカードにはロックはかかりません。

✔お知らせ
- 音声電話やテレビ電話の着信はしますが、電話帳に登録している相手の名前や画像などは表示されず、電話番号が表示されます。また、着信時の着信画像や着信音などは標準のデータで動作します。テレビ電話の代替画像は標準画像になります。おまかせロックを解除すると設定は元の状態に戻ります。
- 電話／メール着信時設定で名前を表示するように設定していても、着信時の画面には電話番号のみ表示されます。
- ｉアプリコールは自動受信できますが、応答確認画面の表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。おまかせロックを解除すると、ｉアプリコール履歴に表示されます。
- GPSの位置提供の要求者IDが電話帳と一致しても、要求者名は表示されません。
- 受信したメールは、ｉモードセンターに保存されます。
- 他の機能が起動中の場合は、動作中の機能を終了してロックをかけます。
- 他のロック機能を設定中でも、おまかせロックを使用することができます。
- FOMA端末に電源が入っていない場合や圏外、セルフモード中、海外での使用時はロックおよびロック解除はできません。その他お客様のご利用方法などにより、ロックおよびロック解除ができない場合があります。
- 電源を入れ直してもロックは解除されません。
- ご契約者本人とFOMA端末を所持しているお客様が異なる場合でも、ご契約者本人からのお申し出がある場合は、おまかせロックがかかります。
- おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけたときと同じ電話番号のドコモminiUIMカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。万が一解除できない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

セルフモード

電話の発着信やメールの送受信だけでなく、サイト接続、赤外線通信／iC通信、Bluetooth機能、Wi-Fi、データ通信などすべての通信機能やマナーサポートを利用できないようにします。

- 緊急通報（110番、119番、118番）すると、セルフモードは解除されます。

◆ セルフモードの起動／解除

1 MENU 8 9 1 ▶ 1 または 2 ▶「はい」

- 「ON」にするとディスプレイにSELFが表示されます。

✔**お知らせ**

- 電話着信時は、相手には電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。
- セルフモード中に電話の着信があっても、セルフモード解除後、ディスプレイに 2(不在着信）は表示されず、着信履歴にも記録されません。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスは利用できますが、セルフモードを解除しても、留守番電話サービスセンターに伝言メッセージがあることをお知らせするアイコンは表示されません。
- ｉモードメールやメッセージR/Fはｉモードセンターに、SMSはSMSセンターに保管され、セルフモード解除後のメール／メッセージ問合せ、SMS問合せによって受信します。

パーソナルデータロック

電話帳、ｉモード／フルブラウザ、メール、ｉアプリ、カメラ、ワンセグ、データBOX、スケジュール、メモ、赤外線通信／iC通信、Bluetooth機能、Wi-Fi、データ通信などのメニュー操作を制限します。また、個人情報に関する機能を利用できないように一時的に制限します。

- 登録外着信拒否が「ON」の場合は、本機能は起動できません。

1 MENU 8 6 1 3 ▶ 認証操作 ▶ 1 または 2

- 「ON」にすると待受画面にが表示されます。

✔**お知らせ**

- ドコモminiUIMカードやmicroSDカードにはロックはかかりません。
- おサイフケータイ（トルカを含む）の読み取り機にかざしての利用はできます。ただし、トルカの取得が完了したときの音は鳴動しません。
- パーソナルデータロック中でも発着信は記録されます。リダイヤル／着信履歴やダイヤルキー入力による電話発信ができます。
- 電話帳に登録している相手からの電話発着信時は、相手の名前や画像は表示されず、電話番号のみ表示されます。
- 伝言メモを設定しても動作しません。また、待受画面には表示されず、未再生の伝言メモのマークも表示されません。
- 電話／メール着信時設定で名前を表示するように設定していても、着信時の画面には電話番号のみ表示されます。また、受信完了テロップは表示されますが、電話帳に登録した名前や題名などは表示されません。
- リダイヤルや着信履歴からのメール送受信履歴はメールアドレスのみの表示になります。
- テレビ電話の代替画像は標準画像になります。
- ｉアプリコールの自動受信はできますが、応答確認画面の表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。
- ワンセグ予約録画中または視聴のみ終了で録画中にパーソナルデータロックを起動すると、録画が終了します。
- Music&Videoチャネルの自動番組取得は行われますが、取得結果は表示されません。
- パーソナルデータロックの対象となっているデータを着信音に設定していると、パーソナルデータロック中はお買い上げ時の状態に戻ります。ただし、メール、メッセージ、SMS着信音は、パーソナルデータロック中でも設定は変更されません。
- GPSの位置提供の要求を受けたときの操作はできますが、GPSの位置提供の要求者IDが電話帳と一致しても、要求者名は表示されません。
- 待受画面にマチキャラは表示されません。また、ショートカットやMyFACEは利用できません。
- メニューがお買い上げ時以外のきせかえメニューのときはベーシックメニューになります。制限されたメニュー項目を選択するとロック中の旨のメッセージが表示されるか、文字の色が変わったりアイコンが(人物名は「＊＊＊」）で表示されたりして選択できなくなります。
- FOMA端末とBluetooth機器をヘッドセットで接続していても発信できません。

ダイヤル発信制限

電話帳を利用する以外の方法では、電話を発信できないように設定します。

- ダイヤル発信制限中でも、緊急通報（110番、119番、118番）はできます。

1 MENU 8 6 1 4 ▶ 認証操作 ▶ 1 または 2

- 「ON」にすると待受画面にが表示されます。

❖ダイヤル発信制限を起動すると

- 次の操作ができなくなります。
  - 電話帳に登録のない相手とのリダイヤル・着信履歴を利用した発信、メール・SMS送信、Bluetooth機能のダイヤルアップ通信、パケット通信、64Kデータ通信
  - 電話帳またはグループの修正、登録・追加、削除、グループ設定、会社名別設定
  - プロフィール情報の修正、リセット
  - Phone To（AV Phone To）、SMS To、Mail To機能
  - 外部機器との電話帳やプロフィール情報、現在地通知先の送受信
  - GPSの現在地通知※
  - 名刺リーダーの起動
  - microSDカードへのバックアップ／復元、バックアップデータ削除、microSDカードの電話帳と現在地通知一覧画面でのコピー、削除、データ送信
  - ダイヤル入力操作によるネットワークサービスの利用
  - Wi-Fiのアクセスポイントモード（APモード）

※ 登録した通知先への通知はできますが、通知先一覧への通知先の登録や編集、削除はできません。

プライバシーモード

個人情報の利用時に認証操作が必要になるように設定したり、特定の電話帳やメモ・スケジュール、着信、送受信メールなどを非表示に設定したりできます。

- データBOXのシークレット属性を設定したフォルダの画像や動画／ｉモーションなどを、メールやメモ・スケジュールに添付した場合は、シークレット属性は引き継がれず、画像や動画／ｉモーションが表示されます。
- 個人情報を非表示にするにはデータごとにシークレット属性の設定が必要です。
  電話帳→P79、Bookmark→P167、メール→P143、マイピクチャ、ｉモーション→P296、マイコレクション→P276、マイドキュメント、その他→P296、メモ・スケジュール→P319、325

◆ プライバシーモードの利用の流れ（メール）

認証後に個人情報を表示する場合、次の手順で設定します。

〈例〉メール・履歴「認証後に表示」の場合

①プライバシーモードの設定内容を「認証後に表示」にする→P111
②プライバシーモードの起動方法を「標準」に設定する→P112
③プライバシーモードを起動する→P112
メールを利用するときには認証操作が必要になります。

◆ プライバシーモードの利用の流れ（電話帳）

個人情報を非表示にする場合、次の手順で設定します。

〈例〉電話・履歴「指定電話帳非表示」の場合

①電話帳にシークレット属性を設定する→P79
非表示にしたい電話帳にシークレット属性を設定します。設定中はが点滅します。
②プライバシーモードの設定内容を「指定電話帳非表示」にする→P111
③プライバシーモードの起動方法を「標準」に設定する→P112
④プライバシーモードを起動する→P112
電話帳を検索してもシークレット属性を設定した電話帳は表示されません。

◆ プライバシーモードの動作設定

電話帳やメール、その他の機能にプライバシーモードの動作設定を行います。

❖プライバシーモードの動作設定（電話、メール）

電話帳やメールのフォルダ一覧利用時に認証操作が必要になるように設定したり、シークレット属性を設定した電話帳やメールフォルダを非表示にしたり、シークレット属性を設定した相手からの電話やメールの着信時の動作を設定したりします。

1 **MENU 8 6 2 1 ▶認証操作▶各項目を設定▶ [カメラ]［登録］▶「OK」**

電話・履歴：
- 「認証後に表示」にすると、電話帳、リダイヤル、着信履歴、伝言メモ、音声メモ、クイック検索でメール検索を利用するときに認証操作が必要になります。
- 「指定電話帳非表示」にすると、シークレット属性を設定した電話帳（グループまたは会社名にシークレット属性設定時を含む）やシークレット属性を設定した相手が対象の新着情報、伝言メモ、通話中音声メモ、リダイヤル、着信履歴、メールやSMS、メール送受信履歴などの表示をしません。また、着信動作はシークレット属性電話着信動作の設定に従います。

メール・履歴：
- 「認証後に表示」にすると、メールのフォルダ一覧やメール送受信履歴、メールグループ、ブログ／動画／SNS投稿先を利用するときに認証操作が必要になります。
- 「指定フォルダを非表示」にすると、シークレット属性を設定したフォルダを表示しません。また、シークレット属性を設定したフォルダに振り分けるように設定した相手からのメールを受信した場合の着信動作はシークレット属性メール着信動作の設定に従います。

シークレット属性電話着信動作：プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）にシークレット属性を設定した相手からの電話着信動作を設定します。
- 「未登録番号として扱う」にすると、電話帳に登録されていない相手からの着信として動作します。
- 「サイレント着信」にすると、着信音、バイブレータ、イルミネーションでの通知はしません。
- 「表示・通知する」にすると、シークレット属性を設定していない相手からの着信として動作します。

サイレント着信時応答方法：シークレット属性電話着信動作を「サイレント着信」に設定した場合の着信動作を設定します。
- 「着信継続」にすると、着信画面には電話番号のみ表示されます。
- 「伝言メモ起動」にすると、伝言メモ設定に関わらず伝言メモが起動します。着信画面には電話番号のみ表示されます。ただし、伝言メモが起動できないときは、「着信継続」の設定で動作します。
- 「留守番電話に接続」にすると、留守番電話に接続されます。このとき、着信画面は表示されません。ただし、留守番電話が未契約のときは、「伝言メモ起動」の設定で動作します。

シークレット属性メール着信動作：プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」またはメール・履歴が「指定フォルダを非表示」のとき）に、シークレット属性を設定した相手からのメールを着信した場合や、シークレット属性を設定したフォルダに振り分けるように設定した相手からのメール着信時の表示や通知を設定します。
- 「表示・通知しない」にすると、メールは受信しますが着信動作は行われません。
- 「表示・通知する」にすると、テロップ表示や名前、題名が表示されます。
- メールの自動返信を「ON」にしている場合は、自動返信するときに自動送信中の画面を表示しません。
- プライバシーモード中（電話・履歴が「表示する」でメール・履歴が「指定フォルダを非表示」のとき）に、シークレット属性メール着信動作を「表示・通知しない」に設定していても、シークレット属性を設定したフォルダの振分け設定をしていない場合に、シークレット属性を設定した相手からのメールを着信するとメールの着信動作は行われます。

プライバシー新着通知：シークレット属性を設定した電話帳の相手からの電話を着信したり、メールを受信したりした場合や、シークレット属性を設定したフォルダに振り分けされるように設定した相手からのメールを受信したときに、電池アイコンの種類を変えて新着情報があることをお知らせするかを設定します。表示させる電池アイコンを選択するか、「OFF」を選択します。

✔お知らせ
- シークレット属性電話着信動作を「サイレント着信」に設定していても、オールロックを起動した場合は、オールロックの設定が優先され、着信音が鳴ります。

❖プライバシーモードの動作設定（その他）

マイピクチャ、iモーション、マイコレクション、マイドキュメント、その他(Word、Excel、PowerPoint)、メモ・スケジュール、iアプリ、位置履歴(GPS)、Bookmark、画面メモを利用するとき、認証操作を行うか、シークレット属性を設定したフォルダを非表示にするかを設定します。

1 MENU 8 6 2 2 ▶認証操作▶各項目を設定▶ 📷 ［登録］▶「OK」

- 「認証後に表示」にすると、設定した機能を利用するときに認証操作が必要になります。
- 「指定フォルダを非表示」「指定アルバムを非表示」「指定スケジュール非表示」にすると、シークレット属性を設定したフォルダやマイコレクションのアルバム、メモ・スケジュールは表示されません。

✔お知らせ

- ショートカットを設定した場合も、シークレット属性を設定したデータやフォルダは表示されません。
- メモ・スケジュールを「認証後に表示」にした場合は、ワンセグの視聴／録画予約の利用も含まれます。

◆プライバシーモード起動／解除操作の設定

プライバシーモードの起動／解除操作、無操作の場合の自動起動の時間などを設定します。

1 MENU 8 6 2 3 ▶認証操作▶各項目を設定▶ 📷 ［登録］

起動／解除操作：プライバシーモードの起動／解除操作を設定します。
- 「なし」にすると、キー操作での起動／解除操作ができなくなります。ただし、自動起動を設定した場合はプライバシーモードの起動のみできます。
- 「操作非表示」にすると、起動／解除時の認証画面の操作が表示されません。

自動起動：待受画面表示中に何も操作しなかった場合、プライバシーモードを自動起動させるまでの時間を設定します。

◆プライバシーモードの起動／解除

キー操作によるプライバシーモードの起動／解除を行います。

■起動／解除操作が「標準」の場合

1 ⓪（1秒以上）

解除：⓪（1秒以上）▶認証操作

■起動／解除操作が「操作非表示」の場合

1 MULTI ▶ 📷 ▶認証操作▶ ● ［起動］

- 📷 以降の操作をしても画面は変わりません。
- 認証画面は表示されません。認証に失敗した場合、もう一度 📷 を押してから認証操作を行ってください。なお、認証操作を5回失敗しても電源は切れません。
- 指紋認証または指紋のみ認証の場合は、●の操作は不要です。
- 解除する場合も同様の操作です。

❖プライバシーモードを起動すると

プライバシーモードの設定によって、各機能は次のように動作します。

〈iアプリ以外：「認証後に表示」〉
- iアプリ以外の機能が「認証後に表示」に設定されている場合は、iアプリまたはiアプリDXが利用できない場合があります。

〈電話・履歴またはメール・履歴：「表示する」以外〉
- メールグループの表示やメール振り分けをしたり、ブログ／動画／SNS投稿先を利用したりするには認証操作が必要です。

〈電話・履歴：「認証後に表示」または「指定電話帳非表示」〉
- iアプリコールを受信した場合、電話帳に登録されている相手の名前は表示されず、電話番号が表示されます。

〈電話・履歴：「認証後に表示」〉
- ダイヤル入力の電話発信、メールアドレスの直接入力でのメール送信、メール一覧やメール送受信履歴などでは、電話帳に登録している名前や画像は表示されず、電話番号やメールアドレスが表示されます。
- GPSの位置提供の要求者IDが電話帳と一致したときの要求者名（位置履歴詳細画面を含む）、スケジュールの誕生日や連絡先、セレクトメニューに登録した人物名は表示されません。
- イヤホン機能設定のイヤホンスイッチ発信設定で登録した相手へ、イヤホンスイッチ発信またはBluetooth機器を利用して発信できません。

〈電話・履歴：「表示する」以外〉
- メモやスケジュールのメモ共有履歴を表示しません。

〈電話・履歴：「指定電話帳非表示」〉
- 発信する相手の電話帳やグループ、会社名にシークレット属性を設定している場合、イヤホンスイッチ発信やBluetooth機器を利用して発信できません。
- シークレット属性を設定した電話帳をメモやスケジュールの「だれと？」に登録した場合はメールアドレスのみ表示されます。ただし、添付したメールの内容や「共有設定」に登録した名前は表示されます。

〈メール・履歴：「認証後に表示」〉
- 電話帳やスケジュールからメールを検索したり、クイック検索でのメール検索やメール送受信履歴の表示やメール連動型ｉアプリのダウンロードやバージョンアップ、削除をしたりする場合は、認証操作が必要です。

〈メール・履歴：「指定フォルダを非表示」〉
- シークレット属性を設定したフォルダに振り分けるように設定した相手からメールを送受信したときは、新着情報やメール送受信履歴での表示はしません。メモやスケジュールにメールを添付している場合は、削除されている旨のメッセージが表示されます。

〈マイピクチャまたはｉモーション：「認証後に表示」〉
- 各機能の設定でマイピクチャまたはｉモーションのデータを利用する場合は、認証操作が必要です。また、機能によっては非表示に設定している項目は、プライバシーモード解除後に反映されることを示す画面が表示されます。

〈マイピクチャまたはｉモーション：「指定フォルダを非表示」〉
- シークレット属性を設定したフォルダの画像や動画／ｉモーションを、メモのアラームに設定した場合、アラーム音は「端末設定に従う」で、アラーム画像は「標準画像」で動作します。マイコレクションのアルバムに貼り付けした画像や動画／ｉモーションはアルバムに表示しません。

〈マイピクチャ：「認証後に表示」〉
- 静止画撮影でフレームを重ねて撮影できません。
- メール作成中のデコメ絵文字®一覧には、お買い上げ時に登録されている画像以外は表示されません。

〈マイピクチャ：「指定フォルダを非表示」〉
- シークレット属性を設定したフォルダの画像を電話帳に登録していても表示しません。

〈マイピクチャ：「指定フォルダを非表示」またはマイコレクション：「指定アルバムを非表示」〉
- シークレット属性を設定したフォルダの画像やマイコレクションのアルバムを待受スライドショーに設定している場合は動作せず、画像はお買い上げ時の状態に戻ります。

〈メモ・スケジュール：「認証後に表示」〉
- 待受カスタマイズのカレンダーで、スケジュールが設定されていても赤いマークは表示されません。また、スケジュールの休日設定や曜日休日設定で休日を設定したことを示す色での表示はお買い上げ時の表示に戻ります。
- 設定した日時になってもメモのアラーム（ワンセグの開始通知含む）は鳴りません。ただし、ワンセグの録画予約は動作します。
- アラーム自動電源ONで電源が入っていない場合は、指定した日時になっても電源は入りません。

〈メモ・スケジュール：「指定スケジュール非表示」〉
- 設定した日時になっても、シークレット属性を設定したメモのアラームは鳴りません。
- 待受カスタマイズのスケジュールに、シークレット属性を設定したスケジュールは表示されず、登録件数確認の件数にも含まれません。また、待受カスタマイズのカレンダーの赤いマークも表示されません。

〈ｉアプリ：「認証後に表示」〉
- メール連動型ｉアプリ用のメールフォルダを選択したり、ｉアプリをダウンロードしたりする場合は、認証操作が必要です。
- 待受画面設定でｉアプリを待受画面に設定する場合は、認証操作が必要です。また、非表示に設定している項目はプライバシーモード解除後に反映される旨のメッセージが表示されます。

〈画面メモ：「認証後に表示」〉
- 画面メモの上書き保存をする場合は、認証操作が必要です。

✔お知らせ

- ｉモードとフルブラウザのURL入力の表示内容は、プライバシーモード中以外に入力された内容は表示されず、プライバシーモード中に最後にURL入力した内容が表示されます。また、URL入力履歴とサイト閲覧履歴の場合、プライバシーモード中以外に接続したURL入力履歴とサイト閲覧履歴を表示しません。
- プライバシー新着通知と自動起動以外のすべての項目が「表示する」のとき、プライバシーモードは起動しません。既に起動していると解除されます。
- データ一括削除を行ったり、次の機能で「全件削除」したりした場合、プライバシーモード中で非表示になっているデータも削除されます。
  - リダイヤル／着信履歴、伝言メモ、電話帳
  - メール※、メール送受信履歴、スケジュール、メモ、音声メモ

  ※「1件削除」「選択削除」以外の削除操作をした場合も非表示のメールは削除されます。
- プライバシーモード中に、電話・履歴を「表示する」または「認証後に表示」から、「指定電話帳非表示」に変更した場合、メールへのプライバシーを反映するために、シークレット反映をうながす旨のメッセージが表示されます。
- プライバシーモードの設定によっては、プライバシーモード中にｉアプリからメールやスケジュール（ワンセグの視聴／録画予約含む）を利用したり、マイピクチャにデータを保存したりすると、指定された機能が実行できない旨のメッセージが表示される場合があります。
- プライバシーモード中、「認証後に表示」に設定した機能を利用するときは、一度認証操作を行うと待受画面に戻るまで認証操作は不要です。「認証後に表示」に設定した複数の機能を利用する場合も同様です。

◆ プライバシーモードの一時解除

一時的にプライバシーモードを解除して、表示されていないデータを表示できます。

1 **非表示データがある画面でCLR（1秒以上）▶認証操作**

- 待受画面に戻るまで一時解除は有効です。ただし、画面によっては一時解除できない場合があります。

◆ 予測学習設定

プライバシーモードを起動していないときやプライバシーモード一時解除時に、文字入力を学習するかしないかを設定します。

- 候補選択リスト→P342

1 **MENU 8 6 2 4 ▶認証操作▶● ▶ 1 または 2 ▶ 📷［登録］**

- 「学習しない」にすると、プライバシーモードを起動していないときやプライバシーモード一時解除時の場合は文字入力を学習しません。

◆ シークレット反映

電話帳のシークレット属性を変更した場合に、その設定状態を送受信したメールやSMSに反映します。

- データ通信などで、外部からFOMA端末にメールを保存した場合で、電話帳のシークレット属性を適用したいときも実行してください。
- シークレット属性を設定したメールやSMSは、プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）に非表示となります。

1 **MENU 8 6 2 5 ▶認証操作▶「はい」**

✔お知らせ

- シークレット反映中はデータ転送モード（圏外と同じ状態）になります。
- シークレット属性が設定されている電話帳を外部から取り込んだり、電話帳にシークレット属性を設定したりした場合に待受画面に戻ると、電話帳のシークレット属性をメールに反映するかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとシークレット反映を実行します。プライバシーモードを起動していない場合は、プライバシーモード起動設定を確認する旨のメッセージが表示されます。
- 2in1利用時は、2in1のモードや電話帳2in1設定に関わらず、シークレット属性が設定されます。
- 次の場合にシークレット反映を実行すると、これらのデータが対象のメールやSMSに設定されていたシークレット属性は解除されます。
  - 電話帳のシークレット属性の解除をしたとき
  - シークレット属性を設定した電話帳を変更したとき（変更前の電話番号またはメールアドレスが対象）
  - シークレット属性を設定した電話帳を削除したとき（電話帳の電話番号またはメールアドレスの削除含む）

電話／メール着信時設定

電話帳に登録している相手から電話やメールを着信したときの表示内容（名前や電話番号など）について設定します。

- プライバシーモード中の着信時の表示内容は、本設定よりもプライバシーモードの設定が優先されます。
- 電話帳に登録されていない相手でも「折り返し着信」が表示された場合は、本設定に従います。

1 MENU 8 6 # ▶認証操作▶各項目を設定▶ 📷 ［登録］

HOLD

FOMA端末を閉じているときの▣、▲▼の操作を無効にし、かばんなどに入れて持ち歩く際の誤動作を防ぎます。

◆ HOLDの起動／解除

1 MENU（1秒以上）

- FOMA端末を閉じている状態で▣、▲▼を押すと、背面ディスプレイに「HOLD」と表示されます。

✔お知らせ

- HOLD中でも、背面ディスプレイの表示、クイック伝言メモの起動、着信音の停止、着信中のバイブレータの停止はできます。また、ワンタッチアラームが起動できる状態のときは、FOMA端末を閉じた状態で▲または▼を1秒以上押すと、ワンタッチアラームが起動します。

自動キーロック

自動キーロックには、クローズロックと無操作ロックの2つのロック機能があります。

自動キーロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、FOMA端末を開いて端末暗証番号入力画面で緊急通報番号を入力し📞を押します。

※ 端末暗証番号入力画面で入力した緊急通報番号は「*」で表示されます。

■ 指紋認証のとき

指紋認証画面で緊急通報番号を入力して📞を押します。待受画面またはロック中画面が表示されたときは、MENUまたはMULTIを押すと緊急通報ができます。

■ 指紋のみ認証設定が「ON」のとき

指紋認証画面で📞を押し、緊急通報番号を入力して📞を押します。待受画面またはロック中画面が表示されたときは、MENU📞またはMULTI📞を押すと緊急通報ができます。

◆ クローズロック

FOMA端末を閉じるたびにキー操作がロックされます。FOMA端末を開くたびに認証操作が必要なため、他人が不正にFOMA端末を使用するのを防げます。

- 発信中、着信中、通話中、保留中、切断中、ｉコンシェルのインフォメーション受信中、メロディ再生中、ｉモーション再生中（再生画面表示中を含む）、GPSで位置提供中、赤外線通信／iC通信、メモのアラーム、お知らせタイマー鳴動中、イミテーションコール着信中（カウントダウン中を含む）、ソフトウェア更新（ソフトウェア更新中を含む）、ワンセグ視聴中（視聴中の録画を含む）やビデオ再生、Music&Videoチャネル再生中、ミュージックプレーヤー起動中、microSDカードの動画を連続再生中、Bluetooth機器によるデータ送受信など起動中の機能によってはクローズロックがかかりません。
- クローズロック中でも電源を入れる／切る操作、音声電話やテレビ電話を受ける操作、メール受信、ｉコンシェルのインフォメーション受信、アラームの鳴動停止、ｉアプリの終了操作など、一部の機能が利用できます。

❖クローズロック設定

クローズロックの起動やFOMA端末を閉じてから設定時間経過後にロックを起動するロック起動時間を設定します。

1 MENU 8 6 1 1 1 ▶認証操作▶項目を設定▶ [カメラ] [登録]

❖クローズロックが起動すると

クローズロックが起動するとキー操作がロックされます。ただし、FOMA端末を閉じているときの[サイドキー]、▲▼は利用できます。

- ディスプレイに[ロック]が表示されます。背面ディスプレイには自動キーロックを設定した旨のメッセージが表示されます。
- 待受画面とｉアプリ画面以外では、ロック中画面が表示されます。

❖クローズロックの一時解除

クローズロックの状態を一時的に解除します。

1 FOMA端末を開いて認証操作

- FOMA端末を開いているときは、MENU、0～9、[検索]、MULTIのいずれかを押すと認証画面が表示されます。

✔お知らせ

- クローズロック設定が「ON」の場合に電源を入れ直すと端末暗証番号入力画面が表示されます。認証操作をしなかった場合は、クローズロックが起動します。また、おまかせロック中は、おまかせロックの解除後にクローズロックが起動します。
- 既に無操作ロックを起動している場合、クローズロックを設定しても起動しません。
- オートGPS機能起動中の場合は認証画面に「GPS停止」が表示されます。→P263

◆無操作ロック

設定時間内に無操作だった場合に、キー操作を自動でロックします。解除するたびに認証操作が必要なため、他人が不正にFOMA端末を使用するのを防げます。

- ｉモーション再生中（再生画面表示中を含む）、ワンセグ視聴中（視聴中の録画を含む）やビデオ再生、ミュージックやMusic&Videoチャネルの再生、赤外線通信／iC通信、Bluetooth通信またはUSB接続によるデータの送受信などが動作している場合、ソフトウェア更新機能を起動中の場合はロックがかかりません。
- 経過時間内に起動する機能によっては、経過時間にロックがかからなかったり、設定した時間よりもロックがかかるまでに時間がかかったりする場合があります。
- 無操作ロック中でも電源を入れる／切る操作、音声電話やテレビ電話を受ける操作、メール受信、ｉコンシェルのインフォメーション受信、アラームの鳴動停止、ｉアプリの終了操作など、一部の機能が利用できます。

❖無操作ロック設定

無操作ロックの自動起動やロックを起動するロック起動時間を設定します。

1 MENU 8 6 1 1 2 ▶認証操作▶各項目を設定▶ [カメラ] [登録]

- 置き忘れセンサーを「ON」にすると、無操作とFOMA端末本体の動作がない（歩行していないときや瞬間的に大きな振動を与えていない）ことが無操作ロックの起動条件になります。

❖無操作ロックが起動すると

無操作ロックが起動するとキー操作がロックされます。ただし、FOMA端末を閉じているときの[サイドキー]、▲▼は利用できます。

- ディスプレイに[ロック]が表示されます。背面ディスプレイには自動キーロックを設定した旨のメッセージが表示されます。
- 待受画面とｉアプリ画面以外では、ロック中画面が表示されます。

❖無操作ロックの一時解除

無操作ロック状態を一時的に解除します。

1 MENU ▶ 認証操作

- FOMA端末を開く操作でも認証画面が表示されます。
- 0 ～ 9 、 Q 、 MULTI のいずれかを押すと認証画面が表示されます。

✔お知らせ

- 無操作ロック設定が「ON」の場合に電源を入れ直すと端末暗証番号入力画面が表示されます。認証操作をしなかった場合は、無操作ロックが起動します。また、おまかせロック中は、おまかせロックの解除後に無操作ロックが起動します。
- 既にクローズロックを起動している場合、無操作ロックを設定しても起動しません。
- オートGPS機能起動中の場合は認証画面に「GPS停止」が表示されます。→P263

セキュリティランプ設定

自動キーロック（クローズロック／無操作ロック）の状態をランプでお知らせするかを設定します。

1 MENU 8 6 4 ▶ 認証操作 ▶ 1 または 2

❖セキュリティランプを設定すると

FOMA端末を閉じた状態で自動キーロックが起動すると、ランプが「アクア」で約3秒間点滅します。ただし、ランプが「パプリカ」で約3秒間点滅したときは、自動キーロックが起動しなかったことを示します。

親子モード

親子モードを設定すると、一部の機能の利用を制限して、本FOMA端末をお子さま用として利用することができます。

- 親子モード中に認証操作が必要な場合は、パスワード（子供用）、指紋認証（子供用）が利用できます。親子モード中でも、保護者用の認証操作（端末暗証番号・指紋認証）も利用できます。
- 親子モード中の指紋認証の登録や操作方法は通常の場合と同様です。→P104
- 親子モードで「ワンタッチアラーム設定」を選択すると、ワンタッチアラームの設定画面が表示されます。→P315

◆親子モード設定

親子モードを利用するかを設定します。

- 親子モードを「ON」にすると、PIN設定のメニュー操作が制限されます。PIN1コードの入力を利用しないときは、あらかじめPIN1入力ON／OFF切替を「OFF」に設定してください。

1 MENU 8 6 5 ▶ 認証操作 ▶ 1 ▶ 1 または 2

- 「ON」にするとディスプレイに[アイコン]が表示されます。

❖親子モードを設定すると

親子モード中、端末暗証番号またはパスワード（子供用）の入力が必要な機能や操作・設定が制限される機能は次のとおりです。

〈端末暗証番号またはパスワード（子供用）の入力が必要〉

- Cookie削除（ｉモード／フルブラウザを含む）、ｉモード設定リセット、確認表示設定リセット、クライアントモード設定リセット、WEB設定ユーザ管理、APモード設定リセット、着信拒否設定、通話料金自動リセット設定、通話料金上限通知、上限通知アイコン消去、2in1、電話／メール着信時設定、メニュー設定オールリセット、変換学習リセット、無操作ロック設定、オールロック、端末暗証番号設定、指紋登録、登録済み指紋一覧、パスワードマネージャー、ソフトウェア更新、ICカードロック、ICカードロック解除予約、電源OFF時ICロック設定

〈端末暗証番号の入力が必要〉

- 親子モード

〈操作・設定不可〉
- 接続先設定、パーソナルデータロック、ダイヤル発信制限、プライバシーモード、指紋のみ認証設定、UIMカード（FOMAカード）設定、データ一括削除、各種設定リセット、位置提供可否設定、サービス利用設定、サービス利用／接続先設定、ICオーナー変更

✔お知らせ
- 親子モードを「ON」にすると、プライバシーモードの設定は無効になります。親子モードを「OFF」にすると設定は元の状態に戻ります。

◆ 親子モードの各種利用制限

電話帳に登録されていない相手への電話発信やメール送信、メール、ワンセグ、カメラ、ブラウザ、ｉアプリに利用制限を設定できます。
- 親子モード設定を「ON」にしてから操作を行ってください。

1 **[MENU][8][6][5]▶認証操作▶[2]▶各項目を設定▶[📷]［登録］**

電話発信／メール送信設定：「電話帳登録相手のみ」にすると、ダイヤル発信制限を設定した場合と同様になります。
ダイヤル発信制限→P110
メールロック：「ON」にすると、メールの自動受信、エリアメールの受信（表示内容を含む）以外のメール機能が利用できません。
ワンセグロック：「ON」にすると、ワンセグ視聴、ワンセグ録画、ワンセグで録画したビデオ再生、静止画の表示、ワンセグの開始通知が利用できません。
カメラロック：「ON」にすると、静止画撮影、動画撮影、ボイスレコーダー、名刺リーダーが利用できません。
ブラウザロック：「ON」にすると、ｉモード／フルブラウザのすべての機能が利用できません。また、PDFデータの表示もできません。
ｉアプリロック設定：「すべて不可」にすると、ｉアプリ、ｉアプリの自動起動（「自動起動する」に設定）が利用できません。「登録アプリのみ許可」にすると、FOMA端末内に保存されているｉアプリのみ利用できます。ただし、ｉアプリのダウンロード、ダウンロードが必要なｉアプリの起動はできません。

✔お知らせ
- メールロックまたはブラウザロックを「ON」にすると、メールまたはBookmarkの本体-microSDカード間の移動／コピー、赤外線通信／iC通信、Bluetooth通信またはUSB接続による送受信はできません。また、microSDカードへの一括バックアップ／復元もできません。
- メールロックを「ON」に設定中でも、メールの自動受信はできますが、受信中および受信完了の画面表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。また、新着情報も表示されません。
- ブラウザロックが「ON」のときの電話帳やBookmarkは、ケータイデータお預かりサービスへの更新／復元ができません。

◆ パスワード（子供用）変更

親子モード中に使用するパスワードを設定します。お買い上げ時のパスワードは「1111」に設定されています。
- 親子モード設定を「ON」にしてから操作を行ってください。パスワードに端末暗証番号と同じ番号は設定できません。
- 親子モードのときは、端末暗証番号設定でも子供用パスワードを変更できます。→P103

1 **[MENU][8][6][5]▶認証操作▶[4]**

2 **新しいパスワードを入力▶新しいパスワード（確認）欄に新しいパスワードを入力▶[📷]［登録］**

✔お知らせ
- パスワードは、お子さまが覚えやすい番号を設定してください。

指定電話番号からの着信許可／拒否

FOMA端末電話帳に登録されている電話番号ごとに、着信の許可／拒否を設定します。

- 設定項目と着信の許可／拒否の動作は次のとおりです。

設定		電話番号ごとの着信許可／拒否設定		
		着信許可	着信拒否	設定なし
着信拒否設定のメモリ別着信拒否／許可設定	設定解除	着信する	着信する	着信する
	拒否設定	着信する	着信を拒否する※	着信する
	許可設定	着信する	着信を拒否する※	着信を拒否する※

※ 設定した電話番号から電話がかかってきても、着信音が鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。

- 本機能は相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
- 着信を拒否しても、不在着信として記録されます。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定していた場合は、留守番電話サービス、転送でんわサービスが動作し、着信履歴には記録されません。
- 番号通知お願いサービスおよび着信拒否設定を併用することをおすすめします。

◆ 着信許可／拒否設定

1 [電話帳ボタン]▶電話帳検索▶電話帳にカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[3][4][3]▶認証操作▶電話番号を選択▶[1]～[3]

- 指定した電話番号からの着信許可／拒否をするには、続けて着信拒否設定のメモリ別着信拒否／許可の設定を有効にしてください。
- 着信許可／拒否を設定している電話番号を変更または削除すると、本設定は解除されます。その場合は、変更または登録後の電話番号に対して着信許可／拒否を設定してください。

着信拒否設定

電話帳に登録されていない電話番号からの着信拒否を設定したり、指定した電話番号からの着信許可／拒否を有効にするかを設定したりします。また、電話番号が通知されない理由（発信者番号非通知理由→P63）ごとに着信動作を設定できます。

- 登録外着信拒否は、パーソナルデータロック中や着信詳細設定の呼出動作開始時間設定が「ON」の場合は設定できません。

1 [MENU][7][4][9]

2 目的の操作を行う

登録外着信拒否を設定：[1]▶認証操作▶[1]または[2]
メモリ別着信拒否／許可を設定：[2]▶認証操作▶[1]～[3]
非通知設定、公衆電話、通知不可能について設定：[3]～[5]▶認証操作▶各項目を設定

- 着信音と着信画像について→P82
- ミュージックの設定→P83

❖ 登録外着信拒否を設定すると

電話帳に登録されていない相手からの着信があった場合は、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。

- 登録外着信拒否の設定は、相手が電話番号を通知してきた場合に有効です。電話番号が通知されない相手からの着信は非通知設定、公衆電話、通知不可能の設定に従って動作します。番号通知お願いサービスおよび非通知設定、公衆電話、通知不可能の設定を併用することをおすすめします。
- 着信を拒否しても、不在着信として記録されます。折り返し着信の場合も同様です。
- プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）に、シークレット属性電話着信動作を「未登録番号として扱う」に設定しているときに、シークレット属性を設定した相手からの電話着信時も、本機能が動作します。

❖メモリ別着信拒否／許可を設定すると

メモリ別着信拒否／許可は、着信許可／拒否を設定したすべての電話番号が対象になります。
- メモリ別着信拒否／許可の設定をしていても、着信拒否を設定した相手が発信者番号を通知してこなかった場合は、非通知設定、公衆電話、通知不可能の設定に従った動作となります。
- 着信許可を設定した電話帳がない場合に許可設定を選択すると、すべての着信を拒否する旨のメッセージが表示されます。「はい」を選択すると、すべての着信を拒否するように設定されます。

❖非通知設定、公衆電話、通知不可能を設定すると

- 電話番号が通知されない音声電話の着信があったときの着信音と着信画像は、電話着信設定よりも本設定が優先されます。
- 電話番号が通知されないテレビ電話の着信があった場合は、「着信拒否」に設定しているときのみ動作します。それ以外に設定した場合の着信音や着信画像は、各着信音や着信画像の設定に従って動作します。
- 非通知設定、公衆電話、通知不可能で着信を拒否しても、不在着信として記録されます。

✔お知らせ

- ｉモードメールやSMSは、本設定に関わらず受信します。

呼出動作開始時間設定

電話帳に登録していない相手や電話番号を通知してこない相手からの着信をすぐに受けないように、呼び出し開始時間などを設定します。
- 「ワン切り」などの迷惑電話に効果的です。
- 着信拒否設定の登録外着信拒否が「ON」の場合は設定できません。
- その他の着信詳細設定→P64

1 MENU 7 4 6 3 ▶各項目を設定▶ 📷［登録］

着信呼出動作：着信呼出動作を有効にするかを設定します。
呼出開始時間（秒）：着信してから呼出動作を開始するまでの時間を1～99秒の範囲で設定します。
時間内不在着信表示：呼出開始時間で設定した時間に満たなかった不在着信を、着信履歴に表示するかを設定します。

❖着信呼出動作を設定すると

電話帳に登録していない相手や電話番号を通知してこない相手から音声電話やテレビ電話がかかってきたときは、設定した時間内は画面表示のみで着信をお知らせします。設定した時間が経過すると、通常の呼出動作を開始します。
- 設定した時間が経過する前でも、電話に出たり伝言メモで応答したりできます。
- パーソナルデータロック中は、電話帳に登録している相手からの着信でも本機能が動作します。
- プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）に、シークレット属性電話着信動作を「未登録番号として扱う」に設定しているときに、シークレット属性を設定した相手からの電話着信時も、本機能が動作します。

✔お知らせ

- 伝言メモ、留守番電話サービス、転送でんわサービスを設定時に本設定を優先させるには、これらの設定時間よりも呼出時間を短く設定してください。
- 公共モード中は動作しません。
- 着信拒否設定のメモリ別着信拒否／許可、非通知設定、公衆電話、通知不可能で着信拒否の対象に設定している相手から電話がかかってきた場合は、本機能よりもそれらの動作が優先されます。
- 呼出開始時間を、留守番電話サービス、転送でんわサービスの設定時間と同じ秒数に設定している場合、着信音が鳴ることがあります。

ケータイデータお預かりサービス

FOMA端末に保存されている電話帳、画像、動画／ｉモーション、メール、Bookmark、メモ、スケジュール、トルカ、現在地通知先、メロディ、メール振り分けなどの設定情報（以下「端末データ」といいます）を、ドコモのお預かりセンターにバックアップでき、万が一の紛失時や誤って削除した際などに復元できるサービスです。また、メールアドレスを変更したことを一斉通知することもできます。パソコン（My docomo）があれば、さらに便利にご利用いただけます。

- WORLD WINGご契約の場合、海外でも利用することができます。ただし、パケット通信料が日本国内よりも高額になる恐れがありますのでご注意ください（お客様がｉモードパケット定額サービスをご契約されていても、国際ローミング利用中におけるFOMAパケット通信料は、ｉモードパケット定額サービスの対象外となります）。
- ケータイデータお預かりサービスの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード編）』をご覧ください。
- ケータイデータお預かりサービスはお申し込みが必要な有料のサービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。

■ 自動更新機能について

電話帳、画像（「自動お預かり」フォルダ内）、Bookmark、メモ、スケジュール、トルカ、メール振り分けなどの設定情報は、自動更新機能により定期的に自動でバックアップできます。

- 自動更新の初期設定状態（自動更新する／しない）は端末データにより異なります。次のメニュー操作よりご確認・変更ください。
  - メニュー操作から：MENU→「便利ツール」→「ケータイデータお預かりサービス」→「詳細設定／通信履歴」→「自動更新設定」
- 自動更新機能をご利用になる場合、パケット通信料が高額になる恐れがありますので、ｉモードパケット定額サービスへのご契約をおすすめします。
- FOMA端末電話帳を削除した後に自動更新を行うと、お預かりセンターの電話帳も同様に削除されます。ただし、FOMA端末電話帳が0件の状態で自動更新を行うと、お預かりセンターの電話帳がFOMA端末電話帳にコピーされます。
- 電話帳の自動更新時に他の機能が起動している場合は、待受画面に戻ると自動更新を開始します。FOMA端末の電源を切ったときやFOMAサービスエリア外にいるとき、ドコモminiUIMカードが挿入されていないときは自動更新されません。
- 電話帳の自動更新に失敗したときは、待受画面にマークなどは表示されません。通信履歴表示で確認できます。

◆ データ確認／ダウンロード（復元）

お預かりサイトに接続して、データの確認、削除、ダウンロード（復元）などを行います。

1 MENU 6 0 1 ▶「はい」

これ以降の操作につきましては『ご利用ガイドブック（ｉモード編）』をご覧ください。

◆ お預かりセンターにデータをバックアップ（電話帳を更新）

お預かりサイトに接続して、FOMA端末の電話帳の更新、上書きバックアップ、復元を行います。

- 更新はFOMA端末電話帳データからの上書き更新になります。お預かりセンターとFOMA端末電話帳の両方に、1件もデータがない場合は、更新は実行されません。

1 MENU 6 0 2 ▶「はい」

電話帳から操作：[電話帳キー]▶電話帳検索▶MENU［サブメニュー］▶ 9 4 ▶「はい」

これ以降の操作につきましては『ご利用ガイドブック（ｉモード編）』をご覧ください。

✔お知らせ

- ドコモUIMカード電話帳はバックアップできません。
- FOMA端末電話帳を削除した場合は、ｉモードのケータイデータお預かりサイトから電話帳を復元できます。
  ｉMenu→マイページ→マイメニュー／マイボックス→ケータイデータお預かり※→お預かりデータ確認→ｉモードパスワードを入力→「決定」→画面の指示に従って操作
  ※ ｉコンシェルをご契約の場合は、「ケータイデータお預かり／ｉコンシェル」と表示されます。
- 電話帳に所属を登録しているときは、会社名と合わせてお預かりセンターにバックアップされます。ただし、会社名と所属の登録内容が合わせて全角49文字を超えた場合、所属の登録内容が完全にバックアップされない場合があります。

- 電話帳のグループや会社名の並び順は、復元してもバックアップしたときの並び順に戻らない場合があります。

◆お預かりセンターへのバックアップ（更新）

FOMA端末内に保存されている各データをお預かりセンターにバックアップします。
- Bookmark、トルカ、スケジュール、メモ、設定情報以外のデータはそれぞれ1回の操作で最大30件バックアップできます。ただし、GPSの現在地通知先は1回の操作で最大5件バックアップできます。
- 画像（静止画）、動画／iモーション、メロディ、トルカのデータは、著作権保護されていないデータのみお預かりセンターにバックアップできます。
- iモードメールにファイルが添付されている場合は、バックアップするときに削除されます。ただし、本文中の画像やメロディ、デコメアニメ®本文のFlash画像（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されたファイルを除く）は削除されません。
- 送達通知はバックアップできません。
- 画像を含むトルカ（詳細）は、詳細が含まれずにバックアップされる場合があります。

1 バックアップする各データを選択

メールのバックアップ：[✉]▶[1]～[3]▶フォルダを選択▶[MENU]［サブメニュー］▶[5][4]▶[1]または[2]
- 送信メールをバックアップする場合はフォルダを選択してから[MENU][4][4]を、未送信メールをバックアップする場合はフォルダを選択してから[MENU][4][3]を押します。
- 「選択保存」の場合は、メールを選択して[📷]を押します。

Bookmarkの更新：[MENU][2][2]▶フォルダにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[5]

画像のバックアップ：[MENU][5][1]▶フォルダを選択▶[MENU]［サブメニュー］▶[5][5]▶[1]または[2]▶「OK」
- 「選択保存」の場合は、画像を選択して[📷]を押します。

動画／iモーションのバックアップ：[MENU][5][4]▶フォルダを選択▶[MENU]［サブメニュー］▶[5][4]▶[1]または[2]▶「OK」
- 「選択保存」の場合は、動画／iモーションを選択して[📷]を押します。

メロディのバックアップ：[MENU][5][5]▶フォルダを選択▶[MENU]［サブメニュー］▶[4][4]▶[1]または[2]
- 「選択保存」の場合は、メロディを選択して[📷]を押します。

トルカの更新：[MENU][#][3]▶[MENU]［サブメニュー］▶[8]

GPSの現在地通知先のバックアップ：[MENU][9][7][7]▶[MENU]［サブメニュー］▶[8]▶現在地通知先を選択▶[📷]［保存］

スケジュールの更新：[MENU][6][5]▶[MENU]［サブメニュー］▶[8][2]

メモの更新：[MENU][6][6]▶[MENU]［サブメニュー］▶[7][3]

2 「はい」▶認証操作

- [●]：バックアップを中止

3 通信結果を確認

- 通信結果の表示は約5秒後に消えます。
- 復元や自動更新設定などは、iモードのケータイデータお預かりサイトからご利用いただけます。→P121「■自動更新機能について」

✔お知らせ
- 中国語の文字が含まれる場合はバックアップできません。
- 1件あたりのファイルサイズが10240Kバイトを超える画像やメロディ、動画／iモーションはバックアップできません。
- マイピクチャの「アイテム」「プリインストール」フォルダ内の画像は選択できません。
- 復元操作の詳細は『ご利用ガイドブック（iモード編）』をご覧ください。
- メールを復元する場合は次のようになります。
  - 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護されていない古いメール（未送信メールを除く）から上書きされる旨のメッセージが表示されます。
  - 受信（未読）メール、保護された受信／送信済／未送信メールは上書きされません。
- Bookmarkを復元すると、すべてBookmarkフォルダに保存されます。ただし、Bookmarkのシークレット属性の設定やフォルダ名は復元されません。
- お預かりセンターで自動更新されたトルカを初めて参照したときは、トルカを保存するかの確認画面が表示されます。
- 既に保存されているGPSの現在地通知先の電話番号が同じ場合、データは復元されません。

◆「自動お預かり」フォルダ内の画像をお預かりセンターにバックアップ

「自動お預かり」フォルダにある画像を手動でお預かりセンターに追加バックアップします。

- マイピクチャの「自動お預かり」フォルダに保存された画像は、自動更新設定に従い定期的にお預かりセンターに自動バックアップできます。自動更新設定はｉモードのケータイデータお預かりサイトからご利用いただけます。→P121「■自動更新機能について」

1 MENU 6 0 4 ▶ ● ［追加］

2「はい」▶ 認証操作

- ●：バックアップを中止

3 通信結果を確認

- 通信結果の表示は約5秒後に消えます。

❖画像のお預かり済みアイコンのクリア

「自動お預かり」フォルダ内の画像をバックアップしていない状態に変更して、再度お預かりセンターへバックアップするかを設定します。

1 MENU 5 1 ▶「自動お預かり」フォルダを選択 ▶ MENU ［サブメニュー］▶ 5 6 ▶「OK」

- 画像がバックアップ済み状態の ※からバックアップしていない状態に変更すると、次回自動更新時にお預かりセンターに画像がバックアップされます。

※ バックアップ済み状態でファイル制限ありの画像の場合は、 が表示されます。

◆設定情報をお預かりセンターにバックアップ（更新）

FOMA端末内の設定情報をお預かりセンターにバックアップすることができます。

- バックアップされる内容は、一括バックアップの設定項目と同じです。→P292
- メールの振分け条件設定でバックアップされる項目は、アドレス（差出人）、題名、電話帳グループ、メールグループです。
- 設定情報は、自動更新設定に従い定期的にお預かりセンターに自動バックアップすることもできます。→P121「■自動更新機能について」

1 MENU 6 0 5 ▶ 1 または 2

- 2 を押すと、お預かりセンターにバックアップした設定情報をFOMA端末に復元します。

2「はい」▶ 認証操作

- ●：バックアップを中止

3 通信結果を確認

- 📷［詳細］を押すと設定成功一覧が表示されます。設定成功一覧の表示は、約5秒後に消えます。操作を中断したり、更新やすべての復元に失敗したりした場合は表示できません。

◆最新の状態に更新

お預かりセンターとFOMA端末内のメモ（スケジュール）、Bookmark、トルカのデータを最新の状態に更新します。

1 MENU 6 0 3 ▶ 更新するデータを選択 ▶ 📷［接続］

2「はい」▶ 認証操作

- ●：バックアップを中止

3 通信結果を確認

- 通信結果の表示は約5秒後に消えます。

◆ 詳細設定／通信履歴

お預かりサイトで自動更新設定やその他設定（海外利用やMy docomoの利用設定）をしたり、データ送信時に電話帳の画像を送信するかを設定したり、各機能でお預かりセンターにバックアップした通信履歴を確認したりします。
- お預かりサイトに接続する機能につきましては、『ご利用ガイドブック（ｉモード編）』をご覧ください。
- 通信履歴は最大30件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 MENU 6 0 6

2 目的の操作を行う

自動更新設定：1 ▶「はい」
電話帳画像送信設定：2 ▶項目を設定▶ 📷［登録］
メモ添付画像送信設定：3 ▶項目を設定▶ 📷［登録］
その他設定：4 ▶「はい」
通信履歴確認：5 ▶履歴を選択

◆ ｉコンシェルからお預かりセンターへのバックアップ（更新）

ｉコンシェルのメニューからもFOMA端末内に保存されている電話帳、Bookmark、トルカ、メモ（スケジュール）をお預かりセンターにバックアップできます。お預かりセンターに接続することによって、それらのデータをFOMA端末に更新することができます。
- ｉコンシェルはお申し込みが必要な有料サービスです。注意事項およびご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（ｉモード編）』をご覧ください。

1 MENU ✂

2 「設定」▶「お預かりデータ確認／設定／更新」▶「電話帳の更新」または「メモ、トルカなどの更新」

これ以降の操作につきましては『ご利用ガイドブック（ｉモード編）』をご覧ください。

各種設定リセット

設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。
- メニュー一覧の赤文字の機能をお買い上げ時の状態に戻します。→P396

1 MENU 8 9 4 ▶認証操作▶リセットする項目を選択▶ 📷［リセット］▶「はい」

- 基本設定をリセットすると、ソフトウェア更新機能の確認画面と端末エラー情報送信設定の確認画面が表示されます。●を2回押すとメニュー画面が表示されます。

✔**お知らせ**
- Bluetooth電源オン／オフが「オン」のときに、基本設定はリセットできません。
- ｉモード設定をリセットすると、ｉチャネルのテロップが待受画面に表示されなくなります。待受画面でCLRを押してｉチャネル一覧を表示すると、最新の情報を受信し、待受画面にテロップ表示されるようになります。
- ウォーキング／Exカウンター設定をリセットすると、当日の歩数／活動量／カロリー情報がリセットされます。

データ一括削除

FOMA端末に保存、登録したデータを削除し、各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻します。
- 保護したデータも削除されます。
- 2in1のモードに関わらず設定やデータが削除されます。
- 次のデータは削除されません。また、お買い上げ時の設定に戻りません。
  - お買い上げ時に登録されているデータ
  - ドコモminiUIMカードやmicroSDカードに保存、登録、設定されているデータ
  - データが保存されているおサイフケータイ対応ｉアプリ
  - パソコンから設定したデータ通信の設定

- お買い上げ時に登録されているｉアプリは次のようになります。
  - 「iD 設定アプリ」と「オンラインサービス一覧」はICカード内データが保存されていない場合はお買い上げ時の状態に戻ります。
  - 「iD 設定アプリ」と「オンラインサービス一覧」、ダウンロードが必要なｉアプリ以外のおサイフケータイ対応ｉアプリは、ICカード内データが保存されていない場合は削除されます。
  - おサイフケータイ対応ｉアプリ以外のｉアプリはお買い上げ時の状態に戻りますが、バージョンアップした場合は削除されます。
- ICカード内データが保存されている場合は、ICオーナーは初期化されません。
- お買い上げ時に「受信BOX」フォルダに保存されているメールを削除した場合は、再び保存されます。
- お買い上げ時に登録されているマチキャラを削除した場合は、再び登録されます。
- 付属の電子辞書データDVD（試供品）からmicroSDカードにコピーした辞書データをFOMA端末に移動していると、データ一括削除によってお買い上げ時に登録されている辞書データ以外は削除されます。

1 MENU 8 9 3 ▶ 認証操作 ▶ 「はい」

再起動中にデーター括削除されます。

✔お知らせ

- 本機能を実行して再起動すると、初めて電源を入れたときと同様の画面が表示されます。→P48
- 削除されるデータが多い場合は、再起動に時間が約1分程度かかることがあります。途中で電源を切らないようご注意ください。
- 本機能を実行すると、Music&Videoチャネルの番組は自動的に取得されなくなります。再び番組を自動的に取得するには、Music&Videoチャネルの番組設定を行ってください。

遠隔初期化／遠隔カスタマイズ

本機能の利用契約（ビジネスmoperaあんしんマネージャー）をすることで、管理者からのお申し出により、遠隔初期化は対象となるFOMA端末の各種データ（本体／microSDカード／ドコモminiUIMカード内のメモリ）の初期化を行います。遠隔カスタマイズは対象となるFOMA端末の各機能（カメラ機能やロック設定など）の利用制限や、ON／OFF設定を遠隔から行うことができるサービスです。
詳細はドコモの法人向けサイトをご確認ください。

■ **遠隔初期化／遠隔カスタマイズのお問い合わせ先**
ドコモの法人向けサイト
docomo Business Online
- パソコンから
  http://www.docomo.biz/

※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

◆ リモート機能設定確認

遠隔カスタマイズによって制限中や「ON」に設定された各機能を一覧で確認できます。

1 MENU 8 9 7

その他のあんしん設定

本章でご紹介した以外にも、次のようなあんしん設定に関する機能・サービスがありますのでご活用ください。

<table>
<tr><th>機能・サービス名称</th><th>目　的</th><th>参照先</th></tr>
<tr><td>ICカードロック</td><td>ICカード機能の不正使用を防止したい</td><td>P250</td></tr>
<tr><td>迷惑電話ストップサービス</td><td>いたずら電話や悪質なセールス電話などの「迷惑電話」を着信したくない</td><td>P356</td></tr>
<tr><td>番号通知お願いサービス</td><td>発信者番号を通知してこない電話を着信したくない</td><td>P356</td></tr>
<tr><td>ソフトウェア更新</td><td>必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新したい</td><td>P435</td></tr>
<tr><td>スキャン機能</td><td>障害を引き起こすデータからFOMA端末を守りたい</td><td>P439</td></tr>
<tr><td>メール選択受信</td><td>大量に届くメールの中から、必要なメールのみを受信したい</td><td>P147</td></tr>
<tr><td>「災害用伝言板」サービス</td><td colspan="2" rowspan="7">『ご利用ガイドブック（ｉモード編）』をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>メールアドレス変更</td></tr>
<tr><td>迷惑メール対策
（URL付きメール拒否設定）
（受信／拒否設定）
（かんたん設定）
（ｉモード／spモードメール大量送信者からのメール受信制限）
（SMS拒否設定）
（未承諾広告※メール拒否）
（メール設定確認）</td></tr>
<tr><td>メール機能停止／再開</td></tr>
<tr><td>メールサイズ制限</td></tr>
<tr><td>ケータイお探しサービス</td></tr>
<tr><td>イマドコかんたんサーチ</td></tr>
</table>

メール

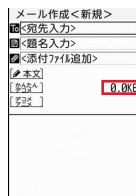
ｉモードメール

ｉモードを契約するだけで、ｉモード対応端末間はもちろん、インターネットを経由してe-mailでのやりとりができます。
テキスト本文に加えて、合計2Mバイト以内のファイル（写真や動画ファイルなど）を10個まで添付することができます。また、デコメール®にも対応しており、メール本文の文字の色や大きさ、背景色を変えられるほか、デコメ絵文字®も使えて、簡単に表現力豊かなメールを送ることができます。
さらにメッセージや画像を挿入したFlash画像のデコメアニメ®にも対応しています。

- ｉモードメールの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード編）』をご覧ください。
- 中国語（簡体字）のｉモードメール、SMSの送受信が可能です。→P349

ｉモードメール作成・送信

ｉモードメールを作成して送信します。

1 [✉][✉]［作成］

メール作成画面

- 「デコメアニメ」を選択すると、デコメアニメ®テンプレート一覧が表示され、デコメアニメ®を作成できます。→P131

2 宛先欄を選択

3 入力方法を選択▶宛先を入力

メール送受信履歴からの入力：「メール送信履歴」または「メール受信履歴」▶履歴を選択
電話帳からの入力：「電話帳検索」▶電話帳検索▶電話帳を選択
メールグループからの入力：「メールグループ」▶メールグループを選択
ブログ／動画／SNS投稿先からの入力：「ブログ／動画／SNS投稿先」▶投稿先にカーソル▶[MENU]［決定］
ブログ／動画／SNS投稿先の設定について→P148
直接入力：「直接入力」▶宛先を入力（半角50文字以内）

- ｉモード端末に送信する場合は、「@docomo.ne.jp」は省略できます。

4 題名欄を選択▶題名を入力（全角100（半角200）文字以内）

5 「本文」▶本文を入力（全角5000（半角10000）文字以内）

署名の挿入：「本文」▶[MENU]［サブメニュー］▶[4][1]
位置情報のURLを貼り付け：「本文」▶[MENU]［サブメニュー］▶[4][9]▶位置情報貼り付けメニューから機能を選択
位置情報貼り付け／付加／送信メニュー→P259

- 本文に入力される と位置情報URLは本文の文字数に含まれます。

6 [📷]［送信］

- 送信中に[●]または[⌒]：送信を中止
- 圏外では、送信予約の確認画面が表示され、「はい」を選択すると未送信BOXの「未送信トレイ」フォルダに圏内自動送信メールとして保存されます。→P134

✔お知らせ

- 送信が正常に終了したｉモードメールは送信BOXのフォルダに保存されます。保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護していない古い送信メールから順に削除されます。
- 受信側の端末によっては、題名をすべて受信できない場合があります。
- デコメ絵文字®（絵文字D）を使用すると、デコメール®として送信されます。
- 相手のｉモード端末の機種によっては、一部の絵文字が正しく表示されない場合があります。

- 絵文字を入力したｉモードメールを他社携帯電話に送信すると、受信側の類似絵文字に自動的に変換されます。ただし、受信側の携帯電話の機種や機能によって正しく表示されないことや、該当する絵文字がない場合に文字または〓に変換されることがあります。
- 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。また、送信できていても、「送信できませんでした」というエラーメッセージが表示される場合があります。
- 送信に失敗したｉモードメールは未送信BOXの「未送信トレイ」フォルダに保存されます。
- 送信を中止したときに、操作のタイミングによって送信されたメールは、未送信BOXの「未送信トレイ」フォルダに保存されます。
- シークレットコードを登録してドコモ以外のアドレスにメールを送信した場合、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
- メール作成で、中国語が含まれている場合は、漢字、カタカナ、英数字、記号、絵文字のみの場合とデータ量が異なります。
- メール作成中に[終話]を押して編集を終了した場合、自動保存されるように設定できます。→P151
- 他の機能が起動するなどして、10000バイトを超える作成中のｉモードメールが自動保存された場合、一部が保存されないことがあります。
- 2in1がデュアルモード時は、メール作成画面に送信者アドレスを示す次のマークが表示されます。
  AB：未指定　B：Bアドレス　表示なし：Aアドレス
- 2in1がデュアルモード時は、送信者アドレスを切り替えて送信できます。→P358

◆ 宛先の追加／設定

ｉモードメールは一度に最大50件の相手に送信できます。

- 宛先種別には次の3種類があります。
  To：送信相手の宛先
  Cc：送信相手以外にメールの内容を知らせたい相手の宛先
  Bcc：他の送信相手にメールアドレスを表示させずにメール内容を知らせる相手の宛先
- 受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、ToとCcのメールアドレスも表示されない場合があります。

〈例〉宛先の追加

1 メール作成画面で宛先欄の「〈宛先入力〉」を選択

入力済みの宛先の編集：**メール作成画面で宛先が入力された宛先欄を選択**

- 2件以上入力されている（「複数宛先 ×件」（×はメールアドレスの件数）が表示されている）宛先欄を選択した場合は、宛先を選択します。

2 入力方法を選択▶宛先を入力

宛先の入力方法→P128「ｉモードメール作成・送信」操作3

宛先種別の変更：**「送信種別変更」▶[1]～[3]**

- 宛先が1件、または複数件の先頭の宛先を選択した場合は設定できません。

宛先の確認：**「宛先確認」**

宛先の削除：**「宛先削除」▶「はい」**

◆ 参照メール

他のメールを参照しながら、ｉモードメールやSMSを作成します。

1 メール作成画面で「本文」▶[MENU]［サブメニュー］▶「参照メール」▶[1]▶参照元を選択

2 フォルダを選択▶メールにカーソル▶[カメラ]［参照表示］▶「はい」

- 参照メール表示中に[MENU]▶「参照メール」を選択すると、参照メールの操作ができます。
- [▲][▼]では参照メールの上下スクロールができます。
- 参照メールの添付ファイルは表示されません。
- フォルダ一覧、メール一覧で[MENU]を押すたびに受信／送信メールの表示が切り替わります。

デコメール®作成・送信

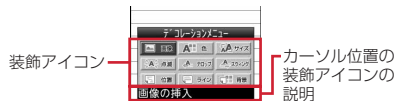
ｉモードメール本文の文字サイズや背景色の変更、撮影した静止画やお買い上げ時に登録されているデコメ®ピクチャ、デコメ絵文字®の挿入などの装飾（デコレーション）をして送信できます。

- 送信できるデコメール®のサイズは100Kバイト以内です。100Kバイトのうち本文中に貼付できる画像は最大20種類で90Kバイト以内です。ただし、Flash画像は最大2個です。

◆装飾選択後に文字入力

装飾方法を選択してから文字を入力してデコメール®を作成します。

1 メール作成画面で「本文」

2 [iα]［デコレーション］▶装飾アイコンを選択▶装飾操作

装飾の操作方法→P130「装飾アイコンの操作手順」

- 複数の装飾を設定するときは、連続して装飾アイコンを選択します。

1つ前の状態に戻す：[iα]［デコレーション］▶[✉]［元に戻す］

カーソル位置の装飾を解除して文字の入力：入力位置にカーソル▶[iα]［デコレーション］▶[MENU]［サブメニュー］▶[4]▶文字を入力

- 装飾の変更、点滅、テロップ、スウィングの装飾を解除するには、範囲を指定してから操作します。→P131

パレットの表示／非表示：[MENU]［サブメニュー］▶[8]▶［パレット設定ON／OFF］

- パレット設定が「OFF」のときは、本文入力画面で[iα][1]を押して、デコレーションメニューから装飾方法を選択します。

装飾の確認：[iα]（1秒以上）

3 メールを編集▶[📷]［送信］

❖装飾アイコンの操作手順

機　能	操作方法・補足
画像※1 画像挿入	①挿入元を選択 •「静止画を撮影」を選択すると、静止画を撮影して挿入できます。 ②フォルダを選択▶画像にカーソル▶[📷]［決定］ • デコメ絵文字®は絵文字を入力する手順でも挿入できます。→P344
色 文字色	文字色を選択▶文字を入力 • 絵文字（デコメ絵文字®（絵文字D）を除く）の文字色も変更できます。元の色に戻すときは［指定なし］を選択します。
サイズ 文字サイズ	文字サイズを選択▶文字を入力 • デコメ絵文字®（絵文字D）は変更できません。
点滅 点滅	「設定」▶文字を入力 • デコメ絵文字®（絵文字D）は設定できません。 • 解除するときは「解除」を押します。
テロップ テロップ	「設定」▶文字を入力 • 解除するときは「解除」を押します。
スウィング スウィング	「設定」▶文字を入力 • 解除するときは「解除」を押します。
位置 文字位置	文字の位置を選択▶文字を入力 • カーソル位置に文字が入力されている場合は、改行されます。
ライン※1 ライン挿入	[色]（文字色）で指定されている色でライン（罫線）が挿入されます。
背景※1 背景色	背景色を選択
コピー※2 コピー	選択した範囲がコピーされます。
切り取り※2 切り取り	選択した範囲が切り取られます。
戻す※2 戻す	直前に設定した装飾または文字入力が最大10回取り消されます。

※1　デコレーションを選択後の場合のみ表示
※2　範囲選択後の場合のみ表示

◆ 文字入力後に装飾

文字を入力してから装飾方法を選択してデコメール®を作成します。

- ライン挿入、画像挿入、背景色の操作方法や装飾の確認、解除方法→P130「装飾選択後に文字入力」

1 メール作成画面で「本文」▶装飾の開始位置にカーソル▶[✂]（1秒以上）

2 終了位置を選択

開始位置から文頭までを選択：[✉]［文頭］▶[●]［終点］
開始位置から文末までを選択：[iα]［文末］▶[●]［終点］
全文を選択：[📷]［全選択］▶[●]［終点］
範囲選択の取り消し：[MENU]［取消］

3 装飾アイコンを選択▶装飾操作

装飾の操作方法→P130「装飾アイコンの操作手順」

- 装飾後は[📷]を押してパレットを閉じます。

4 [●]［決定］▶メールを編集▶[📷]［送信］

◆ かんたんデコメ

お買い上げ時に保存されているデコメ絵文字®やデコメ®ピクチャなどを利用して、本文に入力した文章を簡単に装飾します。

1 本文が入力されたメール作成画面で「かんたんデコメ」

2 目的の操作を行う

文字サイズや背景色などの一括装飾の設定：[MENU]［装飾］▶「装飾する」または「装飾しない」

- 「装飾しない」を選択すると、絵文字、デコメ絵文字®、デコメ®ピクチャのみを利用した装飾になります。

装飾の変更：[📷]［次候補］

3 [●]［決定］▶「はい」▶メールを編集▶[📷]［送信］

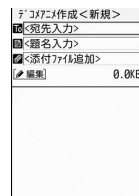
✔お知らせ

- 点滅、テロップ、スウィング、アニメーションなどは、メール作成画面やプレビュー画面では一定時間が経過すると自動的に停止します。
- パソコンなど、デコメール®対応FOMA端末以外とメールを送受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。
- デコメール®を非対応端末が受信すると、相手の端末によって閲覧用URLが記載されたメールか、テキスト本文のみのメールになります。

デコメアニメ®作成・送信

デコメアニメ®は、Flash画像で作成されたメールテンプレートを利用することにより、デコメール®の表現力を向上させたメールサービスです。
お買い上げ時に登録されているメールテンプレートやIP（情報サービス提供者）サイトから購入したメールテンプレートが利用できます。

- 送信できるデコメアニメ®本文のサイズは90Kバイト以内です。

1 [✉][5]

デコメアニメ®作成画面

2 「編集」

- マークの意味は次のとおりです。
  - ファイル制限あり　デコメール®対応
  - ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能により使用不可
  - ｉモードサイトからメールテンプレートを探す→P170
- 既にメールテンプレートを設定している場合は、操作4に進みます。

3 メールテンプレートにカーソル▶[📷]［決定］

microSDカード内のメールテンプレートの選択：[MENU]［サブメニュー］▶[6]▶メールテンプレートにカーソル▶[📷]［決定］

4 編集項目の操作を行う

- メールテンプレートによって、操作できる編集項目は異なります。

メールテンプレートの変更：[MENU]［サブメニュー］▶[1]▶「はい」▶操作3へ戻る

プレビューを表示：[✉]［プレビュー］

- [MENU]を押すと元の画面に戻ります。

編集項目のリセット：[MENU]［サブメニュー］▶[3]▶「はい」

5 [📷]［編集終了］▶宛先や題名を編集▶[📷]［送信］

✔お知らせ

- 署名の挿入はできません。
- 本文に入力できる文字数（バイト数）より少ないサイズの画像でも、挿入できない場合があります。
- 画像やテキストを挿入する場合は、合成後に多少バイト数が増えます。そのため、サイズを超過して、プレビュー表示や送信ができない場合があります。
- 送信に失敗し、未送信BOXの「未送信トレイ」フォルダに保存されたデコメアニメ®の本文は再編集できません。
- デコメアニメ®を非対応端末が受信すると、相手の端末によっては閲覧用URLが記載されたメールか、テキスト本文のみのメールになります。

メールテンプレート

メールテンプレートは、ｉモードメールの雛形です。この雛形に変更を加えるだけで、簡単にデコメール®／デコメアニメ®が作成できます。
お買い上げ時に登録されているメールテンプレートのほか、自分で作成したものやサイトからダウンロードしたものが利用できます。

- メモリ確認→P299
- デコメール®テンプレートが含まれるコンテンツパッケージをダウンロードすると、メールテンプレート一覧を表示した際、サムネイルを作成するかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、サムネイルの作成が開始され、サムネイル表示されます。

◆ メール作成中にメールテンプレート読み込み

メール作成中にメールテンプレートを読み込んでデコメール®を作成します。

1 メール作成画面で[MENU]［サブメニュー］▶[4]

- マークの意味→P131「デコメアニメ®作成・送信」操作2

2 メールテンプレートにカーソル▶[📷]［決定］

3 メールを編集▶[📷]［送信］

✔お知らせ

- メール本文入力画面からの操作：[MENU][2]

◆ メールテンプレート選択後にメール作成・送信

メールテンプレートを表示してデコメール®やデコメアニメ®を作成します。

1 [✉][6]▶[1]または[2]▶メールテンプレートにカーソル

- デコメアニメ®テンプレート一覧で[MENU][6]を押すと、microSDカード内のデコメアニメ®テンプレート一覧に切り替えられます。

2 [📷]［作成］▶メールを編集▶[📷]［送信］

タイトルを変更：[MENU]［サブメニュー］▶「タイトル編集」▶タイトルを入力（全角10（半角20）文字以内）

詳細情報の表示：[MENU]［サブメニュー］▶「情報表示」

◆ メールテンプレートの作成／登録

作成または送受信したデコメール®をメールテンプレートとして登録します。

- 添付ファイル、送受信したデコメール®の宛先と題名は登録されません。
- デコメアニメ®は本機能を利用できません。

1 メール作成画面で[MENU]［サブメニュー］▶[5]▶「はい」

送受信したデコメール®の登録：メール詳細画面で[MENU]［サブメニュー］▶[6][4]▶「はい」

テンプレートの「デコメール」に保存されます。

- メールテンプレートを呼び出して編集した場合は、保存方法の選択画面が表示されます。

✔お知らせ

- メール送信できない画像が含まれたメールテンプレートを登録しようとすると、画像が削除される場合があります。

◆ メールテンプレートの削除

保存されているメールテンプレートを削除します。

1 [✉][6]▶[1]または[2]▶メールテンプレートにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶「削除」

2 [1]～[3]▶「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせたメールテンプレートが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶[📷]が、全件削除では認証操作が必要です。

✔お知らせ

- お買い上げ時に登録されているメールテンプレートを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。→P298

ファイルの添付

ｉモードメールにファイルを添付して送信します。

- 添付できるファイル（データ）は次のとおりです。
  -静止画・画像　-メロディ　-動画／ｉモーション　-トルカ　-PDFデータ
  -電話帳　-メモ・スケジュールのメモ　-Bookmark　-Word　-Excel
  -PowerPoint　-microSDカードのその他ファイル
- 最大10件で合計2Mバイトまで添付できます。
- ファイル（データ）の設定や形式によっては添付できない場合があります。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイル（自端末でファイル制限を「あり」に設定したファイル、「外部取得データ」フォルダのデータを除く）、ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能により使用不可のファイルは添付できません。

1 メール作成画面で添付ファイル欄を選択▶ファイルの種類を選択▶ファイルを添付

- 添付ファイルによっては、添付元を選択する画面が表示されます。
- 既にファイルが添付されている場合は、「添付ファイル追加」を選択します。
- 画像を添付したときに、サイズの変換確認画面が表示された場合、ファイルサイズが2Mバイトを超えているときに「そのまま添付」を選択すると、添付可能なサイズに圧縮されます。
- 位置情報付きの画像を添付すると、位置情報URLの本文貼り付け確認画面が表示されます。「はい」を選択すると本文に⚐と位置情報URLが入力されます。入力されたURLや⚐は本文の文字数に含まれます。
- ファイルサイズが100Kバイトを超えるファイル（画像を除く）を選択すると、添付確認画面が表示されます。
- ファイルサイズが2Mバイトを超える動画／ｉモーションを添付すると、リサイズ／切り出しの確認画面が表示されます。

2 メールを編集▶[📷]［送信］

- 動画／ｉモーションを「リサイズ／切り出し」で添付したときは、リサイズ処理が完了すると送信されます。

✔お知らせ

- 2Mバイト対応機種以外のｉモード端末に動画／ｉモーションを送信する場合は、共通再生モードで撮影した動画をおすすめします。→P194
- ｉスケジュール内の予定を選択したときは、通常のスケジュールのメモとして添付されます。
- 受信側の端末によっては、受信できなかったり、正しく表示や再生されなかったりします。
- 添付ファイルのサイズによっては、送信するまでに時間がかかる場合があります。また、送信後に送信BOXのフォルダから大量にメールが削除される場合があります。

◆ 添付ファイルの解除

ｉモードメールに添付したファイルを解除します。

1 メール作成画面で添付ファイル欄を選択▶添付ファイルにカーソル▶[📷]［添付解除］▶[1]～[3]▶「はい」

- 選択解除では選択操作▶[📷]が必要です。

ｉモードメール保存／編集

作成中のｉモードメールの保存や編集、送信したｉモードメールの再編集ができます。

◆ ｉモードメールの保存

作成したｉモードメールを送信せずに保存します。

1 メール作成画面でMENU［サブメニュー］▶3

未送信BOXの「未送信トレイ」フォルダに保存され、ショートカットの貼り付け確認画面が表示されます（既にショートカットに貼り付けているメールを再編集して保存した場合を除く）。

- 本文を編集したデコメアニメ®を保存すると本文を編集できなくなります。

◆ 送信／未送信メールの編集

送信したメールや未送信のメールを編集して送信します。

1 ✉▶2または3▶フォルダを選択

2 目的の操作を行う

送信メールの再編集：メールにカーソル▶📷［編集］
未送信メールの編集：メールを選択

- 送信予約したメールを選択した場合は、送信予約のメッセージや失敗情報破棄の確認画面が表示される場合があります。

3 メールを編集▶📷［送信］

送信予約

圏外で作成したｉモードメールの自動送信や、指定した日時にｉモードメールを送信するように設定することができます。

◆ 圏内自動送信

圏外で作成したｉモードメールを、電波の届く所になったら自動的に送信するように設定します。

- 最大30件設定できます。

1 メール作成画面でMENU［サブメニュー］▶2 1

送信予約され、ディスプレイに📧が表示されます。

◆ 日時指定送信

ｉモードメールの送信する日時をあらかじめ指定して、指定日時になったら自動的に送信するように設定します。

- 最大30件設定できます。

1 メール作成画面でMENU［サブメニュー］▶2 2▶各項目を設定▶📷［予約］

日付：2050年12月31日までの日付を入力します。
時刻：24時間制で時刻を入力します。

❖ 圏内／指定日時になると

ｉモードメールが自動送信されます。自動送信中は📧が点滅します。送信が正常に終了したｉモードメールは送信BOXのフォルダに保存され、📧が消えます。

- 自動送信を中断したときや失敗したときは📧が📧に変わって点滅し、送信失敗として未送信BOXの「未送信トレイ」フォルダに残ります。

〈圏内自動送信〉

- 自動送信中に圏外になり、送信に失敗した場合は最大2回再送されます。
- 国際ローミング中は自動送信されません。帰国後、FOMAネットワークに接続されると自動送信されます。

〈日時指定送信〉
- 指定日時から約40秒の間に送信が開始されます。
- 日時指定送信メールの指定日時に圏外の場合は、圏内自動送信メールに設定され、圏内になると自動送信されます。
- 次の場合は、送信に失敗します。
  - 電源が入ってないとき
  - ドコモminiUIMカード未挿入時
  - 電波状況により送信に失敗したとき
  - 国際ローミング中
  - 圏外によって日時指定送信メールが圏内自動送信メールに設定されるときに、既に圏内自動送信メールが30件を超えているとき
  - ダイヤル発信制限中（電話帳に登録していない宛先に送信されたとき）
  - 日時指定送信メールの再編集中に指定日時になり日時を変更せずに終了したときや、日付時刻の変更で指定日時が日付時刻より過去になったとき
  - 親子モード中（各種利用制限の電話発信／メール送信設定が「電話帳登録相手のみ」で電話帳に登録していない宛先に送信されたとき、またはメールロックが「ON」のとき）
  - 遠隔カスタマイズによるメール機能制限中
- 同一日時の日時指定送信メールが複数件ある場合やメールのサイズが大きい場合は、指定した時間に送信できないことがあります。
- 送信開始待ちの日時指定送信メールと自動返信メールが合わせて30件あった場合は、31件以降のメールは送信失敗となります。

〈共通〉
- 未送信メール一覧で自動送信に失敗したｉモードメールにカーソルを合わせてMENU93を押すと、未送信理由が表示されます。
- メール作成中や署名編集中などのメール機能利用中や、フルブラウザ利用中は操作終了後に自動送信されます。
- 圏内自動送信と日時指定送信では、圏内自動送信が優先されます。送信状況によっては、日時指定送信の設定した日時より遅れる場合があります。
- すべての送信失敗メールが編集、解除、削除などによってなくなるとAUTOは消えます。

◆ 送信予約の解除／日時確認・変更

圏内自動送信や日時指定送信の設定を解除したり、日時指定送信の設定した日時を確認・変更したりします。

1 ✉3▶フォルダを選択▶ｉモードメールにカーソル

2 目的の操作を行う

圏内自動送信／送信失敗の解除：iα［予約解除］
日時指定送信の解除：iα［予約状況］▶「予約解除」
日時指定送信失敗の解除：iα［予約解除］▶「はい」
日時指定送信の日時確認：iα［予約状況］▶「OK」
日時指定送信の日時変更：ｉモードメールを選択▶MENU［サブメニュー］▶22▶各項目を設定▶📷［予約］

✔お知らせ
- 圏内自動送信メールの編集、ドコモminiUIMカードの差し替え、接続先設定の接続先番号や接続先アドレスの変更時は送信予約が解除されます。

クイックメール

FOMA端末電話帳のメモリ番号が0～99の相手には、簡単な操作でｉモードメールやSMSを送信できます。
- 電話帳に複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合、ｉモードメールは1件目のメールアドレス、SMSは1件目の電話番号が宛先になります。

1 メモリ番号を入力▶✉［作成］

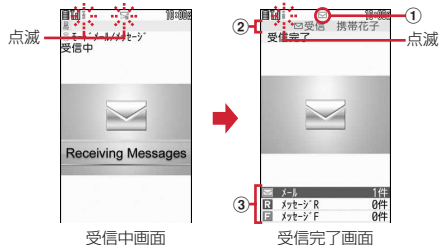
SMSの作成：メモリ番号を入力▶✉（1秒以上）

ｉモードメール自動受信

ｉモードメールは自動的に受信します。

1 ｉモードメールを受信

メールやメッセージの受信が始まると受信中画面が表示され、受信が完了すると着信音とランプが鳴動して受信完了画面が表示されます。
受信したｉモードメールは受信BOXのフォルダに保存されます。

- メールやメッセージ受信中はステータスバーに次のアイコンが点滅表示されます。
  ｉモードメール受信中 :と
  メッセージR/F受信中 :と(青）または(緑)
  SMS受信中 :
- （ｉモードメール／メッセージR/F）／（SMS）：受信を中止
  受信時の状況によっては受信する場合があります。

① **マーク**
　マークの意味→P25
② **受信完了テロップ**
③ **受信したｉモードメール／メッセージR/Fの件数**

- SMSを受信したときは、「メール」のみ表示され、SMSの件数が表示されます。
- 受信完了画面が表示されてから約15秒間何も操作しないと自動的に受信前の画面に戻ります。

✔**お知らせ**

〈共通〉
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるとき、受信メールの添付ファイルのサイズによっては、未読または保護以外の古いｉモードメールやSMSまたはメッセージR/Fが受信フォルダから順に削除されます。このとき、受信したメールのサイズによっては大量に削除される場合があります。
- 保存領域が満杯の時は、ｉモードメール、メッセージR/F、SMSの受信は中止され、画面には、ｉモードメール、SMSの場合はやが、メッセージR/Fの場合は(赤）や(赤）が表示されます。未読の内容表示、削除、保護解除などを行う必要があります。

〈ｉモードメール〉
- ｉモードメール1件につき、添付ファイルも含めて最大100Kバイトまで自動受信できます。100Kバイトを超える添付ファイルは、ｉモードセンターから手動で取得できます。→P139

〈ｉモードメール・メッセージR/F〉
- 次のような場合に送られてきたｉモードメールやメッセージR/Fは、ｉモードセンターに保管されます。
  - 電源が入っていないときやｉモード圏外のとき
  - テレビ電話中
  - お預かりセンター接続中
  - おまかせロック中やセルフモード中
  - 受信に失敗したとき
  - SMS受信中
  - メール選択受信設定が「ON」のとき（ｉモードメールのみ）
  - 赤外線通信／iC通信中、Bluetooth機器とのデータ送受信中
  - 未読と保護のｉモードメールやメッセージR/Fで保存領域が満杯のとき

〈SMS〉
- ｉモードメール、メッセージR/F、エリアメール受信中はSMSを自動受信しません。SMS問合せを行ってください。

◆ 新着メール／メッセージの表示

受信したｉモードメール、メッセージR/F、SMSをすぐに表示します。

〈例〉ｉモードメールを表示する

1 **受信完了画面で「メール」**

- 「メッセージR」「メッセージF」を選択すると、メッセージR/F一覧が表示されます。
- 受信完了テロップ表示中に[✉]を1秒以上押すと、受信メールのフォルダ一覧が表示されます。

2 **フォルダを選択▶メールを選択**

メロディや効果音付きのFlash画像の再生について→P150
受信メール詳細画面の見かた→P142
メッセージR/Fの見かた→P152

ｉモードメール選択受信

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールの題名などを確認して、受信するｉモードメールを選択したり、受信せずに削除したりできます。
ｉモードセンターにｉモードメールが届いたときは、ディスプレイに「センターに✉あり」とメッセージが表示されます。

- メール選択受信を利用するには、あらかじめメール選択受信設定を「ON」に設定しておく必要があります。→P147

1 **[✉][0]**

ｉモードセンターに接続され、保管されているｉモードメールが一覧表示されます。

- ｉモードセンターの操作方法は『ご利用ガイドブック（ｉモード編）』をご覧ください。

✔お知らせ

- オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中、自動キーロック中はメッセージが表示されません。
- メール／メッセージ問合せを行うとすべてのメールを受信します。メールを受信したくない場合は、メール／メッセージ問合せ設定で問い合わせ項目から「メール」を外してください。

メール／メッセージ問合せ

圏外にいた間や電源を切っていた間などに、ｉモードメールやメッセージR/Fが届いていないかを問い合わせます。

- 問い合わせする項目を設定できます。→P147

1 **[✉]（1秒以上）**

- 新着のｉモードメールがないときは、ランプが「パプリカ」で点滅し、問い合わせに失敗したときは、ランプが「レモン」で点滅します。
- サイドキー長押し設定がお買い上げ時の状態のときは、[▼]を1秒以上押してもメール／メッセージ問合せができます。

ｉモードメール返信

受信したｉモードメールやSMSに返信します。

- 受信メールによっては返信できない場合があります。
- 発信元が「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能」の受信SMSには返信できません。

1 **[✉][1]▶フォルダを選択▶メールを選択▶[MENU]［サブメニュー］▶[1]▶[1]～[6]**

- 自分以外に同報先がある場合は、返信先の選択画面が表示されます。
- 「クイック返信」を選択した場合は、クイック返信本文選択画面が表示されます。
- デコメ絵文字自動学習が「ON」のときに、デコメ絵文字®が使用された受信メールに返信しようとすると、デコメ絵文字®を一括保存するかどうかの確認画面が表示されます。
- ｉモードメールでは、先頭に「Re：」の付いた受信メールの題名が題名欄に入力されます。

2 **メールを編集▶[📷]［送信］**

✔お知らせ
- 受信メール一覧で[📷]または[iα]を押しても、返信メールを作成できます。
- 受信メール一覧、詳細画面で[📷]を押したときの返信時の引用方法とクイック返信を設定できます。→P148
- デコメアニメ®は引用返信できません。
- 引用返信で引用されるのは、本文と装飾、本文中に貼付された画像（ファイル制限が設定されていないもの）のみです。
- ｉモードメールや音声電話の応答ができないときに、自動的に返信するように設定できます。→P148

ｉモードメール転送

受信したｉモードメールやSMSを他の宛先に転送します。ｉモードメールはｉモードメールとして、SMSはSMSとして転送されます。

1 [✉][1]▶フォルダを選択▶メールにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[1][7]
- ｉモードメールでは、先頭に「Fw：」の付いた受信メールの題名が題名欄に入力されます。

2 メールを編集▶[📷]［送信］

✔お知らせ
- 受信メール本文中に貼付されたメロディ、ｉアプリが起動できるリンク項目があるときは転送メールには設定されず、また文字としても引用されません。
- 未取得、取得途中の選択受信添付ファイル、メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは転送メールに添付されません。microSDカードの受信メールを転送する場合は、すべての添付ファイルが解除されます。
- デコメアニメ®を転送する場合は、本文を編集できません。また、メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているデコメアニメ®は、デコメアニメ®が解除され、メール作成画面が表示されます。

添付ファイルの操作

ｉモードメールに添付されているファイルを表示・保存します。
- 表示・保存できるファイルは次のとおりです。
  -画像　-ｉモーション　-メロディ　-トルカ　-PDFデータ　-電話帳
  -メモ・スケジュールのメモ　-Bookmark
  -その他（Word、Excel、PowerPoint、MPO形式の画像、Textなど）
- メール本文と添付ファイルの合計サイズが100Kバイトを超える場合は、添付ファイルの一部またはすべてを選択受信添付ファイルとして受信します。→P139

◆ 添付ファイルの表示・再生

添付されているファイルを表示・再生します。

1 [✉][1]▶フォルダを選択▶ｉモードメールを選択

2 ファイル名を選択

マークの意味→P142「メール詳細画面の見かた」
- トルカに詳細情報がある場合は、「詳細」ボタンを選択するとサイトからダウンロードできます（トルカ（詳細））。

✔お知らせ
- 横幅が画面サイズよりも大きい画像は、縮小されて表示されます。
- MPO形式の画像（3D静止画）は2Dで表示されます。
- 100Kバイトを超えるメロディやトルカ（詳細）、1Kバイトを超えるトルカ、500Kバイトを超えるFlash画像は表示・再生はできません。microSDカードにのみ保存できます。
- 複数件の電話帳、スケジュールのメモ、Bookmarkは保存後に内容が確認できます。
- 送信側の端末や受信したファイルによっては、表示・再生できない場合があります。
- メロディや効果音を自動再生するか設定できます。→P150
- 送信メール詳細画面からも同様に操作できます。

◆ 添付ファイルの保存

添付されているファイルを保存します。
- 添付ファイルはそれぞれに対応した保存先に保存されます。
- 本FOMA端末で対応していないファイルはmicroSDカードへの保存および転送のみできます。なお、保存の際にファイル名が書き換えられる場合があります。

1 [✉]▶[1]または[2]▶フォルダを選択▶ｉモードメールを選択

2 ファイル名にカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[6][1][1]▶「はい」

本文中の画像を保存：[MENU]［サブメニュー］▶[6][2]▶画像を選択▶[📷]［保存］▶「はい」
本文中のデコメ絵文字®を一括保存：[MENU]［サブメニュー］▶[6][5]▶「はい」
電話帳、メモ・スケジュールのメモを保存：ファイル名を選択▶[📷]［保存］
- [✉]を押すと、microSDカードに保存されます。

Bookmarkを保存：ファイル名を選択▶[●]［登録］
- 添付ファイルによって保存先のフォルダや本体／microSDカードの選択画面が表示されます。

✔お知らせ
- 画像によっては保存できない場合があります。
- トルカによっては一度しか保存できない場合があります。

◆ 添付ファイルの削除

添付されているファイルを削除します。

1 [✉]▶[1]または[2]▶フォルダを選択▶ｉモードメールを選択

2 ファイル名にカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[6][1][2]▶「はい」

◆ 選択受信添付ファイルの取得

受信メールに添付された未取得または取得途中の選択受信添付ファイルをダウンロードします。
- 未取得または取得途中の添付ファイルがあると、受信メール詳細画面にｉモードセンターでの保存期限が表示されます。
- ダウンロードできるサイズは1件あたり最大2Mバイトです。

1 [✉][1]▶フォルダを選択▶ファイルが添付されたｉモードメールを選択▶ファイル名を選択

マークの意味→P142「メール詳細画面の見かた」
- ダウンロード中に[●]を押し「いいえ」を選択すると、ダウンロードを中止し、データの保存確認画面が表示されます。
- ダウンロード後の操作は自動受信した添付ファイルの操作と同様です。→P138

✔お知らせ
- 選択受信添付ファイルをダウンロードしようとしたときに、保存領域の空きが足りないときはダウンロードできません。受信済みのｉモードメールの添付ファイル削除、未読メールの内容表示、保護解除、不要メールの削除などを行ってからダウンロードし直してください。
- ファイルのサイズによっては、選択受信添付ファイルをダウンロードする際に既読メールが削除される場合があります。

受信／送信／未送信メールBOXの表示

受信／送信／未送信のｉモードメールやSMSを確認します。

- お買い上げ時は、受信BOXの「受信トレイ」フォルダにWelcomeメールが保存されています。このメールの受信に通信料はかかっていません。また、返信することはできません。

1 [メール]▶[1]～[3]

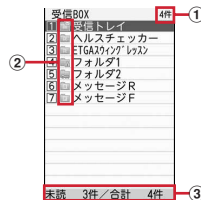
2 フォルダを選択

- フォルダセキュリティを設定したフォルダを選択した場合は、認証操作が必要です。
- メール連動型ｉアプリ用のフォルダにカーソルを合わせて[MENU]▶「ｉモードメール閲覧」を押すと、ｉアプリを起動せずにメール一覧を表示できます。

すべてのフォルダ内メールの一覧表示：[カメラ]［全表示］

- フォルダセキュリティが設定されたフォルダに保存されているメールは表示されません。

3 表示するメールを選択

◆ フォルダ一覧画面の見かた

受信メールフォルダ一覧画面

送信メールフォルダ一覧画面

① 総保存件数

② フォルダ

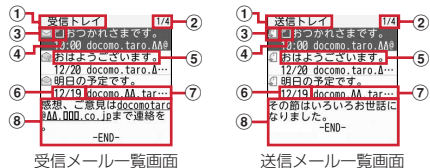
：お買い上げ時に保存されているフォルダ　：作成したフォルダ
：メール連動型ｉアプリのフォルダ
：メッセージRのフォルダ　：メッセージFのフォルダ

- 次のマークは、フォルダの設定や状態によってフォルダマークとともに表示されます。
  ：未読メール、未読メッセージあり（受信メールフォルダ）／自動保存されたメールあり（未送信メールフォルダ）
  ：シークレット属性設定中　：フォルダセキュリティ設定中

③ フォルダ内未読／合計保存件数

◆ メール一覧画面の見かた

受信メール一覧画面

送信メール一覧画面

① フォルダ名

② メール番号／総メール数

③ 状態マーク

受信メール

: 未読ｉモードメール　: 既読ｉモードメール　: 未読SMS
: 既読SMS　: メール連動型ｉアプリでの未読ｉモードメール
: メール連動型ｉアプリでの既読ｉモードメール
: ドコモminiUIMカード未読SMS　: ドコモminiUIMカード既読SMS
: 未読エリアメール　: 既読エリアメール
: メール連動型ｉアプリでの未読エリアメール
: メール連動型ｉアプリでの既読エリアメール
: 未読ｉモードメール（自動返信済み）
: 未読ｉモードメール（自動返信失敗）
: 既読ｉモードメール（自動返信済み）
: 既読ｉモードメール（自動返信失敗）
: 迷惑メール報告済みｉモードメール
: 迷惑メール報告済みSMS
: 迷惑メール報告済みメール連動型ｉアプリのｉモードメール

※ 返信済み、転送済みは後から行った操作のマークが優先表示されます。

送信メール

: 送信済みｉモードメール　: 送信済みSMS
: 送信済みメール連動型ｉアプリでのｉモードメール
: ドコモminiUIMカード送信済みSMS
: 自動返信済みｉモードメール

未送信メール

: 未送信ｉモードメール　: 未送信SMS
: メール連動型ｉアプリでの未送信ｉモードメール
: 圏内自動送信設定中　: 圏内自動送信失敗
: メール連動型ｉアプリでの圏内自動送信設定中
: メール連動型ｉアプリでの圏内自動送信失敗
: 日時指定メール設定中　: 日時指定メール失敗
: メール連動型ｉアプリでの日時指定メール設定中
: メール連動型ｉアプリでの日時指定メール失敗

- 次のマークはメールの設定や状態によって状態マークとともに表示されます。

  ／: 保護されているｉモードメール・SMS
  : 返信済みのｉモードメール・SMS
  : 転送済みのｉモードメール・SMS

④ 添付ファイルの種類

: 画像　: メロディ　: ｉモーション　: トルカ
: PDFデータ　: 電話帳　: メモ・スケジュールのメモ
: メモ・スケジュールのメモ（選択受信添付ファイル未取得）
: Bookmark
: その他ファイル（Word、Excel、PowerPoint、MPO形式の画像、Textなど）
: 閲覧不可ファイル　: 複数添付あり　: ｉアプリ（ｉアプリTo）

⑤ 題名

ｉモードメールによっては、表示されない場合があります。また、SMSの場合は本文の先頭が表示されます。

⑥ 受信／送信／保存日時

当日の場合は時刻が、当日以外の場合は日付が表示されます。

⑦ 発信元／宛先

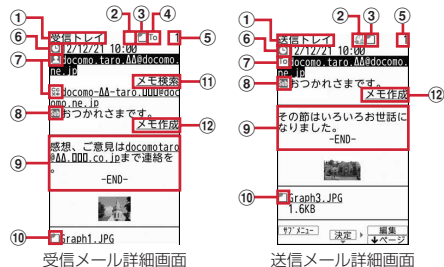
電話帳に登録しているときは名前が表示されます。
エリアメールの場合は、「エリアメール」と表示されます。

⑧ 本文

カーソルを合わせたメールの本文が表示されます。
次の操作ができます。
1／3：縮小／拡大
7／9：上下スクロール

- 海外から送られてきたSMSは発信元の先頭に「+」が表示されます。
- 時差補正（UTC+09：00を除く）されたｉモードメール、SMSにはが表示される場合があります。
- 2in1がデュアルモード時は、Bアドレス／Bナンバーのｉモードメール、SMSにはBが表示されます。
- 受信メールにカーソル▶を押すと、既読／未読の状態を変更できます。
- メール一覧の表示方法は変更できます。→P144

◆ メール詳細画面の見かた

受信メール詳細画面　　送信メール詳細画面

① **フォルダ名**

② **状態マーク**

：迷惑メール報告済みｉモードメール

：迷惑メール報告済みSMS

：迷惑メール報告済みメール連動型ｉアプリのｉモードメール

上記以外のマーク→P141「メール一覧画面の見かた」③状態マーク

③ **添付ファイルの種類**

→P141「メール一覧画面の見かた」④添付ファイルの種類

④ **宛先種別**

宛先種別（To／Cc／Bcc）が表示されます。

⑤ **メール番号**

⑥ **送受信日時**

⑦ **発信元／宛先／同報アドレスの宛先種別**

：発信元　：発信元（返信不可）　To／Cc／Bcc：宛先

／：宛先（返信不可）（ｉモードメールのみ）

：2件以上の宛先／同報アドレス

- メールアドレスの代わりに「複数宛先 ×件」（×はメールアドレスの件数）が表示されます。

⑧ **題名**

⑨ **本文**

1／3を押すと縮小／拡大できます。

⑩ **添付ファイルの種類**

：貼付データ不正／削除済みのファイル

：ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能が設定されているファイル

：選択受信添付ファイル未取得　：選択受信添付ファイル取得途中

：選択受信添付ファイル取得不可

上記以外のマーク→P141「メール一覧画面の見かた」④添付ファイルの種類

⑪ **メモ検索リンク**

発信元のメールアドレスに関連するメモを検索できます。

- ｉコンシェル契約時のみ表示されます。表示しないように設定できます。→P147

⑫ **メモ作成リンク**

メールの内容をメモに登録できます。

デコメアニメ®を見る

受信／送信メール一覧からデコメアニメ®を選択すると、デコメアニメ®本文のFlash画像が再生されます。

- デコメアニメ®再生中は次の操作ができます。
  - MENU：メール詳細画面に戻る
  - ✉：再生停止
  - iα：最初から再生
- 効果音付きデコメアニメ®の場合は、ｉモードブラウザ設定のサウンド設定の音量で効果音が再生されます。
- メール詳細画面でデコメアニメ®の本文を選択すると、再度デコメアニメ®のFlash画像を再生できます。

✔お知らせ

- 表示できない文字は「・」などに置き換わります。
- 題名が受信可能な文字数を超えた場合、超えた文字は削除されます。
- 本文が受信できる文字数を超えた場合、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた分が自動的に削除されます。
- 受信メールに添付されたファイルが受信可能なデータ量（添付可能なデータ量→P133）より大きい場合やファイルによっては、ｉモードセンターで削除され、題名の下に［添付ファイル削除］と表示されます。
- メール本文中に貼付されたメロディ、ｉアプリが起動できるリンク項目は1件のみ有効です。複数貼付されていると、貼付データは無効になり受信メール一覧画面や詳細画面に?や?が表示されます。
- ビデオデータが含まれたFlash画像が添付または本文中に貼付されたメールを表示しても、ビデオデータ部分は再生されません。
- 本文に電話番号、メールアドレス、URLが含まれる場合は、Phone To（AV Phone To）、Mail To、SMS To、Web To機能を利用できます。
- 受信したSMSの発信者番号が通知されなかったときは、次の文字が発信元に表示されます。
  「非通知設定」（非通知に設定して送られてきた場合）
  「公衆電話」（公衆電話から送られてきた場合）
  「通知不可能」（発信者番号を通知できない方法で送られてきた場合）
- 2in1がデュアルモード時は、メール詳細画面の④⑥⑦⑧のマークがAアドレス／Aナンバーの場合は紫、Bアドレス／Bナンバーの場合は緑で表示されます。
- ケータイデータお預かりサービスを利用して、メールを保存できます。→P121

受信／送信／未送信メールの操作

受信／送信／未送信のｉモードメールやSMSを操作します。

◆ メールフォルダの管理

フォルダを作成／削除したり、設定を変更したりします。

- お買い上げ時に登録されているフォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダ以外に、受信／送信／未送信メールそれぞれ最大20個作成できます。
- お買い上げ時に登録されているフォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダは、フォルダ設定を変更できません。
- 作成したフォルダにシークレット属性とフォルダセキュリティは同時に設定できません。
- お買い上げ時に登録されているフォルダ、保護メールを含むフォルダ、対応するｉアプリを含むメール連動型ｉアプリ用フォルダは削除できません。

1 **[✉]▶[1]～[3]▶フォルダにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］**

2 **目的の操作を行う**

作成：[1][1]

フォルダ設定の変更：[1][2]

フォルダセキュリティの設定／解除：[1][3]▶認証操作▶[1]または[2]

- フォルダセキュリティを設定すると、フォルダを選択したときに認証操作が必要になります。

並び順の変更：[1]▶[4]または[5]

フォルダの削除：「削除」▶「フォルダ1件削除」「フォルダ選択削除」「全フォルダ削除」のいずれか▶認証操作▶「はい」

- フォルダ1件削除では、カーソルを合わせたフォルダが削除されます。
- フォルダ選択削除では選択操作▶[📷]が必要です。

3 **各項目を設定▶[📷]［登録］**

フォルダ名：全角9（半角18）文字以内で入力します。

シークレット属性：プライバシーモード中（メール・履歴が「指定フォルダを非表示」のとき）に、フォルダを表示させるかを設定します。

- 未送信メールの場合は、以降の操作は不要です。

4 「はい」または「いいえ」

メール振分け条件設定について→P146

- 送信／受信BOXに同じフォルダを追加するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、作成したフォルダの条件と同じフォルダが追加されます。

✔お知らせ

- 削除操作を行ったときに、プライバシーモードや2in1利用時で表示されていないフォルダやメールも条件にあわせて削除されます。

◆ メール一覧画面の操作

メール一覧からメールの保護や移動などをします。

1 [✉]▶[1]～[3]▶フォルダを選択

2 目的の操作を行う

保護／解除：メールにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶「保護」▶[1]～[6]

- 選択保護／解除では、選択操作▶[📷]が必要です。
- エリアメール、ドコモminiUIMカード内のSMSは保護できません。

検索：

① [MENU]［サブメニュー］▶「メール検索」

② 各項目を設定▶[📷]［検索］

- 題名／本文は、全角35（半角70）文字以内で入力します。複数の単語で検索する場合は、単語と単語の間に空白を入力します。
- [iα]を押すと、検索履歴を利用できます（最大5件）。

移動：

① メールにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶「移動／コピー」▶[1]

② [1]～[3]▶移動先のフォルダを選択

- 選択移動では選択操作▶[📷]が必要です。

メール一覧画面下部のプレビュー表示設定：[MENU]［サブメニュー］▶「表示設定」▶[1]

メール一覧の表示形式の設定：メールにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶「表示設定」▶[2]▶表示方法を選択

ソート：[MENU]［サブメニュー］▶「表示設定」▶[3]▶ソート方法を選択

- 全角と半角が混在していたり、SMSやエリアメールが含まれていたりすると、「題名順」の並べ替え結果が50音順になりません。

特定の相手とのチャット表示：メールにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶「表示設定」▶[4]

- フォルダセキュリティが設定されたフォルダ内のメールは、表示されません。
- 未送信メール一覧からは操作できません。

発信元のメールアドレス表示：メールにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[0][5]

- 受信メール一覧からのみ操作できます。

電話をかける：メールにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶「発信オプション」

発信オプション→P57

- メールアドレスと電話番号を電話帳に登録している場合に操作できます。

❖ メールの削除

受信／送信／未送信メールから不要なメールを削除します。

- 保護されているメールは削除できません。

1 [✉]▶[1]～[3]

- 全フォルダの受信メールを全件削除するときは、[MENU][3]▶[3]～[5]▶認証操作▶「はい」を選択します。
- 全フォルダの送信／未送信メールを全件削除するときは、[MENU][3][3]▶認証操作▶「はい」を選択します。

2 フォルダを選択▶メールにカーソル

3 [MENU]［サブメニュー］▶「削除」▶削除方法を選択▶「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせたメールが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶[📷]が、フォルダ内既読／未読／全件削除では認証操作が必要です。

✔お知らせ

- 「フォルダ内既読削除」「フォルダ内未読削除」「フォルダ内全件削除」の操作を行ってもドコモminiUIMカード内のSMSは削除されません。
- 削除操作を行ったときに、プライバシーモードや2in1利用時で表示されていないメールも削除の条件にあわせて削除されます。

◆ メール詳細画面の操作

メール詳細画面から電話番号の登録や本文のコピー、メモ作成などをします。

1 [✉] ▶ [1] または [2] ▶ フォルダを選択 ▶ メールを選択

2 目的の操作を行う

本文のコピー： [MENU]［サブメニュー］▶ [4][2] ▶ コピー先を選択 ▶ 開始位置を選択 ▶ 終了位置を選択

- コピーした文字は最新の1件だけが電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。
- デコメール®の装飾とデコメアニメ®の本文はコピーできません。
- 貼り付け方法→P346

電話番号、メールアドレスの登録：

① 電話番号やメールアドレスにカーソル

- 2件以上の同報アドレスを登録する場合は、同報アドレス欄を選択して、電話番号やメールアドレスにカーソルを合わせます。

② [MENU]［サブメニュー］▶ [6][3]

- 同報アドレス一覧表示中は[MENU][1]を押します。

③ [1] または [2] ▶ [1] または [2]

- 追加／上書きするときは登録する電話帳を選択します。
- メール本文などに複数のメールアドレスが列記されている場合は、登録できないことがあります。

スケジュール作成： [MENU]［サブメニュー］▶ [6][6]

文字サイズ変更： [MENU]［サブメニュー］▶ [0][1] ▶ 文字サイズを選択

- 文字サイズ設定のメール閲覧にも反映されます。

メモの作成・検索：「メモ作成」または「メモ検索」

- SMS詳細画面では表示されません。

メール送受信履歴

送受信したメールの宛先や発信元をメールの履歴として記録しておく機能です。履歴を利用してメールを作成したり、電話帳に登録したりできます。

◆ メール送受信履歴の表示

メール送受信履歴を表示します。

- 送信履歴と受信履歴はそれぞれ最大50件表示されます。超過すると古いものから上書きされます。
- 同じ宛先にメール送信した場合、送信履歴に最新の1件が記録されます。

1 [✉][#] ▶ [1] または [2]

- 表示する相手を選択すると詳細画面が表示されます。
- マークの意味は次のとおりです。
  - ✉：ｉモードメール送受信　SMS：SMS送受信
  - B：Bアドレスの送受信／Bナンバーの受信（2in1がデュアルモード時）
  - 🌐：海外滞在時（UTC+09：00を除く）の送受信※
  - ✕：返信不可のｉモードメールまたはSMS
  - ※ 送受信日時が記録されていないときなど、表示されない場合があります。

■ サブメニューからの操作

- メール送受信履歴一覧のサブメニューには「電話帳登録」「削除」「電話発信」が、メール送受信履歴詳細画面には「メール作成」があります。
- 「電話帳登録」には、電話帳への新規登録または追加／上書があります。
- 「削除」する場合、1件削除ではカーソルを合わせたメール送受信履歴が削除されます。全件削除では認証操作が必要です。
- 「メール作成」では「ｉモードメール作成」または「デコメアニメ作成」を選択して作成します。

✔お知らせ

- 2in1利用時は、送信履歴と受信履歴それぞれAアドレス／Aナンバー最大50件、Bアドレス／Bナンバー最大50件まで記録されます。

メール設定

メールに関したさまざまな設定をします。

◆ メール振分け条件設定

作成したフォルダに振分け条件を設定して、条件に合った受信／送信メールを自動的に振り分けます。

- 振分け条件は、フォルダごとに30件登録できます。
- 通常のメールをメール連動型ｉアプリ用のフォルダに振り分けることもできますが、メール連動型ｉアプリの振分け条件が優先されます。

1 [✉] ▶ [1] または [2] ▶ フォルダにカーソル

2 [MENU]［サブメニュー］▶ [4]

3 番号を選択

- メール連動型ｉアプリ用のフォルダの場合は、設定するかどうかの確認画面が表示されます。

振分け条件の削除：振分け条件にカーソル ▶ [MENU]［サブメニュー］▶ [1] または [2] ▶「はい」▶ 操作5に進む

- 1件削除ではカーソルを合わせた条件が削除されます。

4 振分け条件を選択 ▶ 条件を設定

発信元のメールアドレスの指定：「アドレス（差出人）」▶ [1]～[4] ▶ メールアドレスを入力

- 送信メールの振分け条件には設定できません。
- メールアドレスは半角50文字以内で入力します。
- 指定するメールアドレスがｉモード端末の場合は、ドメイン（@docomo.ne.jp）を省略して指定しても振り分けられます。ただし、「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、携帯電話番号のみを登録してください。
- 電話番号を指定すると、SMSも振り分けられます。

同報先を含む発信元／送信先のメールアドレスを指定：「アドレス（差出人／同報）／アドレス（送信先／同報）」▶ [1]～[4] ▶ メールアドレスを入力

ドメインの指定：「ドメイン（差出人）」▶ ドメインを入力（半角50文字以内）

- 送信メールの振分け条件には設定できません。

電話帳グループの指定：「電話帳グループ」▶ グループを選択

メールグループの指定：「メールグループ」▶ メールグループを選択

題名の指定：「題名」▶ 題名を入力（全角15（半角30）文字以内）

電話帳登録なしの指定：「電話帳登録なし」

すべてのメールを指定：「全ての受信メール／全ての送信メール」▶「はい」

5 [📷]［完了］

✔お知らせ

- 作成したフォルダの並び順が振分け条件の優先順位になります。すべての条件に該当しない場合は受信BOXの「受信トレイ」フォルダまたは送信BOXの「送信トレイ」フォルダに保存されます。
- エリアメールは振り分けられません。

❖ メール再振分け

保存されているｉモードメールやSMSを振分け条件に従って、再振り分けします。

1 [✉] ▶ [1] または [2] ▶ [MENU]［サブメニュー］▶ [5] ▶ 認証操作 ▶「はい」

◆ 署名編集設定

署名の登録やｉモードメール作成時に、自動挿入するかどうかを設定します。

1 [✉] [✂] [3] ▶ 署名を入力（全角5000（半角10000）文字以内）▶「ON」または「OFF」

✔お知らせ

- 署名に設定した背景色は、メール本文が未入力のとき以外は反映されません。
- 署名もメール本文の文字数（バイト数）に含まれます。
- デコメアニメ®や自動返信メールに署名は挿入できません。

◆ 詳細直接表示設定

受信完了画面で「メール」「メッセージR」「メッセージF」を選択したときに、すぐに詳細画面を表示させるかどうかを設定します。
• 本機能を利用して詳細画面を表示したときは、前後のメールを表示できません。

1 [✉][✱][2][3]▶[1]または[2]

◆ プレビュー後既読設定

受信メール一覧でプレビュー表示され、本文がすべて表示されたときに、既読にするかどうかを設定します。

1 [✉][✱][2][4]▶[1]または[2]

◆ メモ検索リンク表示設定

受信メール詳細画面でメモ検索リンクを表示させるかどうかを設定します。
• 本機能を利用するには、ｉコンシェルの契約が必要です。

1 [✉][✱][2][5]▶[1]または[2]

◆ 新着情報アイコン動作設定

待受画面に表示されている新着情報アイコン（未読メール）を選択したときに、表示する状態を設定します。
• 新着情報（未読メール）に蓄積された最新情報がメッセージR/Fの場合は、本設定に関わらず受信メールフォルダ一覧が表示されます。

1 [✉][✱][2][6]▶[1]または[2]

◆ メール／メッセージ問合せ設定

ｉモードセンターに問い合わせする項目を設定します。

1 [✉][✱][5]▶[1]～[3]▶[1]または[2]

◆ メール選択受信設定

ｉモードメールを自動受信せずに、必要なメールだけを選択して受信するかを設定します。
• 海外設定のメール選択受信設定にも反映されます。
• エリアメール、SMS、メッセージR/Fは本設定に関わらず自動受信します。

1 [✉][✱][1][1]▶[1]または[2]

◆ メールグループの登録

複数のメールアドレスをメールグループとして登録しておくと、ｉモードメールを簡単な操作で複数の宛先に送信できます。
• メールグループは最大10件登録できます。1つのメールグループには、最大50件のメールアドレスを登録できます。

1 [✉][✱][8]

2 登録先を選択

メールグループ名の編集： メールグループにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[1]▶グループ名を編集（全角10（半角20）文字以内）
メールグループ名のリセット： メールグループにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[2]▶「はい」

3 [iα]［追加］

登録済みのメールアドレスの確認： メールアドレスを選択▶[5]
メールアドレスの削除： メールアドレスにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[1]～[3]▶「はい」▶操作5に進む
• 1件削除ではカーソルを合わせたメールアドレスが削除されます。
• 選択削除では選択操作▶[📷]が必要です。

4 [1]～[4]▶メールアドレスを入力

5 [📷]［完了］

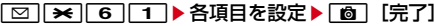
◆ ブログ／動画／SNS投稿先設定

ブログ／動画／SNSの投稿先を登録します。登録した投稿先は、ｉモードメール作成画面で宛先に設定すると、ｉモードメールを利用して、簡単にブログ／動画／SNSに投稿できます。
- 最大5件登録できます。
- ｉモードメール作成で宛先に投稿先を設定すると、「投稿先アドレス」が宛先に入力され、「投稿タイトル」が題名に入力されます。

1 [✉][✂][9]

2 **目的の操作を行う**

作成／編集：投稿先にカーソル▶[✉]［編集］
削除：投稿先にカーソル▶[iα]［削除］▶「はい」
参照：投稿先を選択

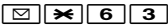
3 **各項目を設定▶[MENU]［完了］**

投稿先名：全角16（半角32）文字以内で入力します。
投稿先アドレス：入力方法を選択して半角英数字50文字以内で入力します。
投稿タイトル：全角100（半角200）文字以内で入力します。

◆ メール返信引用設定

受信メール／SMSの一覧や詳細画面で、[📷]を押して返信メールを作成するときに、受信メールを引用するかどうかと、引用する本文の先頭に付ける引用文字を設定します。

1 [✉][✂][6][1]▶**各項目を設定**▶[📷]［完了］

引用：メール返信時に本文を引用するかを設定します。
引用文字：全角1（半角2）文字以内で入力します。
- 引用文字も本文の文字数に含まれます。
- 送信できない文字が設定された場合、お買い上げ時の引用文字が使用されます。

◆ クイック返信設定

受信メール一覧や詳細画面で[📷]を押して返信メールを作成するときに、クイック返信を使用するかを設定します。

1 [✉][✂][6][2]▶[1]または[2]

◆ クイック返信本文登録

クイック返信で使用する本文を登録します。
- 最大10件登録できます。

1 [✉][✂][6][3]

2 **本文を選択▶本文を入力（全角250（半角500）文字以内）**

本文の全件リセット：[MENU]［リセット］▶認証操作▶「はい」

◆ デコメ絵文字自動学習

デコメ絵文字®が使用されている受信メールに返信するときに、デコメ絵文字®の一括保存確認画面を表示させるかどうかを設定します。

1 [✉][✂][6][4]▶[1]または[2]

◆ メール返信時自動学習

返信時に受信メールの内容を解析して、利用できる言葉を候補選択リストに表示させるかどうかを設定します。

1 [✉][✂][6][5]▶[1]または[2]

◆ メール自動返信設定

運転中や就寝中などでｉモードメールや音声電話の応答ができないときに、ｉモードメールで自動的に返信します。
- あらかじめ相手の電話番号とメールアドレスを電話帳に登録しておく必要があります。なお、受信したメールに自動送信する場合は、メールアドレスのみの登録でも自動返信します。
- 自動返信したメールには「自動返信メールです」と題名が付きます。
- 音声電話着信時は、電話帳にメールアドレスが複数登録されている場合は、1件目のメールアドレスに自動返信されます。ｉモードメール受信時は、発信元のメールアドレスに自動返信されます。

- メール作成中や署名編集中などのメール機能利用中や、フルブラウザ利用中は操作終了後に自動返信されます。その際、ディスプレイには が表示されます。
- 次の場合は、自動返信されません。
  - 自動返信する対象のｉモードメールを受信したときに、受信完了画面から新着ｉモードメールを表示した場合
  - 題名に「自動返信メールです」「Auto-reply message」が含まれたメールを受信した場合
  - 同じ送信元の受信メールに連続で3回自動返信した場合
- 国際ローミング中は自動返信ON／OFF設定が自動的に「OFF」に設定され、利用できません。帰国後に設定を変更してください。
- SMSには自動返信できません。
- 電波状況によっては、送信に失敗する場合があります。
- 送信開始待ちの日時指定送信メールと自動返信メールが合わせて30件あった場合は、31件以降のメールは送信失敗となります。
- 乗り物の乗車や場所を検知して、自動返信の設定を促すようにできます。→P87

❖自動返信ON／OFF設定

音声電話着信やｉモードメール受信した際、ｉモードメールで自動返信するかどうかを設定します。

1 [✉][✱][7][1]▶[1]または[2]

「ON」に設定すると待受画面に が表示されます。
- 「ON」にしたときに、有効な返信本文がない場合は返信する本文の設定画面が表示されます。→P149
- サイドキー長押し設定を利用すると、サイドキーでON／OFFを切り替えられます。→P321

❖自動返信本文・宛先設定

音声電話着信やｉモードメールを受信した際、ｉモードメールで自動返信する本文（9件）の内容を編集したり、返信先を設定したりします。
- 本文1件あたり最大20件の返信先を設定できます。

1 [✉][✱][7][2]

- マークの意味は次のとおりです。
  ：有効に設定されている本文

2 目的の操作を行う

返信先の設定：本文にカーソル▶[✉]［宛先設定］▶[📷]［追加］

マークの意味は次のとおりです。

：FOMA端末電話帳の返信先　：ドコモUIMカード電話帳の返信先
：FOMA端末電話帳グループの返信先
：ドコモUIMカード電話帳グループの返信先
：電話帳なし返信先※　：電話帳グループなし返信先※
：すべての電話帳の返信先
※ ドコモminiUIMカード未挿入の場合に表示されます。

返信本文の有効／無効の設定：

① 本文にカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[1]
- 「本文無効」にしたときや返信先が設定されているときは、以降の操作は不要です。

②「OK」▶[📷]［追加］

返信本文を編集：本文を選択▶本文を編集（全角100（半角200）文字以内）▶[📷]［登録］▶「OK」▶[📷]［追加］

返信本文・返信先の参照：本文にカーソル▶[📷]［参照］▶[MENU]［宛先確認］

返信本文の優先度変更：本文にカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[5]または[6]▶[iα]［完了］

返信本文・返信先の全件リセット：[MENU]［サブメニュー］▶[7]▶認証操作▶「はい」▶[iα]［完了］

返信先の変更：本文にカーソル▶[✉]［宛先設定］▶返信先を選択

返信先の削除：本文にカーソル▶[✉]［宛先設定］▶返信先にカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[3]～[5]▶「はい」▶[iα]［完了］▶[iα]［完了］

- 1件削除ではカーソルを合わせた返信先が削除されます。
- 選択削除では選択操作▶[📷]が、全件削除では認証操作が必要です。
- 削除後も返信先があるときは、有効に設定するかの確認画面が表示されます。

3 [1]～[3]▶[iα]［完了］▶「はい」または「いいえ」▶[iα]［完了］

- 電話帳別指定を選択したときは、検索して電話帳を選択します。
- グループを選択したときは、参照先を選択して、グループを選択します。

❖自動返信契機設定

音声電話着信やｉモードメールを受信した際、ｉモードメールで自動返信するタイミングを設定します。

1 [✉][✂][7][3]▶[1]～[3]

❖返信対象の電話着信やｉモードメール受信があると

ｉモードメールが自動送信されます。送信中は✉が点滅します。送信が正常に終了した返信メールは送信BOXのフォルダに保存され、✉が消えます。

- 自動返信送信の中断や失敗したときは、受信メール一覧に✉や着信履歴一覧に📞が表示されます。

◆メール受信添付ファイル設定

ｉモードメールを受信した際、添付されたファイルを同時に受信するかを、ファイルの種類ごとにあらかじめ設定しておきます。

- 自動受信しないように設定したファイルは、選択受信添付ファイルとして受信します。→P139
- 本文中に貼付された画像やメロディは、本設定に関わらず自動受信します。

1 [✉][✂][1][2]▶受信するファイルの項目を選択▶[📷]［確定］

- 「ツールデータ」とは、電話帳、Bookmark、メモ・スケジュールのメモです。
- 「その他」とは、WordやExcel、PowerPoint、MPO形式の画像、その他のファイルです。

◆添付ファイル自動再生設定

ｉモードメールやメッセージR/F（自動表示を除く）を表示した際、添付または本文中に貼付されたメロディやFlash画像の効果音を自動的に再生するかを設定します。

1 [✉][✂][1][3]▶[1]または[2]

✔お知らせ

- 「自動再生する」に設定すると、メールに添付されたメロディは音量設定のメール・メッセージ着信音量で再生されます。ただし、「Silent」または「Steptone」に設定されている場合は「Level 1」で再生されます。デコメアニメ®の効果音は音量設定のメロディ音量で再生されます（デコメアニメ®のプレビュー画面やリトライ画面、テンプレート詳細画面では、本設定に関わらず効果音が再生されます）。

◆受信・自動送信表示

ｉモードメールやSMSなどの受信中画面や受信完了画面、自動送信中の画面を、FOMA端末の操作中に優先して表示させるかを設定します。

1 [✉][✂][2][1]▶[1]または[2]

✔お知らせ

- 「操作優先」に設定しても、FOMA端末を閉じた状態、画面オフの状態では「通知優先」で動作します。ただし、ワンセグ起動中、ミュージックプレーヤー再生中、Music&Videoチャネル再生中は「操作優先」で動作します。
- 「通知優先」に設定しても、音声電話中やカメラ起動中、ストリーミングタイプのｉモーション・ムービー再生中、ｉアプリ動作中、ワンタッチアラーム鳴動中、エリアメール受信中などでは、「操作優先」で動作します。

◆受信／拒否設定（迷惑メール対策）

簡単な操作で、送受信メールから受信／拒否したい相手のドメインやアドレスをｉモードセンターに登録したり、法令に違反して送信された広告宣伝を目的とした迷惑メールや迷惑SMSをドコモに転送したりすることができます。

※ ドコモでは法令に違反した迷惑メール／SMSの送信者への措置などの対策を講じるため、お客様からの情報提供をお願いしております。

- 迷惑メール対策の詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード編）』をご覧ください。

1 [✉]▶[1]または[2]▶フォルダを選択▶メールを選択▶[MENU]［サブメニュー］▶[9]

2 目的の操作を行う

受信／拒否の登録：[1]▶「はい」

- ｉモードセンターに接続後は、画面の指示に従って操作してください。

迷惑メールのメール報告：[2]▶「OK」▶[📷]［送信］

✔お知らせ

- ｉMenuの「メール設定」に接続し、「受信／拒否設定」などの設定状況を確認する：[✉][✱][0]▶「はい」
- 迷惑メール／SMSの情報をドコモに転送いただく際、お客様による受信時には削除されている対象迷惑メール／SMSの送信経路情報などを、システムまたはFOMA端末の機能により自動的に付加させていただいたうえで情報提供いただく場合があります。

◆ 編集時自動保存設定

ｉモードメールやSMSの作成時に保存操作をせずに[⌒]を押して編集を終了した場合に、自動的に未送信BOXの「未送信トレイ」フォルダに保存するかを設定します。

1 [✉][✱][✱]▶[1]または[2]

✔お知らせ

- 「ON」の場合でも、保存領域の空きが足りないときは保存されません。また、10000バイトを超える場合は一部保存されないことがあります。

メッセージR/F受信

メッセージサービスは、ニュース速報やお得な情報などの情報が、ｉモード端末へ自動的に届くサービスです。
メッセージR/Fはｉモードセンターから送信されて自動的に受信します。
受信の動作はｉモードメールを受信したときと同じです。→P136
受信したメッセージR/Fはそれぞれ受信BOXの「メッセージR」フォルダ、「メッセージF」フォルダに保存されます。

◆ メッセージ自動表示設定

待受画面表示中に自動受信したメッセージR/Fの内容を自動的に（約15秒間）表示するかを設定します。

1 [✉][✱][2][2]▶[1]～[5]

✔お知らせ

- 自動表示中にキー操作をしなかった場合は、未読の状態で保存されます。

メッセージR/Fの操作

メッセージR/Fの表示・削除・保護などの操作をします。

1 [✉][1]▶「メッセージR」または「メッセージF」

2 目的の操作を行う

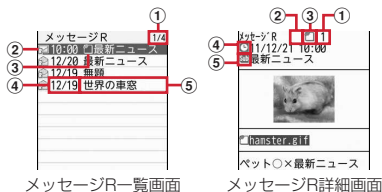
表示：メッセージR/Fを選択
保護ON／OFF：メッセージR/Fにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[1]
- 未読メッセージR/Fは保護できません。

削除：メッセージR/Fにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[2]▶[1]～[3]▶「はい」
- 1件削除ではカーソルを合わせたメッセージR/Fが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶[📷]が、全件削除では認証操作が必要です。

ソート：[MENU]［サブメニュー］▶[3]▶[1]～[8]
- 題名に、全角や半角、英字、漢字、URL表示のものが混在していると、「題名順」の並べ替えの結果が50音順と一致しない場合があります。

電話帳登録：メッセージR/Fを選択▶[MENU]［サブメニュー］▶[5]▶[1]または[2]▶[1]または[2]
文字サイズの変更：メッセージR/Fを選択▶[MENU]［サブメニュー］▶[6]▶文字サイズを選択

◆ メッセージR/F一覧画面／詳細画面の見かた

メッセージR一覧画面　　メッセージR詳細画面

① メッセージR/F番号／総メッセージ数（一覧画面）、メッセージR/F番号（詳細画面）
② 状態マーク
　／：未読メッセージR/F　／：既読メッセージR/F
　／：既読メッセージR/F（保護）
③ 添付ファイルの種類
　：画像　：メロディ　：トルカ　：複数添付ファイルあり
④ 受信日時
- 一覧画面の場合は、受信した日付が当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付で表示されます。

⑤ 題名

◆ 添付ファイルの表示・保存

メッセージR/Fの添付されているファイルを表示・保存します。

1 [✉][1]▶「メッセージR」または「メッセージF」

マークの意味→P152「メッセージR/F一覧画面／詳細画面の見かた」

2 メッセージR/Fを選択▶[MENU]［サブメニュー］

3 目的の操作を行う

表示・再生：[2]▶ファイル名を選択
保存：[2]▶ファイル名にカーソル▶[📷]［保存］▶「はい」
本文中の画像を保存：[3]▶ファイル名にカーソル▶[📷]［保存］▶「はい」

✔お知らせ
- トルカによっては、一度しか保存できない場合があります。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。
- ｉモードを契約しなくても、エリアメールの受信ができます。
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。
- 電源が入っていない、ｉモード圏外、テレビ電話中、赤外線通信／iC通信／Bluetooth機器とのデータ送受信中／microSDカード使用中などのデータ転送モード中、国際ローミング中、お預かりセンター接続中、ソフトウェア更新中、おまかせロック中やセルフモード中などは受信できません。
- ｉモード通信中、パソコンとつないだパケット通信中、64Kデータ通信中、パターンデータ更新中などは受信できないことがあります。
- 音声電話中、ストリーミングタイプのｉモーション・ムービー再生中は、受信しても受信完了画面または内容表示画面は表示されません。

緊急速報「エリアメール」受信

エリアメールが送られてくると自動的に受信します。

1 エリアメールを受信

が点灯し、ランプが「パプリカ」で点滅し、専用ブザー音または専用着信音が鳴り、受信完了画面が表示されます。任意のキーを押すか、約30秒間操作しないと消去されます。
受信したエリアメールは受信BOXの「受信トレイ」フォルダに保存されます。
- エリアメールによっては、受信時に内容が表示されるものがあります。[●]、[CLR]、[⌒]のいずれかを押すと消去されます。

〈緊急地震速報エリアメール〉
- 受信時は同時にバイブレータが「メロディ連動」の動作パターンで振動します。
- ブザー音は音量設定の「Level 10」で鳴動します。変更はできません。
- 緊急地震速報エリアメールの着信時の鳴動時間を設定できます。→P153

〈緊急地震速報以外のエリアメール〉
- 着信音の音量は音量設定のメール・メッセージ着信音量に従い、鳴動時間は着信音設定のメールのメール着信音に従い、バイブレータはバイブレータ設定のメール・メッセージ着信時のメール着信時に従います。なお、バイブレータの動作パターンは、「メロディ連動」で振動します。
- 着信音は変更できません。

〈共通〉
- お買い上げ時は、マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中でも鳴動します。各モードに従い、鳴動しないように設定できます。→P153

✔お知らせ
- 受信メール全体の空き容量に関わらず、エリアメールの最大保存件数を超過すると保護以外の古いエリアメールから順に削除されます。

緊急速報「エリアメール」設定

エリアメールに関したさまざまな設定をします。

1 [✉][✂]▶「緊急速報「エリアメール」設定」

2 目的の操作を行う

受信設定：[1]▶[1]または[2]
ブザー鳴動時間：[2]▶時間を入力（1～30秒）
マナー／公共モード時設定：[3]▶[1]または[2]
着信音確認：[4]▶[1]または[2]

◆エリアメールの受信登録

緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報の他に受信するエリアメールを登録します。
- 最大20件登録できます。
- 一覧に「津波警報」の表示がなくても「津波警報」を受信することができます（登録の必要はありません）。
- お買い上げ時に登録されている「緊急地震速報」「災害・避難情報」は、編集や削除はできません。

1 [✉][✂]▶「緊急速報「エリアメール」設定」▶[5][1]▶認証操作

2 目的の操作を行う

登録：[MENU]［新規］
編集：エリアメール名を選択
削除：エリアメール名にカーソル▶[✉]［削除］▶「はい」

3 エリアメール名欄を選択▶任意のエリアメール名を入力（全角15（半角30）文字以内）▶MessageID欄を選択▶サービス提供者から付与されるMessageIDを入力（4桁）▶[📷]［登録］

SMS作成・送信

携帯電話番号を宛先にして文字メッセージを送信します。
- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 受信／送信／未送信のSMS一覧／詳細画面の見かた→P140

1 [✉][7]▶宛先欄を選択

2 入力方法を選択▶宛先を入力

メール送受信履歴からの入力：[1]または[2]▶履歴を選択
電話帳からの入力：[3]▶電話帳検索▶電話帳を選択
直接入力：[4]▶宛先を入力（半角数字20文字以内）
宛先の確認：[5]

3 「本文」▶本文を入力
- SMS設定で設定した送信文字種により入力できる文字数が異なります。

4 [📷]［送信］

保存：[MENU]［サブメニュー］▶[2]
- 未送信BOXの「未送信トレイ」フォルダに保存され、ショートカットの貼り付け確認画面が表示されます（既にショートカットに貼り付けているメールを再編集して保存した場合を除く）。

✔お知らせ

- 送信が正常に終了したSMSは、送信BOXのフォルダに保存されます。保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護していない古い送信メールから順に削除されます。
- 電波状況や送信する文字の種類、相手の端末によっては、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- 宛先が海外通信事業者の場合は、「+」を含めた21文字まで入力して送信できます。
- 宛先が海外通信事業者の場合は、「+」（0を1秒以上押す）「国番号」「相手の携帯電話番号」の順で入力するか、または「010」「国番号」「相手の携帯電話番号」の順で入力します（受信した海外からのSMSに返信する場合も、「+」または「010」を入力します）。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力します。
- 送信文字種が英語の場合は、一部の記号を入力すると送信できる文字数が少なくなる場合があります。
- 送信に失敗したSMSは未送信BOXの「未送信トレイ」フォルダに保存されます。
- 送達通知を「要求する」に設定して送信した場合は、SMSが相手のFOMA端末に届いたことをお知らせする送達通知が送られてきます。送達通知は受信BOXのフォルダに保存されます。ただし、他社携帯電話宛に送信したときは、送達通知が届かない場合があります。
- 発信者番号通知設定が「通知しない」の場合でも、SMS送信時は送信相手に発信者番号が通知されます。
- 2in1利用時は、BナンバーではSMSは送信できません。
- SMS作成中に[終話]を押して編集を終了した場合に、自動保存されるように設定できます。→P151

❖送信／未送信SMSの編集

送信したSMSや未送信のSMSを編集して送信します。→P134

SMS受信

SMSはSMSセンターから送信されて自動的に受信します。

受信の動作はｉモードメールを受信したときと同じです。→P136

受信したSMSは受信BOXのフォルダに保存されます。

SMS問合せ

圏外にいた間や電源を切っていた間などに、SMSが届いていないかを問い合わせます。

- 受信するまでに時間がかかる場合や電波状態によってはSMS問い合わせができない場合があります。

1 [✉] [9]

SMS設定

SMSを送信するときの文字の種類や送達通知の要求などを設定します。

通常はSMSセンター設定を変更する必要はありません。

1 [✉] [*] [#]

2 **目的の操作を行う**

送達通知設定：[1]▶[1]または[2]

有効期限設定：[2]▶[1]～[4]

- 「0日」を設定すると一定時間再送後、SMSセンターから削除されます。

本文入力設定：[3]▶[1]または[2]

SMSセンター設定：

① [4] [2]

- ドコモからSMSを受信するには、「ドコモ」を選択します。

② SMSセンター欄を選択▶SMSセンターのアドレスを入力（半角20文字以内）▶Type of number欄を選択▶[1]または[2]▶[📷]［登録］

✔お知らせ

- SMS作成画面からの操作：[MENU]→[3]または[4]
  この場合、送達通知、有効期限のみ設定でき、作成中のSMSにだけ有効です。
- 有効期限、本文入力、SMSセンターの設定内容は、ドコモminiUIMカードに保存されます。

SMSのFOMA端末⇔ドコモminiUIMカード間でのコピー

送受信したSMSをFOMA端末⇔ドコモminiUIMカード間でコピーします。

- 送達通知のある送信SMSをコピーすると、対応する送達通知が同時にコピーされます。
- 未送信SMSは、ドコモminiUIMカードにコピーできません。
- 保護したSMSをドコモminiUIMカードにコピーすると、コピー先で保護は解除されます。

1 [✉] ▶ [1] または [2] ▶ フォルダを選択 ▶ SMSにカーソル

2 [MENU] ［サブメニュー］ ▶ 「移動／コピー」 ▶ [3] ▶ 「はい」

✔**お知らせ**

- 送信SMSをドコモminiUIMカードにコピーした場合、ドコモminiUIMカードの送信SMSから送信日時のデータが消去されます。
- ドコモminiUIMカードのSMSから返信や転送、再送信などを行った場合の送信SMSは、FOMA端末に保存されます。

i モード／フルブラウザ

i モード

フルブラウザ

サイト／ホームページの見かたと操作

i モード／フルブラウザの利用

i モードブラウザ／フルブラウザの設定

ｉモード

ｉモードでは、ｉモード対応端末のディスプレイを利用して、サイト接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスを利用できます。

- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。
- ｉモードの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード編）』をご覧ください。

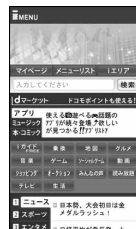
ｉモードのご利用にあたって

- サイトやインターネット上のホームページの内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイトやホームページからｉモード対応端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- 異なるドコモminiUIMカードに差し替えたり、ドコモminiUIMカードを未挿入のまま電源を入れたりした場合、サイトから取り込んだ静止画、ｉモーション、メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画、動画、メロディなど）、画面メモおよびメッセージR/Fなどは表示、再生できません。
- ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能が設定されているデータを待受画面や着信音などに設定している場合、異なるドコモminiUIMカードに差し替えたり、ドコモminiUIMカードを未挿入のまま電源を入れたりすると、お買い上げ時や標準のデータで動作します。

ｉMenuの表示

ｉモードに接続して、さまざまなサイトを表示します。

1 [iα]

ｉモード中はディスプレイにｉが点滅します。

- 通信開始中に[—]：接続を中止
- ページ読み込み中に[CLR]：ページの読み込みを中止
- [1]、[2]などの番号付きの項目は、項目に対応するダイヤルキーを押して選択できる場合があります（ダイレクトキー機能）。

2 表示する項目を選択

以降同様にして目的のページを表示します。

- 選択した項目によっては新しいタブでページが表示されます。→P162

3 サイトを見終わったら[—]▶「はい」

✔お知らせ

- ｉモード／web設定の共通設定にあるｉモードボタン設定を「ｉモードメニュー表示」にすると[iα][1]で接続できます。→P173
- サイトから、お客様の携帯電話／ドコモUIMカード（FOMAカード）の製造番号を要求されたときは、送信の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、製造番号が送信されます。送信される製造番号は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかを判定したりするために使われます。
  送信する製造番号は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得される可能性があります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。
- サイトからお客様の携帯電話で再生した楽曲情報を要求されたときは、楽曲情報送信の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、お客様の携帯電話で再生した楽曲情報（タイトル名、アーティスト名、再生日時）が送信されます。送信される楽曲情報は、IP（情報サービス提供者）がお客様にカスタマイズした情報を提供するためなどに使われます。

◆ｉモードパスワード変更

マイメニューの登録／削除、メッセージサービスやメール設定などを行うときはｉモードパスワードが必要です。
- ｉモードご契約時のｉモードパスワードは「0000」に設定されていますが、安全のためお客様独自の4桁の数字に変更してください。
- ｉモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。
- ｉモードパスワードをお忘れの場合は、ご契約者本人であることを確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップの窓口で確認させていただいた上で、ｉモードパスワードを「0000」にリセットさせていただきます。

1 **[iα]▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認・変更・利用）」▶「ｉモードパスワード変更」▶現在のパスワードの入力欄を選択▶現在のｉモードパスワードを入力**

2 **新パスワードの入力欄を選択▶新しいｉモードパスワードを入力**

3 **新パスワード確認の入力欄を選択▶操作2で入力したｉモードパスワードを入力▶「決定」**

◆マイメニュー登録

よく利用するサイトをマイメニューに登録すると次回から簡単に接続できます。
- ｉモードのサイトを最大45件登録できます。ただし、登録できないサイトもあります。
- 登録にはｉモードパスワードが必要です。→P159
- 有料サイトに申し込むと自動的にマイメニューに登録されます。

1 **サイトを表示▶「マイメニュー登録」▶ｉモードパスワードの入力欄を選択▶ｉモードパスワードを入力▶「登録する」**

マイメニューからのサイト表示：[iα]▶「マイページ」▶「マイメニュー／マイボックス」▶サイトを選択

◆SSL／TLSページへの接続

SSL／TLSに対応したサイトやホームページを表示できます。
- SSL／TLSとは、認証／暗号技術を使用して安全にデータ通信を行う方式のことです。SSL／TLSページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴、なりすましや書き換えを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやり取りできるようにしています。
- SSL／TLS通信を行うには、接続サイトとFOMA端末に同じ認証機関が発行した「証明書」という電子情報が必要な場合があります。→P174

1 **対応するサイトやホームページを選択▶SSL／TLS通信の開始を示すメッセージが表示**

- SSL／TLSページ表示中はディスプレイに[SSL]が表示されます。
- SSL／TLSページ表示中に[MENU][9]▶［証明書参照］を押すと、証明書を表示できます。
- SSL／TLSページから通常ページに進む場合は確認画面が表示されます。

ホームページの表示

インターネットに接続して、パソコン向けに作成されたホームページをフルブラウザで表示します。

- ｉモードとフルブラウザでは課金体系が異なります。フルブラウザのご利用時は、画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますので、ｉモードパケット定額サービスをご契約されることをおすすめします。パケット通信料および料金プランの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード編）』をご覧ください。

1 [MENU][2][✂]

- 通信開始中に[⌒]：接続を中止
- ページ読み込み中に[CLR]：ページの読み込みを中止
- フルブラウザ利用設定が「利用しない」の場合、ブラウザを利用するかの確認画面が表示されます。→P172

2 **ホームページを見終わったら[⌒]▶「はい」**

✔お知らせ

- 1ページあたりの読み込み容量は最大3Mバイトです。
- プラグインには対応していません。
- ホームページによっては表示に時間がかかる場合や、正常に表示されない場合があります。

❖フルブラウザでのWi-Fi利用について

Wi-Fi利用時、FOMA／Wi-Fiのどちらかのネットワーク優先で接続できます。

- フルブラウザ起動時（Bookmark、画面メモを含む）では、Wi-Fiネットワーク優先で接続されます。通信中はディスプレイに[Wi-Fi]が点滅します。
- フルブラウザでは、FOMAネットワークを利用した接続が発生した場合はFOMAネットワーク優先で接続されます。
- サイトやホームページ表示中に[MENU][0]▶［FOMA／Wi-Fi接続切替］で、サイト閲覧履歴、URL入力履歴、Bookmark一覧、RSSリーダーのチャンネル一覧や概要画面では[MENU]▶［FOMA／Wi-Fi接続切替］で、URL入力画面（Wi-Fi利用中にブラウザからサブメニューで表示した場合のみ）では[📷]で利用するネットワークを切り替えられます。
- ネットワークがWi-FiからFOMAに切り替わるとパケット通信料がかかります。フルブラウザ設定の接続切替画面設定で「表示しない」に設定した場合、切替確認画面は表示されませんのでご注意ください。
- Wi-Fi利用時、ｉモードブラウザでFOMAネットワーク接続中（ｉモード接続中）にフルブラウザに切り替えた場合、フルブラウザはFOMAネットワーク優先で接続されます。→P160
- ｉモードブラウザではWi-Fiネットワークは利用できません。

ｉモード／フルブラウザの切り替え

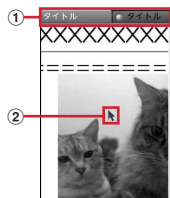
サイトやホームページ表示中にブラウザ種別を切り替えます。

- ｉモードとフルブラウザでは課金体系が異なります。フルブラウザご利用時のパケット通信料は、データ通信量により高額になりますので、ｉモードパケット定額サービスをご契約されることをおすすめします。
- ブラウザを切り替えるとサイトやホームページによっては正常に表示できない場合があります。

1 **サイトやホームページ表示中に[MENU]［サブメニュー］▶[5][2]**

- フルブラウザ接続の確認画面が表示された場合、「はい（以後非表示）」を選択すると確認画面は表示されなくなります。→P172

ブラウザ画面の見かたと操作

◆ ブラウザ画面の見かた

ブラウザ画面（縦画面）

① 状態表示／タイトルまたはURL
　: 取得中　: データ取得済みの未読タブ
② ポインタ→P162

✔お知らせ

- 画像の代わりに次のマークが表示される場合があります。
  : 画像の取得中や、画像表示設定が「表示しない」のとき
  : 画像を取得できなかったとき
  : 画像のURLの誤りなどで表示できないとき

◆ ブラウザ画面の操作

サイトやホームページ表示中に次の操作ができます。

リンク先や項目の選択：次の操作ができます。

- リンク先：カーソルを合わせると反転または枠で表示します。リンク先のページに進みます。
- 文字入力欄：文字を入力します。
- ラジオボタン：選択肢の中から1つ選択します。◉が選択の状態です。
- チェックボックス：選択肢の中から複数選択します。☑が選択の状態です。
- プルダウンメニュー：表示されるメニューから項目を選択します。
- ボタン：割り当てられた機能が実行されます。

上下スクロール／上下連続スクロール：▲▼または／（1秒以上）

- フルブラウザで表示モード設定がPCレイアウトモード時で表示中、／（1秒以上）は左右スクロール／左右連続スクロールになります。

タブやウィンドウを閉じる／ブラウザの終了：CLR▶「はい」

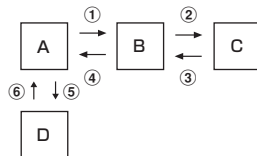
ノーマル／スクロールモード切替：

ページの移動：［←戻る］／［進む→］

ビジュアル履歴：（1秒以上）

- スクロールモード時は次の操作になります。
  上下スクロール：［↑ページ］／［↓ページ］
  上下連続スクロール：（1秒以上）／（1秒以上）

✔お知らせ

- モーションセンサー設定が「ON」の場合、ブラウザ表示中に▲▼を1秒以上押すとディスプレイにが表示され、FOMA端末を傾けた方向に画面がスクロールします（ポインタの移動なし）。キー操作を行ったり、しばらく端末を傾けなかったりすると解除されます。
- フルブラウザで表示中にダイヤルキーを押すと、割り当てられた機能が使用できます。各ダイヤルキーに割り当てられた機能は、ホームページ表示中にMENU▶▶［操作ガイド］で操作の確認ができます。
- ポインタ表示中にを1秒以上押すと、コンテンツによってはレイアウト（ページ全体）が表示されます。→P173
- ページ移動は表示履歴を利用しています。表示履歴は「キャッシュ」という端末内の場所に一時的に最大50件記録されます。記録された履歴を利用することで通信を行わずにページ間を移動できます。ただし、端末のキャッシュサイズをオーバーしていたり、必ず最新情報を読み込むように設定されたページを表示したりするときは通信を行います。
- ページA→B→Cの順に表示（①、②）した後でページAに戻り（③、④）、ページDに進む（⑤）と、ページA→B→Cの表示履歴は消去されます。ページDからページAには戻れますが（⑥）、さらにページBには戻れません（①）。

- コンテンツによっては、入力した文字や設定などの情報がキャッシュに記録されます。ただし、Bookmarkや画面メモなどには保存されません。
- ブラウザを終了すると表示履歴はすべて消去されます。

❖ブラウザ画面の便利な操作

サイトやホームページ表示中に次の便利な操作ができます。

iMenu：MENU［サブメニュー］▶4[※1]または51[※2]
フルブラウザホーム：MENU［サブメニュー］▶51[※1]または41[※2]
再読み込み：MENU［サブメニュー］▶7
URL表示：MENU［サブメニュー］▶83
- 📷を押すとURLをコピーできます。

ガイド表示：MENU［サブメニュー］▶95[※1]または97[※2]▶1または2
本体を傾けた表示：MENU［サブメニュー］▶96[※1]または98[※2]▶1〜3
ビジュアル履歴：MENU［サブメニュー］▶01
レイアウト表示：MENU［サブメニュー］▶02
メール作成：MENU［サブメニュー］▶03[※1]または04[※2]
- URLがメール本文に貼り付けられます。

電話帳登録：電話番号やメールアドレスにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶04[※1]または05[※2]▶1または2▶「はい」
- 追加／上書するときは登録する電話帳を選択します。

ページ移動、フレーム表示へ戻る：MENU［サブメニュー］▶✱▶1〜5
ドラッグ：ポインタ表示中に●（1秒以上）
- ✥で操作します。解除するにはCLRを押します。

※1　iモードの場合
※2　フルブラウザの場合

❖タブ操作

サイト／ホームページを最大5つのタブに表示できます。

1 サイトまたはホームページを表示

2 目的の操作を行う

Bookmarkなどを新しいタブで開く：MENU［サブメニュー］▶61▶項目を選択
- 他にタブを開いていない場合は📷でも新しいタブを開けます。
- 閲覧中のブラウザと異なるブラウザ種別で新しいタブを表示しようとすると、タブは表示されず表示中のページが切り替わります。

タブを閉じる：MENU［サブメニュー］▶62▶タブを選択▶「はい」
- 「裏タブを全て閉じる」を選択すると、閲覧中のタブ以外のタブは全て閉じます。

タブの切り替え：MENU［サブメニュー］▶63▶タブを選択
- 複数のタブを表示中に閲覧中のタブのブラウザ種別を切り替えると他のタブは表示されなくなります。

次のタブを表示（2つ以上タブを開いている場合）：📷［タブ切替］
- 最後のタブを表示している場合は先頭のタブを表示します。

❖ポインタの表示／非表示

サイトやホームページ表示中にポインタの表示／非表示を切り替えられます。

1 サイトやホームページを表示

2 MENU［サブメニュー］▶#4▶1または2

- ポインタ表示中は操作によって次のように表示されます。
  ↖：ポインタ表示中　☝：リンク選択
  I：テキスト範囲選択　✋／✊：ドラッグ開始待ち／ドラッグ中

❖フレーム対応ページの拡大表示

フレームを含むホームページに接続したとき、個別のフレームを拡大表示して操作できます。

1 フレームサムネイル画面で✥▶フレームを選択

ディスプレイに🔍が表示されます。
- フレーム拡大表示中はCLRでフレームサムネイル画面に戻ります。

❖サイト内の文字列コピー／貼り付け

選択した範囲の文字を一時的にコピーしたり、クイック検索やGPS対応ｉアプリで検索したりします。
- 全角2048（半角4096）文字までコピーできます。
- 文字を選択できないサイトやホームページもあります。

1 サイトやホームページを表示

2 MENU［サブメニュー］▶ ✂ 6

3 開始位置を選択▶終了位置を選択▶項目を選択

- クイック検索→P310
- GPS対応ｉアプリ起動→P259
- 辞書→P326
- 文字列を貼り付ける場合は、サイトやホームページ表示中に文字を貼り付ける位置を選択し MENU 3 を押します。

❖サイト内の文字列検索

表示中のサイトやホームページ内の文字列を検索します。
- ホームページによってはページ内検索ができない場合があります。

1 サイトやホームページを表示中に MENU［サブメニュー］▶ ✂ 8

2 検索文字列を入力（512文字以内）

- 前後候補への移動は MENU ／ 📷、検索を終了するには CLR を押します。

❖文字コード変換

サイトやホームページの文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更すると正しく表示される場合があります。
- サイトやホームページを表示した時点ではSJIS（日本語（SHIFT_JIS））に設定されています。

1 サイトやホームページを表示中に MENU［サブメニュー］▶ 9 ▶［文字コード変換］

2 文字コード変換の操作を行う

- 押すたびに、SJIS→EUC→JIS→UTF8の順に切り替わります。

◆Flash画像の表示

FOMA端末ではFlash画像を表示できます。Flash画像によって、サイトの表現力がより豊かになります。
- Flash®Videoとは、Adobe Flash Playerで再生できる映像です。次の2種類が再生可能です。

種　類	説　明
プログレッシブ型再生	Flash画像とは別に作成されたビデオデータを配信サーバーからダウンロードしながら再生するタイプ
埋め込み型再生	Flash画像の中に要素の1つとしてビデオデータを埋め込むタイプ

- サイトやホームページによっては再生できないことがあります。
- プログレッシブ型のFlash®Videoは1件あたり最大10Mバイト表示できます。大容量データを受信する可能性があります。データが大きい場合はパケット通信料が高額になりますのでご注意ください。
- Flash®Videoは保存できません。
- ストリーミング型再生はできません。
- プログレッシブ型再生は画像や画面メモの保存ができません。
- Flash®Videoの再生仕様は次のとおりです。

	FLV	F4V
コーデック	ビデオ：Sorenson Spark／On2VP6 オーディオ：MP3	ビデオ：H.264 オーディオ：AAC
最大ビットレート※	ビデオ：400Kbps オーディオ：96Kbps	ビデオとオーディオを合わせたビットレート：700kbps
ビデオサイズ	QVGA（横320×縦240）	VGA（横640×縦480）
最大フレームレート	15fps	15fps

※ FOMAハイスピードエリアでの最大値であり、実際の転送量を保証するものではありません。

- 本機種はAdobe Flashテクノロジーを採用しています。
- Flash画像によっては、本機種で正しく動作しない場合があります。
- Flash画像は、ｉモードブラウザ設定やフルブラウザ設定にある画像表示設定が「表示しない」の場合、表示されません。
- Flash画像は5分以上操作をしないと再生は停止します。
- Flash画像が表示されているときは、サイトやホームページの操作や動作が通常と異なる場合があります。
- Flash画像によっては、効果音が鳴る場合があります。効果音を鳴らさない場合はｉモードブラウザ設定やフルブラウザ設定にあるサウンド設定を「Silent」や「消音」に設定してください。なお、待受画面や着信画面に設定した場合はFlash画像の効果音は鳴りません。
- Flash画像によっては、バイブレータ設定が「OFF」の場合でもFOMA端末を振動させることがありますのでご注意ください。
- Flash画像によっては、端末情報を利用する場合があります。端末情報の利用はｉモードブラウザ設定にある端末情報利用設定で設定できます。
- Flash画像が正しく動作していない場合や再生中にエラーが発生した場合は、Flash画像を正しく保存できないことがあります。
- Flash画像をデータBOX、画面メモ、microSDカードなどに保存して再生した場合、保存箇所により見えかたが異なることがあります。
- Flash画像を含むページを画面メモに保存する場合、自動取得型では追加されたデータも保存されますが、手動取得型では保存されません。
- Flash画像は、フルブラウザでは保存できません。
- Flash画像は、FOMA端末の利用スタイルの変更によりリトライされるので、コンテンツによっては入力した文字などが消える場合があります。
- Flashコンテンツ表示中にファイル参照先選択画面が表示された場合は、参照先を選択▶ファイルを選択します。

ログイン情報

サイトやホームページ表示中にIDやパスワードを要求された場合、あらかじめログイン情報（IDやパスワード）を登録しておくと、文字入力欄に貼り付けることができます。

◆ ログイン情報登録

ログイン情報（IDやパスワードなど）を登録します。
- 最大20件登録できます。

1 **MENU 2 9 3 6 ▶認証操作**

2 **未登録にカーソル▶● ［編集］**

削除：ログイン情報にカーソル▶📷［削除］▶1または2▶「はい」
- １件削除ではカーソルを合わせたログイン情報が削除されます。

確認：ログイン情報にカーソル▶MENU［確認］

3 **各項目を設定▶MENU［登録］**

タイトル：全角12（半角24）文字以内で入力します。
項目1／項目2：全角64（半角128）文字以内で入力します。

✔お知らせ
- サイト／ホームページ表示中の操作：MENU 0 6 1（ｉモードの場合）／MENU 0 7 1（フルブラウザの場合）
- IDやパスワードは他人にわかりやすい番号、文字や記号を避けるようにしてください。また、IDやパスワードは他人に知られないよう十分にご注意ください。

◆ ログイン情報貼付

登録したログイン情報を文字入力欄に貼り付けます。
- サイトやホームページによっては貼り付けられない場合もあります。

1 **サイトやホームページを表示**

2 **MENU［サブメニュー］▶0▶［ログイン情報］▶2**

3 **認証操作▶ログイン情報を選択**

サイト閲覧履歴

以前閲覧したサイトやホームページの履歴を利用して再接続します。
- 最大50件記録されます。超過すると古いものから順に上書きされます。

1 MENU 2 4

2 **履歴を選択**

- マークの意味は次のとおりです。
  ：iモードの履歴　：フルブラウザの履歴

URL表示：**履歴にカーソル▶MENU［サブメニュー］▶1**
- 📷を押すとURLをコピーできます。

削除：**履歴にカーソル▶MENU［サブメニュー］▶2▶1〜3▶「はい」**
- 1件削除ではカーソルを合わせた履歴が削除されます。
- 選択削除では選択操作▶📷が、全件削除では認証操作が必要です。

メール作成：**履歴にカーソル▶MENU［サブメニュー］▶4**

✔お知らせ
- サイトやホームページ表示中の操作：MENU 3
- サイトやホームページ表示中に接続すると、履歴登録時のブラウザ種別で接続されます。
- 履歴によっては表示できない場合や、異なるページを表示する場合があります。

URL入力

アドレス（URL）を入力して、サイトやホームページを表示します。

1 MENU 2 5 1

2 **URLを入力（半角2033文字以内）**
- 2回目からはURL入力履歴の最上段のURLが表示されます。

3 **ブラウザ種別を選択**

✔お知らせ
- サイトやホームページ表示中の操作：MENU 8 1

◆URL入力履歴

サイトやホームページのURL入力履歴を利用して接続します。
- 最大50件記録されます。超過すると古いものから順に上書きされます。

1 MENU 2 5 2

2 **URLを選択**
- マークの意味は次のとおりです。
  ：iモードのURL　：フルブラウザのURL
- URLを選択後に接続するブラウザを選択する画面が表示されます。ブラウザ種別を変更すると、履歴と異なるブラウザ種別で接続できます。

URL表示：**URLにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶1**
- 📷を押すとURLをコピーできます。

削除：**URLにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶2▶1〜3▶「はい」**
- 1件削除ではカーソルを合わせたURLが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶📷が、全件削除では認証操作が必要です。

メール作成：**URLにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶4**

✔お知らせ
- サイトやホームページ表示中の操作：MENU 8 2

Bookmark

よく見るサイトやホームページをBookmarkに登録しておくと、すばやく表示できます。

- お買い上げ時は、「dマーケット」が「Bookmark」フォルダに登録されています。

◆ Bookmarkに登録

サイトやホームページをBookmarkに登録します。

- Bookmarkに登録できるURLはｉモードが256文字以内、フルブラウザが512文字以内です。タイトルは全角12（半角24）文字以内です。
- ｉモード／フルブラウザのBookmarkは同じ保存領域に登録されます。ただし、登録できないページもあります。

1 **サイトやホームページを表示**

2 **MENU［サブメニュー］▶1 2▶「OK」▶登録先フォルダを選択**

◆ Bookmarkからのサイト表示

Bookmarkからサイトやホームページを表示します。

1 **MENU 2 2▶フォルダを選択**

- マークの意味は次のとおりです。
  ／(水色)：お買い上げ時に登録されているフォルダ
  ／(紺色)：作成したフォルダ
  ／(紺色)：作成したフォルダ（シークレット属性ON）
- Bookmarkを全件削除するには、フォルダ一覧でMENU 2 2▶認証操作▶「はい」を押します。

2 **Bookmarkを選択**

- マークの意味は次のとおりです。
  ／：ｉモードのBookmark
  FB／：フルブラウザのBookmark

編集：Bookmarkにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶1▶タイトル名を入力（全角12（半角24）文字以内）▶「OK」

URL表示：Bookmarkにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶2

- 📷を押すとURLをコピーできます。

削除：Bookmarkにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶4▶1～3

- 1件削除ではカーソルを合わせたBookmarkが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶📷が、全件削除では認証操作が必要です。
- ツータッチサイト登録されているBookmarkを削除すると、ツータッチサイト登録も解除されます。

メール添付：Bookmarkにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶5

表示切替：MENU［サブメニュー］▶8

電話帳登録：MENU［サブメニュー］▶0▶1または2

- 追加／上書するときは登録する電話帳を選択します。

✔お知らせ

- サイトやホームページ表示中からの操作：MENU 1 1
- フォルダ一覧でMENU 6、Bookmark一覧でMENU 8を押すたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります。サムネイル表示中、画像の代わりにアイコンが表示される場合があります。
- ケータイデータお預かりサービスを利用してBookmarkを保存できます。→P121

◆ Bookmarkフォルダの管理

Bookmarkのフォルダを作成／削除したり、設定を変更したりします。
- 最大20個作成できます。ただし、お買い上げ時に登録されているフォルダは削除やシークレット属性の設定、フォルダ並べ替えはできません。

1 MENU 2 2

2 目的の操作を行う

フォルダ新規作成：MENU［サブメニュー］▶1 1
フォルダ設定：フォルダにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶1 2
フォルダ並べ替え：フォルダにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶1 3▶並べ替え先を選択
削除：フォルダにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶2 1▶認証操作▶「はい」
- カーソルを合わせたフォルダが削除されます。

表示切替：MENU［サブメニュー］▶6

3 各項目を設定▶📷［登録］

フォルダ名：全角9（半角18）文字以内で入力します。
シークレット属性：プライバシーモード中（Bookmarkが「指定フォルダを非表示」のとき）にフォルダを表示させるかを設定します。

✔お知らせ
- ツータッチサイト登録したBookmarkがあるフォルダのシークレット属性を「ON」にすると、ツータッチサイト解除確認画面が表示されます。

◆ Bookmarkの移動

保存されているBookmarkを別のフォルダに移動します。

1 MENU 2 2▶フォルダを選択

2 Bookmarkにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶3▶1～3
- 選択移動では選択操作▶📷が必要です。

3 移動先のフォルダを選択

◆ ツータッチサイト

Bookmarkをツータッチサイト登録すると待受画面からすばやく表示できます。

❖ツータッチサイトに登録

ツータッチで表示するサイトやホームページのBookmarkを登録します。
- 1つのダイヤルキーにつき1件、最大10件登録できます。ただし、シークレット属性が「ON」のフォルダ内のBookmarkは登録できません。

1 MENU 2 8

2 目的の操作を行う

登録：未登録にカーソル▶●［登録］▶フォルダを選択▶Bookmarkを選択
- フルブラウザのBookmarkを選択したときは、接続時に使用するブラウザ種別を選択します。
- マークの番号（0～9）は、ツータッチサイト表示に使用するダイヤルキー（0～9）に対応しています。

サイトやホームページの表示：Bookmarkを選択
解除：Bookmarkにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶1▶「はい」
URL表示：Bookmarkにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶2
URLコピー：Bookmarkにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶3
- マークの意味は次のとおりです。
  - ：ｉモードのツータッチサイト
  - ：フルブラウザのツータッチサイト

❖ツータッチでのサイト表示

待受画面から少ないキー操作でサイトやホームページを表示します。

1 0～9▶iα［i／α］

画面メモ

表示中のサイトやホームページの内容を、画面メモやキャプチャとして保存できます。

◆画面メモの保存

サイトやホームページを画面メモに保存します。

- 1件につき、iモードは最大500Kバイト、フルブラウザは最大3Mバイトまで保存できます。ただし、サイトやホームページ側が画面メモ保存不可の指定をしている場合などは保存できないことがあります。

1 サイトやホームページ表示中にMENU［サブメニュー］▶2 2▶1または2

2 「はい」

キャプチャのみ保存：「表示のみ保存」

◆画面メモの表示

保存した画面メモを表示します。

1 MENU 2 3▶1または2

- マークの意味は次のとおりです。
  i：iモードの画面メモ　FB：フルブラウザの画面メモ
  🔒：保護されている画面メモ

2 画面メモを選択

- 画面メモにあるリンク先を選択した場合、画面メモ保存時のブラウザ種別で接続します。

タイトル編集：画面メモにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶1▶タイトル名を入力（全角12（半角24）文字以内）

URL表示：画面メモにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶2

- 📷を押すとURLをコピーできます。

削除：画面メモにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶3▶1～3▶「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせた画面メモが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶📷が、全件削除では認証操作が必要です。

保護／保護解除：画面メモにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶4▶1～4▶「はい」

- 選択保護／解除では選択操作▶📷が必要です。

✔お知らせ

- サイトやホームページ表示中の操作：MENU 2 1
- microSDカードに画面メモを保存した場合、タイトルが正しく表示されないことがあります。

RSSリーダー

フルブラウザでは、ニュースサイトやブログなどが提供するRSSをRSSリーダーに登録しておくと、RSSを更新するだけで登録したホームページの最新情報を取得できます。

◆RSS登録

ホームページのRSSをRSSリーダーに登録します。

- 最大20件登録できます。1件につき100アイテム、最大1000アイテム（2Mバイト）保存／保護できます。
- 2Mバイトを超えるRSSは登録できません。また、ホームページによっては登録できないことがあります。

1 ホームページ表示中にMENU［サブメニュー］▶0 3 2▶RSSを選択▶「はい」

◆RSS情報を表示

登録したRSSの情報を表示します。

1 MENU 2 7

- マークの意味は次のとおりです。
  NEW：新着アイテムあり　RSS：未読アイテムあり

2 **チャンネルを選択**

- マークの意味は次のとおりです。
  RSS：未読　🔒：保護されているアイテム

更新：チャンネルにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶1▶1～3▶「はい」

- 選択更新では選択操作▶📷が必要です。

タイトル編集：チャンネルにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶2▶タイトル名を入力（全角12（半角24）文字以内）▶「OK」

削除：チャンネルにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶3▶1～3▶「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせたチャンネルが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶📷が、全件削除では認証操作が必要です。

情報表示：チャンネルにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶4

3 **アイテムを選択**

- 概要画面ではMENU 1▶1～6で文字サイズを変更できます。

削除：アイテムにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶1▶1～4▶「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせたアイテムが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶📷が、既読全削除または全件削除では認証操作が必要です。

保護設定：アイテムにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶2▶1または2

すべて既読：MENU［サブメニュー］▶3▶「はい」

✔お知らせ

- ホームページ表示中の操作：MENU 0 3 1

データのダウンロード

サイトやホームページからデータ（ファイル）をダウンロードしてFOMA端末に保存します。

- ｉモードでダウンロード可能なデータ（ファイル）と最大サイズは次のとおりです。
  - 画像（GIF、JPEG、MPO、PNG、BMP、SWF）：500Kバイト
  - メロディ（SMF、MFi）、キャラ電、トルカ（詳細）、デコメアニメ®テンプレート：100Kバイト
  - PDFデータ、きせかえツール、Word・Excel・PowerPointファイル：2Mバイト
  - 辞書：20Kバイト
  - トルカ：1Kバイト
  - スケジュールのメモ、ｉスケジュール：1Mバイト
  - 漢字／英数字用フォント：6Mバイト
  - ひらがな／カタカナ用フォント、デコメール®テンプレート：200Kバイト
  - マチキャラ：5Mバイト
  - コンテンツパッケージ：60Mバイト
  - MyFACE：600Kバイト
- デコメール®テンプレートは、本文が10000バイト以下、挿入画像の合計が90Kバイト以下の場合に保存できます。
- MyFACEはメタファイルが100Kバイト以下、インデックスとインクルージョンファイルの合計が500Kバイト以下の場合に保存できます。
- フルブラウザでダウンロード可能なデータ（ファイル）と最大サイズは次のとおりです。
  - 画像（JPEG、MPO、PNG、BMP）：3Mバイト
  - 画像（GIF）、PDFデータ、Word・Excel・PowerPointファイル：2Mバイト
- データ（ファイル）によってはmicroSDカードに保存できます。
- データ（ファイル）によっては正しく保存、表示、再生や設定ができない場合があります。
- 最大保存件数／領域を超えたとき（データBOX内のデータ）→P299
  データBOX内のデータ（ファイル）以外を保存する場合は、FOMA端末やmicroSDカードのデータ（ファイル）を削除してください。

◆画像のダウンロード

JPEG／GIF／MPO／PNG／BMP形式の画像、GIFアニメーションやFlash画像を保存できます。ただし、フルブラウザではFlash画像は保存できません。

1 サイトやホームページを表示

2 MENU［サブメニュー］▶0▶［画像保存］▶1～6

- 画像を保存するかの確認画面が表示された場合は「はい」を選択します。
- 画像1件保存と背景画像1件保存では画像選択が、画像複数保存と背景画像複数保存では選択操作▶📷が必要です。
- 画像一括保存では保存可能な画像が一括で保存されます。

3 保存先のフォルダにカーソル▶📷［確定］

- PNG／BMP／MPO形式の画像はmicroSDカードの「その他」フォルダに保存されます。
- 画像サイズが20×20の再配布可能なJPEG／GIF形式の画像は「デコメ絵文字」配下のフォルダに保存されます。
- 表示画面に設定するかの確認画面が表示されたときは、「はい」を選択して1～5を押すと待受画面などに設定できます。→P272

◆各データのダウンロード

画像以外の保存可能なデータを保存します。

- ｉスケジュールをダウンロードするにはｉコンシェルのご契約が必要です。

1 サイトやホームページを表示▶ダウンロードするデータを選択

- ダウンロード中に●やCLRを押すとダウンロードを中止します。

2 「保存」または「はい」

MyFACEの保存：追加位置を選択▶「はい」または「いいえ」

- MyFACE利用設定が「利用しない」の場合は、MyFACE利用設定画面が表示されます。
- 既に12個保存されている場合は削除するMyFACEを選択▶「はい」の操作が必要です。

PDFデータの保存：MENU［サブメニュー］▶6▶「はい」

- コンテンツによっては保存先フォルダにカーソル▶📷や保存先の選択、コンテンツの設定操作などが必要になります。
- データの種別によっては、「表示」「再生」「プレビュー」などを選択してデータを確認できます。
- メールテンプレート保存後は「メール作成」からメールを作成できます。
- 保存を中止する場合はCLRを押します。
- コンテンツパッケージでは、複数種類のデータがまとめてダウンロードされます。コンテンツパッケージは「コンテンツパッケージ」フォルダに、コンテンツパッケージ内のデータはそれぞれに対応した保存先に保存されます。コンテンツパッケージ内のデータは、保存したコンテンツパッケージから表示することができます。→P283

✔お知らせ

- ダウンロード再開の確認画面が表示された場合に「いいえ」を選択すると、部分保存できるデータのときは部分保存の確認画面が表示され、コンテンツパッケージのときはダウンロードを中止します。部分保存したデータは、各保存先から残りをダウンロードできます。コンテンツパッケージでダウンロードできなかったデータは、コンテンツパッケージを再ダウンロードするか、保存したコンテンツパッケージからダウンロードできなかったデータを選択してダウンロードできます。
- ｉスケジュールの保存を中止した場合は、一部保存される場合があります。再ダウンロードする際は、一部保存されたｉスケジュールを削除してください。
- ｉモードしおりやマークの合計サイズが100Kバイトより大きいPDFデータやサイズの不明なPDFデータ、本FOMA端末に対応していないPDFデータはダウンロードできません。
- 同じPDFデータをもう一度ダウンロードした場合、ｉモードしおりやマークの内容が異なるときは、異なるｉモードしおりやマークが追加で保存されます。ただし、ｉモードしおりやマークの合計がそれぞれ10件を超えると、最大登録件数の超過を示す画面が表示されます。画面の指示に従って登録可能件数になるまでｉモードしおりやマークを削除してください。

データのアップロード

画像や動画／iモーションをサイトやホームページにアップロードします。

- JPEG／GIF形式の画像、MP4形式の動画／iモーションを最大2Mバイトアップロードできます。

1 サイトやホームページを表示▶「参照」▶ファイル種別を選択▶ファイルを選択

✔**お知らせ**

- アップロードの操作方法やアップロードできるファイルは、サイトやホームページによって異なります。
- FOMA端末外への出力が禁止されている画像、動画／iモーションはアップロードできません。

ブラウザの便利な機能

電話発信（Phone To（AV Phone To））、メール作成（Mail To）、SMS作成（SMS To）、サイトやホームページ表示（Web To）、ワンセグ視聴や視聴／録画予約（Media To）、iアプリ起動（iアプリTo）、位置情報貼り付けなどの機能を利用できます。

- サイトやホームページ、パソコンなどから送信されたメールによっては利用できない機能があります。

◆ リンク機能の利用

リンク項目を利用して、電話発信やメール送信などを行います。

1 サイトやホームページを表示▶リンク項目（電話番号、メールアドレス、URL、ワンセグ視聴情報、iアプリの情報）にカーソルを合わせる▶●［決定］

- カーソルを合わせられる情報のみ選択できます。
- メール作成では、選択したメールアドレスが宛先になります。
- SMS作成では、発信方法欄を選択▶3▶✉［発信］▶「はい」で作成画面が表示されます。

✔**お知らせ**

- 複数のメールアドレスが続けて表示されている場合、正しくMail To機能を利用できないことがあります。
- iアプリ Toで起動するiアプリがFOMA端末に保存されていない場合は、起動できません。ただし、iアプリによっては、サイトからダウンロード後、保存されていなくてもすぐに起動するものがあります。
- iアプリ Toで起動しないように設定している場合は起動できません。→P235

◆ 位置情報の利用

位置情報を利用して、地図表示や位置情報のメール貼り付けを行います。

- 位置情報送信用のリンク項目を選択して位置情報を送信することもできます。→P259「■位置情報貼り付け／付加／送信メニュー」

1 サイトやホームページを表示▶位置情報を選択

2 目的の操作を行う

地図選択で設定したGPS対応iアプリの起動：「地図を見る」
GPS対応iアプリの起動：「対応iアプリ」▶iアプリを選択
GPS対応iアプリを利用する→P259
位置情報をメールに貼り付け：「メール貼り付け」▶「はい」

ｉモード／web設定

ブラウザごとに項目を設定する「ｉモードブラウザ設定」／「フルブラウザ設定」と、各ブラウザ共通の項目を設定する「共通設定」があります。

❖各ブラウザの設定

ブラウザごとに画像表示や音などを設定します。
- 動画自動再生設定→P179

1 ブラウザ設定の操作を行う

ｉモード：MENU 2 9 1
フルブラウザ：MENU 2 9 2

2 各項目を設定

画像表示設定：JPEG／GIF／MPO／PNG／BMP形式の画像、GIFアニメーションやFlash画像の表示／非表示を設定します。
- 本設定（ｉモードブラウザ設定のみ）はワンセグの画像表示設定にも反映されます。

サウンド設定：表示中の音量を設定します。
ページ内データ取得設定：Flash®Videoやムービーなどのデータを自動取得するかどうかを設定します。
- 「毎回確認」にすると、通信要求があるたびに確認画面が表示されます。

Script動作設定：JavaScriptが含まれるページの動作を設定します。
- JavaScriptとは、ブラウザ上で動作する簡易なプログラミング言語です。お客様の操作に合わせて、サイトやホームページの表示を動的に変更するなどダイナミックな表現を行うことができます。例えば、ホームページ全体を再読み込みすることなく、お客様の操作に応じて地図部分のみをスクロールさせて表示するようなことができるのはJavaScriptによるものです。
- JavaScriptを有効化することによって、お客様がサイトやホームページで入力した情報や訪問履歴などが第三者に知られる可能性もありますので、十分ご注意ください。

端末情報利用設定：Flash画像を表示するときにFOMA端末の端末情報を利用するかを設定します。
- 「利用する」にすると日付時刻情報、受信レベル、電池残量、言語情報、機種情報、再生音量がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得される可能性があります。

文字サイズ設定：文字サイズを設定します。
- 文字サイズ設定のｉモード／フルブラウザにも反映されます。

ズーム※：ホームページを表示したときの画面倍率を設定します。
Cookie設定：Cookieの設定を行います。
- Cookieとはホームページを表示した日時や回数など、ホームページが指定した情報をFOMA端末に保存しておく機能です。ホームページやコンテンツサービスによっては、Cookieを有効にしないと、正常に表示したり利用したりできない場合があります。
- Cookieを有効にすると、ホームページを表示した日時や回数などの情報が送信されます。これにより、お客様の情報が第三者に知得されても、当社としては責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

Cookie削除：Cookieの削除を行います。
Referer設定：Refererを送信するかを設定します。
- Refererとは、リンクを選択して別のホームページに移動する場合の、元のホームページのURL情報です。Refererを送信することにより、お客様の情報が第三者に知得されても、当社としては責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

タブ自動起動設定：新しいタブを自動的に開くかを設定します。
ポインタ表示設定：ポインタの表示／非表示を設定します。
フルブラウザホーム設定※：ホームにするホームページを設定します。
表示モード設定※：パソコン用の画面サイズで表示する（PCレイアウトモード）か、FOMA端末のディスプレイの横幅に合わせて表示する（ケータイモード）かを設定します。
フルブラウザ確認表示※：フルブラウザで接続する場合、接続の確認画面を表示するかを設定します。
フルブラウザ利用設定※：フルブラウザを利用するかを設定します。
ショートカット※：ショートカットキーを設定します。
- ショートカット一覧で i▶「はい」を押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。→P397

自動通信サイズ設定※：ページ最大サイズを超える通信を許可するかを設定します。
- 「制限あり」にするとFlash画像が正しく表示されない場合があります。

接続切替画面設定※：Wi-Fi接続時、FOMA／Wi-Fi接続の切替のときに確認画面を表示するかを設定します。
※ フルブラウザ設定の場合

✔お知らせ
- サイトやホームページ表示中にMENUから設定できる項目もあります。

❖ブラウザの共通設定

ブラウザ共通でｉモードボタンや明るさ調整などを設定します。
- 証明書の表示や設定→P174
- 端末暗証番号入力省略設定→P175
- 接続先設定→P173

1 MENU 2 9 3

2 各項目を設定

ｉモードボタン設定：待受画面でiαを押したときに、ｉMenuに接続するか、ｉモードメニュー画面を表示するか設定します。
- 海外では設定に関わらずｉモードメニュー画面が表示されます。

ログイン情報登録：サイトやホームページのログイン情報（IDやパスワードなど）を登録します。
ログイン情報登録→P164
自動レイアウト表示設定：ポインタ移動によるページスクロール中に自動的にレイアウト表示を行うかを設定します。
ポインタ移動距離設定：ポインタの移動距離を設定します。
ポインタ加速度設定：ポインタの速さを設定します。
Bookmark表示設定：Bookmarkの表示方法を設定します。
スクロール設定：スクロールの行数を設定します。
照明点灯時間設定：ディスプレイが明るく点灯している時間を設定します。
- 照明設定の照明点灯時間設定（ｉモード中）にも反映されます。

明るさ調整：ディスプレイの明るさを調整します。
- 照明設定の明るさ調整（ｉモード）にも反映されます。

新規タブ開き方設定：新しくタブを開いたときの動作を設定します。

✔お知らせ
- サイトやホームページ表示中にMENUから設定できる項目もあります。

◆ｉモード設定のリセット

設定をお買い上げ時の状態に戻します。→P397

1 MENU 2 9 5

2 認証操作▶「はい」

✔お知らせ
- ｉモード／web設定の設定状況を確認する：MENU 2 9 4

◆接続先設定

ｉモード端末の接続先を設定します。

通常は設定を変更する必要はありません。

ISP接続通信とは
ドコモのｉモード端末の接続先を切り替えることで、各種プロバイダ（ISP）への接続ができます。プロバイダに接続した際にパケット通信料がかかります。
- 通信中は接続先を設定、変更できません。

プロバイダ契約について
- ISP接続通信をご利用いただくには、別途プロバイダへのお申し込みが必要です。各プロバイダのサービス内容（サイト接続、インターネット接続、メール機能など）、お申し込み方法については各プロバイダにお問い合わせください。
- プロバイダが提供するサービス内容によっては、別途情報料などがかかる場合がありますが、ドコモからご請求することはありません。
- お客様が閲覧されるサイトによっては、お客様の電話番号がサイトを提供するプロバイダに通知される場合があります。
- 最大10件登録できます。

1 MENU 2 9 3 4

2 接続先にカーソル▶MENU［編集］

ｉモードを利用する設定に戻す：「ｉモード」▶📷［登録］
以前に設定した接続先に変更する：接続先を選択▶📷［登録］

3 認証操作▶各項目を設定▶[📷]［確定］

- [MENU]を押すと、既に入力した項目の内容を一括削除できます。

接続先名称入力：全角8（半角16）文字以内で入力します。
接続先番号入力：半角英数字99文字以内で入力します。
接続先アドレス入力／接続先アドレス2入力：半角英数字30文字以内で入力します。

- 接続先アドレス2はｉチャネルの接続先です。

4 編集した接続先を選択▶[📷]［登録］

✔お知らせ

- 接続先を変更すると、ｉチャネルの情報が初期化され、待受画面にｉチャネルのテロップは表示されなくなります。待受画面で[CLR]を押してｉチャネル一覧を表示すると、最新の情報を受信し、テロップも表示されます。
- 接続先を変更すると、Music&Videoチャネルの番組設定が初期化され、番組は自動で取得できなくなります。Music&Videoチャネル画面で「番組設定」を選択すると、設定の確認画面が表示され、「はい」を選択すると、番組設定情報を受信して番組を自動で取得できます。
- 接続先番号または接続先アドレスを変更すると、圏内自動送信の設定は解除されます。
- 2in1利用時に接続先を変更すると、各モードのテロップ表示設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

証明書の操作

SSL／TLS通信時に必要な証明書の操作を行います。

◆ 証明書設定

SSL／TLSページに接続するときに必要な証明書を設定します。

- SSL／TLSページに接続するには、次の証明書が必要です。

CA証明書：認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時の端末内に保存されています。
各社発行証明書（オリジナル証明書）：各企業・自治体などから発行される証明書で、ダウンロードすると端末内に保存されます。ダウンロードした証明書に対応しているサイトで利用できます。

1 [MENU][2][9][3]▶[1]または[2]

- マークの意味は次のとおりです。

：各社発行証明書　：チェーン切れの各社発行証明書
☑：有効に設定されている証明書

2 目的の操作を行う

証明書表示：証明書を選択

- 証明書の所有者、発行元、有効期限、証明書番号などが表示されます。
- 各社発行証明書の場合は、選択すると証明書一覧が表示されます。選択すると証明書が表示されます。

証明書の有効／無効：証明書にカーソル▶[📷]［有効／無効］
各社発行証明書の削除：証明書にカーソル▶[iα]［削除］▶「はい」▶認証操作

◆ 各社発行証明書のダウンロード

各社発行証明書をダウンロードします。
• 各社発行証明書は最大5件、合計500Kバイトまで保存できます。

1 サイトを表示▶証明書を選択▶「はい」

• ダウンロード中に[●]を押すとダウンロードを中止します。
• パスワードの入力を要求されたときは、パスワードの入力欄にパスワードを入力し、「OK」を選択します。
• ダウンロードした証明書は、「証明書設定」で確認できます。→P174

✔お知らせ

• 各社発行証明書は各企業・自治体などから発行されます。ダウンロードした証明書は、その証明書に対応しているサイトで利用できます。
• 各社発行証明書をダウンロードする際のパケット通信料は有料です。

◆ 端末暗証番号入力省略設定

各社発行証明書を利用するときは、端末暗証番号を入力することで認証を行います。認証が完了した各社発行証明書を再び利用するときに、端末暗証番号入力を省略するかを設定します。

1 [MENU][2][9][3][3][1]▶[1]または[2]

ｉモーション・ムービー／ｉチャネル／ｉコンシェル

ｉモーション・ムービー

ｉチャネル

ｉコンシェル

ｉモーション・ムービー

サイトやホームページからｉモーション・ムービーなど、映像や音を取得します。

❖ｉモーション

- 最大50MバイトのMP4（Mobile MP4）形式のｉモーションを再生・保存できます。ASF形式のｉモーションには対応していません。
- 再生できるｉモーションは次のとおりです。

種　類	再生動作
標準タイプ（保存可※）	ｉモーションのデータを取得しながら再生。取得完了後は、データを取得後に再生するｉモーションと同様に操作可能。
	ｉモーションのデータをすべて取得後に再生。
ストリーミングタイプ（保存不可）	ｉモーションのデータを取得しながら再生。再生終了後、ｉモーションのデータは消去。

※ 保存できないｉモーションもあります。

❖ムービー

- ｉモードでは最大10Mバイト、フルブラウザでは無制限にWindows Media Video（WMV）およびWindows Media Audio（WMA）を再生できます。ただし、保存はできません。
- ムービーのダウンロードには大容量のデータを受信する可能性があります。データ量の多い通信を行うとパケット通信料が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料および料金プランの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード編）』をご覧ください。
- サイトやホームページによっては動作環境（ブラウザ種別、OSなど）を確認することがあり、FOMA端末で再生できない場合があります。
- 再生できるムービーは次のとおりです。

種　類	配信方式	再生動作
ストリーミングタイプ（保存不可）	ライブ配信	リアルタイムに配信。一時停止／再生再開／再生位置の移動などはできません。
	オンデマンド配信	あらかじめ用意されたムービーを配信。

ファイル拡張子	Windows Mediaファイル メタファイル：wvx、wax、asx メディアデータ：wma、wmv、asf
コーデック	• Windows Media Video 9（Main Profileローレベル） • Windows Media Audio 2～9（Windows Media Audio Standardレベル3）
最大ビットレート※	ビデオ：20Mbps オーディオ：384kbps
最大フレームレート	60fps
最大画面サイズ	フルHD（横1920×縦1080）

※ FOMAハイスピードエリアでの最大値であり、実際の転送量を保証するものではありません。

ｉモーション・ムービーの取得

ｉモーションは再生・保存が、ムービーは再生ができます。

1 サイトやホームページ表示中にｉモーション・ムービーを選択

データ取得中またはダウンロード完了後に再生が開始されます。

ｉモーションを保存する場合は操作2に進みます。ムービーは再生が終了すると自動的にサイト画面に戻ります。

- 取得中に●を押すと、取得を中止します。
- 再生中の操作→P279「動画／ｉモーション再生中の操作」

2「保存」▶保存先のフォルダにカーソル▶[📷]［確定］

- 「再生」を選択すると先頭から再生されます。
- ストリーミングタイプのｉモーションは「戻る」を選択するとサイト画面に戻ります。

✔お知らせ

〈ｉモーション・ムービー共通〉

- 再生回数や再生期限などの再生制限が設定されている場合があります。
- データ取得中に再生期限、再生期間が過ぎた場合は再生および保存はできません。
- データが不正だった場合、取得が中止されることがあります。
- 情報表示では、ｉモーション・ムービーによって表示される項目が異なります。
- 再生中に電話着信やアラーム動作などがあった場合、再生が一時停止することがあります。
- 再生中にデータの受信待ちになり、再生が一時停止する場合があります。データを受信し始めると自動的に再生を再開します。
- 再生中に電波状況などにより再生ができなくなったり、画像が乱れたりする場合があります。このような場合でも、データを正常に受信していた場合は取得後に再生できます。ただし、取得したデータを正しく再生できない場合もあります。
- 最大保存件数／領域を超えたとき→P299

〈ｉモーション〉

- データの取得を中止した場合、ファイルサイズが500Kバイトより大きく50Mバイトまでの部分保存できるｉモーションの場合は、再開の確認画面が表示されます。「いいえ」を選択すると部分保存の確認画面が表示されます。部分保存するとｉモーション一覧から残りを取得できます。→P280「動画／ｉモーション再生中の操作」のお知らせ
- ｉモーションにテロップ（テキスト）が含まれていてもテロップ（テキスト）は再生できません。
- ｉアプリからｉモーションを利用して、保存する前に詳細情報（→P297）を表示したときに着信音設定および着信画面設定が「可」と表示されても、保存できない場合があります。その場合には、着信音および着信画像に設定できません。

〈ムービー〉

- ムービーによっては操作が異なる場合があります。
- ライセンスにより保護されたムービーを再生できます。ただし、ライセンスの設定によってFOMA端末で再生できないことがあります。
- ｉモードからの起動時は10Mバイトまで取得／再生し、再生後にサイズを超えた旨のメッセージが表示されます。
- 複数のムービーを含むサイトの場合、ｉモードでは先頭のみを、フルブラウザではすべてを連続して取得／再生します。

動画自動再生設定

サイトから標準タイプのｉモーションを取得中、または取得後に自動的に再生するかを設定します。

1 [MENU][2][9][1][3]▶[1]または[2]

✔お知らせ

- 「自動再生しない」に設定しても、取得完了画面で「再生」を選択すると再生できます。

ｉチャネル

ニュースや天気などの情報がｉチャネル対応端末に配信されるサービスです。自動的に受信した最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、[CLR]を押すことでチャネル一覧に表示されたりします（チャネル一覧の表示方法→P180）。
また、ｉチャネルにはドコモが提供する「ベーシックチャネル」とIP（情報サービス提供者）が提供する「おこのみチャネル」の2種類があります。「ベーシックチャネル」は、配信される情報の自動更新時にパケット通信料はかかりません。お好きなチャネルを登録して利用できる「おこのみチャネル」は、情報の自動更新時に別途パケット通信料がかかります。「ベーシックチャネル」「おこのみチャネル」ともに詳細情報を閲覧する場合は、別途パケット通信料がかかりますのでご注意ください。海外でご利用の場合は、自動更新・詳細情報の閲覧ともにパケット通信料がかかります。

- ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。
- ｉチャネルの詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード編）』をご覧ください。

ｉチャネルの表示

ｉチャネルを表示すると、テロップで流れている情報の詳細を見ることができます。

1 待受画面でCLR▶チャネルを選択

- ｉアプリ待受画面を設定しているときは、CLRを1秒以上押します。
サイトに接続され、詳細情報が表示されます。

✔お知らせ

- 情報受信中はが点滅します。
- 情報を受信しても、着信音、バイブレータ、ランプは動作しません。
- 次の場合は、待受画面でCLRを押してｉチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、テロップが表示されるようになります。
  - FOMA端末の電源が切れていたり、圏外などで情報を受信できなかったとき
  - 他のｉチャネル対応端末にドコモminiUIMカードを差し替えたとき
  - 接続先を変更したとき→P173
  - ｉチャネルを初期化したとき→P180
- ｉチャネルサービスまたはｉモードサービスを解約するとテロップは表示されなくなり、CLRを押すと未契約時の画面が表示されます。ただし、解約の手続きが完了するまではテロップが表示され、CLRを押すと最後に受信した情報がｉチャネル一覧に表示される場合があります。
- 使用状況によりｉチャネル一覧を表示したときに情報を受信する場合があります。
- 表示中の操作は「ブラウザ画面の見かたと操作」（→P161）をご覧ください。ただし、ｉチャネル一覧を表示中は、次のように一部操作が異なります。
  - 情報の再読み込み：MENU 1
  - サウンド設定：MENU 2
  - タブを新しく開く／閉じる／切り替え：MENU 3
  - ポインタ表示設定：MENU 4▶1または2
- コンテンツによってはポインタで操作できない場合があります。その場合は、ｉチャネル一覧でポインタ表示設定を「表示しない」にして操作してください。

テロップ表示設定

待受画面に表示されるｉチャネルのテロップを設定します。

1 MENU 2 6 2▶各項目を設定▶📷［登録］

✔お知らせ

- ｉチャネルサービス解約前にｉモードサービス解約を行った場合、「表示する」に設定されたままになっています。

ｉチャネル初期化

ｉチャネルの情報を初期化し、テロップ表示設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 MENU 2 6 3▶認証操作▶「はい」

✔お知らせ

- ｉチャネル初期化を行うと、待受画面のテロップは表示されなくなります。待受画面でCLRを押してｉチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、待受画面にテロップが表示されるようになります。

ｉコンシェル

ｉコンシェルとは、執事やコンシェルジュのように、お客様の生活をサポートするサービスです。お客様のさまざまなデータ（お住まいのエリア情報、メモ、スケジュール、トルカ、電話帳など）をお預かりし、メモやスケジュールの内容、生活エリアやお客様の居場所、趣味嗜好にあわせた情報を適切なタイミングでお届けします。FOMA端末に保存されたメモやスケジュール、ToDoに対して、関連する情報をお伝えしたり、スケジュールやトルカを自動で最新の情報に更新したり、電話帳にお店の営業時間などの役立つ情報を自動で追加したりもします。また、お預かりしているスケジュールや画像を友達や家族などのグループと共有することができます。お預かりしている画像は簡単にプリントすることもできます。ｉコンシェルの情報は、待受画面上でマチキャラ（待受画面上のキャラクタ）がお知らせします。

- ｉコンシェルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモードの契約が必要です）。
- ケータイデータお預かりサービス（→P121）のご契約をされていないお客様が、ｉコンシェルを新たにご契約になる場合、同時にケータイデータお預かりサービスにもご契約いただいたことになります。
- コンテンツ（インフォメーション、ｉスケジュールなど）によっては、ｉコンシェルの月額使用料のほかに、別途情報料がかかる場合があります。
- インフォメーションの受信には一部を除いて別途パケット通信料がかかります。
- 詳細情報のご利用には別途パケット通信料がかかります。
- ｉコンシェルを海外でご利用になるには、海外利用設定が必要となります。海外でご利用になる場合はMENU ✂→「設定」→「基本設定」→「プロフィール設定／海外利用設定」→「海外利用設定」の「変更する」を選択して設定を変更してください。なお、国際ローミングサービスご利用の際は、受信・詳細情報の閲覧ともにパケット通信料がかかります。また、海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。
- ｉスケジュール・メモ・トルカ・電話帳などの自動更新時には別途パケット通信料がかかります。
- ｉコンシェルの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード編）』をご覧ください。
- ｉスケジュールのダウンロード→P170
- ｉコンシェルの機能は予告なしに変更される場合があります。

ｉコンシェルの表示

受信したインフォメーションの詳細を表示したり、メモを作成したり、ｉコンシェルメニューから簡単にスケジュールや今日の予定、トルカを表示したりできます。

1 MENU ✂

2 目的の操作を行う

クイックメモ／フォトメモの作成：「クイックメモ」／「フォトメモ」を選択
- クイックメモやフォトメモを選択すると、ｉコンシェル画面から簡単にメモを作成できます。

メモ一覧表示：「メモ一覧」を選択
- メモの作成方法や一覧表示→P325

インフォメーションの詳細表示：「インフォメーション一覧」▶インフォメーションを選択

今日の予定を表示：「今日の予定」を選択

今日の予定通知設定：「今日の予定」▶📷［設定］▶各項目を設定▶📷［登録］
- 指定した時間になると、待受画面にポップアップメッセージが表示されます。ポップアップメッセージを選択すると、その日に予定しているメモ（スケジュール・ToDo）や天気情報、今日は何の日情報などを一覧で確認できます。
- 通知する曜日を「なし」にすると、今日の予定通知設定を解除できます。

スケジュールやトルカを表示：「スケジューラ」／「トルカ」を選択

ｉコンシェルでのオートGPS利用設定：「オートGPS」▶「オートGPS設定」▶「利用する」または「利用しない」

インフォメーション受信

FOMA端末が圏内にあるときには、自動的にインフォメーションが送られてきます。

- 受信したインフォメーションは最大50件保存できます。超過すると古いものから順に上書きされます。

1 インフォメーションを受信

ステータスエリアの[C]が点灯し、ランプが点灯または点滅し、ｉコンシェル着信音が鳴ってインフォメーションが表示されます。

- 複数のインフォメーションを受信した場合は、ステータスエリアの[C]が15秒間点滅します。

2 待受画面でポップアップメッセージを選択

- 一度に複数のインフォメーションを受信した場合は、最新の1件が待受画面に表示されます。
- インフォメーションによってｉコンシェル画面やリンク先のサイトが表示されたり、受信前の画面に戻ったりします。
- [CLR]または[終話]を押すと受信前の画面に戻ります。

3 インフォメーションを選択

- インフォメーションには、スケジュールのメモやｉスケジュール、トルカが添付されていたり、より詳細な情報や関連情報を見るためのサイトへのリンク項目があったりする場合があります。内容を確認するにはアイコンを選択します。

削除：インフォメーションにカーソル▶[カメラ]［削除］▶「はい」

- インフォメーションによっては削除できない場合があります。

✔お知らせ

- インフォメーション表示設定が「表示しない」の場合は、インフォメーションは表示されません。
- インフォメーションによっては、受信時にステータスエリアの[C]の点灯、ランプの点灯または点滅、ｉコンシェル着信音は鳴動しません。
- FOMA端末の操作中に受信した場合は、メールの受信・自動送信表示に従って動作します。「通知優先」の場合はインフォメーションを受信した旨のメッセージが表示されます。
- インフォメーション受信時は、ecoモードが一時的に解除されます。

インフォメーション表示設定

ｉコンシェルのインフォメーションを受信した際に、待受画面や背面ディスプレイに表示するかを設定します。

1 [MENU][8][1][2][7]▶[1]または[2]

カメラ

著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して撮影または録音したもの、およびサイトやインターネットホームページ上の著作物を権利者に無断で複製、改変、編集などする行為は、個人で楽しむなどの場合を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。撮影または録音などしたものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますのでご注意ください。

**カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。
お客様が本FOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。**

カメラをご使用になる前に

◆ 撮影前の注意事項

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが増えますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 暖かい場所や直射日光が当たる場所に長時間FOMA端末を放置したりすると、撮影する画像が劣化することがあります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- カメラは電池の消費が非常に早いため、カメラを長時間起動しておいたり、撮影後に保存せず長時間放置したりしないでください。
- F-01Eはプールの水の中で静止画／動画撮影ができますが、水中ではカメラの各機能が十分に発揮されない場合があります。なお、水中での撮影は、防水性能に関する記載をよく読んでから行ってください。→P17

◆ 撮影中の注意事項やカメラの特性について

- カメラ動作中の発熱によりFOMA端末内部の温度が高くなった場合、FOMA端末保護のため、最大撮影時間に達していなくても録画やカメラ機能を終了する場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってからカメラ機能をご利用ください。なお、本現象は異常な状態ではありません。
- カメラの起動直後や設定変更直後には、画像の色合いや明るさが最適になるまで時間がかかる場合があります。また、設定によっては撮影画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- 他の機能からカメラを起動したときやｉアプリが動作中のときは、利用できない機能や変更できない設定があります。
- 各種の音量設定やマナーモード、公共モードの設定に関わらず、シャッター音や手動オートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音は鳴ります。
- 撮影待機中にFOMA端末を閉じる、または約2分間キー操作をしないと、カメラは終了します。
- 電池残量が10%以下の場合は、カメラを起動できません。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画質が暗くなったり画像が乱れたりする場合があります。
- レンズの特性により、画像がゆがんで見える場合があります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面がちらついたり縞模様が現れたりするフリッカー現象が起きる場合があり、撮影のタイミングによっては画像の色合いが異なることがあります。撮影時の明るさを調整することで、ちらつきや縞模様を軽減できる場合があります。
- シャッター音が鳴ってから実際に撮影されるまでに、多少の時間差があります。画面が切り替わるまで、FOMA端末を動かさないでください。
- 速く動いている被写体を撮影すると、シャッター音が鳴ったときにディスプレイに表示されていた位置とは少しずれて撮影されることがあります。
- 動きの激しいものを動画撮影すると、映像が乱れる場合があります。
- 至近距離で撮影すると、撮影お知らせランプの光が撮影画像に映りこむことがあります。
- 撮影の際、レンズ部分を指などで覆わないでください。
- 持ちかたにより、ライトを手でふさぐ場合がありますので、ご注意ください。
- 手ぶれにご注意ください。FOMA端末は手ぶれ補正を行えますが、撮影環境や被写体によっては効果が薄くなる場合があります。FOMA端末が動かないようにしっかり持って撮影するか、FOMA端末を安定した場所に置き、セルフタイマー機能を利用して撮影することをおすすめします。
- 撮影中や撮影後に電池が切れそうになるとカメラを終了し、その時点までに撮影した画像を自動的に保存します。
- 撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。

◆ 撮影スタイル

FOMA端末を開いて撮影を行います。

◆ 静止画ファイル／動画ファイル

静止画ファイル

ファイル形式	JPEG（Exif2.2形式、PRINT Image Matching Ⅲ対応※、拡張子：jpg）

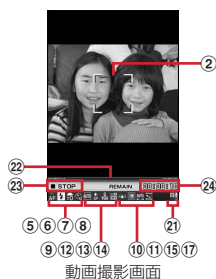
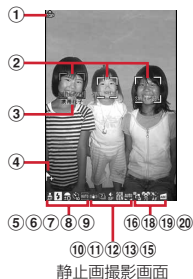
※ アートカメラが「モノクロ」「セピア」以外の場合は非対応です。

動画ファイル

画像サイズ	QCIF	QVGA	VGA	HD	フルHD
ファイル形式	MP4（拡張子：3gp）				
映像コーデック	MPEG4		H.264		
音声コーデック	AAC LC			AAC	

- タイトルには撮影した日時が自動的に付けられます。ただし動画ファイルでは、画像サイズが「HD（1280×720）」「フルHD（1920×1080）」の場合は日時の前に「HD_」、なめらかスローモーションで撮影した場合は「Slow_」、クイックモーションで撮影した場合は「Quick_」が付きます。

◆ 撮影画面の見かた

静止画撮影画面　動画撮影画面

① 自動縦横判定→P194
　：傾きに合わせて向きを変えます。
② フォーカス枠、顔検出枠→P189
③ 検出された人物の名前（サーチミーフォーカス）→P192
④ 自動位置情報付加→P194
　：位置情報取得済み　：位置情報未取得
⑤ AFモード→P192、オートフォーカス→P189
　：標準　：接写　：顔優先AF
　（緑）：フォーカスロック状態　（赤）：フォーカス調整中
⑥ 撮影用ライト→P190
　：ライトON
⑦ 明るさ調整→P190
　／／／／：＋2／＋1／0／－1／－2
⑧ セルフタイマー→P193
　／／：2秒／5秒／10秒
⑨ シーン別撮影→P195、ぼかし強調→P196、顔補正→P196
- 静止画撮影

　：自動シーン認識　：標準　：夜景　：風景　：人物
　：逆光　：スポーツ　：文字　：ホワイトボード　：高感度
　：ぼかし強調 弱　：ぼかし強調 強
　：顔補正設定中
- 動画撮影

　：オート　：風景　：逆光　：スポーツ
⑩ 手ぶれ補正→P193
　：手ぶれ補正ON
⑪ 連続撮影自動（撮影枚数）→P187、パノラマ撮影（撮影枚数）→P187、アートカメラ→P195、HDR→P196
- 静止画撮影

　～：撮影枚数（撮影待機時は最大撮影枚数、パノラマ撮影時は撮影中の枚数）
　：アートカメラ設定中
　：HDR 弱　：HDR 強
- 動画撮影

　：アートカメラ設定中
⑫ 画質→P191、共通再生モード→P194
　：ECONOMY　：NORMAL　：FINE　：SUPER FINE
　：共通再生ON

⑬ **画像サイズ→P191**
- 静止画撮影
13M: 3096×4128　9M: 2252×4000　5M: 1944×2592
3M: 1536×2048　FULL HD: 1080×1920　SCREEN: 480×854
VGA: 480×640　QVGA: 240×320　QCIF: 176×144
- 動画撮影
FULL HD: 1920×1080　HD: 1280×720　VGA: 640×480　QVGA: 320×240
QCIF: 176×144

⑭ **スナップムービー→P189、ファイルサイズ制限→P191**
: スナップムービー
: メール用（短）　: メール用（長）

⑮ **ホワイトバランス→P195**
AUTO: オート　: 太陽光　: くもり　: 蛍光灯　: 電球

⑯ **クイック撮影→P186、ベストショットセレクト→P187、パノラマ撮影→P187**
: クイック撮影　: ベストショットセレクト　PANO: パノラマ撮影

⑰ **スロー／クイックモーション→P196**
: なめらかスローモーション　: クイックモーション

⑱ **スマイルファインダー→P193**
70／50／30: 全員（笑顔度70%／50%／30%）
70／50／30: 1人（笑顔度70%／50%／30%）

⑲ **トラッキングフォーカス→P192**
AF: トラッキングフォーカスON

⑳ **歪み補正→P194**
ABC: 活字文書　: 手書き文書

㉑ **撮影種別（映像・音声切替）→P194**
: 映像＋音声　: 映像　: 音声

㉒ **ズーム→P190**
- 静止画撮影では、ズーム操作時に表示されます。

㉓ **録画／録音状態**

㉔ **残り撮影時間（目安）**

静止画撮影

静止画を撮影します。

◆ 通常撮影

通常の静止画を撮影します。

1 [カメラ]

撮影待機状態になり、撮影お知らせランプが点滅します。

2 **カメラを被写体に向ける**

撮影モードの切り替え： [MENU]［設定］▶[6]［撮影モード］▶項目を選択▶[MENU]［閉じる］

3 [●]［カメラ］または[シャッター]

シャッター音が鳴り撮影お知らせランプが点灯します。
- 自動保存モードが「ON」の場合は、静止画が保存されます。

✔お知らせ
- 逆光での撮影時などに自動的にコントラストを補正します。
- 画像サイズ、画質、保存先によっては、撮影した静止画の保存に時間がかかる場合があります。
- 撮影直後に、着信やアラームなどで画面が切り替わると、画像が破棄されることがあります。

◆ クイック撮影

静止画撮影時、撮影動作をしてから実際にシャッターが切られるまでの時間差が少なく、また撮影から保存までがすばやくできる撮影モードにします。設定すると、関連する各種設定が自動的に変更されます。

1 **静止画撮影画面で[MENU]［設定］▶[6]［撮影モード］▶[2]［クイック撮影］▶[MENU]［閉じる］▶カメラを被写体に向ける▶[●]［カメラ］または[シャッター]**

- 撮影後の確認画面は表示されません。

◆ ベストショットセレクト

静止画撮影時に、撮影動作を行う前後の静止画を約0.13秒間隔で7枚撮影します。撮影後、FOMA端末がベストショットを推薦します。

- 推薦されるベストショットは、笑顔度、目つぶり、ブレから判断されます。

1 静止画撮影画面でMENU［設定］▶6［撮影モード］▶3［ベストショットセレクト］▶MENU［閉じる］▶カメラを被写体に向ける▶●［📷］または📷

- 自動保存モードの設定に関わらず、撮影後の確認画面は表示されます。

2 目的の操作を行う

撮影された静止画のサムネイルが画面下部に表示され、カーソルのある静止画が大きく表示されます。

- ベストショットに選ばれた静止画には👑が表示されます。

全て保存：📷［全件保存］

1枚保存：静止画にカーソル▶●［保存］または📷

- 操作後、保存できる静止画がまだある場合は、確認画面に戻ります。

撮影し直す：CLR

メールに添付／挿入：静止画にカーソル▶✉［✉／投稿］▶1または2

ブログ／SNSに投稿：静止画にカーソル▶✉［✉／投稿］▶3▶投稿先にカーソル▶MENU［決定］

位置情報の貼り付け：静止画にカーソル▶MENU［サブメニュー］▶1▶位置情報貼り付けメニューから機能を選択

位置情報貼り付け／付加／送信メニュー→P259

✔お知らせ

- 撮影後のベストショットセレクト処理中画面表示中にテレビ電話を着信すると、撮影した静止画は破棄されます。

◆ 連続撮影自動

静止画撮影時に、最大7枚の静止画を約0.13秒間隔で連続して撮影します。

1 静止画撮影画面でMENU［設定］▶6［撮影モード］▶4［連続撮影自動］▶MENU［閉じる］▶カメラを被写体に向ける▶●［📷］または📷

- 自動保存モードが「ON」の場合は、最大撮影枚数撮影すると、撮影した静止画が全て保存されます。

◆ パノラマ撮影

静止画撮影時に、カメラの方向を左から右または上から下に少しずつずらして連続で撮影した2～8枚の静止画を合成し、1枚の静止画として保存します。撮影中は、結合部分側に1つ前の撮影画像の約5分の1が透過表示されます。透過部分を重ね合わせるようにして次の撮影を行います。

透過部分を重ねる

- 画像サイズは、「QVGA（240×320）」「VGA（480×640）」「待受（480×854）」から設定できます。
- パノラマ撮影の最大撮影枚数と合成後の最大サイズは次のとおりです。ただし、撮影条件によって合成されるサイズは異なります。

画像サイズ	枚数	合成後の最大画像サイズ
QVGA（240×320）	8	1584×320／2112×240
VGA（480×640）	4	1632×640／2176×480
待受（480×854）	3	1248×854／2220×480

1 静止画撮影画面でMENU［設定］▶6［撮影モード］▶5［パノラマ撮影］▶MENU［閉じる］

2 カメラを被写体に向ける

合成方向の切り替え：✉［横→縦／縦→横］

3 ●［📷］または📷

- 最大撮影枚数まで操作3を繰り返します。
- 自動保存モードが「ON」の場合は、最大撮影枚数撮影するか📷を押すと、静止画が合成されて保存されます。ただし、1枚だけ撮影したときは画像が破棄されます。

◆ 静止画撮影後の確認画面での操作

自動保存モードが「OFF」の場合は、次の操作ができます。

- 静止画に位置情報が付加されると、画面左上に🖼が表示されます。

■ 通常撮影

保存する：●［保存］または📷
撮影し直す：CLR
メールに添付／挿入：✉［✉／投稿］▶1または2
ブログ／SNSに投稿：✉［✉／投稿］▶3▶投稿先にカーソル▶MENU［決定］
高速赤外線（IrSS™）通信：iα［データ送信］▶1▶「そのまま送信」または「画像を縮小」
Bluetooth送信：iα［データ送信］▶2▶1または2
保存先の選択：MENU［サブメニュー］▶1▶1～3

- 「microSD」を選択したときは、フォルダにカーソルを合わせて📷を押します。

画像編集：MENU［サブメニュー］▶2

- 画像サイズが「待受（480×854）」より大きい場合は、操作できません。

待受画面に設定：MENU［サブメニュー］▶3 1▶「はい」

- 保存先選択が「microSD」の場合は操作できません。

電話帳の画像に登録：MENU［サブメニュー］▶3 2▶1または2▶「はい」

- 本体上書登録のときは、登録する電話帳を選択します。
- 画像サイズが「3M（1536×2048）」より大きい場合や保存先選択が「microSD」の場合は、操作できません。

位置情報の貼り付け：MENU［サブメニュー］▶4▶位置情報貼り付けメニューから機能を選択
位置情報貼り付け／付加／送信メニュー→P259

- GPS測位中は、操作できません。

全画面モードで表示：MENU［サブメニュー］▶5

■ 連続撮影自動

- 操作後、保存できる静止画がまだある場合は、確認画面に戻ります。

全て保存：MENU［サブメニュー］▶1
全て削除：MENU［サブメニュー］▶2
1枚保存：静止画を選択▶●［保存］

- 全画面表示が可能なときは、1枚表示時にMENUを押すと全画面表示されます。

1枚削除：静止画にカーソル▶CLR

- 他にも、「メール添付」「メール挿入」「✉／投稿」「位置情報貼付」の操作ができます。

■ パノラマ撮影

保存する：●［保存］または📷
撮影し直す：CLR

- 他にも、「メール添付」「メール挿入」「✉／投稿」「データ送信」「保存先選択」「画面設定」「全画面モード切替」の操作ができます。

動画撮影

音声付きの動画を撮影します。

1 [カメラキー]

撮影待機状態になり、撮影お知らせランプが点滅します。
- 映像・音声切替が「音声のみ」のときは、ランプが「アクア」でゆっくり点滅します。

2 カメラを被写体に向ける▶[●]［録画／録音］または[カメラキー]

シャッター音が鳴り、撮影／録音が始まります。
- 映像・音声切替が「音声のみ」のときは、ランプが「パプリカ」で点灯します。

3 [●]［停止］または[カメラキー]

シャッター音が鳴り、撮影／録音が停止し、保存メニューが表示されます。
- 制限サイズ（→P191）または制限時間のいずれかに達すると、撮影は自動的に停止します。
- 撮影時間が1秒以下の動画は保存できません。

4 [1]

動画が保存されます。

メールに添付：[2]
- 他にも、サブメニューから「[メール]／投稿」「再生」「取消」の操作ができます。

✔お知らせ
- 画像サイズが「フルHD（1920×1080）」のときに使用するmicroSDカードは、SDスピードクラスがClass 4以上のものを推奨します。
- イヤホンマイク（別売）などの接続状況に関わらず、マイクから録音されます。
- データによっては、設定しているサイズ制限の上限まで撮影や録音ができない場合があります。
- 撮影中にFOMA端末を閉じると、撮影が中断されて保存メニューが表示されます。
- 撮影中のボタン操作音が録音されることがあります。
- 撮影中にアラーム音が鳴った場合、アラーム音が録音されることがあります。

◆スナップムービー

動画撮影の撮影モードを変更し、最長10秒の短い動画を撮影します。
- 撮影終了5秒前になると、残り撮影時間が赤く表示されます。

1 動画撮影画面で[MENU]［設定］▶[6]［撮影モード］▶[2]［スナップムービー］▶[MENU]［閉じる］▶カメラを被写体に向ける▶[●]［録画］または[カメラキー]

10秒経過すると自動的に撮影が停止し、保存メニューが表示されます。
- 撮影中に[カメラ]を押すと、撮影時間が延長されます。ただし、撮影可能時間が10秒以下の場合は操作できません。

✔お知らせ
- 次の場合は、スナップムービーに切り替えられません。
  - ファイルサイズ制限が「制限なし」以外
  - 共通再生モード設定中

撮影時の便利な操作

静止画／動画撮影待機中に、補助操作を行います。
- 動画撮影時、映像・音声切替が「音声のみ」のときは、映像に関する操作は行えません。

◆オートフォーカス

静止画／動画撮影時にオートフォーカスで撮影対象にピントを合わせます。手動オートフォーカスで任意のタイミングに起動させフォーカスロックできます。
- 静止画撮影では、撮影直前に自動的にフォーカスロックされます（あらかじめフォーカスロックされている場合を除く）。
- 赤い顔検出枠または画面中央のフォーカス枠にピントを合わせます。フォーカス枠は、AFモードが「顔優先AF」のときは赤色、それ以外のときは白色で表示され、フォーカスロックされたときは緑色になります。
- 動画撮影時は、フォーカスロックされていないと自動的にピントを合わせ続けます。ピントが合いにくい場合は、フォーカスロックを行ってください。
- オートフォーカスでピントを合わせられる距離は約30cm以上です。また、AFモードが「接写」のときは、約10～40cmです。

- 次のような場合は、オートフォーカスでピントが合わないことがあります。
  - FOMA端末を動かしながら撮影する
  - 色の濃淡がない被写体や、動いている被写体を撮影する
  - 暗い場所や、撮影範囲内にライトなどがある場所で撮影する
- なめらかスローモーション／クイックモーション設定中は利用できません。

■ **手動オートフォーカス／フォーカスロックの解除**

- 静止画撮影時は、フォーカスロック時にロック音が鳴ります。
- 動画撮影時は、撮影中も操作できます。

1 撮影画面で

操作するたびに、手動オートフォーカス／フォーカスロックの解除が切り替わります。

◆ ズーム

静止画／動画撮影時に、撮影倍率を変更し被写体を拡大して撮影します。
- 次の場合は、ズームできません。
  - なめらかスローモーション／クイックモーション設定中
  - アートカメラ設定中
- フォーカスロック中は、操作できません。
- 動画撮影時は、撮影中にも倍率を変更できます。
- 各画像サイズで変更できるカメラの表示倍率は次のとおりです。

画像サイズ	最大表示倍率	
	静止画撮影時	動画撮影時
QCIF（176×144）	約35.1倍（32段階）	約16.0倍（32段階）
QVGA（240×320）	約25.8倍（32段階）	約8.0倍（32段階）
VGA（480×640）	約12.9倍（32段階）	約4.0倍（32段階）
待受（480×854）	約9.6倍（32段階）	－
HD（1280×720）	－	約4.0倍（32段階）
フルHD（1080×1920）	約4.3倍（6段階）	約4.0倍（32段階）
3M（1536×2048）	約4.0倍（6段階）	－
5M（1944×2592）		
9M（2252×4000）	約3.0倍（6段階）	
13M（3096×4128）		

※ 動画撮影では、すべて横長サイズです。

1 撮影画面で

- 画面の向きによっては、を押します。

倍率を下げる：
- 画面の向きによっては、を押します。

◆ 明るさ調整

静止画／動画撮影時に、画像の明るさを設定します。
- フォーカスロック中は、操作できません。

1 撮影画面で

- 画面の向きによっては、を押します。

◆ 撮影用ライト

静止画／動画撮影時に、ライトを点灯します。
- 動画撮影待機中は点灯しません。

1 撮影画面で ［ライト］

押すたびに切り替わります。

◆ データBOXの画像を確認

静止画／動画撮影時に、保存済みの画像を表示します。
- パノラマ撮影設定中は操作できません。

1 撮影画面で ［一覧］

- 静止画／動画の表示→P270、278

◆ 撮影画面のショートカット操作

静止画／動画撮影画面で、ダイヤルキーの[0]～[9]や[*]、[#]を押すと、機能を動作させたり選択画面などを表示したりできます。また、対応している機能のキーガイドを表示できます。

- 対応するキーと機能は次のとおりです。
  [1]：カメラモード切替
  [2]：撮影モード
  [3]：ちらつき調整
  [4]：全画面モード切替（静止画撮影時）、映像・音声切替（動画撮影時）
  [5]：サイズ選択
  [6]：画質選択
  [7]：シーン別撮影
  [8]：手ぶれ補正
  [9]：ホワイトバランス
  [0]：ガイドの表示
  [*]：保存先選択
  [#]：AFモード

撮影時の設定変更

撮影に関するさまざまな設定を変更できます。

- 動画撮影時、映像・音声切替が「音声のみ」のときは、映像に関する操作は変更できません。
- 設定を変更すると、別の設定が自動的に変更されることがあります。

◆ サイズ選択

静止画／動画撮影時に、画像サイズを選択します。

- 動画撮影の「フルHD（1920×1080）」「HD（1280×720）」は、常に横画面で撮影します。

1 撮影画面で[MENU]［設定］▶[1]［サイズ選択］▶項目を選択▶[MENU]［閉じる］

✔お知らせ

- 次の場合は、画像サイズを変更できません。
  - 共通再生モード設定中
  - なめらかスローモーション設定中
- 歪み補正設定中は、「QVGA（240×320）」以下のサイズは選択できません。
- ファイルサイズ制限が「メール用（短）」の場合、「VGA（640×480）」以上のサイズは選択できません。また、「メール用（長）」の場合、「HD（1280×720）」以上のサイズは選択できません。
- 次の場合は、「QCIF（176×144）」「HD（1280×720）」「フルHD（1920×1080）」のサイズは選択できません。
  - クイックモーション設定中
  - 動画撮影時にアートカメラが「OFF」「モノクロ」「セピア」以外

◆ 画質選択

静止画／動画撮影時に、撮影する画像の画質を選択します。

1 撮影画面で[MENU]［設定］▶[2]［画質選択］▶項目を選択▶[MENU]［閉じる］

✔お知らせ

- 次の場合は、画質を変更できません。
  - 共通再生モード設定中
  - なめらかスローモーション／クイックモーション設定中
  - 動画撮影時に画像サイズが「HD（1280×720）」以上
- 動画撮影の場合、画像サイズ「QCIF（176×144）」以外かつファイルサイズ制限「メール用（短）」のときは、「SUPER FINE」に設定できません。

◆ ファイルサイズ制限

動画撮影時に、撮影できるファイルサイズ制限値を設定します。

- 「メール用（短）」のときは500Kバイト、「メール用（長）」のときは2Mバイトに制限されます。また、「制限なし」では保存先選択が「本体」の場合は36Mバイト、「microSD」の場合は制限時間に達すると、撮影は終了します。

1 動画撮影画面で[MENU]［設定］▶[9]［ファイルサイズ制限］▶項目を選択▶[MENU]［閉じる］

◆ AFモード

静止画／動画撮影時に、被写体に合わせて、AF（オートフォーカス）のモードを切り替えます。静止画撮影では「標準」「接写」「顔優先AF」に、動画撮影では「標準」「接写」に切り替えられます。

- 「接写」にすると、約10～40cm離れた被写体にピントを合わせます。
- 「顔優先AF」にすると、顔検出機能により人物の顔と笑顔度を検出します。検出した顔に顔検出枠を表示し、顔の明るさを自動的に調整します。最も検出率の高い顔検出枠は赤色で、それ以外は白色で表示されます。

1 撮影画面でMENU［設定］▶3［フォーカス設定］▶1［AFモード］▶項目を選択▶MENU［閉じる］

✔お知らせ

- ぼかし強調設定中は、AFモードを切り替えられません。
- 静止画撮影時にシーン別撮影が「自動シーン認識」の場合は、「接写」に切り替えられません。
- 次の場合は、「顔優先AF」に切り替えられません。
  - 歪み補正設定中
  - 画像サイズが「QCIF（176×144）」
  - 静止画撮影時にシーン別撮影が「夜景」「ホワイトボード」
- 顔検出枠は最大10個表示されます。
- 次の場合や、その他撮影条件により、顔検出されないことがあります。
  - 顔が横や斜めを向いている、傾いている
  - 眼鏡や帽子、マスク、影などで顔の一部が隠れている
  - 顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗い
  - 顔が画面の端にある

◆ トラッキングフォーカス

静止画撮影時、手動オートフォーカスを利用したときに、被写体を追跡してピントを合わせ続けます。

1 静止画撮影画面でMENU［設定］▶3［フォーカス設定］▶2［トラッキングフォーカス］▶項目を選択▶MENU［閉じる］

✔お知らせ

- 次の場合は、トラッキングフォーカスを切り替えられません。
  - シーン別撮影が「自動シーン認識」以外かつクイック撮影設定中以外
  - HDR設定中
  - アートカメラ設定中
  - ぼかし強調設定中
  - 顔補正設定中
- 次の場合は、被写体を見失ったり、正しく動作しなかったりすることがあります。
  - 被写体が暗い、小さすぎる、大きすぎる
  - 被写体の動きが速い
  - よく似た被写体が複数ある

◆ サーチミーフォーカス

静止画撮影の顔検出時（→P192）に、登録した顔が自動的に判別されて、名前が表示されます。

登録した顔は、顔検出枠が赤色で表示され、優先的にピントや明るさが調整されます。

- 登録した顔が複数ある場合は、優先度の番号が若い人物のみ名前が表示され、顔検出枠が赤色になります。

■ 個人認識データの登録

人物の顔を撮影し、サーチミーフォーカスの個人認識データとして登録します。

- 撮影した静止画は、個人認識データでのみ利用されます。
- 個人認識データは最大10件登録できます。
- 顔を傾けず正面に向け、顔全体がはっきり見える状態で撮影してください。
- 顔の一部が隠れたり、極端に顔の変化がある表情をしたり、極端に画面がぶれたりすると、登録できない場合があります。

1 静止画撮影画面でMENU［設定］▶3［フォーカス設定］▶3［サーチミーフォーカス設定］

- 個人認識データ一覧のサブメニューから「編集」「削除」「並べ替え」の操作ができます。

2 📷［新規］▶ガイド枠に対象人物の顔と肩を合わせて●［📷］または📷

シャッター音が鳴り、個人認識用の静止画が撮影されます。

- 画像サイズなど、変更できない設定があります。

3 ● [登録] または📷

- 登録できないデータの場合、撮影し直すかどうかの確認画面が表示されます。

4 名前を入力（全角6（半角12）文字以内）▶ 📷 [登録]

✔お知らせ

- 登録した顔に近い顔を探します。人物の確実な判別を保証するものではありません。
- 顔の特徴が似ていると、正しく認識されない場合があります。
- 登録されている顔でも、次のときは個人認識や登録ができない、または正しく認識されない場合があります。
  - 年齢などの要因で顔の特徴が変化した
  - 極端な顔の変化がある表情になっている
  - 帽子やサングラスなどの装飾品の状況が異なる
  - 手ぶれや被写体の動きなどで、極端に撮影画像がぶれている
- 登録している顔を認識しなくなった場合は、登録し直してください。

◆ スマイルファインダー

静止画撮影時、顔検出機能（→P192）で検出した笑顔度が設定値に達したときに自動的に撮影されます。

1 静止画撮影画面でMENU [設定] ▶ 9 [スマイルファインダー] ▶項目を選択▶MENU [閉じる]

- スマイルファインダー設定中も、通常の撮影は行えます。

✔お知らせ

- 次の場合は、スマイルファインダーを設定できません。
  - パノラマ撮影設定中
  - HDR設定中
  - アートカメラ設定中
  - ぼかし強調設定中
  - 歪み補正設定中
  - 画像サイズが「QCIF（176×144）」
  - シーン別撮影が「自動シーン認識」「標準」「風景」「人物」以外
- 笑顔度の目安となる笑い方は、70%が満面の笑み、50%が普通の笑顔、30%が微笑み程度です。ただし検出される数値には個人差があります。

◆ 手ぶれ補正

静止画／動画撮影時に、手ぶれ補正を利用するかどうかを設定します。

- 被写体や撮影状況により、補正の効果が得られないことがあります。

1 撮影画面でMENU [設定] ▶ 7 [手ぶれ補正] ▶項目を選択▶MENU [閉じる]

✔お知らせ

- 次の場合は、手ぶれ補正を設定できません。
  - クイック撮影／ベストショットセレクト／連続撮影自動／パノラマ撮影設定中
  - HDR設定中
  - 静止画撮影時にアートカメラ設定中
  - ぼかし強調設定中
  - 共通再生モード設定中
  - なめらかスローモーション／クイックモーション設定中
  - 動画撮影時に画像サイズが「HD（1280×720）」以上

◆ セルフタイマー

静止画／動画撮影時に、セルフタイマーを設定します。

- 設定すると、撮影時にカウントダウンが始まり、撮影お知らせランプが点滅します。残り秒数が少なくなると、カウントダウン音の間隔が短くなります。
- カウントダウンを中止するときはCLRを押します。

1 撮影画面でMENU [設定] ▶ 8 [セルフタイマー] ▶項目を選択▶MENU [閉じる]

✔お知らせ

- スマイルファインダー設定中は、セルフタイマーを使用できません。

◆ 保存先選択

静止画／動画撮影時に、画像の保存先を変更します。

- 保存先について→P268、285

1 撮影画面でMENU [設定] ▶ 4 [保存先選択] ▶項目を選択▶MENU [閉じる]

- 静止画撮影で「microSD」を選択したときは、フォルダにカーソルを合わせて📷を押します。

◆ カメラの詳細設定

静止画／動画撮影時に、カメラの利用に関する設定を行います。

1 撮影画面でMENU［設定］▶✂［詳細設定］▶目的の操作を行う▶MENU［閉じる］

- MENU［閉じる］を押す操作が不要な設定もあります。

ちらつき調整：蛍光灯などの照明下でちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えます。「自動」で不十分なときは、利用している地域に合わせて設定してください。

カメラ設定初期化：「はい」を選択すると、カメラの各設定をお買い上げ時の状態に戻します。

自動位置情報付加：自動的に位置情報の取得を行い、撮影した画像に位置情報を付加するかどうかを設定します。

- 「本体のみ利用」の場合、位置情報は撮影後に測位されます。付加された位置情報は、マイコレクションで利用できます。

照明点灯時間：ディスプレイの照明が点灯する時間を設定します。

シャッター音：シャッター音の種類を設定します。

- シャッター音選択画面で、項目にカーソルを合わせて📷を押すと、シャッター音を再生できます。
- 動画撮影のシャッター音は、ボイスレコーダーのシャッター音にも反映されます。

歪み補正※1：文字が読みやすくなるように、画像の歪みを補正します。

全画面モード切替※1：撮影画面上のアイコンなどを、一部を除いて非表示にします。

自動縦横判定※1：「ON」にすると、撮影するFOMA端末の傾きに合わせて、保存される静止画の天地が自動的に切り替わります。

自動保存モード※1：撮影後の確認画面を表示せず自動的に保存するかどうかを設定します。

共通再生モード※2：FOMA端末の機種に関わらず再生可能な設定に制限します。

- 設定すると、関連する各種設定が自動的に変更されます。

映像・音声切替※2：動画の撮影種別を設定します。

※1　静止画撮影時のみ
※2　動画撮影時のみ

✔お知らせ

- 静止画に付加された位置情報は、静止画を取得した人が簡単に見ることができます。位置情報が付加された静止画の取り扱いにはご注意ください。保存後、位置情報付きかどうかはデータBOXの画像一覧のアイコン（→P269）で確認できます。
- 照明点灯時間を「端末設定に従う」にすると、照明設定の照明点灯時間設定（通常時）に従います。
- 歪み補正機能を使っても、完全に歪みを補正できるわけではありません。効果は被写体や撮影状況により異なります。被写体によっては補正を行わない方が自然な場合があります。
- 画像サイズが「QVGA（240×320）」以下の場合は、歪み補正を設定できません。
- 画像サイズが「QCIF（176×144）」の場合は、全画面モード切替を設定できません。
- モーションセンサー設定が「OFF」の場合やパノラマ撮影設定中は、自動縦横判定を設定できません。
- クイック撮影設定中は、自動保存モードを設定できません。
- 共通再生モード設定中は、映像・音声切替を設定できません。

◆ カメラモード切替

静止画／動画撮影時に、動画撮影／静止画撮影、バーコードリーダー、名刺リーダーに切り替えます。

1 撮影画面でMENU［設定］▶5［カメラモード切替］▶項目を選択

撮影効果の設定

静止画／動画撮影時に、シーンに合わせた設定にしたり、さまざまな効果を加えたりします。

- 設定を変更すると、別の設定が自動的に変更されることがあります。

◆ シーン別撮影

静止画／動画撮影時に、被写体や状況に合わせた撮影設定に切り替えます。

-「ホワイトボード」の効果は撮影後に確認できます。

1 撮影画面で［📷］［撮影効果］▶［1］［シーン別撮影］▶項目を選択▶［MENU］［閉じる］

■ 自動シーン認識

静止画撮影では、シーン別撮影を「自動シーン認識」にすると、カメラが撮影対象を認識して自動的にピントを合わせ、最適なシーン（標準・人物・夜景・風景・接写）に切り替えます。また、撮影画面上にQRコードを認識すると自動的にデータを読み取ります。

- 画面中央のフォーカス枠または赤い顔検出枠に、自動的にピントを合わせ続けます。
- FOMA端末と被写体を10cm以上離してピントを合わせてください。
- QRコードを読み取ると、確認音が鳴り読み取り結果画面が表示されます。また、分割されたQRコードを読み取ったときは、バーコードリーダーに切り替わります。改めて最初のQRコードから読み取ってください。
- クイック撮影／ベストショットセレクト／連続撮影自動／パノラマ撮影設定中やセルフタイマー設定中は、QRコードを読み取りません。

✔お知らせ

- 次の場合は、シーン別撮影を変更できません。
  - クイック撮影設定中
  - ぼかし強調設定中
  - 顔補正設定中
  - 映像・音声切替が「音声のみ」
- 次の場合は、静止画撮影の「自動シーン認識」に切り替えられません。
  - パノラマ撮影設定中
  - アートカメラ設定中
- ベストショットセレクト／連続撮影自動設定中は、「夜景」に切り替えられません。
- 次の場合は、静止画撮影の「ホワイトボード」に切り替えられません。
  - ベストショットセレクト／連続撮影自動／パノラマ撮影設定中
  - アートカメラ設定中
  - HDR設定中
- 歪み補正設定中のときは、「逆光」「スポーツ」「文字」「ホワイトボード」「高感度」に切り替えられません。

◆ ホワイトバランス

静止画／動画撮影時に、カメラの色味を環境に合わせて設定します。

1 撮影画面で［📷］［撮影効果］▶［2］［ホワイトバランス］▶項目を選択▶［MENU］［閉じる］

✔お知らせ

- 次の場合は、ホワイトバランスを設定できません。
  - ぼかし強調設定中
  - 顔補正設定中
  - 映像・音声切替が「音声のみ」

◆ アートカメラ

静止画／動画撮影時、特殊なフィルター機能を使い、特殊効果をかけます。効果のかかりかたの調整もできます。

1 撮影画面で［📷］［撮影効果］▶［3］［アートカメラ］▶項目を選択▶［MENU］［閉じる］

効果のかかりかたの調整：アートカメラ設定中に撮影画面で［⊙］
撮影画面に調整バーが表示されます。

✔お知らせ

- 次の場合は、アートカメラを設定できません。
  - ファイルサイズ制限が「メール用（短）」
  - 共通再生モード設定中
  - 映像・音声切替が「音声のみ」
- なめらかスローモーション設定中は、「OFF」「モノクロ」「セピア」以外に設定できません。
- 静止画撮影時のフォーカスロック中は、効果のかかりかたの調整ができません。

◆スロー／クイックモーション

動画撮影時、通常より細かいコマ間隔で撮影（なめらかスローモーション）したり、粗いコマ間隔で撮影（クイックモーション）したりすることができます。音声は録音できません。

- なめらかスローモーション／クイックモーションを設定すると、関連する各種設定が自動的に変更されます。

1 動画撮影画面で［📷］［撮影効果］▶［4］［スロー／クイックモーション］▶項目を選択▶［MENU］［閉じる］

- なめらかスローモーション設定中は、横画面で撮影します。

✔お知らせ

- 次の場合は、なめらかスローモーション／クイックモーションを利用できません。
  - ファイルサイズ制限が「メール用（短）」
  - 共通再生モード設定中

◆顔補正

静止画撮影時に、人物の顔に対して美肌、美白、ひとみ強調、小顔の補正を行ったり、写りかたを設定したりします。

1 静止画撮影画面で［📷］［撮影効果］▶［4］［顔補正］

2 顔補正の効果を選択▶項目を選択▶［MENU］［閉じる］

✔お知らせ

- 顔補正の効果は、撮影後に確認できます。
- 次の場合や、その他撮影条件により、美肌、美白、ひとみ強調、小顔の効果が働かないことがあります。
  - 顔が横や斜めを向いている、傾いている
  - 眼鏡や帽子、マスク、影などで顔の一部が隠れている
  - 顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗い
  - 顔が画面の端にある

◆HDR

露光時間の異なる2枚の画像を撮影し、白飛びや黒つぶれを抑えた静止画を作成します。

1 静止画撮影画面で［📷］［撮影効果］▶［5］［HDR］

2 項目を選択▶［MENU］［閉じる］

- 「OFF」以外を選択すると、ガイダンスと次回表示の確認画面が表示されます。

ガイダンスを表示：**項目にカーソル▶［📷］［説明］**

✔お知らせ

- 露光の長い撮影をするため、手ぶれに注意してください。
- 動いている被写体を撮影すると、乱れた画像になることがあります。
- 動かしながら撮影したりシャッター音が鳴ってからすぐ動かしたりすると、正しく合成処理が行われません。
- 撮影画面全体が明るかったり暗かったりする場合、HDRの効果が得られない場合があります。

◆ぼかし強調

静止画撮影時に、被写体に対して背景をぼかして撮影できます。

1 静止画撮影画面で［📷］［撮影効果］▶［6］［ぼかし強調］

2 項目を選択▶［MENU］［閉じる］

- 「OFF」以外を選択すると、簡易ガイダンスと次回表示の確認画面が表示されます。

詳細ガイダンスを表示：**項目にカーソル▶［📷］［説明］**

✔お知らせ

- 被写体とカメラは、20～30cm程度離してください。また、被写体と背景の間に十分な距離（1m以上推奨）をとってください。
- ぼかし強調設定中は、フォーカス枠が表示されません。画面全体から、最も手前に認識した箇所にピントを合わせます。
- ズームしていると、ぼかし強調の効果が出にくい場合があります。
- 手ぶれしている場合や被写体が動いている場合は、きれいに撮影できません。
- 次の撮影条件などでは、ぼかし強調が正しく動作しないことがあります。
  - 被写体の輪郭部が不鮮明（ぬいぐるみなど）
  - 被写体が極端に細い、細かい、小さい
  - 被写体にピントが合っていない
  - 撮影環境が極端に暗い

◆ フレーム撮影

静止画撮影画面に、装飾枠を重ねて撮影できます。

- 画像サイズが「フルHD（1080×1920）」以上の場合は、フレーム撮影できません。

1 静止画撮影画面で[📷]［撮影効果］▶[7]［フレーム撮影］

2 [2]［ON］▶フォルダを選択▶フレームを選択▶[●]［決定］

解除：[1]［OFF］▶[MENU]［閉じる］

バーコードリーダー

JANコード、QRコード、NW7コード、CODE39コードのデータを読み取り、利用できます。

- バーコードデータは最大5件保存できます。
- 電池残量が10%以下の場合は、バーコードリーダーを起動できません。
- QRコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。
- 横幅の長いコードは全体を画面に写そうとするとピントがぼけて認識できない場合があります。オートフォーカスを使用するか、コードの中心に向かってピントが合う程度までFOMA端末を近づけると、認識しやすくなります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などにより読み取れない場合があります。
- 文字入力画面から起動して、読み取った情報を入力できます。→P345

■ JANコードとは

幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。8桁（JAN8）または13桁（JAN13）のバーコードを読み取れます。

■ QRコードとは

縦横方向の模様で英数字、漢字、ひらがな、カタカナ、絵文字、メロディ、画像などのデータを表現している2次元コードです。

■ NW7コードとは

幅の異なる縦の線（バー）で英数字を表現しているバーコードです。20桁までのデータと2桁の開始記号、停止記号を含むバーコードを読み取れます。

■ CODE39コードとは

幅の異なる縦の線（バー）で英数字と記号を表現しているバーコードです。20桁までのデータと2桁の開始記号、停止記号を含むバーコードを読み取れます。

JANコードの一例

読み取れる情報
「4942857315721」

QRコードの一例

読み取れる情報
「株式会社NTTドコモ」

NW7コードの一例

読み取れる情報
「A123456789012A」

CODE39コードの一例

読み取れる情報
「*123456ABC*」

◆ バーコードの読み取り

ディスプレイに表示される画像から自動的にコードを抽出し、データを読み取ります。

- コードが読み取りにくい場合は、通常のモード（スルーモード）からシャッターモードに切り替えてください。シャッターモードでは、コードを撮影し、撮影した静止画からデータを読み取ります。静止画は保存されません。

1 [MENU][6][1]

バーコードリーダーが起動し、読み取りが開始されます。

- AFモードが「接写」のときはカメラをコードから約10～40cm離して、「標準」のときは約30cm以上離して読み取ってください。

2 カメラをコードに合わせる

読み取りが完了すると確認音が鳴り、読み取り結果画面が表示されます。
- 約1分間コードを読み取れないとバーコードリーダーは終了します。
- マークの意味は次のとおりです。
  - ：AFモード・接写　：AFモード・標準
  - （緑）：オートフォーカス成功　（赤）：オートフォーカス未完了
  - ：ライト点灯中
  - 1～16：読み取り済み分割QRコード数

シャッターモードで読み取り：

① [カメラ]［シャッター］
シャッターモードに切り替わり、撮影待機状態になります。
- 操作するたびに、シャッターモード／スルーモードが切り替わります。
- 撮影待機中に約2分間キー操作をしないと、バーコードリーダーは終了します。

② **カメラをコードに合わせて[●]［読取］**
オートフォーカスが起動し、撮影されます。

分割されたデータを読み取るとき：
複数（最大16個）のQRコードに分割されているデータを連結して表示できます。未取得のデータがある場合、次のデータの読み取り確認画面が表示されるので「はい」を選択し、続けて読み取ってください。
- 次のデータの読み取り確認画面では、読み取りが必要なコードの残数／総数が表示されます。

3 読み取りデータを確認する

- 読み取ったデータは、全角2500（半角5000）文字まで表示できます。

データの保存：[MENU]［サブメニュー］▶[4]▶保存先を選択
- データのファイル名は、読み取った日時が自動的に付けられます。

コードを読み取り直す：[CLR]

✔お知らせ
- コードが読み取りにくい場合は、コードとカメラの距離、角度、方向などの調節により、読み取れることがあります。
- ｉアプリから起動した場合、読み取ったデータはｉアプリで保存、利用されます。

❖バーコードリーダー利用中の操作

バーコードリーダー読み取り時に、設定変更や保存データの表示をします。
- [MENU]を押さずに対応するショートカットキーを押しても、各メニューを表示できます。

手動オートフォーカスの起動／解除：[✓]
- スルーモード時は[●]を押しても操作できます。

ライトの点灯／消灯：[iα]［ライト］

ズームOFF／ONの切り替え：[ズーム]／[ズーム]

カメラモードの切り替え：[MENU]［サブメニュー］▶[1]▶[1]～[3]

AFモードの切り替え：[MENU]［サブメニュー］▶[3]▶[1]または[2]

ちらつき調整：[MENU]［サブメニュー］▶[4]▶[1]～[3]

保存データの表示：[✉]［一覧］▶保存データを選択
- 保存データにカーソルを合わせて[MENU]▶「はい」を押すと、保存データを削除できます。

❖バーコードデータの主な利用

読み取り結果画面で、読み取ったバーコードデータを利用します。

文字情報の全コピー：[カメラ]［全コピー］

情報を電話帳に登録：情報にカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[1]▶[1]または[2]▶「はい」▶[1]または[2]▶電話帳登録
- 更新登録するときは、登録する電話帳を選択します。

ｉモードメールの作成：メールアドレスを選択▶「はい」

サイトまたはホームページに接続：URLを選択▶「ｉモード接続」／「フルブラウザ接続」

URLをBookmarkに登録：URLにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[2]▶「ｉモード登録」または「フルブラウザ登録」▶タイトルを編集▶「OK」▶登録先フォルダを選択

電話をかける：電話番号を選択▶発信条件を設定▶[✉]［発信］
発信オプション→P57

SMSの作成：電話番号を選択▶発信方法欄を選択▶[3]▶[✉]［発信］▶「はい」

名刺リーダー

カメラで名刺を撮影して情報を読み取り、電話帳に登録できます。また、読み取り時の画像を保存することもできます。

- 画像保存をONに設定した場合のみ、画像を登録します。
- テキストメモに、登録日の日付が登録されます。
- 電話帳に登録可能な件数と文字数を超過した情報は、破棄されます。

1 MENU 6 ▶「名刺リーダー」

名刺撮影画面が表示されます。

- 撮影待機中に を押すと、手動オートフォーカスを起動／解除できます。また、 を押すと、ライトのON／OFFを切り替えられます。
- マークの意味は次のとおりです。
  : ライトON
  AF（黒）／AF（緑）／AF（赤）：オートフォーカス合焦中／成功／失敗
- 撮影待機中に MENU 1 ▶ 1 ～ 3 を押すとちらつき調整ができます。
- 撮影待機中に MENU 2 を押すと、画像保存のON／OFFが切り替わります。
- 撮影待機中に約1分間キー操作をしないと、名刺リーダーは終了します。

2 名刺をガイド枠に合わせて●［撮影］または

シャッター音が鳴り、名刺が撮影されて情報が読み取られます。

- 情報の読み取りには、約7～15秒かかります。
- 名刺全体がガイド枠に納まるように撮影してください。
- カメラを名刺から約10cm以上離して撮影してください。
- 名刺以外のものを一緒に撮影すると、正しく読み取れない場合があります。
- 文字がディスプレイに対して縦／横どちらの向きでも読み取れますが、斜めにはしないでください。
- 横長の名刺をガイド枠に合わせるときは、右に回転させた状態のほうが、文字認識の処理が早く済みます。
- 手ぶれなどで画像が乱れると、正しく読み取れない場合があります。
- 読み取りに失敗したときは、名刺撮影画面に戻ります。画像は保存されません。

カメラモードの切り替え： MENU［サブメニュー］▶ 4 ▶ 1 ～ 3

3 電話帳を編集▶ ［登録］

- 画像保存がONのときに電話帳を登録すると、撮影した名刺画像はマイピクチャの「名刺」フォルダに保存されます。

✔お知らせ

- 名刺によっては、文字を読み取れないことや、正しく認識できないことがあります。
- 次の名刺は、読み取りの対象外です。
  - 縦書きと横書きが混在した名刺
  - 日本語と英語以外の名刺
  - 背景が付いている名刺
  - 手書きの文字や手書き風フォントを使用した名刺
  - ディスプレイなどに表示された名刺
- 次の名刺は、読み取り機能が低下することがあります。
  - 文字が薄いなど、コントラストが低い名刺
  - 極端に小さい文字を含む名刺
  - 光沢のある用紙に印刷された名刺
  - ロゴまたはロゴ風の書体を含む名刺
  - 文字どうしの間隔が狭く、接触している文字を含む名刺
- フリガナは正しい読み方にならないことや、登録されないことがあります。
- 項目の分類は、正しく認識されないことがあります。

ワンセグ

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。また、ｉモードを利用して、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。

- 「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
  社団法人　デジタル放送推進協会
  パソコン：http://www.dpa.or.jp/
  ｉモード：http://www.dpa.or.jp/1seg/k/

◆ ワンセグのご利用にあたって

- ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- データ放送領域に表示される情報は、映像・音声とともに放送波で表示される「データ放送」と、データ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイト（ｉモードサイトなどを含む）に接続し表示する「データ放送サイト」の2種類があります。なお、サイトへ接続する場合は、別途ｉモードのご契約が必要です。
  また、サイトを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。
- ワンセグ視聴中に自動的にトルカを保存する場合があります。保存したトルカから詳細情報を取得する場合は、パケット通信料がかかります。

◆ 放送波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、FOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、FOMAサービスの圏外／圏内に関わらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。
- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

受信状態を良くするためには、FOMA端末を体から離したり近づけたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。

■ アナログ放送終了による注意事項

アナログ停波に伴い、チャンネルの再編成が行われる場所があります。そのため、お客様ご自身で自動スキャンによる「自動チャンネル設定」の再設定（→P203）が必要になる場合があります。また、「自動チャンネル設定」によるチャンネルの再設定後はチャンネルリストへの登録を必ず行ってください。
地デジチャンネルリパックの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
総務省テレビ受信者支援センター（デジサポ）チャンネル変更コールセンター
電話番号：0120-922-303
パソコン：http://www.digisuppo.jp/repack/
ｉモード：http://digisuppo.jp/m/index.php

◆ 初めてワンセグを利用する場合の画面表示

初めてワンセグを利用する場合、免責事項の確認画面が表示されます。
了承し、「OK」を選択すると、以後同様の確認画面は表示されません。

◆ 放送用保存領域とは

放送用保存領域とは、ワンセグ専用の端末内保存領域です。放送用保存領域には、データ放送の指示に従いお客様が入力された情報が、テレビ放送事業者（放送局）の設定に基づき保存されます。保存される情報には、クイズの回答結果や、会員番号、性別、年齢、職業など個人情報が含まれる場合があります。保存された情報は、お客様が再度入力することなく、データ放送サイトの閲覧時に表示されたり、テレビ放送事業者（放送局）へ送信される場合があります。

放送用保存領域を消去する→P213

別のドコモminiUIMカードに差し替えた場合やドコモminiUIMカード未挿入の場合は、放送用保存領域を初期化するかの確認画面が表示されます。「はい」を選択し、放送用保存領域の初期化を行ってください。「いいえ」を選択すると、放送用保存領域を使用したサービスが利用できません。

■ 放送用保存領域の読み出し時の画面表示

番組を視聴中に放送用保存領域の保存情報を利用する場合、「放送用保存領域内の情報を利用しますか？同一系列放送局で利用した情報を含む場合があります」と表示されます。「はい」を選択すると、以降は同一番組の視聴中に行われる保存情報の読み出しについては、画面表示による確認が行われません。また、「はい（以後非表示）」を選択すると、以降、番組が変わっても確認は行われません。

◆ ワンセグをご利用の前に

■ ワンセグの視聴手順

ワンセグの視聴手順は次のとおりです。

① ご利用になる地域に対応したチャンネルリストを作成・設定します。→P203

② ワンセグを起動します。→P205

■ ワンセグアンテナについて

ワンセグアンテナは本体に内蔵されており、FOMA端末全体がアンテナの役割をしています。よりよい条件で受信するために、FOMA端末を持ってワンセグ視聴をする場合は、手で覆う部分が最小になるようにしてください。ただし、FOMA端末を閉じているときは、次のイラストに示したアンテナで受信します。録画などをする際は、手などで覆わないようにしてください。

✔お知らせ

- FOMA端末の故障・修理やその他の取り扱いによって、保存内容が消失・変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
  なお、FOMA端末を機種変更や故障修理する際に、お客様が端末内に保存された情報（ワンセグで録画した静止画、テレビリンク、放送用保存領域に保存された情報など）は移し替えできません。
- 充電しながら長時間ワンセグを視聴すると、電池パックの寿命が短くなることがあります。

チャンネルの設定

ワンセグを視聴するには、放送局とチャンネルを登録したチャンネルリストを作成し、視聴する地域に合わせて設定する必要があります。

◆ チャンネルリストの作成

現在いる場所で受信できるチャンネルを検索する方法（自動チャンネル設定）と、FOMA端末に登録されている地域の一覧から選ぶ方法（プリセットから設定）があります。

- 自動チャンネル設定は、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内で行ってください。
- 視聴する場所によっては、プリセットの地域のチャンネルが視聴できないことがあります。その場合は、自動チャンネル設定を行います。
- 最大10件登録できます。

1 MENU 4 2 7

2 「はい」

- 既に作成済みで新たに作成するときは、📷を押します。

3 「自動チャンネル設定」▶「はい」▶地域を選択

自動チャンネル設定が開始され、終了すると登録確認画面が表示されます。

- 地域を選択するかの確認画面で「いいえ」を選択するとそのまま自動チャンネル設定中の画面が表示されます。このときチャンネルリスト名は作成した日時になります。
- 地域を選択すると、選択した地域のチャンネルが優先的に検索されます。
- 自動チャンネル設定を中断するときは●を押し、「はい」を選択します。

プリセットから設定：「プリセットから設定」▶地域を選択▶都道府県を選択▶市町村を選択

- 地域によっては都道府県や市町村の選択が省略される場合があります。

4 「はい」

既にチャンネルリストを設定している場合は、作成したチャンネルリストの使用確認画面が表示されます。

✔お知らせ

- 自動チャンネル設定でチャンネルを検索するには約60秒かかります。パソコンやテレビなどノイズの多い機器の近くで操作した場合や、放送局の数、放送電波の状態によっては、さらに時間がかかることがあります。
- 自動チャンネル設定中は、操作確認音が鳴りません。

◆ チャンネルリストの設定

視聴地域に合わせて、利用するチャンネルリストを設定します。

- チャンネルリストが1件のみの場合は、自動的に利用するチャンネルリストに設定されます。

1 MENU 4 2 7

2 チャンネルリストにカーソル▶iα［登録］

設定したチャンネルリストのチャンネル番号一覧が表示されます。

- チャンネルリスト一覧で、設定したチャンネルリストに☑が表示されます。

◆ チャンネルリストの操作

チャンネルリストの更新や削除、チャンネル番号の入れ替えなどができます。

1 MENU 4 2 7

2 目的の操作を行う

チャンネルリスト名の変更：チャンネルリストにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶2▶チャンネルリスト名を入力（全角10（半角20）文字以内）▶📷［登録］

チャンネルリストの更新：チャンネルリストにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶4▶更新方法を選択して更新

自動チャンネル設定、プリセットから設定→P203

チャンネルリストの削除：チャンネルリストにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶5▶1または2▶「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせたチャンネルリストが削除されます。
- 全件削除では認証操作が必要です。

チャンネル番号一覧の表示：チャンネルリストを選択

- 一覧でチャンネルを選択すると、ワンセグ視聴が起動します。また、チャンネルにカーソルを合わせて📷を押すと、チャンネルの詳細を確認できます。

チャンネル番号の入れ替え：チャンネルリストを選択▶チャンネルにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶1▶入れ替え先を選択

チャンネルの削除：チャンネルリストを選択▶チャンネルにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶2▶「はい」

✔お知らせ

- ワンセグ視聴中は使用中のチャンネルリストで、チャンネルリストの更新や削除、チャンネル番号の入れ替えなどはできません。

ワンセグ視聴

ワンセグを視聴します。

- 初めて利用するときは確認画面が表示されます。→P202

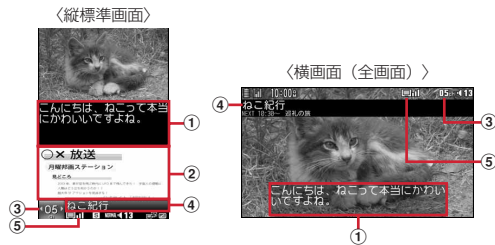
1 [ワンセグ/TV]（1秒以上）

- チャンネルリストが未設定の場合は、チャンネル設定の確認画面が表示されます。「OK」を選択してチャンネルリストを作成します。作成後、視聴画面が表示されます。→P204

ワンセグ視聴の終了：[終話]▶「はい」

✔お知らせ

- 次の方法でもワンセグ視聴を起動できます。
  - 番組表ｉアプリ、メール、メッセージR/F、ｉチャネル、サイトやホームページなどに表示されているワンセグ視聴用情報などを選択（Media To）→P171
  - 視聴予約→P210
- 視聴中に、ワンセグ利用や放送用保存領域などに関する確認画面が表示されます。このとき、「はい（以後非表示）」を選択すると、次回から確認画面が表示されなくなり、確認なしにデータ放送やデータ放送サイトの情報が更新されるなどでパケット通信料がかかる場合があります。ドコモminiUIMカードの差し替えや各種設定リセット（基本設定）、データ一括削除、確認表示設定リセットのいずれかを行うと、再度表示されます。
- 場所によって受信できないチャンネルがあります。チャンネルリストの更新や、自動チャンネル設定を行うと、受信できることがあります。→P203
- 放送電波の状態などにより、音声が途切れる、データ放送が操作できない、映像にブロック状のノイズが入る、または停止することがあります。
- 視聴中に電話の着信、メール・メッセージR/F・SMSの受信（受信・自動送信表示が「通知優先」の場合）、アラームなどの起動があったときは、マルチウィンドウで利用できます。→P209

❖ワンセグ画面の見かた

ワンセグ視聴画面

① **字幕（字幕情報がある場合）**

② **データ放送またはデータ放送サイト**

③ **リモコン番号**

④ **放送局名（選局中）／番組名（選局終了）**

- 視聴中に番組が放送休止になった場合は「放送休止中」と表示されます。
- 横画面では次の番組の名前と放送開始時間も表示されます。

⑤ **ワンセグ受信の状態**

：放送圏外

- マークの意味は次のとおりです。ただし、画面によって表示されないマークがあります。

  ：録画中のため選局不可　：視聴するサービスの切り替え可→P207

  ：ワンセグecoモード中

  S／M／主／副／主·副：音声の状態（ステレオ／モノラル／主音声／副音声／主音声＋副音声）

  ＋数字：音量　：音声出力不可

  ：Bluetooth機器出力中　：FMトランスミッタ出力中

  ：本体に録画中　：microSDカードに録画中

  ＋残り時間：オフタイマー設定中、または視聴予約で終了日時を設定中（残り時間が99分を超える場合はのみ表示）

  ＋：オフタイマーを「番組終了まで」に設定中、または視聴予約で終了日時を「自動延長対応」に設定中

  ：データ放送またはデータ放送サイトでダイヤルキーで項目の選択可

  ：[キー]で視聴画面の切り替え可

: （1秒以上）でマルチウィンドウまたは同時に実行中の機能に切り替え可

／: アクティブ操作切替ON（テレビ操作モード／データ放送操作モード）

: 放送局からのメッセージ

- 選局中に放送圏外になった場合などは映像、データ放送ともに黒い画面が表示されます。

❖ワンセグ視聴中の基本操作（アクティブ操作切替「OFF」）

表示・効果設定のアクティブ操作切替（→P213）が「OFF」のときの操作は、次のとおりです。なお、の操作は、映像の向きに合わせて変わります。

音量調整： ［音量小］／［音量大］または

- データ放送領域がないときはを押しても操作できます。

消音： （1秒以上）または（1秒以上）

- データ放送領域がないときはを1秒以上押しても操作できます。

番組表 i アプリの起動： ［番組表］

- データ放送サイト取得中に操作すると、サイト取得を中断します。

ワンタッチ選局： 1～9、＊、0、＃

- 1～9は1ch～9ch、＊は10ch、0は11ch、＃は12chに対応します。
- 13ch以降は、サブメニューのチャンネル番号一覧から選択します。
- データ放送でキー操作が割り当てられている場合、データ放送の項目を選択する場合があります。

前後のチャンネルの選択：

受信可能な前後の周波数のサーチ： （1秒以上）

- 場所を移動したときなどにサーチすると、登録されていない放送局が受信できる場合があります。受信できないときは、視聴中のチャンネルに戻ります。受信できた放送局は、チャンネルに追加登録できます。

データ放送のカーソル移動：

データ放送の項目選択： ［決定］

データ放送の前のページへ移動： CLR

- 表示されているコンテンツによっては、先頭のページに戻るなどの動作になる場合があります。

静止画録画：

ビデオ録画の開始／停止： （1秒以上）

視聴画面の切り替え：

- 縦画面のときは縦標準画面とデータ放送全画面が切り替わり、横画面のときは横画面（全画面）と横画面（映像＋データ放送）が切り替わります。ただし、モーションセンサー設定のオートローテーションが「OFF」のときは、各画面が順に切り替わります。

字幕の表示／非表示： （1秒以上）

- 字幕情報がない場合は操作できません。

❖ワンセグ視聴中の基本操作（アクティブ操作切替「ON」）

表示・効果設定のアクティブ操作切替（→P213）が「ON」のときの操作は、次のとおりです。なお、の操作は、映像の向きに合わせて変わります。

■ テレビ操作モードとデータ放送操作モード共通の操作

番組表 i アプリの起動： ［番組表］

- データ放送サイト取得中に操作すると、サイト取得を中断します。

静止画録画： ［／録画］

ビデオ録画の開始／停止： （1秒以上）／［録画停止］

操作モードの切り替え： ［データ操作／テレビ操作］

- 視聴画面によっては操作できません。

視聴画面の切り替え：

- 詳細は、アクティブ操作切替「OFF」の項目をご覧ください。

スピーカー出力音声の消音／消音解除：

音量調整：

消音： （1秒以上）

■ テレビ操作モードで有効な操作

音量調整：

消音： （1秒以上）

ワンタッチ選局： 1～9、＊、0、＃

- 詳細は、アクティブ操作切替「OFF」の項目をご覧ください。

前後のチャンネルの選択：

受信可能な前後の周波数のサーチ： （1秒以上）

- 詳細は、アクティブ操作切替「OFF」の項目をご覧ください。

字幕の表示／非表示： （1秒以上）

- 字幕情報がない場合は操作できません。

■ データ放送操作モードで有効な操作

データ放送のカーソル移動：[方向キー]

データ放送の前後のページへ移動：[方向キー]

- 前後のページがキャッシュに保存されているときに操作できます。

データ放送の項目選択：[●]［決定］

- データ放送でキー操作が割り当てられている場合、[0]～[9]、[*]、[#]でも選択できます。

データ放送の前のページへ移動：[CLR]

- 表示されているコンテンツによっては、先頭のページに戻るなどの動作になる場合があります。

❖ワンセグ視聴中の便利な操作

視聴画面のサブメニューからさまざまな操作ができます。

チャンネル番号一覧：チャンネルを選択できます。

番組詳細情報：設定されていないときなど、表示されない情報があります。

チャンネルリスト切替：チャンネルリストにカーソルを合わせて[iα]を押すと、切り替わります。

録画の開始と設定（録画の終了と設定）：「録画開始（録画・視聴終了）」「録画・視聴予約（→P210）」「録画可能時間表示」「録画設定（→P214）」があります。

番組表／紹介メール：「番組表」「紹介メール作成」があります。

- 「紹介メール作成」は、視聴中の番組の視聴用情報をメールで送信します。受信側がMedia To機能に対応した端末の場合、視聴用情報を選択するとワンセグを起動できます。

データ放送：「前ページへ戻る」「次ページへ進む」「再読み込み」「証明書詳細表示」「表示・効果設定（→P213）」「テレビリンク（→P208）」「データ放送に戻る」があります。

- 「前ページへ戻る」「次ページへ進む」は、ページがキャッシュに保存されているときに操作できます。
- 「証明書詳細表示」は、SSL／TLSページ表示中に操作できます。

動作設定：「オフタイマー」「画面設定（→P213）」「音声設定（→P213）」「クローズ動作設定（→P214）」「オートエリア切替」「チャンネル追加登録」「サービス切替」「なめらか表示」「ワンセグecoモード」があります。

- 「オートエリア切替」は、視聴中に視聴地域が変わるとチャンネルリスト変更の確認画面が表示される機能です。チャンネルリストは、自分で作成したもの（[USER]）とFOMA端末に登録されているもの（[PRE]）から選択します。
- 「チャンネル追加登録」は、最大62件登録できます。
- 「サービス切替」は、同じチャンネル内に別の番組（サービス）が放送されている場合に操作できます。
- 「なめらか表示」は、画像フレーム補間機能により映像がなめらかになります。なお、横画面で有効です（ワンセグecoモード中やマルチウィンドウ利用中を除く）。
- 「ワンセグecoモード」を「ON」にすると、照明設定が無効になり、画面を少し暗くしてワンセグ視聴による電力の消費を抑えます。明るい場所では効果を十分に得られないことがあります。

FMトランスミッタ出力：「ON／OFF」「周波数設定」「起動時自動出力設定」があります。

Bluetooth出力：「ON／OFF」「起動時自動接続設定」があります。

- 「起動時自動接続設定」を「ON」にすると、ワンセグの起動時にBluetooth機能の通常接続機器（オーディオ）設定を「設定」にしたBluetooth機器と自動的に接続を行います。

キー操作一覧：表示中の視聴画面でできるキー操作を確認します。

✔お知らせ

- オフタイマーの終了時間に表示される確認画面で約30秒間何も操作しないと、ワンセグ視聴は終了します。

番組表ｉアプリの利用

番組表からワンセグ視聴を起動したり、視聴予約や録画予約をしたりできます。

- お買い上げ時には番組表ｉアプリとして「Gガイド番組表リモコン」が登録されています。「Gガイド番組表リモコン」の詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード編）』をご覧ください。
- 利用する番組表ｉアプリは、ｉアプリのソフト動作設定の番組表ボタン設定で設定します。→P235

1 [MENU][4][2][2]

ｉアプリが起動し、番組表が表示されます。

データ放送

ワンセグでは、映像・音声に加えてデータ放送を利用できます。データ放送では、文字や画像で番組の関連情報を確認したり、番組と連動したサイトに接続したりできます。

- データ放送とデータ放送サイトについて→P202「ワンセグのご利用にあたって」

1 データ放送表示のある画面で[●]▶項目を選択

選択したページやデータ放送サイトなどが表示されます。

- アクティブ操作切替が「ON」でテレビ操作モードのときは、操作できません。

✔お知らせ

- 選択した項目により、確認画面が表示されます。「はい（以後非表示）」を選択すると、次回から確認なしにデータ放送・データ放送サイトの情報が自動的に更新される場合があります。このとき、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- 放送用保存領域の空きが足りない場合は、上書きの確認画面が表示されます。

テレビリンク

データ放送には、サイトやホームページ、メモ情報をテレビリンクとして登録できるものがあります。登録したサイトやホームページ、メモ情報は、データ放送を表示しなくても直接表示できます。

◆ テレビリンクへの登録

データ放送表示中にテレビリンクに登録可能な項目を選択して登録します。

- 最大50件登録できます。

1 テレビリンク登録可能な項目を選択▶「はい」▶フォルダを選択

- 同じURLやメモ情報を登録するとき、最大保存件数を超えるときは、上書きの確認画面が表示されます。

◆ テレビリンクの表示

テレビリンクに登録したサイトやホームページ、メモ情報を表示します。

- データ放送やデータ放送サイトを表示中に自動的にテレビリンクリスト表示の確認画面が表示されることがあります。

1 [MENU][4][2][6]▶フォルダを選択

- マークの意味は次のとおりです。
  [アイコン]: テレビリンクあり　[アイコン]: テレビリンクなし

全件削除：フォルダ一覧で[MENU]［サブメニュー］▶[4]▶認証操作▶「はい」

2 テレビリンクを選択▶「はい」

- マークの意味は次のとおりです。
  [アイコン]: メモ情報　[アイコン]: データ放送サイトへのリンク
  [アイコン]: ｉモードサイトへのリンク
  [アイコン]: フルブラウザのホームページへのリンク
- メモ情報を選択したときは、「はい」の選択は不要です。

詳細情報の表示：テレビリンクにカーソル▶[📷]［詳細］

削除：[MENU]［サブメニュー］▶[2]▶[1]～[3]▶「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせたテレビリンクが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶[📷]が、全件削除では認証操作が必要です。

他のフォルダに移動：テレビリンクにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[3]▶[1]または[2]▶移動先のフォルダを選択

- 選択移動では選択操作▶[📷]が必要です。

◆ テレビリンクフォルダの管理

テレビリンクフォルダの作成や削除、並び順の変更などができます。
- フォルダは最大20個作成できます。

1 MENU 4 2 6

2 目的の操作を行う

作成：MENU［サブメニュー］▶1▶フォルダ名を入力（全角8（半角16）文字以内）▶📷［登録］
削除：フォルダにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶2▶認証操作▶「はい」
- フォルダが1つのみのときは削除できません。

フォルダ名の変更：フォルダにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶3▶フォルダ名を入力（全角8（半角16）文字以内）▶📷［登録］
並び順の変更：フォルダにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶5または6

マルチウィンドウでのワンセグ視聴

マルチタスク（→P313）でワンセグと他の機能を同時に起動しているときに、機能によっては画面を分割表示させて利用できます。
- 同時に利用する機能が横画面対応の場合は、横画面でもマルチウィンドウを利用できます。
- スケジュールやｉアプリなど、機能によってはマルチウィンドウで表示できません。
- マルチウィンドウ利用中は、ワンセグの映像と音声の両方または片方が中断される場合があります。
- マルチウィンドウ利用中のガイド表示領域は、同時に利用している機能に対するガイドが表示されます。

■ マルチウィンドウ利用中の操作

マルチウィンドウとワンセグ視聴画面の切り替え：TV（1秒以上）
- ワンセグ視聴と、ｉモード、フルブラウザ、ｉチャネルのいずれかを同時に利用しているときは、TVを1秒以上押すたびに、マルチウィンドウ→同時利用している機能の画面→ワンセグ視聴画面の順に切り替わります。
- マルチタスクの画面切替メニューからも切り替えられます。

ワンセグ録画

映像、音声、データ放送を録画したり（ビデオ録画）、映像を静止画として保存したりします（静止画録画）。
- ビデオのタイトルは番組名が、静止画のタイトルは保存日時が付けられます。ファイル名は、保存した日時が付けられます。ただし、microSDカードに保存したビデオのファイル名は異なります。→P285
- 録画が禁止されている番組は録画できません。また、放送波の受信状態が良くないときは録画できないことがあります。
- 録画したデータはメール添付、赤外線通信／iC通信による送信、待受画面などへの設定ができません。
- 1回あたりのビデオ録画は、録画データが2Gバイトに達すると終了します。放送内容などにより異なりますが、時間にして約640分です。
- 録画したビデオや静止画を見る→P306

◆ ワンセグビデオ録画

映像、音声、データ放送を録画します。
- データ放送全画面では録画の開始／終了はできません。
- 録画設定→P214

1 ワンセグ視聴画面で📷（1秒以上）
- アクティブ操作切替が「ON」のときは、✉を1秒以上押します。

2 録画終了操作を行う

録画のみ終了して視聴を続行：📷（1秒以上）
- アクティブ操作切替が「ON」のときは、✉を押します。

視聴のみ終了して録画を続行：⌒▶「視聴のみ終了」
待受画面にRECまたはRECが表示されます。
- 録画を終了したいときは、フォーカスモード中にRECまたはRECを選択して「はい」を選択します。また、マルチタスク切り替えから全機能終了を行っても録画は終了します。→P314

録画と視聴両方を終了：⌒▶「はい」

✔お知らせ
- 保存領域の空きが足りないときはデータBOXやmicroSDカードから不要なデータを削除してください。最大保存件数を超えるときは不要なワンセグのビデオを削除してください。
- 録画中に保存領域の空きが不足すると録画が終了します。なお、保存領域いっぱいまで録画できない場合があります。
- 保存先がmicroSDカードの場合、フルブラウザでデータ取得中などFOMA端末への負荷が大きな機能や、microSDカードを使う他の機能が動作中には録画できないことがあります。
- 録画中はチャンネルやチャンネルリストの切り替え、自動チャンネル設定、オフタイマーの使用、サービス切替はできません。
- 録画中に、電話の着信やメールの受信など、他の機能が起動して映像や音声が中断しても録画は継続します。
- データ放送を録画する場合は、放送波の受信状況がよい状態で約1分以上録画してください。録画時間が短すぎると、データ放送を表示できない場合があります。
- 録画開始直後に放送圏外になり、放送波を受信できないまま録画を終了した場合、録画データが保存されない場合があります。
- 番組によっては、録画開始操作を行った時点より少し前の映像や音声から録画される場合があります。

◆ ワンセグ静止画録画

映像を静止画として保存します。
- ビデオ録画中は録画できません。また、字幕やデータ放送は録画されません。

1 ワンセグ視聴画面で📷
- アクティブ操作切替が「ON」のときは、✉を押します。
- 最大保存件数／領域を超えたとき→P299
- 操作直後にテレビ電話が着信すると、静止画が録画されない場合があります。

視聴予約／録画予約

ワンセグの視聴や録画を予約します。
- 最大登録件数はメモ・スケジュールの登録件数によって変わります。メモ・スケジュールが登録されていない場合、視聴、録画合わせて最大100件です。

1 MENU 4 2 4 ▶ MENU ［サブメニュー］ ▶ 1

2 入力方法を選択

番組表ｉアプリから予約：「番組表」
番組表ｉアプリが起動します。視聴予約または録画予約を行います。
視聴予約：「視聴予約」▶各項目を設定▶📷［登録］
- 番組名は全角100（半角200）文字以内で入力します。
- 開始通知動作のマークの意味は次のとおりです。
  🔔（黄色）／🔔（グレー）：お知らせアラームあり／なし
  ON：確認して起動　AUTO：自動起動　OFF：起動しない
- MENU：録画予約に変更

録画予約：「録画予約」▶各項目を設定▶📷［登録］
- 番組名は全角100（半角200）文字以内で入力します。
- 録画動作設定は、録画と同時に使用できない機能を利用中に、録画を優先するか、操作を優先するかを設定します。
- 録画動作のマークの意味は次のとおりです。
  REC：録画優先　操作優先
  本体に保存　SD：microSDカードに保存
  本体優先で保存　microSDカード優先で保存
- 「自動（本体優先）」「自動（microSD優先）」にすると、最大保存件数／領域を超えるなどで優先した録画先に保存できないときは、録画先を自動的に切り替えます。
- MENU：視聴予約に変更

3 📷［登録］
- 視聴予約のときに開始時刻を過ぎていると、すぐに動作します。
- 録画予約のときに開始時刻の1分前を過ぎていると、録画準備を開始します。

予約内容の変更：MENU［再編集］

✔お知らせ

- 視聴予約や録画予約はスケジュールにも表示されます。

◆ 予約した日時になると

❖視聴予約の日時になると

ディスプレイに登録した予約内容が表示されます。FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに予約内容が表示されます。

- お知らせアラームが「あり」の場合、イルミネーション設定とキーイルミネーション設定の電話着信に従って動作します。
- 開始通知設定のワンセグの起動が「確認して起動」または「自動起動」のときは、アラームが鳴っている間に[終話]と[ワンセグ]と[検索]と[MULTI]と[▼]以外のキーを押すと、起動確認画面の表示またはワンセグの起動ができます。
- 視聴中の操作→P206
- 視聴を終了するには[終話]▶「はい」を選択します。

✔お知らせ

- 同じ日時に複数の視聴予約やメモのアラームを登録すると、登録した日時が最も後の視聴予約またはメモのアラームが有効になります。登録順によってはワンセグ視聴が連動起動されません。起動されなかった視聴予約やメモはアラーム停止後に[メール]を押すと確認できます。
- 録画中に視聴予約の時間になると、起動確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、録画しているものと違うチャンネルのときは、録画が終了します。
- 次の場合は、ワンセグの起動が「自動起動」になっていても動作せず、開始通知画面が表示されます。開始通知画面で[●]を押すと、起動確認画面の表示またはワンセグ視聴の起動ができます。
  - 通話中に指定した日時になったとき（このとき警告音が鳴ります）
  - アラームが鳴っている間に他の機能が起動したとき
- ワンセグと同時利用できない機能を利用中に指定した日時になると、ワンセグの起動の設定に関わらず、ワンセグ視聴を起動できません。

❖録画予約の日時になると

開始日時の1分前になると待受画面で[REC]が点滅し、録画準備が開始されます。時間になると点滅が止まり自動的に録画が開始されます。録画中は待受画面に[REC]または[REC SD]が表示されます。

- 録画を中止するには、フォーカスモード中に[REC]または[REC SD]を選択して「はい」を選択します。また、マルチタスク切り替えから全機能終了を行っても録画は終了します。→P314

✔お知らせ

- 放送波の受信状態が悪い場合は録画準備を行い、受信状態が良くなると録画を開始します。
- 予約時間が重複すると、開始時間が早い予約が遅い予約によって中断されます。ただし、開始時刻が同じ場合は後から登録した予約が優先されます。
- ワンセグ利用の確認画面を表示せずに予約を行った場合は録画できません。→P205
- 録画中に予約録画の時刻になったときは、予約録画が開始されます。録画中のチャンネルと予約録画のチャンネルが違う場合で、予約録画の録画動作設定が「操作優先」のときは、チャンネルを変更して新たに録画を開始するかどうかの確認画面が表示されます。
- ワンセグと同時利用できない機能を利用中に指定した日時になると、録画動作設定（→P210）に従って操作が中断されて録画が開始されるか、録画開始の確認画面が表示されます（一部のｉアプリでは録画動作設定に関わらず録画開始の確認画面が表示されます）。中断された機能では編集中のデータが破棄されることがあります。
- 他の機能を利用中に予約録画の準備が開始されたときは、Flash画像が一時停止するなど、利用中の機能の画面表示に影響を与える場合があります。

◆ 予約録画が終了すると

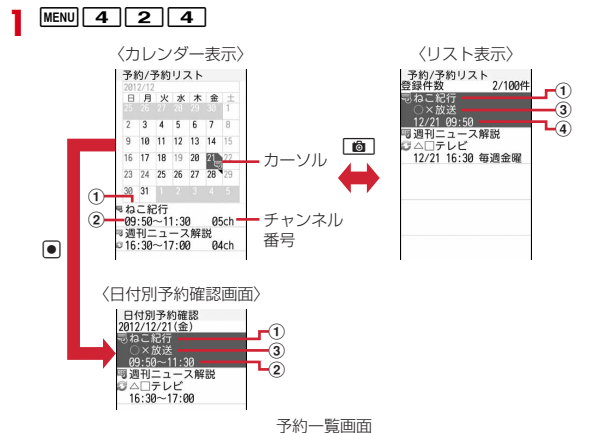
待受画面に予約録画の結果を示すアイコン（[NEW]／[NG]：予約録画完了／失敗）が表示されます。

- 複数の予約録画があるときは最後の録画予約履歴のアイコンが表示されます。
- 保存先やファイル名、注意事項は視聴中の録画と同じです。→P209
- 録画予約履歴→P212

◆ ワンセグ予約の確認・操作

予約の確認や編集、削除、ソートなどができます。

1 MENU 4 2 4

予約一覧画面

① 番組名
② 開始時間～終了時間※
③ 放送局
④ 開始日時

※ 長期間の予約の場合、開始時間は開始日のみ、終了時間は終了日のみ表示され、その他の日では日付が表示されます。

- [カメラ]を押すと、カレンダー表示とリスト表示が切り替わります。
- カレンダー表示で予約日を選択すると、日付別予約確認画面が表示されます。
- カレンダー表示では、[メール]／[iα]を押すと、月が切り替わります。
- マークの意味は次のとおりです。
  [視聴予約アイコン]：視聴予約　[録画予約アイコン]：録画予約
  [繰り返しアイコン]／[繰り返しアイコン]：繰り返しの予約　⇔／[長期間アイコン]：長期間の予約
- カレンダー表示下部、リスト表示、日付別予約確認画面では、開始日時が過ぎたマークはグレーで表示されます。

2 目的の操作を行う

予約詳細画面の表示：リスト表示または日付別予約確認画面で予約を選択

編集：リスト表示または日付別予約確認画面で予約にカーソル▶MENU［サブメニュー］▶2▶予約を編集▶[カメラ]［登録］▶[カメラ]［登録］

削除：MENU［サブメニュー］▶3▶項目を選択▶「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせた予約が削除されます。
- 1日削除で長期間の予約が含まれている場合は、長期間の予約を残して削除するかを選択します。
- 全件削除では認証操作が必要です。
- 操作できる削除の種類は各表示で異なります。

ソート：リスト表示でMENU［サブメニュー］▶4▶1～4

録画予約履歴の表示：カレンダー表示またはリスト表示でMENU［サブメニュー］▶5

表示・動作の設定：カレンダー表示またはリスト表示でMENU［サブメニュー］▶6 1▶各項目を設定▶[カメラ]［登録］

- 過去データ自動削除を「削除する」に設定すると予約日時が過ぎた予約が確認なしに削除されます。

カレンダーモードの設定：カレンダー表示でMENU［サブメニュー］▶6 2▶各項目を設定▶[カメラ]［登録］

キー操作一覧の表示：カレンダー表示でMENU［サブメニュー］▶7

✔お知らせ

- 開始から終了まで24時間以上の予約が長期間の予約です。長期間の予約と繰り返しの予約は同時に設定できません。
- リスト表示では、開始日時が過ぎた予約は開始日時が過ぎていない予約の後に表示されます。ただし、ソートした場合や表示・動作設定のソートを「開始日時昇順」以外に設定した場合を除きます。

◆ 録画予約履歴

録画予約履歴を表示します。履歴から録画した番組を再生することもできます。

- 最大50件記録できます。超過すると古いものから上書きされます。
- 他の予約と重なったために取り消されたり、開始日時に電源が入っていないなどで開始できなかった録画予約は記録されません。

1 MENU 4 2 5

- マークの意味は次のとおりです。
  [アイコン]：予約録画完了　[アイコン]：予約録画失敗

2 **目的の操作を行う**

履歴の詳細情報の表示：履歴にカーソル▶[カメラ]［詳細］
録画した番組の再生：完了した履歴を選択
- 録画した番組が移動、削除されたときは再生できません。

履歴の削除：[MENU]［サブメニュー］▶[1]または[2]▶「はい」
- 1件削除ではカーソルを合わせた履歴が削除されます。
- 全件削除では認証操作が必要です。

ワンセグ視聴・録画のユーザ設定

ワンセグ視聴や録画時のさまざまな設定を行います。

◆ワンセグ画面設定

照明の明るさ、字幕やアイコンの表示、メールやｉコンシェルのインフォメーション受信時のテロップの表示について設定します。

1 **[MENU][4][2][8][1]▶各項目を設定▶[カメラ]［登録］**
- 字幕表示を「通話中・マナー時表示」にすると、マナーモード中のワンセグ視聴起動時の音声出力確認画面で「いいえ」を選択したときや音声通話中に、字幕が表示されます。
- 字幕サイズを「大」にすると縦標準画面ではデータ放送が表示されません。
- 横画面（映像＋データ放送）の場合、字幕のサイズは変わりません。
- アイコン常時表示を「OFF」にしても、縦標準画面（字幕サイズ「大」）と横画面（映像＋データ放送）の画面下部のアイコンは表示されます。
- テロップ表示のメール受信時を「受信動作設定に従う」にすると、電話／メール着信時設定のメール着信時テロップ表示に従います。

◆ワンセグ音声設定

音声の種類を設定します。

1 **[MENU][4][2][8][2]▶各項目を設定▶[カメラ]［登録］**

◆表示・効果設定

データ放送サイトの画像表示、効果音再生、アクティブ操作切替について設定します。

1 **[MENU][4][2][8][3][1]▶各項目を設定▶[カメラ]［登録］**
- アクティブ操作切替を「ON」にすると、視聴中やビデオ再生中に[iα]を押すたびに、テレビ操作モードとデータ放送操作モードが切り替わります。また、画面の切り替えに合わせて操作モードが切り替わることがあります。
- 画像表示設定はｉモードブラウザ設定の画像表示設定にも反映されます。

◆ワンセグからトルカ取得の設定

ワンセグ視聴中や録画中に配信されるトルカを、自動的にFOMA端末の「トルカフォルダ」に保存するかを設定します。

1 **[MENU][4][2][8][3][2]▶[1]または[2]**

◆放送用保存領域削除

放送用保存領域内の情報を削除します。

1 **[MENU][4][2][8][3][3]▶系列放送局または個別事業者にカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[1]または[2]▶「はい」**
- 個別事業者の保存領域がある場合は、系列放送局を選択します。
- 1件削除ではカーソルを合わせた情報が削除されます。
- 全件削除では認証操作が必要です。

◆確認表示設定リセット

データ放送の確認画面で「はい（以後非表示）」を選択した確認画面を再度表示するようにします。

1 **[MENU][4][2][8][3][4]▶認証操作▶「はい」**

◆ クローズ動作設定

ワンセグ視聴中（録画中を含む）やビデオ再生中にFOMA端末を閉じたときの動作を設定します。

1 MENU 4 2 8 4 ▶ 1 〜 3

- 「ミュート」にすると、ワンセグ視聴や録画は継続したまま、音声のみ消えます（録画したビデオには音声は記録されます）。ビデオ再生は一時停止されます。
- 「継続」または「ミュート」にすると、FOMA端末を閉じているときでもデータ放送やデータ放送サイトの情報が更新され、パケット通信料がかかる場合があります。

◆ ビデオ再生設定

ワンセグで録画したビデオ再生時の、CM自動スキップ、録画されなかった部分のスキップ（オートスキップ）、スキップする際に通知するかを設定します。

1 MENU 4 2 8 5 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷 ［登録］

◆ 録画設定

ワンセグで録画するビデオの録画先や録画終了時間を設定します。

- 録画予約には無効です。

1 MENU 4 2 8 6 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷 ［登録］

- 録画先は、設定後に録画するものから適用されます。
- 録画先を「自動（本体優先）」「自動（microSD優先）」にすると、最大保存件数／領域を超えるなどで優先した録画先に保存できないときは、録画先を自動的に切り替えます。

マイク付リモコン

マイク付リモコン F01（別売）でワンセグ視聴中の操作ができます。

▶/II（1秒以上）※1：ワンセグ視聴を終了（データ放送サイト含む）
＋ − ：音量調整
視聴中に ＋（1秒以上）※1、2：次のチャンネルを選択
視聴中に −（1秒以上）※1、2：前のチャンネルを選択
◀HOLD（▼方向へスライド）：▶/II、＋、−のキー操作無効
◀HOLD（▼と逆側へスライド）：キー操作無効を解除
※1　ワンセグ視聴画面以外では無効です。
※2　アクティブ操作切替が「ON」でデータ放送操作モードのときは無効です。

Music

ミュージックプレーヤー

Music&Videoチャネル

さまざまな操作で音楽を楽しむ

音楽データの取り扱いについて

- 本書では、ミュージックプレーヤーで再生する着うたフル®とWMA（Windows Media® Audio）ファイルを合わせて「音楽データ」と記載しています。
- FOMA端末では、著作権保護技術で保護されたWMAファイルや着うたフル®を再生できます。
- インターネット上のホームページなどから音楽データをダウンロードする際には、あらかじめ利用条件（許諾、禁止行為など）をよくご確認のうえ、ご利用ください。
- 著作権保護技術で保護されたWMAファイルは、FOMA端末固有の情報を利用して再生しています。故障や修理、電話機の変更などでFOMA端末固有の情報が変更された場合は、既存のWMAファイルは再生できなくなることがあります。
- CCCD（コピーコントロールCD）の取り扱いや、音楽データをWMAファイルに変換できない場合の対処については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末およびmicroSDカードに保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用できます。ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。また、FOMA端末やmicroSDカードに保存した音楽データは、パソコンなどの他の媒体にコピーまたは移動しないでください。

ミュージックプレーヤー

サイトからダウンロードした着うたフル®や、音楽CDやインターネットなどから取得したWindows Media® Audio（WMA）ファイルをパソコンから取り込んで再生します。また、サイトからダウンロードしたうた文字を、歌詞設定することでプレーヤー画面に表示することもできます。

- ｉモードから取得した音声のみのｉモーションは、データBOXから再生します（→P278）。microSDカードに保存すればmicroSDカードからも再生できます（→P285、291）。
- 音楽を聴きながらメールやｉモードサイトの表示などを利用することができます（バックグラウンド再生）。→P313
- Bluetooth機器やステレオイヤホンセット（またはステレオスピーカー）を利用して、ステレオサウンドで再生できます。
- microSDカードの取り扱いや使用時の留意事項→P284
- ミュージックプレーヤーの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- Windows Media Playerについては、お使いのパソコンの各パソコンメーカにお問い合わせください。

❖うた・ホーダイ

お客様がコンテンツプロバイダと契約を結んでいる期間のみ再生が可能な着うたフル®です。
再生期限は、音楽データとともにダウンロードされるライセンス情報により指定されます。再生期限満了で再生できなくなった場合でも、ライセンス更新を行うことにより再生が可能になります。

音楽データやうた文字の保存

- 最大保存件数／領域を超えたとき→P299
- メモリ確認→P299
- microSDカードの使用状況確認→P293

◆着うたフル®、うた文字のダウンロード

データをサイトからダウンロードして、FOMA端末またはmicroSDカードに保存します。

- 着うたフル®は1件あたり最大5Mバイトで、FOMA端末に最大100件、microSDカードに最大1000件保存できます。
- うた文字は1件あたり最大50Kバイトで、FOMA端末に最大100件保存できます。microSDカードには保存できません。
- うた文字が含まれている着うたフル®があります。
- ダウンロード中に再生期限、再生期間を過ぎた場合は、再生および保存はできません。ただし、うた・ホーダイの場合、再生はできませんが、保存はできます。

1 着うたフル®またはうた文字があるサイトを表示▶着うたフル®またはうた文字を選択

ダウンロードが開始されます。
- ダウンロード中に●を押すと、ダウンロードを中止します。

2 「保存」

再生：「再生」
- うた文字では操作できません。

途中までダウンロードした着うたフル®の保存：「部分保存」
- ダウンロードが中断され、再開確認画面で「いいえ」を選択したときに操作できます。

情報表示：「情報表示」
保存の中止：「戻る」▶「いいえ」

3 「本体」または「microSD」

- 部分保存の場合、microSDカードには保存できません。
- 歌詞設定できるうた文字があるときは、歌詞設定の確認画面が表示されます。

◆ WMAファイルの保存

Windows Media Playerを利用して、パソコンに保存されているWMAファイルをmicroSDカードに保存します。

- **対応するパソコンのOSとWindows Media Playerのバージョンは、次のとおりです。**
  - **Windows XP Service Pack 2以降:Windows Media Player 10/11**
  - **Windows Vista:Windows Media Player 11**
  - **Windows 7:Windows Media Player 12**
- 操作方法については、Windows Media Player10/11/12のヘルプをご覧ください。
- 転送したWMAファイルの操作や表示が遅くなるなど十分な性能が得られないことがあるため、パソコンのOSやWindows Media Playerは常にアップデートしておくことをおすすめします。
- 最大1000件登録できます。FOMA端末には保存できません。
- パソコンからプレイリストを最大100件転送できます。
- 他のFOMA端末でmicroSDカードに保存されたWMAファイルはF-01Eで表示・再生されない場合があります。また、他のFOMA端末でWMAファイルを転送したmicroSDカードを使用すると、MTPモードに切り替えてもパソコンで認識されないことがあります。これらの場合には、WMA一括削除(→P223)を行うか、microSDカードを初期化(→P293)してください。microSDカードを初期化すると音楽ファイル以外のデータもすべて削除されますのでご注意ください。

1 USBモードを「MTPモード」に設定する

- USBモード→P294

2 Windows Media Playerを起動した状態でパソコンとFOMA端末をUSBケーブルで接続▶パソコンからWMAファイルを転送

- 接続方法→P295

✔お知らせ

- データ転送中にUSBケーブルを外すと、誤動作やデータ消失の原因となります。
- パソコンから音楽データが転送できないときは「ポータブルデバイス用パソコン環境診断」を使用して、お使いのパソコンでの最適な対処方法を確認できます。
  ポータブルデバイス用パソコン環境診断については、パソコンから次のホームページをご覧ください。
  FMWORLD(http://www.fmworld.net/)→携帯電話→WMP環境診断ツール

ミュージックプレーヤーの画面の見かた

■ フォルダ一覧画面

- フォルダや機能の内容は次のとおりです。
  続きから再生:前回の続きから再生
  全曲:すべてのデータを表示(歌詞設定中のうた文字を除く)
  プレイリスト:プレイリスト一覧画面を表示
  アーティスト/アルバム/ジャンル/ファイル種別:各情報別にフォルダを表示
  - 「アーティスト」フォルダを選択すると、さらにアルバム情報別のフォルダ一覧画面が表示されます。

  うた文字:すべてのうた文字を表示(着うたフル®に含まれているうた文字を除く)
  iモードで探す:iモードサイトから曲を探す→P216
- 再生中の音楽データがあるフォルダの前には▶が表示されます。

■ プレイリスト一覧画面

- フォルダの内容は次のとおりです。
  →転送プレイリスト:microSDカードのプレイリスト一覧を表示
  →ユーザプレイリスト:FOMA端末本体のプレイリスト一覧を表示
- アイコンの意味は次のとおりです。
  :FOMA端末で作成したプレイリスト(クイックプレイリスト含む)
  :パソコンから転送したプレイリスト
- 再生中の音楽データがあるプレイリストの前には▶が表示されます。

■ データ一覧画面

データ一覧画面

① **現在開いているフォルダ／プレイリスト**

② **ファイル種別**

- 再生中の音楽データの前には▶が表示されます。

：着うたフル® ：着うたフル®（再生回数制限あり）
：着うたフル®（再生期限制限あり）
：着うたフル®（再生期間制限あり）
：着うたフル®（うた・ホーダイ） ：WMAファイル ：うた文字
：ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能により再生不可の着うたフル®
：ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能により使用不可のうた文字
：部分的に取得した着うたフル® ：存在しないデータ

③ **タイトル**

④ **ジャケット画像**

⑤ **アーティスト名**

⑥ **曲の再生時間**

⑦ **保存場所**

：FOMA端末 ：microSDカード

⑧ **取得元**

：ｉモード ：データ交換

⑨ **ファイル制限**

：ファイル制限あり

⑩ **DRM情報**

（オレンジ）：再生制限あり（再生可能）
（グレー）：再生制限あり（再生不可）

⑪ **歌詞設定**

：歌詞設定中 ：うた文字が含まれている

- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに項目名が表示されます。フォルダやプレイリストの前には、音楽データの前には♪、うた文字の前にはが、ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能により再生不可のデータの前には⚠が表示されます。

■ プレーヤー画面

プレーヤー画面

① **曲タイトル**

② **アーティスト名**

③ **曲のジャケット画像**

④ **うた文字**

⑤ **再生位置インジケータ**

⑥ **再生状態**

PLAY：再生中 **STOP**：停止中 **PAUSE**：一時停止中
FF：早送り中 **FR**：巻き戻し中

⑦ **再生時間／トータル時間**

⑧ **曲番号**

⑨ **再生モード**

➡：通常再生 ：1曲リピート ：全曲リピート
：シャッフル ：シャッフルリピート

⑩ **Bluetooth、FMトランスミッタ出力**

：Bluetooth出力中 ：FMトランスミッタ出力中

⑪ **マナー再生**

：マナー再生ON

⑫ 再生音量

- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに、マーク、曲番号／フォルダやプレイリスト内の曲数、曲タイトル／アーティスト名が表示されます。マークの意味は次のとおりです。
  ▶：再生中　■：停止中　❚❚：一時停止中　1曲リピート
  ：全曲リピート　：シャッフル

✔お知らせ

- FOMA端末のプレイリストに登録されている曲の元データが認識できなくなると、プレイリストで表示される曲名は「不明」になり再生できなくなります。

音楽データの再生

FOMA端末やmicroSDカードに保存した音楽データを再生します。

- FOMA端末を開いた状態で再生中、プレーヤー画面の照明は常時点灯します。

1 [MENU][4][3]

- サイドキー長押し設定がお買い上げ時の状態のときは、FOMA端末を閉じて を1秒以上押しても、ミュージックプレーヤーを起動できます。
- FOMA端末を閉じているときは、フォルダ・プレイリスト・データ一覧画面で を押すとカーソル移動、 を押すと項目の選択ができます。

2 フォルダを選択▶音楽データを選択

プレーヤー画面が表示され、再生が開始されます。操作によって、ランプが点灯、点滅します。

- フォルダによっては、さらにフォルダやプレイリストを選択する必要があります。
- プレイリスト一覧画面やデータ一覧画面で、[1]を押すと先頭に、[2]～[9]を押すと全項目数の約9分の1ずつ先の位置に、[0]を押すと末尾にカーソルが移動します。
- ダウンロードに失敗して部分的に取得した着うたフル®を選択すると、残りのデータの取得確認画面が表示されます。再取得できなかったときは、部分的に保存されていたデータは削除されます。
- 再生期限の更新が必要なうた・ホーダイがある場合は、更新の確認画面が表示されます。→P220

前回の続きから再生：「続きから再生」

プレイリストの再生：「プレイリスト」フォルダを選択▶プレイリストにカーソル▶[✉]［再生］

✔お知らせ

- 次の場合は再生が一時停止されます。動作終了後に自動的に再開されます。
  - 電話の着信があったとき
  - メールやメッセージR/F、SMSを受信したとき（受信・自動送信表示が「通知優先」の場合）
  - お知らせタイマーやアラーム、メモのアラームで指定した時刻や日時になったとき
  - 同時に使用できない機能が実行されたとき
- 同時に多くの機能を利用すると、再生中の曲が途切れる場合があります。

❖プレーヤー画面での操作

プレーヤー画面では、次の操作ができます。

一時停止／再開：［ポーズ／再生］または

- 一時停止中に約2分経過すると停止状態になります。

停止：[✉]［停止］

音量調整： または

消音／消音解除：[✓]

巻き戻し／早送り：（1秒以上）

曲の先頭に移動：再生時間が2秒以上で または（1秒以上）

前の曲に移動：再生時間が2秒未満で または（1秒以上）

次の曲に移動： または（1秒以上）

うた文字の全文表示：[📷]［歌詞表示］

タイトル、アーティスト名、作詞者名、歌詞が表示されます。

- うた文字が設定されている音楽データ再生中に操作できます。一時停止中は操作できません。

サイトに接続してうた文字を検索：[📷]［歌詞検索］▶「はい」

- うた文字が未設定の音楽データ再生中に操作できます。

再生しながら1つ前の画面を表示：[CLR]

- プレーヤー画面に戻るには、[iα]を押します。

再生しながらデータ一覧画面とプレーヤー画面を切り替える：[iα]［LIST／PLAYER］

再生位置のジャンプ：[1]～[9]

- [1]を押すと先頭に、[2]～[9]を押すと総再生時間の約9分の1ずつ先の位置にジャンプします。

クイックプレイリストに登録： をすばやく2回押す

ミュージックプレーヤーの終了：（1秒以上）

■ サブメニューからの操作

サブメニューには、「再生設定」「プレイリストに登録」「うた文字」「FMトランスミッタ出力」「Bluetooth出力」「情報表示」「画像表示」「歌詞表示」があります。

- 「再生設定」には、「再生モード設定」「マナー再生設定」があります。
- 「うた文字」には、「歌詞表示」「ｉモードで探す」「歌詞設定解除」「チューニング」があります。
- 「FMトランスミッタ出力」には、「ON／OFF」「周波数設定」「起動時自動出力設定」があります。
- 「Bluetooth出力」には、「ON／OFF」「起動時自動接続設定」があります。
- 「マナー再生設定」を「ON」にすると、最大音量は「15」になります。
- 「プレイリストに登録」は、停止中のみ操作できます。
- 「チューニング」では、うた文字の表示されるタイミングを調整します。最大約12秒（レベル24）早くまたは遅くできます。
- 「起動時自動接続設定」を「ON」にすると、ミュージックプレーヤーの起動時にBluetooth機能の通常接続機器（オーディオ）設定を「設定」にしたBluetooth機器と自動的に接続を行います。
- 「画像表示」「歌詞表示」は、音楽データがJPEGまたはGIF形式の画像や歌詞画像を含む場合のみ操作できます。画像表示中は、[カメラ]を押して保存可能な画像を保存（停止中のみ）したり、[方向キー]を押して前後の画像に切り替えたりできます。

❖音楽データに再生制限が設定されているとき

再生回数、再生期限、再生期間の制限がある場合があり、制限を超えると音楽データは再生できなくなります。

- 着うたフル®の残り再生回数、再生期限、再生期間は情報表示で確認できます。
- 日付・時刻を変更しても、再生制限の期限や期間は変更できません。

■ うた・ホーダイの再生期限について

期限が過ぎると、再生期限更新の確認画面が表示されます。更新する場合は、[MENU]を押します。

- 更新にはサイトへの接続が必要です。接続の際にはパケット通信料がかかります。

✔お知らせ

- うた・ホーダイの再生期限には、再生期限が過ぎた後に数日間の猶予期間が設定されている場合があります。
- うた・ホーダイをダウンロードした際に使用していたドコモminiUIMカードと異なるドコモminiUIMカードを挿入してミュージックプレーヤーを使用する場合は、データ一括削除をおすすめします。→P124
- ライセンスの有効期限が切れたサイトからうた・ホーダイをダウンロードすると、ダウンロード前に確認画面が表示されます。[MENU]を押してライセンスを更新するとダウンロードできます。
- 着信音やアラーム音に設定したうた・ホーダイが再生できなくなった場合は、お買い上げ時の音が鳴ります。
- 国際ローミング中の再生期限の更新にかかるパケット通信料は、ｉモードパケット定額サービスの適用対象外です。
- 再生できなくなったWMAファイルは、パソコンで再生期限内であることを確認し、FOMA端末をパソコンに接続して同期をとると再生できます。→P217
- 時差のある海外では、うた・ホーダイの再生期限は現地時間で表示されます。日本時間で再生期限が過ぎると、表示されている現地時間に関わらず再生できなくなりますのでご注意ください。

音楽データやうた文字の管理・利用

着うたフル®やWMAファイル、うた文字のデータ管理をしたり、データを利用して歌詞設定やプレイリスト登録、着信音設定をしたりできます。

- 再生中や一時停止中は操作できない機能があります。

◆着うたフル®の保存先移動

FOMA端末とmicroSDカードの間で移動します。

- 情報表示のmicroSDへの移動／本体への移動が「可」または「可（同一機種間）」の場合のみ移動できます。

1 [MENU][4][3]▶「プレイリスト」以外のフォルダを選択

- フォルダによっては、さらにフォルダを選択する必要があります。

2 着うたフル®にカーソル▶MENU［サブメニュー］▶7▶1～3▶「はい」

- 選択移動では選択操作▶📷が必要です。
- 選択移動と全件移動は、「ファイル種別」フォルダ内でのみ操作できます。

✔お知らせ

- 部分的に保存、または再生制限に達している着うたフル®は移動できません。また、WMAファイルやうた文字も移動できません。
- 着信音に設定されている着うたフル®をFOMA端末からmicroSDカードへ移動すると、着信音はお買い上げ時の設定に戻ります。

◆ 音楽データやうた文字の削除

保存先からデータを削除します。

1 MENU 4 3▶「プレイリスト」以外のフォルダを選択

- フォルダによっては、さらにフォルダを選択する必要があります。

2 データにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶3▶1～3▶「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせたデータが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶📷が、全件削除では認証操作が必要です。
- フォルダ内にあるすべてのデータを削除すると、そのフォルダも削除されます。ただし、お買い上げ時に登録されているフォルダは削除されません。

フォルダごと削除：フォルダにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶1▶1～3▶認証操作▶「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせたデータが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶📷が必要です。
- フォルダによっては、削除できません。

✔お知らせ

- 着信音に設定されている音楽データを削除すると、着信音はお買い上げ時の設定に戻ります。
- 歌詞設定中のデータを削除すると、歌詞設定も解除されます。

◆ 歌詞設定

音楽データの再生中、プレーヤー画面にうた文字の歌詞が表示されるようにします。うた文字によっては、曲に合わせて文字の色が変わります。

- うた文字があらかじめ音楽データに含まれている場合は、設定または解除できません。

〈例〉音楽データから歌詞設定する

1 MENU 4 3▶「プレイリスト」以外のフォルダを選択

- フォルダによっては、さらにフォルダを選択する必要があります。

2 音楽データにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶2 2▶フォルダを選択▶うた文字を選択▶「はい」

うた文字から歌詞設定：うた文字にカーソル▶MENU［サブメニュー］▶2 2▶フォルダを選択▶音楽データにカーソル▶📷［決定］▶「はい」

歌詞設定先音楽データの確認：歌詞設定中のうた文字を選択

サイトに接続してうた文字を検索：音楽データにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶2 1▶「はい」

解除：データにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶2 3▶「はい」

◆ 音楽データのプレイリスト登録

音楽データフォルダからプレイリストに登録できます。

- プレイリストの利用→P223

1 MENU 4 3▶「プレイリスト」以外のフォルダを選択

- フォルダによっては、さらにフォルダを選択する必要があります。

2 音楽データにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶1▶1～3

- 選択登録では選択操作▶📷が、全件登録では「はい」の選択が必要です。

3 目的の操作を行う

作成済みのプレイリストに追加登録：プレイリストを選択
プレイリストを新規作成して登録：[📷]［新規］▶プレイリスト名を入力（80文字以内）▶[📷]［確定］
プレイリスト内の音楽データをすべて上書き：プレイリストにカーソル▶[✉]［上書］▶「はい」

◆ 着うたフル®の着信音設定

着うたフル®全体を着信音にする「まるごと着信音」と、一部分を着信音にする「オススメ着信音」があります。

- 情報表示のまるごと着信音設定およびオススメ着信音設定が「不可」になっている着うたフル®、WMAファイルは着信音に設定できません。

1 [MENU][4][3]▶フォルダを選択

- フォルダによっては、さらにフォルダを選択する必要があります。

2 着うたフル®にカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[4]▶[1]～[9]▶[1]または[2]

- 「オススメ設定」を選択したときは、続けて、設定する部分にカーソルを合わせて[📷]を押します。
- メモリ指定着信音（電話、メール）に設定するときは、設定する電話帳を選択して、[📷]を押します。
- 着うたフル®がmicroSDカードに保存されている場合は、続けて「はい」を選択します。着うたフル®はFOMA端末に移動されます。

◆ 音楽データやうた文字の情報表示

音楽データやうた文字のさまざまな情報を確認できます。また、変更可能な情報を変更できます。

1 [MENU][4][3]▶フォルダを選択

- フォルダによっては、さらにフォルダを選択する必要があります。

2 データにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[5]

- データによって表示される情報の種類が異なります。
- 情報表示中に[iα]を押すと、「URL情報」に表示されているサイトへの接続確認画面が表示されます。
- 「トラック番号」はアルバム内の曲番号／アルバム内総曲数を表示します。ただし、WMAファイルでは総曲数は表示できません。
- 「ファイル名」に拡張子は表示されません。
- 「ファイル種別」の「ミュージック」は着うたフル®、「ミュージック（会員制）」はうた・ホーダイのファイルであることを示します。
- 「音」は音楽データの形式とビットレートを表示します。

情報の変更：データにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[6]▶[1]～[8]▶変更内容を入力▶[📷]［確定］

- 最後に再生した音楽データの情報を変更すると「続きから再生」での再生ができない場合があります。
- 音楽データ再生中は情報を変更できません。
- WMAファイルの情報は変更できません。
- うた文字はタイトルのみ変更できます。
- タイトル、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、コメントは全角126（半角253）文字以内、年は半角数字4桁以内、トラック番号、総トラック数は半角数字3桁以内で入力します。ただし、データがmicroSDカードに保存されている場合、タイトルは全角31（半角63）文字以内で入力します。

情報をオリジナルに戻す：データにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[6][9]▶「はい」

◆ WMA一括削除

microSDカードに保存されたWMAファイルを全て削除します。
• パソコンから転送したプレイリストも削除されます。

1 MENU 4 3 ▶「ファイル種別」フォルダを選択▶「WMA」にカーソル▶ ✉［全削除］▶認証操作▶「はい」

プレイリストの利用

プレイリストを利用して、任意の音楽データを好きな演奏順で管理できます。
• プレイリストはFOMA端末に最大10件作成できます。
• 1つのプレイリストに最大99件の音楽データを登録できます。
• パソコン上で作成したプレイリストを転送できます。→P217
• クイックプレイリストは、再生中の操作（→P219）で登録できるプレイリストです。
• 再生中や一時停止中は操作できない機能があります。

◆ プレイリストの作成

プレイリストを新規作成します。
• クイックプレイリストの新規作成はできません。

1 MENU 4 3 ▶「プレイリスト」フォルダを選択

2 ユーザプレイリスト一覧画面で 📷［新規］▶プレイリスト名を入力（80文字以内）▶ 📷［確定］

◆ プレイリスト内音楽データの管理

音楽データの登録や解除、並び順の変更をします。
• パソコンから転送したプレイリストでは、操作できません。

1 MENU 4 3 ▶「プレイリスト」フォルダを選択▶ユーザプレイリスト一覧画面でプレイリストを選択

2 目的の操作を行う

音楽データの追加登録： 📷［曲追加］▶フォルダを選択▶音楽データにカーソル▶ 📷［決定］

プレイリストから削除： 音楽データにカーソル▶ MENU［サブメニュー］▶ 2 ▶ 1 ～ 3 ▶「はい」
• 音楽データ自体は削除されません。
• 1件削除ではカーソルを合わせたデータが削除されます。
• 選択削除では選択操作▶ 📷が必要です。

音楽データの並べ替え： MENU［サブメニュー］▶ 3 ▶音楽データを選択▶移動先を選択▶ 📷［完了］

プレイリストの更新： MENU［サブメニュー］▶ 7 ▶「はい」

◆ プレイリストの管理

プレイリスト名の編集や削除、移動、複製をします。

1 MENU 4 3 ▶「プレイリスト」フォルダを選択

2 目的の操作を行う

プレイリスト名の編集： プレイリストにカーソル▶ MENU［サブメニュー］▶ 1 2 ▶プレイリスト名を入力（80文字以内）▶ 📷［確定］
• クイックプレイリストでは操作できません。

削除： プレイリストにカーソル▶ MENU［サブメニュー］▶ 2 ▶ 1 ～ 3 ▶「はい」
• 1件削除ではカーソルを合わせたプレイリストが削除されます。
• 選択削除では選択操作▶ 📷が、全件削除では認証操作が必要です。
• クイックプレイリストは削除できません。

1つ上に移動： プレイリストにカーソル▶ MENU［サブメニュー］▶ 3

複製： プレイリストにカーソル▶ MENU［サブメニュー］▶ 4 ▶プレイリスト名を入力（80文字以内）▶ 📷［確定］

Music&Videoチャネル

Music&Videoチャネルとは、事前にお好みの音楽番組などを設定するだけで、夜間に最大2時間程度の音声番組が自動配信されるサービスです。また、最大1時間程度の高画質な動画番組を楽しむこともできます。番組は定期的に更新され、配信された番組は通勤や通学中など好きな時間に楽しむことができます。
Music&Videoチャネルは2013年3月31日をもってサービスを終了させていただきます。
また、2012年9月30日をもって新規お申し込み受付を終了いたしました。

■ Music&Videoチャネルのご利用にあたって

- Music&Videoチャネルは有料サービスです。（ご利用にはｉモード契約およびｉモードパケット定額サービス契約が必要です。）
- Music&Videoチャネルのサービス利用料の他に、番組によって別途情報料がかかる場合があります。
- Music&Videoチャネルにご契約いただいた後、Music&Videoチャネル非対応のFOMA端末にドコモminiUIMカードを差し替えた場合、Music&Videoチャネルはご利用いただけません。ただし、Music&Videoチャネルを解約されない限りサービス利用料がかかりますので、ご注意ください。
- 国際ローミング中は番組設定や取得は行えません※。海外へお出かけの際は、事前に番組の配信を停止してください。また、帰国された際は、番組の配信を再開してください。
  ※ 国際ローミング中に番組設定や取得を行おうとした場合、ｉモード接続を行うためパケット通信料がかかりますのでご注意ください。
- Music&Videoチャネルで番組を聴きながらメールやｉモードサイトの表示などをすることができます（バックグラウンド再生）。ただし、動画番組および時刻連動番組ではできません。→P313
- Music&Videoチャネルの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード編）』をご覧ください。

番組の設定／確認／解除

Music&Videoチャネルの配信する番組の設定や確認、解除をします。

- 2番組まで設定できます。設定するには、Music&Videoチャネル番組提供サイトへのマイメニュー登録が必要なものもあります。

1 MENU 4 4

Music&Videoチャネル画面

① **カーソル位置の番組の画像**
- 番組に画像がないときは[画像]が表示されます。
- 再生制限により再生できないときは[画像]が表示されます。

② **番組の状態と各種制限**
[アイコン]：すべて取得した番組　[アイコン]：取得に失敗した番組
NEW：未再生の番組　[アイコン]：再生制限または操作制限あり
[アイコン]：時刻連動番組

③ **番組の表示名**
番組取得前は「番組なし」、番組取得中は「ダウンロード中」と表示されます。

④ **次回番組更新予定日**

⑤ **サービスメニュー**

2 **「番組設定」▶画面の指示に従って番組を設定、確認、解除**

- お買い上げ時やドコモminiUIMカードを差し替えたときなどにサービスメニューを選択すると、番組設定情報確認の確認画面が表示されます。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード編）』をご覧ください。

✔お知らせ
- 異なるドコモminiUIMカードに差し替えて番組の設定を行う場合は、まず番組設定から番組設定情報の確認を行ってください。番組設定情報の確認を行うと、保存番組フォルダに移動していない番組は削除される場合があります。
- 番組の設定を解除してもマイメニュー登録は削除されません。

❖番組を設定すると

番組配信時間の12時間前になると、ディスプレイにが表示されます。番組の取得は、夜間に自動的に行われます。
- 成功すると待受画面にが、失敗するとが表示されます。

✔お知らせ
- 取得した番組は、データBOXのMusic&Videoチャネルの配信番組フォルダにチャネルごとに一時的に保存されます。その番組のあるチャネルが更新されると、配信番組フォルダの番組は上書きされ再生できなくなります。再生可能な期間中に更新前の番組を再生したい場合は、他のフォルダに移動します。→P227
- 電池残量が少ない場合、番組の取得はできません。また、番組取得には時間がかかる場合がありますので、十分に充電をして電波状況のよい環境でご利用ください。
- 番組取得中に通信が途切れたときは、約3分間隔で5回まで自動的に再取得を行います。
- FOMA端末の電源が入っていない、電池残量が少ない、圏外、電波状態が悪いなどで番組を取得できなかった場合は、翌日の夜間の同時間帯に再取得を行います。
- 次の場合は、番組を自動的に取得できません。Music&Videoチャネル画面から再度番組を設定してください。
  - 番組を設定した後に他のドコモminiUIMカードに差し替えた、またはドコモminiUIMカードを別のMusic&Videoチャネル対応FOMA端末に差し替えたとき
  - FOMA端末のデータ一括削除を行ったとき
- Music&Videoチャネル、ｉモードの解約を行うと、配信番組フォルダの番組が削除される場合があります。

❖番組の手動取得

Music&Videoチャネルの番組の取得に失敗した場合は、手動で残りを取得できます。
- 取得できない時間帯のときはメッセージが表示されます。
- 取得が中断されても、取得されたチャプターまでは再生できます。

1 MENU 4 4 ▶番組を選択▶「はい」

番組の再生

配信されたMusic&Videoチャネルの番組を再生します。

1 MENU 4 4

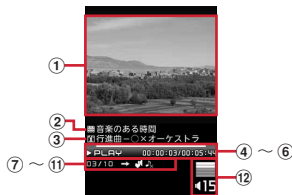
2 番組を選択

Music&Videoチャネルプレーヤーが起動し、番組の最初、または前回再生を中止したチャプターの先頭から再生されます。時刻連動番組の場合は、連動する時間から再生されます。

データBOXのMusic&Videoチャネルの表示：📷［データBOX］
- データBOXからのMusic&Videoチャネル操作→P228

番組情報の確認：番組にカーソル▶MENU［サブメニュー］▶1

チャプター一覧の確認：番組にカーソル▶MENU［サブメニュー］▶3
- マークの意味は次のとおりです。
  : 音声番組　: 動画番組　: 取得に失敗　: 再生中
- 一覧のサブメニューからチャプター情報を確認できます。また、再生可能な番組は●を押すと再生できます。
- 番組によっては表示できません。

❖Music&Videoチャネルプレーヤー画面の見かた

Music&Videoチャネルプレーヤー画面

① チャプター画像／動画または番組画像
- 表示できない場合があります。

② 番組タイトル

③ チャプタータイトル、アーティスト名または作成者名

④ 再生位置インジケータ

⑤ 再生状態
PLAY：再生中　STOP：停止中　PAUSE：一時停止中
FF：早送り中　FR：巻き戻し中

⑥ 再生時間／トータル時間

⑦ 再生チャプター番号／全チャプター数

⑧ リピート再生
：リピートOFF　：リピートON

⑨ Bluetooth機器／FMトランスミッタ出力
: Bluetooth機器出力ON　: FMトランスミッタ出力ON

⑩ マナー再生
: マナー再生ON

⑪ 映像／音声の非対応
: 映像非対応　: 音声非対応

⑫ 再生音量
- FOMA端末を閉じても再生が継続されます。背面ディスプレイにマーク（▶: 再生中、■: 停止中、▮▮: 一時停止中、: リピート再生）、再生チャプター番号／全チャプター数、チャプタータイトル／アーティスト名または作成者名が表示されます。

❖番組再生中の操作

Music&Videoチャネルの番組再生中は次の操作ができます。なお、の操作は、映像の向きに合わせて変わります。

一時停止／再生：［ポーズ／再生］または
停止：［停止］
音量調整：または
消音／消音解除：
巻き戻し／早送り：（1秒以上）
チャプターの先頭に移動：再生時間が2秒以上でまたは（1秒以上）
前のチャプターに移動：再生時間が2秒未満でまたは（1秒以上）
次のチャプターに移動：または（1秒以上）
全画面／通常画面の切替：［表示切替］
- 動画番組のみ操作できます。

再生中のチャプターまたは番組にURL情報があるときにサイト接続：
［Web To］▶「はい」

再生位置のジャンプ：1～9
- 1を押すとチャプターの先頭に、2～9を押すとチャプター再生時間の約9分の1ずつ先の位置にジャンプします。

■ サブメニューからの操作

サブメニューには、「チャプター一覧」「FMトランスミッタ出力」「Bluetooth出力」「再生設定」「チャプター情報」「番組情報」があります。
- 「FMトランスミッタ出力」には、「ON／OFF」「周波数設定」「起動時自動出力設定」があります。
- 「Bluetooth出力」には、「ON／OFF」「起動時自動接続設定」があります。
- 「再生設定」には、「リピート」「マナー再生設定」「照明点灯時間設定※」「全画面モード切替※」があります。
※ 動画番組のみ
- 「起動時自動接続設定」を「ON」にすると、Music&Videoチャネルの起動時にBluetooth機能の通常接続機器（オーディオ）設定を「設定」にしたBluetooth機器と自動的に接続を行います。
- 「マナー再生設定」を「ON」にすると、最大音量は「15」になります。
- 「照明点灯時間設定」を「端末設定に従う」にすると、照明設定の照明点灯時間設定（通常時）の設定に従って照明が点灯します。

❖番組に再生制限が設定されているとき

番組によっては、再生回数、再生期限、再生期間の制限がある場合があり、制限を超えると番組は再生できなくなります。
- 日付・時刻を変更しても、再生制限の期限や期間は変更できません。
- 海外で使用した場合、表示される期限より前または後に再生期限が切れることがあります。

✔お知らせ
- 再生中は、操作によってランプが点灯、点滅します。
- 次の場合は再生が一時停止されます。時刻連動以外の音楽番組の場合は、動作終了後に自動的に再開されます。
  - 電話の着信があったとき
  - メールやメッセージR/F、SMSを受信したとき（受信・自動送信表示が「通知優先」の場合）
  - お知らせタイマーやアラーム、メモのアラームで指定した時刻や日時になったとき
- 同時に多くの機能を利用すると、再生中の曲が途切れる場合があります。
- 番組の中には、時刻に連動して再生する番組（時刻連動番組）があり、再生できる時間が決まっています。時刻連動番組の再生には自動時刻・時差補正が必要です。→P49
- 時刻連動番組では、一時停止や巻き戻しなど一部の操作ができません。
- 部分的に取得した番組を選択すると、残りをダウンロードするかの確認画面が表示されます。「途中まで再生」を選択すると、取得したチャプターまで再生されます。時刻連動番組は、すべて取得しないと再生できません。
- 更新に失敗した番組を選択すると、再度ダウンロードの確認画面が表示されます。「そのまま再生」を選択すると、前回取得済みの番組が再生されます。
- 再生中に再生制限を超えた場合は、巻き戻しやチャプター戻しなど一部の操作ができません。

◆番組の移動

Music&Videoチャネルの番組が更新されると、古い配信番組が上書きされます。上書きされたくないときは、番組をデータBOXのMusic&Videoチャネルの保存番組フォルダまたはmicroSDカードへ移動します。
- microSDカードへ移動できるかどうかは、番組情報の「microSDへの移動」で確認できます。

1 MENU 4 4 ▶番組にカーソル▶ MENU ［サブメニュー］▶ 4

2 目的の操作を行う

保存番組フォルダへ移動：1
microSDカードへ移動：2 1
microSDカードの移動先フォルダの設定：2 2 ▶フォルダにカーソル▶ 📷 ［確定］

✔お知らせ
- 最大保存件数／領域を超えたとき→P299
- 取得に失敗したり、移動が制限されていたり、再生制限に達していたりする番組、時刻連動番組は移動できません。

◆番組の削除

配信されたMusic&Videoチャネルの番組を削除します。
- 番組を削除しても番組設定は解除されません。

1 MENU 4 4 ▶番組にカーソル▶ MENU ［サブメニュー］▶ 2 ▶「はい」

◆番組からのサイト接続

Music&Videoチャネルの番組にあるURL情報に接続できます。
- チャプターにあるURL情報に接続するには、そのチャプターを再生中に iα を押してください。

1 MENU 4 4 ▶番組にカーソル▶ MENU ［サブメニュー］▶ 5 ▶「はい」

データBOXからのMusic&Videoチャネル操作

データBOXでは、番組の再生、フォルダや番組の管理ができます。

◆番組一覧からの再生

データBOXからMusic&Videoチャネルの番組を再生します。

1 MENU 5 3

- 「→microSD」／「→本体」を選択すると、microSDカードと本体が切り替わります。
- フォルダの内容は次のとおりです。
  配信番組：配信された番組
  保存番組：他のフォルダから移動した番組

2 フォルダを選択

- マークの意味は次のとおりです。
  ：ファイル制限あり　：ｉモードから取得
  ：ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能により使用不可
  その他のマーク→P224
- 分割表示のときは、カーソル位置の番組のサイズ、情報、移動について、ディスプレイ下部で確認できます。
- ／を押すと前後のページに切り替えられます。

3 番組を選択

Music&Videoチャネルプレーヤーが起動し、番組が再生されます。→P225

◆番組の管理

フォルダの管理や番組情報の確認、番組の削除などができます。

- microSDカード内で、フォルダの操作（作成、フォルダ名の編集、削除）ができます。→P296
- 配信番組フォルダと保存番組フォルダには、セキュリティを設定できます。→P296
- 番組の削除→P298
- コンテンツ移行対応の番組の移動→P290
- メモリ確認→P299
- 番組はコピーできません。

1 MENU 5 3 ▶フォルダを選択

2 目的の操作を行う

番組情報の確認：番組にカーソル▶MENU［サブメニュー］▶3

チャプター一覧の確認：番組にカーソル▶MENU［サブメニュー］▶4
- チャプター一覧について→P225

タイトルの編集：番組にカーソル▶MENU［サブメニュー］▶5▶1または2▶番組の表示名を入力▶［確定］
- FOMA端末内の番組は全角126（半角253）文字以内、microSDカード内の番組は全角31（半角63）文字以内で変更できます。
- 番組情報の「表示名」が変更されます。

microSDカードの移動先フォルダの設定：番組にカーソル▶MENU［サブメニュー］▶6 2 2▶フォルダにカーソル▶［確定］

フォルダ間移動：番組にカーソル▶MENU［サブメニュー］▶6 3▶移動先フォルダにカーソル▶［確定］
- microSDカード内で操作できます。

表示切替：MENU［サブメニュー］▶7▶1～3
- カーソルがmicroSDカード内のフォルダにあるときは、MENU 3を押します。

ソート：MENU［サブメニュー］▶8▶1～5

音楽再生音優先設定

ｉアプリを利用中にミュージックプレーヤーのバックグラウンド再生を可能にするかを設定します。

- 起動中のｉアプリの音量を0にしないとバックグラウンド再生はできません。ただし、ｉアプリによってはバックグラウンド再生ができません。

1 MENU 8 2 6 ▶ 1 または 2

マイク付リモコン

マイク付リモコン F01（別売）でMusic&Videoチャネルプレーヤーとミュージックプレーヤーを操作できます。

▶/II（1秒以上）※1：起動／終了
▶/II：再生／一時停止
▶/II（プレーヤー画面ですばやく2回押す）※1：再生中または一時停止中の曲をクイックプレイリストに登録
＋－（プレーヤー画面）：音量調整
＋－（フォルダ一覧、プレイリスト一覧、データ一覧画面）※1：カーソル移動
＋（1秒以上）：次のチャプター／曲に移動
－（1秒以上）※2：チャプター／曲の先頭に移動
◀HOLD（▼方向へスライド）：▶/II、＋、－のキー操作無効
◀HOLD（▼と逆側へスライド）：キー操作無効を解除
※1　ミュージックプレーヤーのみ有効です。
※2　再生時間が2秒未満のときは前のチャプター／曲に移動します。

ｉアプリ／ｉウィジェット

ｉアプリ

ｉウィジェット

ｉアプリ

ｉアプリとは、ｉモード対応端末用のソフトです。ｉモードサイトからさまざまなソフトをダウンロードすれば、自動的に株価や天気情報などを更新させたり、ネットワークに接続していない状態でもゲームを楽しんだり、FOMA端末をより便利にご利用いただけます。
さらに、リアルタイム通信やｉアプリコール（→P240）を用いた、多人数でのオンライン通信が可能なｉアプリオンラインにも対応しており、対戦ゲームやチャットアプリなども楽しむことができます。
また、ｉアプリにはｉウィジェット（→P244）対応のものがあります。

- 海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。→P364
- ｉアプリの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード編）』をご覧ください。

✔お知らせ

- ｉアプリまたはｉアプリDXにより画像や動画、トルカ、着信音が保存される場合、ファイルはそれぞれに対応した保存先またはｉアプリ内に保存されます。

ｉアプリのダウンロード

サイトからｉアプリをダウンロードしてFOMA端末に保存します。

- 保存できるｉアプリのサイズは1件あたり最大10Mバイトです。
- ダウンロードしたｉアプリは、ソフト一覧の「マイフォルダ」に保存されます。

1 サイトを表示▶ｉアプリを選択

ｉアプリがダウンロードされます。

- ダウンロード中に●を押して「はい」を選択すると中止します。

ソフト情報表示設定が「表示する」のとき

ｉアプリの情報とダウンロードの確認画面が表示されます。

- 📷を押すと、ダウンロードするｉアプリの詳細情報を表示できます。

登録データや携帯電話／ドコモUIMカード（FOMAカード）の製造番号、ICカード内データ（ICカード固有の番号を含む）、microSDカードを利用・送信するｉアプリをダウンロードするとき

ダウンロードの確認画面が表示されます。

- ガイド表示領域に「ガイド」と表示された場合は、📷を押すとそのｉアプリが利用するデータの詳細を確認できます。

ｉアプリ待受画面、通信設定、位置情報利用設定、番組表ボタン設定、ｉアプリコール設定、ソフトからのオートGPS設定の設定画面が表示されたとき

各項目を設定します。
各設定項目→P235「ソフト動作設定」

2 ダウンロード完了後に「はい」または「いいえ」

「はい」を選択するとｉアプリが起動し、「いいえ」を選択するとサイト表示に戻ります。

- ダウンロードしたｉアプリはショートカットに貼り付けられます。→P38

✔お知らせ

- 最大保存件数／領域を超えたとき→P299
- メモリ確認→P299
- ダウンロードを中止したり、通信が中断されたりしたときは、再開の確認画面が表示される場合があります。「いいえ」を選択すると、部分保存できる場合は部分保存の確認画面が表示されます。部分保存したｉアプリは、ソフト一覧から残りをダウンロードできます。→P233「ｉアプリの起動」操作3
- 選択したｉアプリが既にダウンロードされている場合、ダウンロード済みを示す画面が表示されます。ｉアプリのバージョンが更新されているときは、バージョンアップの確認画面が表示されます。既に異なるドコモminiUIMカードでダウンロードされているときは、上書きの確認画面が表示されます。

◆ メール連動型ｉアプリのダウンロード

メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、受信／送信／未送信メールのフォルダ一覧にメール連動型ｉアプリ用のフォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名に設定され、変更できません。

- メール連動型ｉアプリは最大5件（ｉアプリの最大保存件数100件に含む）保存できます。最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従ってメール連動型ｉアプリ用のフォルダを削除してください。
- 同じメールフォルダを利用するメール連動型ｉアプリが既にFOMA端末に保存されている場合は、ダウンロードできません。
- メール連動型ｉアプリ用のフォルダのみが残っているときに、そのフォルダを利用するメール連動型ｉアプリを再ダウンロードしようとすると、メールフォルダ利用の確認画面が表示されます。利用しない場合は、メールフォルダを削除してからダウンロードしてください。
- メール連動型ｉアプリに対応したメールが既にFOMA端末に保存されている場合は、ダウンロードの際に自動的に作成されたフォルダへの移動確認画面が表示されます。
- 2in1がBモード時にメール連動型ｉアプリのダウンロードが完了するとサイト画面に戻ります。設定画面が表示されているときは[📷]を押すとサイト画面に戻ります。

◆ ソフト情報表示設定

ｉアプリをダウンロードしたときに情報を表示するかを設定します。

1 [MENU][3][4][2]▶[1]または[2]

ｉアプリの起動

保存されているｉアプリを起動します。

1 [iα]（1秒以上）

おサイフケータイ対応ｉアプリのみを表示：[MENU][#][1]▶操作3に進む
GPS対応ｉアプリのみを表示：[MENU][9][5]▶操作3に進む

2 フォルダを選択

- マークの意味は次のとおりです。
  ／：お買い上げ時に登録されているフォルダでｉアプリなし／あり
  ／：作成したフォルダでｉアプリなし／あり

ソフト件数確認：フォルダにカーソル▶[📷]［情報］
設定状況の確認：[iα]［情報］
保存件数やｉアプリ待受画面、ワンタッチｉアプリ、自動起動の設定状況が表示されます。

- マークの意味は操作3をご覧ください。

3 起動するｉアプリを選択

〈ソフト一覧〉

グラフィカル表示

- マークの意味は次のとおりです。
  ：おサイフケータイ対応ｉアプリ
  ：ICお引っこしサービスにより移し変えたICカードデータ
  ：未設定状態のおサイフケータイ対応ｉアプリ
  ：メール連動型ｉアプリ　：ｉアプリDX
  （オレンジ）：ｉアプリ　：ダウンロードが必要なｉアプリ

／：ｉアプリ待受画面に設定可／設定中　：自動起動設定中
（上半分グレー、下半分オレンジ）：部分保存したｉアプリ
：ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能により使用不可
：IP（情報サービス提供者）によって停止状態
：SSLページからダウンロードしたｉアプリ
：2in1がBモードのため起動不可
：ワンタッチｉアプリ登録中　～：ツータッチｉアプリ登録中
：GPS対応ｉアプリ
／：地図を見るｉアプリに設定可／設定中
：周辺検索アプリ設定に設定中
：ソフトからのオートGPS設定に設定可
／：番組表ボタン設定に設定可／設定中
／：シリアル機器からの起動に設定可／設定中
／／：ICカード一覧へ移動
／：ソフト一覧の「マイフォルダ」へ移動
／／：ｉモードサイトからｉアプリを探す→P232

- サムネイルの代わりにマークが表示される場合があります。
- を押すたびにグラフィカル表示→リスト表示→サムネイル表示の順に表示が切り替わります。
- が表示されているｉアプリは、初めて利用するときのみダウンロードする必要があります。ダウンロードには、別途パケット通信料がかかるものもあります。ダウンロードする前に、表示される説明内容をよくお読みください。
- 部分保存したｉアプリを選択すると、残りをダウンロードするかの確認画面が表示されます。残りをダウンロードすると起動できますが、ダウンロードできないときは、部分保存したｉアプリは削除される場合があります。
- iCお引っこしサービスにより移し替えたICカードデータを選択すると、ダウンロードまたはサイトに接続するかの確認画面が表示されます。対応するおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードすると、起動できます。
- 終了方法はｉアプリごとに異なります。を押し「はい」を選択しても終了できます。

✔**お知らせ**

- 全画面で表示されるｉアプリでは、を押すたびに電池アイコンの表示／非表示が切り替えられます。
- ｉアプリ動作中に鳴る音の音量は調整できます。ただし、音が鳴らないｉアプリもあります。→P236
- ｉアプリによっては、ｉアプリ起動中に指定された別のｉアプリを起動できます（指定されていない場合はｉアプリを選択します）。ただし、指定されたｉアプリがソフト一覧にない場合は、ダウンロードする必要があります。
- ｉアプリで利用する画像（ｉアプリからカメラ撮影した画像やｉアプリの赤外線通信／iC通信機能によって取得した画像）やお客様が入力したデータなどは、インターネットを経由してサーバに送信される可能性があります。
- ｉアプリによっては、ｉアプリ使用データをデータBOXに保存するものがあります。保存されたｉアプリ使用データのデータ容量はソフト詳細情報から確認できます。ｉアプリを削除することで、データBOX内のｉアプリ使用データも削除されます。
- microSDカードを利用するｉアプリはｉアプリからmicroSDカードにデータを保存できますが、保存したデータは他機種で利用できない場合があります。
  保存したデータは、microSDカードの「ｉアプリ使用データ」で確認できます。→P291
- 電話着信時、自動キーロックが起動したとき、ワンセグの視聴／録画予約・お知らせタイマー・アラーム・メモのアラームで指定した日時になったとき、他の機能に切り替えたときは、ｉアプリは中断されることがあります。動作中の機能が終了するとｉアプリは再開しますが、ｉアプリによっては、中断したときの状態に戻らない場合があります。
- ｉアプリによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたｉアプリにアクセスし、直接使用停止状態にすることがあります。その場合はそのｉアプリの起動、待受画面設定、バージョンアップなどができなくなり、削除およびソフト詳細情報の表示のみできます。もう一度ご利用いただくにはｉアプリ停止解除の通信を受ける必要があるため、IP（情報サービス提供者）にお問い合わせください。
- ｉアプリによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたｉアプリにデータを送信する場合があります。
- IP（情報サービス提供者）がｉアプリに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信した場合、FOMA端末は通信を行い、が点滅します。その場合、通信料はかかりません。
- ｉアプリ作成者の方へ
  ｉアプリを作成中、正常に動作しないときはトレース情報が参考になる場合があります。トレース情報は、待受画面でMENU 3 3 4を押すと表示されます。ただし、トレース情報を記録するｉアプリが保存されていないときは、表示できません。トレース情報を削除するときはを押して「はい」を選択します。

◆ セキュリティエラー履歴

ｉアプリがエラーを発生して終了したときに、履歴からｉアプリ名や日時、セキュリティエラー理由を確認します。
- 最大20件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 MENU 3 3 3
- 履歴を削除するときは📷を押して「はい」を選択します。

◆ ソフト詳細情報

ｉアプリの名前やソフトのサイズ、動作設定の設定状況などを確認します。

1 **iα（1秒以上）▶フォルダを選択▶ｉアプリにカーソル▶📷［詳細］**
- 表示される項目はｉアプリによって異なります。
- SSLページからダウンロードしたｉアプリの場合、ソフト詳細情報画面で📷を押すとサイトの証明書を確認できます。

◆ ソフト動作設定

ｉアプリごとに詳細な動作を設定します。
- ｉアプリが対応していない項目は選択できません。
- 2in1がデュアルモードまたはBモード時は、「ｉアプリ待受画面」「ｉアプリ待受画面通信設定」は選択できません。

1 **iα（1秒以上）▶フォルダを選択▶ｉアプリにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶5▶各項目を設定▶📷［登録］**

ｉアプリ待受画面：待受画面に設定するかを設定します。設定できるｉアプリは1件のみです。
ｉアプリ待受画面通信設定：ｉアプリ待受画面動作中に自動的に通信するかを設定します。
通信設定：ｉアプリ動作中に自動的に通信するかを設定します。
アイコン情報：ｉアプリがメール、メッセージR/F、電池、マナーモード、アンテナの各種アイコン情報を利用するかを設定します。
ブラウザからの起動：サイトからの起動（ｉアプリTo）を許可するかを設定します。
トルカからの起動：トルカからの起動（ｉアプリTo）を許可するかを設定します。
メールからの起動：メールからの起動（ｉアプリTo）を許可するかを設定します。
住所リンク機能での起動：サイトやメッセージR/F、トルカの位置情報のリンク項目からの起動（ｉアプリTo）を許可するかを設定します。
外部機器からの起動：外部機器からの起動（ｉアプリTo）を許可するかを設定します。
シリアル機器からの起動：シリアル機器から起動するかを設定します。設定できるｉアプリは1件のみです。
データ放送サイトからの起動：ワンセグのデータ放送サイトからの起動（ｉアプリTo）を許可するかを設定します。
スケジューラからの連携起動：スケジュールからの起動（ｉアプリTo）を許可するかを設定します。
ソフトからの着信音／画像変更を※：ｉアプリが着信音や待受画面などの画像の設定を自動的に変更することを許可するかを設定します。
変更ごとに確認画面を※：ｉアプリが着信音や画像の設定を変更するごとに確認画面を表示するかを設定します。
ソフトからの電話帳／履歴参照を※：ｉアプリが電話帳やリダイヤル、着信履歴を自動的に参照することを許可するかを設定します。FOMA端末に保存したトルカも対象です。
位置情報利用設定※：GPS対応ｉアプリが位置情報を自動的に利用するかを設定します。
ソフトからのオートGPS設定※：ｉアプリからのオートGPSサービス情報の登録や設定を許可するかを設定します。
番組表ボタン設定※：ワンセグから起動する番組表ｉアプリに設定するかを設定します。設定できるｉアプリは1件のみです。
地図設定※：地図やナビを見る操作で利用するｉアプリに設定するかを設定します。設定できるｉアプリは1件のみです。
- 地図選択にも反映されます。→P265
- 本設定に対応しているGPS対応ｉアプリのみ設定できます。

ｉアプリコール設定※：ｉアプリコールから起動するかを設定します。
MyFACEからの起動設定：MyFACEからの起動（ｉアプリTo）を許可するかを設定します。
※ ｉアプリDXのみ設定できます。

✔**お知らせ**

- 通信設定を「通信しない」に設定すると、ｉアプリが起動できない場合や、株価情報やお天気情報などのｉアプリによるタイムリーな情報提供ができない場合があります。
- アイコン情報を「利用する」に設定すると、未読メール、未読メッセージR/F、電池残量、マナーモード、アンテナアイコンの有無がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得される可能性があります。アイコン情報が必要なｉアプリの場合、「利用しない」に設定すると、動作しないｉアプリがあります。
- ｉアプリによっては、ｉアプリコール設定を「設定する」にしていても有効にならない場合があります。

◆ｉアプリ動作中の各種動作設定

ｉアプリ動作中のさまざまな設定をします。

1 MENU 3 4

2 **目的の操作を行う**

ｉアプリ音量： 1 ▶ または ▲▼ ▶ ●［決定］
- 音量設定のｉアプリ音量にも反映されます。

照明点灯時間設定： 7 ▶ 1 または 2
- 照明設定の照明点灯時間設定（ｉアプリ）にも反映されます。

明るさ調整： 8 ▶ 明るさを選択
- 照明設定の明るさ調整（ｉアプリ）にも反映されます。

バイブレータ設定： 9 ▶ 1 または 2
- バイブレータ設定のｉアプリ利用時にも反映されます。

ｉアプリ省電力設定： ✂ ▶ 1 または 2
- 「ON」を選択した場合は、設定時間の選択操作が必要です。

◆電子コンパス

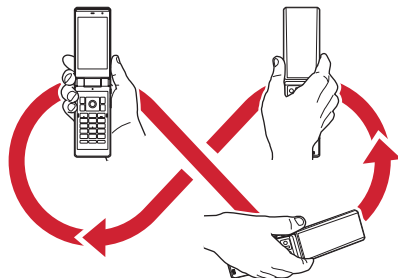
本FOMA端末は、地球の磁場を感知する電子コンパスを使用したｉアプリに対応しています。

- 電子コンパスは地球の微弱な磁場を感知して方位を算出しています。そのため、建物（地下街を含む）や乗り物、金属製の施設（エレベータなど）、金属製の設備（ガードレール、歩道橋など）、高圧線、架線、磁気を含む岩盤、金属（鉄製の机、ロッカーなど）、永久磁石（磁気ネックレス、バッグの留め金など）、家庭電化製品（テレビ、パソコン、スピーカーなど）の中または近くでは磁場を感知できなかったり、方位の算出に誤差が出る場合があります。
- 電子コンパスの起動直後、FOMA端末の開閉時、急激な温度変化を伴う場所や磁場を感知しにくい場所に長時間置いたとき、AC／DCアダプタや付属の卓上ホルダの接続時は方位の算出に誤差が出る場合があります。
- 正しく方位を測定できない場合は、磁場を感知しやすい場所に移動してから電子コンパスを調整してください。
- FOMA端末を永久磁石のような強い磁気を帯びたものに近付けないでください。FOMA端末そのものが磁気を帯びたときは、測定精度に影響を及ぼす恐れがありますのでご注意ください。

❖電子コンパスを調整する

■ 操作方法

電子コンパス機能使用中に、手首を返しながら大きく8の字を描くように10秒程度FOMA端末を動かします。

- 電子コンパスを使うときの状態（開いた／閉じた状態）で行ってください。

◆ iアプリタッチ

対戦ゲームなどを行う際、本機能が搭載されたFOMA端末のマークどうしを重ね合わせることで、簡単にBluetooth接続をすることができる機能です。

- ヘッドセットなど、その他のBluetooth機器と接続している場合、iアプリタッチが利用できないことがあります。その際は、Bluetooth機器との接続を解除した上でご利用ください。
- 充電中はiアプリタッチの送信ができません。

◆ プリインストールiアプリ

- お買い上げ時に登録されているiアプリを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。→P298
- iモードサイトへのアクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

おサイフケータイ対応iアプリに関するご注意

- ICカードに設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

アプリ名	国内			海外		
	パケット通信による課金		初回起動時のアプリダウンロード	起動	利用	課金
	初回起動時	通常利用時				
ぷよぷよフィーバー DX	—	—	—	○	○	—
ETGAスウィングレッスン	—	○	—	○	○	○（利用時）
ヘルスチェッカー	—	○	—	○	○	○（利用時）

アプリ名	国内			海外		
	パケット通信による課金		初回起動時のアプリダウンロード	起動	利用	課金
	初回起動時	通常利用時				
ロケーションレーダー •「食べログ」は株式会社カカクコムの登録商標です。 •「ぐるなび」は株式会社ぐるなびの登録商標です。 •「ホットペッパー」は株式会社リクルートの登録商標です。 ©Kakaku.com, Inc. All Rights Reserved. ©2002 GOURMET NAVIGATOR INC. ©RECRUIT	—	○	—	○	—	—
docomo Facebookアプリ	○	○	○	○	○	○
地図アプリ※1	○	○	—	—	—	—
DCMXクレジットアプリ	○	○	—	○	○	○
iD 設定アプリ	○	○	—	○	○	○
マクドナルド トクするアプリ	○	○	○	○	—	○（起動時）
E★エブリスタアプリ	○	○	—	—	—	—
Twitter	○	○	—	○	○	○
Gガイド番組表リモコン	○	○	—	○	○	○
楽オク☆アプリ	○	○	—	○	○	○
i Bodymo※2	○	○	○	○	○	○
お天気アプリ※3	○	○	—	—	—	—
ドコモ料金案内	—	—	○（無料）	○	○	○
ロジックパズルF ©T-ENTAMEDIA Co.,LTD.	—	○	—	○	○	○（利用時）

アプリ名	国内			海外		
	パケット通信による課金		初回起動時のアプリダウンロード	起動	利用	課金
	初回起動時	通常利用時				
ZOOKEEPER DX F • ズーキーパーは株式会社KITERETSUの商標または登録商標です。 ©2011 KITERETSU	―	○	―	○	○	○（利用時）
iCタグリーダー	―	○	―	○	○	―
モバイルSuica登録用ｉアプリ	○	○	―	○	○	○
FOMA通信環境確認アプリ	―	―	○	―	―	―
日英版／日中版しゃべって翻訳 for F※3 •「日英版しゃべって翻訳 for F」「日中版しゃべって翻訳 for F」は株式会社ATR-Trecの商標です。 ©ATR-Trek Co., Ltd. 2008	○	○	―	○	○	○
電子マネー「nanaco」※4	○	○	○	○	○	○
ゴールドポイントカード	○	○	○	○	○	○
ビックポイント機能付きケータイ	○	○	○	○	○	○
ANAモバイルAMCアプリ	○	○	○	○	○	○
今の為替と株価	○	○	―	―	―	―
iC通信アプリ	○	○	―	○	○	―
おサイフケータイ Webプラグイン	―	○	○	―	○	○

※1 有料会員登録いただくと、より詳細な機能をご利用いただけます。
※2 お申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みにはｉモードの契約が必要です。
※3 マイメニュー登録が必要です(お試しマイメニューあり)。
※4 会員登録が必要です。

ワンタッチｉアプリ・ツータッチｉアプリ

ｉアプリをワンタッチｉアプリ・ツータッチｉアプリに登録すると、待受画面からすばやく起動できます。

◆ ワンタッチｉアプリ・ツータッチｉアプリ登録

ワンタッチ・ツータッチで起動するｉアプリを登録します。
- ワンタッチｉアプリは1件登録できます。ツータッチｉアプリは1つのダイヤルキーにつき1件、最大10件登録できます。

1 iα（1秒以上）▶フォルダを選択

2 ｉアプリにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶8▶1または2
- 解除する場合もそれぞれ同様の操作です。
- ワンタッチｉアプリを登録する場合は、以降の操作は不要です。

3 登録先を選択
- アイコンの番号（0～9）が、ツータッチｉアプリを起動するときに使用するダイヤルキー（0～9）に対応します。

✔お知らせ
- 待受画面でMENU 3 4 0を押すと、ツータッチｉアプリ一覧を表示できます。一覧のサブメニューから、詳細情報の表示やツータッチｉアプリ解除ができます。

◆ ワンタッチ・ツータッチでの起動

待受画面から少ないキー操作でｉアプリを起動します。

〈例〉ツータッチでｉアプリを起動する

1 0～9▶iα（1秒以上）

ワンタッチでｉアプリを起動：●（1秒以上）

ｉアプリの自動起動

指定した日時にｉアプリを自動的に起動できます。

◆ 自動起動設定

自動起動情報登録のユーザ設定を「ON」に設定したすべてのｉアプリを自動起動するかを設定します。

1 m 3 4 3 ▶ 1 または 2

◆ 自動起動情報登録

ｉアプリごとに自動起動のON／OFFや起動日時を設定したり、あらかじめ設定されている内容を表示したりします。

- 設定できる条件は、ｉアプリによって異なります。
- 自動起動できないｉアプリもあります。
- 自動起動設定が「自動起動しない」の場合は、設定できません。

1 ｉα（1秒以上）▶フォルダを選択▶ｉアプリにカーソル▶ m［サブメニュー］▶ 6 ▶各項目を設定▶ 📷［登録］

ユーザ設定：次の設定する条件で自動起動するかを選択します。
時刻：自動起動する時刻を入力します。
繰り返し：自動起動を繰り返し行うときの条件を設定します。
毎週：繰り返しを「毎週」に設定したときに曜日を設定します。
日付：繰り返しを「1回のみ」に設定したときに日付を設定します。
ソフト設定：ｉアプリにあらかじめ設定されている時間間隔で自動起動させるかを設定します。
ｉアプリ設定1～4：ｉアプリDXによっては、動作中に自動起動の条件を最大4件設定できます。それらの設定を有効にするかを設定します。

✔**お知らせ**

- 自動起動を設定しても、待受画面以外が表示されているとき、ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能により使用不可のとき（プリインストールｉアプリを除く）やドコモminiUIMカードを認識できないとき、自動起動の間隔が短すぎたとき、オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中、プライバシー モード中（ｉアプリが「認証後に表示」のとき）、2in1がBモード時（メール連動型ｉアプリのみ）、IP（情報サービス提供者）によってｉアプリの使用を停止されているとき、Wi-Fi通信中は起動せず、待受画面に が表示され、自動起動失敗履歴に記録されます。
- 「繰り返し」を変更して複数のｉアプリを同時刻に自動起動するように設定しても、設定時刻に起動するのはいずれか1つです。起動できなかったｉアプリの情報は自動起動失敗履歴に記録されますが、待受画面に は表示されません。

◆ 自動起動失敗履歴

ｉアプリの自動起動に失敗したときに、履歴からｉアプリ名や日時、起動失敗理由を確認します。

- 最大20件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。
- 自動起動失敗履歴を表示するか、次の自動起動が成功すると、待受画面の が消えます。

1 m 3 3 1

- 履歴を削除するときは 📷 を押し、「はい」を選択します。

ｉアプリコールの利用

ネットワークに接続して対戦ゲームをする際に対戦相手を招集するなど、第三者からｉアプリの起動を促すように通知する機能です。

- ｉアプリコールに対応したｉアプリで利用できます。
- ｉアプリコールの受信を一括拒否できます。詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード編）』をご覧ください。

◆ ｉアプリコールの送信

ｉアプリ動作中にｉアプリコールを送信します。

1 ｉアプリを操作してｉアプリコール送信確認画面で「はい」

◆ ｉアプリコールの受信

ｉアプリコールを受信したときに、応答するかを操作します。

1 ｉアプリコールを受信

が点灯し、メール着信時と同様にランプが点灯または点滅し、着信音が鳴って応答確認画面が表示されます。応答確認画面には、送信元の電話番号（電話帳に登録しているときは名前）とｉアプリ名が表示されます。

- ｉアプリコール受信時の音量は、音量設定のメール・メッセージ着信音量に従います。
- メール着信音にｉモーションが設定されている場合は、メール着信音のお買い上げ時の設定に従って動作します。

2「応答する」「拒否する」「保留する」のいずれか

- 「応答する」を選択すると対象のｉアプリが起動します。
- 「保留する」を選択したり、約15秒間何も操作しなかったりした場合は、ｉアプリコール履歴から応答できます。ただし、有効期限が過ぎると応答できません。

✔**お知らせ**

- 待受画面以外が表示されているとき、公共モード（ドライブモード）中、オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中、プライバシーモード中（ｉアプリが「認証後に表示」のとき）、対象のｉアプリのｉアプリコール設定が「設定しない」のとき、対象のｉアプリが保存されていないかつｉアプリコールダウンロード設定が「拒否する」のときは、応答確認画面は表示されません。
- 対象のｉアプリが保存されていない場合は、ダウンロードまたはサイト接続の確認画面が表示されます。「はい」を選択するとダウンロードできます。なお、別途パケット通信料がかかります。
- ｉアプリコールに応答すると、パケット通信料がかかる場合があります。

◆ ｉアプリコール履歴

ｉアプリコールを受信したときに、履歴から応答状態や受信日時、有効期限、ｉアプリ名、送信元の電話番号（電話帳に登録しているときは名前）を確認します。履歴を利用して保留中のｉアプリコールに応答できます。

- 最大30件記録されます。超過すると有効期限が切れた古いものから上書きされます。

1 [MENU][3][2]

- マークの意味は次のとおりです。
  保留中：保留中　確認：応答済　拒否：拒否済
  期限切れ：有効期限切れ　DL：対象のｉアプリをダウンロード可

2 目的の操作を行う

保留中のｉアプリコールに応答：保留中の履歴を選択▶「確認する」
削除：[MENU]［サブメニュー］▶[1]▶[1]または[2]▶「はい」

- 全件削除では認証操作が必要です。

◆ ｉアプリコールダウンロード設定

ｉアプリコール受信の際、対象のｉアプリがFOMA端末に保存されていない場合にダウンロードするかを設定します。

1 [MENU][3][4][#]▶[1]または[2]

オートGPS優先設定

ｉアプリを起動しているときに、他の機能で利用しているオートGPS機能を動作させるかを設定します。

- オートGPS機能を利用するには、あらかじめオートGPS動作設定を「ON」に設定しておく必要があります。

1 **MENU 3 4 5 ▶ 1 または 2 ▶「OK」**

- 「ON」に設定すると、ｉアプリによっては動作が遅くなる場合があります。

ｉアプリ待受画面

待受画面に設定したｉアプリを操作できます。

- ｉアプリ待受画面表示中は、待受画面にまたはがグレーで表示されます。
- ｉアプリ待受画面からのｉアプリ起動中は、待受画面のまたはがオレンジで点滅します。
- ｉアプリ待受画面の設定→P89
- ソフト動作設定からのｉアプリ待受画面の設定→P235

1 **ｉアプリ待受画面で CLR ▶ ｉアプリを操作**

2 **ｉアプリの操作が終わったら ▶「終了する」**

- ｉアプリを終了してｉアプリ待受画面に戻る方法は、ｉアプリによって異なります。
- 「解除する」を選択するとｉアプリ待受画面が解除されます。

✔お知らせ

- ｉアプリ待受画面を設定中にFOMA端末の電源を入れると、ｉアプリ待受画面起動の確認画面が表示されます。「はい」を選択するか、約5秒間何も操作しないと起動します。「いいえ」を選択するとｉアプリ待受画面を解除します。ただし、自動電源ON設定によって電源が入った場合は確認画面は表示されず、自動的にｉアプリ待受画面が起動します。
- オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中、プライバシーモード（ｉアプリが「認証後に表示」のとき）中は、ｉアプリ待受画面は一時的に解除されます。
- 親子モード設定（各種利用制限のｉアプリロック設定が「すべて不可」のとき）を「ON」に設定すると、ｉアプリ待受画面は解除されます。
- ｉアプリ待受画面が解除されるようなエラーが発生すると、解除の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると解除され、異常終了履歴に記録されます。
- ソフト一覧からの終了操作：MENU 7

ｉアプリの管理

ｉアプリやｉアプリのフォルダを管理します。

◆ ｉアプリのバージョンアップ

ｉアプリが更新されている場合はバージョンアップできます。

1 **iα（1秒以上）▶ フォルダを選択 ▶ ｉアプリにカーソル ▶ MENU [サブメニュー] ▶ 4 ▶「はい」**

✔お知らせ

- バージョンアップすると、ｉアプリが記録しているゲームスコアなどのデータが消去される場合があります。
- ｉアプリによっては、使用期間と使用回数によりドコモのサーバへ継続して使用できるかどうかを問い合わせる場合があります。このとき、サーバからｉアプリが更新されていると通知された場合はバージョンアップできます。
- ｉアプリによっては、自動的にバージョンアップするものがあります。

◆ iアプリフォルダの管理

iアプリのフォルダを作成／削除したり、フォルダ名を変更したりします。
- 最大20個作成できます。ただし、お買い上げ時に登録されているフォルダは削除やフォルダ名の変更ができません。

1 [iα]（1秒以上）

2 目的の操作を行う

作成：[MENU]［サブメニュー］▶[2]
フォルダ名の変更：フォルダにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[3]
並び順の変更：フォルダにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[4]または[5]
削除：
① フォルダにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[6][1]
- フォルダ内にiアプリが保存されている場合は、認証操作が必要です。

②「はい」
- フォルダ内に保存されているiアプリによっては、iアプリやメールフォルダなどの削除確認画面が表示されます。→P242「iアプリの削除」操作3

3 フォルダ名を入力（全角8（半角16）文字以内）▶[📷]［登録］

◆ iアプリの移動

保存されているiアプリを別のフォルダに移動します。

1 [iα]（1秒以上）▶フォルダを選択

2 iアプリにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[3]▶[1]～[3]
- 選択移動では選択操作▶[📷]が必要です。

3 移動先のフォルダを選択▶「はい」

◆ iアプリの削除

保存されているiアプリを削除します。
- おサイフケータイ対応iアプリによっては、ICカード内データも削除される場合があります。
- おサイフケータイ対応iアプリによっては、削除する前にiアプリを起動または再ダウンロードして、ICカード内データを削除しておく必要があります。

1 [iα]（1秒以上）▶フォルダを選択

2 iアプリにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[2]▶[1]～[3]
- 1件削除ではカーソルを合わせたiアプリが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶[📷]が、全件削除では認証操作が必要です。

3「はい」
- メール連動型iアプリを削除する場合は、メールフォルダ削除の確認画面が表示されます。
  -「はい」：メールフォルダとフォルダ内のすべてのメールも削除
  -「いいえ」：iアプリのみ削除
  ただし、「はい」を選択しても、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合は、iアプリやメールフォルダは削除できません。
-「選択削除」または「全件削除」するiアプリに、ICカード内データを削除しておく必要があるおサイフケータイ対応iアプリが含まれる場合は、それ以外のiアプリの削除確認画面が表示されます。
- microSDカードのデータを使用するiアプリを削除する場合は、microSDカードのデータ削除の確認画面が表示されることがあります。
  -「はい」：microSDカードのデータも削除
  -「いいえ」：iアプリのみ削除

✔お知らせ
- メール連動型iアプリで使用していたメールフォルダを残した場合は、メールフォルダ一覧のサブメニューからメールを表示できます。→P140
- 削除対象のメール連動型iアプリ用フォルダが使用中（一覧表示中など）の場合、iアプリを削除できないことがあります。

◆ iアプリの並べ替え

ソフト一覧の並び順を並べ替えます。

1 MENU 3 4 6 ▶ 1 ～ 5

✔お知らせ

- ソフト一覧からの操作：MENU 9
- iアプリ名に全角や半角、英字が混在していると、「名前順」の並べ替えの結果が、50音順と一致しない場合があります。
- 使用回数はiアプリをバージョンアップしても引き継がれます。
- 使用回数にはiアプリ待受画面として起動した回数は含みません。

◆ 異常終了履歴

エラーが発生してiアプリ待受画面が解除されたり、iウィジェット画面でウィジェットアプリを続行できなくなったりしたときに、履歴からiアプリ名と日時を確認します。

- 最大20件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 MENU 3 3 2

- 履歴を削除するときは 📷 を押して「はい」を選択します。

iアプリからの機能利用

iアプリを利用してさまざまな機能を利用できます。

- 各機能に対応したiアプリが必要です。
- iアプリによっては操作方法が異なったり、利用できない場合があります。

◆ iアプリから電話をかける

iアプリから電話をかけられます。

1 電話番号を選択 ▶ 発信条件を設定 ▶ ✉［発信］

発信オプション→P57

◆ iアプリからのカメラ機能利用

iアプリからカメラを利用できます。

1 iアプリを操作してカメラ撮影を行う

◆ iアプリからのバーコードリーダー利用

iアプリからバーコードリーダーを利用できます。

1 iアプリを操作してバーコード（JANコード、QRコード、NW7コード、CODE39コード）を読み取る

- 読み取ったデータはiアプリで利用、保存されます。

◆ iアプリからの赤外線通信利用

iアプリから赤外線通信を利用できます。

- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できない場合があります。

1 赤外線通信の確認画面で「はい」

- 赤外線通信によってiアプリ起動データを受信し、iアプリを起動することもできます。

◆ iアプリからのトルカ利用

iアプリからトルカの保存やフォルダ内のトルカを使用／検索ができます。

〈例〉保存する

1 トルカ保存の確認画面で「はい（新規）」

トルカの「トルカフォルダ」に保存されます。

上書き保存：**「はい（上書き）」▶ フォルダを選択 ▶ 上書きするトルカを選択**

表示：**「プレビュー」**

ｉウィジェット

ｉウィジェットとは電卓や時計、メモ帳、株価情報など頻繁に利用する任意のコンテンツおよびツール（ウィジェットアプリ）に簡単にアクセスすることができる便利な機能です。ｉウィジェット画面には複数のウィジェットアプリ（最大8個）を貼り付けることができ、ｉウィジェット画面を表示するだけで、複数のアプリを一度に楽しむことができます。さらに使いたいウィジェットアプリを選択すれば、より詳細な情報を取得することもできます。ウィジェットアプリはサイトからダウンロードすることにより、追加することが可能です。

- ｉウィジェット画面を表示すると、複数のウィジェットアプリが通信することがあります。
- 詳細情報を閲覧する場合は別途パケット通信料がかかります。
- ｉウィジェットの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード編）』をご覧ください。
- 海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。→P364
- お買い上げ時に登録されているヘルスチェッカー、地図アプリ、楽オク☆アプリ、マクドナルド トクするアプリ、今の為替と株価は、ｉウィジェット対応です。

ｉウィジェットの利用

ｉウィジェットを利用します。

◆ ｉウィジェットの起動

待受画面からｉウィジェットを起動します。

- 各画面の操作方法→P244

1 [iW/TV]

ｉウィジェット画面が表示され、貼り付けられているすべてのウィジェットアプリが起動します。

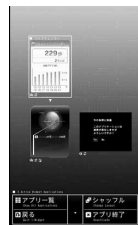
- ｉウィジェット画面に1つも貼り付けていない場合は、ウィジェットアプリ一覧画面が表示されます。
- 海外で利用する際、初回起動時はｉウィジェット海外利用設定（→P245）の設定画面が表示されます。

2 **ウィジェットアプリを選択**

ウィジェットアプリ操作画面が表示されます。

- ウィジェットアプリ一覧画面から選択すると、ウィジェットアプリが起動します。
- ウィジェットアプリをｉウィジェット画面に貼り付けるには、ウィジェットアプリ操作画面で[✉]を押して、ウィジェットアプリを起動したままｉウィジェット画面を表示することで貼り付けられます。
- ソフト一覧からもｉウィジェットの起動やウィジェットアプリ操作画面の表示ができます。→P233

◆ ｉウィジェットの画面の見かたと操作

ｉウィジェット起動中の操作は次のとおりです。

ｉウィジェット画面

ウィジェットアプリ一覧画面

ウィジェットアプリ操作画面（例：ヘルスチェッカー）

■ ｉウィジェット画面の操作

[十字キー]：カーソルの移動
[●]：カーソル位置のウィジェットアプリ操作画面を表示
[MENU]：ウィジェットアプリ一覧画面を表示
[📷]：シャッフルする（2つ以上貼り付けているとき）
[✉]／[iW/TV]：待受画面に戻る
[iα]▶「YES」：カーソル位置のウィジェットアプリを終了（ｉウィジェット画面から削除）

■ ウィジェットアプリ一覧画面の操作

[マルチ]／[●]／[TV]：ｉウィジェット画面と同様の操作
[✉]：ウィジェットアプリを貼り付けている場合はｉウィジェット画面を表示、貼り付けていない場合は待受画面に戻る
- ウィジェットアプリ一覧画面で「全てのアプリ」を選択すると、ｉアプリフォルダ一覧が表示されます。
  以降の操作→P233「ｉアプリの起動」操作2

■ ウィジェットアプリ操作画面の操作

- ウィジェットアプリによっては次のキー以外でも操作できる場合があります。

[✉]※：ｉウィジェット画面を表示（ｉウィジェット画面に貼り付け）
[iα]▶「YES」：ウィジェットアプリを終了（ｉウィジェット画面に貼り付けている場合はｉウィジェット画面から削除）
※ 既に9つ起動している場合は、[✉]▶「YES」でウィジェットアプリが終了します。

✔お知らせ

- ｉウィジェット画面やウィジェットアプリ一覧画面表示中に約3分間何も操作しないと自動的に待受画面に戻ります。
- データ一括削除を行った場合、ｉウィジェット画面の貼り付け状態はお買い上げ時の状態に戻ります。ただし、バージョンアップや削除、再ダウンロードしたウィジェットアプリは貼り付けられません。

◆ ｉウィジェット効果音設定

ｉウィジェットを起動するときに効果音を鳴らすかを設定します。
- 音量はｉアプリ音量に従います。

1 [MENU][3][4][4][1]▶[1]または[2]

◆ ｉウィジェット海外利用設定

国際ローミング中にｉウィジェットを利用する際、通信を許可するかを設定します。
- 本設定はｉモードサービス利用設定（海外）のｉウィジェットにも反映されます。

1 [MENU][3][4][4][2]▶「はい」または「いいえ」

ウィジェットアプリのダウンロード

サイトからウィジェットアプリをダウンロードしてFOMA端末に保存します。
- ダウンロードに関する注意事項は「ｉアプリのダウンロード」をご覧ください。→P232
- ダウンロードしたウィジェットアプリの利用→P244

1 サイトを表示▶ウィジェットアプリを選択

ウィジェットアプリがダウンロードされます。

2 ダウンロード完了後に「はい」または「いいえ」

「はい」を選択するとウィジェットアプリが起動し、ウィジェットアプリ操作画面が表示されます。「いいえ」を選択するとサイト表示に戻ります。

おサイフケータイ／トルカ

おサイフケータイを使う

トルカを使う

おサイフケータイ

おサイフケータイは、お店などの読み取り機にFOMA端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券などとして使える「おサイフケータイ対応サービス」や、家電やスマートポスターなどにかざして情報にアクセスできる「かざしてリンク対応サービス」がご利用いただける機能です。
さらに、ネットワークを使って電子マネーの入金や残高、ポイントの確認などができます。また、安心してご利用いただけるよう、セキュリティ※も充実しています。
おサイフケータイの詳細については『ご利用ガイドブック（iモード編）』をご覧ください。
※ おまかせロックを利用できます。→P108
※ ICカードロックを利用できます。→P250

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ対応サイト※よりおサイフケータイ対応iアプリをダウンロードして設定を行う場合と、おサイフケータイ対応サイト※上で設定を行う場合があります。
  ※ iMenu→メニューリスト→【生活情報】おサイフケータイ
- FOMA端末の故障により、ICカード内データ（電子マネー、ポイントなど含む）が消失、変化してしまう場合があります（修理時など、FOMA端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、iCお引っこしサービスによる移し替えを除き、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データの消失、変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- FOMA端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

iCお引っこしサービス

iCお引っこしサービスは、機種変更や故障修理時など、おサイフケータイをお取り替えになる際、おサイフケータイのICカード内データを一括でお取り替え先のおサイフケータイに移し替えることができるサービスです。
ICカード内データを移し替えた後は、引き続きおサイフケータイ対応サービスがご利用になれます※。iCお引っこしサービスはお近くのドコモショップなど窓口にてご利用いただけます。
iCお引っこしサービスの詳細については『ご利用ガイドブック（iモード編）』をご覧ください。
※ チャージ（入金）したり、残高や利用履歴を確認したりする際は、おサイフケータイ対応iアプリのダウンロードが必要になる場合があります。

おサイフケータイの利用

◆「おサイフケータイ対応サービス」の利用

おサイフケータイ対応サービスは次の手順で利用できます。

■ ステップ1

おサイフケータイ対応iアプリをダウンロードする→P232
※「おサイフケータイ Webプラグイン」に対応したサイトの場合は、おサイフケータイ対応iアプリのダウンロードは不要です。
お買い上げ時に登録されているおサイフケータイ対応iアプリ→P237
ダウンロードするサイトに接続：[MENU][#][9]▶「はい」

■ ステップ2

おサイフケータイ対応サービスの初期設定を行う

おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードして設定を行う場合と、おサイフケータイ対応サイト上で設定を行う場合があります。画面の指示に従って設定後、チャージ（入金）したり、残高や利用履歴を携帯電話で確認したりできます。

ICカード一覧から起動：MENU # 1 ▶**おサイフケータイ対応ｉアプリを選択して設定**

- おサイフケータイ Webプラグインを利用して登録したおサイフケータイ対応サービスは、ICカード一覧の「オンラインサービス一覧」に表示されます。

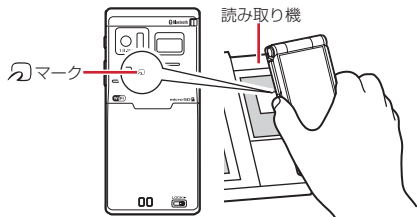
ICカード一覧（ソフト一覧）の見かた→P233

DCMXクレジットアプリの起動：MENU # 2

■ ステップ3

マークを読み取り機にかざす

FOMA端末のマークを読み取り機にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりとして利用したりできます。この機能は、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動せずに利用できます。

※ パケット通信料はかかりません。

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動して、チャージ（入金）したり、残高や利用履歴を確認することができます。また、おサイフケータイ Webプラグインに対応したおサイフケータイ対応サービスは、サイトからチャージや利用履歴の確認などのサービスを利用することができます。

- おサイフケータイ対応ｉアプリを初めて起動またはダウンロードすると、使用中のドコモminiUIMカードがICオーナーとして登録されます。それ以降はICオーナーとして登録されているドコモminiUIMカードを挿入していないとICカード機能を利用できません。なお、別のドコモminiUIMカードに差し替えて利用する場合は、ICオーナーを変更しないとICカード機能を利用できません。→P250

✔お知らせ

- おサイフケータイ対応ｉアプリ起動中は、マークを読み取り機にかざしてもおサイフケータイを利用できない場合があります。
- おサイフケータイ Webプラグインに対応したサイトのチャージやクーポン書き込みページをBookmark登録しても、Bookmarkからアクセスするとご利用いただけない場合があります。
- マークを読み取り機の読み取り可能な範囲にかざすと、イルミネーション設定のICカードアクセスに従ってランプが点滅します。
- FOMA端末のマークを読み取り機にかざしてもうまく認識されない場合は、前後左右にずらしてかざしてください。
- 電源を切っているときや電池が切れてからも、マークを読み取り機にかざしてICカード機能を利用できますが、電池パックを装着していない場合は利用できません。また、電池パックを装着していても電池パックを長時間利用しなかったり、電池アラームが鳴った後で充電せずに放置した場合は、ICカード機能を利用できなくなる場合があります。
- 電源を切った状態では、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してICカード内データを読み書きしたり、トルカを取得したりできません。
- マークを読み取り機にかざすとｉアプリが起動する場合があります。
- マークを読み取り機にかざすときに、FOMA端末に強い衝撃を与えないでください。

◆「かざしてリンク対応サービス」の利用

かざしてリンク対応サービスをご利用いただくには、アプリケーションが必要な場合があります。
なお「iCタグリーダー」は、次の手順で利用できます。

1 [iα]（1秒以上）▶フォルダを選択▶「iCタグリーダー」を選択

- 初めてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。

2 iCタグリーダーに対応した機器またはスマートポスターなどに マークをかざす

また、iC通信機能を利用して、FOMA端末どうしでの電話帳や写真などの情報交換ができます。→P299

◆ICカード利用状況

ICカードに書き込まれたおサイフケータイ対応サービスの一覧と、サービスごとのメモリ使用容量、および全体メモリ容量を確認できます。
- 初めてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。

1 [MENU][#][6]

- 「その他のサービスを見る」を選択すると、利用可能なサービス一覧とメモリ使用容量を確認することができます。

✔お知らせ

- ICカードのメモリ容量が満杯になり、新規のサービス利用ができない場合は、ICカード利用状況で利用中のサービスから不要なサービスを確認して、待受画面で[MENU][#][1]を押してICカード一覧から削除してください。→P242

ICオーナー確認

使用しているドコモminiUIMカードがおサイフケータイ内のICカードのオーナー（ICオーナー）として登録されているかどうかを確認します。

1 [MENU][#][7]

- 登録されていない場合は、登録されているドコモminiUIMカードを取り付けるか、「ICオーナーを初期化するには」を選択してICオーナーを変更します。

❖ICオーナー変更

ICオーナーを初期化すると、ICオーナーを変更できます。初期化した後、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動またはダウンロードすると、ICオーナーとして登録されます。
- 初期化すると、iD 設定アプリとオンラインサービス一覧はお買い上げ時の状態に戻り、iD 設定アプリとオンラインサービス一覧以外のおサイフケータイ対応ｉアプリは削除されます。ただし、ICカード内データが保存されているおサイフケータイ対応ｉアプリは、初期化する前にICカード内データを削除しておく必要があります。

1 [MENU][#][8]▶「ICオーナー初期化」▶「はい」▶認証操作▶「はい」

ICカードロック

ICカードロックを起動して、ICカード機能を利用できないようにします。
- ICカードロックを起動すると、ICカードの利用、読み取り機からのトルカ取得、おサイフケータイ対応ｉアプリのダウンロードや利用、ICオーナーの初期化、iC通信、ｉアプリタッチが利用できなくなります。

1 [MENU][#][4][1]▶認証操作▶[1]または[2]

ICカードロックを起動すると、待受画面に が表示されます。

✔お知らせ

- 電池パックを取り外したり、おまかせロックを起動したりすると、ICカードロックの設定に関わらずICカード機能が利用できなくなります。
- ICカードロック中は、おサイフケータイ対応ｉアプリによっては削除できない場合があります。

◆ICカードロック設定

ICカードロックに関する機能を設定します。

1 MENU ＃ 4

2 目的の操作を行う

ICカードオートロック設定： 2 ▶各項目を設定▶ 📷 ［登録］

指定した時間が経過すると、ICカードロックが自動的に起動します。

- 電源を切ったり電池残量がなくなって電源が切れたりした場合は、指定した時間を待たずにICカードロックが起動します。
- おサイフケータイ対応ｉアプリの利用中にロックするまでの時間が経過した場合は、利用終了後にICカードロックが起動します。

ICカードロック解除予約： 3 ▶認証操作▶番号を選択▶各項目を設定▶ 📷 ［登録］

指定した時間帯のみICカードロックが解除されます。

- ICカードロック解除予約は最大7件登録できます。
- タイトルは全角9（半角18）文字以内で入力します。
- おサイフケータイ対応ｉアプリの利用中にICカードロック解除の終了時刻になると、利用終了後にICカードロックが起動します。

ICカードロック解除予約の設定／解除： 3 ▶認証操作▶番号にカーソル▶ MENU ［設定／解除］

- 設定中は🕘が表示されます。

電源OFF時ICロック設定： 4 ▶認証操作▶ 1 または 2

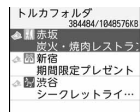
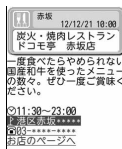
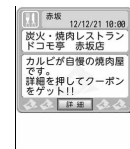
電源を切ったとき、設定に従ってICカード機能がロックされます。

トルカ

トルカとは、FOMA端末で取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で便利にご利用いただけます。
トルカは読み取り機やサイト、データ放送などから取得が可能で、メール、赤外線通信／iC通信、Bluetooth通信、microSDカードを使って簡単に交換できます。

- 取得したトルカは「おサイフケータイ」の「トルカ」内に保存されます。
- トルカの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード編）』をご覧ください。

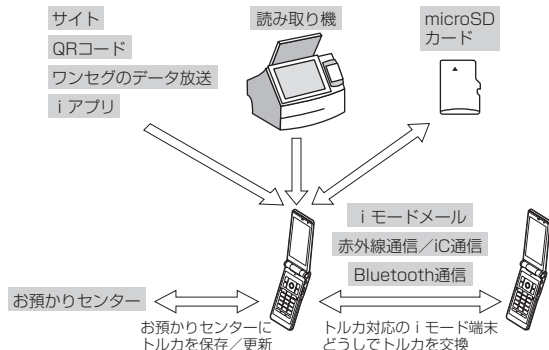
❖トルカ利用の流れ

おサイフケータイを読み取り機にかざしてトルカを取得

トルカ一覧からトルカを選択

「詳細」ボタンを押して詳しい情報をダウンロード

トルカ（詳細）

トルカ取得

- 保存できるトルカのサイズは1件あたり最大1Kバイトです。トルカ（詳細）は1件あたり最大100Kバイトです。

❖トルカの取得手段

- 読み取り機からの取得方法は、「おサイフケータイの利用手順」のステップ3と同じです。→P248

✔**お知らせ**

- 読み取り機からトルカ取得が成功したときにはランプが「ミント」で、失敗したときは「パプリカ」で点滅します。
- トルカによっては更新やコピー、メールや赤外線などの送信ができない場合があります（トルカ一覧でが表示されます）。
- 受信側がトルカ対応機種の場合でも、機種によってはトルカ（詳細）を受信できない場合があります。
- メモリ確認→P299
- 最大保存件数／領域を超えたとき→P299

トルカ表示・管理

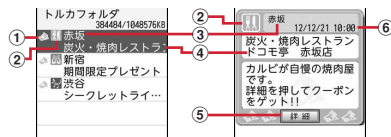
取得したトルカを表示します。トルカに詳細情報がある場合は「詳細」ボタンが表示されます。

1 MENU # 3

: microSDカード／本体のフォルダ一覧を表示
: 未読トルカなし　: 未読トルカあり
: 利用済みトルカ

2 フォルダを選択

すべてのトルカの表示：フォルダ一覧で［全トルカ］

3 トルカを選択

① **状態マーク**
(オレンジ)：未読　(グレー)：未読有効期限切れ
(オレンジ)：既読　(グレー)：既読有効期限切れ
② **カテゴリマーク**
③ **インデックス**
④ **タイトル**
⑤ **「詳細」ボタン**
⑥ **取得日時**

トルカ（詳細）のダウンロード：トルカを選択▶「詳細」▶「はい」
- 詳細情報をダウンロードするときは、パケット通信料がかかります。

メールに添付：トルカにカーソル▶[✉]［作成］
- 他にも、サブメニューから「削除」「ソート」「移動／コピー」などの操作ができます。
- 全角や半角の文字が混在していると、「インデックス順」「タイトル順」のソートの結果が50音順と一致しない場合があります。
- 「かな順」でソートすると、トルカがデータとして保有するID順に並べ替えます（IDは表示できません）。

❖トルカ（詳細）表示中の主な操作

トルカ（詳細）表示中は、次の操作ができます。

画像の保存：[MENU]［サブメニュー］▶[5]▶画像を選択▶「はい」

電話番号やメールアドレスの電話帳登録：電話番号やメールアドレスにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[6]▶[1]または[2]▶[1]または[2]▶電話帳登録

- 更新登録するときは登録する電話帳を選択します。

Flash画像やGIFアニメーションの再生：[MENU]［サブメニュー］▶[7][1]

✔お知らせ

- トルカの表示からPhone To（AV Phone To）、Mail To、SMS To、Web To機能や位置情報などを利用できる場合があります。
- トルカ発行者独自のカテゴリマークが表示される場合があります。
- Flash画像がトルカ（詳細）に収まっていない場合は、スクロールにより画面内に収まった時点で動作が開始されます。
- 「利用済みトルカ」フォルダのトルカは表示と削除しか操作できません。

◆トルカの検索

取得したトルカを検索します。

〈例〉カテゴリで検索する

1 [MENU][#][3]▶[MENU]［サブメニュー］▶[3]▶[1]または[2]

- フォルダ内検索ではカーソルを合わせたフォルダが検索対象となります。

2 [1]▶カテゴリを選択

- カテゴリ選択画面で[MENU]を押すと、カテゴリに含まれるすべてのマークを表示できます。

インデックスまたはタイトルで検索：[2]または[3]▶インデックスまたはタイトルの一部を入力（全角10（半角20）文字以内）

- 検索結果画面で[MENU][2]を押すと、さらに条件を絞り込んで検索できます。

◆トルカフォルダの管理

トルカのフォルダを作成したり削除したりします。

- 「トルカフォルダ」と「利用済みトルカ」フォルダ以外に最大20個作成できます。
- 「トルカフォルダ」と「利用済みトルカ」フォルダは、フォルダ名や並び順を変更、削除できません。

〈例〉フォルダを作成する

1 [MENU][#][3]

2 [MENU]［サブメニュー］▶[1][1]▶フォルダ名を入力（全角9（半角18）文字以内）

削除：[MENU]［サブメニュー］▶[2]▶[1]または[2]または[4]▶認証操作▶「はい」

- フォルダ1件削除ではカーソルを合わせたフォルダが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶[📷]が必要です。
- 他にも、サブメニューから「フォルダ名編集」「フォルダ移動」の操作ができます。

◆ トルカ振分け条件設定

読み取り機とワンセグのデータ放送から取得したトルカを、自動的にフォルダに振り分ける条件を設定します。
- 1つのフォルダに最大10件まで振分け条件を設定できます。ただし、「トルカフォルダ」と「利用済みトルカ」フォルダには設定できません。
- 作成したフォルダの並び順が、振分け条件の優先順位になります。すべての振分け条件に該当しない場合は「トルカフォルダ」に保存されます。

〈例〉カテゴリで振り分ける

1 MENU # 3 ▶フォルダにカーソル▶ MENU ［サブメニュー］▶ 4

2 番号を選択

削除：MENU ［サブメニュー］▶ 1 または 2 ▶「はい」▶操作4に進む
- 1件削除ではカーソルを合わせた振分け条件が削除されます。

3 1 ▶カテゴリを選択

インデックスまたはタイトルで振り分け：2 または 3 ▶インデックスまたはタイトルの一部を入力（全角10（半角20）文字以内）
すべてのトルカを振り分け：4 ▶「はい」または「いいえ」

4 📷［完了］

トルカ設定

トルカに関する機能を設定します。

1 MENU # 5

2 目的の操作を行う

ICカードからトルカ取得：1 ▶ 1 または 2
読み取り機やiC通信でトルカを取得するかどうかを設定します。
トルカ重複チェック：3 ▶ 1 または 2
読み取り機とワンセグのデータ放送からトルカを取得するとき、保存しているトルカ（「利用済みトルカ」フォルダのトルカと有効期限切れのトルカを除く）と重複する場合は取得しないようにするかどうかを設定します。
トルカ自動読取チェック：4 ▶ 1 または 2
読み取り機にFOMA端末をかざしてトルカを利用する際、利用可能なトルカを自動的に読み取りさせるかどうかを設定します。
- 「ON」にした場合は「はい」を選択します。利用可能なトルカが自動的に認識され、「利用済みトルカ」フォルダに移動されます。
- 「利用済みトルカ」フォルダには、トルカが最大20件保存されます。超過すると古いものから上書きされます。

トルカ自動表示：5 ▶ 1 または 2
読み取り機からトルカを取得したとき、自動的に表示するかどうかを設定します。
- 「ON」にすると、トルカ取得時にサイト接続確認画面が表示される場合があります。

トルカサウンド設定：6 ▶ 🔘 ▶ ● ［決定］
トルカ（詳細）のFlash画像の音量を調節します。

✔お知らせ
- トルカ自動読取チェックが「OFF」のときに読み取り機にFOMA端末をかざすと、自動読取機能利用の確認画面が表示される場合があります。トルカを利用する場合は、「はい」を選択して本機能を「ON」にしてください。

地図・GPS機能

地図・GPS機能のご利用について

- GPSとは、GPS衛星からの電波を受信してFOMA端末の位置情報を取得する機能です。
- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、FOMA端末の故障や誤動作、停電などの外部要因（電池切れを含む）によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化や電波の停止など）される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では電波を受信できない、または受信しにくいため位置情報の誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
  - 密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
  - 建物の中や直下
  - 地下やトンネル、地中、水中
  - 高圧線の近く
  - 自動車や電車などの室内
  - 大雨や雪などの悪天候
  - かばんや箱の中
  - FOMA端末の周囲に障害物（人や物）がある
  - FOMA端末の画面やキー、マイク、スピーカー周辺を手で覆い隠すように持っている場合
- 位置提供や現在地通知のご利用にあたっては、GPSサービス提供者やドコモのホームページなどでのお知らせをご確認ください。また、これらの機能の利用は有料となる場合があります。
- 圏外では現在地確認以外のGPS機能をご利用いただけません。

◆ 海外での地図・GPS機能利用

- 海外では位置提供、現在地通知、オートGPS機能は利用できません。
- 海外の3G/GPRSネットワーク圏内で現在地確認ができます。
- 海外で現在地確認をするには、ｉモード海外利用設定が必要です。→P369
- 日付・時刻を正しく設定しておいてください。→P49
- 海外で位置提供設定のサービス利用設定サイトに接続した場合、エラー画面が表示され、利用できません。その場合でもパケット通信料がかかります。
- 各国・地域の法制度等により、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■ 地図を見る

- 操作方法→P257
- 地図の閲覧方法を選択する画面が表示されます。「ｉモードサイト」または「ｉアプリ」を選択すると地図が表示されます。ただし、場所によっては地図が提供されていない場合や、正しく表示されない場合がありますが、パケット通信料がかかります。

■ 現在地確認

- 操作方法→P258
- 現在地確認の通信料は無料です。ただし、位置情報から地図を表示した場合などは、パケット通信料がかかります。
- 海外では測位途中の位置情報を利用できません。
- 測位に失敗した場合、表示される画面から近隣の都市（地域、国、都市の順）を選択することで測位できる場合があります。
- 測位後の位置情報利用メニューで「地図を見る」を選択すると、地図の閲覧方法を選択する画面が表示されます。「ｉモードサイト」または「ｉアプリ」を選択すると地図が表示されます。ただし、場所によっては地図が提供されていない場合や、正しく表示されない場合がありますが、パケット通信料がかかります。→P258「■位置情報利用メニュー」

■ GPSボタン設定

- 操作方法→P259
- 「地図を見る」を設定した場合、現在地確認を行うと地図の閲覧方法を選択する画面が表示されます。「ｉモードサイト」または「ｉアプリ」を選択して地図を表示します。

■ GPS対応ｉアプリ

- 操作方法→P259
- 利用するアプリによっては地図が提供されていない場合や、正しく表示されない場合がありますが、パケット通信料がかかります。
- 「地図アプリ」は海外では利用できません。

■ 位置履歴／オートGPS履歴

- 操作方法→P264
- 海外で現在地確認を行うと位置履歴には のマークが表示されます。ただし、圏外で測位した場合は が表示されます。
- 位置履歴、オートGPS履歴からの位置情報利用メニューで「地図を見る」を選択すると、地図の閲覧方法を選択する画面が表示されます。「ｉモードサイト」または「ｉアプリ」を選択して地図を表示します。

地図／ナビ

地図設定の地図選択（→P265）で設定したGPS対応ｉアプリを起動して、地図を表示したり、ナビゲーションしたりします。

- 地図やナビで起動するGPS対応ｉアプリは、位置情報利用メニューから地図を表示するときに起動するGPS対応ｉアプリと同じです。
- お買い上げ時は「地図アプリ」が起動するように設定されています。
- GPS対応ｉアプリが設定されていない場合は、地図選択の画面が表示されます。

◆ 地図

地図設定の地図選択で設定したGPS対応ｉアプリを起動して、地図を表示します。

1 MENU 9 1

- 地図設定の地図起動時動作設定が「測位する」の場合は、現在地を測位してから地図を表示します。

◆ ナビ

地図設定の地図選択で設定したGPS対応ｉアプリを起動して、ナビゲーションをします。

1 MENU 9 2

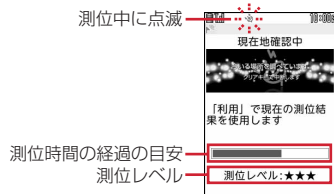
- 設定されているGPS対応ｉアプリによっては、ナビゲーションの機能を利用できない場合があります。

現在地確認

自分のいる場所を測位して確認します。測位した位置情報を利用して地図を表示したり、現在地情報をメールで送信したりすることもできます。

- 現在地確認の測位をした際のパケット通信料は無料です。ただし、位置情報を利用して地図を表示した場合などは、別途パケット通信料がかかります。
- 位置提供または現在地通知での測位中は測位できません。
- 圏外でも見晴らしのよい場所であれば測位できる場合がありますが、時間がかかるなど通常とは動作が異なったり、周囲の状況によっては測位できなかったりすることがあります。

1 MENU 9 6 1

測位が開始されます。

- 測位レベルのマークの意味は次のとおりです。
  ★★★：ほぼ正確な位置情報（誤差がおおむね50m未満）
  ★★☆：比較的正確な位置情報（誤差がおおむね300m未満）
  ★☆☆：おおよその位置情報（誤差がおおむね300m以上）
  測位レベルはあくまで目安です。周囲の電波状況などにより実際とは異なる場合があります。
- 測位中にCLRまたは⌒を押すと、測位を中断します。
- 測位中にガイド表示領域に「利用」と表示された場合、📷を押すと、その時点までの位置情報を利用できます。

2 測位終了後の位置情報利用メニューから機能を選択

位置情報利用メニュー→P258

- 📷を押すと、測位モードの設定に関わらず品質重視モードでもう一度測位します。

◆ 位置情報の利用について

■ 位置情報利用メニュー

現在地確認を行った後や位置履歴、オートGPS履歴のサブメニューから「位置情報利用」を選択したとき、画像表示のサブメニューから「位置情報」→「位置情報利用」を選択したとき、電話帳やプロフィールの詳細画面で位置情報を選択したときに表示されます。

1 位置情報利用メニュー画面で 1 ～ 7

地図を見る：1
地図設定の地図選択で設定したGPS対応ｉアプリが起動します。

GPS対応ｉアプリを利用：2▶ｉアプリを選択
ｉアプリが起動します。

位置情報をメールに貼り付け：3▶「はい」
メール本文に📍とURL化した位置情報が入力されたメール作成画面が表示されます。

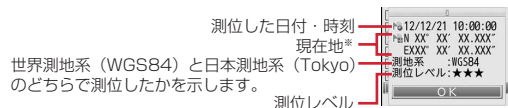
- 現在地確認や位置履歴、オートGPS履歴からメール作成画面を表示したときは、題名欄に「位置メール」と入力されます。
- メールに貼り付けた位置情報URLは、ｉモード対応端末でのみ表示できます。

電話帳に登録：4または5
電話帳登録→P73

- 更新登録するときは登録する電話帳を選択します。

画像に付加：6▶フォルダを選択▶画像を選択▶📷［確定］▶1または2

- 既に位置情報が付加された画像を選択した場合は、上書きの確認画面が表示されます。

位置情報を表示：7
次の画面が表示されます。

※ 度（°）、分（′）、秒（″）で表示されます。「N」は北緯、「S」は南緯、「E」は東経、「W」は西経を示します。

■ 位置情報貼り付け／付加／送信メニュー

次の場合に表示され、各項目の位置情報を貼り付け／付加／送信します。

位置情報貼り付けメニュー：メール本文や署名編集のサブメニューから「定型文・データ引用」→「位置情報」を選択したとき

位置情報付加メニュー：FOMA端末電話帳の新規登録画面や編集画面、プロフィール編集画面で「位置情報」を選択したとき、画像表示中にサブメニューから「位置情報」→「位置情報付加」を選択したとき、場所毎ライフスタイル編集画面で「測位」を選択したとき、静止画撮影後（自動保存モードが「OFF」の場合）の画面でサブメニューから「位置情報貼付」を選択したとき

位置情報送信メニュー：ｉモードやトルカなどで位置情報送信用のリンク項目を選択したとき

1 位置情報貼り付け／付加／送信メニューで[1]～[6]

現在地確認の位置情報を利用：[1]▶現在地確認後の確認画面で「はい」
位置履歴の位置情報を利用：[2]▶位置履歴を選択▶「はい」
オートGPS履歴の位置情報を利用：[3]▶オートGPS履歴を選択▶「はい」
電話帳の位置情報を利用：[4]▶位置情報が登録されたFOMA端末電話帳を選択▶「はい」
プロフィールの位置情報を利用：[5]▶認証操作▶「はい」
画像に登録された位置情報を利用：[6]▶フォルダを選択▶画像にカーソル▶[📷]［決定］▶「はい」

◆ GPSボタン設定

待受画面でダイヤルキー（[1]～[9]）を1秒以上押す操作やショートカットから現在地確認を起動した場合に、現在地確認後に行う動作を設定します。

1 [MENU][9][7][3]▶動作を選択

- 「測位ごとに確認」を設定すると測位レベルと位置情報利用メニューを表示します。→P258

GPS対応ｉアプリ

地図・GPS機能に対応したｉアプリを起動します。

- GPS対応ｉアプリを利用すると、利用するｉアプリの情報提供者に位置情報が送信されます。
- GPS対応ｉアプリでGPS機能を利用する場合、利用するｉアプリの位置情報利用設定を「利用する」に設定する必要があります。

1 [MENU][9][5]▶起動するGPS対応ｉアプリを選択

位置提供

位置提供に対応したサービスで、設定した相手などから要求があったときに、位置情報を提供するように設定します。

- 位置提供に対応したサービスを利用するには、サービス提供者へのお申し込みが必要となる場合があります。また、サービスの利用は有料となる場合があります。
- 位置提供に対応したサービスを利用するには、位置提供可否設定を「位置提供ON」または「電話帳登録外拒否」に設定する必要があります。また、ｉモードから、ｉMenu→「お客様サポート」→「各種設定（確認・変更・利用）」→「その他サービス設定・確認」にて、位置情報利用設定が必要な場合があります。

◆ 位置提供の要求があると

〈例〉ｉモードからの位置情報利用設定を「許可」に設定しているとき
位置提供が開始されます。が点滅し、ランプが点灯し、測位鳴動音が鳴り、バイブレータが振動します。

- 位置提供を中止する場合はCLRまたはを押します。ただし、タイミングによっては位置情報が送信される場合があります。
- 画面の(要求者名)には、(要求者ID)が電話帳と一致したときに、電話帳に登録した名前が表示されます。要求者IDは表示されない場合があります。
- ｉモードからの位置情報利用設定を「毎回確認」に設定しているときは、要求があるたびに、位置情報を送信するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると位置提供が開始されます。

✔お知らせ

- 位置情報の送信には利用料がかかりません。
- 現在地確認または現在地通知での測位中や圏外にいるとき、セルフモード中、ｉアプリでパケット通信中、赤外線通信／iC通信中、Bluetooth機器とのデータ送受信中は位置提供できません。また、測位中に電池が切れたり、おまかせロックがかかったりしたときは、測位は中断されます。
- 電波の状況により相手に情報が届いていない場合があります。
- 公共モード（ドライブモード）中に位置提供の要求があったときに、ｉモードからの位置情報利用設定が「毎回確認」の場合は位置情報を送信しません。「許可」に設定している場合は、画面が表示され位置情報を送信しますが、測位鳴動音は鳴らず、ランプやバイブレータも動作しません。
- 2in1利用時は、2in1のモードに関わらずAナンバーに対する位置提供の要求があったときに利用できます。
- イマドコかんたんサーチを利用した相手から位置情報の提供を要求されたときは、次のように動作します。
  - 要求があるたびに位置提供の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、すぐに大まかな測位結果が相手に通知されます。測位終了後には、精度の高い測位結果が相手に通知されます。
  - 位置提供の確認画面で「はい」を選択した後に、位置提供を中断しても大まかな測位結果が相手に通知されます。この場合、位置履歴に記録されますが、位置情報は表示されません。

◆ 位置提供可否設定

相手から位置情報を提供するように要求があったときに、位置情報を提供するかを設定します。

- 本設定は、初期設定でも設定できます。→P48

1 MENU 9 7 4 ▶ **認証操作**

2 1 **または** 3 ▶ **「いいえ」**

- 「位置提供ON」に設定すると、位置提供を許可します。操作を行わなくても位置情報が送信され、検索者に通知される場合があります。
- 「電話帳登録外拒否」に設定すると、位置提供を許可し、さらに電話帳に登録されていない相手からの位置提供の要求を自動的に拒否します。

位置提供や電話帳登録外拒否の解除： 2

許可期間の設定： 1 **または** 3 ▶ **「はい」** ▶ **各項目を設定** ▶ **［登録］**

開始時間：位置提供を開始する時間を設定します。
終了時間：位置提供を終了する時間を設定します。
- 24時を超えて翌日に設定できます。

繰り返し：設定時間の繰り返しの動作を設定します。
- 「曜日指定」を選択したときは、「曜日選択」を選択し、位置提供を行う曜日を選択してを押します。

有効期間：位置提供を行う期間を設定します。「開始日指定」または「開始／終了日指定」に設定すると、次の項目を設定できます。
開始日：位置提供を開始する日を設定します。
終了日：位置提供を終了する日を設定します。
- 「位置提供ON」または「電話帳登録外拒否」を設定すると、ディスプレイ上部に(青)が表示されます。許可期間が有効期間外の場合は、(グレー)が表示されます。また、オートGPS機能起動中のときは、(青)が、許可期間外の場合は(グレー)が表示されます。

❖許可期間設定を設定したときの位置提供の動作について

許可期間設定を設定したときの、位置情報を提供する期間は次のようになります。

- 位置提供が行われる期間欄には、2012年12月21日の9時00分に許可期間設定を行った場合に位置情報を提供する期間を、西暦を省略して記載しています。
- 繰り返しを「曜日指定」にした場合は、位置提供が行われる期間欄に記載された期間のうち、指定した曜日のみ動作します。

■ 開始時間を現在時刻より後の時間に設定したとき

〈例〉開始時間「10：00」、終了時間「18：00」

繰り返し	有効期間	位置提供が行われる期間
なし	―	12/21 10：00-18：00
毎日または曜日指定	なし	12/21以降 10：00-18：00
	開始日：2012/12/01	12/21以降 10：00-18：00
	開始日：2013/01/01	01/01以降 10：00-18：00
	開始日：2012/12/01 終了日：2012/12/31	12/21-12/31 10：00-18：00
	開始日：2013/01/01 終了日：2013/01/31	01/01-01/31 10：00-18：00

■ 開始時間を現在時刻より前、終了時間を24時を超えて翌日に設定したとき

〈例〉開始時間「08：00」、終了時間「02：00」

繰り返し	有効期間	位置提供が行われる期間
なし	―	12/21 09：00-12/22 02：00
毎日または曜日指定	なし	12/21 09：00-12/22 02：00 12/22以降 08：00-翌日02：00
	開始日：2012/12/01	12/21 09：00-12/22 02：00 12/22以降 08：00-翌日02：00
	開始日：2013/01/01	01/01以降 08：00-翌日02：00
	開始日：2012/12/01 終了日：2012/12/31	12/21 09：00-12/22 02：00 12/22-12/31 08：00-翌日02：00 (2013/01/01 02：00まで)
	開始日：2013/01/01 終了日：2013/01/31	01/01-01/31 08：00-翌日02：00 (2013/02/01 02：00まで)

◆ 位置提供のサービス利用設定

各GPSサービスの位置提供に必要な設定を行います。

1 MENU 9 7 8

- 以降の操作については、各サービス提供者にお問い合わせください。

◆ 位置提供のサービス利用／接続先設定

GPSサービス利用設定サイトの接続先を設定します。

通常は設定を変更する必要はありません。

1 MENU 9 7 9 ▶各項目を設定▶ 📷 ［登録］

接続先：接続先を選択します。
- 「ユーザ設定」を選択すると、次の項目を設定できます。

ユーザ設定接続先：接続先を半角99文字以内で入力します。

ユーザ設定初期画面URL：表示するURLを半角100文字以内で入力します。

現在地通知

現在地の位置情報を他の人（現在地通知機能に対応したサービス提供者）に通知します。

- 現在地通知を利用するには現在地通知機能に対応したサービス提供者へのお申し込みが必要となる場合があります。また、サービスの利用は有料となる場合があります。
- 現在地通知は利用料がかかります。
- 現在地確認または位置提供での測位中や圏外にいるとき、セルフモード中は、現在地通知はできません。また、ダイヤル発信制限中は通知先を入力しての通知はできません。

〈例〉通知先を入力して通知する

1 MENU 9 6 2

2 2 ▶ 通知先IDを入力（半角12文字以内）▶「OK」

測位中はが点滅し、ランプが点灯します。通知が完了すると測位鳴動音が鳴り、バイブレータが振動します。

- 数字、「#」「＊」を入力できます。
- 場所と電話番号を送信する旨のメッセージ表示中に を押すか、測位中に CLR または を押すと通知を中断します。
- 測位を中断しても、タイミングによっては位置情報が通知される場合があります。

登録した通知先への通知： 1 ▶ 通知先を選択 ▶「OK」

3 送信結果を確認 ▶「OK」

❖現在地通知先登録

通知先を登録すると、現在地通知を行うときに一覧から選択できます。また、登録した相手に音声電話またはテレビ電話を発信したとき、現在地を通知するようにも設定できます。

- 通知先は最大5件登録できます。
- ドコモminiUIMカードを差し込んでいない場合は、通知先の登録、編集、削除はできません。

1 MENU 9 7 7

2 「〈新しい通知先〉」

- 登録済みの通知先を確認するときは、確認する通知先を選択します。続けて を押すと編集できます。

削除： MENU ［サブメニュー］▶ 3 ▶ 1 または 2 ▶「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせた通知先が削除されます。
- 全件削除では認証操作が必要です。
- サブメニューから「電話帳新規登録」「電話帳更新登録」「microSDへコピー」などの操作もできます。

3 各項目を設定 ▶ ［登録］

- サブメニューから「電話帳引用」を選択すると、電話帳から通知先名と電話番号を引用できます。

通知先名： 相手の名前を全角16（半角32）文字以内で入力します。

通知先ID： 契約したサービス提供者から付与される番号を入力します。

電話番号： 相手の電話番号を半角26文字以内で入力します。

- 数字、「P」「T」「+」「#」「＊」を入力できます。

発信時通知設定： 登録した相手に音声電話またはテレビ電話を発信するときに、登録した通知先IDに現在地を通知するかを設定します。

- 「ON」に設定すると、発信時に現在地を通知します。
- 「発信時確認」に設定すると、発信時に現在地を通知するかの確認画面が表示されます。

✔お知らせ

- 電波の状況により相手に情報が届いていない場合があります。
- 現在地通知先一覧で現在地を通知するように設定しても、次の場合は通知できません。
  - 発信者番号を通知しないで発信したとき
  - 相手が話し中や圏外などのため通話できないとき
- 2in1利用時は、2in1のモードに関わらずAナンバーで通知します。
- ケータイデータお預かりサービスを利用して、通知先を保存できます。→P121

オートGPS

お客様の移動状況をもとに定期的（おおむね5分に1回）に現在地を測位して、サービス提供者に位置情報や、ウォーキング／Exカウンターで計測した情報を自動送信します。お客様の居場所に合わせて、天気情報やお店などの周辺情報、観光情報をお知らせするサービスなど、さまざまなサービスをご利用いただけます。

- オートGPS機能に対応しているサービスを利用するには、各サービスのオートGPS機能対応ｉアプリからオートGPSサービス情報を設定してください。ドコモが提供するサービスでオートGPS機能を利用するには、ドコモ提供サービス設定を「利用する」に設定してください。
- オートGPSサービス情報は、ドコモが提供するサービスの他に6件まで設定できます。
- オートGPS機能起動中はディスプレイ上部にAUTO GPSが表示されます。位置提供設定中のときは、GPS（青）が、許可期間外の場合はGPS（グレー）が表示されます。
- 次の場合、オートGPS機能を利用できません。
  - オールロック中、パーソナルデータロック中、セルフモード中、おまかせロック中
  - ドコモminiUIMカードを取り付けていないとき
  - ｉモード未契約のとき
  - 接続先設定でドコモのｉモード対応FOMA端末の接続先を変更したとき
  - 低電力時動作設定を「停止する」に設定していた場合で、電池残量が少なくなったとき

✔お知らせ

- オートGPS機能のご利用にあたっては、GPSサービス提供者やドコモのホームページなどでのお知らせをご確認ください。また、これらのサービスの利用は有料となる場合があります。
- 位置情報の送信にはパケット通信料がかかる場合があります。
- お客様のご利用状況によっては、定期的に通信を行うことにより、FOMA端末の消費電力が増加しますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末の移動がない状態では、オートGPS機能は動作せず、位置情報は送信されません。

◆ ドコモ提供サービス設定

FOMA端末の位置情報をドコモに定期的に自動送信するかを設定します。

- ｉコンシェルまたはドコモが提供する各種サービスと連動したオートGPSのサービスを受けることができます。
- 各種サービスは別途お申し込みや利用設定が必要です。

1 MENU 9 7 5 1

2 「利用する」▶「OK」

解除：「利用しない」▶「はい」

◆ オートGPS動作設定

オートGPS機能を利用するかを設定します。

1 MENU 9 7 5 2 ▶ 1 または 2

✔お知らせ

- 本機能が「ON」でも、オートGPSサービス情報を設定していない場合は、オートGPS機能は動作せず、位置情報は送信されません。
- オートGPS機能起動中に、自動キーロックを解除するときの認証画面で📷▶「はい」を押すとオートGPS機能を一時停止することができます。また、自動キーロックを解除すると自動的にオートGPS機能が再開されます。

◆ 設定サービス一覧

オートGPSサービス情報を設定しているｉアプリ名（サービス名）や利用状況を一覧で表示します。また、一覧からオートGPSサービス情報を解除することもできます。

1 MENU 9 7 5 3

設定サービス一覧が表示されます。

- ｉアプリ名（サービス名）の下には「動作中」または「停止中」と表示され、利用状況を確認できます。オートGPS機能を利用できない場合や、オートGPS動作設定で「OFF」に設定した場合は、「停止中」と表示されます。

設定サービス一覧表示中での解除： MENU ［サブメニュー］▶ 1 ▶ 1 ～ 3 ▶「はい」

- 1件解除ではカーソルを合わせたオートGPSサービス情報が解除されます。
- 選択解除では選択操作▶ 📷 が、全件解除では認証操作が必要です。

✔お知らせ

- オートGPSサービス情報が設定されているｉアプリを削除した場合、設定されているオートGPSサービス情報も解除されます。

◆ 低電力時動作設定

低電力時（電池残量が少なくなったとき）にオートGPS機能を停止し、電池の消費を抑えるかを設定します。

1 MENU 9 7 5 5 ▶ 1 または 2 ▶「OK」

位置履歴／オートGPS履歴

現在地確認、位置提供、現在地通知、オートGPSのいずれかの機能で測位した履歴を表示します。履歴の位置情報を利用して、位置情報を電話帳に登録したり、位置情報URLが入力されたメールを作成したりできます。

- 位置履歴は最大50件、オートGPS履歴は最大100件記録されます。超過すると、古いものから上書きされます。

〈例〉位置履歴を表示する

1 MENU 9 7

2 1

オートGPS履歴の表示： 5 4

- マークの意味は次のとおりです。
  - ：現在地確認　／ （グレー）：位置提供／測位失敗
  - ／ （グレー）：現在地通知／測位失敗　AUTO GPS：オートGPS

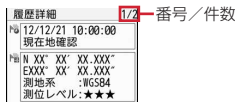
3 表示する履歴を選択

位置情報の利用： 履歴にカーソル▶ MENU ［サブメニュー］▶ 1 ▶位置情報利用メニューから機能を選択

位置情報利用メニュー→P258

削除： MENU ［サブメニュー］▶ 2 ▶ 1 ～ 3 ▶「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせた履歴が削除されます。
- 選択削除では選択操作▶ 📷 が、全件削除では認証操作が必要です。

❖履歴詳細画面の見かた

現在地確認の位置履歴詳細画面

: 測位した日時と機能
: 位置提供の送信先の名称／現在地通知の通知先名
: 現在地通知の通知先ID　: 位置情報　: 位置提供の要求者名
: 位置提供の要求者ID
: オートGPSの送信先サービス名／ｉアプリ名、送信日時

- サブメニューから「位置情報利用」「削除」の操作ができます。また、位置提供の履歴に要求者IDの電話番号またはメールアドレスの情報があるときは、「電話帳新規登録」「電話帳更新登録」ができます。

✔お知らせ

- 現在地確認で測位を中断したり失敗したりしたときは、履歴に保存されません。また、位置提供や現在地通知で測位に失敗したときの履歴から、位置情報の利用はできません。
- 位置提供や現在地通知で測位に失敗したときの位置情報は表示されません。
- 位置提供や現在地通知の履歴に位置情報が登録されていても、電波状況によりサービス提供者に送信されていない場合があります。
- 位置提供の要求者名は、要求者IDが電話帳と一致したときに、電話帳に登録した名前が表示されます。
- 位置履歴に記録された位置情報は、電波状況などにより位置提供先や現在地通知先に送信された位置情報とは異なる場合があります。

地図設定

地図やナビの機能で利用するｉアプリと起動時の動作を設定します。

◆地図選択

地図やナビの機能で利用するｉアプリを設定します。

1 MENU 9 7 2 1 ▶ｉアプリを選択▶「OK」

- マークの意味→P233「ｉアプリの起動」操作3

◆地図起動時動作設定

地図の機能で利用するｉアプリ起動時に、現在地を測位してから起動するかを設定します。

1 MENU 9 7 2 2 ▶ 1 または 2

GPSの設定

現在地確認、現在地通知、位置提供の機能で測位する際のモードや動作を設定します。

◆測位モード設定

各GPS機能で測位する際のモードを設定します。

- 「標準モード」は短い時間で測位することを優先します。
- 「品質重視モード」は時間をかけて測位します。その結果、「標準モード」より精度が上がる場合があります。
- オートGPS機能で測位する際のモードは設定できません。

1

◆ 点灯色／鳴動音設定

各GPS機能で測位する際のイルミネーションや鳴らす音などを設定します。

1 MENU 9 7 0 ▶ 1 ～ 3

- 「位置提供」を選択したときは、さらに項目を選択します。

2 **各項目を設定 ▶ 📷［登録］**

- イルミネーション設定で「メロディ連動」は選択できません。また、位置提供／許可、位置提供／毎回確認の場合は「OFF」も選択できません。

✔**お知らせ**

- 現在地確認で、電波の状態などにより測位し直したり、リトライしたりしたときには、ランプの点灯・点滅のみ動作します。

地図・GPSサービス

ドコモが提供する位置情報サービスのサイトに接続します。

- 各サービスについてはドコモのホームページをご覧ください。

◆ イマドコかんたんサーチ／イマドコサーチ

イマドコかんたんサーチ、イマドコサーチのサイトに接続します。

- イマドコかんたんサーチを利用すると、探したい相手の電話番号を入力して相手の位置情報を地図で確認できます。
- イマドコサーチを利用すると、事前に登録した相手の位置情報を地図で確認できます。
- ご利用には別途検索料（検索成功時のみ）とパケット通信料がかかります。イマドコサーチはお申し込みが必要な有料サービスです。

1 MENU 9 3 ▶ 1 **または** 2 ▶ **「はい」**

◆ ｉエリアー周辺情報ー

ｉエリアのサイトに接続します。ｉエリアを利用すると、自分のいる場所の地図や周辺情報を確認できます。

1 MENU 9 4 ▶ **「はい」**

データ管理

データBOX

データは種類により次のフォルダに保存されます。

◆ フォルダについて

■ マイピクチャ

→**microSD**：microSDカードのフォルダ一覧を表示
→**ホームメディア**：ホームメディア対応機器に接続
カメラ：カメラで撮影した画像、動画から切り出した画像
ｉモード：サイトやホームページ、メール、ｉアプリから取得した画像、ミュージックプレーヤーで保存した画像、PDFデータやWord、Excel、PowerPointのファイルから切り出した画像
デコメピクチャ：お買い上げ時に登録されている画像、サイトやホームページ、メールから取得した画像
デコメ絵文字：お買い上げ時に登録されている画像、サイトなどから取得したデコメ絵文字®
- デコメ絵文字®の規格（画像サイズが20×20、メール添付やFOMA端末外への出力可、JPEGまたはGIF形式）に該当する画像を取得すると、このフォルダに保存されます。規格に該当しない画像は保存できません。

プリインストール：お買い上げ時に登録されている画像
外部取得データ：バーコードリーダーで読み取った画像、microSDカードや外部機器から取り込んだ画像、赤外線通信／iC通信で取得した画像
アイテム：お買い上げ時に登録されているフレーム画像、サイトからダウンロードしたフレームやスタンプ用の画像
自動お預かり：ケータイデータお預かりサービスを利用して、自動でお預かりセンターにバックアップする画像
- ケータイデータお預かりサービス→P121

ｉモードで探す：ｉモードサイトから画像を探す→P170

■ ミュージック

着うたフル®などの音楽データが保存されます。
→P217「ミュージックプレーヤーの画面の見かた」

■ Music&Videoチャネル

→P228「データBOXからのMusic&Videoチャネル操作」

■ ｉモーション・ムービー

→**microSD**：microSDカードのフォルダ一覧を表示
→**ホームメディア**：ホームメディア対応機器に接続
カメラ：カメラで撮影した動画、カメラで撮影した動画から切り出した動画、動画メモ
ｉモード：サイトやメールから取得したｉモーション、microSDカードから移動したコンテンツ移行対応のｉモーション
プリインストール：お買い上げ時に登録されている動画
外部取得データ：microSDカードや外部機器から取り込んだ動画／ｉモーション（コンテンツ移行対応のｉモーションを除く）
ｉモードで探す：ｉモードサイトからｉモーションを探す→P178

■ メロディ

→**microSD**：microSDカードのフォルダ一覧を表示
ｉモード：サイトやメールから取得した、着信音に設定できるメロディ
プリインストール：お買い上げ時に登録されているメロディ→P413
外部取得データ：バーコードリーダーで読み取ったメロディ、microSDカードや外部機器から取り込んだメロディ、赤外線通信／iC通信で取得したメロディ
ｉモードで探す：ｉモードサイトからメロディを探す→P169

■ コンテンツパッケージ

サイトから取得したコンテンツパッケージが自動的に保存されます。
→P283「コンテンツパッケージの表示」

■ マイドキュメント

→**microSD**：microSDカードのフォルダ一覧を表示
ｉモード：サイトやメールから取得したPDFデータ
プリインストール：お買い上げ時に登録されているPDFデータ
外部取得データ：microSDカードや外部機器から取り込んだPDFデータ

■ きせかえツール

→P95「きせかえツールの利用」

■ マチキャラ

→microSD：microSDカードのフォルダ一覧を表示
ｉモード：サイトからダウンロードしたマチキャラ
プリインストール：お買い上げ時に登録されているマチキャラ
ｉモードで探す：ｉモードサイトからマチキャラを探す→P169

■ キャラ電

ｉモード：サイトからダウンロードしたキャラ電
プリインストール：お買い上げ時に登録されているキャラ電

■ ワンセグ

→microSD：microSDカードのフォルダ一覧を表示
イメージ：保存した静止画（JPEG形式の画像）
ビデオ：録画したビデオ

■ ホームメディア

ホームメディア対応機器に接続して、画像や動画データを送受信します。→P392

■ その他

→microSD：microSDカードのフォルダ一覧を表示
ｉモード：サイトやメールから取得したデータ
外部取得データ：microSDカードや外部機器から取り込んだデータ

■ マイコレクション

保存先やファイル形式が異なる静止画と動画をアルバムにまとめて管理します。→P275

◆ マーク（アイコン）について

■ 共通

：ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能により使用不可
：ｉモードサイトからデータを探す
：ファイル制限あり
：サイトやメールから取得
：microSDカードや外部機器から取得
：位置情報あり

■ マイピクチャ

：JPEG形式の画像（画像によってはサイズが表示されます）
：GIF形式の画像、GIFアニメーション
：Flash画像
：ワンセグサイズの画像
：自動バックアップ済みの画像
：自動バックアップ済みの画像（ファイル制限あり）
：カメラで撮影した画像
：フレーム、スタンプ画像
：PDF対応ビューアから取得

- サムネイル表示できない場合、が表示されます。

■ ｉモーション・ムービー

：再生制限なしのMP4
／／：再生期間／再生期限／再生回数制限ありのMP4
：ブルーレイディスクレコーダー連携で取得
：ASF
：カメラで撮影した動画

- サムネイル表示できない場合は次のように表示されます。
  ：サムネイル画像を取得できない動画／ｉモーション
  ：音声のみの動画／ｉモーション、録音した音声

■ メロディ

：SMF
：MFi

■ コンテンツパッケージ
: 取得済みのコンテンツ
: 未取得のコンテンツ
: 部分保存したコンテンツ
: コンテンツパッケージ

■ マイドキュメント
: PDFデータ
: 部分保存したPDFデータ
: ダウンロードに失敗したPDFデータ
- サムネイル表示できない場合は次のように表示されます。
  : ダウンロード後に表示していないか、サムネイル表示できないPDFデータ
  : 部分保存したサムネイルが表示できないPDFデータ
  : ダウンロードに失敗したPDFデータ

■ マチキャラ
／: 設定中のマチキャラ／マチキャラ（フレンドリーメッセージ対応）
／: マチキャラ／マチキャラ（フレンドリーメッセージ対応）
- サムネイル表示できない場合、が表示されます。

■ キャラ電
: キャラ電

■ ワンセグ
: MP2（録画したビデオ）
: JPEG形式の画像（録画した静止画）
- サムネイル表示できない場合、が表示されます。

■ その他
／／: Wordファイル／Excelファイル／PowerPointファイル
: 本FOMA端末で表示できるその他のデータ
／／: 本FOMA端末で表示できないその他のデータ
- サムネイル表示できない場合は次のように表示されます。
  ／／: 取得後に表示していないか、サムネイル表示できないWordファイル／Excelファイル／PowerPointファイル
  : 本FOMA端末で表示できるその他のデータ
  : 本FOMA端末で表示できないその他のデータ

■ マイコレクション
NEW: 新着画像あり
: 自動で分類されたアルバム（オートコレクト設定時）
: 自動で分類されないアルバム（オートコレクト設定時）
: 静止画
: 動画
: FOMA端末に保存されているデータ
: microSDカードに保存されているデータ
- サムネイル表示できない場合、静止画は、動画はが表示されます。

画像の表示

静止画（JPEG形式の画像、GIF形式の画像）やアニメーション（GIFアニメーション、Flash画像）を表示できます。
- 次の画像は表示できません。
  - 一辺のサイズが4800より大きいか、画像サイズが17280000より大きいか、ファイルサイズが10Mバイトより大きいJPEG形式の画像（画像の規格によっては、小さいサイズでも表示できない場合や、大きいサイズでもサムネイル表示用の画像を表示することがあります。）
  - 横縦（縦横）のサイズが2048×2048より大きいか、ファイルサイズが5Mバイトより大きいGIF形式の画像やGIFアニメーション
  - ファイルサイズが500Kバイトより大きいFlash画像
- microSDカードに保存されたMPO形式の画像（3D静止画）は、2D表示できます。ただし、画像表示中の操作や画像を利用した操作には制限があります。

1 MENU 5 1

2 **フォルダを選択**
- 「デコメ絵文字」を選択したときは、さらにフォルダを選択します。
- 前後のページに切り替え： ／

iモーション・ムービーのフォルダ一覧に切替： ［iモーション］
画像検索： ［顔検索］
- 画像の検索→P271

3 画像を選択

- 前後の画像に切り替え：
- スクロール（表示領域より大きな画像の場合）：

全画面表示：画像にカーソル▶ ［全画面］
メールに添付／挿入：画像にカーソル▶MENU［サブメニュー］▶2▶1または2
ブログ／SNSに投稿：画像にカーソル▶MENU［サブメニュー］▶2▶3▶投稿先にカーソル▶MENU［決定］
位置情報利用：JPEG形式の画像にカーソル▶MENU［サブメニュー］▶9 1▶利用方法を選択
位置情報付加：JPEG形式の画像にカーソル▶MENU［サブメニュー］▶9 2▶位置情報付加メニューから機能を選択し位置情報を付加▶「はい」▶フォルダを選択▶画像を選択▶ ［確定］▶1または2（位置情報付加の画像の場合、上書きの確認画面で「はい」または「いいえ」）
位置情報削除：JPEG形式の画像にカーソル▶MENU［サブメニュー］▶9 3▶「はい」

✔お知らせ

- 回転補正情報があるJPEG形式の画像は、画像を回転して表示します。ただし、サムネイル表示や待受画面に設定したときなどには回転しません。
- ケータイデータお預かりサービスを利用して画像をバックアップできます。→P121
- JPEG形式の画像を無線LAN対応プリンタに直接印刷できます。→P335

◆ 個人認証登録

人物が写った静止画に個人認識データを登録します。

1 MENU 5 1▶フォルダを選択▶データを選択▶

2 登録する人物の顔に表示された枠の下の番号をダイヤルキーで選択

3 データの名前を入力（全角6（半角12）文字以内）▶ ［登録］

✔お知らせ

- 登録した個人認識データはサーチミーフォーカス設定で変更できます。→P192

◆ 画像の検索

サーチミーフォーカスの個人認識データを登録して撮影した静止画の中から人物を指定してFOMA端末とmicroSDカード内を検索します。検索後は画像をメールに添付したり、待受画面に設定したりできます。

1 MENU 5 1▶ ［顔検索］

2 検索する人物を選択▶ ［検索］

- データの更新をするかどうかのメッセージが表示された場合は「はい」を選択します。

検索条件指定： ［詳細検索］▶各項目を設定▶ ［検索］

- 直接入力欄には検索人物を全角6（半角12）文字以内で入力します。複数の人物を検索する場合は人物名の間に改行を入れます。

3 画像を選択

✔お知らせ

- 撮影時に名前が表示された人物を検索します。
- 最大10人検索できます。
- サーチミーフォーカス→P192

◆ 静止画設定

画像を表示するときの動作を設定します。

- 「ズーム」「回転」「個人認証登録」「エフェクト設定」「照明点灯時間設定」「音量設定」「自動回転設定」「全画面モード」「ワイドモード」「ライトアップ」「メモ作成」の動作を設定できます。

〈例〉照明点灯時間を設定する

1 MENU 5 1▶フォルダを選択▶画像を選択▶MENU［サブメニュー］▶7 5（Flash画像では7 2）▶1または2

- 「端末設定に従う」にすると、照明設定の照明点灯時間設定（通常時）の設定に従って照明が点灯します。

✔お知らせ

- Flash画像では、「エフェクト設定」「照明点灯時間設定」を設定できます。

◆ 画像のスライドショー表示

フォルダ内の画像を順番に全画面で表示します。

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択▶ MENU ［サブメニュー］▶ 7

2 5

- すべての画像の表示が終わるか、CLRを押すとデータ一覧に戻ります。

再生間隔：6 ▶ 1 〜 4
効果設定：7 ▶ 1 〜 7

◆ 待受画面などへの画面設定

画像を待受画面や発着信画面、メール送受信画面、電話帳画像、スケジュール画像に設定できます。

〈例〉待受画面に設定する

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択▶画像にカーソル▶ MENU ［サブメニュー］▶ 4 1 ▶「はい」

- 画面サイズより小さく、拡大表示可能な画像の場合は「はい（等倍表示）」または「はい（拡大表示）」を選択します。

✔お知らせ

- microSDカードに保存した画像は設定できません。FOMA端末に移動／コピーしてから登録してください。

静止画の編集

画像のサイズを変更したり、画像を切り出したりして編集できます。

✔お知らせ

- 元の静止画と同じフォルダ内に新しい静止画として保存されます。保存時にフォルダを選択することもできます。
  - microSDカードの「その他静止画」フォルダの静止画を編集した場合は、「外部取得データ」フォルダに保存されます。
  - microSDカードの「xxxFJDCF」フォルダの静止画を「デコメール用」に編集した場合は、「外部取得データ」フォルダに保存されます。
- 編集可能な画像サイズは次のとおりです。
  画像切り出し（12分割、範囲指定を除く）：128×96〜3468×4624
  画像切り出し（12分割）：480×854
  画像切り出し（範囲指定）：1×1〜1536×2048
  画像のサイズ変更（デコメール用を除く）：128×96〜3468×4624
  画像のサイズ変更（デコメール用）：352×288以下（9000バイト以下）
  画像回転：128×96〜3468×4624
  上記以外：128×96〜480×854
- 「アイテム」「プリインストール」フォルダ内の静止画、メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画（自端末でファイル制限を「あり」に設定した静止画を除く）、MPO形式の画像は編集できません。
- 編集後、ファイルサイズが大きくなったり、画質が劣化したりする場合があります。また、パソコンなどで表示すると透過表示されていた部分は白く表示されます。
- フレームやスタンプの選択時、編集する画像のサイズによっては表示されないフレームやスタンプがあります。
- 最大保存件数／領域を超えたとき→P299

◆ 画像確認

編集前と編集後の画像を確認します。

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択▶静止画にカーソル▶ MENU ［サブメニュー］▶ 1 1 ▶画像を編集

2 MENU ［サブメニュー］▶ 1 ▶ 1 または 2 ▶ ● ［確認］

◆ 画像切り出し

サイズや範囲を指定して画像を切り出します。

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択▶静止画にカーソル▶ MENU ［サブメニュー］▶ 1 1

2 MENU ［サブメニュー］▶ 2

3 1 ～ 0

範囲指定：✂ ▶ ✥ で左上を指定して ● ［左上］▶ ✥ で右下を指定して ● ［右下］▶ ✥ で切り出す位置を指定して 📷 ［確定］

4 ● ［決定］▶ 📷 ［完了］▶「はい」▶「OK」

◆ 画像のサイズ変更

画像のサイズを変更します。

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択▶静止画にカーソル▶ MENU ［サブメニュー］▶ 1 1

2 MENU ［サブメニュー］▶ 3 ▶ 1 ～ 9

- 9 を選択したときは、「はい」を選択します。

3 📷 ［完了］▶「はい」▶「OK」

◆ 画像回転

画像を左右に90度回転したり、上下左右に反転したりします。

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択▶静止画にカーソル▶ MENU ［サブメニュー］▶ 1 1

2 MENU ［サブメニュー］▶ 4 ▶ 1 ～ 4

- 画像縮小の確認画面が表示されたら「はい」を選択します。

3 📷 ［完了］▶「はい」▶「OK」

◆ エフェクト

画像の色やタッチを変更したり、顔の表情を変更したりします。

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択▶静止画にカーソル▶ MENU ［サブメニュー］▶ 1 1

2 MENU ［サブメニュー］▶ 5

3 目的の操作を行う

画像エフェクト：1 ▶ 1 ～ 9
フェイスエフェクト：2 ▶ 1 ～ 9
フェイスエフェクト（鏡面）：3 ▶ 1 または 2

4 📷 ［完了］▶「はい」▶「OK」

◆ 画像補正

画像をシャープにしたり、ソフトにしたりして補正します。

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択▶静止画にカーソル▶ MENU ［サブメニュー］▶ 1 1

2 MENU ［サブメニュー］▶ 6 ▶ 1 ～ 4

3 📷 ［完了］▶「はい」▶「OK」

◆ 画像にスタンプを貼り付け

画像に絵や文字などを貼り付けます。

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択▶静止画にカーソル▶MENU［サブメニュー］▶1 1

2 MENU［サブメニュー］▶7

3 目的の操作を行う

画像スタンプ：1▶フォルダを選択▶スタンプにカーソル▶📷［決定］▶🔘で位置を指定して●［決定］▶MENU［完了］

フェイススタンプ：2▶1～8

文字スタンプ：3▶1または2▶フリーワードの場合は文字を入力（全角11（半角22）文字以内）して📷［確定］▶MENUで色の選択、✉、iαで文字サイズの変更▶🔘で位置を指定して●［決定］

4 📷［完了］▶「はい」▶「OK」

◆ 画像にフレームを重ねる

画像にお買い上げ時に登録されているフレーム（装飾枠）やサイトからダウンロードしたフレームを重ねます。

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択▶静止画にカーソル▶MENU［サブメニュー］▶1 1

2 MENU［サブメニュー］▶8▶フォルダを選択▶フレームにカーソル▶📷［決定］

3 📷［完了］▶「はい」▶「OK」

◆ 顔検出位置修正

フェイスエフェクトやフェイススタンプ、プチエステで利用する顔の輪郭情報を設定します。

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択▶静止画にカーソル▶MENU［サブメニュー］▶1 1

2 MENU［サブメニュー］▶9

3 顔の輪郭の左上を指定▶MENU［輪郭］▶顔の輪郭の右下を指定

- 🔘で位置を調整します。
- MENUを押すとカーソルの位置が移動します。
- 📷で口の輪郭、✉で左目と右目の輪郭を指定します。📷／✉を押すとカーソルの位置が移動します。

4 ●［決定］▶📷［完了］▶「はい」▶「OK」

◆ プチエステ

人物の顔に美白メークやナチュラルメークのような効果をかけます。

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択▶静止画にカーソル▶MENU［サブメニュー］▶1 2

2 MENU［サブメニュー］▶2または3

3 📷［完了］▶「はい」▶「OK」

マイコレクションの利用

FOMA端末とmicroSDカードに保存されているJPEG形式の画像、MP4形式の動画を自動でアルバムに分類して管理します。また、「お気に入りアルバム」にアルバムを作成して管理することもできます。

◆マイコレクションの表示

マイコレクションのアルバムを表示します。

1 MENU 5 ▶「マイコレクション」

- 他の端末で作成したアルバムデータ削除の確認画面が表示された場合は「はい」を選択し、認証操作を行います。
- データの更新をするかの確認画面が表示された場合は「はい」を選択します。

お気に入りアルバム：アルバムを作成して利用します。→P276
撮影日：撮影日が記録されたデータを撮影日時で分類
撮影シーン：カメラの撮影シーン別（自動シーン認識を除く）に静止画を分類

- 「自動シーン認識」は撮影時に認識されたシーンに分類されます。

人物：サーチミーフォーカスに登録された人物別にデータを分類
地域：位置情報が付加されたデータを地域で分類
スマイルランキング：スマイルファインダー情報の笑顔度でデータを分類

2 アルバムを選択

- アルバムによっては、さらに項目を選択します。

microSDカードのデータを取り込み：MENU［サブメニュー］▶ 1 1 ▶「はい」

3 データを選択

- 前後のページに切り替え：✉／iα
- 動画を選択したときは、MENUを押すと再生できます。

メールに添付／挿入、ブログ／SNSに投稿：データにカーソル ▶ MENU［サブメニュー］▶ 3 ▶ 1〜3

- 500Kバイトを超える動画をメールに添付または2Mバイトを超える動画をブログ／SNSに投稿すると、リサイズ／切り出しの確認画面が表示されます。

人物の検出：JPEG形式の画像にカーソル ▶ MENU［サブメニュー］▶ 0 ▶「OK」

- サーチミーフォーカスの個人認識データに登録された人物を検出します。

✔お知らせ

- プライバシーモード中は、その他の表示設定のマイピクチャ、ｉモーション、マイコレクションを「指定フォルダを非表示」または「指定アルバムを非表示」に設定したフォルダやアルバム内のデータは表示されません。また、その他の表示設定のマイピクチャ、ｉモーション、マイコレクションのいずれかが「認証後に表示」に設定されている場合、フォルダやアルバムを表示するには認証操作が必要です。
- フォルダセキュリティを設定している場合は認証操作が必要です。
- JPEG形式の画像は無線LAN対応プリンタに直接印刷できます。→P335

❖マイコレクションの連続再生

マイコレクションのデータを連続で表示します。静止画または動画のみを表示することもできます。

1 MENU 5 ▶「マイコレクション」▶ アルバムを選択

- アルバムによっては、さらに項目を選択します。

2 データ一覧で MENU［サブメニュー］▶ 6

照明点灯時間を設定：データ一覧で MENU［サブメニュー］▶ 7 5 ▶ 1 または 2

- 「連続再生設定」では、「静止画再生間隔」「静止画効果設定」「動画リピート設定」「動画ダイジェスト設定」も設定できます。

3 1

静止画のみを連続再生：2
動画のみを連続再生：3

❖マイコレクションの画像設定

マイコレクションのデータを待受画面などに設定できます。

1 MENU 5 ▶「マイコレクション」▶アルバムを選択

- アルバムによっては、さらに項目を選択します。

2 データにカーソル▶ MENU ［サブメニュー］▶ 5

3 1 ▶「はい」

- 画像サイズより小さく、拡大表示可能な画像の場合は「はい（等倍表示）」または「はい（拡大表示）」を選択します。

アルバム表紙設定：2

✔お知らせ

- microSDカードに保存した画像は設定できません。

❖マイコレクションのパズルゲーム

分割してばらばらに配置された画像を並べ替えて復元します。

1 MENU 5 ▶「マイコレクション」▶アルバムを選択

- アルバムによっては、さらに項目を選択します。

2 データにカーソル▶ MENU ［サブメニュー］▶ 8 ▶難易度を選択

◆お気に入りアルバムにアルバムを作成

「お気に入りアルバム」にアルバムを作成します。

- アルバムは最大100個作成できます。
- アルバムを作成すると▓と表示されます。

1 MENU 5 ▶「マイコレクション」▶「お気に入りアルバム」を選択

2 MENU ［サブメニュー］▶ 1

3 1

アルバム情報編集：2

アルバム削除：4 ▶認証操作▶「はい」

- 操作4は不要です。

4 各項目を設定▶ 📷 ［登録］

アルバム名：全角20（半角40）文字以内で設定します。

アルバムコメント：全角30（半角60）文字以内で設定します。

シークレット属性：プライバシーモード中（「指定アルバムを非表示」のとき）に、アルバムを表示させるかを設定します。

オートコレクト：カメラで撮影した画像と動画を設定した条件で自動で分類するかを設定します。編集した画像と動画（コピーした画像と動画を含む）、メールから取得した画像と動画、microSDカードや外部機器から取り込んだ画像と動画はオートコレクトの対象外です。

- オートコレクトを「ON」に設定した場合、「条件未設定」を押して「メイン条件」「保存先」「画像種別」「日時範囲」「開始日時」「終了日時」の各項目を設定▶ 📷 を押します。

❖お気に入りアルバムにデータを貼る／はがす

「お気に入りアルバム」に画像や動画のデータを貼り付けたり、はがしたりします。
- 1つのアルバムに最大999件データを貼り付けられます。

1 MENU 5 ▶「マイコレクション」▶「お気に入りアルバム」を選択
- フォルダを作成している場合は、フォルダを選択してからアルバムを選択します。

2 アルバムを選択
コメントを確認：📷［コメント］

3 MENU［サブメニュー］▶ 1
アルバムからはがす：MENU［サブメニュー］▶ 2 ▶ 1 ～ 3 ▶「はい」
- 複数件はがすには選択操作▶📷が、全件はがすには認証操作が必要です。操作4は不要です。
- アルバムからはがしても画像や動画のデータ自体は削除されません。

4 1 ▶アルバムを選択▶貼り付けるデータを選択▶📷［確定］
- 「アルバムを貼る」には、「検索して貼る」「赤外線受信でもらう」「Bluetooth受信でもらう」方法もあります。

❖お気に入りアルバムにフォルダを作成

フォルダを作成し、アルバムを管理します。
- フォルダは最大10個作成できます。
- フォルダを作成すると📁と表示されます。

1 MENU 5 ▶「マイコレクション」▶「お気に入りアルバム」を選択

2 MENU［サブメニュー］▶ 2

3 1
フォルダ情報編集：2
フォルダ削除：3 ▶認証操作▶「はい」
- 操作4は不要です。

4 各項目を設定▶📷［登録］
フォルダ名：全角20（半角40）文字以内で設定します。

❖お気に入りアルバムのフォルダにアルバムを移動

作成したフォルダにアルバムを移動します。

1 MENU 5 ▶「マイコレクション」▶「お気に入りアルバム」を選択

2 アルバムにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶ 1 3

3 1 ～ 3
- 選択移動では選択操作▶📷が、全件移動では認証操作が必要です。

4 移動先のフォルダにカーソル▶📷［確定］

❖お気に入りアルバムのソート

「お気に入りアルバム」のフォルダやアルバムを並べ替えます。

1 MENU 5 ▶「マイコレクション」▶「お気に入りアルバム」を選択

2 MENU [サブメニュー] ▶ 5 ▶ ソート順を選択

❖お気に入りアルバムのデータのソート

「お気に入りアルバム」のデータの順番を並べ替えます。

1 MENU 5 ▶「マイコレクション」▶「お気に入りアルバム」▶ アルバムを選択

- フォルダを作成している場合は、フォルダを選択してからアルバムを選択します。

2 データ一覧で MENU [サブメニュー] ▶ 5 3 ▶ ソート順を選択

◆お気に入りアルバムのバックアップ

「お気に入りアルバム」をmicroSDカードにバックアップします。
- バックアップをすると、「お気に入りアルバム」に貼られたFOMA端末のデータはmicroSDカードに移動します。

1 MENU 5 ▶「マイコレクション」▶ MENU [サブメニュー] ▶ 3

2 1 ▶ 認証操作 ▶「はい」

復元：2 ▶「はい」

◆お気に入りアルバムの初期化

「お気に入りアルバム」を初期化します。

1 MENU 5 ▶「マイコレクション」▶ MENU [サブメニュー] ▶ 2 ▶ 認証操作 ▶「はい」

動画／ｉモーションの再生

画像サイズが80×80～1920×1080の動画／ｉモーションを再生できます。
- 次の形式に対応しています。

ファイル形式（拡張子）	符号化形式	
MP4（MP4、3GP）	映像	MPEG4、H.263※、H.264
	音声	AMR、AAC、HE-AAC、Enhanced aacPlus
ASF（ASF）	映像	MPEG4
	音声	G.726、AMR（Annex A）

※ 画像サイズが128×96、176×144、352×288のみ対応しています。

1 MENU 5 4

2 フォルダを選択

マイピクチャのフォルダ一覧に切替：📷 [マイピクチャ]

3 動画／ｉモーションを選択

- 「再生位置を指定してください」と表示されたら、「続きから再生」または「始めから再生」を選択します。

メールに添付：動画／ｉモーションにカーソル ▶ ✉ [✉／投稿] ▶ 1
ブログ／SNSに投稿：動画／ｉモーションにカーソル ▶ ✉ [✉／投稿] ▶ 2 ▶ 投稿先にカーソル ▶ MENU [決定]

✔お知らせ

- メールに添付やブログ／SNSに投稿する場合、添付確認画面が表示されたら「はい」を選択します。
- 500Kバイトを超える動画をメールに添付または2Mバイトを超える動画をブログ／SNSに投稿する場合、「リサイズ／切り出し」、「メール用（短）」（メール添付のみ）、「メール用（長）」のいずれかを選択します。
- リサイズ／切り出し中に電話着信などで画面が切り替わった場合、リサイズ/切り出しは中断されます。
- 高解像度の動画／ｉモーションを再生時、画面に乱れが生じる場合があります。
- 顔検索ができる動画を保存したmicroSDカードを本FOMA端末に取り付けた場合、フォルダ一覧で[iα]を押して顔検索ができます。
- ケータイデータお預かりサービスを利用して動画／ｉモーションをバックアップできます。→P121

❖動画／ｉモーションの画面の見かた

① **再生状態**
PLAY：再生中
STOP：停止中　PAUSE：一時停止中
FR：巻き戻し中　FR×2：巻き戻し中（2倍速）
FF：早送り中　FF×2：早送り中（2倍速）

② **再生位置インジケータ**

③ **再生時間／トータル時間**

④ **ファイルの種類／状態**
[リピート]：リピート再生
[FM]：FMトランスミッタ出力中
[Bluetooth]：Bluetooth機器出力中
[QCIF]：画像サイズ
[RECORDER]：レコーダー連携再生中
[音声]：音声あり　[映像]：映像あり　[テロップ]：テロップあり
[音声×]：音声再生不可　[映像×]：映像再生不可

⑤ **再生音量**

❖動画／ｉモーション再生中の操作

動画／ｉモーション再生中は次の操作ができます。

音量調整：[上下]、[▲][▼]
- 横画面で[左右]を押すと、音量を調整します。

消音：[✓]

前後のｉモーションを再生（一時停止中ではコマ戻し／コマ送り）：[左右]、[▲][▼]（1秒以上）
- 横画面で[上下]を押すと、前後のｉモーションを再生します。
- 横画面で一時停止中に[上下]を押すと、コマ戻し／コマ送りします。

巻き戻し／早送り再生：[左右]（1秒以上）
- 巻き戻し／早送り再生中に[左右]を1秒以上押すと高速で巻き戻し／早送りします。
- 横画面で[上下]を1秒以上押すと、巻き戻し／早送り再生します。
- [MENU][8][5][2]を押すと、2倍速で巻き戻し／早送りができます。

ポーズ／再生／先頭から再生（停止中）：[●]

停止：[iα]

全画面と通常の再生画面の切り替え：[📷]
- 画像サイズによってはフルワイド画面にも切り替わります。

一覧画面に戻る：[CLR]

指定位置にジャンプ：[1]～[9]

FMトランスミッタ出力：[MENU]［サブメニュー］▶[3]▶[1]～[4]
- [3]を選択した場合、[1]～[5]を選択します。
- [4]を選択した場合、[1]または[2]を選択します。

Bluetooth機器への出力：[MENU]［サブメニュー］▶[4]▶[1]～[3]
- [3]を選択した場合、[1]または[2]を選択します。
- 起動時自動接続設定を「ON」にすると、動画／ｉモーション再生時にBluetooth機能の通常接続機器（オーディオ）設定を「設定」にしたBluetooth機器と自動的に接続を行います。

チャプター選択による再生※：[MENU]［サブメニュー］▶[7]

※ チャプター情報を持つ動画／ｉモーションのみ有効です。

✔お知らせ

- 再生画面でトータル時間が「--:--:--」と表示されるｉモーションは、早送り／巻き戻し、再生停止位置からの再生、チャプター情報を利用した再生はできません。
- 再生制限が設定されているｉモーションを選択すると、再生制限の状態が表示されます。再生制限により再生できない場合は、削除の確認画面が表示されます（再生期間前の場合を除く）。なお、再生期間や期限が制限されている場合に、FOMA端末の日付・時刻を変更しても再生できません。
- ダウンロードに失敗、またはダウンロードを中断して部分的に取得したｉモーションを選択すると、残りデータの取得確認画面が表示されます。ダウンロードしても再取得できなかったときは、部分的に保存されていたデータは削除されます。

◆マイク付リモコン

マイク付リモコン F01（別売）で動画／ｉモーション再生中の操作ができます。

[▶/II]：一時停止／再生
[＋][－]：音量調整
[◀HOLD]（▼方向へスライド）：[▶/II]、[＋]、[－]のキー操作無効
[◀HOLD]（▼と逆側へスライド）：キー操作無効を解除

◆動画／ｉモーションの連続再生

フォルダ内の動画／ｉモーションを連続で再生します。

1 [MENU][5][4]▶フォルダにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[3]

2 [1]

リピート再生設定：[2]▶[1]または[2]
ダイジェスト再生設定：[3]▶[1]～[3]

◆ｉモーション・ムービー設定

動画／ｉモーションを再生するときの動作を設定します。

- 「リピート再生」「表示サイズ切替」「ライトアップ」「照明点灯時間設定」「送り速度指定」「コマ送り幅指定」「起動時画面モード設定」「音声切替」の動作を設定できます。

〈例〉照明点灯時間を設定する

1 [MENU][5][4]▶フォルダを選択▶動画／ｉモーションを選択▶[MENU]［サブメニュー］▶[8][4]▶[1]または[2]

- 「端末設定に従う」にすると、照明設定の照明点灯時間設定（通常時）の設定に従って照明が点灯します。

◆音・映像設定

動画／ｉモーションを待受画面、音声電話着信音、テレビ電話着信音、メモリ指定電話着信音、メール着信音、メッセージR着信音、メッセージF着信音、メモリ指定メール着信音、メール受信完了画像、ｉコンシェル着信音に設定できます。
動画／ｉモーションの種類によって、次の設定に利用できます。

○：可　×：不可

種　類	待受画面	着信音	着信画像
音声＋映像	○	○※	○
映像のみ	○	×	○
音声のみ	×	○	×

※ ｉコンシェル着信音を除く

- 再生制限が設定されているｉモーションや、画像サイズが128×96、176×144、240×176、320×240以外の動画／ｉモーションは利用できません。
- 次の動画／ｉモーションは、着信音、着信画像に利用できません。
  - テロップ（テキスト）あり
  - 外部機器や他のFOMA端末に転送し、FOMA端末に戻したもの
  - コンテンツ移行対応のｉモーション以外で、microSDカードから移動／コピーしたもの（FOMA端末からmicroSDカードに移動／コピーして戻したものを含む）

〈例〉待受画面に設定する

1 [MENU][5][4]▶フォルダを選択▶動画／ｉモーションにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[4][1]▶「はい（等倍表示）」または「はい（拡大表示）」

動画の編集

撮影した動画のサイズを変更したり、画像を切り出したりして編集できます。
- 編集した動画は元のデータが保存されていたフォルダに新しいデータとして保存されます。ただし、静止画として切り出したデータはマイピクチャの「カメラ」フォルダに保存されます。編集後にメールに添付した場合も同様です。

◆ 静止画キャプチャ

位置を指定し、静止画として切り出します。

1 MENU 5 4 ▶フォルダを選択▶動画を選択▶ MENU ［サブメニュー］▶ 1 1
- コマ戻し／コマ送り：
- 巻き戻し／早送り：（1秒以上）

2 MENU ［サブメニュー］▶ 1 ▶「OK」

◆ 動画の切り出し（映像カッター）

動画を指定したサイズや範囲に切り出します。

1 MENU 5 4 ▶フォルダを選択▶動画を選択▶ MENU ［サブメニュー］▶ 1 1
- コマ戻し／コマ送り：
- 巻き戻し／早送り：（1秒以上）

2 MENU ［サブメニュー］▶ 2

3 切り出しの種類を選択

メール用（短）： 1 ▶ MENU ［始点］▶「確認」
メール用（長）： 2 ▶ MENU ［始点］▶「確認」
部分切り出し： 3 ▶ MENU ［始点］▶ ▶ MENU ［終点］▶「確認」
前部分消去： 4 ▶ MENU ［始点］▶「確認」
後部分消去： 5 ▶ MENU ［終点］▶「確認」

4 MENU ［サブメニュー］▶ 5 ▶「OK」
- 切り出した動画が500Kバイト以上のときは、「メール用（短）」「メール用（長）」「なにもしない」のいずれかを選択▶「OK」を押します。

✔お知らせ
- 500Kバイト以下の動画はメール用（短）に切り出しできません。
- 2Mバイト以下の動画はメール用（長）に切り出しできません。
- 約3秒未満の動画、本体の2Mバイトを超える動画は、部分切り出し、前部分消去、後部分消去できません。

◆ 動画のリサイズ／切り出し

QVGAを超えるサイズで撮影した2Mバイトを超える動画をQVGAまたはVGAにサイズを縮小して切り出します。編集後の動画はメールへの添付やブログ／SNSへの投稿に利用できます。

1 MENU 5 4 ▶フォルダを選択▶動画を選択▶ MENU ［サブメニュー］▶ 1 1

2 MENU ［サブメニュー］▶ 3 ▶ 1 または 2

3 MENU ［サブメニュー］▶ 5 ▶「OK」
- リサイズ後のファイルサイズによっては、メール添付用に変換するかの確認画面が表示されます。

ブルーレイディスクレコーダー連携

ブルーレイディスクレコーダー（以降BDレコーダー）に録画した番組を、FOMA端末内のmicroSDカードに保存します。

- FOMA端末とBDレコーダーを接続するには、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）が必要です。
- 保存した録画番組は、microSDカードのデータBOXのｉモーション・ムービー（「レコーダー連携」フォルダ）に保存され、動画として再生できます。
- 対応機種については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 USBモードを「microSDモード」に設定

USBモード→P294

2 BDレコーダーとFOMA端末をUSBケーブルで接続▶BDレコーダーから動画を転送

- FOMA端末の接続方法については「USBケーブルの取り付けかた」（→P295）を、BDレコーダーの接続方法と転送方法についてはBDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

✔お知らせ

- USBケーブルを無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。また、データ転送中にUSBケーブルを外すと、誤動作やデータ消失の原因となります。
- FOMA端末への移動、メール送信、赤外線／iC送信などには対応していません。

マチキャラの表示

待受画面やメニュー画面などに設定するキャラクタを表示します。

- マチキャラの設定→P94

1 MENU 5 9▶フォルダを選択

2 マチキャラを選択

手動アップデート：マチキャラにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶6▶「はい」

一括情報リセット：マチキャラにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶7▶「はい」

キャラ電の表示

テレビ電話中にカメラ映像の代わりとして利用するキャラクタを表示します。

- キャラ電設定→P67

1 MENU 5 0

2 フォルダを選択

3 キャラ電を選択

- 表示中は次の操作ができます。
  ●：テレビ電話代替画像に設定
  📷：全体アクションとパーツアクションの切替
  ✉：アクション一覧の表示
  iα：拡大／等倍表示
  1～9、#：対応するアクションの実行
  0：アクションの中止
  - 現在のアクション種別は、次のアイコンで表示されます。
    ▣: 全体アクション　▣: パーツアクション

テレビ電話をかける：キャラ電を選択▶MENU［サブメニュー］▶6▶電話番号を入力するか📷［電話帳］を押して電話帳から選択▶iα［テレビ電話］

- 電話番号を入力して✉を押すと、発信オプションを利用できます。→P57

照明点灯時間設定：キャラ電にカーソル▶MENU［サブメニュー］▶6 2▶1または2

- 「端末設定に従う」にすると、照明設定の照明点灯時間設定（通常時）の設定に従って照明が点灯します。

メロディの再生

SMF形式やMFi形式のメロディを再生できます。

1 MENU 5 5

2 フォルダを選択▶メロディを選択

再生音量　再生時間　イコライザ設定

- 再生中は次の操作ができます。
  - ：音量調整
  - ：先頭に移動（再生時間が0.5秒以内のときは前のメロディ再生）
  - ：次のメロディ再生
  - 、CLR：停止

メールに添付：メロディにカーソル▶ ［作成］
開始位置選択：メロディにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶6 1▶1または2
音量設定：メロディにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶6 3▶▶［決定］
イコライザ設定：メロディを選択▶MENU［サブメニュー］▶6▶1～4

✔お知らせ

- ケータイデータお預かりサービスを利用してメロディをバックアップできます。→P121

◆メロディを着信音に設定

メロディを着信音に設定します。

1 MENU 5 5▶フォルダを選択▶メロディにカーソル▶［音設定］▶1～9

- 「メモリ指定電話着信音」または「メモリ指定メール着信音」を選択したときは、電話帳を選択▶を押します。

◆メロディの連続再生

フォルダ内のメロディをまとめて再生できます。

1 MENU 5 5▶フォルダにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶6 2

コンテンツパッケージの表示

コンテンツパッケージを表示します。

1 MENU 5 6

2 コンテンツパッケージを選択

コンテンツパッケージ利用画面が表示され、コンテンツパッケージに含まれるコンテンツの表示名称が確認できます。

3 コンテンツの表示名称を選択

- コンテンツのデータは対応した保存先に保存されています。コンテンツを表示すると、データ表示中の操作と同様に各種操作ができます。
- を選択すると、iモードサイトに接続して、コンテンツパッケージのホームページを表示できます。

✔お知らせ

- コンテンツの種類とデータの保存先は次のとおりです。
  画像：ダウンロード時に選択したマイピクチャの「ｉモード」、「デコメ絵文字」、作成したフォルダのいずれか
  デコメ絵文字®：マイピクチャの「デコメ絵文字」の「お気に入り」フォルダ
  着うたフル®、うた・ホーダイ：ミュージックの「プレイリスト」以外のフォルダ
  ｉモーション：ｉモーション・ムービーの「ｉモード」フォルダ
  メロディ：メロディの「ｉモード」フォルダ
  きせかえツール：きせかえツールの「ｉモード」フォルダ
  マチキャラ：マチキャラの「ｉモード」フォルダ
  スケジュール、ｉスケジュール：スケジュール
  デコメール®テンプレート、デコメアニメ®テンプレート：デコメテンプレートの「デコメール」、「デコメアニメ」
  ｉアプリ：ｉアプリのソフト一覧の「マイフォルダ」
  トルカ：トルカの「トルカフォルダ」
- コンテンツのデータをフォルダ間移動しても、コンテンツパッケージ利用画面からコンテンツを表示できます。
- 次の場合、コンテンツパッケージ利用画面からコンテンツを表示できません。
  - コンテンツのデータをmicroSDカードに移動したとき
  - コンテンツのデータをmicroSDカードに移動後にFOMA端末に戻したとき
  - コンテンツのデータを削除したとき
- 再生回数制限ありのｉモーションや着うたフル®を再生すると、回数にカウントされます。
- 「該当のコンテンツが見つかりません」と表示されたら、ダウンロードが完了していないか取得したコンテンツのデータが移動や削除されています。「再ダウンロード」▶「はい」を選択すると、サイトに接続してコンテンツを再度取得できます。「フォルダを確認」を選択すると、各データのフォルダ一覧からコンテンツのデータを確認して表示できます。

microSDカードについて

撮影した静止画や動画、メロディなどのデータをmicroSDカードに保存したり、電話帳やスケジュールなどのデータをバックアップしたりできます。また、外部機器で作成した動画をmicroSDカードに保存してFOMA端末で再生したり、FOMA端末内のmicroSDカードをドライブとして認識させ、パソコンからデータを操作したりできます（→P294）。

- 別途microSDカードが必要です。お持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
- 初期化されていないmicroSDカードは、本FOMA端末で初期化してから使用してください（→P293）。なお、他のFOMA端末やパソコンなどで初期化したmicroSDカードや、初期化を中断したmicroSDカードの動作は保証できません。
- microSDカードを初期化すると、保存されているデータはすべて消去されますのでご注意ください。
- microSDカード内のデータは、コンテンツ移行対応のデータを除き、待受画面や着信音、着信画像などに設定できません。
- F-01Eでは市販の2GバイトまでのmicroSDカード、32GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています（2012年11月現在）。microSDカードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については、ｉモードから「@Fケータイ応援団」サイト（→P298）の「メモリーカード対応情報」をご覧いただくか、パソコンから次のホームページをご覧ください。
  FMWORLD（http://www.fmworld.net/）→携帯電話の製品情報→microSD対応状況、microSDHC対応状況
  掲載されているmicroSDカード以外については、各microSDカードメーカへお問い合わせください。なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

◆ microSDカード使用時の留意事項

- microSDカードを取り付けているFOMA端末に落下などの強い衝撃を与えないでください。データが壊れる場合があります。
- microSDカードにラベルやシールを貼らないでください。
- 「PIM」、「現在地通知先」のデータを本体へコピー中、バックアップしたデータを本体へ復元中は、データ転送モード（圏外と同じ状態）になります。
- パソコンなど他の機器で書き込み保護されたmicroSDカードは、データの保存や削除、初期化などができません。
- パソコンなど他の機器からmicroSDカード／microSDHCカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からmicroSDカード／microSDHCカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できない場合があります。
- ファイルサイズが2Gバイト（ｉモーション・ムービーの動画(QVGA以下、HD、その他)は4Gバイト）を超えるデータは利用できません。
- microSDカードによっては、保存した動画に乱れが発生する場合があります。
- microSDカードに保存したデータは、パソコンなどにバックアップするなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

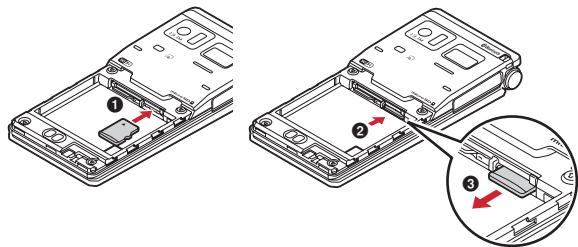
◆ microSDカードの取り付けかた／取り外しかた

- 必ず電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください。→P42
- microSDカードスロットには、microSDカード以外は挿入しないでください。また、傷や変形、ゴミの付着などがあるmicroSDカードは取り付けないでください。故障の原因となります。
- microSDカードは挿入方向に注意して正しく取り付けてください。正しくない向きに挿入するとmicroSDカードやスロットの破損、または抜き取れなくなる恐れがあります。また、正しく取り付けていない状態では、データのコピーやバックアップなどの操作ができません。
- microSDカードの金属端子部分に触れないようにご注意ください。
- 取り付け／取り外しを行うときに、microSDカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。

■ 取り付けかた

microSDカードの金属端子面を下にしてスロットにゆっくり差し込み（❶）、「カチッ」と音がするまでさらに差し込みます。

■ 取り外しかた

microSDカードを❷の方向に軽く押し、飛び出したmicroSDカードを❸の方向にまっすぐ引き出します。

◆ microSDカードのフォルダ構成

FOMA端末からmicroSDカードにデータを移動／コピーしたり、撮影した静止画などを直接microSDカードに保存したりすると、ファイルに対応したフォルダが自動的に作成されます。パソコンなどで表示した場合のフォルダ構成とファイル名は次のとおりです。

- パソコンなどからデータを保存するときは、このフォルダ構成とファイル名に従ってください。このフォルダ構成にないフォルダを保存すると、FOMA端末でフォルダが表示されない場合があります。保存後はFOMA端末で情報更新する必要があります。→P293
  パソコンのデータをインポートフォルダに保存し、一括振り分けをすると、データは各フォルダに振り分けられ、ファイル名は規則に従って変更されます。
- パソコンなどでフォルダ名を変更したり、管理用データのファイル名を変更／削除したりすると、FOMA端末でデータを正しく表示、再生できなくなります。
- 最大保存件数はmicroSDカードの容量などにより少なくなります。
- フォルダ名とファイル名の規則は次のとおりです。使用する文字は「＊」を除きすべて半角、英字は大文字のみです。
  「a」英数字、_（アンダーバー）
  「xxx」001～999（「xxxFJDCF」は100～999）の3桁の数字
  「xxxx」0001～9999の4桁の数字
  「xxxxx」00001～65535の5桁の数字

「zzz」001～FFFの3文字の英数字（16進数）
「＊」任意の文字列

フォルダ				
DCIM※1				
	xxxFJDCF			①
DEVPROF※2				
PRIVATE				
	ADOBE			②
	DOCOMO			
		BACKUP※3		③
		DECO_A_T		④
		DECOIMG		⑤
		DOCUMENT		
			PUDxxx	⑥
		LCSCLIENT		⑦
		MMFILE		⑧
			WM※2	⑨
			WM_SYSTEM※2、3	
		OTHER		⑩
		RINGER		⑪
		STILL		⑫
		TABLE※2		
		TORUCA		⑬
	FUJITSU			
		IMPORT		⑭
		ONESWING		⑮
		OTHER		⑯
SD_BIND※2				⑰
	SVCxxxxx			
SD_PIM				⑱
SD_VIDEO				
	MGR_INFO※2			
	PRGzzz※2			⑲
	PRLzzz			⑳

※1 DCIM内のフォルダ名の「xxx」部分が重複すると、FOMA端末でフォルダが表示されない場合があります。
※2 管理用データが含まれています。変更／削除しないでください。
※3 隠しフォルダです。パソコンの設定によっては表示されません。

① データBOXのマイピクチャ（撮影した静止画、DCF規格のJPEG形式の画像、GIF形式の画像、MPO形式の画像）
ファイル名：aaaaxxxx.JPG/GIF/MPO　最大保存件数：1フォルダ1000件

② フルブラウザでFlash画像からダウンロードしたデータを格納するフォルダ

③ バックアップ

④ デコメアニメテンプレート
ファイル名：DEATxxxx.VGT　最大保存件数：400件

⑤ データBOXのマイピクチャのデコメ絵文字
ファイル名：DIMGxxxx.JPG/GIF　最大保存件数：1フォルダ1000件

⑥ データBOXのマイドキュメント（PDFデータ）
ファイル名：＊.PDF　最大保存件数：1フォルダ999件
- 拡張子を含めて半角64文字までのロングファイルネーム形式に対応しています。ファイル名の重複などがあると、「PDFDCxxx.PDF」の形式に変更されることがあります。
- 拡張子が「PDF」以外のファイルも保存されます。拡張子の意味は次のとおりです。
  「$DF」：ダウンロードに失敗したPDFデータ
  「DDF」：ｉモードしおり情報やマーク情報などを管理するファイル
  「JPG」：サムネイル表示用のファイル

⑦ 現在地通知先
ファイル名：LSCDCxxx.LSC　最大保存件数：999件
- 全件コピーデータは1件のファイルとして保存されます。1ファイルで5件まで表示できます。

⑧ データBOXのｉモーション・ムービーの動画（HD、その他）
ファイル名：MMFxxxx.3GP/ASF/MP4
最大保存件数：1フォルダ1000件
- ファイルサイズがQVGA以下の動画／ｉモーションは、「⑳データBOXのｉモーション・ムービーの動画（QVGA以下）」に保存されます。
- 拡張子が「3GP」「MP4」のファイルはMP4形式として扱われます。
- AAC形式の音楽データを保存できます。

⑨ ミュージック（WMA）
ファイル名：＊.WMA　最大保存件数：1000件
- ファイル名は最大63文字（拡張子を含む）です。
- Windows Media Playerを使用して保存してください。保存後の情報更新は必要ありません。

⑩ その他（Word、Excel、PowerPointのファイル、MPO形式の画像など）
ファイル名：aaaaaaaa.aaa　最大保存件数：1フォルダ999件
- ファイル名は8文字、拡張子は3文字（Word2007、Excel2007、PowerPoint2007は4文字）です。

⑪ データBOXのメロディ
ファイル名：RINGxxxx.MID/MLD/SMF
最大保存件数：1フォルダ1000件

⑫ データBOXのマイピクチャのその他静止画（DCF規格外のJPEG形式の画像、GIFアニメーション、Flash画像）
ファイル名：STILxxxx.JPG/GIF/SWF
最大保存件数：1フォルダ1000件

⑬ トルカ
ファイル名：TORUCxxx.TRC　最大保存件数：1フォルダ999件

⑭ インポート
ファイル名：＊.VCF/VMG/VCS/VNT/VBM/JPG/GIF/SWF/MPO/ASF/MP4/3GP/M4A/WMV/WMA/MLD/MID/SMF/PDF(DDF)/$DF(DDF)/DOC/XLS/PPT/DOCX/XLSX/PPTX/BMP/PNG
- ファイル名は最大229文字（拡張子を含む）です。ただし、マイドキュメントのインポート／一括振り分け／データ送信は最大64文字（拡張子を含む）、その他のインポートは最大64文字（拡張子を含む）、一括振り分けは最大40文字（拡張子を含む）です。

最大保存件数：合計で9999件

⑮ 電子辞書
ファイル名：＊.OSW/JKW/DAT
最大保存件数：データの空きサイズまで可能

⑯「⑩その他（Word、Excel、PowerPointのファイル、MPO形式の画像など）」に格納されたWord、Excel、PowerPointのサムネイル格納フォルダ（サムネイル表示用のファイル）
ファイル名：aaaaaaaa.JPG　最大保存件数：1フォルダ999件

⑰ コンテンツ移行対応のデータ（データBOXのマイピクチャ、ミュージック、Music&Videoチャネル、ｉモーション・ムービー、メロディ、きせかえツール、マチキャラ、ｉアプリ使用データ、画面メモ、MyFACE）
ファイル名：aaaaaaaa.SB1/SB2/SB4/aaa
最大保証件数：各1000件（Music&Videoチャネルは1フォルダ999件、ｉアプリ使用データは1200件）
- ファイル名は1～8文字、拡張子は3文字以内です。
- Music&Videoチャネルのチャプターファイルの場合、ファイル名は「CHAPTnnn.SB4」。nnnはチャプター番号です。

⑱ PIMの各フォルダ
ファイル名：PIMxxxxx.VBM/VCF/VCS/VMG/VNT
最大保存件数：合計で9999件
- PIMデータ（電話帳、メモ、メール、Bookmark）の管理用に、拡張子が「PIM」のファイルも保存されます。
- 全件コピーデータは1件のファイルとして保存されます。1ファイルで表示できる件数は、FOMA端末の最大保存件数（→P442）と同じです。電話帳はFOMA端末の最大保存件数とプロフィールが表示できます。

⑲ データBOXのワンセグ、データBOXのｉモーション・ムービーのレコーダー連携（ワンセグのビデオ、ブルーレイディスクレコーダーで録画した番組）
ファイル名：MOVzzz.MAI/MOI/TOD/SB1/SDV/SD1/3GP/SG1、PRGzzz.PGI、CHP_MGR
最大保存件数：99件

⑳ データBOXのｉモーション・ムービーの動画（QVGA以下）
ファイル名：MOLzzz.3GP/ASF/MP4
最大保存件数：1フォルダ1000件
- ファイルサイズがQVGAより大きい動画／ｉモーション、音声のみの動画／ｉモーションは、「⑧データBOXのｉモーション・ムービーの動画（HD、その他）」に保存されます。
- 拡張子が「3GP」「MP4」のファイルはMP4形式として扱われます。

FOMA端末⇔microSDカードでのデータやりとり

FOMA端末からmicroSDカード、microSDカードからFOMA端末にデータを移動／コピーします。

- コンテンツ移行対応のデータの移動→P290
- ミュージックの音楽データの移動→P220
- 次のデータは移動／コピーができます。
  - 画像、動画／ｉモーション、メロディ、PDFデータ（部分的にダウンロードしたものを除く）、Word、Excel、PowerPointファイル、ワンセグのビデオ（microSDカードへの移動／コピーのみ）
- 次のデータはコピーができます。
  - 電話帳、メモ、メール、Bookmark、トルカ（詳細含む）、GPSの現在地通知先、デコメアニメ®テンプレート

◆ FOMA端末⇒microSDカードへの移動／コピー

FOMA端末からmicroSDカードにデータを移動／コピーします。

- FOMA端末外への出力が禁止されているデータ（自端末でファイル制限を「あり」に設定したデータや「外部取得データ」フォルダ内のデータを除く）は移動やコピーできません。
- microSDカードにワンセグ予約録画中／ワンセグ録画中は、移動やコピーできません。

〈例〉画像を移動／コピーする

1 **MENU 5 1 ▶ フォルダを選択 ▶ データにカーソル**

- microSDカードのフォルダ一覧が表示された場合は、「→本体」を選択します。

2 **MENU［サブメニュー］▶ 5 ▶ 2 または 3**

- 一覧画面によってサブメニューの名称や項目番号は異なります。「移動／コピー」または「移動」▶「microSDへ移動」または「microSDへコピー」を選択してください。ワンセグのビデオの一覧では「microSDへ移動」または「microSDへコピー」を、デコメアニメ®テンプレートの一覧では「microSDへコピー」を選択します。
- ワンセグのビデオのコピーでは操作3以降は不要です。

3 **1～3**

- 選択移動／コピーでは選択操作 ▶ 📷 が、フォルダ内全件移動／コピーでは認証操作が必要です。
- デコメアニメ®テンプレートのコピーでは、1 または 2 ▶「はい」を押します。操作4は不要です。
- ワンセグのビデオの移動、トルカでは、1～3 ▶「はい」を押します。操作4は不要です。

4 **移動／コピー先のフォルダにカーソル ▶ 📷［確定］▶「はい」**

- 1件移動／コピーでは「はい」の選択は不要です。
- 画像、動画／ｉモーションの選択移動／コピー、フォルダ内全件移動／コピーでは移動先のフォルダにカーソル ▶ 📷 は不要です。
- メロディ、PDFファイル、Word、Excel、PowerPointのファイルの選択移動／フォルダ内全件移動では、「はい」▶ 移動先のフォルダにカーソル ▶ 📷 を押します。

✔お知らせ

- マイピクチャ、ｉモーション・ムービー、メロディ、ワンセグ、その他、デコメアニメ®テンプレートのデータを移動／コピーすると、ファイル名がパソコンでデータを保存するときの決まりに従って変更されます。また、PDFデータによってはファイル名が変更されることがあります。→P286
- 移動／コピーした静止画のファイルサイズが、FOMA端末で表示されるサイズより大きくなることがあります。この場合、microSDカードで表示されるサイズが実際のサイズです。
- ダビング10に対応している番組のビデオは9回目までコピーできます。10回目は移動のみ可能です。

◆ microSDカード⇒FOMA端末への移動／コピー

microSDカードからFOMA端末にデータを移動／コピーします。

- 最大保存件数／領域を超えたとき（データBOX内のデータ）→P299

〈例〉画像を移動／コピーする

1 [MENU] [6] [✂] [1] [1]

2 フォルダを選択▶データにカーソル

3 [MENU]［サブメニュー］▶[5]▶[2]または[3]

- 一覧画面によってサブメニューの名称や項目番号は異なります。「移動／コピー」または「移動」▶「本体へ移動」または「本体へコピー」を選択してください。デコメアニメ®テンプレートの一覧では、「本体へコピー」を選択します。
- インポートフォルダのデータ一覧では、「本体へコピー」▶認証操作（1ファイル複数データの場合）▶「はい」を選択します。操作4は不要です。

4 [1]～[3]

- 選択移動／コピーでは選択操作▶[📷]が、フォルダ内全件移動／コピーでは認証操作が必要です。
- デコメアニメ®テンプレートのコピーでは、[1]または[2]▶「はい」を押します。操作5は不要です。

5 移動／コピー先のフォルダにカーソル▶[📷]［確定］▶「はい」

- 1件移動／コピーでは「はい」の選択は不要です（トルカを除く）。
- 選択移動／フォルダ内全件移動では、「はい」▶移動先のフォルダにカーソル▶[📷]を押します。
- トルカでは、移動先／コピー先のフォルダにカーソル▶[📷]は不要です。
- データはFOMA端末の次のフォルダに保存されます。
  データBOXのデータ、その他：選択したフォルダ
  デコメ絵文字®：マイピクチャの「デコメ絵文字」の「お気に入り」
  トルカ：「トルカフォルダ」
  デコメアニメ®テンプレート：デコメテンプレートの「デコメアニメ」

◆ PIMデータや現在地通知先のコピー

PIMデータ（電話帳、メモ、メール、Bookmark）やGPSの現在地通知先をコピーします。

1 [MENU] [6] [✂] [2]▶[1]～[6]▶データにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[1]▶[1]～[4]（メールでは[1]～[5]）

- 本体へ全件上書きコピーでは、FOMA端末の現在のデータを消去して、microSDカードの全件コピーデータをFOMA端末にコピーします。
- microSDカードへ全件コピーでは、選択した種類の全てのデータを、1つにまとめてmicroSDカードに保存します。
- メールの本体へ選択追加コピーでは選択操作▶[📷]が必要です。

現在地通知先のコピー：[MENU] [6] [✂] [5]▶フォルダを選択▶データにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[1]▶[1]、[2]、[5]のいずれか

- microSDカードに1件も保存されていない場合は操作できません。FOMA端末の現在地通知先一覧から操作してください。

2 認証操作▶「はい」

- 本体へ1件追加コピー、本体へ選択追加コピーでは、認証操作は不要です。
- 電話帳をmicroSDカードに全件コピーしたときは、プロフィールのコピー確認画面が表示されます。
- FOMA端末の各データの一覧画面で次のサブメニューを選択しても、microSDカードに全件コピーできます。一覧画面ではmicroSDカードへ1件コピーもできます。
  電話帳一覧、メモ一覧：「データコピー／お預かり」
  メール、Bookmarkのフォルダ一覧※：「microSDへ全件コピー」
  現在地通知先一覧：「microSDへコピー」

※ メールの1件コピーはメール一覧で「移動／コピー」▶「microSDへコピー」▶「1件コピー」、Bookmarkの1件コピーはデータ一覧で「microSDへコピー」▶「1件コピー」

✔お知らせ

- 電話帳を1件コピーの場合はシークレット属性は解除されます。
- メールをコピーすると、iモードメールの保護は解除されます。また、メール本文を含め100Kバイトを超えた分の添付ファイルはコピーされません。
- メモをコピーしても、共有設定や添付のメール、アラーム・リマインド設定のアラーム音（お買い上げ時に登録されているデータ利用時を除く）やアラーム画像などはコピーされません。
- 現在地通知先を本体へ追加コピーする場合、FOMA端末の現在地通知先と同じ電話番号のデータは保存できません。
- 他のFOMA端末で保存した全件コピーデータに、本FOMA端末の最大保存件数を超えるデータが含まれている場合、超過したデータは本体へコピーできません。

コンテンツ移行対応のデータの移動

サイトから取得した著作権のあるデータのうち、コンテンツ移行対応のデータをmicroSDカードに移動します。コピーはできません。

- コンテンツ移行対応のデータは、詳細情報のmicroSDへの移動が「可」または「可（同一機種間）」の場合移動できます。
- 次のコンテンツ移行対応のデータが移動できます。
  マイピクチャ、ミュージック、Music&Videoチャネル、iモーション・ムービー、メロディ、きせかえツール、マチキャラ、画面メモ、MyFACE
- MyFACEの移動→P37

〈例〉iモーションを移動する

1 MENU 5 4 ▶「iモード」フォルダを選択▶iモーションにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶5 2

- 一覧画面によってサブメニューの名称や項目番号は異なります。「移動／コピー」または「移動」▶「microSDへ移動」を選択してください。ミュージックの一覧、画面メモの一覧では「microSDへ移動」を選択してください。

2 1～3▶「はい」▶「はい」

- 1件移動（ミュージックを除く）、画面メモの移動では「はい」の選択は不要です。
- 選択移動では選択操作▶📷が、フォルダ内全件移動では認証操作が必要です。画面メモの全件移動では認証操作は不要です。
- 移動先のフォルダを指定するときは、「移動先選択」▶移動先のフォルダを選択▶📷が必要です。
- コンテンツ移行対応以外のデータを選択して移動先のフォルダ選択が表示された場合は、フォルダにカーソル▶📷を押します。

✔お知らせ

- 作成したフォルダに移動すると、他のFOMA端末で認識できないことがあります。
- データの移動中にmicroSDカードを取り外したり、電源を切ったりしないでください。microSDカード内のすべてのコンテンツ移行対応データが利用できなくなる場合があります。

❖FOMA端末への移動

microSDカードに保存したコンテンツ移行対応のデータを移動します。

- サイトから取得したり、microSDカードに移動したりしたときと同じドコモminiUIMカードを挿入している場合（データによってはさらに同一機種である場合）のみ移動できます。

〈例〉iモーションを移動する

1 MENU 6 ✂ 1 2 ▶「移行可能コンテンツ」フォルダを選択▶フォルダを選択▶iモーションにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶6 2

- 一覧画面によってサブメニューの名称や項目番号は異なります。「移動／コピー」または「移動」▶「本体へ移動」を選択してください。ミュージックの一覧、画面メモの一覧では「本体へ移動」を選択してください。

2 1～3▶「はい」

- 1件移動（ミュージックを除く）、画面メモの移動では「はい」の選択は不要です。
- 選択移動では選択操作▶📷が、フォルダ内全件移動では認証操作が必要です。画面メモの全件移動では認証操作は不要です。

microSDカードのデータ表示

microSDカードに保存されているデータを表示します。

- MyFACEの表示→P37
- Music&Videoチャネルの番組再生→P228
- ミュージックの音楽データの再生→P219
- 動画／ｉモーションの再生→P278
- バックアップデータの表示→P293
- ワンセグの表示→P306
- 他の機器でmicroSDカードのデータを変更、追加、削除したことによってFOMA端末でデータを正しく表示できなくなったときは、情報を更新してください。→P293

1 MENU 6 ✂

2 データの種類を選択

- デコメアニメ®テンプレートでは操作3は不要です。操作4に進みます。

3 フォルダまたはデータの種類を選択

4 データを選択

PIM、現在地通知先の複数件コピーデータを表示：**複数件コピーデータを選択▶データを選択**

- 全件コピーデータのマークは、マークが後ろに重なったデザインで表示されます。

✔お知らせ

- microSDカードに保存されているメモは、設定した日時になってもアラームは鳴りません。
- microSDカードに保存されているトルカから詳細情報はダウンロードできません。
- コンテンツ移行対応のデータは、サイトから取得したり、microSDカードに移動したりしたときと同じドコモminiUIMカードを挿入している場合（データによってはさらに同一機種である場合）のみ表示、再生できます。ただし、待受画面にmicroSDカードを利用するｉアプリを設定している場合は、ｉモーションを再生できないことがあります。
- 他の機種や異なるドコモminiUIMカードで利用していたｉアプリ使用データを表示すると、利用できない理由が表示されます。ソフト動作制限のみが「あり」のときは、ｉアプリをダウンロードすると利用できる場合があります。
- 電話帳の詳細画面のサブメニューから、基本情報の確認や画像／名前表示切替ができます。
- メールの詳細画面のサブメニューから、メールアドレスの電話帳新規登録や追加／上書登録ができます。また、受信メールの場合は、返信や転送もできます。
- Bookmarkの詳細画面のサブメニューから、URLのコピー、電話帳新規登録や追加／上書登録ができます。
- 他のFOMA端末で保存した全件コピーデータに、本FOMA端末の最大保存件数を超えるデータが含まれている場合は表示できません。
- インポートフォルダのデータBOXのマイドキュメント、拡張子がBMP／PNGのファイルは表示できません。
- MPO形式の画像（3D静止画）は、2D表示できます。ただし、画像表示中の操作や画像を利用した操作には制限があります。

◆インポートフォルダの一括振り分け

インポートフォルダのデータをmicroSDカードの各フォルダに一括で振り分けます。

1 MENU 6 ✂ 9 ▶ MENU ［一括振分］▶「はい」

- データBOXの「ｉモーション・ムービー」フォルダのムービー、「ミュージック」フォルダのデータは、一括振り分けできません。
- 拡張子がM4Aのファイルは、3GPに変換後に振り分けられます。

FOMA端末のデータを一括バックアップ

電話帳、メモ、メール、Bookmark、設定項目のデータを一括してmicroSDカードにバックアップし、必要なときにFOMA端末に復元できます。

- データ量によっては、バックアップ／復元に時間がかかる場合があります。電池残量が十分にあることを確認してから操作してください。
- バックアップ／復元をするデータがない場合は、バックアップ／復元はできません。
- 次の設定項目がバックアップ／復元されます。
  受信振分け条件、送信振分け条件、文字サイズ設定（メール閲覧）、署名自動挿入、メール選択受信設定、受信・自動送信表示、メッセージ自動表示設定、メール受信添付ファイル設定、添付ファイル自動再生設定、緊急速報「エリアメール」設定（受信設定、ブザー鳴動時間、マナー／公共モード時設定）、メール／メッセージ問合わせ設定、メールグループ、着信拒否設定（登録外着信拒否、メモリ別着信拒否／許可、非通知設定、公衆電話、通知不可能）、伝言メモ設定（ON／OFF、応答時間の変更）、リダイヤル、着信履歴、メール送信履歴、メール受信履歴、文字入力設定（単語登録、変換学習）、アラーム
  - 着信拒否設定の非通知設定、公衆電話、通知不可能が「着信拒否」以外に設定されている場合は、「設定解除」としてバックアップ／復元されます。
  - メールの振分け条件設定でバックアップされる項目は、アドレス（差出人）、題名、電話帳グループ、メールグループです。

◆ microSDカードへのバックアップ

- バックアップは、データの上書き保存を行います。前回保存したバックアップデータは消去され、最新のバックアップデータのみ保存されますのでご注意ください。

1 MENU 6 ＊ 7 1

2 認証操作▶「はい」

- 電話帳が登録されていない場合、操作3は不要です。電話帳に登録がないとプロフィール情報はバックアップされません。

3 「はい」または「いいえ」

- MENU、CLR、⏎のいずれかを押して中断すると、前回バックアップしたデータは消去され、バックアップ途中のデータが保存されます。正しいバックアップデータを保存するにはもう一度バックアップ操作を行ってください。
- メモリ容量が足りない旨のメッセージが表示された場合は、不要なデータを削除するか、別の空き容量が多いmicroSDカードに取り付け直してから操作してください。

✔お知らせ

- 電話帳に登録した動画／ｉモーションはバックアップされません。
- ｉモードメールの保護は解除されます。
- メモの共有設定や添付のメール、アラーム・リマインド設定のアラーム音（お買い上げ時に登録されているデータ利用時を除く）やアラーム画像などはバックアップされません。

◆ FOMA端末への復元

FOMA端末の電話帳、メモ、メール、Bookmark、設定項目のデータを消去して、バックアップデータを復元します。

- 復元を行うとFOMA端末の最新データが消去されますのでご注意ください。
- バックアップの途中で電源が切れるなどしてバックアップが中断した場合、バックアップデータを使って復元しないでください。バックアップ途中のデータがFOMA端末に復元される可能性があります。
- メモは本FOMA端末以外には復元されない場合があります。
- 本FOMA端末以外に設定項目のデータを復元すると、すべての設定情報が復元されない場合があります。

1 MENU 6 ＊ 7 2▶認証操作▶「はい」

- MENU、CLR、⏎のいずれかを押して中断すると、中断する前に処理されたデータがFOMA端末に復元されます。
- FOMA端末の空き容量が不足したり、バックアップデータに本FOMA端末では対応していないデータが含まれていたりすると、復元できないデータがあった旨のメッセージが表示されます。

◆バックアップデータの表示
microSDカードに保存されている電話帳、メモ、メール、Bookmark、設定項目のバックアップデータを表示します。

1 MENU 6 ✂ 7 3 ▶データの種類を選択▶● ［決定］ ▶データを選択

✔お知らせ
- 電話帳は一部表示できないデータがあります。
- 設定項目はバックアップした日時のみ表示します。データは参照できません。

◆バックアップデータの削除
microSDカードに保存されている電話帳、メモ、メール、Bookmark、設定項目のバックアップデータを削除します。

1 MENU 6 ✂ 7 4 ▶認証操作▶「はい」

microSDカードの管理
microSDカードの使用状況を確認したり、初期化や情報更新をしたりして管理します。

◆microSDカードの使用状況確認
microSDカードの使用状況を確認します。

1 MENU 6 ✂ ▶ MENU ［使用状況］

✔お知らせ
- 実際に使用できるmicroSDカードの容量は、表示される空き容量より少なくなります。
- 使用領域にはFOMA端末で認識できないデータの容量も含まれます。

◆microSDカードの初期化
新しく購入したmicroSDカードをFOMA端末で使用するときや、すべてのデータを削除するときに初期化します。
- microSDカードの状態によっては、初期化できない場合があります。
- microSDカードを初期化すると、保存されているデータはすべて消去されますのでご注意ください。

1 MENU 6 ✂ ▶ 📷 ［初期化］ ▶認証操作▶「はい」

◆microSDカードの情報更新
他の機器でmicroSDカード内のデータを変更、追加、削除したことによって、FOMA端末でデータを正しく認識できなくなったときに実行します。
- 情報更新を行うとフォルダ構成やファイル名が変更されることがあります。

1 MENU 6 ✂ ▶ ✉ ［情報更新］ ▶データの種類を選択▶ 📷 ［情報更新］ ▶「はい」

✔お知らせ
- 「移行可能コンテンツ」「ミュージック」「ワンセグ」「レコーダー番組」「Music&Videoチャネル」「iアプリ使用データ」「バックアップ／復元」のデータは情報更新できません。
- microSDカードにデータが多い場合は、情報更新に時間がかかります。
- 他の機器でmicroSDカードにデータを保存した場合、FOMA端末で管理情報を作成するために必要な空き容量が不足し、microSDカードに保存したデータがFOMA端末で正しく表示できなくなることがあります。

◆microSDカードのチェック
microSDカードのデータをチェックして修復します。
- microSDカードの状態によっては、データを修復できない場合があります。

1 MENU 6 ✂ ▶ iα ［カードチェック］ ▶「はい」

◆ microSDパスワード設定

他人が不正にmicroSDカードを使用するのを防ぎます。
- microSDカードごとに1件、最大21件登録できます。
- microSDカードによっては本機能に対応していない場合があります。

1 MENU 8 6 8

2 1 ▶ 認証操作 ▶ 登録するパスワードを入力（半角16文字以内）▶（確認用）欄に登録するパスワードを入力 ▶ 📷［登録］▶「はい」▶「いいえ」

- パスワードマネージャーの登録→P347

パスワード認証：2 ▶ 認証操作 ▶ 登録されたパスワードを入力 ▶ 📷［認証］▶「いいえ」
- 本FOMA端末以外でパスワードを登録したmicroSDカードを取り付けている場合は、本FOMA端末でパスワードの認証が必要です。

パスワード変更：3 ▶ 認証操作 ▶ 新しいパスワード欄に新しいパスワードを入力 ▶ 新しいパスワード（確認）欄に新しいパスワードを入力 ▶ 📷［変更］▶「いいえ」
- 本FOMA端末以外でパスワードを登録したmicroSDカードを取り付けている場合は、本FOMA端末でパスワードを認証した後に操作できます。

パスワード削除：4 ▶ 認証操作 ▶「はい」▶「OK」
- 本FOMA端末以外でパスワードを登録したmicroSDカードを取り付けている場合は、本FOMA端末でパスワードを認証した後に操作できます。

パスワード強制削除：5 ▶ 認証操作 ▶「はい」
- microSDパスワードを含むすべてのデータが削除されます。
- 本FOMA端末以外でパスワードを登録したmicroSDカードを取り付け、本FOMA端末でパスワード認証前の場合のみ操作できます。

❖ microSDカードにパスワードを設定すると

microSDカードを他の携帯電話に取り付けた場合はパスワード認証が必要です。パソコンやパスワード設定機能のない携帯電話などに取り付けた場合には、データの利用や初期化もできません。また、オールロック中、パーソナルデータロック中に、パソコンからmicroSDカードを利用できません。

USBモード

モードを変更すると、パソコンでFOMA端末内のmicroSDカードのデータを操作したり、データを転送したりできます。
- FOMA端末とパソコンを接続するには、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）が必要です。
- Windows XP、Windows Vista、Windows 7に対応しています。

1 MENU 8 8 1

2 モードを選択

通信モード：1
- パソコンと接続したパケット通信や64Kデータ通信、データ転送をするときに設定します。

microSDモード：2
- FOMA端末内のmicroSDカードをドライブとして認識させ、パソコンからデータを操作するときに設定します。

MTPモード：3
- Windows Media PlayerでmicroSDカードに音楽データを転送するときに設定します。→P217「WMAファイルの保存」

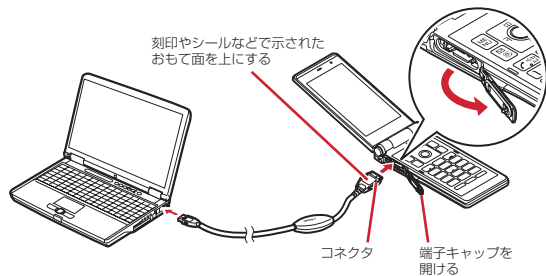
3「はい」

- 待受画面に表示されるアイコンについては、「アイコンや情報の見かた」の「■ステータスエリア（上段）」の「⑫USBモードの状態表示」をご覧ください。→P27

◆ パソコンとの接続方法

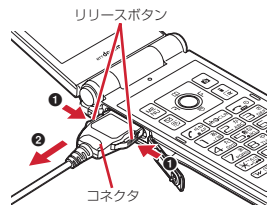
FOMA端末とパソコンをUSBケーブルで接続します。
- パソコンの電源が入っている状態で接続してください。

■ USBケーブルの取り付けかた

1 USBケーブルのコネクタをFOMA端末の外部接続端子に、USBケーブルのパソコン側のコネクタをパソコンのUSBポートに水平に差し込む

- 待受画面に が表示されます。

✔お知らせ
- パソコンとFOMA端末を接続した状態でも、USBモードを変更できます。このとき、パソコンでFOMA端末を接続すると自動的にデータ通信を行うように設定している場合は、「通信モード」以外に設定できないことがあります。
- microSDモード中またはMTPモード中は、ランプが「ミント」で点滅します。
- 通信モード中にドコモケータイdatalinkを使ってデータ転送を行っている場合は、データ転送モード（圏外と同じ状態）になります。

■ USBケーブルの取り外しかた

1 USBケーブルのコネクタのリリースボタンを押し（❶）、FOMA端末から水平に引き抜く（❷）

2 パソコンからUSBケーブルを取り外す

✔お知らせ
- USBケーブルを無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。また、データ転送中にUSBケーブルを外すと、誤動作やデータ消失の原因となります。
- microSDモード中にパソコンからUSBケーブルを取り外すときは、パソコンの画面右下のタスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックして、「USB大容量記憶装置デバイス－ドライブを安全に取り外します」または「F-01Eの取り外し」をクリックし、安全に取り外すことができる旨のメッセージが表示されることを確認してください。

フォルダの利用

フォルダを追加して、データを分類できます。

- お買い上げ時に登録されている固定フォルダの削除やフォルダ名の変更はできません。
- 「名刺」フォルダは、名刺リーダーで名刺を作成すると表示されます。フォルダの削除はできますが、フォルダ名の変更はできません。
- マイコレクションの「お気に入りアルバム」のフォルダの利用→P277

◆フォルダ新規作成

フォルダを作成します。

- 本体のデータBOXではデータの種類ごとに最大20個追加できます（ミュージック、Music&Videoチャネル、コンテンツパッケージ、ワンセグを除く）。
- microSDカードのデータBOX（マイピクチャ、ｉモーション・ムービー、メロディ、マイドキュメント、各データの「移行可能コンテンツ」フォルダ）、トルカ、現在地通知先、その他では、データの種類ごとに999個（マイピクチャの「カメラフォルダ」は900個）まで追加できます。

〈例〉マイピクチャのフォルダを新規作成する

1 MENU 5 1

- Music&Videoチャネルでは、「→microSD」▶「移行可能コンテンツ」を選択します。

2 MENU［サブメニュー］▶ 1 1

3 各項目を設定▶ 📷［登録］

フォルダ名：全角9（半角18）文字以内で設定します。
- microSDカードの移行可能コンテンツ内のフォルダでは、全角10（半角20）文字まで入力できます。

シークレット属性：プライバシーモード中（「指定フォルダ非表示」のとき）に、フォルダを表示させるかを設定します。
- 本体のマイピクチャ（「デコメ絵文字」を除く）、ｉモーション・ムービー、マイドキュメント、その他のみ設定できます。
- シークレット属性を設定すると［アイコン］と表示されます。

❖フォルダ編集

作成したフォルダのフォルダ名やシークレット属性を変更します。

- 「デコメ絵文字」ではお買い上げ時に登録されているフォルダ名を変更できます（「お気に入り」フォルダを除く）。

〈例〉マイピクチャのフォルダ名を変更する

1 MENU 5 1

- Music&Videoチャネルでは、「→microSD」▶「移行可能コンテンツ」を選択します。

2 フォルダにカーソル▶ MENU［サブメニュー］▶ 1 2

3 各項目を設定▶ 📷［登録］

- 本体のマイピクチャ（「デコメ絵文字」を除く）、ｉモーション・ムービー、マイドキュメント、その他ではシークレット属性を変更できます。

❖フォルダセキュリティ

本体に作成したフォルダにセキュリティを設定します。

- マイピクチャの「デコメ絵文字」フォルダには設定できません。
- Music&Videoチャネルとワンセグでは、お買い上げ時に登録されているフォルダにも設定できます。
- フォルダを表示するときに認証操作が必要になります。

〈例〉マイドキュメントのフォルダにセキュリティを設定する

1 MENU 5 7 ▶フォルダにカーソル

2 MENU［サブメニュー］▶ 1 3 ▶認証操作

- 一覧画面によってサブメニューの項目番号は異なります。Music&Videoチャネルでは 2 、ワンセグでは 1 を選択してください。

3 1

- フォルダセキュリティを設定すると［アイコン］と表示されます。

解除：2

❖フォルダ削除

作成したフォルダを削除します。
- 「デコメ絵文字」ではお買い上げ時に登録されているフォルダが削除できます（「お気に入り」フォルダを除く）。

〈例〉マイピクチャのフォルダを削除する

1 MENU 5 1
- Music&Videoチャネルでは、「→microSD」▶「移行可能コンテンツ」を選択します。

2 フォルダにカーソル▶ MENU ［サブメニュー］▶「削除」▶ 1 、 2 、 4 のいずれか（Music&Videoチャネルでは 1 または 2 ）
- 選択削除では選択操作▶ 📷 が必要です。

3 認証操作▶「はい」

❖データのフォルダへの移動

データをフォルダに移動します。
- マイピクチャ、メロディの「プリインストール」フォルダに保存されているデータは移動できません。
- 「デコメ絵文字」フォルダに保存されているデータは、「デコメ絵文字」配下のフォルダ以外に移動できません。

〈例〉マイピクチャのデータを移動する

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択

2 データにカーソル▶ MENU ［サブメニュー］▶ 5 1
- 一覧画面によってサブメニューの名称や項目番号は異なります。「移動／コピー」または「移動」▶「フォルダ間移動」を選択してください。キャラ電の場合は「フォルダ間移動」を選択します。

「自動お預かり」フォルダに移動：データにカーソル▶ MENU 5 4
「自動お預かり」フォルダの画像のバックアップ→P123

3 1 ～ 3
- 選択移動では選択操作▶ 📷 が、フォルダ内全件移動では認証操作が必要です。

4 移動先のフォルダにカーソル▶ 📷 ［確定］
- 「自動お預かりへ移動」では、移動先のフォルダの選択は不要です。

データの情報表示

データの詳細情報を表示します。
- MyFACEの情報表示→P37

〈例〉画像の詳細情報を表示する

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択
- コンテンツパッケージでは、フォルダの選択は不要です。

2 画像にカーソル▶ MENU ［サブメニュー］▶ 1 6
- 一覧画面によってサブメニューの項目番号は異なります。「編集・情報表示」▶「情報表示」を選択してください。ミュージックでは「情報表示」、microSDカードのインポートフォルダでは「詳細情報」を選択してください。

ファイル制限：メールに添付して送信した場合の、受信した相手の携帯電話から他の携帯電話への転送の制限です。

◆データの情報編集

データのタイトルなどを編集します。

〈例〉マイドキュメントのタイトルを編集する

1 MENU 5 7 ▶フォルダを選択
- コンテンツパッケージでは、フォルダの選択は不要です。

2 データにカーソル▶ MENU ［サブメニュー］▶ 1 1
- データによっては編集する項目（タイトル、ファイル名、作成者名、コピーライト、説明）を選択します。
- JPEG形式の画像、撮影した動画は、ファイル制限を変更できます。
- 一覧画面によってサブメニューの項目番号は異なります。ミュージックでは「情報編集」▶項目、コンテンツパッケージでは「編集・情報表示」▶「タイトル編集」▶「直接入力」を選択してください。

3 タイトルを入力▶ 📷 ［確定］

データの削除

データを削除します。

- マイピクチャ、メロディの「プリインストール」フォルダに保存されているデータは削除できません。
- MyFACEの削除→P37

〈例〉マイピクチャのデータを削除する

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択

- コンテンツパッケージでは、フォルダの選択は不要です。

2 データにカーソル▶ MENU ［サブメニュー］▶「削除」▶ 1 〜 3 ▶「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせたデータが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶ 📷 が、フォルダ内全件削除／カテゴリ内全件削除では認証操作が必要です。
- microSDカードのｉアプリ使用データでは、MENU ▶ 1 〜 3 を押します。

✔お知らせ

- 待受画面や着信音などに設定しているデータを削除すると、各設定はお買い上げ時または標準の設定になります。電話帳に設定されているデータを削除すると、着信音や発着信時の画面の設定に従って動作します。
- 既に設定されているマチキャラを削除すると「OFF」に設定されます。
- 既に設定されているきせかえツールを削除すると、そのきせかえツールが対応している項目の設定がお買い上げ時または標準の設定になります。
- コンテンツパッケージを削除しても、画像などのデータ自体は削除されません。コンテンツのデータは対応した保存先に保存されています。→P284
- お買い上げ時に登録されているデータを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。
  「@Fケータイ応援団」（2012年11月現在）
  ｉMenu→メニューリスト→ケータイ電話メーカー→@Fケータイ応援団
  ※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

データの表示切替

データの表示方法を切り替えます。

〈例〉マイピクチャの画像の表示方法を切り替える

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択

2 MENU ［サブメニュー］▶ 7

- 一覧画面によってサブメニューの項目番号は異なります。「ｉモーション・ムービー設定」、「マイドキュメント設定」、「きせかえツール設定」、「マチキャラ表示設定」、「ワンセグデータ設定」、「その他表示設定」などの各項目を選択してください。

3 「表示切替」▶表示方法を選択

データのソート

データを並べ替えます。

〈例〉マイピクチャのデータを並べ替える

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択

- コンテンツパッケージでは、フォルダの選択は不要です。

2 MENU ［サブメニュー］▶ 7

- 一覧画面によってサブメニューの項目番号は異なります。「ｉモーション・ムービー設定」、「メロディ設定」、「マイドキュメント設定」、「きせかえツール設定」、「マチキャラ表示設定」、「キャラ電表示設定」、「ワンセグデータ設定」、「その他表示設定」などの各項目を選択してください。
- コンテンツパッケージでは、MENU を選択します。

3 「ソート」▶ソート順を選択

FOMA端末のメモリ確認

メモリの使用量を確認します。

1 MENU 8 9 8

2 データの種類にカーソル

✔お知らせ

- ｉアプリの使用領域には、保存されているｉアプリの容量と、削除できないプリインストールｉアプリ（約3Mバイト）の合計が表示されます。

最大保存件数や保存領域を超えたとき

ダウンロードやデータを保存する際、最大保存件数（→P442）または共有の保存領域のサイズを超えたときは、画面の指示に従って保存されている不要なデータを削除してください。

1 上書き確認画面で「はい」

- ワンセグ録画中に終了して保存するかの確認画面が表示された場合は「はい」を選択します。

2 認証操作▶削除するデータの種類を選択▶フォルダを選択▶データを選択

- 共有の保存領域のサイズを超えた場合、削除が必要な容量が100%になるまでデータを選択します。他のフォルダや異なるデータを削除するときは、CLRを押してから続けて操作します。
- ミュージックは📷で再生して確認できます。

3 MENU［完了］▶「はい」

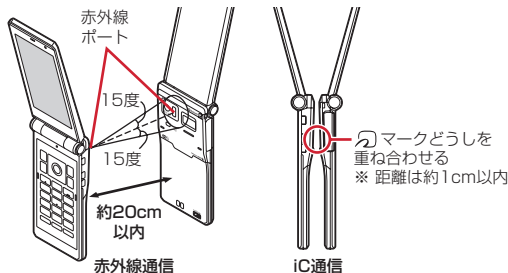
赤外線通信／iC通信の利用

赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末や携帯電話、パソコンなどとデータの送受信をしたり、iC通信機能が搭載された他のFOMA端末とマークを重ね合わせてデータの送受信をしたりします。

- Bluetooth通信、パソコンと接続したパケット通信、64Kデータ通信、データ転送は同時に使用できません。
- 赤外線通信中やiC通信中は、データ転送モード（圏外と同じ状態）になります。
- FOMA端末の赤外線通信機能はIrMC™1.1規格に準拠しています。ただし、相手の端末がIrMC™1.1規格に準拠していても、データの種類によっては送受信できない場合があります。
- FOMA端末の赤外線送受信機能はIrSimple™1.0規格に対応しています。この規格に準拠した高速赤外線（IrSS™）通信を利用してJPEG形式の画像を送信できます。
- 赤外線通信やiC通信に対応したｉアプリを利用できます。

◆ 赤外線通信／iC通信を行うには

- 赤外線通信の通信距離は約20cm以内、赤外線放射角度は中心から15度以内です。また、データの送受信が終わるまで、FOMA端末を相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。
- 高速赤外線（IrSS™）通信は受信側からの応答を確認せずに送信するため、通信が正常に終了しても、受信側の状態によっては受信されない場合があります。

- iC通信時は、送信側と受信側のマークを約1cm以内に重ね合わせてください。また、データの送受信が終わるまで重ねたまま動かさないでください。

✔お知らせ

- iC通信でマークを重ね合わせるとき、FOMA端末に強い衝撃を与えないでください。
- iC通信でマークを重ね合わせても通信が開始されない場合は、重ねる位置を5～10mm程度ずらしてください。
- 充電中はiC通信によるデータの送信はできません。
- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下などでは、赤外線通信ができない場合があります。
- 相手の端末によっては、データの送受信がしにくい場合があります。

赤外線送信／iC送信

データを1件ずつ送信する方法と、データの種類ごとにまとめて送信する方法があります。

- 送信できるデータは次のとおりです。
  プロフィール、電話帳、メモ・スケジュール、受信／送信／未送信メール、Bookmark、トルカ、現在地通知先、画像※1、動画※1、メロディ※1、ドキュメント（PDFデータ）※1、デコメアニメ®テンプレート※1、MyFACE※2

  ※1 iC全件送信には対応していません。
  ※2 赤外線／iC全件送信には対応していません。

◆ 赤外線／iC1件送信

データを1件送信します。

- microSDカードに保存されているデータ（トルカを除く）も1件送信できます。

〈例〉FOMA端末電話帳を1件送信する

1 ▶電話帳検索▶電話帳にカーソル▶MENU［サブメニュー］▶8▶1または2▶1▶「はい」

- 一覧画面によってサブメニューの項目番号は異なります。「データ送信」▶「赤外線送信」または「iC送信」▶「送信」を選択して操作してください。デコメアニメ®テンプレートのiC送信、MyFACEでは「送信」は不要です。

プロフィールを送信： MENU 0▶MENU［赤外線］または ✉［iC送信］▶「はい」

◆ 赤外線／iC全件送信

選択した項目のデータをまとめて送信します。
- 受信側で保存していたデータは消去され、送信したデータが保存されます。ただし、画像、動画、メロディ、ドキュメント（PDFデータ）、デコメアニメ®テンプレートを赤外線全件送信した場合、受信側の端末によっては保存していたデータは削除されず、受信したデータが追加保存されます。
- 送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力します。あらかじめ数字4桁の認証パスワードを決めておいてください。

1 **MENU 6 4 ▶ 2 または 3 ▶ 送信する項目を選択 ▶ 認証操作 ▶ 4桁の認証パスワードを入力 ▶ 「はい」**

✔お知らせ

〈1件送信／全件送信共通〉
- FOMA端末外への出力が禁止されているデータは送信できません（自端末でファイル制限を「あり」に設定したデータや「外部取得データ」フォルダのデータを除く）。
- 受信側の端末によっては対応していないデータが受信できなかったり、登録できない項目が破棄されたりします。
- 絵文字を入力したデータをｉモード端末以外に送信すると、正しく表示されない場合があります。
- 電話帳に登録した動画／ｉモーションは送信できません。
- スケジュールに表示される誕生日やワンセグの視聴／録画予約をメモとして送信できません。ｉスケジュールは送信できませんが、ｉスケジュール内の予定はメモとして1件送信できます。また、受信側の端末によっては、メモは受信できない場合があります。
- メールの送信時、メール本文中に貼付されたｉアプリが起動できるリンク項目は削除されます。また、受信側の端末によっては題名をすべて受信できない場合があります。
- トルカの送信時、IP（情報サービス提供者）の設定によっては、送信できない場合があります。また、受信側の端末によっては、トルカ（詳細）は受信できない場合があります。
- 画像、動画、PDFデータのタイトルは全角9（半角18）文字以内で送信され、超過した文字は削除されます。
- PDFデータ送信時、部分保存したデータやダウンロードに失敗したデータは送信できません。
- ファイルサイズが10MBより大きい動画は送信できません。

〈全件送信〉
- 電話帳送信時、プロフィール（自局電話番号を除く）も送信されます。また、電話帳グループのシークレット属性は解除され、各電話帳にシークレット属性が設定されて送信されます。
- 電話帳送信時、データ送受信設定の電話帳の画像送信が「なし」の場合、画像は送信されません。ただし、「あり」に設定していても、送信先の端末によっては画像が送信されない場合があります。

〈1件送信〉
- MyFACEは取得元サイトのURLをBookmarkとして送信します。URLは変更される場合がありますのでご注意ください。
- お買い上げ時に登録されているMyFACEは送信できません。

赤外線受信／iC受信

データを1件ずつ受信する方法と、データの種類ごとにまとめて受信する方法があります。
- 受信できるデータは次のとおりです。
  プロフィール、電話帳、メモ、受信／送信／未送信メール、Bookmark、トルカ、現在地通知先、画像※、動画※、メロディ※、ドキュメント（PDFデータ）※、デコメアニメ®テンプレート※
  ※ iC全件受信には対応していません。
- 1件受信時、次のデータはお買い上げ時に登録されている以下のフォルダに保存されます。
  メール：受信BOXの「受信トレイ」、送信BOXの「送信トレイ」、未送信BOXの「未送信トレイ」（メールによってはメール連動型ｉアプリ用のフォルダ）
  Bookmark：「Bookmark」
  トルカ：「トルカフォルダ」
  画像：マイピクチャの「外部取得データ」（デコメ絵文字®は「デコメ絵文字」の「お気に入り」）
  動画：ｉモーション・ムービーの「外部取得データ」
  メロディ：メロディの「外部取得データ」
  PDFデータ：マイドキュメントの「外部取得データ」

◆ 赤外線1件受信

赤外線通信でデータを1件受信します。
- マイコレクションのお気に入りアルバムにデータを貼ることができます。→P277

1 MENU 6 4 1

2 1 ▶「はい」▶送信側でデータを1件送信▶データ受信後に「はい」

◆ iC1件受信

iC通信でデータを1件受信します。

1 受信側を待受画面にしてマークを重ね合わせる▶送信側でデータを1件送信▶データ受信後に「はい」

◆ 赤外線全件受信

データの種類ごとにまとめて赤外線受信します。
- 全件受信すると、受信側で保存していたデータ（シークレット属性を設定した電話帳やメモ、保護したメールなどを含む）はすべて削除され、受信したデータが保存されます。ただし、画像、動画、メロディ、ドキュメント（PDFデータ）、デコメアニメ®テンプレートの場合は、保存していたデータは消去されず、受信したデータが追加保存されます。
- 送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力します。あらかじめ数字4桁の認証パスワードを決めておいてください。

1 MENU 6 4 1

2 2 ▶認証操作▶4桁の認証パスワードを入力▶「はい」▶送信側でデータを全件送信▶「はい」

◆ iC全件受信

データの種類ごとにまとめてiC受信します。
- 全件受信すると、受信側で保存していたデータ（シークレット属性を設定した電話帳やメモ、保護したメールなどを含む）はすべて削除され、受信したデータが保存されます。
- 送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力します。あらかじめ数字4桁の認証パスワードを決めておいてください。

1 受信側を待受画面にしてマークを重ね合わせる▶送信側でデータを全件送信▶認証操作▶4桁の認証パスワードを入力▶再度マークを重ね合わせる▶「はい」

✔お知らせ

〈1件受信／全件受信共通〉
- iC受信では、他の機能が起動しているとデータを受信できません。必ず待受画面で受信してください。
- FOMA端末で表示・再生できないサイズのデータは受信できません。
- ファイルサイズが10MBより大きい動画は受信できません。
- 受信するデータの種類や件数によって受信時間は異なります。データ容量が大きい場合や件数が多い場合は、受信に時間がかかることがあります。
- 保存するデータのサイズによっては、受信できる件数がFOMA端末の最大保存件数、登録件数より少なくなる場合があります。

〈1件受信〉
- プロフィールは電話帳に保存されます。
- 電話帳受信時は、10番以降の最も小さい空きメモリ番号に割り当てられます。空きがないときは、0～9が割り当てられます。

〈全件受信〉
- データはフォルダごと受信しますが、送信側の端末とは保存先フォルダが異なったり、フォルダ名やデータの並び順が変わったりする場合があります。また、送信側でデータが保存されていないフォルダは受信しません。
- 電話帳の全件受信時、プロフィール（自局電話番号を除く）も上書きされます。

赤外線リモコン機能

FOMA端末を赤外線リモコンとして利用できます。

- 各機器に対応した赤外線リモコン用のｉアプリをダウンロードしてください。操作はｉアプリによって異なります。
- プリインストールｉアプリのGガイド番組表リモコンを起動すると、FOMA端末をテレビなどの赤外線リモコンとして利用できます。
- 赤外線リモコンに対応した機器でも操作できない場合があります。また、対応機器や周囲の明るさによって、通信動作に影響を受ける場合があります。
- リモコン操作をするには、FOMA端末の赤外線ポートを対応機器の赤外線受信部に向けてください。リモコン操作ができる角度は中心から15度、距離は最大で約4mです。ただし、操作する機器や周囲の明るさなどによって、操作できる角度と距離は変わります。

データ送受信設定

赤外線通信やiC通信、Bluetooth通信、パソコンと接続したデータ転送によるデータ送受信時の動作を設定します。

1 MENU 6 4 4 ▶各項目を設定▶ 📷 ［登録］

- 自動認証を変更する場合は、認証操作が必要です。「あり」にしたときは、4～8桁の携帯側認証コードとパソコン側認証コードを入力▶ 📷 を押します。
- 自動認証を「あり」にすると、パソコンと接続したデータ転送時に認証コードを自動でやりとりします。
- 電話帳の画像送信を「なし」にすると、電話帳の全件送信時に電話帳に登録した画像を送信しません。

ボイスレコーダー

FOMA端末をボイスレコーダーとして利用できます。

- 録音した音声は、microSDカードのデータBOXのｉモーション・ムービー（「動画（HD、その他）」フォルダ）に保存され、音声のみの動画として再生できます。microSDカードを取り付けていない場合には利用できません。
- 電池残量が10%以下の場合は利用できません。
- 音声はイヤホンマイク（別売）などの接続状況に関わらず、マイクから録音されます。指などでふさがないでください。

1 MENU 6 7

録音待機状態になり、ランプが「アクア」で点滅します。動作中は撮影お知らせランプも点滅します。

データBOXに保存した音声の確認：録音画面で MENU ［サブメニュー］▶ 1

セルフタイマー：録音画面で MENU ［サブメニュー］▶ 2 ▶ 1 ～ 4

シャッター音：録音画面で MENU ［サブメニュー］▶ 3 ▶ 1 ～ 5

- 動画撮影時のシャッター音にも反映されます。

2 [●]［録音］または[📷]

シャッター音が鳴ってランプが「パプリカ」で点滅し、「RECORDING」と表示されて録音が始まります。

- セルフタイマー設定時はカウントダウン後に録音を開始します。

一時停止／再開：録音中に[MENU]［一時停止／再開］

一時停止するとランプが「ライム」で点灯し、「PAUSE」と表示されます。

- 一時停止するときと再開するときは、シャッター音が鳴ります。

3 [●]［停止］または[📷]

シャッター音が鳴り、録音が停止します。

- 制限時間（360分）に達すると、録音は自動的に停止します。

4 [1]

再生：[2]

録音し直す：[3]

✔お知らせ

- 録音中にFOMA端末を閉じると、録音は中断されます。
- タイトルには録音した日時が自動的に付けられます。
- 録音時間が1秒以下の場合は、音声を保存できません。
- 他の機能が起動した場合、録音を停止することがあります。
- MyFACE自動更新設定を「自動更新する」に設定していると、録音が停止することがあります。MyFACE自動更新設定を「自動更新しない」に変更してください。

PDFデータの表示（マイドキュメント）

PDFデータを表示します。

1 [MENU][5][7]▶フォルダを選択

2 PDFデータを選択

ディスプレイ下部にはページ番号／総ページ数と表示倍率が表示されます。

メールに添付：PDFデータにカーソル▶[✉]［作成］

✔お知らせ

- 画像が多い場合など、PDFデータによっては表示に時間がかかる場合があります。また、対応していない形式や複雑なデザインなどを含む場合、正しく表示されないことがあります。

❖PDFデータ表示中の操作

表示中の基本的な操作は次のとおりです。

スクロール：[✥]（押し続けると連続スクロール）

全画面表示：[📷]

等倍／フィット（全体表示）：[●]

前後のページに移動：[✉]／[iα]

ツールバーで操作：[✂]▶[✥]▶[●]［選択］

- ツールバーのアイコンにカーソルを合わせると、上部に数字と機能名が表示されます。PDFデータ表示中にダイヤルキーで数字を入力しても、機能を利用できます。
- ツールバー表示中に[CLR]を押すと元の表示に戻ります。

■ サブメニューからの操作

サブメニューには「表示」「画面設定」「画面切り出し」「しおり・マーク」「検索」「保存」「残り全てを取得」「操作ガイド」「タブ」「FOMA／Wi-Fi接続切替」があります。

- 「表示」には、「ズーム」「表示を回転」「リンク表示」「ページ移動」「ページレイアウト」「表示モード」「文書のプロパティ」「ライトアップ」「本体を傾けた表示」があります。
- 「画面設定」では「スクロールバー」「倍率・ページ番号」「ガイド表示」の表示のON／OFFができます。
- 「画面切り出し」で切り出した画像は、マイピクチャの「ｉモード」フォルダに保存されます。PDFデータのセキュリティ設定によっては、操作できない場合があります。
- 「しおり・マーク」には、「しおり表示」「ｉモードしおりの追加」「マーク表示」「マークの追加」があります。
- 「検索」では、全角8（半角16）文字以内で文字を入力して[📷]を押すと、一致した語が緑色で強調表示されます。[✉]／[iα]を押すと前後の候補に移動、[CLR]を押すと元の表示に戻ります。
  また、検索文字列画面のサブメニューからは検索条件が設定できます。
- 「保存」は「残り全てを取得」を実行した場合に、「残り全てを取得」は部分保存したPDFデータの表示中に、「タブ」「FOMA／Wi-Fi接続切替」はブラウザからPDFを表示したときに利用できます。

✔お知らせ

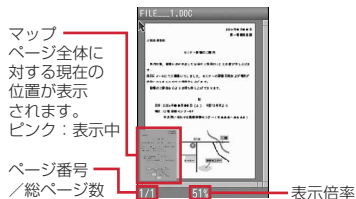
- ｉモードしおりやマークを登録しても、パソコンなどでは表示できない場合があります。

Word、Excel、PowerPointの表示

Word、Excel、PowerPointを表示します。

- Word97～2007（拡張子doc、docx）、Excel97～2007（拡張子xls、xlsx）、PowerPoint97～2007（拡張子ppt、pptx）を表示できます。ただし、パスワード入力が必要なファイルは表示できません。

1 MENU 5 ▶「その他」▶フォルダを選択

2 データを選択

メールに添付：データにカーソル▶ ✉［作成］

✔お知らせ

- 画像が多い場合など、データによっては表示に時間がかかる場合があります。また、対応していない形式や複雑なデザインなどを含む場合、正しく表示されないことがあります。

❖Word、Excel、PowerPoint表示中の操作

表示中の基本的な操作は次のとおりです。

スクロール：✥（押し続けると連続スクロール）
全画面表示：📷
フィット（全体表示）：●
前後のページに移動：✉／iα

■ サブメニューからの操作

サブメニューには「表示」「ページ移動」「検索」「画面切り出し」「スライドショー」（PowerPointのみ）「表示設定」「操作ガイド」があります。

- 「表示」には、「ズームイン」「ズームアウト」「画面倍率指定」「全体表示」「実際の大きさ」「幅にあわせる」「表示を回転」「全画面表示」「本体を傾けた表示」があります。
- 「検索」では、全角8（半角16）文字以内で文字を入力▶検索条件を設定▶MENUを押すと、一致した語が緑色で強調表示されます。MENU／📷を押すと前後の候補に移動、CLRを押すと元の表示に戻ります。
- 「画面切り出し」で切り出した画像は、マイピクチャの「ｉモード」フォルダに保存されます。
- 「表示設定」には「ステータスバー設定」「スクロールバー設定」「マップ設定」「スクロール設定」（Wordのみ）「ライトアップ」「照明点灯時間設定」があります。

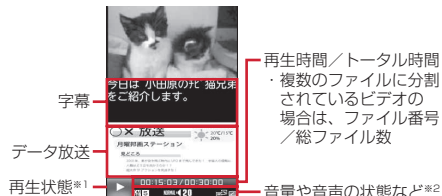
録画したビデオや静止画を見る

ワンセグで録画したビデオや静止画を表示します。

1 MENU 5 ✂ ▶ フォルダを選択

2 データを選択

- 静止画は拡大表示されます。◐で前後の静止画に切り替えられます。

❖ビデオの画面の見かた

※1 再生状態により次のマークが表示されます。
▷ ：再生中 ⏸ ：一時停止中または再生完了
◁◁ ／◁◁◁ ／◁◁◁◁：低速／中速／高速で巻き戻し再生中
▷x1.3：1.3倍速で早送り再生中
▷▷ ／▷▷▷ ／▷▷▷▷：低速／中速／高速で早送り再生中

※2 ワンセグのユーザ設定で再生設定のCM自動スキップが「ON」のときは、CMが表示されます。その他のマークの見かた→P205

❖ビデオ再生中の基本操作（アクティブ操作切替「OFF」）

表示・効果設定のアクティブ操作切替（→P213）が「OFF」のときの操作は、次のとおりです。なお、◎の操作は映像の向きに合わせて変わります。

一時停止／再生： 📷 ［PAUSE／PLAY］
- データ放送サイト取得中に操作すると、サイト取得を中断します。

音量調整： ✉ ［音量小］／ i ［音量大］または▲▼
- データ放送領域がないときは◎でも音量調整できます。

消音： ✉（1秒以上）または▼（1秒以上）
- データ放送領域がないときは◎を1秒以上押しても操作できます。

巻き戻し／早送り： ◐

15秒巻き戻し： 1※

15秒／30秒早送り： 2※／3※

先頭から再生： 4※

データ放送のカーソル移動： ◎

データ放送の項目選択： ● ［決定］

データ放送の前のページへ移動： ▣
- 表示されているコンテンツによっては、先頭のページに戻るなどの動作になる場合があります。

表示画面の切り替え： ✓

字幕の表示／非表示： ✓（1秒以上）
- 字幕情報がない場合は操作できません。

※ データ放送でキー操作が割り当てられている場合、0～9、✂、#で項目選択できるため、再生操作は無効になります。

❖ビデオ再生中の基本操作（アクティブ操作切替「ON」）

表示・効果設定のアクティブ操作切替（→P213）が「ON」のときの操作は、次のとおりです。なお、の操作は映像の向きに合わせて変わります。

■ テレビ操作モードとデータ放送操作モード共通の操作

一時停止／再生： [PAUSE／PLAY]
- データ放送サイト取得中に操作すると、サイト取得を中断します。

操作モードの切り替え： [データ操作／テレビ操作]
表示画面の切り替え：
スピーカー出力音声の消音／消音解除：
音量調整：
消音：（1秒以上）

■ テレビ操作モードで有効な操作

音量調整：
巻き戻し／早送り：
15秒巻き戻し：1
15秒／30秒早送り：2／3
先頭から再生：4
字幕の表示／非表示：（1秒以上）
- 字幕情報がない場合は操作できません。

■ データ放送操作モードで有効な操作

データ放送のカーソル移動：
データ放送の前後のページへ移動：
- 前後のページがキャッシュに保存されているときに操作できます。

データ放送の項目選択： [決定]
- データ放送でキー操作が割り当てられている場合、0～9、、#でも選択できます。

データ放送の前のページへ移動：CLR
- 表示されているコンテンツによっては、先頭のページに戻るなどの動作になる場合があります。

❖ビデオ再生中の便利な操作

ビデオ再生中のサブメニューからスキップや前後のビデオへの切り替え操作、キー操作一覧の表示などができます。また、ワンセグ視聴画面のサブメニュー同様に「番組詳細情報」「データ放送」「動作設定」「FMトランスミッタ出力」「Bluetooth出力」が利用できます。

✔お知らせ
- ワンセグのユーザ設定で再生設定のCM自動スキップが「ON」の場合は、次のような動作になります。
  - CMをスキップして再生します。ただし、1つのビデオ内で50件目以降のCMはスキップできません。
  - 録画時の放送波の受信状態や番組の編成、内容などにより、CMが正しく認識できない場合があります。
  - CM自動スキップ機能がない他のFOMA端末や、ブルーレイディスクレコーダーなどからmicroSDカードに保存したビデオは、CM自動スキップが正常に動作しない場合や、ビデオが正しく再生されないことがあります。
  - CM自動スキップ機能のある他のFOMA端末からmicroSDカードに保存したビデオは、CMをスキップできないことがあります。

◆ マイク付リモコン

マイク付リモコン F01（別売）でビデオ再生中の操作ができます。
▶/II：一時停止※／再生
▶/II（1秒以上）：ビデオの再生を終了
＋－：音量調整
＋（1秒以上）※／－（1秒以上）※：早送り／巻き戻し（停止中を除く）
◀HOLD（▼方向へスライド）：▶/II、＋、－のキー操作無効
◀HOLD（▼と逆側へスライド）：キー操作無効を解除
※ データ放送サイトの全画面表示中は無効です。

便利な機能

しゃべって検索

［Q］を1秒以上押すことによって、音声でキーワードを入力してｉモードで検索できます。

- ご利用にはパケット通信料がかかります。

1 ［Q］（1秒以上）

バイブレータが振動します。

- 初めて利用するときは、利用方法の案内画面を確認し、「利用する」または「利用する（以後非表示）」を選択してください。

2 検索するキーワードを10秒以内に発声▶［●］［確定］

ｉモードサイトに接続されキーワードの検索結果が表示されます。

- 発声後、約2秒間何も操作しないでいると、音声認識中画面が表示されます。

ガイド表示：［MENU］［ガイド］

✔お知らせ

- 会話をするような自然な速度でお話しください。
- 話しかたや周囲の騒音環境によっては、意図しない認識結果となる場合があります。

音声クイック起動

利用したい機能のメニューがわからないときや機能をすばやく起動したいときには、待受画面から音声で機能を呼び出して実行することができます。

1 ［✓］（1秒以上）

- 初めて利用するときは、案内画面で「利用する」を選択するか［📷］を押してください。

2 「それではどうぞ　★★音声受付中★★」と表示されたらマイクに向かって10秒以内に機能名を発声

音声が認識されると、発声した機能が起動します。

ガイドを見る：［i］［ガイド］

- 「もう一度お話ください」のメッセージが表示された場合は、［●］を押して再度発声してください。
- はっきりと、自然な会話の速度でお話ください。
- ご利用になる環境や話しかたによって認識結果が異なる場合があります。
- 機能名（電卓、ワンセグ、など）、キーワード（計算、テレビ、アドレス交換、など）、キーワードの組み合わせ（写真　見る、メール　問い合わせ、○○さん※にメール、など）を発声して起動できます。

※ 電話帳に登録している名前を発声してください。同じ名前を複数登録している場合は電話帳の一覧が表示されます。

✔お知らせ

- 機能が特定できない場合は、使いかたガイドのキーワードの一覧が表示されます。
- マチキャラによっては、［MENU］を押すと質問を読み上げるかどうかを変更できます（イヤホン接続中を除く）。設定はマチキャラおしゃべり設定に反映されます。
- 音声出力時は、［◎］で音量調整できます。

クイック検索

待受画面や機能実行中に［Q］を押して、検索機能を利用できます。

- 文字をコピー／切り取りする操作の途中でも検索できます。→P163、346
- 検索機能によっては、複数のキーワード（空白で区切って次を入力）で検索できます。
- 検索のしかたによっては、正しく表示できない場合や検索できない場合があります。また、実行中の機能によっては検索結果を表示する機能と同時に起動できず、検索できない場合があります。

1 ［Q］

2 [key]で検索する機能に切り替え▶検索する項目を設定▶「検索」

ｉモード検索：全角35（半角70）文字以内でキーワードを入力します。
- 「ｉMenuに接続」を選択するとｉMenuが表示されます。

フルブラウザ検索：検索サービスを選択して、全角128（半角256）文字以内でキーワードを入力します。「検索」を選択した後、「はい」または「はい（以降非表示）」を選択します。

地図検索：全角40（半角80）文字以内でキーワードを入力します。
- 「地図を見る」を選択すると地図設定の地図選択で設定したGPS対応ｉアプリが起動します。

ロケーションレーダー検索：カテゴリを選択して、全角40（半角80）文字以内でキーワードを入力します。
- 「高度な検索」を選択するとロケーションレーダーが起動します。
- ロケーションレーダー検索画面で[MENU][2]を押すと、他の周辺検索アプリをクイック検索に設定できます。

使いかたガイド検索：全角35（半角70）文字以内でキーワードを入力します。

画像サーチ：画像検索条件を選択します。
- 「人物（名前入力）」の場合は、全角6（半角12）文字以内でキーワード（サーチミーフォーカスで登録した人物の名前）を入力します。
- 「人物（一覧から選択）」の場合は、「検索」を選択した後にサーチミーフォーカスで登録した人物を選択して[📷]または[iα]を押します。
- 「撮影場所」の場合は、「検索」を選択した後に撮影場所を選択してさらに該当する場所にカーソルを合わせて[📷]または[iα]を押します。
- 「そっくり検索」の場合は、「検索」を選択した後にマイコレクションのアルバムを選択し、項目やデータを選択して画像を表示し、[📷]または[iα]（[iα]はmicroSDカード挿入時のみ）を押します。画像全体の色合いが近い画像が検出されます。
- データ更新やアルバムデータ削除の確認画面が表示された場合は「はい」を選択します。

電子辞書検索：辞書を選択して、全角32（半角64）文字以内でキーワードを入力します。「辞書を選択する」を選択した場合は、「検索」を選択した後に辞書を選択します。

電話帳フリガナ検索：半角9文字以内でキーワードを入力します。
- 「他の方法で検索」を選択すると電話帳検索画面が表示されます。

メール検索：メール検索条件を選択します。題名／本文の場合は全角35（半角70）文字以内、電話帳フリガナの場合は半角9文字以内でキーワードを入力します。
- 「高度な検索」を選択すると詳しい条件で検索できます。

キーワード履歴の利用：[key]で検索する機能に切り替え▶[iα]［履歴］▶[1]～[5]
- 電話帳フリガナ検索とメール検索（電話帳フリガナ）が共通の履歴として最大5件、それ以外の検索機能が共通の履歴として最大5件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

キーワード履歴の削除：[MENU]［サブメニュー］▶「キーワード履歴削除」▶「はい」

コピーした文字の貼り付け：[key]で検索する機能に切り替え▶[✉]［貼付］
- 電話帳フリガナ検索とメール検索（電話帳フリガナ）は貼り付けられません。

◆ 検索サービスの管理

クイック検索（フルブラウザ検索）の検索サービスを管理します。
- 検索サービスは最大10件登録できます。

〈例〉検索サービスを追加する

1 [🔍]▶[key]でフルブラウザ検索に切り替え▶[MENU]［サブメニュー］

2 [2]▶「はい」▶検索サービスを選択

検索サービス一覧の表示：[1]
- 検索サービス一覧のサブメニューから「タイトル名変更」「削除」「1つ上／下へ移動」の操作ができます。

3 「はい」▶タイトル名を入力（36文字以内）▶[📷]［保存］

- 最大登録件数を超える場合は上書きの確認画面が表示されます。

ウォーキング／Exカウンター

ウォーキングチェッカー／エクササイズカウンターで、歩数、歩いた距離、消費カロリー、脂肪燃焼量、いきいき歩行、活動量、いきいき活動量などを確認できます。

※ 歩数／活動量／カロリー情報を表示中に[カメラ]を押すと、いきいき歩行、活動量、いきいき活動量の詳細を表示できます。→P313

- 歩数／活動量／カロリー情報をｉアプリのヘルスチェッカーで利用できます。

■ 活動量とは

日常生活での動作や歩行、運動など、身体活動の量を数値にして、「Ex（エクササイズ）」という単位で表したものです。身体活動の実施時間と運動強度※から算出されます。

※ 身体活動の強さが安静時の何倍に相当するかを、METsという単位で表したものです。3METs以上の運動強度が計測されると活動量が算出されます。

■ いきいき歩行、いきいき活動量とは

有酸素運動（呼吸によって取り入れられる酸素を効果的に使い、全身持久力を高めつつ体脂肪を効果的に燃やす運動）の目安となる歩行や活動量を計測したものです。

- いきいき歩行は、毎分60歩以上のペースで連続して3分以上歩いたとき自動的に計測されます。
- いきいき活動量は、1分間あたり平均3METs以上の運動強度が3分以上続けて測定されたときに計測されます。
- 4分以内の休憩は継続したものとします。

❖ウォーキング／Exカウンターご使用時の注意事項

- 歩数を正確にカウントするためには、正しく装着して（キャリングケースに入れて腰のベルトなどに装着する、かばんに入れるときは固定できるポケットや仕切りの中に入れる）毎分100～120歩程度の速さで歩くことをおすすめします。
- 正しく装着していても、手や足など身体の一部のみが動作しているなど歩行や運動がFOMA端末に伝わらない状態では、歩数のカウントや活動量の計測が正確に行われないことがあります。
- 次の場合は歩数が正確にカウントされないことがあります。
  - FOMA端末を入れたかばんが足や腰に当たって不規則に動くときや、FOMA端末を腰やかばんにぶら下げたとき
  - すり足のような歩きかたや、サンダル、下駄、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき、混雑した場所を歩くなど歩行が乱れたとき
  - 立ったり座ったり、階段や急斜面の昇り降りをしたり、乗り物（自転車、車、電車、バスなど）に乗車したりなど、上下運動や振動、横揺れなどが多いとき
  - 歩行以外のスポーツを行ったときや、ジョギングをしたとき、極端にゆっくり歩いたとき
- FOMA端末の開閉やキー操作などを行ったとき、FOMA端末に振動や揺れが加わっているときは、歩数のカウントや活動量の計測が正確に行われないことがあります。

◆ ウォーキング／Exカウンター設定

ウォーキング／Exカウンターの利用に必要な情報を設定します。

1 [MENU][6][8][2]▶各項目を設定▶[カメラ]［登録］

ウォーキング／Exカウンターを「利用する」にすると、待受画面に[アイコン]が表示されます。

- ヘルスチェッカーで身長を設定すると、その身長が反映されます。

✔お知らせ

- 誤カウントを防ぐために歩行を始めたかどうかを判断しているため、歩き始めは数値が変わりません。目安として4秒程度歩くとそこまでの歩数が加算されます。
- カウントした歩数と計測した活動量は約60分ごとに保存されます。FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されていない歩数や活動量が消失してしまう場合があります。

◆ 歩数／活動量／カロリー情報

FOMA端末の時刻で午前0時0分になると、1日分の歩数や活動量などの情報が履歴として自動的に保存されます。
- 当日を含めて1098日分記録されます。超過すると古いものから上書きされます。
- 表示される数値は、あくまでも目安としてご活用ください。

1 MENU 6 8 1

2 ✉で履歴を確認

- 歩数履歴といきいき歩数は最大999999歩、歩行距離は最大9999.9km、消費カロリーは最大65535kcal、脂肪燃焼量は最大4681g、いきいき歩行⏲は最大99時間59分、活動量といきいき活動量は最大9999.9Exまで表示されます。
- 歩行距離は、1分あたりの歩数により歩幅が補正されるため、歩幅から算出した距離とは異なる場合があります。
- 運動強度が計測されない場合は、カロリー計算は行われません。

履歴の削除： MENU ［サブメニュー］▶ 1 ▶「はい」
カウント中の歩数や計測中の活動量も含め、履歴がすべて削除されます。

✔お知らせ
- 待受画面に歩数や活動量などの情報を表示できます。→P89、90
- 当日カウント中の歩数と歩行距離、計測中の活動量と消費カロリーを背面ディスプレイで確認できます。→P31
- 歩数、歩行距離、いきいき歩数、活動量、いきいき活動量は、最大値を超えると0に戻って表示されます。
- 歩数／活動量／カロリー情報は、FOMA端末の故障、修理やその他の取り扱いによって消失してしまう場合があります。また、電池パックを外した状態や空の状態で約1か月以上経過すると消失してしまう場合があります。万が一、消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

マルチアクセス

マルチアクセスとは、音声電話、ｉモード通信、データ通信など複数の通信を同時に使用できる機能です。
- マルチアクセスの組み合わせ→P421
- マルチアクセス中は各通信について通信料金がかかります。

〈例〉音声電話中にｉモードに接続する

1 音声電話中に MULTI ▶ 2 1
サイト画面を表示したまま通話できます。

マルチタスク

マルチタスクとは、複数の機能を同時に実行し、画面を切り替えながら操作できる機能です。
- 2つの機能を同時に実行できます。ただし、機能が2つ実行されていても起動できる場合があります。
- マルチウィンドウでのワンセグ視聴→P209

〈例〉通話中にスケジュールを表示する

1 通話中に MULTI
新規起動メニューが表示されます。

2 6 4
スケジュールを表示したまま通話できます。

✔お知らせ
- 動画再生中、カメラ操作中、Flash画像再生中、ワンセグ視聴／録画中、Music&Videoチャネルの番組やミュージックプレーヤーでの曲の再生中などに他の機能を起動したり操作したりするなど、同時に多くの機能を実行すると、画面がスムーズに動作しない場合や、再生中の音声が途切れる場合があります。

◆マルチタスク切り替え

同時に実行している機能の画面を切り替えます。

〈例〉音声電話中画面からサイト画面へ切り替える

1 音声電話中に[MULTI]

画面切替メニューが表示されます。

2 「i モード」

新規起動／画面切替メニューの切り替え：[MENU]［新規／切替］
1機能終了：機能にカーソル▶[iα]［終了］
全機能終了：[📷]［全終了］▶「はい」

自動電源ON／OFF

指定した時刻に自動的に電源を入れたり切ったりします。また、電源を切っていてもアラームやメモのアラームなどで指定した時刻になると、自動的に電源が入りアラームが鳴るように設定できます。

1 [MENU][8][5][3]

2 目的の操作を行う

自動電源ON：[1]▶各項目を設定▶[📷]［登録］
自動電源OFF：[2]▶各項目を設定▶[📷]［登録］
アラーム自動電源ON：[3]▶[1]または[2]

✔お知らせ

- 電源を切る操作や自動電源OFF以外で電源が切れると、自動電源ONやアラーム自動電源ONは動作しません。
- 自動電源OFFが「ON」でも、他の機能を利用中は電源が切れません。
- 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された所では、電源を切るだけではなく、自動電源ONとアラーム自動電源ONを「OFF」にしてください。

お知らせタイマー

指定した時間が経過したことをタイマー音などでお知らせします。

1 [MENU][6][9]▶時間を入力（1～60分）▶[●]［開始］

カウントダウンが始まります。
- 待受画面で時間を入力して[Q]を押しても開始できます。

❖指定した時間が経過すると

ディスプレイに「お知らせタイマー 時間です」と表示され、タイマーが鳴ります。FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに通知画面が表示されます。

- イルミネーション設定とキーイルミネーション設定の電話着信に従って動作します。
- [⌒]を押すと、タイマーが終了します。
- 約1分間何も操作しない、[⌒]と[Ｗ]と[▼]以外のキーを押す、FOMA端末をダブルタップ（→P39）のいずれかを行うと、タイマーが停止します。

✔お知らせ

- 通話中に指定した時間になると、通知音が鳴りタイマーの画面が表示されます。
- 電話中（通話中以外）、64Kデータ通信の発着信中、データ転送モード中、赤外線リモコン使用中に指定した時間になると、操作や動作が終了した後、タイマーが動作します。

アラーム

アラームを設定します。アラームが鳴った後、連絡先に電話できるようにしたり、ワンセグが起動するように設定したりできます（ワンセグアラーム）。

- 最大9件登録できます。

1 [MENU][6][3]

2 **番号を選択▶[ナビ]で画面を切り替えて各項目を設定**

- 繰り返しを設定すると、アラーム一覧に[アイコン]が表示されます。
- メッセージは全角30（半角60）文字以内で入力します。
- スヌーズには、約1分間鳴った後に停止する動作を、選択した時間の間隔で約30分間繰り返すかどうかを設定します。
- 連絡先を直接入力する場合は26桁以内で入力します。

設定／解除：登録済みの番号にカーソル▶[MENU]［設定／解除］
設定中は[アイコン]が表示されます。

3 **[カメラ]［登録］**

アラームを設定すると、待受画面に[アイコン]または[アイコン]（メモのアラームも設定しているとき）が表示されます。

❖指定した時刻になると

設定に従ってアラームが動作します。FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに時刻が表示されます。
- [終話]を押すとアラームが終了します。
- 約1分間何も操作しない、[終話]と[TV]と[▼]以外のキーを押す、FOMA端末をダブルタップ（→P39）のいずれかを行うと、アラームは停止またはスヌーズ動作になります。
- 連絡先が「あり」の場合は、アラームを終了すると、連絡先に電話するかどうかの確認画面が表示されます。
- ワンセグ利用が「する」の場合は、アラームを停止（スヌーズ動作の停止中を含む）または終了すると、ワンセグが起動します。
- スヌーズ動作で停止しているときは、ディスプレイに「スヌーズ中 Snooze」と表示され、ランプとキーバックライト（スヌーズキーイルミネーションが「ON」の場合）が約10秒間隔で点滅します。

✔お知らせ
- アラーム音に動画／ｉモーションを設定すると、アラームが動作するとき画面に動画／ｉモーションが表示されます。
- ワンセグの起動時に、指定した番組とは異なる番組が表示される場合があります。
- オリジナルマナーモード中は、ワンセグアラームもオリジナルマナーモードのアラーム音の設定に従います。
- 電話中、64Kデータ通信の発着信中、データ転送モード中、赤外線リモコン使用中に指定した時刻になった場合の動作は、お知らせタイマーと同じです。

ワンタッチアラーム

本機能を有効にすると、FOMA端末を閉じた状態で[▲]または[▼]を1秒以上押しして操作する機能が動作せず、大音量でアラームが鳴ります。

◆ワンタッチアラーム設定

ワンタッチアラームの動作を設定します。

1 **[MENU][6]▶「ワンタッチアラーム設定」▶各項目を設定▶[カメラ]［登録］**

- ワンタッチアラーム設定を「OFF」にした場合は、操作2は不要です。
- 音量を「ステップトーン」にすると、音が次第に大きくなり約5秒で最大になります。
- アラーム鳴動中着信動作を「着信優先」にすると、電話がかかってきたときワンタッチアラームの鳴動を終了します。「着信拒否（アラーム継続）」にすると、アラームが鳴り続け、不在着信として記録されます。

2 **「OK」**

ワンタッチアラームを設定すると、待受画面に[アイコン]が表示されます。

◆ワンタッチアラームの起動

大音量アラームを鳴らします。
- FOMA端末を閉じた状態で操作してください。

1 **[▲]（1秒以上）または[▼]（1秒以上）**

アラームが鳴り、ランプが点滅し、バイブレータが振動します。
- 約10分間何も操作しないか、[TV]以外のキーを押すと、ワンタッチアラームは終了します。

✔お知らせ

- 電源が入っていないとき、電池が切れそうなとき（→P47）、マナーモード中、おまかせロック中、データ転送モード中、ソフトウェア更新中は、ワンタッチアラームは鳴動しません。
- 通話中や64Kデータ通信中はワンタッチアラームを起動できますが、通話や通信が切断されます。
- ワンタッチアラーム鳴動中の各動作や各操作は次のとおりです。
  - ワンセグの視聴予約、アラーム、メモのアラームで指定した時間や日時になると、ワンタッチアラーム終了後にそれぞれ動作します。
  - ソフトウェア更新の書き換え時刻になっても、書き換えは始まりません。
  - ステレオイヤホンマイク01（別売）で発信操作を行うと、ワンタッチアラームを終了して電話を発信できます。
  - おまかせロックが起動したり、エリアメールを受信したりすると、ワンタッチアラームは終了します。
- ワンタッチアラームは、周囲の注意をこちらに向けるためのもので、犯罪防止や安全を保証するものではありません。本機能をご利用した際に、万が一損害が発生したとしても、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

スケジュール

メモをスケジュールで管理したり、ダウンロードしたｉスケジュールを確認したりできます。

- スケジュールの表示や機能は、スケジュール表示設定のスケジュールタイプ「ノーマル」「クラシック」によって異なります。ここでは主に、ｉコンシェルやメモ一覧と連動して管理したり、スケジュールやメモを楽しく装飾できるシール（デコメ絵文字®、絵文字）を貼ることができる「ノーマル」での説明となります。
- 2000年1月1日から2060年12月31日まで表示できます。
- ｉコンシェルの契約状況によっては、スケジュールを起動または終了するときにメッセージが表示される場合があります。

◆スケジュールからのメモ登録

スケジュールからメモを登録します。

1 MENU 6 5 ▶ MENU ［サブメニュー］ ▶ 1

2 各項目を設定 ▶ iα ［登録］

▦：カテゴリアイコンを設定します。

件名（予定・メモ）：選択したカテゴリアイコンに対応した件名が入力されます。全角300（半角600）文字以内で変更できます。

詳細：全角300（半角600）文字以内で入力します。

▦ ▦ あa：シール、ラベルカラー、文字カラーを設定します。

ToDo：「あり」にすると、期限や優先順位などを設定できます。

いつ？：開始日時、終了日時、繰り返しを設定します。

どこで？：全角25（半角50）文字以内で入力します。

だれと？：「直接入力」を選択した場合は、全角25（半角50）文字以内で入力します。最大30件登録できます。

共有設定：チェックを入れた相手とメモを共有することができます。「直接入力」を選択した場合は、ニックネームは全角16（半角32）文字以内で、メールアドレスは半角50文字以内で入力します。最大30件登録できます。

- ｉコンシェル契約時のみ利用できます。
- あなたのニックネームには、プロフィールに登録した名前が表示されます。全角16（半角32）文字以内で入力できます。

添付：最大200Kバイトの静止画を添付できます。関連するメールには、参照したいメールを設定します。

- VGAを超えるサイズの静止画を選択した場合は表示サイズ変更の確認画面が表示されます。

アラーム・リマインド設定：「アラーム設定」では指定した日時になったときに、「場所でリマインド設定」ではオートGPSを利用して指定した場所に近づいたときに、登録したメモをお知らせします。「メールでリマインド設定」では、「だれと？」または「共有設定」に設定した相手から届いたメールのメモ検索（→P145）を利用するときに検索対象となるようにします。

- アラームを設定すると、待受画面に▦または▦（アラームも設定しているとき）が表示されます。
- 場所とメールのリマインド設定は、ｉコンシェル契約時またはおためしサービス利用中のみ利用できます。

ヒントの表示／非表示：📷 ［ヒントON／ヒントOFF］

「シール」「いつ？」「どこで？」「だれと？」「共有設定」「添付」に表示されたヒントから入力候補を選択できます。

❖クイックスケジュール

カレンダー画面を表示せず、簡単なキー操作でスケジュールのメモを登録できます。

1 日時を8桁の数字で入力▶

メモの新規作成画面が表示されます。
- 12月21日10時0分の場合、「12211000」と入力します。
- 当日に登録する場合は、時間2桁、分2桁の4桁を入力します。
- 現在の日時以前を入力した場合は、翌年または翌日の新規作成画面が表示されます。

❖メモのアラームで指定した日時になると

iコンシェル契約時またはおためしサービス利用中に、マチキャラを設定していて待受画面を表示しているときは、マチキャラがメモのアラーム通知を行います。それ以外の場合は、設定に従って動作します。FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに時刻と件名が表示されます。
- イルミネーション設定とキーイルミネーション設定の電話着信に従って動作します。
- を押すとアラームが終了します。
- 約1分間何も操作しない、とい以外のキーを押す、FOMA端末をダブルタップ（→P39）のいずれかを行うと、アラームが停止します。

✔お知らせ

- メモのアラーム音に動画／iモーションを設定すると、マチキャラの通知やアラーム画像の表示は行われず、画面に動画／iモーションが表示されます。
- 電話中、64Kデータ通信の発着信中、データ転送モード中、赤外線リモコン使用中に指定した日時になった場合の動作は、お知らせタイマーと同じです。
- マチキャラ通知時以外は、を押してアラームを停止できません。

◆カレンダーの表示

スケジュールのカレンダーを表示します。

1 MENU 6 5

カレンダー画面

- 画面の見かたは次のとおりです。

① **メモあり**
- スケジュールから登録したメモ以外に、メモ一覧から「ToDo」または「いつ？」を設定して登録したメモ、電話帳に登録した誕生日、ワンセグの視聴／録画予約がある場合も表示されます。

② **iスケジュール内の予定あり**

③ **ToDoあり**

④ **当日**

⑤ **週間天気予報**
- iコンシェルを契約すると、当日から最大8日分が配信されます。

⑥ **シール**
- 日付の背景色が、シールを貼っているメモのラベルカラーに対応した色で表示されます。

⑦ **カーソル**
- カーソル位置の日付のメモ件数が表示されます（99件まで）。

⑧ **カーソル位置の日付に登録したメモ一覧**
- マークや表示の意味はデイリービュー画面と同じです。→P319

❖カレンダー画面表示中の主な操作

カーソル移動：[方向キー]
前月／翌月の切り替え：[✉]［前月］／[iα]［翌月］
日付指定移動：[MENU]［サブメニュー］▶[4][2][2]▶年月日を入力
当日に戻る：[MENU]［サブメニュー］▶[4][2][1]
メモ一覧／ｉコンシェルメニューの切り替え：[MENU]［サブメニュー］▶[6]▶[2]または[3]
登録件数確認：[MENU]［サブメニュー］▶[0][1]
ｉスケジュール一覧の表示：[📷]［ｉスケジュール］
ｉスケジュールの確認→P320

✔お知らせ

- カレンダーの祝日は、「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成17年法律第43号までのもの）」に基づいています。春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります（2012年11月現在）。また、上記法律は2007年1月から施行されていますが、2006年までの一部の祝日、振替休日については、改正前の日付で表示されないため、ご注意ください。
- 電話帳の誕生日は登録件数確認で表示される件数に含まれません。
- 「クラシック」のカレンダー画面のサブメニューから「新規作成」「貼り付け」「削除」「表示切替え」「日付移動」「メール作成」「設定／確認」などの操作ができます。

◆シール設定

カレンダーの日付にシールを貼ったり、優先して表示するシールを選んだり、シールの表示／非表示を設定したりします。

1 [MENU][6][5]

2 目的の操作を行う

シールを貼る／選ぶ：日付にカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[9][1]▶[1]または[2]▶シールを選択
- シールを貼ると、1件のメモとして登録されます。

シール表示設定：[MENU]［サブメニュー］▶[9][1][3]▶[1]または[2]

◆休日／曜日休日／祝日設定

カレンダーに休日や祝日を設定したり、週休を変更したりできます。
- 休日は最大30件、祝日は新規で最大5件設定できます。

1 [MENU][6][5]▶[MENU]［サブメニュー］▶[9][2]

2 目的の操作を行う

固定日／毎年繰り返しの休日の設定：[1]▶日付にカーソル▶[●]［設定］または[iα]［毎年設定］
- [iα]を押すたびに毎年／固定の休日を切り替えられます。

休日の解除：[1]▶休日にカーソル▶[●]［解除］
休日の全件解除：[1]▶[✉]［全解除］▶「はい」
週休の設定：[2]▶各項目を設定▶[📷]［登録］
週休を元の設定に戻す：[2]▶[MENU]［リセット］▶[📷]［登録］
祝日の設定：[3]▶[📷]［新規］▶各項目を設定▶[📷]［登録］
- 祝日名は全角11（半角22）文字以内で入力します。

祝日の変更：[3]▶祝日を選択▶各項目を設定▶[📷]［登録］
祝日の削除：[3]▶祝日にカーソル▶[MENU]［削除］▶「はい」

◆スケジュール表示設定

本設定のスケジュールタイプを「ノーマル」にすると、ｉスケジュールや電話帳の誕生日などを表示したり、ｉコンシェルやメモ一覧と連動してメモを管理したりできます。「クラシック」にすると、カレンダー画面のスクロール動作や拡大表示を変更できます。

1 [MENU][6][5]▶[MENU]［サブメニュー］▶[9][3]▶各項目を設定▶[📷]［登録］

- 拡大モードを「ウイークリー拡大モード」にすると週を基準に4段階、「デイリー拡大モード」にすると日を基準に7段階で表示を拡大できます。

◆ アラーム初期値設定

メモのアラームの初期値を設定できます。

1 MENU 6 5 ▶ MENU ［サブメニュー］ ▶ 9 4 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷 ［登録］

- 通常登録時はカレンダー画面またはメモ一覧から登録するときの初期値、待受画面から登録時はクイックスケジュールで登録するときの初期値を設定します。

◆ スケジュール基本表示設定

スケジュールを起動したとき最初に表示する画面を選択できます。

1 MENU 6 5 ▶ MENU ［サブメニュー］

2 9 5

一時的に表示を切り替える：4 1

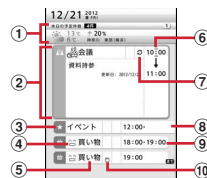
3 表示される種類を選択

- 週タイムラインは1週間分のメモを、日タイムラインは1日分のメモを、時間単位で表示します。
- 表示される画面によりサブメニュー項目や番号が異なります。

◆ スケジュールの確認・管理

スケジュールの確認やメモの編集などを行います。メモ一覧から「ToDo」または「いつ？」を設定して登録したメモも表示、管理できます。

- ｉスケジュール内の予定も同様に表示できますが、サブメニューなどの操作が異なったり制限されたりします。→P320

1 MENU 6 5 ▶ 日付を選択

デイリービュー画面

- 画面の見かたは次のとおりです。
  ① **メモ件数（99件まで表示）、メモ番号、週間天気予報**
  ② **カーソルを合わせたメモ**
  - 詳細と更新日が表示されます。

  ③ **カテゴリアイコン**
  ④ **シール**
  ⑤ **件名**
  ⑥ **メモのアラームあり**
  ⑦ **繰り返しのメモ**
  ⑧ **複数日にまたがるメモ**
  ⑨ **開始時刻、終了時刻**
  ⑩ **ToDoあり**
- 「いつ？」と「ToDo」両方を設定したメモは、スケジュールでは「いつ？」に指定した日付と「ToDo」に指定した日付に分かれて2件表示されますが、スケジュールの登録件数確認とメモ一覧では1件のメモとして表示されます。

2 メモを選択

詳細画面

日付の切り替え：[Ô]
編集：メモにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[2]▶メモ編集
シークレット属性設定／解除：メモにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[0][3]

- プライバシーモード中（メモ・スケジュールが「指定スケジュール非表示」のとき）は、シークレット属性を設定したメモは表示されません。
- 設定中は[鍵]が点滅します。

メールの作成／添付：スケジュールにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[7][1]▶[1]～[4]

- 他にも、サブメニューから「コピー／貼り付け」「削除」「検索／フィルタリング」などの操作ができます。

❖メモ詳細画面の主な操作

メモ詳細画面のリンクボタンから、電話をかけたりメールを送信したり、サイトに接続したりすることができます。他にも、サブメニューから次の操作ができます。

添付画像／シール保存：[7]▶[1]または[2]▶[📷]［保存］▶「はい」▶フォルダにカーソル▶[📷]［確定］
優先表示設定／解除：[8][1]
優先表示を設定したメモは、メモ一覧で更新日順に優先して表示されます。
メモ共有履歴の表示：[9]▶共有履歴を選択
メモ共有履歴の削除：[9]▶[📷]［削除］▶削除方法を選択▶「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせた共有履歴が削除されます。
- 全件削除では認証操作が必要です。

✔お知らせ

- 電話帳に登録した誕生日やワンセグの視聴／録画予約は、スケジュールから編集や削除などの操作ができません。
- メモ詳細画面の「詳細」に電話番号、メールアドレス、URLが含まれている場合は、Phone To（AV Phone To）、Mail To、SMS To、Web To機能を利用できます。
- 誕生日の詳細画面で相手に電話をかけたりメールを送信したりできます。
- 「クラシック」のデイリービュー画面のサブメニューから「新規作成」「編集」「コピー／貼り付け」「削除」「表示切替え」「日付移動」「メール作成」などの操作ができます。
- 「クラシック」の詳細画面のサブメニューから「新規作成」「編集」「削除」「メール」などの操作ができます。また、スケジュール連絡先から電話をかけたりメールを送信したりできます。

◆ｉスケジュールの確認

1件のｉスケジュールには、複数の予定が含まれます（ｉスケジュール内の予定）。ｉスケジュールが添付されたインフォメーションを受信したり、新しい予定をダウンロードしたり、ケータイデータお預かりサービスで保存したデータを更新・復元したりしたときに、ｉスケジュールが更新されます。

- FOMA端末の空き容量がない場合は、更新されません。
- ｉスケジュール内の予定は個別には削除できません。削除する場合はｉスケジュールを削除します。

1 [MENU][6][5]▶[📷]［ｉスケジュール］

ｉスケジュール一覧が表示されます。

- ｉスケジュールが1件も登録されていない場合はｉスケジュールの説明が表示されます。
- 「ｉスケジュールリストへ」を選択すると、ｉスケジュールのサイトに接続できます。

2 ｉスケジュールにカーソル▶[📷]［一覧］

ｉスケジュール内の予定一覧が表示されます。

ｉスケジュールの概要表示：ｉスケジュールを選択
ｉスケジュールの削除：[MENU]［サブメニュー］▶[1]▶[1]～[3]▶「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせたｉスケジュールが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶[📷]が、全件削除では認証操作が必要です。

3 **ｉスケジュール内の予定を選択**

ｉスケジュール内の予定の詳細画面が表示されます。

コピーして編集：ｉスケジュール内の予定にカーソル▶[カメラ]［編集］▶「OK」▶編集
- メモとして登録されます。

メールに添付：ｉスケジュール内の予定にカーソル▶[iα]［添付］
- メモとして添付されます。

メールの作成：ｉスケジュール内の予定にカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[2][1]

セレクトメニュー

よく使う機能を自由に登録して、自分だけのメニューを作れます。

- セレクトメニューの1階層目の機能は、待受画面で対応するダイヤルキー（[1]～[9]）を1秒以上押すことで起動できます。ただし、下の階層にメニューがある機能、人物、グループを登録した場合は起動できません。
- 1つの階層に最大9個のメニュー項目を登録できます。

1 [MENU]▶[カメラ]［セレクト］▶[MENU]［サブメニュー］▶[1]

2 **目的の操作を行う**

機能の追加登録：[1]▶機能にカーソル▶[カメラ]［登録］
人物の追加登録：[2]▶電話帳から人物を選択
グループの追加登録：[3]▶グループ名を入力（全角9（半角18）文字以内）▶[カメラ]［登録］
- メニュー項目が登録されていないグループを選択すると、項目の選択画面が表示されます。
- 3階層目は、グループを登録できません。

◆ セレクトメニューの利用・管理

セレクトメニューから機能を利用したり管理したりします。

- メニューのリセットでお買い上げ時の状態に戻すことができます。→P97

1 [MENU]▶[カメラ]［セレクト］▶**機能やグループを選択**

- 機能を選択すると、機能が起動または下の階層のメニュー項目が表示されます。
- グループを選択すると、グループ内のメニュー項目が表示されます。
- サブメニューから「上書き登録」「入替え」「アイコン変更」「メニューグループ名変更」「削除」などの操作ができます。

■ **人物を利用する**

1 [MENU]▶[カメラ]［セレクト］▶**人物にカーソル**

2 **目的の操作を行う**

電話をかける※：[発信]または[iα]［テレビ電話］
- 人物を選択して[1]を押すと、発信オプションを利用できます。→P57

メール／SMSの作成※：[メール]［作成］／[メール]（1秒以上）
サイトの表示：人物を選択▶[4]▶「はい」／「フルブラウザ」
詳細情報の表示：人物を選択▶[5]

※ 電話番号やメールアドレスを2件以上登録している場合は、電話帳の詳細画面から利用する電話番号やメールアドレスを選択します。

サイドキー長押し設定

FOMA端末を閉じた状態で[サイド]、[▲]、[▼]のいずれかを1秒以上押したとき起動するように、機能を設定できます。

1 [MENU][8][9][9]▶**項目を設定**▶[カメラ]［登録］

簡易ライト

FOMA端末を小型ライトとして利用できます。

- サイドキー長押し設定を「簡易ライト」にして、FOMA端末を閉じた状態で操作してください。

1 「簡易ライト」を設定したサイドキーを1秒以上押す

ライトが約30秒間点灯します。

- FOMA端末を開いたり、サイドキーのいずれかを押したりすると、ライトは消灯します。
- ライトの点灯中に「簡易ライト」を設定したサイドキーを1秒以上押すと、点灯時間が約30秒間延長します。

プロフィール登録

機種名称や電話番号を確認したり、お客様の名前やメールアドレスなどを登録したりします。

1 MENU 0

- 自局電話番号にはご契約の電話番号が表示されます。
- 2in1がデュアルモード時は、iαを押してAナンバーとBナンバーのプロフィールを切り替えられます。
- Bナンバーの取得→P358

2 📷［編集］▶認証操作▶各項目を設定▶📷［登録］

設定項目は電話帳と同じです（メモリ番号とグループを除く）。→P73

- 1件目の電話番号には自局電話番号が表示されます。変更できません。
- メールアドレスを選択すると、入力方法選択画面が表示されます。「メールアドレス自動取得」を選択すると、iモードセンターからご契約のメールアドレスを取得できます。ただし、2件目以降のメールアドレスを登録するときは動作しません。

✔お知らせ

- 自局電話番号はドコモminiUIMカードに、それ以外の項目はFOMA端末に登録されます。
- プロフィールのメールアドレスを変更しても、iモードのメールアドレスは変更されません。また、iモードのメールアドレスを変更しても、登録済みのプロフィールのメールアドレスは変更されません。

◆ プロフィール（詳細）の確認・利用

プロフィール（詳細）を確認したり、利用したりします。

1 MENU 0▶●［詳細］▶認証操作▶◎で利用する詳細画面に切り替え

2 目的の操作を行う

電話をかける：●［発信］またはiα［テレビ電話］

- 自局電話番号には発信できません。
- MENU 2を押すと、発信オプションを利用できます。→P57

発番号設定：MENU［サブメニュー］▶「設定」▶1▶1〜3

- 発番号設定を設定している場合は、詳細画面上部に🔧が表示されます。

メールの作成：✉［作成］

メールアドレスの入れ替え：MENU［サブメニュー］▶「設定」▶2▶1件目にするメールアドレスを選択

SMSの作成：✉［SMS］

住所から地図を表示：📷［地図］

位置情報の利用：●［利用］▶位置情報利用メニューから機能を選択

位置情報利用メニュー→P258

サイトの表示：●［接続］▶「はい」／「フルブラウザ」

基本情報／画像の表示：MENU［サブメニュー］▶「確認／表示切替」▶1または2

画像／名前表示切替：MENU［サブメニュー］▶「確認／表示切替」▶3▶1〜3

- 電話帳、リダイヤル、着信履歴の画像／名前表示切替にも反映されます。
- 他にも、サブメニューから「リセット」「項目コピー」などの操作ができます。

イミテーションコール

イミテーションコールとは、電話の着信や通話中を装うことができる機能です。
- 通信しないため電波状態に関わらず利用でき、通話料金もかかりません。

◆イミテーションコール設定

イミテーションコール鳴動開始時間や着信音などを設定します。

1 MENU 7 ▶「イミテーションコール」▶ 2 ▶各項目を設定 ▶ 📷［登録］
- 鳴動開始時間を「すぐに鳴らす」以外にすると、イミテーションコールを開始したときカウントダウン画面が表示されます。

◆イミテーションコール開始

電話着信音を鳴らし、通話の動作を装います。

1 MENU 7 ▶「イミテーションコール」▶ 1

イミテーションコール設定に従って着信音が鳴り、ランプが点灯または点滅します。
- イミテーションコール着信中にAを押すと、消音で動作します。

2 ✆

イミテーションコールのガイダンスが受話口から流れ、ランプが点滅します。

✔お知らせ
- イミテーションコール設定の鳴動開始時間を「すぐに鳴らす」以外にしたときに、サイドキー長押し設定で設定したキーを1秒以上押してイミテーションコールを開始すると、カウントダウンを始める前にバイブレータが振動します。
- マナーモード中は、着信音は鳴らずバイブレータが振動します。Aを押すとバイブレータが停止します。
- 公共モード（ドライブモード）中、イヤホンマイク（別売）を接続中でも着信音はスピーカーから鳴ります。
- 0～9、✱、＃を押してイミテーションコール着信を受けられます。
- 着信詳細設定の着信中オープン応答が「ON」のときは、FOMA端末を開いてイミテーションコール着信を受けられます。
- FOMA端末を閉じてイミテーションコール通話を終了できます。
- イミテーションコール通話中に次の動作があると、着信音やアラーム音は鳴らず、バイブレータが振動します。
  - 電話着信やメールなどを受信したとき
  - ワンセグの視聴予約（お知らせアラームが「あり」の場合）、お知らせタイマー、アラーム、メモのアラームで指定した日時になったとき

待受中音声メモ

待受中に自分の声などを音声メモとして録音できます。
- 待受中音声メモは、1件につき最大30秒、通話中音声メモと合わせて最大4件録音できます。
- 音声メモの再生・削除→P66
- FOMA端末を開いた状態で操作してください。

1 A（1秒以上）▶ 3

約3秒後に「ピーッ」と鳴り、録音が開始されます。残り約5秒になると「ピピッ」と鳴り、終了時には「ピーッ」と鳴ります。
録音停止：●、CLR、⌒のいずれか

通話時間／通話料金

音声電話、テレビ電話などの直前および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

- 通話時間は、音声電話通話時間、テレビ電話通話時間、64Kデータ通信時間が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金はかけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、「0YEN」または「******YEN」と表示されます。
- 通話料金はドコモminiUIMカードに蓄積されるため、ドコモminiUIMカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算）が表示されます。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の時間や料金とは異なる場合があります。
- 表示される通話料金に消費税は含まれていません。
- ｉモード通信、パケット通信の通信時間や通信料金はカウントされません。ｉモード利用料などの確認方法については『ご利用ガイドブック（ｉモード編）』をご覧ください。

◆ 通話時間の確認

通話時間の確認や積算通話時間のリセットを行います。

1 MENU 7 6 2

積算通話時間のリセット：通話時間表示画面で［📷］［積算リセット］▶認証操作▶ 1 〜 4 ▶「はい」

◆ 通話料金の確認

通話料金の確認や積算通話料金のリセットを行います。

1 MENU 7 6 1

積算通話料金のリセット：通話料金表示画面で［📷］［積算リセット］▶PIN2コードを入力▶「はい」

❖通話料金自動リセット設定

積算通話料金を毎月１日０時に自動的にリセットします。

1 MENU 7 6 3 ▶認証操作▶ 1 または 2 ▶PIN2コードを入力

✔お知らせ

- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
- WORLD CALL利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。
- FOMA端末の電源を切った場合や、着信などがあって直前の通話料金の情報がない場合は、直前通話料金は「******YEN」と表示されます。
- 直前および積算の音声電話通話時間やテレビ電話通話時間、データ通信時間が9999時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントされます。
- 通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えた場合の直前通話料金には、音声電話とテレビ電話の合計額が表示されます。なお、切り替え中に料金は加算されません。
- 2in1をご契約いただいている場合は、積算通話時間と積算通話料金にはAナンバーとBナンバーの合計が表示されます。

〈通話料金自動リセット設定が「ON」のとき〉

- 日付時刻設定で翌月以降の日時を設定すると、その時点でリセットされます。
- 電源を入れるときにはPIN2コードの入力、日付時刻設定を行うときには認証操作が必要です。

◆ 通話料金上限通知

積算通話料金が設定した金額を超えたとき、アラームや上限通知アイコンの表示などでお知らせします。

1 MENU 7 6

2 4 ▶認証操作▶各項目を設定▶［📷］［登録］

上限通知アイコン消去： 5 ▶認証操作▶「はい」

❖通話料金が上限を超えると

- 通話中または通信中は、ディスプレイに¥が表示されます。
- 通知方法が「アラーム+アイコン表示」の場合は、通話や通信を終了して待受画面に戻ると、音量設定の電話着信音量に従ってアラームが鳴り、通話料金が上限を超えたことが表示されます。ただし、FOMA端末を閉じている場合は、アラームは鳴りません。

✔お知らせ

- 通知方法が「アラーム+アイコン表示」でも、通話料金自動リセット設定が「ON」のときに通話料金の上限を超える通話を1日0時に行うと、アラームは鳴らずメッセージも表示されません。

電卓

電卓で四則計算します。

1 MENU 6 2 ▶計算する

入力した数字の1桁削除： iα ［←］

- サブメニューから「コピー」「貼り付け」の操作ができます。

✔お知らせ

- 計算結果の整数部分が8桁を超えたり、0で除算したりするとエラーとなり、「E」と表示されます。小数点を含む数値が8桁を超える場合は、表示に収まらない小数部分が四捨五入されて表示されます。

メモ

メモ一覧からメモを登録します。ｉコンシェルのメニュー画面から登録したクイックメモやフォトメモも合わせて管理します。

- 「ToDo」または「いつ？」を設定したメモはスケジュールにも表示されます。また、スケジュールから登録したメモもメモ一覧に表示されます。
- ｉコンシェルの契約状況によっては、メモを起動または終了するときにメッセージが表示される場合があります。
- メモを1件も登録していない場合はサンプルが表示されます。メモを登録すると表示されなくなります。

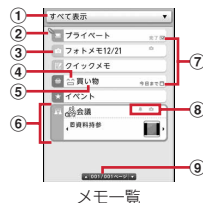
1 MENU 6 6 ▶ 📷 ［メモ作成］▶各項目を設定▶ iα ［登録］

- 設定項目はスケジュールからのメモ登録と同じです。→P316

◆ メモの確認

メモの確認や編集などを行います。

1 MENU 6 6

メモ一覧

- 画面の見かたは次のとおりです。

① **表示条件選択欄**
② **優先表示を設定したメモ**
③ **カテゴリアイコン**
④ **シール**
⑤ **件名**
⑥ **カーソルを合わせたメモ**
- ✉を押して「詳細・添付画像」「いつ」「どこで」「だれと」を表示できます。

⑦ **ToDoあり**
⑧ **プレビューアイコン**
🔔：メモのアラームあり　🚩：場所リマインドあり　📷：フォトメモ
✏：ｉコンシェルメモ追記あり　👥：共有メモ追記あり
⑨ **ページ番号**

2 メモを選択

メモ詳細画面が表示されます。

- メモ詳細画面の主な操作→P320

編集：メモにカーソル▶ iα ［編集］▶メモ編集

フィルタリング：MENU ［サブメニュー］▶ 4 1 ▶表示条件を選択

- 画面上部の表示条件選択欄を選択しても同様に操作できます。
- 表示条件の項目番号6～0には、検索履歴が最大5件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

検索：MENU ［サブメニュー］▶ 4 2 ▶検索条件を設定▶ 📷 ［実行］

検索／フィルタリング解除：MENU［サブメニュー］▶4 3
メールに添付：メモにカーソル▶MENU［サブメニュー］▶5 1
スケジュール／iコンシェルメニューの切り替え：MENU［サブメニュー］▶5▶2または3
- 他にも、サブメニューから「削除」「優先表示設定」「シール表示設定」「シークレット属性設定」「アラーム初期値設定」「メモ共有履歴」などの操作ができます。

電子辞書

お買い上げ時に登録されている電子辞書を利用します。付属の電子辞書データDVD（試供品）に収録されている電子辞書をmicroSDカードに保存して利用することもできます。
- 「広辞苑 第六版 DVD-ROM版（内蔵版）」「リーダーズ英和辞典 第2版（内蔵版）」など、キーワードを入力して検索する方法が主な操作となる辞書は、辞書一覧で辞書を選択するとキーワード入力画面が表示されます。
- 「みんなで国語辞典② あふれる新語」「デイリー日韓英3か国語会話辞典（内蔵版）」など、目次から章や項目などを選んで検索する方法が主な操作となる辞書は、辞書一覧で辞書を選択すると辞書メニューが表示されます。
- microSDカードを使う他の機能が動作中は、microSDカード内の辞書が利用できない場合があります。

❖電子辞書のキーワード検索

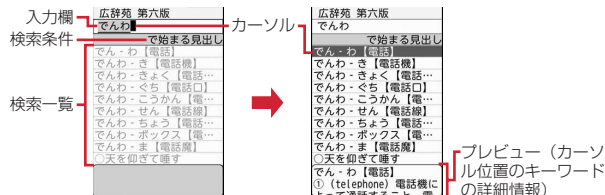
キーワードを入力して単語の意味などを調べます。
- キーワードによっては正しく検索できない場合があります。

1 MENU 6▶「電子辞書」▶✉で辞書の分類を切り替え

2 辞書一覧で辞書を選択
- 選択すると辞書メニューが表示される辞書の場合は、辞書一覧で✉［キーワード］を押すと、キーワードを入力して検索できます。

表示中のすべての辞書から調べる：📷［一括検索］

3 キーワードを入力（64文字以内）

文字を入力するたびに、検索条件に合ったキーワードが検索一覧に表示されます。

検索条件の変更：✉［検索条件］▶1〜5▶キーワードを入力
- 「で始まる見出し」の場合は、絞り込み検索ON／OFFを選択します。
- 他にも、サブメニューから「貼り付け」「辞書の変更」「プレビューON／OFF」「まとめて入力」などの操作ができます。

4 検索一覧から調べたいキーワードを選択

詳細画面（キーワードの説明など）が表示されます。

再入力：📷［入力］▶キーワードを入力

✔お知らせ
- 電子辞書のキーワード検索では、検索結果を100件まで表示します。
  - 検索条件が「で始まる見出し（絞り込み検索ON）」「を含む見出し」「で終わる見出し」「と同じ見出し」「を含む本文」の場合に、検索結果を100件まで表示します。
  - 検索条件が「で始まる見出し（絞り込み検索OFF）」の場合には、検索文字列を先頭としたすべての見出しを表示します。
- 「デイリー日韓英・韓日英辞典」では、韓国語の発音をカタカナ入力して韓国語を検索することができます。
  - キーワード検索する際に、検索条件を「を含む本文」に設定します。
  - 韓国語のカタカナ発音表記と一致した場合に表示されます（カタカナ発音表記はあくまで目安を示すもので、韓国語の発音を正確に反映しているものではありません）。
  - カタカナ発音表記のうち、キーワードとして入力することのできないカタカナ小字（ム、プなどの小文字）を含む韓国語は検索できません。

❖電子辞書の辞書メニュー検索

辞書の目次（辞書メニュー）の章や項目などから調べたいことを探します。
- 辞書メニューの内容は辞書により異なります。辞書メニューによっては検索に対応していない場合があります。

1 MENU 6 ▶「電子辞書」▶ で辞書の分類を切り替え

2 辞書一覧で辞書を選択
- 選択するとキーワード入力画面が表示される辞書の場合は、辞書一覧で ［辞書メニュー］を押すと、辞書メニューを表示できます。

3 辞書メニューを選択▶項目やキーワードなどを選択

詳細画面が表示されます（表示されるまでの操作は辞書により異なります）。

❖電子辞書の複合検索（小辞典）

辞書によっては、検索の種類別に複数の条件やキーワードを設定して調べる複合検索（広辞苑では「小辞典」）を利用できます。

1 MENU 6 ▶「電子辞書」▶ で辞書の分類を切り替え▶辞書にカーソル▶ ［複合検索／小辞典］▶検索の種類を選択

2 各項目を設定▶ ［検索］

検索一覧が表示されます。
- 辞書や検索の種類によって設定項目が異なります。

設定のリセット： ［設定クリア］▶「はい」

3 検索一覧から調べたい項目を選択

詳細画面が表示されます。

✔お知らせ
- 電子辞書の複合検索（小辞典）では、検索結果を100件まで表示します。

◆電子辞書詳細画面表示中の操作

詳細画面表示中は次の操作ができます。説明文の単語から別の詳細画面を参照したり、画像を表示したり、音声などを再生したりできる場合もあります。

文字や画像の縮小／拡大： ［縮小］／ ［拡大］

単語の意味の参照、画像の表示、音声や動画／iモーションの再生：リンク先のある単語または画像を選択

音声の音量調整／停止：再生中に ／ ［停止］または ［停止］
- サブメニューから「新規検索」「コピー」「辞書一覧に戻る」の操作ができます。

◆電子辞書の検索履歴

利用した辞書や入力したキーワードの検索履歴を利用します。
- 辞書検索履歴は最大30件、キーワード履歴は最大30件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 MENU 6 ▶「電子辞書」

2 目的の操作を行う

辞書検索履歴：MENU ［サブメニュー］▶ 1

辞書検索履歴一覧（キーワードと辞書名）が表示されます。

キーワード履歴： で辞書の分類を切り替え▶辞書を選択▶MENU ［サブメニュー］▶ 1

入力したキーワード履歴一覧が表示されます。
- 辞書メニューでは操作できません。

3 キーワードを選択

辞書検索履歴では詳細画面、キーワード履歴では検索一覧が表示されます。
- 履歴一覧のサブメニューから削除の操作ができます。

◆ 電子辞書の管理

本体またはmicroSDカードに保存された電子辞書を保存先別に表示したり、保存先を移動したり、削除したりします。

1 MENU 6 ▶「電子辞書」▶ MENU ［サブメニュー］▶ 2

本体の辞書管理画面が表示されます。

本体／microSDカードの表示切り替え：辞書管理画面で ［カメラ］［microSD／本体］

- 本体の辞書管理画面のサブメニューから「microSDへ移動」「削除」「メモリ確認」の操作ができます。
- microSDカードの辞書管理画面のサブメニューから「本体へ移動」「削除」の操作ができます。
- 本体から削除した辞書を元に戻すには、パソコンを使って付属のDVD（試供品）に収録されている電子辞書データをmicroSDカードに保存し、microSDカードから本体に保存先を移動する操作が必要になります。
- メモリ確認→P299

◆ DVDの電子辞書をmicroSDカードに保存

パソコンを使って、付属のDVD（試供品）に収録されている電子辞書データをmicroSDカードに保存します。microSDカード内の電子辞書の削除もできます。

- Windows XP（必要メモリ128Mバイト以上）、Windows Vista（必要メモリ512Mバイト以上）、Windows 7（必要メモリ32ビット版1Gバイト以上、64ビット版2Gバイト以上）に対応しています（いずれも日本語版）。
- DVDに収録されている電子辞書をすべて保存するには、microSDカードまたはmicroSDHCカードの空き容量が2Gバイト以上あることを推奨します。
- 付属の電子辞書データDVD（試供品）内の辞書以外は使用できません。

1 DVDをパソコンにセットする

2 「辞書の追加・削除」画面の手順に従って、DVDの辞書をmicroSDカードに追加したり、microSDカード内の辞書を削除したりする

- 「FOMA端末の接続について（G）」をクリックすると、microSDモードの操作方法を確認できます。

■ 使用できない辞書がある場合

次の操作方法でmicroSDカード内のすべての辞書を削除し、辞書の保存をやり直してください。

1 DVDをパソコンにセットする

2 「辞書の追加・削除」画面に表示される①の手順を行い、「全ての辞書を削除」を選択する

3 ポップアップ表示の「辞書の削除」画面で「削除開始」を選択する

方位磁石

方位を表示します。

- FOMA端末上部の向きに合わせて測定されます。
- 表示される方位や数値は、あくまでも目安としてご活用ください。

1 MENU 6 ▶「方位磁石」

- 方位が測定できない場合は、手首を返しながら大きく8の字を描くように10秒程度FOMA端末を動かしてください。→P236

スイッチ付イヤホンマイク

ステレオイヤホンマイク 01（別売）などを接続すると、スイッチを押して音声電話をかけたり、音声電話やテレビ電話を受けたりできます。

- ステレオイヤホンマイク 01などのコードを、FOMA端末に巻き付けたりアンテナ部分に近づけたりしないでください。電波の受信レベルが低下したり雑音が入ったりする場合があります。
- ステレオイヤホンマイク 01などのプラグは、確実に差し込んでください。差し込みが不十分な状態では、音が聞こえない場合があります。
- マナーモード中にステレオイヤホンマイク 01などを接続すると、イヤホン機能設定のイヤホン切替設定に関わらずイヤホンから音が鳴ります。
- 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01（別売）を利用すると、平型ステレオイヤホンセット P01（別売）などを接続できます。→P423

◆ イヤホン機能設定

ステレオイヤホンマイク 01（別売）などを接続したときの着信音やアラーム音など通知音の出力先を設定したり、ステレオイヤホンマイク 01のスイッチで音声電話を発信できるように設定したりします。

1 MENU 7 4 8

2 目的の操作を行う

イヤホン切替設定：1 ▶ 1～3
イヤホンスイッチ発信設定：2 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷［登録］

- イヤホンスイッチ発信設定の電話帳メモリ番号はFOMA端末電話帳から検索します。

◆ イヤホンスイッチ発信／応答

ステレオイヤホンマイク 01（別売）のスイッチで音声電話を発信したり、電話を受けたりします。

〈例〉音声電話をかける

1 「ピピッ」と音がするまで、スイッチを1秒以上押す ▶ 通話が終わったら、「ピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す

〈例〉電話を受ける

1 電話がかかってきたら、「ピピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す ▶ 通話が終わったら、「ピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す

✔お知らせ

- イヤホン機能設定のイヤホンスイッチ発信設定の電話帳メモリ番号に複数の電話番号を登録している場合は、1件目に登録している電話番号に音声電話がかかります。

〈通話中（キャッチホンが開始のとき）に着信があった場合〉

- 音声電話着信時にスイッチを1秒以上押すと、音声電話に応答できます。このとき、スイッチを1秒以上押して通話相手を切り替えられます。
- テレビ電話着信時にスイッチを1秒以上押すと、現在の通話が切断されテレビ電話に応答できます。

Bluetooth機能

FOMA端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。

- Bluetooth接続を行うと電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。Bluetooth機器のご使用にあたっては、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

■ 対応バージョン

Bluetooth標準規格Ver.2.1+EDR※1

■ 対応プロファイル※2

HSP：Headset Profile（ヘッドセットプロファイル）
HFP：Hands-Free Profile（ハンズフリープロファイル）
A2DP：Advanced Audio Distribution Profile（アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル）
AVRCP：Audio/Video Remote Control Profile（オーディオ／ビデオリモートコントロールプロファイル）
HID：Human Interface Device Profile（ヒューマンインターフェースデバイスプロファイル）
DUN：Dial-up Networking Profile（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル）
OPP：Object Push Profile（オブジェクトプッシュプロファイル）
SPP：Serial Port Profile（シリアルポートプロファイル）
BIP：Basic Imaging Profile（ベーシックイメージングプロファイル）
HDP：Health Device Profile（ヘルスデバイスプロファイル）

※1 FOMA端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なる場合や接続してもデータのやりとりができない場合があります。
※2 Bluetooth機器の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

❖Bluetooth機能でできること

■ ヘッドセット／ハンズフリーで通話する（HSP／HFP）
Bluetoothヘッドセット F01（別売）などと接続してワイヤレスで通話できます。また、カーナビなどのBluetooth機器（市販品）と接続してハンズフリーで通話できます。

■ オーディオ機器で再生する（A2DP／AVRCP）
ワイヤレスイヤホンセット 02（別売）やBluetooth対応オーディオ機器（市販品）と接続して音声や音楽などをワイヤレスで再生したり、リモコン操作したりできます。

■ Bluetooth対応キーボードを使う（HID）
Bluetooth対応キーボード（市販品）と接続してキーボードから文字を入力できます。

■ ワイヤレスでダイヤルアップ接続する（DUN）
Bluetooth対応パソコンと接続すると、FOMA端末をモデム代わりにしてパケット通信や64Kデータ通信ができます。詳細は「パソコン接続」をご覧ください。→P373

■ データを送受信する（OPP／BIP）
Bluetooth機器と接続して、プロフィール、電話帳、メモ、受信／送信／未送信メール、Bookmark、トルカ、現在地通知先、JPEG形式の画像を送受信できます。

■ ｉアプリからBluetooth通信を利用する（SPP／HDP）
他の携帯電話やBluetooth対応健康管理機器（市販品）などと接続して、ｉアプリで対戦ゲームをしたり、測定データを受信したりできます。Bluetooth機器の登録や操作方法は利用するｉアプリのヘルプなどをご覧ください。

■ Bluetooth機器から出力される音
- 次の動作以外については非対応です。また、Bluetooth機器によっては動作しない場合があります。

	接続しているプロファイル	HSP	HFP	A2DP
出力される音	電話の発着信音・呼出音・相手の音声（伝言メモ録音中含む）	○	○	×
	ワンセグの音声、Flash画像・Music&Videoチャネル・ミュージックプレーヤー・ｉアプリ・動画／ｉモーション・ビデオ再生音、メール・ｉコンシェル着信音、ワンセグの視聴予約・お知らせタイマー・アラーム・メモのアラーム音	×	×	○

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。
- 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。FOMA端末とBluetooth機器の間に障害物がある場合や周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。特に、鉄筋コンクリートの建物では、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置した場合、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
- 電気製品／AV機器／OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。他の機器の電源が入っているときは正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。
- 放送局や無線機などが近くにあり正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の場所を変えてください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器とFOMA端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。
- Bluetooth機器によって接続可能距離が変わることがあります。

無線LANとの電波干渉について
Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。この場合、無線LANの電源を切るか、FOMA端末やBluetooth機器を無線LANから10m以上離してください。
Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。
場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所ではFOMA端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

◆ Bluetooth新規機器登録

新たに使用するBluetooth機器を登録します。
- 登録するBluetooth機器をあらかじめ登録待機状態にしてください。
- Bluetoothパスキー（数字4～16桁）については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。ワイヤレスイヤホンセット 02およびBluetooth標準規格Ver.2.1に対応したBluetooth機器の登録時は、Bluetoothパスキーの入力は不要です（Bluetooth機器によっては入力が必要な場合があります）。
- 最大10件登録できます。

1 MENU 6 ▶「Bluetooth」▶ 5

登録待機状態のBluetooth機器を検索（サーチ）します。機器情報の収集後、新規機器登録画面が表示されます。
- 画面に表示されるマークの意味は「Bluetooth機器接続」と同じです。

2 **登録するBluetooth機器を選択▶Bluetoothパスキーを入力**

- Bluetooth機器によっては登録するかどうかの確認画面が表示されます。
- A2DP（オーディオプロファイル）対応のBluetooth機器を登録した場合は、通常接続機器（オーディオ）設定の確認画面が表示されます。
- 最大登録件数を超える場合は、保護されていない通信日時の古いBluetooth機器から上書きされます。
- Bluetooth機器の名称が全角16（半角32）文字を超える場合は、超過分が削除されて機器名称が登録されます。

◆ Bluetooth機器接続

登録済みのBluetooth機器を接続します。
- 使用頻度の高いBluetooth機器は、保護設定することをおすすめします。最大5件保護できます。

1 MENU 6 ▶「Bluetooth」▶ 4

機器リスト・接続・切断画面

① **機器種別**
: 電話　: オーディオ機器　: LAN　: コンピュータ
: パソコン周辺機器　: イメージング機器　: ウェアラブル機器
: 健康管理機器　: その他
② **区分**
: 登録済み接続中
: 登録済み接続中（通常接続機器（オーディオ）設定中）
: 登録済み接続中（保護設定中）
: 登録済み接続中（通常接続機器（オーディオ）設定中、保護設定中）
: 登録済み未接続（通常接続機器（オーディオ）設定中）
: 登録済み未接続（保護設定中）
: 登録済み未接続（通常接続機器（オーディオ）設定中、保護設定中）
表示なし：登録済み未接続
③ **機器名称**

2 **接続するBluetooth機器を選択**

Bluetooth機器との接続が成功すると（青）が点滅します。一定時間Bluetooth機器との通信がないと、省電力状態となり、（グレー）に変わります。
Bluetooth機器のサーチ： 📷 **［サーチ］**
未登録のBluetooth機器にはNEWが、登録済み未接続のBluetooth機器にはが表示されます。Bluetooth機器を選択すると登録したり接続したりできます。
接続の切断：Bluetooth機器を選択▶「はい」
プロファイル（接続種別）を選んで接続：Bluetooth機器にカーソル▶ ✉［接続種別］▶プロファイルを選択▶ 📷［確定］
- 接続種別選択画面では、接続中のプロファイルの右側にが表示されます。

情報更新：Bluetooth機器にカーソル▶[iα]［情報更新］
- Bluetoothパスキー入力が必要な場合があります。

保護／解除：Bluetooth機器にカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[1]▶[1]または[2]

通常接続機器（オーディオ）設定：A2DP対応のBluetooth機器にカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[4]▶[1]または[2]
- ワンセグ、Music&Videoチャネル、ミュージックプレーヤー、動画／iモーションの起動時自動接続設定を「ON」にすると、各機能の起動時に通常接続機器（オーディオ）設定で「設定」にしたBluetooth機器と自動的に接続を行います。
- 他にも、機器リスト・接続・切断画面のサブメニューから「機器登録」「削除」「機器情報」の操作ができます。
- 「機器情報」の画面で[📷]を押すと機器名称を編集できます。

✔お知らせ
- SPP以外のプロファイルは、1つのプロファイルにつき1台のBluetooth機器の接続となります。SPPは3台までBluetooth機器を接続できます。
- 別のプロファイルを利用してBluetooth機器を同時に2台接続できます。ただし、利用するプロファイルが同時に接続できない場合があります。
- 接続／切断処理中にBluetooth機器の電源が切れていたり応答がなかったりした場合は、処理に時間がかかることがあります。
- 接続中にBluetooth機器から切断された場合や、接続中または接続待機中の状態で電源を入れ直した場合は、接続待機中になります。
- DUNを選択しても、相手のBluetooth機器がDUNに対応していないため接続できない場合があります。

◆ 接続待機の開始

Bluetooth機器からの接続要求や登録要求を受けられる状態にします。

1 [MENU][6]▶「Bluetooth」▶[1]
- 接続中のプロファイルを接続待機にする場合は、接続中の機器を切断して接続待機するかどうかの確認画面が表示されます。

プロファイル（接続種別）を選んで接続待機開始：[MENU][6]▶「Bluetooth」▶[1]にカーソル▶[✉]［接続種別］▶プロファイルを選択▶[📷]［確定］
- 接続種別選択画面では、接続待機中のプロファイルの右側に[アイコン]が表示されます。
- Bluetooth電源オフにすると接続待機を解除できます。

■ 未登録のBluetooth機器から接続要求を受けた場合

1 機器登録確認画面で「はい」▶Bluetoothパスキーを入力
- Bluetoothパスキーについて→P331「Bluetooth新規機器登録」
- Bluetooth機器によっては認証するかどうかの確認画面が表示されます。

✔お知らせ
- Bluetooth機器が接続待機中の場合は接続が開始されません。FOMA端末から接続を行ってください。
- 複数のBluetooth機器を登録しているときに接続待機にすると、接続したいBluetooth機器以外にも接続されることがあります。接続された機器を必ず確認してください。

◆ Bluetooth電源オン／オフ

「オン」にすると登録済みのBluetooth機器のプロファイルが接続待機の状態になります。「オフ」にするとBluetooth機能が終了します。

1 [MENU][6]▶「Bluetooth」▶[6]

「オン」のときは画面上部に[Bluetoothアイコン]（青）が表示されます。

◆Bluetooth通信の利用

- Bluetooth機器の操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

❖Bluetooth機器で通話する

FOMA端末とBluetooth機器をHSP（ヘッドセットプロファイル）やHFP（ハンズフリープロファイル）で接続すると、ワイヤレスで通話できます。

- HSPで発信する場合は、イヤホン機能設定のイヤホンスイッチ発信設定に従います。

1 Bluetooth機器をHSPまたはHFPで接続する

Bluetooth機器の接続方法→P331

2 Bluetooth機器で電話をかける／受ける

- HSPで通信中は が、HFPで通信中は が表示されます。

Bluetooth機器／FOMA端末の通話の切り替え：**通話中に (1秒以上)**

- HSPで接続してFOMA端末で通話している場合は、Bluetooth機器側からのみ切り替えられます。

✓お知らせ

- Bluetooth機器を接続中に着信があった場合は、マナーモードや電話着信音量が「Silent」のときでもBluetooth設定の着信音送出設定に従ってBluetooth機器から着信音が鳴ります。
- Bluetooth機器で通話中は、Bluetooth機器で受話音量を調整してください。
- Bluetooth機器の接続を停止すると、通話は切断されます。

❖Bluetooth機器で音声・音楽を再生する

FOMA端末とBluetooth機器をA2DP（オーディオプロファイル）で接続すると、ワンセグの音声、Music&Videoチャネル、ミュージックプレーヤーの音楽、動画／ｉモーション、ビデオなどの再生音をBluetooth機器から出力できます。

1 Bluetooth機器をA2DPで接続する

Bluetooth機器の接続方法→P331

2 ワンセグを視聴する、または音楽などを再生する

- Bluetooth設定のミュージック自動起動設定を「ON」にすると、Bluetooth機器からA2DPで接続したときミュージックプレーヤーが自動的に起動し、Bluetooth機器から再生が行われます。

✓お知らせ

- ワンセグの音声とブルーレイディスクレコーダー連携で保存した動画は、SCMS-T方式の著作権保護に対応しているA2DP対応Bluetooth機器でのみ再生できます。
- Bluetooth機器で再生中は、Bluetooth機器で音量を調整してください。
- バックグラウンド再生中でも、Bluetooth機器のリモコン操作は有効です。
- Bluetooth機器の状態やFOMA端末の操作や動作によっては、再生中の音声や音楽が途切れたり、Bluetooth機器との接続が切断されて音声や音楽が停止したりする場合があります。

❖Bluetooth対応キーボードを使う

FOMA端末とBluetooth対応キーボードをHID（キーボードプロファイル）で接続すると、キーボードを使ってFOMA端末の文字入力ができます。

1 Bluetooth対応キーボードをHIDで接続する

Bluetooth機器の接続方法→P331

2 文字入力画面でキーボードから入力する

- HIDで通信中は が表示されます。

■ Bluetooth対応キーボードの特殊操作

Bluetooth対応キーボードの操作と、FOMA端末のキーまたは操作は、次のように対応しています。

Bluetooth対応キーボード	FOMA端末
Tab	MULTI
F1、F2、F3、F4	MENU、camera、mail、iα
Ctrl+Esc	発信キー
Esc	終話キー（2秒以上押す操作は無効）

✔お知らせ

- Bluetooth対応キーボードのキーが入力に対応していない場合があります。
- Bluetooth対応キーボードで端末暗証番号を入力できません。
- Bluetooth対応キーボードで操作中は、FOMA端末のキーから入力できない場合があります。

❖Bluetooth機器とデータを送受信する

OPP（データ転送プロファイル）またはBIP（画像転送プロファイル）を利用して、FOMA端末とBluetooth機器でプロフィール、電話帳、メモ、受信／送信／未送信メール、Bookmark、トルカ、現在地通知先、JPEG形式の画像を送受信できます。

- 送受信されるデータについては赤外線送信／iC送信または赤外線受信／iC受信の「お知らせ」をご覧ください。→P301、302
- データ送受信中はデータ転送モード（圏外と同じ状態）になります。
- microSDカードに保存されているデータ（トルカを除く）も1件送信できます。
- 静止画撮影後の確認画面から画像を送信することができます。→P188
- JPEG形式だけでなくGIF形式の画像を受信することもできます。
- マイコレクションのお気に入りアルバムにJPEG形式の画像を貼ることができます。→P277

■ データを送信する

〈例〉電話帳を送信する

1 電話帳キー▶電話帳検索▶電話帳にカーソル▶MENU［サブメニュー］▶8 3▶1または2

- 「全件送信」を選択した場合は、認証操作を行います。また、Bluetooth設定の全件転送パスワード設定が「パスワード有り」の場合は、送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力します。あらかじめ数字4桁の認証パスワードを決めておいてください。

全件送信メニューからデータを送信する：MENU 6▶「Bluetooth」▶3▶データを選択

- JPEG形式の画像は全件送信できません。

2 「はい」

3 接続するBluetooth機器を選択

- 「Bluetooth新規機器登録」（→P331）の方法で接続するBluetooth機器を登録していない場合は、Bluetoothパスキーを入力または「はい」を選択します。

■ データを受信する

1 MENU 6▶「Bluetooth」▶2▶「はい」

- 「Bluetooth新規機器登録」（→P331）の方法で接続するBluetooth機器を登録していない場合は、Bluetoothパスキーを入力または「はい」を選択します。
- 1件受信の場合は、受信完了後、保存の確認画面が表示されます。
- 全件受信の場合は認証操作を行います。また、送信側の設定によっては認証パスワードを入力します。認証操作後、全件上書きの確認画面が表示されます。

✔お知らせ

- OPPまたはBIPで接続中は、受信側はその他のプロファイルの接続待機ができません。

◆ Bluetooth設定

Bluetooth機能に関する設定を行います。

1 MENU 6 ▶「Bluetooth」▶ 7

2 目的の操作を行う

自局情報の表示： 1
FOMA端末のBluetooth機能の情報が表示されます。
- 自局情報画面で 📷 を押すと、機器名称を全角16（半角32）文字以内で編集できます。
- 機器名称に絵文字を入力すると、相手のBluetooth機器によっては正しく表示されない場合があります。

サーチ時間の設定： 2 ▶ サーチ時間を入力（3～20秒）▶ 📷［登録］
設定した時間内でBluetooth機器を検索します。

ミュージック自動起動設定： 3 ▶ 1 または 2
オーディオ機器からの接続時に、ミュージックプレーヤーを自動起動／終了するかどうかを設定します。

着信音送出設定： 4 ▶ 1 または 2
「送る」にすると、HSPで接続中はイヤホン機能設定のイヤホン切替設定に従って、HFPで接続中はBluetooth機器から、FOMA端末で設定した着信音が鳴ります。

全件転送パスワード設定： 5 ▶ 1 または 2
データを全件送信するとき認証パスワードを入力するかどうかを設定します。

印刷機能

Wi-Fiを利用して、FOMA端末またはmicroSDカードに保存したJPEG形式の画像や、電話帳とプロフィール情報に登録した宛名情報を印刷できます。
- 印刷機能を利用するには、印刷設定でプリンタを登録する必要があります。プリンタを登録するには、あらかじめ接続するアクセスポイントの情報をFOMA端末に登録する必要があります。→P386
- プリンタによっては印刷可能なサイズと用紙の組み合わせが決められている場合があります。また、推奨されていない組み合わせや用紙を使用すると、きれいに印刷できない場合があります。印刷機能をご使用の際はプリンタの取扱説明書もあわせてご確認ください。
- 対応機種については、パソコンから次のホームページをご覧ください。
FMWORLD（http://www.fmworld.net/）→携帯電話→無線LANプリンタ対応状況

◆ 印刷設定

印刷するプリンタを登録したり、用紙や用紙のサイズを設定したりします。
- 無線LAN対応プリンタは最大15件（1つのアクセスポイントにプリンタ3件まで）登録できます。超過すると古いものから上書きされます。また、Wi-Fi接続中は接続しているアクセスポイントで利用したプリンタのみが表示されます。
- プリンタを登録する場合は、プリンタの電源を入れてWi-Fi接続できる状態にしてください。
- 用紙は写真紙と普通紙、サイズはL、2L、はがき、A4に対応しています。宛名印刷は本設定に関わらず、はがきサイズで印刷されます。

1 MENU 8 8 6
- プリンタが1件も登録されていない場合は、プリンタ検索の確認画面が表示されます。「OK」を選択して、検索後のプリンター覧画面で登録するプリンタを選択してください。

2 各項目を設定 ▶ 📷［登録］

プリンタの追加登録：「プリンタ変更」▶ 📷［検索］▶ プリンタを選択
登録済みプリンタの変更：「プリンタ変更」▶ プリンタを選択
プリンタの削除：「プリンタ変更」▶ プリンタにカーソル ▶ MENU［削除］▶「はい」

◆画像印刷

JPEG形式の画像のみ印刷できます。
- 別の画像を最大100件まで選択して1枚ずつ同時に印刷できます。
- 同じ画像を最大100枚まで同時に印刷できます。
- ファイル制限ありの画像は印刷できません。
- 操作を行う前に、印刷設定で登録したプリンタの電源を入れて、印刷できる状態にしてください。

〈例〉マイピクチャのフォルダ内の一覧から印刷する

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択▶ MENU ［サブメニュー］▶ 8

2 1 ▶ 1 または 2 ▶各項目を設定▶ 📷 ［印刷］

- 1件印刷ではカーソルを合わせた画像が印刷されます。
- 複数選択印刷では選択操作▶ 📷 が必要です。

印刷設定の変更：2 ▶各項目を設定▶ 📷 ［登録］
印刷中断：印刷中画面で MENU ［中断］▶「はい」

◆宛名印刷

FOMA端末電話帳とプロフィールに登録した名前、郵便番号／住所をはがきの表書きとして印刷します（白黒印刷のみ対応）。
- 電話帳が宛名、プロフィールが差出人となります。
- 宛名印刷は印刷設定に関わらず用紙が「普通紙」、サイズが「はがき」、部数が「1」に設定されます。
- 別の宛名を最大100件まで選択して1枚ずつ同時に印刷できます。
- 同じ宛名を複数枚同時に印刷できません。
- 操作を行う前に、印刷設定で登録したプリンタの電源を入れて、印刷できる状態にしてください。

〈例〉宛名を追加して印刷する

1 MENU 6 ▶「宛名印刷」

2 ✉ ［宛名追加］▶電話帳検索▶電話帳を選択▶ 📷 ［確定］

郵便番号または住所が登録されていない場合は、宛名印刷一覧で が表示されます。

印刷プレビュー：宛名を選択
宛名編集：宛名にカーソル▶ iα ［宛名編集］▶電話帳編集
宛名印刷設定：MENU ［サブメニュー］▶ 1 ▶各項目を設定▶ 📷 ［登録］
差出人印刷の有無、はがき種別、印刷フォントを設定できます。
プロフィール編集：MENU ［サブメニュー］▶ 2 ▶認証操作▶プロフィール編集
宛名削除：MENU ［サブメニュー］▶ 3 ▶ 1 または 2 ▶「はい」
- 1件削除ではカーソルを合わせた宛名が削除されます。

3 📷 ［印刷］▶印刷件数を選択

- 1件印刷ではカーソルを合わせた宛名が印刷されます。

4 はがき種別や印刷件数などを確認▶ ● ［印刷］

5 印刷するプリンタを確認▶ 📷 ［印刷］

印刷中断：印刷中画面で MENU ［中断］▶「はい」

✔お知らせ
- 通常はがきと年賀はがきのサイズとレイアウトに合わせて、郵便番号は横書き、名前と住所は縦書きで印刷されます。電話帳に登録した名前や住所の文字数によって印刷される文字の大きさが変わります。
- 住所を改行して電話帳に登録すると、印刷時も改行されます。

端末リフレッシュ設定

FOMA端末を快適に安心して利用するために、定期的に電源を入れ直し（リフレッシュ）、FOMA端末内部のトラブルを回避する機能です。

- 本機能を実行することで次の効果が期待できます。
  - 操作するときの動作速度が遅くなることを防ぎます。
  - メモリが不足すると表示されるメッセージの表示頻度が低くなります。
  - ごくまれに発生する操作中の強制終了（待受画面に戻る現象）の頻度が低くなります。

1 MENU 8 5 5

2 **目的の操作を行う**

リフレッシュ実行： 1 ▶「はい」
すぐに再起動が行われます。

自動実施設定： 2 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷［登録］

- 自動実施を「ON」にすると、待受画面で画面オフの状態の場合のみ指定した時刻に再起動が行われます。

✔お知らせ

- 端末リフレッシュの実施時間は約1分間です。
- 端末リフレッシュ実行中は、他の機能を利用できません。
- ｉチャネルの情報更新中の場合など、待受画面で画面オフの状態でも他の機能が動作していれば、自動実施で設定した時間になっても端末リフレッシュは実行されません。
- FOMA端末をより快適に利用するために、およそ3日に1回を目安に定期的な端末リフレッシュの実行をおすすめします。
- お買い上げ時は、端末リフレッシュを週1回自動的に行うよう設定されています。ご希望されない場合は、自動実施設定の自動実施を「OFF」に変更してください。
- 端末リフレッシュによって、FOMA端末に登録、保存されたデータに直接影響を及ぼすことはありません。

フェムトセル

フェムトセルを設定することにより、ドコモがお貸出しするフェムトセル小型基地局を利用できます。

- フェムトセルを利用できるときは、ディスプレイにが表示されます。

1 MENU 8 8 5

2 **目的の操作を行う**

フェムトセル利用設定：「フェムトセル利用設定」▶ 各項目を設定 ▶ 📷［登録］

- フェムトセル優先在圏設定を「ON」にすると、通常の通信よりもフェムトセルを使った通信を優先的に利用します。

フェムトセルサーチ：「フェムトセルサーチ」▶「はい」

- フェムトセル利用設定が「OFF」のときは本機能を利用できません。

文字入力

「区点コード一覧」については、ドコモのホームページ上の「区点コード一覧」をご覧ください。

文字の入力

文字を入力する方法を説明します。

- 文字の入力方式には、「かな入力方式」(→P341)、「2タッチ入力方式」(→P343)、「中国語入力」(→P349)があります。また、音声による入力方法(→P348)もあります。
- 入力できる文字の種類には、全角文字(ひらがな/漢字/カタカナ/英字/数字/記号/絵文字/中国語(簡体字))、半角文字(カタカナ/英字/数字/記号)があります。全角の文字や空白、改行は、半角文字2文字分にカウントされます。半角文字では、濁点と半濁点も1文字分にカウントされます。
- 入力できる漢字はJIS第一水準漢字と第二水準漢字の6355文字です。
- 複雑な漢字は、変形または省略して表示されます。
- Bluetooth対応キーボード(市販品)を接続して、文字を入力することができます。→P333

◆ 文字入力画面

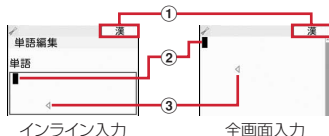
文字の入力画面には、インライン入力と全画面入力の2種類があります。

インライン入力

画面を切り替えずに入力欄にカーソルを合わせて、文字を直接入力します。日付・時刻の入力欄などでは、[]を押しても数字が入力できる場合があります。

全画面入力

入力欄を選択したときに全画面で表示される入力エリアで、文字を入力します。

インライン入力　全画面入力

① **入力モード**

② **カーソル(点滅)**

文字が入力または挿入される位置を示します。

③ **入力可能な範囲**

これ以上入力できないことを示すマークです。

◆ 入力モードの切り替え

入力する文字の種類に合わせて入力モードを切り替えます。

1 **文字入力画面で[✉][文字切替]**

2 **利用する切り替え項目を選択**

- [✉]を押しても切り替えられます。
- 「区」を選択すると、区点コードによる入力ができます。→P347

❖ 切り替え項目と入力モード

- 各切り替え項目に対応する入力モードは次のようになります。

切り替え項目			入力モード※2	
かな入力方式	2タッチ入力方式	中国語入力※1		
漢	2漢	―	ひらがな/漢字	漢
ア	2ア	―	全角カタカナ	全ア
ｱ	2ｱ	―	半角カタカナ	半ｱ
a	―	―	全角英字(小文字)	全a
a	―	―	半角英字(小文字)	半a
1	―	―	全角数字	全数
_1	―	―	半角数字	半数
A	2A	―	全角英字(大文字)	全A
A	2A	―	半角英字(大文字)	半A
―	―	笔	Stroke	笔
―	―	拼	Pinyin	拼

※1 マルチリンガル利用設定が「ON」の場合のみ有効になります。

※2 Bluetooth対応キーボード接続中の場合、入力モードの前に「ローマ」と表示されるものがあります。

- 文字入力画面によって切り替えられる入力モードは異なります。
- 単語登録の読みを入力するときは全あまたはﾛｰﾏ全あが表示されます。

文字入力設定

文字入力の入力方式や入力時の動作を設定したり、学習辞書データ（→P342）の作成やリセットを行います。

1 MENU 8 4 3

2 目的の操作を行う

入力設定の変更： 1 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷［登録］

入力方式：「かな入力」または「2タッチ入力」にするかを設定します。

日・英語入力予測：候補選択リストを表示するかを設定します。

自動カーソル：カーソルが右側に自動移動する速度を設定します。

2タッチガイド：2タッチガイドを表示するかを設定します。

- 文字入力中にもサブメニューの「入力設定」から各項目を設定できます。また、マルチリンガル利用設定が「ON」の場合は、マルチリンガルガイド表示のON／OFF、メール本文のサブメニューからはパレット設定（→P130）や文頭予測（→P342）のON／OFFも切り替えられます。

変換学習リセット： 2 ▶ 認証操作 ▶「はい」

学習辞書登録： 3 ▶「はい」

- FOMA端末に保存されている送信メールから学習辞書データを作成し、候補選択リストに表示します。登録前の学習辞書データは上書きされます。

✔お知らせ

- 自動カーソルが「OFF」の場合、同じキーに割り当てられている文字を続けて入力するときは、最初の文字を入力した後 ◎ を押してカーソルを右に移動させてから次の文字を入力します。たとえば、「あい」と入力するときは、1 ◎ 1 1 の順に押します。

かな入力方式

1つのキーに割り当てられた複数の文字を、キーを押す回数で文字を切り替えて入力します。

- 文字の割り当て一覧→P414
- 文字を入力して約1秒経過すると、カーソルは右に移動します。移動する速度は文字入力設定で変更できます。→P341

◆ ひらがな／漢字での文字入力

〈例〉メール作成画面の本文に「六本木」と入力する

1 メール作成画面で「本文」▶「ろっぽんぎ」と入力

「ろっぽんぎ」： 9 を5回 ▶ 4 を3回 ▶ ✱ ▶ 6 を5回 ▶ ✱ を2回 ▶ 0 を3回 ▶ 2 を2回 ▶ ✱

- 入力中は次の操作ができます。

  ✓ ：1つ前の文字に戻す

  （例：お→え→う→い→あ→お→え→…）

  CLR ：文字の削除

  ✱ ：濁点や半濁点の付加、大文字／小文字の切り替え

  （例：ほ→ぼ→ぽ→ほ→…、つ→っ→づ→つ→…）

2 📷［変換］▶ ● ［確定］▶「閉じる」

- 候補選択リストが表示されていないときは、◎ を押しても変換できます。
- 変換後に CLR を押すと、変換前の状態に戻ります。
- 変換しないときは、📷 を押さずに ● を押します。

変換候補一覧の表示： 📷［変換］▶ 📷［変換］または ◎

- 文字を変換しても目的の文字が表示されないときに利用します。

カナ英数候補一覧の表示： MENU［カナ英数］

- カタカナ、英字、数字、日付、時刻などが一覧で表示されます。

3 ● ［決定］

文字列を1つ前の状態に戻す：［✓］（1秒以上）

- 最大で10回前の状態まで戻せます。

改行：［✂］

- カーソルが入力文字の末尾にある場合は、Ｑを押しても改行できます。
- 入力欄によっては改行できない場合があります。

✔お知らせ

- ［#］や［1］で記号が入力できる入力モードでは、全画面入力中にキーに割り当てられた記号の一覧が入力時に表示されます。
- 濁点や半濁点を入力してから［✓］を押しても、1つ前の文字には戻せません。
- 入力中にＯを押してカーソルを右に移動した場合は、次の操作はできません。
  ［✂］：濁点や半濁点の付加、大文字／小文字の切り替え
  ［✓］：1つ前の文字に戻す
- カーソルが入力文字の末尾にある場合、Ｏを押すと空白が入力できます。

❖文字の修正

文字入力中や入力確定後に文字の挿入や削除をします。

1 文字入力画面で修正する文字にカーソル

2 目的の操作を行う

文字の挿入：文字を入力

- 入力した文字はカーソル位置に挿入されます。

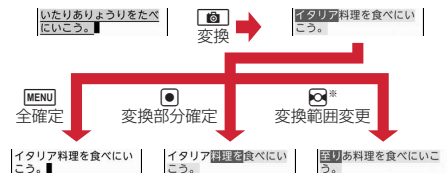
文字の削除：［CLR］

カーソル位置により次のように操作できます。

- カーソルが入力文字の途中にある場合
  （例：ドコモ太郎、ドコモ|太郎）
  - ［CLR］を押すと、カーソル位置の1文字が削除されます。また、カーソルが文字と文字の間にある場合は、カーソルの右の1文字が削除されます。
  - ［CLR］を1秒以上押すと、カーソル以降のすべての文字が削除されます。
- カーソルが入力文字の末尾にある場合
  （例：ドコモ太郎▌）
  - ［CLR］を押すと、カーソルの左の1文字が削除されます。
  - ［CLR］を1秒以上押すと、すべての入力文字が削除されます。

❖複数文節の一括変換

- 全角24文字以内で変換します。

〈例〉「イタリア料理を食べにいこう。」と入力する

※ 画面はＯの場合の例です。

◆ 入力予測機能を使った文字入力

入力予測機能とは、文字を入力したときに、読みや漢字などの先頭部分が一致する単語（絵文字、デコメ絵文字®、記号を含む）を候補選択リストに表示させたり、選択した単語に続く候補を予測する機能です。一度入力した単語は自動的に学習辞書データとして登録されるため、次に同じ内容を入力するときには、先頭の文字を入力するだけですばやく入力できます。

- 学習辞書データの他に、次の単語が表示されます。
  - お買い上げ時に登録されている単語、単語登録した単語
  - ダウンロード辞書から選択した単語
- 入力予測機能は、全画面入力のひらがな／漢字モード、半角英字モードでのみ利用できます。また、半角英字モードでは候補選択リストに「␣」が表示される場合があります。選択すると半角空白が入力できます。
- メール本文のサブメニューから「入力設定」により「文頭予測ON」に設定しているときは、メール作成画面で「本文」を選択すると、メール作成や返信時に使用する単語の候補選択リストが表示されます。

〈例〉「明日」を選択して入力する

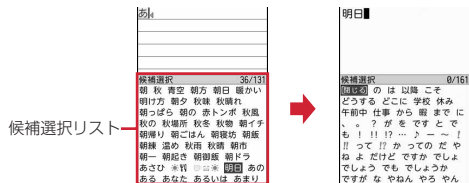
1 文字入力画面で「あ」を入力

- 入力文字が増えるたびに候補が変わります。

2 [キー]

文字数の絞り込み：読みや英単語の文字数分[キー]を押す

- 「＊」が押した回数分入力され、候補選択リストには目的の文字数の候補のみ表示されます。

3 候補から「明日」を選択▶「閉じる」

- 候補選択リストのページを切り替えるには、[メール]または[iα]を押します。

学習辞書データの単語削除：[MENU]［学習クリア］▶「はい」

- ガイド表示領域に「学習クリア」と表示された場合のみ、単語を削除することができます。

2タッチ入力方式

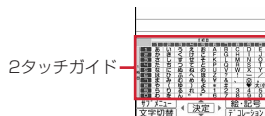
2タッチ入力方式では、2つのキーを組み合わせて押すことで1つの文字を入力します。

- 入力方式を2タッチ入力に設定してください。2タッチガイドでキーの組み合わせを確認しながら入力できます。→P341
- 2タッチガイドが「ON」の場合でも、インライン入力中やワンセグ表示中はガイドを表示しません。また、機能によっては、ガイドが表示されないことがあります。
- 文字入力後の変換や修正の操作方法は、かな入力方式と同じです（→P341）。ただし、[MENU]を押してカナ英数候補を表示しても、カタカナの一覧のみ表示されます。

〈例〉メール作成画面の本文に「六本木」と入力する

1 メール作成画面で「本文」▶「ろっぽんぎ」と入力

「ろっぽんぎ」：

[9][5]▶[8][0][4][3]▶[8][0][6][5][0][5]▶[0][3]▶[2][2][0][4]

- 入力中は次の操作ができます。
  [8][0]：大文字／小文字の切り替え
  [CLR]：文字の削除
  [✂]：濁点や半濁点の付加、大文字／小文字の切り替え
- 2タッチガイドの空欄は空白が入力されることを示します。

2 [カメラ]［変換］▶[●]［確定］▶「閉じる」▶[●]［決定］

便利な入力機能

文字入力画面のサブメニューから絵文字や記号、定型文などを入力したり、データを引用したりできます。

- 文字を確定する前やデコメール®の装飾アイコン表示中では、通常のサブメニューは表示されません。インライン入力画面の場合は、入力を確定するとサブメニューが選択できます。
- 絵文字・記号・顔文字の入力履歴は変換学習リセットでリセットされます。→P341

◆ 定型文の入力

お買い上げ時に登録されている定型文や、自分で登録した定型文を呼び出して入力します。

1 文字入力画面でMENU［サブメニュー］▶「定型文・データ引用」▶「定型文」▶定型文種別を選択▶定型文を選択

- 定型文を登録すると「ユーザ作成」が選択できます。

◆ 絵文字・記号の入力

文字入力画面に表示された絵文字・記号、デコメ®ピクチャの一覧から選択して入力します。

- デコメ絵文字®（絵文字D）、デコメ®ピクチャはメール本文または署名編集などの入力画面で入力できます。
- 絵文字一覧→P415

〈例〉メール作成画面の本文に絵文字・記号を入力する

1 メール作成画面で「本文」▶📷［絵・記号］

絵文字Dの一覧が表示されます。2回目からは、前回最後に入力した絵文字D／絵文字／デコメ®ピクチャの一覧が表示されます。

- 各一覧の最初のページの1行目には、最近入力したものから順に絵文字または記号が最大20文字、履歴として表示されます。ただし、デコメ®ピクチャの履歴は表示されません。

読みによる絵文字・記号の入力：メール本文に絵文字または記号の読みを入力▶🔍▶絵文字または記号を選択

- 読みを入力してiαを押すと、読みと一致する絵文字Dのみ候補選択リストに表示されます。
- 絵文字Dは、お買い上げ時に登録されている画像のみ候補選択リストに表示されます。

2 目的の操作を行う

絵文字／デコメ®ピクチャ／絵文字Dの切り替え：📷［絵文字／Dピクチャ／絵文字D］

- 絵文字D一覧にはマイピクチャの「デコメ絵文字」配下のフォルダに保存されている画像がフォルダごとに表示されます。

絵文字Dフォルダの切り替え：✓▶フォルダを選択

- ✉またはiαを押すか、◎を押しても切り替えられます。

記号一覧の表示：MENU［半角記号］

- MENUを押すたびに記号一覧が全角記号と半角記号に切り替わります。

3 絵文字・記号またはデコメ®ピクチャを選択

一覧を閉じるにはCLRを押します。

- 入力履歴からも文字を選択できます。

✔お知らせ

- 赤外線通信などでデータ転送を行った絵文字や記号は、正しく表示されない場合があります。
- 文字入力画面のサブメニューで「絵文字・記号・顔文字」または「定型文・データ引用」→「絵文字・記号・顔文字」から「絵文字」または「記号」を選択しても入力できます。このとき、📷またはMENUを押すと入力履歴欄の上に連続入力欄が表示され、絵文字は10文字、記号は全角10（半角20）文字連続して選択できます。ただし、絵文字Dやデコメ®ピクチャは連続入力欄の表示はされません。
- 「デコメ絵文字」配下や「デコメピクチャ」のフォルダに画像が保存されていない場合、絵文字Dやデコメ®ピクチャを表示したときは、一覧が空白で表示されます。
- メール本文または署名編集などのサブメニューから「デコレーション」→装飾アイコンの「画像」→「イメージを選択」→フォルダを選択しても、絵文字Dやデコメ®ピクチャが挿入できます。
- 文字入力画面のサブメニューで「絵文字・記号・顔文字」または「定型文・データ引用」→「絵文字・記号・顔文字」から「記号」を選択したときは、左側のカッコ（例：｛）を選択すると、右側のカッコ（例：｝）も自動的に入力されます。

- 半角文字のみ入力可能な文字入力画面では、[📷]を押すと半角記号の一覧が表示される場合があります。
- デコメ絵文字®のダウンロード→P169

◆顔文字の入力

種別ごとに分類された顔文字一覧から選択して入力します。

1 **文字入力画面で[MENU]［サブメニュー］▶[5][3]**

- メール本文の入力画面では[MENU][4][0][3]を押します。

2 **顔文字種別を選択▶顔文字を選択**

- 顔文字種別一覧から入力した顔文字は、「入力履歴」を選択すると最近入力したものから順に最大18件まで一覧で表示されます。

◆データ引用による文字入力

プロフィールの登録内容、電話帳、歩数、活動量の情報、パスワードマネージャーに登録済みのパスワード、バーコードリーダーで読み取ったデータの文字列情報、電卓の計算結果を引用して入力できます。

- 文字入力画面と引用データが同じ機能のとき（電話帳の文字入力画面での電話帳の引用など）には引用できません。
- 引用できるデータは文字入力画面によって異なります。

1 **文字入力画面で[MENU]［サブメニュー］▶「定型文・データ引用」**

2 **目的の操作を行う**

プロフィールの引用：「プロフィール情報」▶認証操作▶引用する内容を選択
電話帳の引用：「電話帳」▶引用する電話帳を選択▶引用する内容を選択
歩数・活動量の引用：「歩数・活動量」▶[1]～[2]
パスワードの引用：「パスワード」▶認証操作▶引用するパスワードデータを選択
バーコードリーダー（読み取りデータ）の引用：「バーコードリーダー」▶コードを読み取る
電卓（計算結果）の引用：「電卓」▶計算する▶[●]［挿入］

定型文

よく使う言葉や文章を定型文として登録したり、お買い上げ時に登録されている定型文を編集して登録できます。

- 新しく定型文を登録したり、お買い上げ時に登録されている定型文を編集したりすると、「ユーザ作成」に登録されます。
- 最大50件登録できます。

1 **[MENU][6]▶「定型文／単語登録」▶[1]**

2 **[9]**

- お買い上げ時に登録されている定型文を編集する場合は、[1]～[8]を選択します。

3 **「〈新しい定型文〉」▶定型文を入力（全角64（半角128）文字以内）▶[📷]［登録］**

登録した定型文の削除：定型文にカーソル▶[MENU]［削除］▶「はい」
登録済みの定型文の確認：定型文にカーソル▶[📷]［参照］

- 続けて[📷]を押すと編集できます。
- 登録した定型文を編集したときは確認画面が表示されます。上書き登録するときは「はい」を、登録を中止するときは「いいえ」を選択します。

❖文字入力中の定型文登録

入力済みの文字を選択して定型文として登録できます。

1 **文字入力画面で[MENU]［サブメニュー］▶「単語・定型文登録」▶[2]**

2 **開始位置を選択**

全文選択：[MENU]［全選択］▶[●]［終点］▶操作4に進む

3 終了位置を選択

選択した範囲の文字が定型文編集画面に表示されます。

文頭／文末までの選択：MENU［文頭］または📷［文末］▶●［終点］

- メール本文や署名編集の入力画面などでは、✉または iα ▶●を押して選択します。

指定した文字でクイック検索：終了位置にカーソル▶✉［検索］

- メール本文や署名編集の入力画面などでは操作できません。

4 📷［登録］

✔お知らせ

- 選択した範囲の文字列内に空白が含まれていた場合は、次の動作となります。
  空白のみ：定型文として登録不可※
  文字列の前後に空白：文字列のみ有効※
  文字と文字の間に空白：空白も有効
  ※ メール本文、署名編集画面からの選択を除く
- 定型文が既に50件登録されているときに新たに登録するときは、一覧から登録データを削除するか登録済みの定型文を編集してください。

文字のコピー／切り取り／貼り付け

文字入力画面から文字のコピーや切り取りを行い、別の文字入力画面に貼り付けます。

- コピーまたは切り取った文字は、最新の1件だけが電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。

◆ 文字のコピー／切り取り

文字入力画面から文字のコピーや切り取りを行います。

1 文字入力画面でMENU［サブメニュー］▶1または2

- メール本文の入力画面ではMENU 3 1を押すとコピーし、MENU 3 2を押すと切り取ります。

2 開始位置を選択

全文選択：MENU［全選択］▶●［終点］

- メール本文の入力画面で全文を選択する場合は、📷▶●を押します。

3 終了位置を選択

選択した範囲の文字がコピーまたは切り取られます。

文頭／文末までの選択：MENU［文頭］または📷［文末］▶●［終点］

- メール本文や署名編集の入力画面などでは、✉または iα ▶●を押して選択します。

指定した文字でクイック検索：終了位置にカーソル▶✉［検索］

- メール本文や署名編集の入力画面などでは操作できません。

◆ 文字の貼り付け

コピーや切り取られた文字を、別の文字入力画面に貼り付けます。

- 入力可能な文字数を超える場合は、すべての文字を貼り付けることができない旨のメッセージが表示される場合があります。「はい」を選択すると、入力可能な文字数以降が消去された文字列が貼り付けられます。
- メール本文の入力画面では、文字列が貼り付けられますが、これ以上入力できない旨のメッセージが表示され、編集画面に戻ります。

1 文字入力画面で貼り付ける位置にカーソル▶MENU［サブメニュー］▶3

文字がカーソル位置に挿入されます。

- メール本文の入力画面ではMENU 3 3▶●を押します。

✔お知らせ

- コピーまたは切り取った文字種と、貼り付け先の文字種が適合しているときのみ、貼り付けられます。たとえば、メールアドレスの入力欄にひらがなや漢字などの文字は貼り付けられません。
- 改行が入力できない入力画面に改行を含んだ文字列を貼り付けた場合、改行は空白に置き換えられます。

区点コード入力

区点コード一覧表にある文字、数字、記号を4桁の区点コードを使って入力します。

- 「区点コード一覧」については、ドコモのホームページ上の「区点コード一覧」をご覧ください。

〈例〉「携」（区点コード2340）を入力する

1 文字入力画面で[MENU]［サブメニュー］▶「定型文・データ引用」▶「区点」▶区点コード（[2][3][4][0]）を入力▶[●]［決定］

単語登録

よく使う単語を好きな読みで登録し、登録した読みを入力して変換できるようにします。

- 最大250件登録できます。

1 [MENU][6]▶「定型文／単語登録」▶[2]

2 「〈新しい単語〉」▶各項目を設定▶[📷]［登録］

単語：全角25（半角50）文字以内で入力します。
読み：ひらがな8文字以内で入力します。
- 読みに空白を入力すると、登録後に削除されます。

登録した単語の削除：単語にカーソル▶[MENU]［削除］▶「削除」
- 登録した単語を全件削除するときは、「すべて削除」を選択します。

登録した単語の確認：単語にカーソル▶[📷]［参照］
- 続けて[●]を押すと編集できます。
- 登録した単語を編集したときは確認画面が表示されます。元の単語に上書きするときは「上書き登録」を、元の単語を残して新規に登録するときは「新規登録」を選択します。

❖文字入力中の単語登録

入力済みの文字を選択して好きな読みで単語登録できます。

1 文字入力画面で[MENU]［サブメニュー］▶「単語・定型文登録」▶[1]

2 開始位置を選択

全文選択：[MENU]［全選択］▶[●]［終点］▶操作4に進む

3 終了位置を選択

選択した範囲の文字が単語欄に表示されます。

文頭／文末までの選択：[MENU]［文頭］または[📷]［文末］▶[●]［終点］
- メール本文や署名編集の入力画面などでは、[✉]または[iα]▶[●]を押して選択します。

指定した文字でクイック検索：終了位置にカーソル▶[✉]［検索］
- メール本文や署名編集の入力画面などでは操作できません。

4 読みを入力▶[📷]［登録］

✔お知らせ

- 単語が既に250件登録されているときに新たに登録するときは、一覧から単語を削除するか登録済みの単語を編集してください。
- 改行を含んだ文字列を選択した場合は、空白に置き換えられます。

パスワードマネージャー

ユーザ名やパスワードなどの認証情報を登録しておくと、登録した内容を引用して入力できます。

- パスワードマネージャーをご利用になる場合は、端末暗証番号を必ず変更してください。
- 登録したパスワードの引用方法→P345
- 最大50件登録できます。

1 [MENU][8][6][7]▶認証操作

2 [📷] ［新規］

削除：[MENU] ［サブメニュー］▶[2]～[4]▶「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせたタイトルとパスワードが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶[📷]が必要です。

順番の変更：タイトルにカーソル▶[MENU] ［サブメニュー］▶[5]または[6]

3 各項目を設定▶[📷] ［登録］

タイトル：全角12（半角24）文字以内で入力します。
パスワード：全角64（半角128）文字以内で入力します。

❖文字入力中のパスワード登録

入力済みの文字を選択してパスワード登録できます。

- パスワードを引用して入力できる画面でのみ登録できます。

1 文字入力画面で[MENU] ［サブメニュー］▶[6][3]

2 開始位置を選択

全文選択：[MENU] ［全選択］▶[●] ［終点］▶操作4に進む

3 終了位置を選択

文頭／文末までの選択：[MENU] ［文頭］または[📷] ［文末］▶[●] ［終点］
指定した文字でクイック検索：終了位置にカーソル▶[✉] ［検索］

4 認証操作

選択した範囲の文字がパスワード欄に表示されます。

5 タイトルを入力▶[📷] ［登録］

ダウンロード辞書

ダウンロードした日本語変換用の辞書に登録されている単語を、変換候補として表示されるように設定します。

- 最大5件の辞書を同時に使用できます。
- 辞書のダウンロード→P169

1 [MENU][6]▶「ダウンロード辞書」

2 使用／解除する辞書を選択▶[📷] ［確定］

削除：辞書にカーソル▶[✉] ［削除］▶「はい」
参照：辞書にカーソル▶[iα] ［参照］

- 続けて[MENU]を押すと単語一覧を表示できます。

音声入力

音声を文字に変換して、メールを作成します。

- ｉモードメールの題名、本文入力画面、署名編集画面では音声入力メールが利用できます。音声入力メールはお申し込みが必要な有料サービスです。初めて音声入力メールをご契約された日から30日間はサービスを無料でご利用いただけます（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。音声入力メールのご利用には別途パケット通信料がかかります。詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 次の場合は、音声を認識しないことがあります。
  - 周囲の雑音が大きい場合
  - 発声が明瞭でない場合
  - 発声が中断された場合
  - 発声の前後に咳払いをしたり、雑音を出したりした場合
  - ボタンを押したり、こすったりした場合

〈例〉メール作成画面の本文に「お元気ですか」と入力する

1 メール作成画面で「本文」▶[MENU] ［サブメニュー］▶「音声で文字入力」

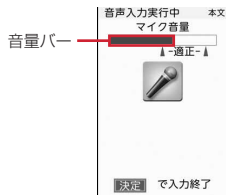
- 通信を開始するかどうかの確認画面が表示され、「はい」または「はい（以後非表示）」を選択します。

2 ● ［決定］

バイブレータが振動します。

3 「お元気ですか」と発声する▶● ［決定］

音声入力後はバイブレータが振動して、音声入力メールサーバと通信します。音声が文字に変換され、候補選択リストとともに表示されます。

- 入力する文章は、30秒以内で発声してください。また、30秒経過するか発声途中に2秒以上無音となった場合は、自動的に音声の入力を終了し変換処理を行います。
- 音量バーが適正範囲に入るような音量で発声してください。

音声入力の中止：MENU ［中止］

4 変換された文字を確認する

文節の移動：◎

- 文末の文節以外では●を押しても移動できます。

手入力で文字を挿入：MENU ［文字挿入］▶文字を入力▶● ［決定］

変換候補から選択：✉ ［候補選択］▶候補を選択▶● ［確定］

- 手入力で挿入された文字は変換候補からの選択はできません。

音声で再入力：📷 ［音声入力］▶「はい」

5 iα ［全文確定］▶「ボタンで編集」

- 文末の文節で●を押しても全文を確定できます。
- 確定後に続けて音声入力するときは「音声で追加入力」を、もう一度変換候補を選択するときは「キャンセル」を選択します。

✔お知らせ

- 音声入力と通常の手入力による文字入力では、表示される候補選択リストの内容が異なります。

中国語入力

漢字の筆画の一部や中国語読み（アルファベット）を入力することで、中国語（簡体字）を入力します。

- 入力モードには、筆画で入力するStroke入力モードと、中国語の読みで入力するPinyin入力モードがあります。
- 入力した文字は学習辞書データとして登録され、候補選択リストの先頭に表示されます。また、学習辞書データをリセットしてお買い上げ時の状態に戻すこともできます。→P341
- 次の文字入力画面でのみ有効です。
  - iモードメールの題名、本文入力画面（デコメアニメ®を除く）、SMSの本文入力画面
  - メールのフォルダ名入力画面
  - 署名編集画面
  - クイック返信本文入力画面
  - 中国語に対応しているブラウザ画面の文字入力欄
  - 定型文登録画面
  - クイック検索のメール検索（題名／本文）
- 中国語入力モードに設定してください。→P349
- 繁体字での入力やインライン入力には対応していません。

◆ マルチリンガル利用設定

中国語入力モードに切り替えます。

1 MENU 8 4 5 ▶各項目を設定▶📷 ［登録］▶「はい」

- 「マルチリンガル設定」で「OFF」を設定した場合は、「はい」の選択は不要です。
- 「中文入力モード」により、✉を押して入力モードを切り替えるときの中国語入力モードを設定します。

❖中国語入力モードに切り替えると

- フォント選択でフォントを変更できる画面などでは、中国語用フォントが優先されて表示されます。
- 文字入力中に日本語用フォントで表示できない中国語を、単語登録やパスワードマネージャーに登録したり、中国語入力に対応していない文字入力画面に貼り付けたりすると、「・」に置き換えられます。
- 中国語入力モードでも、他の入力方式に切り替えて入力ができます。

✔お知らせ

- 中国語入力に対応する機能では、マルチリンガル利用設定が「OFF」のときでも、日本語用フォントで表示できない中国語が含まれている文字列を表示できます。ただし、その文字列を編集や利用する場合、表示できない文字は「・」に置き換えられます。そのとき「・」に置き換えた旨のメッセージが表示される場合があります。
- 日本語用フォントで表示できない中国語を含む文字列をコピーまたは切り取りし、マルチリンガル利用設定を「OFF」に変更した場合、メール本文または署名編集の入力画面では、その文字列を貼り付けることができません。
- 日本語用フォントで表示できない中国語が含まれているメールを送信したり、赤外線通信、iC通信、Bluetooth機器へのデータ送信などでメールを送信した場合、相手側の携帯電話なども中国語表示に対応していないと正しく表示されません。
- 中国語入力に対応していない文字入力画面でも、中国語が表示されることがありますが、編集しようとすると「・」に置き換えられます。置き換えられてしまうと元の中国語に戻すことはできません。

◆Stroke（筆画）入力

漢字の筆順に従い筆画を入力し、中国語を変換候補から選択し入力します。

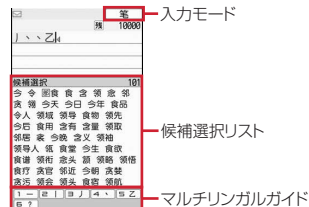
- 次の6種類の筆画を、キーを押して入力します。

キー	筆画	説　明
1	一	横線
2	丨	縦線
3	丿	左はらいの斜め線
4	丶	点
5	乙	横線から下への縦線、斜め線、屈曲線、縦線から右への線など
6	?	上記以外の筆画、筆順が分からないときなどに選択

〈例〉メール作成画面の本文に「今日」と入力する

1 **メール作成画面で「本文」▶ [✉]［文字切替］▶「笔」を選択 ▶「今」の筆画を入力**

- 筆画が割り当てられているキーを各1回ずつ押します。

「今」：3 4 4 5

- 入力中は次の操作ができます。
  CLR：筆画の削除
  #：文節の区切り（「・」）を指定

マルチリンガルガイドの表示／非表示切り替え：[iα]［ガイド］

- メール本文または署名編集の入力画面では文字入力中のみ切り替えられます。

2 **[Q]▶「今」を選択**

- 候補選択リストのページを切り替えるには、[✉]または[iα]を押します。

半角英数字の入力：MENU［英数］

- 表示された候補選択リストから英数字を選択します。

部首の選択：[部]と表示されている候補を選択

3 **「日」の筆画を入力**

- 筆画が割り当てられているキーを各1回ずつ押します。

「日」：2 5 1 1

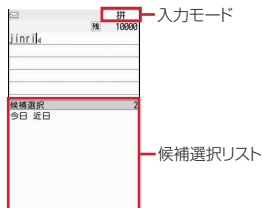
4 **[Q]▶「日」を選択 ▶ [●]［確定］▶ [●]［決定］**

◆Pinyin（読み）入力

漢字の中国語読みをアルファベットで入力します。
- アルファベットの入力方式は、かな入力方式と同じです。→P341

〈例〉メール作成画面の本文に「今日」と入力する
「今日」の中国語読みをアルファベットで入力するには「jinri」となります。

1 メール作成画面で「本文」▶ [✉] ［文字切替］▶「拼」を選択 ▶「jinri」と入力

「jinri」：[5]▶[4]を3回▶[6]を2回▶[7]を3回▶[4]を3回

- 入力中は次の操作ができます。
  [CLR]：アルファベットの削除
  [#]：文節の区切り（「・」）を指定

2 [Q]▶「今日」を選択▶「閉じる」▶[●]［決定］

- 候補選択リストのページを切り替えるには、[✉]または[iα]を押します。

半角英数字の入力：[MENU]［英数］
- 表示された候補選択リストから英数字を選択します。

✔お知らせ
- 文字確定後の操作や文字の修正は、かな入力方式と同じです。→P341
- ワンセグ視聴中のマルチウィンドウではマルチリンガルガイドは表示できません。

ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス

- FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名	申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	必要	有料
着信通知サービス	不要	無料
キャッチホン	必要	有料
転送でんわサービス	必要	無料
迷惑電話ストップサービス	不要	無料
発信者番号通知サービス→P49	不要	無料
番号通知お願いサービス	不要	無料
英語ガイダンス	不要	無料
マルチナンバー	必要	有料
2in1	必要	有料
声の宅配便→P55	不要	無料
公共モード（ドライブモード）→P64	不要	無料
公共モード（電源OFF）→P65	不要	無料
メロディコール→P84	必要	有料

- サービスエリア外や電波の届かない所ではネットワークサービスはご利用できません。
- 「サービス停止」とは、留守番電話サービスや転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。
- お申し込み、お問い合わせについては取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- **本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。**

留守番電話サービス

電波の届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、音声電話またはテレビ電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メッセージは1件あたり約3分間、音声電話／テレビ電話それぞれ20件まで録音／録画でき、最大72時間保存されます。
- 伝言メモ（→P65）を同時に設定時、留守番電話サービスを優先させるには、伝言メモの応答時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスが開始のときに音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合は、不在着信として記録され、待受画面に 2(数字は件数）が表示されます。
- キャラ電で留守番電話サービスセンターに接続された場合、DTMF操作が行えません。サブメニューよりDTMF送出に切り替えて操作してください。→P59

■ 留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1：サービスを開始に設定する
ステップ2：電話をかけてきた相手が伝言を録音する
急いでいる時など早く伝言メッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れている間に[#]を押すと、応答メッセージを省略してすぐに録音できるようになります。
ステップ3：伝言メッセージを再生する

1 [MENU][7][*]▶目的の操作を行う

開始※1、2：[1]▶「はい」▶「はい」▶呼出時間を入力
呼出時間※2：[2]▶「はい」▶呼出時間を入力
停止※1：[3]▶「はい」
設定確認※1：[4]▶「はい」
メッセージ再生※1、3：[5]▶[1]または[2]▶「はい」
- 1には新しい伝言メッセージの再生時にガイダンスで案内する件数が表示されます。保存件数は含まれません。

設定※1、3：[6]▶[1]または[2]▶「はい」
メッセージ問合せ：[7]▶「はい」
件数増加鳴動設定※4：[8]▶[1]または[2]
表示消去：[9]▶「はい」
テレビ電話設定：[0]▶「ON」または「OFF」

※1 2in1がデュアルモード時は、A／Bナンバーを選択して設定します。ただし、開始でBナンバーを選択したときは、呼出時間は設定できません。
※2 呼出時間を0秒にすると着信履歴には記録されません。
※3 音声ガイダンスに従って操作します。
※4 通知時は着信音設定のSMS着信音に従って鳴動します。

着信通知サービス

電源が入っていないときや圏外にいたとき、通話中に着信があった場合、着信の情報をSMSでお知らせします。

- 通知時は着信音設定のSMS着信音に従って鳴動します。
- SMS拒否設定に関わらず、着信通知は受信されます。

1 [MENU][7][4][0]▶[1]～[3]▶「はい」
- 開始時、着信通知対象を「全着信」または「発番号あり」から選択します。

キャッチホン

音声電話中に別の音声電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の音声電話を保留にして新しい音声電話に出ることができます。また、通話中の電話を保留にして、別の相手へ電話をかけることもできます。

- キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ通話中の着信動作選択（→P357）を「通常着信」にしてください。他の設定では、キャッチホンを開始にしても音声電話中に着信した音声電話に応答できません。

1 [MENU][7][#][2]▶[1]～[3]▶「はい」

❖キャッチホン中の操作

- キャッチホン中、保留相手がいるときは「マルチ接続中」と表示されます。
- キャッチホンが動作しない着信の場合でも通話中着信音が聞こえます。この場合、現在の通話を切断して応答します。

■ 音声電話中の着信応答

現在の通話を保留にしてかかってきた電話に応答します。

1 通話中着信音が聞こえたら[通話]

通話相手の切り替え：[iα]［切替］
現在の通話を切断して応答：通話中着信音が聞こえたら[終話]▶[通話]
応答方法の変更：通話中着信音が聞こえているうちに[MENU]［サブメニュー］▶[1]～[4]

■ 通話中の音声発信

音声電話中に別の相手に音声電話をかけます。

1 通話中に[MENU]［サブメニュー］▶[9]▶電話番号を入力▶[通話]

- リダイヤル、着信履歴、電話帳から電話番号を選択できます。

転送でんわサービス

電波の届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、かかってきた音声電話またはテレビ電話を転送するサービスです。

- 伝言メモ（→P65）を同時に設定時、転送でんわサービスを優先させるには、伝言メモの応答時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 転送でんわサービスが開始のときに音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合は、不在着信として記録され、待受画面に[不在着信 2]（数字は件数）が表示されます。

■ 転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1：転送でんわサービスを開始に設定する
ステップ2：転送先の電話番号を登録する
ステップ3：お客様のFOMA端末に電話がかかる
ステップ4：電話に出ないと指定した転送先に転送される

1 [MENU][7][#][1]▶目的の操作を行う

開始※1、2、3：[1]▶「はい」▶「はい」▶電話番号を入力▶[カメラ]［完了］▶「はい」▶呼出時間を入力
停止※1：[2]▶「はい」
転送先変更※2：[3]▶電話番号を入力▶[カメラ]［完了］▶[1]または[2]▶「はい」

- サービス開始中は転送先変更を、サービス停止中は転送先変更と転送サービス開始を設定できます。
- 2in1利用時、Bナンバーでは転送先変更のみ設定できます。

転送先通話中時設定：[4]▶「はい」
設定確認※1：[5]▶「はい」

※1 2in1がデュアルモード時はA／Bナンバーを選択して設定します。ただし、開始でBナンバーを選択したときは、転送先電話番号、呼出時間は設定できません。
※2 リダイヤル、着信履歴、電話帳から電話番号を選択できます。
※3 呼出時間を0秒にすると着信履歴には記録されません。

❖ガイダンスの有無の設定

- 音声ガイダンスに従って操作します。

1 「1429」を入力▶[通話]

迷惑電話ストップサービス

いたずら電話などの迷惑電話を着信しないように拒否するサービスです。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。また、迷惑電話ストップサービス設定サイトに接続し、着信拒否する電話番号の登録・確認・削除を行うこともできます。

- 着信拒否登録した電話番号からの着信時は、着信音は鳴らず着信履歴にも記録されません。
- 着信拒否登録時、限度数を超えると上書き確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると古いものから上書きされ、「いいえ」を選択すると着信拒否登録が終了します。

1 MENU 7 4 1 ▶ 1 ～ 5 ▶ 「はい」
  - 「着信番号拒否登録」では、最後に着信応答した電話番号が登録されます。
  - 「番号指定拒否登録」では、電話番号を入力して📷を押します。リダイヤル、着信履歴、電話帳から電話番号を選択できます。
  - 「最終登録番号削除」を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除できます。

❖着信拒否登録電話番号の編集

ｉモードの迷惑電話ストップサービス設定サイトに接続し、着信拒否する電話番号の登録・確認・削除を行います。着信拒否電話番号を一覧で確認できます。

- ｉモード契約の有無に関わらず利用できるサービスです。
- 迷惑電話ストップサービス設定サイトへの接続にはネットワーク暗証番号の入力が必要です。

1 MENU 7 4 1 6 ▶ 「はい」

番号通知お願いサービス

電話番号を通知してこない音声電話またはテレビ電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答します。ガイダンス応答後は自動的に電話を終了します。

- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった場合、着信履歴に記録されず、待受画面に 2(数字は件数）は表示されません。

1 MENU 7 4 2 ▶ 1 ～ 3 ▶ 「はい」

英語ガイダンス

留守番電話サービスなどの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

- 発信側・受信側ともに本サービスを利用している場合、発信側の発信時設定が着信側の着信時設定より優先されます。

1 MENU 7 # 3 ▶ 1 または 2 ▶ 「はい」
  - 「設定」では、発信側／着信側の順に設定します。

ドコモへのお問い合わせ

ドコモ総合案内・受付や故障のお問い合わせ先へ電話をかけることができます。

- お使いのドコモminiUIMカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。

1 MENU 6 ▶ 「ドコモへのお問合せ」 ▶ 1 ～ 4 ▶ 「はい」

通話中着信設定

通話中の着信動作選択の設定を開始／停止したり、設定内容を確認したりします。

1 MENU 7 4 4 2 ▶ 1～3 ▶「はい」

通話中の着信動作選択

留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンをご契約されているお客様の通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話、または64Kデータ通信にどのように対応するかを設定できます。

- 留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンが未契約の場合は、通話中の着信に応答できません。
- 本機能を利用する場合は、あらかじめ通話中着信設定を開始にしてください。なお、キャッチホン開始中は通話中着信設定を開始にする必要はありません。

1 MENU 7 4 4 1 ▶ 動作を選択

- 「通常着信」にすると、キャッチホン開始中はキャッチホンが動作し、停止中は現在の通話を終了して着信に応答できます。また、音声電話着信中はサブメニューから対応を選択できます。→P63
- 「留守番電話」にすると、音声電話／テレビ電話は留守番電話サービスに接続されます。「転送でんわ」では登録済みの転送先に転送されます（64Kデータ通信中の64Kデータ通信着信時を除く）。

遠隔操作設定

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

- 海外でネットワークサービスを利用する場合は、あらかじめ遠隔操作設定を開始にする必要があります。

1 MENU 7 # 4 ▶ 1～3 ▶「はい」

マルチナンバー

FOMA端末の電話番号として、基本契約番号の他に、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加してご利用いただけるサービスです。

- ドコモminiUIMカードを取り外したり、差し替えたりした場合、FOMA端末に登録していたマルチナンバーの設定（名称、電話番号など）が消去されることがあります。この場合は再度登録を行ってください。
- 発着信画面やリダイヤル／着信履歴の詳細画面などに、基本契約番号または付加番号の名称が表示されます。
- リダイヤル／着信履歴から発信する場合、発着信時のマルチナンバーの名称が表示され、この番号で発信します。

1 MENU 7 # 5 ▶ 目的の操作を行う

通常発信番号設定： 1 ▶ 1～3 ▶「はい」
通常発信番号設定確認： 2 ▶「はい」
電話番号設定： 3 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷［登録］

- 付加番号の名称と電話番号を入力します。基本契約番号の名称と電話番号にはプロフィールが表示されます。プロフィール未設定時は「基本契約番号」とご契約の電話番号が表示されます。
- マルチナンバー発信を「有効」にすると、マルチナンバー指定発信できます。

着信音設定： 4 ▶ 1 または 2 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷［登録］

❖マルチナンバー指定発信

- 電話番号設定のマルチナンバー発信が「無効」のときはマルチナンバーを選択できません。

1 電話番号を入力 ▶ MENU［サブメニュー］▶ 2 ▶ 1～3 ▶ ✆ または iα［テレビ電話］

- 電話帳や各種履歴のサブメニューから「マルチナンバー」または「発信オプション」を選択しても操作できます。発信オプション利用時にマルチナンバーを「指定なし」にした場合は通常発信番号設定に従います。

2in1

1つの携帯電話で2つの電話番号・メールアドレスが使え、専用のモード機能を利用することで、あたかも2つの携帯電話を使い分けるようにご利用いただけるサービスです。

◆ 2in1のモード

- 2in1のモードごとの機能→P359

Aモード：お客様電話番号（Aナンバー）での発信、ｉモードメール（Aアドレス）での送受信、関連データの閲覧などができます。

Bモード：2in1電話番号（Bナンバー）での発信、ｉモードメール（Bアドレス）での送受信、関連データの閲覧などができます。

デュアルモード：A／Bの両方の機能を備えたモードです。すべてのナンバー／アドレスが利用でき、すべてのデータの閲覧ができます。

- 各機能の利用、設定時には、2in1に関する確認画面や選択画面が表示される場合があります。

✔お知らせ

- 2in1の詳細は『ご利用ガイドブック（2in1編）』をご覧ください。
- 2in1がONのときにドコモminiUIMカードを差し替えた（2in1契約者→2in1契約者）場合は、正しいBナンバーを取得するために、2in1をOFFにしてから再度2in1をONにするか、プロフィールからBナンバーを取得してください。→P358
  また、ドコモminiUIMカードを差し替えた（2in1契約者→2in1未契約者）場合も、正しいプロフィールに更新するために2in1をOFFにしてください。
- Bモード時はSMS To機能を利用できません。
- 次の場合は、2in1のモードに関わらずすべてのデータが削除されます。
  - 伝言メモ、音声メモ、リダイヤル、着信履歴、電話帳、メール送受信履歴、メール振分け条件の全件削除
  - メールの「1件削除」または「選択削除」以外の削除操作
  - メールフォルダ、電話帳のグループまたは会社名の削除
  - データ一括削除
- ｉモード契約中は、Bモードでもパケット通信が可能です。
- ｉチャネルでは次の動作になります。
  - テロップ表示設定はモードごとに設定できます。
  - ｉチャネル初期化はモードごとに操作が必要です。ただし、一度ｉチャネル初期化を行うと、モードに関わらずｉチャネル一覧またはテロップ表示設定も初期化されます。
- デュアルモード時に外部機器接続で発信する場合は、Aナンバー発信になります。

◆ デュアルモード時の操作

デュアルモード時には、発信者番号やｉモードメールの送信者アドレスを切り替えて利用できます。

■ 発信者番号指定発信

1 電話番号を入力▶[発信]または[カメラ]［テレビ電話］▶発信者番号を選択

■ 送信者アドレス切替

1 メール作成画面で[MENU]［サブメニュー］▶[7]▶送信者アドレスを選択▶メールを編集▶[カメラ]［送信］

- メール編集方法→P128

■ Bナンバーの取得

- プロフィール登録→P322

1 デュアルモード中に[MENU][0]▶[iα]［Bナンバー］

- Bモード中はBナンバーのみ表示されます。

2 [●]［詳細］▶認証操作▶[MENU]［サブメニュー］▶[6]▶「はい」

❖2in1のモードごとの機能

モードごとに動作の違いがある項目のみ記載しています（Aモードと同じ動作をするものは除いています）。

サービス		Aモード	Bモード	デュアルモード
電話／テレビ電話	発信	Aナンバー	Bナンバー	発信時に選択※1
	着信※2	着信回避設定に従う		
電話帳	表示※3	「A」「共通」	「B」「共通」	すべて
	名前変換※4	「A」「共通」	「B」「共通」	すべて
	新規登録時	「A」	「B」	登録時に選択
	赤外線／iC／Bluetooth／microSDからの全件受信	送信側の電話帳2in1設定に従う※5		
	赤外線／iC／Bluetooth／microSDからの1件受信	「A」	「B」	保存時に選択※6
	ドコモUIMカード電話帳へコピー	「共通」（電話帳2in1設定は設定されない）		
	ドコモUIMカード電話帳からコピー	「A」	「B」	「A」
リダイヤル／着信履歴	表示	Aナンバー発着信	Bナンバー発着信	すべて
メール送受信履歴	表示	Aアドレス送受信／Aナンバー送受信	Bアドレス送受信／Bナンバー受信	すべて
メール／SMS	表示	Aアドレス送受信／Aナンバー送受信	Bアドレス送受信／Bナンバー受信	すべて
	送信	Aアドレス／Aナンバー	Bアドレス※7	メール作成時に選択※8、9／Aナンバー※7
	受信※10	すべて		
	振分け条件表示	「A」「共通」	「B」「共通」	すべて
	振分け条件新規登録時	「共通」	「共通」	登録時に選択
	署名登録	Aアドレス	Bアドレス	登録時に選択
	赤外線／iC／Bluetooth／microSDからの全件受信	送信側の状態を引き継ぐ		
	赤外線／iC／Bluetooth／microSDからの1件受信	Aアドレス／Aナンバー		
	ドコモminiUIMカードへ移動／コピー（SMSのみ）	自分のナンバーの情報を削除して移動／コピー		
	ドコモminiUIMカードから移動／コピー（SMSのみ）	すべてAナンバーとして移動／コピー	利用不可	すべてAナンバーとして移動／コピー
待受画面選択※11		Aモード待受	Bモード待受	デュアルモード待受
電話／テレビ電話着信音設定※12		Aナンバー	Bナンバー	設定時に選択
メール／SMS着信音設定※12		Aアドレス	Bアドレス	設定時に選択
iアプリ		利用可能	利用可能※13	利用可能※14
プロフィール表示		Aナンバー／Aアドレス	Bナンバー／Bアドレス	すべて

※1 発信オプション、スケジュール連絡先、セレクトメニューの人物からの発信時にも、発信番号を選択できます。
電話帳発信、クイックダイヤル発信、イヤホンスイッチ発信時は、電話帳2in1設定で「B」に設定した相手にはBナンバーで、それ以外はAナンバーで発信されます。
伝言メモ、通話中音声メモ、リダイヤル／着信履歴、メール送受信履歴から発信時は、発着信時のナンバーで発信されます。

※2 メモリ別着信拒否／許可、着信詳細設定の呼出動作開始時間設定、登録外着信拒否は、電話帳2in1設定に影響されません。

※3 シークレット属性設定時は、プライバシーモードの動作が優先されます。
※4 電話番号やメールアドレスを電話帳に登録している場合、発着信中、呼出中、通話中、受信メールの発信元、送信／未送信メールの宛先、GPSの位置提供、位置履歴詳細画面の要求者名などに電話帳の名前が表示されます。
※5 送信側や全件コピー時の端末が2in1非対応機種の場合、電話帳2in1設定はすべて「A」に設定されます。
※6 本体電話帳保存時に、電話帳2in1設定変更画面で「いいえ」を選択したり、モード選択画面でCLRを押したりすると、電話帳2in1設定は「A」になります。
※7 BナンバーではSMSを操作できません。
※8 送信者アドレスは、iモードメール作成時は宛先の入力方法によって設定されます。電話帳から入力または直接入力時は、電話帳2in1設定が「B」の場合はBアドレス、それ以外ではAアドレスが設定されます。メールグループなど複数宛先の入力時は最後に入力した宛先の電話帳2in1設定に、宛先がすべて電話帳未登録の場合は未指定で設定されます。メール送受信履歴からの入力時は履歴の情報に従います。
メール返信、自動返信、転送時の送信者アドレスは、受信メールのA／Bアドレスの情報に従います。音声電話着信への自動返信時はA／Bナンバーの情報に従います。
Mail Toの送信者アドレスは、選択したメールアドレスが電話帳に登録されているときは電話帳2in1設定に従い、登録されていないときは未指定で設定されます。
※9 署名の自動挿入は送信者アドレスに従って登録した署名が挿入されます。ただし、送信者アドレスが未指定の場合はAアドレスの署名が挿入されます。
※10 Aモード時にBアドレス／Bナンバーへ、Bモード時にAアドレス／Aナンバーへ受信した場合は、メール着信音は鳴らず、ランプやバイブレータも動作しません。
※11 Bモード待受／デュアルモード待受には画像のみ設定できます。
データ一覧のサブメニューなどから設定する場合は、現在のモードに関わらずAモード待受の設定となります。
※12 データ一覧のサブメニューなどから設定する場合は、現在のモードに関わらずAナンバー／Aアドレスの設定となります。
※13 メール連動型iアプリ、iアプリ待受画面は利用できません。
※14 iアプリ待受画面は利用できません。

◆ 2in1の各種設定

2in1の各種設定を行います。

1 **MENU 7 9 ▶認証操作▶「はい」▶目的の操作を行う**

- 2in1がONのときは、認証操作を行うと2in1設定のメニュー画面が表示されます。

2in1モード切替：1▶1～3

- 2in1のON／OFFに関わらず、待受画面で2を1秒以上▶認証操作を行うと、2in1モード切替が起動します。2in1がOFFのときは起動確認画面で「はい」を押します。

電話帳2in1設定：2▶モードを選択▶電話帳検索▶電話帳を選択▶📷［確定］▶「はい」

- 「共通」にすると、A／B両方のモードで表示されます。
- 新規2in1契約時は、その時点で登録済みの電話帳はすべて「A」に設定されます。再契約時には以前の電話帳2in1設定を引き継ぎます。
- ドコモUIMカード電話帳に新規登録した場合、2in1のモードに関わらず「共通」と同じ動作となります。

モード別待受画面設定：3▶1～3▶1または2▶フォルダを選択▶データを選択▶「はい」

- Aモード時は、iモーションやiアプリなど待受画面のデータの種類を選択します。

発着信番号表示設定：4 1▶各項目を設定▶📷［登録］

- Aナンバーの設定は電話発着信設定の発着信番号表示設定にも反映されます。

着信設定：4 2▶1または2▶1～4▶各項目を設定▶📷［登録］

2in1機能OFF：5▶「はい」

着信回避設定変更：6 1▶各項目を設定▶📷［完了］

着信回避設定確認：6 2▶「はい」

モード切替連動設定：6 3▶「はい」

- モード切替連動設定開始中は、モードにあったナンバーのみ着信します。また、圏外では2in1モード切替はできません。

着信回避設定（海外）：6 4▶「はい」

- モード切替連動設定を停止にする必要があります。
- 海外から音声ガイダンスに従って着信回避設定を設定します。このとき、ご利用の国の日本向け通話料がかかります。→P364

ネットワークサービス追加

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

〈例〉USSD登録する

1 MENU 7 # 6

2 1 ▶未登録にカーソル▶ 📷［編集］▶USSDコードと名称を入力▶ 📷［登録］

USSD応答ワーディング登録：2 ▶未登録を選択▶USSDコードと応答メッセージを入力▶ 📷［登録］

- USSD登録ではドコモから通知された新しいサービスコードとその名称を、USSD応答ワーディング登録では登録したサービスコード実行時に表示されるメッセージを登録します。
- 追加したサービスを利用するときは、サービスを選択します。
- 追加したサービスを削除するときは、サービスにカーソル▶MENU▶1 または 2▶「はい」を押します。
- 登録メッセージを削除するときは、サービスにカーソル▶MENU▶1 または 2▶「はい」を押します。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用しているFOMA端末を電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアで利用いただけるサービスです。音声電話、SMS、ｉモードメールは設定の変更なくご利用になれます。

- 本FOMA端末は、クラス4になります。3GネットワークおよびGSM/GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHzに対応した国・地域でもご利用可能です。ご利用可能エリアをご確認ください。
- 海外でFOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。
  - 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
  - ドコモの「国際サービスホームページ」

✔お知らせ

- 国番号／国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号／接続可能な国・地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

海外で利用できるサービス

滞在国の通信事業者とネットワークによって、利用できる通信サービスが異なります。

主な通信サービス	ネットワーク		
	3G	GSM/GPRS	GSM
	3G	GPRS	GSM
音声電話※1	○	○	○
テレビ電話※1	○	×	×
ｉモード※2	○	○	×
ｉモードメール	○	○	×
SMS※3	○	○	○
ｉチャネル※2、4	○	○	×
ｉコンシェル※5	○	○	×
ｉウィジェット※6	○	○	×
GPS※7	○	○	×
パケット通信（パソコン接続）	○	○	×

※1　2in1利用時はBナンバーでの発信はできません。
　　マルチナンバー利用時は付加番号での発信はできません。
※2　ｉモード海外利用設定が必要です。→P369
※3　宛先がFOMA端末の場合は、日本国内と同様に相手の電話番号をそのまま入力します。
※4　ｉチャネル海外利用設定が必要です。→P369
　　ベーシックチャネルの自動更新もパケット通信料がかかります（日本国内ではｉチャネル利用料に含まれます）。
※5　ｉコンシェルの海外利用設定が必要です。→P369
　　インフォメーションの受信ごとにパケット通信料がかかります。
※6　ｉウィジェットの海外利用設定が必要です。→P369
　　複数のウィジェットアプリが通信した場合、1通信ごとにパケット通信料がかかります。
※7　GPS測位（現在地確認）は無料です。ただし、位置情報から地図を表示した場合などはパケット通信料がかかります。

海外利用の準備と確認

海外での利用のために、出発前、滞在国、帰国後に確認／設定します。

◆ 出発前の確認

海外でFOMA端末を利用する際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約について

WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 充電について

海外旅行で充電する際のACアダプタは、別売の「FOMA 海外兼用ACアダプタ 01」または「FOMA ACアダプタ 02」をご利用ください。

■ 料金について

海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。

◆ 出発前の設定

■ ｉモードの設定

ｉモード海外利用設定を「利用する」に設定する必要があります。→P369

■ ｉモードメールの受信設定

ｉモードメールを選択して受信するかを設定します。→P370

■ ネットワークサービスの設定

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス、転送でんわサービス、番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。→P370

- 一部のネットワークサービスはご利用になれません。
- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、遠隔操作設定を開始にする必要があります。→P357、370
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスでも、海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

◆ 滞在国での確認

海外に到着後、FOMA端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。→P367

■ ディスプレイの見かた

待受画面には利用中のネットワークの種類が表示されます。「オペレータ名表示設定」を「表示あり」に設定しているときは、接続している通信事業者名が表示されます。→P368

3G／3G(黄)：パケット通信に対応している3Gネットワーク
3G(赤)：パケット通信に対応していない3Gネットワーク
GPRS／GPRS(黄)：GPRSネットワーク
GSM：GSMネットワーク

■ 接続について

ネットワークサーチ設定を「オート」に設定している場合は、利用中のネットワークのサービスエリア外に移動すると、自動的に他の利用できる通信事業者のネットワークを検索して接続し直されます。

- ネットワークサーチ設定を「マニュアル」にし、定額サービス対象の通信事業者に接続すると、海外でのパケット通信料が1日あたり一定額を上限としてご利用いただけます。なお、ご利用にはｉモードパケット定額サービスへのご加入が必要です。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

■ 日付・時刻

日付時刻設定の自動時刻・時差補正を「ON」にしている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することでFOMA端末の時計の時刻や時差が補正されます。

- 補正されるタイミングは海外の通信事業者によって異なります。
- 日付時刻設定→P49

■ お問い合わせについて

- FOMA端末やドコモminiUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

◆帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にFOMAネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、次の設定を行ってください。
- 3G/GSM切替を「自動」に設定してください。→P368
- ネットワークサーチ設定を「オート」に設定してください。→P367

滞在国で電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、海外から音声電話やテレビ電話をかけられます。
- テレビ電話の場合、接続先の端末によりFOMA端末に表示される相手側の映像が乱れたり、接続できない場合があります。
- よくかける相手の国名と国番号を国際ダイヤルアシストで登録しておけば、ダイヤル操作が簡単にできます。→P58
- 2桁以内の番号を入力して発信すると、発信方法選択画面が表示されます。電話帳のメモリ番号の相手に発信する場合は「クイックダイヤル」を押します（→P79）。入力した番号にそのまま発信する場合（海外での緊急通報時）は「通常発信」を押します。

◆日本に発信

[0]を1秒以上押すと「+」が入力されます。「+」と入力した国番号で国際電話をかけられます。日本の国番号を入力して発信します。

1 [0]（1秒以上）▶「81-地域番号（市外局番）の先頭の0を除いた電話番号」を入力▶[✓]または[📷]［テレビ電話］

❖滞在国外（日本以外）に発信

[0]を1秒以上押すと「+」が入力されます。「+」と入力した国番号で国際電話をかけられます。

1 [0]（1秒以上）▶「国番号-地域番号（市外局番）の先頭の0を除いた電話番号」を入力▶[✓]または[📷]［テレビ電話］

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

❖国番号を選択して発信

発信オプションで、国際ダイヤルアシストに登録している国番号を選択します。→P58
- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合のみ有効です。

1 「地域番号（市外局番）-電話番号」を入力▶[MENU]［サブメニュー］▶[1]▶発信方法欄で[1]または[2]▶国際電話発信欄で[2]▶国番号欄で国番号を選択▶[✉]［発信］または[✓]▶「はい」

地域番号（市外局番）の先頭の「0」が「+」と選択した国番号に変換されます。
- 発信方法で「テレビ電話」を選択した場合には、[iα]を押すと通話中に表示するキャラ電を選択できます。

❖電話帳を利用して発信

電話帳を利用して滞在国外に国際電話をかけます。
- 電話帳の電話番号が「0」で始まる場合にのみ有効です。
- あらかじめ国際ダイヤルアシストの自動変換機能の国番号変換を「ON」に、国番号を電話をかける国に設定しておく必要があります。→P58
- 発信すると、地域番号（市外局番）の先頭の「0」が「+」と選択した国番号に変換されます。

1 [◎]▶電話帳検索▶相手にカーソル▶目的の操作を行う

電話を発信：[✓]▶「はい」
テレビ電話を発信：[MENU]［サブメニュー］▶[1][1]▶発信方法欄で[2]▶[✉]［発信］▶「はい」
- 全件表示（50音）以外の電話帳一覧では、[iα]▶「はい」でテレビ電話をかけられます。

◆ 滞在国内に発信

滞在国内へも日本国内と同様の操作で電話をかけられます。
- メッセージが表示されずに発信される場合もあります。

1 電話番号を入力▶［✆］または［📷］［テレビ電話］▶「元の番号で発信」

電話帳を利用して電話を発信：［◎］▶電話帳検索▶相手にカーソル▶［✆］▶「元の番号で発信」
電話帳を利用してテレビ電話を発信：［◎］▶電話帳検索▶相手にカーソル▶［MENU］［サブメニュー］▶［1］［1］▶発信方法欄で［2］▶［✉］［発信］▶「元の番号で発信」
- 全件表示（50音）以外の電話帳一覧では、［iα］▶「元の番号で発信」でテレビ電話をかけられます。

◆ WORLD WING利用者に発信

同じ国に滞在している場合でも、日本からの国際転送となりますので、「+」と日本の国番号「81」を入力して電話をかけてください。

1 ［0］（1秒以上）▶「81-先頭の0を除いた携帯電話番号」を入力▶［✆］または［📷］［テレビ電話］

滞在国で電話を受ける

日本国内で電話を受けるのと同様の操作で、電話を受けられます。

■ 日本から電話をかけてもらうときは

お客様が日本国内にいるときと同様に、お客様の電話番号を入力して電話をかけてもらいます。
090-XXXX-XXXXまたは080-XXXX-XXXX

■ 日本以外から電話をかけてもらうときは

滞在国に関わらず日本経由で電話をかけるため、日本へ国際電話をかけるのと同様の操作で電話をかけてもらいます。
「発信国の国際アクセス番号-81（日本の国番号）-先頭の0を除いた携帯電話番号」を入力

✔お知らせ
- 滞在国に関わらず、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信者には日本までの通話料がかかり、着信者には着信料がかかります。

ネットワークサーチ設定

国際ローミング開始時や利用中のネットワークが圏外になったとき、利用可能なネットワークに接続し直します。
- 電波の状態やネットワークの状況によって設定できない場合があります。
- 日本国内ではNTTドコモ以外の通信事業者は選択できません。

1 ［MENU］［9］［8］［2］▶［1］～［3］

- 「オート」にすると利用可能なネットワークに自動的に接続し直します。「マニュアル」▶「はい」を選択すると、ネットワークを検索し直して接続ネットワーク一覧が表示されるので、接続するネットワークを選択します。
- 「ネットワーク再検索」選択時は各設定の動作が実行されます。

✔お知らせ
- 接続ネットワーク一覧では、3Gネットワークは「3G」、GSM/GPRSネットワークは「GSM」、利用できないネットワークは「✕」と表示されます。

◆ 再検索アイコン表示設定

ネットワークサーチ設定が「マニュアル」で圏外になったとき、ステータスエリアに再検索を促すアイコンを表示させるかを設定します。

1 ［MENU］［9］［8］［6］▶［1］または［2］

- 「表示する」にすると、接続ネットワークの圏外移動時、前回接続と違うネットワークに接続時などに🔍が表示され、オペレータ名表示欄には「select net」が表示されます。
- 利用可能なネットワークが選択されて圏内状態となるまでは、通話やメールなどが利用できない場合があります。待受画面で🔍を押し、ネットワークサーチ設定で再度ネットワークを検索し直して選択するか、「オート」にしてください。

優先ネットワーク設定

ネットワークサーチ設定が「オート」のときに接続するネットワークの優先順位を設定します。

- 最大20件設定できます。
- 本設定は、ドコモminiUIMカードに保存されます。
- ネットワークを選択すると、詳細情報が表示されます。

1 **MENU 9 8 3 ▶ネットワークにカーソル▶ MENU ［サブメニュー］ ▶ 2 ▶優先順位を選択▶ 📷 ［登録］**

- 選択した優先順位の上に順位が変更されます。優先順位を最後にするときは「〈最後に指定〉」を選択します。

■ サブメニューからの操作

- サブメニューには「追加」「削除」があります。
- 「追加」の「マニュアル登録」では、国番号（MCC）およびネットワーク番号（MNC）を入力してネットワークの種類を設定します。「リストから登録」では、FOMA端末に保存されている通信事業者のリストから選択し、ネットワークの種類を設定します。「在圏ネットワーク登録」では、ネットワークを検索し直して接続ネットワーク一覧を表示するので、接続するネットワークを選択します。
- 「削除」する場合、1件削除ではカーソルを合わせたネットワークが削除されます。選択削除では選択操作▶ 📷 が、全件削除では認証操作が必要です。

3G/GSM切替

利用するネットワークの種類を設定します。

- 「自動」にすると、異なるネットワークのサービスエリアに移動した場合でも、自動的に利用可能なネットワークに接続されます。

1 **MENU 9 8 1 ▶ 1 ～ 3**

✔お知らせ

- 「自動」の場合、3GおよびGSM/GPRSネットワークの両方を検出したときは3Gネットワークが優先されます。

在圏状態表示

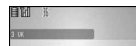
接続しているネットワークで利用できるサービスが確認できます。

1 **MENU 9 8 5**

- CSでは音声電話やテレビ電話などが、PSではｉモードやｉモードメールなどが利用できます。

オペレータ名表示設定

待受画面にオペレータ名を表示します。

- 「表示あり」にしても、FOMAネットワーク利用時や圏外のときは表示されません。

1 **MENU 9 8 4 ▶ 1 または 2**

ローミングガイダンス

発信者に国際ローミング中である旨のガイダンスを流すように設定します。

- 日本国内で設定してください。
- 滞在国でのローミングガイダンスの設定→P371

1 **MENU 9 9 4 ▶ 1 ～ 3 ▶「はい」**

✔お知らせ

- 停止にしても通信事業者で設定している呼出音が流れます。
- 開始にしても通信事業者によっては外国語ガイダンスが流れる場合があります。

海外での着信設定

海外での着信を規制したり、着信をお知らせする通知の設定をしたりします。
- 海外の通信事業者によっては設定できない場合があります。

◆ ローミング時着信規制

- 海外では64Kデータ通信（パソコン接続）は利用できません。
- ｉモードサイト表示とメール送信は、本設定に関わらず操作できます。
- 開始、停止にはネットワーク暗証番号の入力が必要です。

1 MENU 9 9 2 ▶ **目的の操作を行う**

規制開始：1 ▶ 1 または 2 ▶「はい」
- 「全着信規制」では音声、SMS、ｉモードメール自動受信を含むすべての着信が、「テレビ電話／64Kデータ規制」ではテレビ電話の着信のみが規制されます。
- 「全着信規制」に設定しても、発信、ｉモード接続、ｉチャネルの自動更新、留守番電話、転送でんわは規制されません。また、パケット通信を行うと、メールなどが受信される場合があります。

規制停止：2 ▶「はい」
規制確認：3 ▶「はい」

◆ ローミング着信通知

国際ローミング中でも、電源が入っていないときや圏外にいたときの着信を、電源が入った後や圏内になったときにSMSで通知します（無料）。

1 MENU 9 9 3 ▶ 1 ～ 3 ▶「はい」

海外でのｉモードサービス利用設定

海外でｉモードサービスの設定操作をします。
- ｉウィジェット海外利用設定、メール選択受信設定、MyFACE自動更新設定を除いて、3G（赤）またはGSMのときは設定できません。

◆ ｉモード（海外）

海外でのｉモードの利用を設定します。
- 日本国内では無料で設定できます。海外での設定にはパケット通信料がかかります。

1 MENU 9 9 6 1 ▶「はい」

◆ お預かりサービス／ｉコンシェル（海外）

海外でのお預かりサービス／ｉコンシェルの利用を設定します。

1 MENU 9 9 6 2 ▶「はい」

◆ ｉチャネル（海外）

海外でのｉチャネルの利用を設定します。

1 MENU 9 9 6 3 ▶「はい」

◆ ｉウィジェット（海外）

海外でのｉウィジェットの利用を設定します。

1 MENU 9 9 6 4 ▶「はい」
- 通常のｉウィジェット海外利用設定にも反映されます。

◆ MyFACE自動更新設定（海外）

海外でMyFACEの自動更新を行うかを設定します。

1 MENU 9 9 6 5 ▶ 1 または 2

- 「個別設定に従う」にすると、各MyFACEの「自動更新設定」の設定に従います。→P36

◆ メール選択受信（海外）

海外滞在時に、ｉモードメールを選択して受信するかを設定します。

- 日本国内でも設定できます。

1 MENU 9 9 7 1 ▶ 1 または 2

- 「ON」にすると、メールを自動的に受信できないことを示す画面が表示されます。
- 帰国後も本設定のままにすると、メールを自動受信できません。
- 通常のメール選択受信設定にも反映されます。

メール選択受信時の操作→P137

◆ メッセージR（海外）

海外でのメッセージRの受信設定をします。

1 MENU 9 9 7 2 ▶「はい」

ネットワークサービス（海外）

海外から留守番電話サービスや転送でんわサービスなどの設定を操作します。

- あらかじめ遠隔操作設定を開始しておく必要があります。→P357
- 海外から操作した場合、ご利用の国の日本向け通話料がかかります。
- 海外の通信事業者によっては設定できない場合があります。

◆ 海外留守番電話サービス（有料）

1 MENU 9 9 8 5 ▶ 1 ～ 5 ▶「はい」▶音声ガイダンスに従って操作

◆ 海外転送でんわサービス（有料）

1 MENU 9 9 8 6 ▶ 1 ～ 3 ▶「はい」▶音声ガイダンスに従って操作

◆ 海外遠隔操作設定（有料）

1 MENU 9 9 8 1 ▶「はい」▶音声ガイダンスに従って操作

◆ 海外番号通知お願いサービス（有料）

1 MENU 9 9 8 2 ▶「はい」▶音声ガイダンスに従って操作

◆ 海外ローミング着信通知（有料）

1 MENU 9 9 8 3 ▶「はい」▶音声ガイダンスに従って操作

◆ 海外ローミングガイダンス（有料）

1 MENU 9 9 8 4 ▶「はい」▶音声ガイダンスに従って操作

ドコモへのお問い合わせ（海外）

海外でドコモのお問い合わせ先へ電話をかけることができます。

1 MENU 9 9 1 ▶ 1 または 2 ▶「はい」

パソコン接続

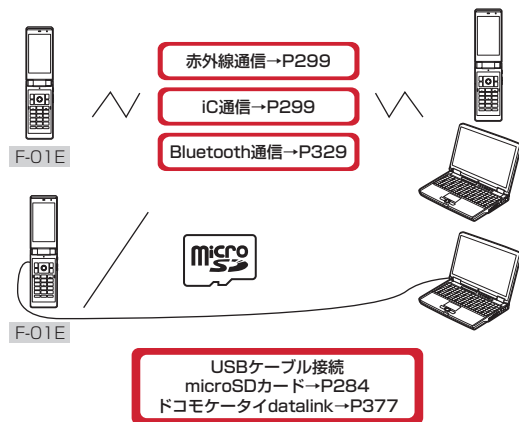
データ通信の詳細については、ドコモのホームページ上の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

データ通信

FOMA端末とパソコンを接続して利用できる通信形態は、データ転送（OBEX™通信）、パケット通信、64Kデータ通信に分類されます。

- パソコンと接続してパケット通信や64Kデータ通信を行ったり、電話帳などのデータを編集したりするには、ドコモのホームページからソフトをダウンロードし、インストールや各種設定を行う必要があります。
- 海外でパケット通信を行う場合は、IP接続で行ってください（PPP接続ではパケット通信できません）。また、海外では64Kデータ通信はできません。
- FOMA端末は、FAX通信やRemote Wakeupには対応しておりません。

◆ データ転送

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

◆ パケット通信

インターネットに接続してデータ通信（パケット通信）を行います。
送受信したデータ量に応じて課金されます。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないため、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uなど、FOMAパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大7.2Mbps、送信最大5.7Mbpsの高速パケット通信ができます。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です。
画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロードなど、データ量の多い通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

※ FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するとき、またはHIGH-SPEEDに対応していない機器をご利用の場合、通信速度が遅くなることがあります。
※ Bluetooth接続の場合、FOMA端末の通信速度はハイスピード用の通信速度になりますが、Bluetooth機器間の通信速度に限界があるため、最大速度では通信できない場合があります。
※ 受信最大7.2Mbps、送信最大5.7Mbpsとは技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。

◆ 64Kデータ通信

インターネットに接続して64Kデータ通信を行います。
データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されます。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uなど、FOMA64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDN同期64Kのアクセスポイントを利用できます。
長時間通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

ご利用になる前に

◆ 動作環境

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は、次のとおりです。パソコンのシステム構成により異なる場合があります。

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機 USBケーブル接続の場合：USBポート（USB仕様1.1／2.0に準拠） Bluetooth接続の場合：ダイヤルアップネットワーキングプロファイルに対応するBluetooth標準規格Ver.2.1＋EDRまでに準拠 Wi-Fi接続の場合：無線LAN標準規格IEEE 802.11b、IEEE 802.11gまたはIEEE 802.11nに準拠 ディスプレイ解像度800×600ドット以上、High Color16ビット以上を推奨
OS（各日本語版）	Windows XP、Windows Vista、Windows 7
必要メモリ	Windows XP：128MB以上 Windows Vista：512MB以上 Windows 7：32ビット版1GB以上、64ビット版2GB以上
ハードディスク容量	5MB以上の空き容量

- 動作環境の最新情報については、ドコモのホームページをご覧ください。
- OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用について、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◆ 必要な機器

USBケーブル接続をする場合は、FOMA端末とパソコン以外に次の機器およびソフトウェアが必要です。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）
- FOMA通信設定ファイル（ドライバ）※

※ ドコモのホームページからダウンロードしてください。

✔お知らせ

- パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため利用できません。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

◆ ご利用時の留意事項

❖インターネットサービスプロバイダの利用料

パソコンでインターネットを利用する場合、ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）の利用料が必要です。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。詳細はご利用のプロバイダにお問い合わせください。

- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uがご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

❖接続先（プロバイダなど）

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

❖パケット通信および64Kデータ通信の条件

日本国内で通信を行うには、次の条件が必要です。
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA64Kデータ通信またはISDN同期64Kに対応していること
- Bluetooth接続の場合は、パソコンがダイヤルアップネットワーキングプロファイルに対応するBluetooth標準規格Ver.2.1＋EDRまでに準拠していること
- Wi-Fi接続する場合は、パソコンが無線LAN標準規格IEEE 802.11b、IEEE 802.11gまたはIEEE 802.11nに準拠していること

※ 上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状態が悪かったりするときは通信できない場合があります。

データ転送を行うには

USBケーブルをご利用になる場合には、FOMA通信設定ファイル（ドライバ）をインストールしてください。

ドコモのホームページからFOMA通信設定ファイル（ドライバ）をダウンロードし、インストールする

▼

データ転送

データ通信を行うには

パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。

Wi-Fi接続の場合（パケット通信のみ）

FOMA端末をAPモードにする

▼

接続の設定をする

▼

通信を実行する

ドコモ コネクションマネージャの紹介

ドコモ コネクションマネージャは、ドコモのデータ通信を行うのに便利なソフトウェアです。お客様のご契約状況に応じたパソコンの設定を簡単に行うことができます。
また、料金カウンタ機能でデータ通信量や利用金額の目安を確認することもできます。
詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
http://www.nttdocomo.co.jp/support/utilization/application/service/connection_manager/

ドコモケータイdatalink

ドコモケータイdatalinkは、お客様の携帯電話の電話帳やメールなどをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しております。詳細およびダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。
http://datalink.nttdocomo.co.jp/

- ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、あらかじめFOMA通信設定ファイル（ドライバ）をインストールしておく必要があります。

ダウンロード方法、転送可能なデータ、動作環境、インストール方法、操作方法などの詳細については、上記ホームページをご覧ください。また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。
なお、ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、別途USBケーブルが必要となります。

Wi-Fi

Wi-Fi

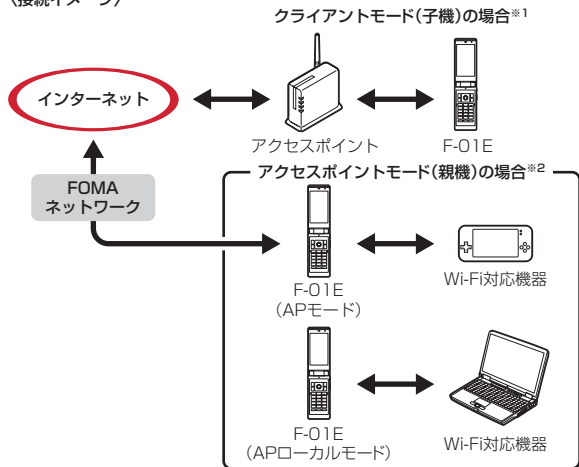
F-LINK

ホームメディア

Wi-Fiとは

本FOMA端末はWi-Fiに対応しており、ご家庭のアクセスポイントや公衆無線LANサービスを通じて、フルブラウザを利用してインターネットに接続できます。
アクセスポイントモードを利用すれば、ポータブルゲーム機やパソコンなどのWi-Fi対応機器でのオンライン通信が楽しめます。
また、Wi-Fi対応機器をオフラインで接続することもできます。

- Wi-Fiを利用すると電池の消費が早くなりますのでご注意ください。

〈接続イメージ〉

※1 クライアントモード（子機）→P386
※2 アクセスポイントモード（親機）→P381

Bluetooth機器との電波干渉について
Bluetooth機器と無線LAN（IEEE 802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、Bluetooth機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。また、ストリーミングデータ再生時などに通信が途切れたり音声が乱れたりすることがあります。この場合、Bluetooth機器の電源を切るか、FOMA端末やWi-Fi対応機器からBluetooth機器を10m以上離してください。

❖Wi-Fiのご利用にあたって

- 本FOMA端末はWi-Fi認証を取得しています。
- 本FOMA端末はIEEE 802.11b、IEEE 802.11g、IEEE 802.11n（クライアントモードのみ）の無線LAN規格に準拠しています。親機と子機が同じ規格に対応していないと接続できませんので、接続する機器の規格をあらかじめご確認ください。
- APモードでFOMAネットワークに接続中は、ｉモードメールの送受信やｉモード通信またはフルブラウザなどのパケット通信は利用できません。ただし、エリアメールは受信可能です。エリアメール以外のメールはｉモードメールセンターに保管されます。
- クライアントモードとアクセスポイントモードは同時に利用できません。

■ 関連用語集

アクセスポイント：無線LANを利用する際の接続先。
AOSS™：AirStation One-Touch Secure Systemの略。Wi-Fi接続時の暗号化の設定が簡単に行える機能。
MACアドレス：MACはMedia Access Controlの略。通信する機器を識別するためのハードウェアアドレス。
SSID：Service Set Identifierの略。無線LANにおけるネットワーク識別子。SSIDが一致する機器のみと通信できる。
WEP：Wired Equivalent Privacyの略。無線LANにおける一般的な暗号化方式。
Wi-Fi：Wireless Fidelityの略。対応機器は相互接続による通信が可能。
WPA：Wi-Fi Protected Accessの略。TKIPまたはAESという暗号化プロトコルを使用した、より安全な暗号化方式。
WPS：Wi-Fi Protected Setup™の略。無線LANの業界団体Wi-Fi Alliance®が策定した標準規格で、簡単な操作で安全なWi-Fiネットワーク環境の構築が可能。

アクセスポイントモード（親機）

本FOMA端末をWi-Fiのアクセスポイント（親機）とすることで、Wi-Fi対応機器（子機）のゲーム対戦などに利用することができます。
FOMAネットワークに接続してオンライン通信が可能なAPモードと、FOMAネットワークに接続しないAPローカルモードがあります。

- Wi-Fi対応機器は4台まで接続できます。
- ゲーム機を本FOMA端末に子機として接続すると、ゲームによっては利用できなくなる場合があります。

❖FOMAネットワーク接続時のご注意

APモードでFOMAネットワークに接続する場合は、次の点にご注意ください。

- 本機能はFOMAエリア内で利用することができます。ただし、通信環境やネットワークの混雑状況によっては利用できない場合があります。
- ドコモminiUIMカード未挿入時や、FOMAサービスの解約または休止時は本機能は利用できません。
- 海外ではAPモードを利用できません。
- 本機能を利用するには、mopera Uなどのインターネットサービスプロバイダ（ISP）との契約が必要になります。
- APモード利用時のパケット通信料は、パソコン・PDAなどを接続したパケット通信料となります。データ量の多い通信を行うと通信料が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料および料金プランの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード編）』をご覧ください。

✔お知らせ

- 本FOMA端末にWi-Fi対応パソコンを接続してFOMAネットワークに接続する場合は、ドコモのホームページ上の「パソコン接続マニュアル」の「Wi-Fi対応パソコンに接続する」をご覧ください。

❖アクセスポイントモード接続の流れ

初めてWi-Fi対応機器と接続するときは、次のような流れで行います。Wi-Fi対応機器側で本FOMA端末を登録しておくと、次回接続時からはステップ3とステップ5のみで接続できます。

■ステップ1：無線設定でセキュリティの設定をする

- お買い上げ時はセキュリティ機能が無効になっています。

■ステップ2：接続先（APN）設定で接続先を設定する※

■ステップ3：Wi-Fi対応機器の電源を入れて、本FOMA端末をアクセスポイントモードにする

■ステップ4：Wi-Fi対応機器に本FOMA端末と同じ接続設定を登録する

- 本FOMA端末の接続設定は、アクセスポイントモード通信中画面または情報表示で確認できます。

■ステップ5：本FOMA端末とWi-Fi対応機器を接続する

※ APローカルモードでは設定不要です。

無線設定

アクセスポイントモードでの接続を行う前に、不正利用防止のためのセキュリティを設定します。本FOMA端末とWi-Fi対応機器で同じセキュリティ方式を設定する必要があります。

1 MENU 6 ▶「Wi-Fi」▶ 2 6

2 各項目を設定 ▶ 📷［登録］

SSID：SSID名称を半角英数字32文字以内で入力します。

ステルス／Any接続拒否：無線接続時の信号にSSIDを表示するかどうかを設定します。

認証方式：接続時の認証方式を設定します。

- 認証方式を「WEP」にした場合は、「詳細設定」を選択して認証操作を行い、各項目を設定します。キー長／形式の設定により暗号化キー（WEP）の入力文字数などが異なります。KeyIDごとに異なる暗号化キー（WEP）を設定できます。
- 認証方式を「WPA-PSK（TKIP）」～「WPA/WPA2-PSK」にした場合は、「詳細設定」を選択して認証操作を行い、各項目を設定します。暗号化キー（PSK）の設定により入力欄の入力文字数などが異なります。

無線チャネル：使用する無線チャネルをAutoまたは1～13chの範囲で設定します。

AP省電力モード：アクセスポイントモード中に省電力の状態にするかを設定します。

- 「ON」にすると、通常時最大54Mbpsまでの転送レートが18Mbpsまでに制限されます。

機器未接続動作：Wi-Fi対応機器との接続が切断された場合の動作を設定します。

- 「即終了（全機器切断後）」にした場合でも、Wi-Fi対応機器が接続されてから1分以内に切断された場合は、アクセスポイントモードは終了しません。

接続台数制限：アクセスポイントモード時に接続可能なWi-Fi対応機器の台数を設定します。

MACアドレス制限：「有効」にすると、外部機器登録一覧の制限有効時の接続が「有効」に設定されているWi-Fi対応機器のみ接続できます。

AOSS™設定解除：✉［AOSS解除］▶「はい」

- AOSS™設定中に表示されます。編集できない項目がある場合は、AOSS™設定を解除すると変更できるようになります。

接続先（APN）設定

APモードでFOMAネットワークに接続する場合に利用する接続先（APN）を登録したり、通信を行う接続先（APN）を設定したりします。

- 最大10件登録できます。通信を行う接続先（APN）は1件のみ設定できます。
- お買い上げ時はmopera Uが登録されています。通信を行う接続先（APN）は「mopera U 128k」が設定されています。
- mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。mopera Uのサービス内容および接続設定方法については、次のホームページをご覧ください。
  - mopera U：http://www.mopera.net/

〈例〉接続先（APN）を登録する

1 MENU 6 ▶「Wi-Fi」▶ 2 3

2 目的の操作を行う

通信する接続先（APN）に設定：接続先（APN）を選択 ▶ 📷［登録］

編集：接続先（APN）にカーソル ▶ ✉［編集］▶ 各項目を設定 ▶ 📷［確定］▶ 📷［登録］

- 接続先名称とユーザIDは全角127（半角255）文字以内で入力します。
- 接続先番号は半角英数字99文字以内で入力します。
- パスワードは半角英数字255文字以内で入力します。

削除：接続先（APN）にカーソル ▶ MENU［サブメニュー］▶ 2 ▶ 📷［登録］

APモードオン／APローカルモードオン

APモードまたはAPローカルモードを起動してWi-Fi対応機器との接続を行います。
- Wi-Fi対応機器側の設定方法は、Wi-Fi対応機器の取扱説明書などをご覧ください。

■ APモードオン
「接続先（APN）設定」で設定した接続先に接続して、インターネットを利用できます。
- APモードオン中でも、ISP接続通信によるデータ送受信が一定時間行われないと、ISPネットワーク側から通信を切断される場合があります。

■ APローカルモードオン
ローカルなエリア内でネットワークを作成し、Wi-Fi対応機器と接続できます。FOMAネットワークには接続しないため、インターネットは利用できません。
- FOMA端末をアクセスポイントとしてF-LINKを利用するときは、APローカルモードで行ってください。

◆ APモードオン／APローカルモードオンの操作
APモードまたはAPローカルモードを起動すると、Wi-Fi対応機器から接続待ちの状態になります。Wi-Fi対応機器側で接続の操作を行います。

1 MENU 6 ▶「Wi-Fi」▶ 2 ▶ 1 または 2
- 初めてAPモードで起動したときは、ご使用上の注意が表示されます。必ず内容をご確認いただいた上で「利用する」を選択してください。「利用する」を選択すると、次回の起動から表示されなくなりますが、APモード利用設定で変更可能です。

2「はい」または「はい（以降非表示）」

APモード／APローカルモードオン中は待受画面にが表示されます。Wi-Fi対応機器からの接続待ちの状態になります。
- 「はい（以降非表示）」にしても、APモード確認表示で変更可能です。
- APモードオンを選択して起動中にを押して中断しようとすると、通信を切断する確認画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。確認画面が表示されたら「はい」を選択して通信を切断してください。

3 Wi-Fi対応機器側で接続設定する

本FOMA端末に設定されているSSIDをWi-Fi対応機器側に登録します。データ通信中はが表示されます。
- 無線設定の認証方式と同一の暗号化キーを入力します。MACアドレス制限を設定した場合は、Wi-Fi対応機器のMACアドレスをあらかじめ登録しておく必要があります。

4 FOMA端末とWi-Fi対応機器を接続する

対戦ゲームなどが利用できるようになります。

接続機器詳細表示：アクセスポイントモード通信中／APローカルモード接続中画面で i α［機器詳細］▶Wi-Fi対応機器を選択

外部機器登録一覧に登録：アクセスポイントモード通信中／APローカルモード接続中画面で i α［機器詳細］▶Wi-Fi対応機器にカーソル▶ 📷［機器登録］▶各項目を設定▶ 📷［登録］

外部機器登録→P384
- 最大登録件数を超える場合は、上書きの確認画面が表示されます。「はい」を選択して、上書きする機器を選択してください。
- 登録済みのWi-Fi対応機器では、同じ操作で登録内容を編集できます。

暗号化キーの確認：アクセスポイントモード通信中／APローカルモード接続中画面で ✉［認証キー］▶認証操作
- 認証方式が「なし（open）」の場合は表示されません。

APモード情報表示：アクセスポイントモード通信中／APローカルモード接続中画面で MENU［サブメニュー］▶ 3（APローカルモードでは 4）

F-LINK（APローカルモードのみ）：APローカルモード接続中画面で MENU［サブメニュー］▶ 2 ▶ 1～4

F-LINK→P389
- 「パソコン連携」を選択した場合は、現在の接続を切断してクライアントモードでパソコン連携を起動できます。

✔お知らせ
- 利用するWi-Fi対応機器により、接続ができない場合があります。接続に利用するWi-Fi対応機器の接続ソフトウェアの最新版を利用することにより改善する場合があります。

◆アクセスポイントモードAOSS™／WPS接続

Wi-Fi対応機器との接続時に、簡単な操作で接続できます。

1 MENU 6 ▶「Wi-Fi」▶ 2 ▶ 1 または 2 ▶「はい」または「はい（以降非表示）」▶ 📷［AOSS/WPS］

2 目的の操作を行う

AOSS™接続：「AOSS」▶「AOSS接続開始」
WPS接続：「WPS」▶「PINコード入力方式」または「プッシュボタン方式」▶「WPS接続開始」

- 「PINコード入力方式」を選択した場合は、Wi-Fi対応機器に表示されている半角数字8文字のPINコードを入力します。

3 Wi-Fi対応機器側で接続設定する▶接続完了後アクセスポイントモード通信中画面が表示される

✔お知らせ

- AOSS™登録機器数が最大件数の24件を超えると、古い登録データの削除確認画面が表示されます。新たな機器でAOSS™接続を利用する場合は「はい」を選択してください。
- 「無線設定」で認証方式を「WEP」、「WPA-PSK（TKIP/AES）」、「WPA2-PSK（TKIP）」に設定している場合は、WPS接続はできません。

外部機器登録一覧

Wi-Fi対応機器の登録内容を確認したり、手動でWi-Fi対応機器を登録したりします。

- 最大10件登録できます。

〈例〉Wi-Fi対応機器を登録する

1 MENU 6 ▶「Wi-Fi」▶ 2 4

2 ｉα［追加］▶各項目を設定▶ 📷［登録］

機器名：全角16（半角32）文字以内で入力します。
MACアドレス：半角の数字とA～Fの12文字で入力します。
インライン入力の操作方法→P340
制限有効時の接続：「有効」にすると、無線設定のMACアドレス制限が「有効」の場合でも接続することができます。また、外部機器登録一覧の機器名の左側に◯が表示されます。
編集：Wi-Fi対応機器を選択▶各項目を設定▶ 📷［登録］
削除：Wi-Fi対応機器にカーソル▶ ✉［削除］▶「はい」

アクセスポイントモードの各種設定・確認

アクセスポイントモードの情報を確認したり、各種設定を行います。

◆APモード情報表示

本FOMA端末に設定されているアクセスポイントモードの情報を表示します。

1 MENU 6 ▶「Wi-Fi」▶ 2 5

- 認証方式を設定している場合は、✉▶認証操作で暗号化キーを確認できます。

◆ APモード確認表示／利用設定

アクセスポイントモード起動時の確認画面表示や、APモードでの通信を利用して、インターネットに接続するかを設定します。

1 MENU 6 ▶「Wi-Fi」▶ 2

2 目的の操作を行う

APモード確認表示：7 ▶ 1 または 2
APモード利用設定：8 ▶「利用する」または「利用しない」

◆ APモード設定リセット

アクセスポイントモードの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 MENU 6 ▶「Wi-Fi」▶ 2 0 ▶ 認証操作 ▶「はい」

WEB設定ユーザ管理

パソコンなどWi-Fi対応機器のWEBブラウザからアクセスポイントモードの各種設定を変更できます。WEBブラウザからアクセスポイントにログインするためのユーザ情報を設定します。

1 MENU 6 ▶「Wi-Fi」▶ 2 9 ▶ 認証操作 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷［登録］

- ユーザ名とパスワードは、半角英数字8文字以内で入力します。
- ローカルIPアドレスは「192.168.0.1」～「192.168.255.254」で設定します。

◆ WEBブラウザから設定する

本FOMA端末をあらかじめアクセスポイントモードにして、登録済みのWi-Fi対応機器から操作します。→P383

- WEBブラウザの推奨環境はInternet Explorer7、8です。

1 WEBブラウザからアクセスポイントのローカルIPアドレスを入力してアクセスする

- ローカルIPアドレスは情報表示またはWEB設定ユーザ管理で確認できます。

2 ユーザ名とパスワードを入力 ▶「ログイン」をクリック

Wi-Fiアクセスポイント設定画面（無線設定）が表示されます。

3 設定項目の「無線設定」～「ユーザ管理」のいずれかをクリック ▶ 各項目を設定

- 認証方式に対応していない項目は設定できません。

4 「編集内容一時保存」または「アクセスポイントに反映」をクリック

- 続けて他の設定項目を設定する場合は、「編集内容一時保存」をクリックし、設定項目をクリックします。ログアウトするまで入力した設定は保持されますが、アクセスポイントに反映されません。
- 「アクセスポイントに反映」を選択した場合は、再起動の確認画面で「YES」を選択します。アクセスポイントモードが再起動して、接続が切断されます。
- 設定を反映しないで終了する場合は「ログアウト」を選択し、「YES」を選択します。

✔お知らせ

- 複数のWi-Fi対応機器から同時にWEB設定できません。
- 競合発生やデータアクセス失敗の画面が表示された場合は、設定が反映されません。「OK」を選択して再度設定を行ってください。

クライアントモード（子機）

本FOMA端末をご家庭などの小規模ネットワークや公衆無線LANサービスのアクセスポイントにクライアント（子機）として接続すると、Wi-Fi経由でインターネットを利用できます。ホームページの閲覧やデータのダウンロードだけでなく、データのアップロードも高速に処理できます。

- Wi-Fi経由でｉモードの利用はできません。
- Wi-FiからFOMAのネットワークに切り替えるとパケット通信料が発生し、通信料が高額になりますのでご注意ください。また、FOMAのネットワークに切り替えた場合、自動的にWi-Fiには戻りませんのでご注意ください。
- 公衆無線LANサービスを利用するには、別途、プロバイダなどとのサービス契約が必要です。
- 印刷機能を利用してFOMA端末内の静止画や電話帳を利用した宛名を、ネットワークに接続されたプリンタで印刷できます。→P335

新規接続先設定

接続先としてアクセスポイントの情報をFOMA端末に登録し、アクセスポイントに接続します。

- アクセスポイント側の設定方法や登録に必要な情報は、アクセスポイントの取扱説明書などをご覧ください。
- 接続先は最大20件登録できます。

✔お知らせ

- 接続先が20件を超える場合、またはすでに登録済みのアクセスポイントを選択する場合は、上書きする接続先を指定します。
- アクセスポイント機器によっては、接続後に通信ができない場合がありますが、次の操作を行うと改善することがあります。
  - アクセスポイント機器のソフトウェアとファームウェアを最新にする。
  - 接続先一覧のサブメニューで「設定情報編集」を選択▶MENU▶「はい」を選択し、「PowerSave設定」欄で「OFF」にしてから再接続する。→P388

◆ クライアントモードAOSS™接続

ご家庭のアクセスポイントなど、AOSS™に対応したアクセスポイントに接続します。アクセスポイントのAOSS™専用ボタンを押すだけで、設定が自動的に行われます。

1 MENU 6 ▶「Wi-Fi」▶ 1 3 1

2 **準備確認画面が表示されたら、アクセスポイント側でAOSS™専用ボタンを押す**

3 「OK」

- AOSS™対応のアクセスポイントが見つからなかったり、複数見つかったりした場合は、再度実行するか、クライアントモード検索登録（→P387）してください。

◆ クライアントモードWPS接続

公衆無線LANなど、WPSに対応したアクセスポイントに接続するために必要なSSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定します。

- アクセスポイントへの接続に失敗した場合は、再度実行するか、クライアントモード検索登録（→P387）してください。
- WPS接続を設定するには、FOMA端末で自動生成されるPINコードをアクセスポイントに登録して接続します。プッシュボタン方式に対応したアクセスポイントの場合は、プッシュボタンを押すだけで設定できます。

1 MENU 6 ▶「Wi-Fi」▶ 1 3 2

2 **「PINコード入力方式」を選択▶アクセスポイントを選択▶接続先名を入力（全角16（半角32）文字以内）▶ 📷 ［登録］▶FOMA端末画面に表示されたPINコードをアクセスポイント側で入力**

プッシュボタン方式：「プッシュボタン方式を選択」▶準備確認画面が表示されたら、アクセスポイント側でプッシュボタンを押す

3 「OK」

◆ クライアントモード検索登録

アクセスポイントを検索し、接続に必要な設定を行います。

〈例〉セキュリティありのアクセスポイントを登録する

1 MENU 6 ▶「Wi-Fi」▶ 1 3 3

- アクセスポイントは、受信レベルの高い順に最大10件表示されます。
- マークの意味は次のとおりです。
  : WPS対応アクセスポイント
  : セキュリティありアクセスポイント
  : セキュリティなしアクセスポイント
  (強:青色)〜(弱:グレー):電波状態(接続先一覧未登録)
  (強:青色)〜(弱:グレー):電波状態(接続先一覧登録済み)
- アクセスポイントにカーソル▶ 📷 でアクセスポイントの詳細情報を表示します。
- MENU で再検索を行います。

2 セキュリティありアクセスポイントを選択▶接続先名入力(全角16(半角32)文字以内)▶ 📷[登録]▶暗号化キー(WEPまたはPSK)を入力▶ 📷[登録]▶「はい」

- 暗号化キー(WEPまたはPSK)は、アクセスポイントに設定されているセキュリティキーを入力します。
- MENU ▶「はい」で詳細な設定ができます。

WPS対応の場合:**WPS対応アクセスポイントを選択▶対応確認画面で「はい」▶接続先名を入力(全角16(半角32)文字以内)▶ 📷[登録]▶WPS設定方式を選択▶アクセスポイント側で操作▶「OK」**

- セキュリティなしアクセスポイントを選択した場合は、接続先名を入力して 📷 ▶「はい」を押します。

◆ クライアントモード手動登録

アクセスポイントとの接続に必要な設定を手動で行います。

■ 簡易設定

接続先の簡易設定を行います。

1 MENU 6 ▶「Wi-Fi」▶ 1 3 4 ▶各項目を設定▶ 📷[登録]▶「はい」

SSID:アクセスポイントと同じ値を入力します。
接続先名:全角16(半角32)文字以内で入力します。
認証方式:アクセスポイントと同一の認証方式を選択します。

- 認証方式を「WEP」にした場合は暗号化キー(WEP)を、「WPA/WPA2-PSK」または「WPA2-PSK」にした場合は暗号化キー(PSK)を入力します。

■ 上級設定

接続先設定(簡易)画面から切り替えることで、すべての設定情報を手動で登録できます。

1 接続先設定(簡易)画面で MENU [上級設定]▶「はい」

簡易設定画面に切替:MENU [簡易設定]▶「はい」

2 各項目を設定▶ 📷[登録]▶「はい」

設定できる項目は次のとおりです。
SSID、接続先名、認証方式、暗号化キー(WEP)※1、KeyID※1、暗号化キー(PSK)※2、IPアドレス自動取得、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバアドレス自動取得、プライマリDNS、セカンダリDNS、HTTP Proxy設定、HTTP Proxyサーバ、ポート番号(HTTP)、ポート番号(SSL)、Proxy未使用アドレス、チャネル、PowerSave設定、Wi-Fi出力範囲
※1 認証方式がWEPの場合に設定します。
※2 認証方式がWPA/WPA2-PSKまたはWPA2-PSKの場合に設定します。

✔お知らせ

- 海外で利用する場合は、上級設定で通信チャネルを設定する必要があります。利用する国の規制を確認のうえ、「1-11ch」または「1-13ch」を設定します。

Wi-Fiモードオン／オフ

クライアントモードを起動して登録済みのアクセスポイント（接続先）と接続します。アクセスポイントに接続すると、フルブラウザを起動してインターネットを利用できます。

1 MENU 6 ▶「Wi-Fi」▶ 1 1

- アクセスポイントが1件も登録されていない場合は、アクセスポイントの検索を行うかの確認画面が表示されます。
- 登録済みのアクセスポイントが検出されなかった場合は、接続できなかった旨の画面が表示されます。「OK」を押すとWi-Fiモードをオンにしたまま待受画面に戻ります。

✔**お知らせ**

- 接続時にが表示された場合、フルブラウザによるインターネット接続ができないなど、接続が制限されます。次の点についてご確認ください。
  - 認証方式が「WEP」の場合は、暗号化キーが正しいか
  - アクセスポイント側のDHCP機能が有効になっているか
- ディスプレイの表示が消えて（画面オフ）から一定時間経過すると省電力状態となり、Wi-Fiモードオフになります。Wi-Fiを利用する機能（フルブラウザや印刷機能、F-LINKなど）を起動中に画面オフの場合は、一定時間Wi-Fi通信がないとWi-Fiモードオフになります。ディスプレイが表示されると、Wi-Fiモードオンに戻ります。また、ワンセグやカメラなどの画面オフにならないアプリ起動中は、Wi-Fiモードオフになりません。

◆ 接続先を指定して接続

接続先一覧から接続先を指定して接続します。

1 MENU 6 ▶「Wi-Fi」▶ 1 2

2 接続先にカーソル▶ ● ［接続］

接続先を指定してフルブラウザ起動：接続先にカーソル▶ MENU ［サブメニュー］▶ 7 ▶ 1 または 2 ▶「はい」

接続先一覧

接続先一覧で、設定を変更したり優先順位を変更したりします。

1 MENU 6 ▶「Wi-Fi」▶ 1 2 ▶目的の操作を行う

- 接続中の接続先名の横にが表示されます。

設定情報表示：接続先にカーソル▶ MENU ［サブメニュー］▶ 2
- 認証方式によって表示内容が異なります。

設定情報編集：接続先にカーソル▶ MENU ［サブメニュー］▶ 3
- 接続中は切断確認画面が表示されます。
- 手動登録の設定画面で設定を編集します。→P387

優先順位変更：MENU ［サブメニュー］▶ 6 ▶ ✉ ［上へ移動］または iα ［下へ移動］▶ 📷 ［登録］
- その他サブメニューには、「接続先新規作成」「削除」「切断」があります。

接続の更新：📷 ［接続更新］

クライアントモードの各種設定・確認

クライアントモードの情報を確認したり、設定リセットを行います。

◆ クライアントモード情報表示

Wi-Fiの情報を確認します。

1 MENU 6 ▶「Wi-Fi」▶ 1 4

接続中は接続に関する情報が、未接続（Wi-FiモードオフまたはWi-Fi圏外）時はMACアドレスと接続状態のみ表示されます。

情報の更新： ●［更新］

アクセスポイント検索： 未接続時に iα［AP検索］

- アクセスポイントを検索して接続します。→P387「クライアントモード検索登録」操作2以降

アクセスポイント切替： 接続中に iα［AP切替］

- アクセスポイントを検索して切り替えます。

接続の切断： 接続中に 📷［切断］

◆ クライアントモード設定リセット

クライアントモードの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 MENU 6 ▶「Wi-Fi」▶ 1 5 ▶ 認証操作 ▶「はい」

- 接続中の場合は、切断後にリセットされます。

F-LINK

本FOMA端末はF-LINKに対応しています。Wi-Fi機能を利用してパソコンなどの外部機器と接続し、ファイルの共有や画像／動画のデータの送受信ができます。

またパソコン連携、ダイレクト送受信では、アクセスポイントを経由して同じネットワークに接続していなくても、F-LINK対応機器どうしであれば直接Wi-Fi接続することもできます。

- F-LINK対応のパソコンまたはFOMA端末が必要です。F-LINK非対応のパソコンでも、F-LINKソフトをダウンロードしてインストールすることでF-LINKをご利用いただけます。
  F-LINKソフトのダウンロードや対応機種などについては、パソコンから次のホームページをご覧ください。
  FMWORLD（http://www.fmworld.net/）→携帯電話→F-LINKソフト

■ パソコン連携

F-LINK対応パソコンと連携して、FOMA端末内の写真や動画、歩数／活動量をパソコンからの操作で簡単に送信できます。

- パソコン連携を行うには、F-LINK搭載のパソコンが必要です。富士通製F-LINK搭載パソコンではFOMA端末のデータと連動するアプリケーションをご利用いただけます。F-LINKソフトをダウンロードしてインストールしてご利用いただく場合は、一部の機能が利用できません。

■ ダイレクト送受信、データ共有／取込

FOMA端末またはmicroSDカード内のデータをF-LINK対応機器と簡単にやり取りできます。

- サポートしているデータは次のとおりです。
  マイピクチャ： JPG、GIF、SWF、MPO
  ｉモーション・ムービー： ASF、MP4、3GP
  マイドキュメント： PDF
  その他： DOC、DOCX、XLS、XLSX、PPT、PPTX
  （microSDカードの場合は、上記以外のデータも扱えます。）
  マイコレクション
- 一度に送受信可能なデータ数合計は1000件までです。
- 1件あたりのファイルサイズが1GBを超えるデータは送受信できません。
  ファイルサイズの大きなデータを受信する場合は、保存先をmicroSDカードに設定することをおすすめします。
- 一度に表示・選択可能な送信先／取込元機器の数は10件までです。

パソコン連携

パソコン連携を行うパソコンをFOMA端末に登録して、FOMA端末のデータを送信します。
- FOMA端末はWi-Fiクライアントモードで接続します。
- F-LINKのパソコン連携に対応したパソコンが必要です。
- パソコン側に連動アプリケーションがインストールされているデータのみ取り込むことができます。

1 **パソコン側でF-LINKソフトを起動し、「ケータイ連携」の「ケータイ登録」を実行**

2 **MENU 6 ▶「F-LINK／ホームメディア」▶ 1 1**

- パソコン連携対応機器が未登録の場合や、パソコン連携画面で「他のパソコンを連携先に追加」を選択した場合などは、パソコン登録の確認画面が表示されます。パソコン側で操作後●を押すと、パソコンを再検索します。再検索してもパソコンが検索されなかった場合は、アクセスポイントが検索されます。連携するパソコンが接続しているアクセスポイントを選択してください。→P387

3 **パソコン側で取り込むデータの操作を行う**

パソコンから要求されたデータがFOMA端末から送信されます。

✔お知らせ
- パソコン連携中にパソコンからAPモードへの切り替えを要求された場合は、クライアントモードを切断してAPモードを起動するかどうかの確認画面が表示されます。

ダイレクト送信

FOMA端末またはmicroSDカードからF-LINK対応機器へデータを送信します。
- あらかじめ送信先機器でダイレクト受信の準備をしてください。

〈例〉F-LINK対応機器どうしで直接接続する

1 **MENU 6 ▶「F-LINK／ホームメディア」▶ 1 2 ▶ 1〜5**

2 **フォルダまたはアルバムを選択▶データを選択▶ 📷［選択完了］▶「はい」**

- microSDカードのデータを選択するときは、「→microSD」を選択します。

3 **送信先機器を選択▶ 📷［送信］**

認証設定されている送信先機器を選択した場合：送信先機器と同じパスキー（半角英数字4〜16文字）を入力▶ 📷［確定］
- ネットワーク経由で接続している場合は、送信先選択画面で「検索切替」を選択してその他の送信先機器を検索できます。APローカルモードで接続中の場合は、現在の接続を切断してその他の送信先機器を検索します。クライアントモードで接続中の場合は、ネットワーク内外の送信先機器を検索します。

4 **送信結果一覧画面で 📷［完了］**

- MENUを押して送信先機器を変更できます。

ダイレクト受信

F-LINK対応機器からデータを受信し、FOMA端末またはmicroSDカードに保存します。

〈例〉F-LINK対応機器どうしで直接接続する

1 MENU 6 ▶「F-LINK／ホームメディア」▶ 1 3

2 「自宅モード」または「外出先モード」を選択

- ネットワーク経由で接続している場合は、「自宅モード」または「外出先モード」の選択画面は表示されません。
- 「外出先モード」を選択した場合は、パスキー（半角数字4～16文字）を入力して 📷 を押します。送信側の機器でも同じパスキーを入力する必要があります。

3 送信機器側でダイレクト送信を行う

📷：受信したデータを確認できます。

データ共有／取込

FOMA端末またはmicroSDカードのデータをF-LINK対応機器で共有できるように設定したり、共有設定されているデータをFOMA端末またはmicroSDカードに保存したりします。

- 送信先／取込元の機器は、同じネットワークに接続されている必要があります。

1 MENU 6 ▶「F-LINK／ホームメディア」▶ 1 4

2 目的の操作を行う

データの共有：1 ▶ 1～4 ▶ フォルダを選択 ▶ データを選択 ▶ 📷［選択完了］▶「はい」

共有が開始され、F-LINK対応機器側からデータの参照や取り込みができます。

- microSDカードのデータを選択するときは、「→microSD」を選択します。
- F-LINKがなくても、パソコンやWi-Fi対応携帯端末のWEBブラウザでアドレスを入力することにより、本FOMA端末のデータを参照したり取り込んだりできます。ただし、WEBブラウザの環境によってはご利用になれない場合があります。
- MENUで共有を終了します。
- ドコモminiUIMカードを取り外したり交換したりした場合は、データ共有の選択状態は解除されます。
- データ共有設定しているデータを移動・削除した場合、データ共有の選択状態は次回データ共有実行時に更新されます。

データの取込：2 ▶ 取込元の機器を選択 ▶ フォルダを選択 ▶ データを選択 ▶ 📷［取込開始］

- あらかじめ、取込元の機器側でデータの共有設定をしておく必要があります。
- 📷：取り込んだデータの確認ができます。

共有データの参照：3

- データの種別に関係なく、共有設定されているデータが一覧表示されます。
- サムネイルが表示され、サムネイルがないデータは代替アイコンが表示されます。

■ 接続設定

ネットワークに接続していない場合や、現在の接続先を変更する場合に、接続の設定を行います。

- ネットワークに接続中に接続先を変更する場合は、現在の接続を切断する旨の確認画面が表示されます。

1 取込機器一覧で MENU［接続設定］またはデータ共有中画面で 📷［接続設定］

2 目的の操作を行う

クライアントモードで接続する：1

- F-LINK対応機器またはアクセスポイントを検索します。

APローカルモードで接続する：2

- ネットワークを作成し、接続待ちの状態になります。F-LINK対応機器側で接続操作を行ってください。

接続履歴一覧から接続する：3

受信データ確認

F-LINK対応機器から受信したデータを確認できます。

- 受信データは、種別ごとにFOMA端末の「外部取得データ」フォルダまたはmicroSDカードの「F-LINK」フォルダに保存されます。ただし、デコメ絵文字（画像サイズが20×20のJPEGまたはGIF形式）をFOMA端末に保存した場合は、「デコメ絵文字」配下の「お気に入り」フォルダに保存されます。

1 **MENU 6 ▶「F-LINK／ホームメディア」▶ 1 5 ▶「OK」または「OK（以後表示しない）」**

- 「OK（以後表示しない）」を選択すると、メッセージ画面は表示されなくなります。

2 **1 ～ 4 ▶ フォルダを選択**

- microSDカードのデータを選択するときは、「→microSD」を選択します。

F-LINK設定

F-LINK利用時の各種設定を行います。

◆ 保存先設定

F-LINK対応機器から受信したデータの保存先を設定します。

1 **MENU 6 ▶「F-LINK／ホームメディア」▶ 1 6 1 ▶ 1 または 2**

◆ F-LINK名設定

接続履歴一覧や検索結果の一覧などに表示されるF-LINKで使用するFOMA端末の名称を設定します。

1 **MENU 6 ▶「F-LINK／ホームメディア」▶ 1 6 2 ▶ F-LINK名を入力（全角9（半角28）文字以内）▶ 📷［登録］**

◆ 無線設定

APローカルモードでF-LINKを利用する場合の接続設定を行います。

1 **MENU 6 ▶「F-LINK／ホームメディア」▶ 1 6 3 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷［登録］**

- 設定内容はアクセスポイントモードの「無線設定」と同じです。→P382

ホームメディア

パソコンなどのDLNAまたはホームメディア対応機器とネットワーク経由で接続して、保存されているデータを送受信したり（クライアント機能）、FOMA端末内のフォルダをホームメディア対応機器に公開したり（サーバ機能）できます。

- ホームメディアを利用するには、FOMA端末がクライアントモードでWi-Fi接続されている必要があります。→P386
- FOMA端末とすべてのホームメディア対応機器間での連携を保証するものではありません。
- ホームメディア対応機器の操作については、ホームメディア対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- 正常に接続できない場合は、アクセスポイント、FOMA端末、ホームメディア対応機器の接続設定や、ホームメディア対応機器のセキュリティソフト／ファイアウォールの設定などを確認してください。
- アクセスポイントやご使用中の環境により、正常に接続できなかったり、使用中に接続が切断されたりする場合があります。その場合は一度終了し、再度接続してください。

クライアント設定

ホームメディア対応機器に接続して、データの送受信を行うための設定を行います。
- クライアント機能では、静止画（JPEG）、動画（MP4、ASF）が送受信できます。また、WMV形式の動画は受信のみ可能です。

1 MENU 6 ▶「F-LINK／ホームメディア」▶ 2 4

2 各項目を設定 ▶ 📷［登録］

自動接続：ホームメディア対応機器に自動で接続するかを設定します。
自動接続先：自動接続するホームメディア対応機器名が表示されます。
- 自動接続先が設定されていない場合は「機器を選択する」が表示され、選択するとホームメディア対応機器を検索します。

静止画／**動画の保存先**：FOMA端末またはmicroSDカードを選択します。
- 「動画の保存先」の設定に関わらず、WMV形式およびASF形式の動画はmicroSDカードに保存されます。
- WMVとASF形式の動画は、FOMA端末での再生や表示に対応していないデータも受信し、microSDカードに保存されます。そのため、MENU 6から「microSD」を選択して表示しようとしても一覧画面に表示されなかったり、表示されても再生できない場合があります。
- microSDカードが未挿入時、microSDパスワード設定中、遠隔カスタマイズによる外部メモリ機能制限中は、microSDカードは選択できません。

外部機器のデータ取得

ホームメディア対応機器が公開しているデータを取得し、指定した保存先に保存します。
- あらかじめホームメディア対応機器側のフォルダまたはデータに公開設定をしておきます。

〈例〉自動接続を設定している場合

1 MENU 6 ▶「F-LINK／ホームメディア」▶ 2 1 ▶ フォルダを選択

- ホームメディア対応機器によりフォルダの階層は異なります。
- 自動接続先が検出できなかった場合や、クライアント設定で「自動接続」がOFFの場合または「自動接続先」が未設定の場合は、接続可能な外部機器一覧が表示されるので、接続先を選択します。
- 外部機器一覧で自動接続先に登録されている機器名には、AUTOが表示されます。また、接続先にカーソル ▶ 📷で自動接続先の登録／解除ができます。

2 取得するデータを選択

- MENU 6を押して、タイトル入力によるデータの検索ができます。

3 iα［データ取得］▶「はい」▶「OK」

外部機器へデータ送信

FOMA端末またはmicroSDカード内のデータをホームメディア対応機器へ送信します。
- データ送信（アップロード）先のホームメディア対応機器は、クライアントからのデータ送信（アップロード）に対応している必要があります。お使いの機器が対応しているかご確認ください。
- あらかじめホームメディア対応機器側で、データを受信できる状態にしておいてください。

〈例〉自動接続を設定している場合

1 MENU 6 ▶「F-LINK／ホームメディア」▶ 2 2 ▶ 1〜3 ▶ フォルダまたはアルバムを選択 ▶ データを選択 ▶ 📷［選択完了］

- 自動接続先が検出できなかった場合や、「自動接続」がOFFの場合または「自動接続先」が未設定の場合は、外部機器の一覧画面が表示されるので、接続先を選択し、「はい」を選択します。
- 外部機器一覧で自動接続先に登録されている機器名には、AUTOが表示されます。また、接続先にカーソル ▶ 📷で自動接続先の登録／解除ができます。

サーバ設定

FOMA端末またはmicroSDカード内のフォルダを公開設定し、ホームメディア対応機器にデータを公開できます。データを公開すると、ホームメディア対応機器側でデータを再生できます。

- 公開できるフォルダは次のとおりです。
  - 静止画は、FOMA端末ではマイピクチャの「カメラ」「ｉモード」「外部取得データ」「自動お預かり」フォルダまたは作成したフォルダ。microSDカードではマイピクチャの「カメラフォルダ100」「その他静止画」フォルダ、インポートフォルダ、作成したフォルダ。
  - ビデオは、FOMA端末ではｉモーション・ムービーの「カメラ」「ｉモード」「外部取得データ」フォルダまたは作成したフォルダ。microSDカードではｉモーション・ムービーの「動画（HD、その他）」フォルダ、インポートフォルダ、作成したフォルダ。
  - オーディオは、microSDカードのインポートフォルダ。
- 最大1000件まで公開できます。
- ホームメディア対応機器は最大2台まで同時に接続できます。
- ホームメディア対応機器で動画の再生を行う場合、ネットワークの状態や端末の負荷状態、動画データの仕様によっては正常に再生できない場合があります。
- データBOXまたはmicroSDカードが、遠隔カスタマイズによる外部メモリ機能制限中はフォルダの公開ができません。

1 MENU 6 ▶「F-LINK／ホームメディア」▶ 2 5

2 目的の操作を行う

公開フォルダ設定：1 ▶ファイル種別を選択▶ 1 ▶フォルダを選択▶ 📷［登録］
- 「インポート」フォルダはmicroSDカードのみ選択できます。

機器名称設定：2 ▶ ● ［編集］▶機器名を入力（全角20（半角40）文字以内）▶ 📷［確定］

接続アクセスポイント設定：3 ▶接続先を選択▶ ● ［決定］▶ 📷［登録］
- 接続先が未設定の場合は、アクセスポイントを設定してください。

外部機器へデータ公開

公開フォルダ設定で登録したデータを、ホームメディア対応機器からアクセスできるようにします

1 MENU 6 ▶「F-LINK／ホームメディア」▶ 2 3
- データ公開中の状態になります。ホームメディア対応機器から操作します。

付録／困ったときには

外部機器との連携

困ったときには

メニュー一覧

- 表示メニュー設定を「ベーシックメニュー」にした場合のメニュー一覧を記載しています。□はメニュー番号の割り当てられていないメニュー項目です。
- 赤文字は、各種設定リセットを行うとお買い上げ時の状態に戻るメニューです。
- 端末色によって、設定されているきせかえツールは異なります。

■メール

メニュー	お買い上げ時	参照
11受信BOX	―	140
12送信BOX	―	140
13未送信BOX	―	140
14新規メール作成	―	128
15新規デコメアニメ作成	―	131
16デコメテンプレート		
161デコメール	―	132
162デコメアニメ	―	132
17新規SMS作成	―	153
18メール／メッセージ問合せ	―	137
19SMS問合せ	―	154
10メール選択受信	―	137
1*メール設定		
1*1受信設定		
1*11メール選択受信設定	OFF	147
1*12メール受信添付ファイル設定	すべて選択	150
1*13添付ファイル自動再生設定	自動再生する	150
1*14メール着信音		
1*141メール着信音	メール：メロディ／Commune 鳴動時間（秒）：10	83
1*142メッセージR着信音	メッセージR：メロディ／Commune 鳴動時間（秒）：10	83
1*143メッセージF着信音	メッセージF：メロディ／Commune 鳴動時間（秒）：10	83
1*144SMS着信音	SMS：メロディ／Commune 鳴動時間（秒）：10	83
1*2表示設定		
1*21受信・自動送信表示	通知優先	150
1*22メッセージ自動表示設定	メッセージR優先	151
1*23詳細直接表示設定	OFF	147
1*24プレビュー後既読設定	ON	147
1*25メモ検索リンク表示設定	ON	147
1*26新着情報アイコン動作設定	受信メール全件表示	147
1*3署名編集設定※1	―	146
1*4定型文／単語登録		
1*41定型文	―	345
1*42単語登録	―	347
1*5メール／メッセージ問合せ設定		
1*51メール	ON	147
1*52メッセージR	ON	147
1*53メッセージF	ON	147
1*6返信設定		
1*61メール返信引用設定	引用：OFF 引用文字：〉	148
1*62クイック返信設定	ON	148
1*63クイック返信本文登録	また後でかけ直します OKです NGです ありがとうございます ごめんなさい よろしくお願い致します キャンセルです 今忙しい 了解しました ちょっと待ってください	148

メニュー	お買い上げ時	参照
1*64デコメ絵文字自動学習	OFF	148
1*65メール返信時自動学習	ON	148
1*7メール自動返信設定		
1*71自動返信ON／OFF設定	OFF	149
1*72自動返信本文・宛先設定	ただ今手が離せませんので、後ほどご連絡致します。	149
1*73自動返信契機設定	メール受信時	150
1*74マナーサポート検知設定	乗り物マナーサポート、マナーモード設定：ON 自動返信設定、ロケーションマナーサポート：OFF	87
1*8メールグループ	―	147
1*9ブログ／動画／SNS投稿先設定	―	148
1*0アドレス・迷惑メール設定	―	150
1**編集時自動保存設定	ON	151
1*#SMS設定		
1*#1送達通知設定	要求しない	154
1*#2有効期限設定	3日	154
1*#3本文入力設定	日本語（70文字）	154
1*#4SMSセンター設定	ドコモ	154
1*□緊急速報「エリアメール」設定		
1*□1受信設定	利用する	153
1*□2ブザー鳴動時間	鳴動時間（1～30）：10秒	153
1*□3マナー／公共モード時設定	マナー／公共モード時も鳴動	153
1*□4着信音確認	［緊急地震速報、災害・避難情報］―	153
1*□5その他		
1*□51受信登録	―	153
1#メール送受信履歴		
1#1メール送信履歴	―	145
1#2メール受信履歴	―	145

■ i モード／web

メニュー	お買い上げ時	参照
21 i Menu 検索	―	158
22Bookmark	―	166
23画面メモ	―	168
24サイト閲覧履歴	―	165
25URL入力		
251URL入力	http://	165
252URL入力履歴	―	165
26 i チャネル		
261 i チャネル一覧	―	180
262テロップ表示設定	テロップ表示設定：表示する テロップ速度：標準 テロップ文字サイズ：大（標準） テロップ色：パターン1	180
263 i チャネル初期化	―	180
27RSSリーダー	―	169
28ワンタッチサイト	―	167
29 i モード／web設定		
291 i モードブラウザ設定		
2911画像表示設定	表示する	172
2912サウンド設定	Level 5	172
2913動画自動再生設定	自動再生する	179
2914ページ内データ取得設定	毎回確認	172
2915Script動作設定	有効	172
2916端末情報利用設定	利用する	172
2917文字サイズ設定	中（標準）	172
2918Cookie／Referer		
29181Cookie設定	有効	172
29182Cookie削除	―	172
29183Referer設定	有効	172
2919タブ自動起動設定	自動起動する	172
2910ポインタ表示設定	表示しない	172
292フルブラウザ設定		
2921画像表示設定	表示する	172
2922サウンド設定	Level 5	172
2923ページ内データ取得設定	毎回確認	172

メニュー	お買い上げ時	参照
2924Script動作設定	有効	172
2925端末情報利用設定	利用する	172
2926文字サイズ設定	中（標準）	172
2927ズーム	100%	172
2928Cookie／Referer		
29281Cookie設定	有効	172
29282Cookie削除	―	172
29283Referer設定	有効	172
2929タブ自動起動設定	自動起動する	172
2920ポインタ表示設定	表示する	172
292*フルブラウザホーム設定	http://www.google.co.jp	172
292#表示モード設定	PCレイアウトモード	172
292□フルブラウザ確認表示	毎回表示	172
292□フルブラウザ利用設定	利用しない	172
292□ショートカット	1縮小、2↑ページスクロール、3拡大、4←ページスクロール、5レイアウト表示、6→ページスクロール、7リンクを新しいタブで開く、8↓ページスクロール、9Bookmark一覧、0ページ内検索、*ビジュアル履歴、#ログイン情報貼付	172
292□自動通信サイズ設定	毎回確認	172
292□接続切替画面設定	表示する	172
293共通設定		
2931証明書設定※2	すべて有効	174
2932各社発行証明書設定	―	174
2933セキュア通信サービス設定		
29331端末暗証番号入力省略設定	ON	175
2934接続先設定	ｉモード	173
2935ｉモードボタン設定	ｉMenu 検索接続	173
2936ログイン情報登録	―	173
2937自動レイアウト表示設定	ON	173
2938ポインタ移動距離設定	普通	173
2939ポインタ加速度設定	普通	173
2930Bookmark表示設定	サムネイル表示	173
293*スクロール設定	1行	173
293#照明設定		
293#1照明点灯時間設定	端末設定に従う	173
293#2明るさ調整	端末設定に従う	173
293□新規タブ開き方設定	表で開く	173
294ｉモード設定確認	―	173
295ｉモード設定リセット	―	173
20検索サービス	Google検索、Googleニュース検索、Google画像検索	311
2*フルブラウザホーム	―	160

■ｉアプリ

メニュー	お買い上げ時	参照
31ソフト一覧	―	233
32ｉアプリコール履歴	―	240
33ｉアプリ実行情報	［自動起動失敗履歴、異常終了履歴、セキュリティエラー履歴］―	235 239 243
34ｉアプリ設定		
341ｉアプリ音量	Level 5	236
342ソフト情報表示設定	表示しない	233
343自動起動設定	自動起動する	239
344ｉウィジェット設定		
3441ｉウィジェット効果音設定	ON	245
3442ｉウィジェット海外利用設定	いいえ	245
345オートGPS優先設定	OFF	241
346ソフトの並べ替え	使用日時順	243
347照明点灯時間設定	端末設定に従う	236
348明るさ調整	端末設定に従う	236
349バイブレータ設定	使用する	236
340ツータッチｉアプリ表示	―	238
34*ｉアプリ省電力設定	OFF	236
34#ｉアプリコールダウンロード設定	拒否しない	240

■カメラ／TV／MUSIC

メニュー	お買い上げ時	参照
41カメラ		
411静止画撮影	—	186
412動画撮影	—	189
413静止画アルバム	—	270
414動画再生	—	278
42ワンセグ		
421ワンセグ視聴	—	205
422番組表	—	207
423録画した番組	—	306
424予約／予約リスト	—	210
425録画予約履歴	—	212
426テレビリンク	—	208
427チャンネルリスト	—	203
428ユーザ設定		
4281画面設定	照明設定：自動調整 字幕表示：通話中・マナー時表示 字幕サイズ：中（標準） 字幕言語切替：第一言語 アイコン常時表示：ON テロップ表示 メール受信時、インフォメーション受信時：表示しない	213
4282音声設定	音声切替：第一音声 主・副音声切替：主音声	213
4283データ放送設定		
42831表示・効果設定	画像表示設定：表示する 効果音設定：ON アクティブ操作切替：OFF	213
42832ワンセグからトルカ取得	ON	213
42833放送用保存領域削除	—	213
42834確認表示設定リセット	—	213
4284クローズ動作設定	継続	214
4285再生設定	CM自動スキップ、オートスキップ：ON スキップ通知：通知する	214
4286録画設定	録画先：自動（microSD優先） 録画終了時間：指定なし	214
43ミュージックプレーヤー	—	219
44Music&Videoチャネル	—	224 225

■データBOX

メニュー	お買い上げ時	参照
51マイピクチャ	—	270
52ミュージック	—	219
53Music&Videoチャネル	—	228
54ｉモーション・ムービー	—	278
55メロディ	—	283
56コンテンツパッケージ	—	283
57マイドキュメント	—	304
58きせかえツール	—	95
59マチキャラ	—	282
50キャラ電	—	282
5*ワンセグ	—	306
5#ホームメディア	—	392
5□その他	—	305
5□マイコレクション	—	275

■便利ツール

メニュー	お買い上げ時	参照
61バーコードリーダー	—	197
62電卓	—	325
63アラーム	—	314
64赤外線／iC通信		
641赤外線受信	［受信、全件受信］—	301
642赤外線全件送信	—	301
643iC全件送信	—	301

メニュー	お買い上げ時	参照
644データ送受信設定	通信終了音：OFF 自動認証：なし 電話帳の画像送信：あり	303
65スケジュール	―	316
66メモ	―	325
67ボイスレコーダー	―	303
68ウォーキング／Exカウンター		
681歩数／活動量／カロリー情報	―	313
682ウォーキング／Exカウンター設定	利用する 身長（100～220cm）：160cm 体重（30～120kg）：50kg	312
69お知らせタイマー	03分	314
60ケータイデータお預かりサービス		
601データ確認／ダウンロード	―	121
602電話帳を更新	―	121
603スケジュール等を更新	―	123
604画像を更新	―	123
605設定情報を更新	―	123
606詳細設定／通信履歴		
6061自動更新設定	―	124
6062電話帳画像送信設定	電話帳内画像送信：なし	124
6063メモ添付画像送信設定	メモ添付画像送信：あり	124
6064その他設定	―	124
6065通信履歴確認	―	124
6*microSD	―	291
6#使いかたガイド	―	40
6□Bluetooth		
6□1接続待機	―	332
6□2Bluetooth受信	―	334
6□3Bluetooth全件送信	―	334
6□4機器リスト・接続・切断	―	331
6□5新規機器登録	―	331
6□6Bluetooth電源オン／オフ	―	332
6□7Bluetooth設定		
6□71自局情報	機器名称：F01E	335
6□72サーチ時間	サーチ時間（秒）：5	335
6□73ミュージック自動起動設定	ON	335
6□74着信音送出設定	送る	335
6□75全件転送パスワード設定	パスワード無し	335
6□Wi-Fi		
6□1クライアントモード（子機）		
6□11Wi-Fiモードオン／オフ	―	388
6□12接続先一覧	―	388
6□13新規接続先設定		
6□131AOSS	―	386
6□132WPS	―	386
6□133検索登録	―	387
6□134手動登録	SSID、接続先名：ー 認証方式：なし	387
6□14クライアントモード情報表示	―	389
6□15クライアントモード設定リセット	―	389
6□2アクセスポイントモード（親機）		
6□21APモードオン	―	383
6□22APローカルモードオン	―	383
6□23接続先（APN）一覧	mopera U 128k	382
6□24外部機器登録一覧	―	384
6□25APモード情報表示	―	384
6□26無線設定	SSID：端末により異なる ステルス／Any接続拒否、AP省電力モード：OFF 認証方式：なし（open） 無線チャネル：Auto 機器未接続動作：15分後に終了 接続台数制限：1 MACアドレス制限：無効	382
6□27APモード確認表示	毎回表示	385
6□28APモード利用設定	利用しない	385

メニュー	お買い上げ時	参照
6□29WEB設定ユーザ管理	ユーザ名：root パスワード：ー ローカルIPアドレス：192.168.0.1	385
6□20APモード設定リセット	―	385
6□F-LINK／ホームメディア		
6□1F-LINK		
6□11パソコン連携	―	390
6□12ダイレクト送信	―	390
6□13ダイレクト受信	―	391
6□14データ共有／取込	―	391
6□15受信データ確認	―	392
6□16設定		
6□161保存先設定	本体	392
6□162F-LINK名設定	F-LINK名：端末により異なる	392
6□163無線設定	SSID：端末により異なる ステルス／Any接続拒否、AP省電力モード：OFF 認証方式：なし（open） 無線チャネル：Auto 機器未接続動作：15分後に終了 接続台数制限：1 MACアドレス制限：無効	392
6□2ホームメディア		
6□21外部機器のデータ取得	―	393
6□22外部機器へデータ送信	―	393
6□23外部機器へデータ公開	―	394
6□24クライアント設定	自動接続：OFF 静止画の保存先、動画の保存先：本体	393
6□25サーバ設定	［公開フォルダ設定］ マイピクチャ、ｉモーション・ムービー、インポート：未設定 ［機器名称設定］F-01E	394
6□電子辞書	―	326
6□ワンタッチアラーム設定	ワンタッチアラーム設定：OFF	315
6□名刺リーダー	―	199
6□宛名印刷	―	336
6□方位磁石	―	328

メニュー	お買い上げ時	参照
6□定型文／単語登録		
6□1定型文	―	345
6□2単語登録	―	347
6□ダウンロード辞書	―	348
6□音声クイック起動	―	310
6□しゃべって検索	―	310
6□ドコモへのお問合せ		
6□1ドコモ総合案内・受付	―	356
6□2ドコモ故障問合せ	―	356
6□3海外紛失・盗難等	―	356
6□4海外故障	―	356

■電話機能

メニュー	お買い上げ時	参照
71電話帳		
711電話帳検索	全件表示（50音）	74
712電話帳登録	―	73
713UIMカード（FOMAカード）操作	―	73
714グループ登録	―	77
72伝言メモ／音声メモ		
721伝言メモ一覧	―	66
722音声メモ一覧	―	66
723音声メモ録音	―	323
724伝言メモ設定	OFF	65
73発着信履歴		
731着信履歴	―	54
732リダイヤル	―	54
74発着信・通話設定		
741迷惑電話ストップ		
7411着信番号拒否登録	―	356
7412番号指定拒否登録	―	356
7413全登録番号削除	―	356
7414最終登録番号削除	―	356

メニュー	お買い上げ時	参照
7415登録件数確認	―	356
7416詳細設定	―	356
742番号通知お願いサービス		
7421開始	―	356
7422停止	―	356
7423設定確認	―	356
743発信者番号通知		
7431設定確認	―	49
7432設定	―	49
744通話中の着信動作		
7441通話中の着信動作選択	通常着信	357
7442通話中着信設定		
74421開始	―	357
74422停止	―	357
74423設定確認	―	357
745発信詳細設定		
7451サブアドレス設定	ON	59
7452プレフィックス設定	プレフィックス1：009130010	59
746着信詳細設定		
7461エニーキーアンサー設定	ON	64
7462オート着信設定	自動着信機能：オート着信なし	64
7463呼出動作開始時間設定	着信呼出動作：OFF	120
7464マルチアクセス中表示	設定なし	64
7465着信中オープン応答	OFF	64
747通話中詳細設定		
7471通話品質アラーム音	アラームOFF	62
7472再接続アラーム音	アラームOFF	62
7473ノイズキャンセラ設定	ON	62
7474通話中クローズ設定	切断	62
7475保留音設定		
74751応答保留ガイダンス設定	保留音：内蔵音	62
74752通話保留音	保留音1	62
7476受話音量	Level 5	62

メニュー	お買い上げ時	参照
748イヤホン機能設定		
7481イヤホン切替設定	イヤホン+スピーカー	329
7482イヤホンスイッチ発信設定	イヤホンスイッチ発信設定：OFF	329
749着信拒否設定		
7491登録外着信拒否	OFF	119
7492メモリ別着信拒否／許可	拒否設定	119
7493非通知設定	設定解除	119
7494公衆電話	設定解除	119
7495通知不可能	設定解除	119
740着信通知		
7401開始		
74011通知対象　全着信	―	354
74012通知対象　発番号あり	―	354
7402停止	―	354
7403設定確認	―	354
74*電話発着信設定		
74*1電話発信設定	イメージ表示：きせかえツールに従う	91
74*2電話着信設定	着信音：メロディ／Calling イメージ表示：きせかえツールに従う バイブレータ：OFF イルミネーション：点滅／レモン キーイルミネーション：レモン アニメーション：OFF	82
74*3発着信番号表示設定	識別表示：OFF	91
75テレビ電話設定		
751テレビ電話発信設定	イメージ表示：きせかえツールに従う	91
752テレビ電話着信設定	着信音：メロディ／GlobalCalling イメージ表示：きせかえツールに従う バイブレータ：OFF イルミネーション：点滅／レモン キーイルミネーション：ストロベリー	82
753パケット通信中着信設定	テレビ電話優先	69

メニュー	お買い上げ時	参照
7 5 4 テレビ電話動作設定	音声自動再発信：OFF テレビ電話画面設定：両方 子画面表示：自画像 画面サイズ設定：大 受信画質設定：標準 明るさ調整：自動調整 ハンズフリー設定：ON	68
7 5 5 テレビ電話画像選択	[代替画像] イメージ表示：標準キャラ電 [伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像] イメージ表示：標準画像	68
7 5 6 テレビ電話切替機能通知		
7 5 6 1 切替機能通知開始	―	68
7 5 6 2 切替機能通知停止	―	68
7 5 6 3 切替機能通知設定確認	―	68
7 5 7 テレビ電話使用機器設定	本体	69
7 6 通話時間・料金		
7 6 1 通話料金表示	―	324
7 6 2 通話時間表示	―	324
7 6 3 通話料金自動リセット設定	OFF	324
7 6 4 通話料金上限通知	通話料金上限通知：OFF	324
7 6 5 上限通知アイコン消去	―	324
7 7 災害用音声お届けサービス	―	52
7 8 声の宅配便		
7 8 1 メッセージ確認・設定（サイト）	―	56
7 8 2 メッセージ確認（音声）	―	56
7 8 3 設定（音声）	―	56
7 9 2in1		
7 9 1 2in1モード切替	デュアルモード	360
7 9 2 電話帳2in1設定	―	360
7 9 3 モード別待受画面設定		
7 9 3 1 デュアルモード	White Sands	360
7 9 3 2 Aモード	きせかえツールに従う	360
7 9 3 3 Bモード	Glass	360
7 9 4 番号別発着信設定		

メニュー	お買い上げ時	参照
7 9 4 1 発着信番号表示設定	Aナンバー識別表示：OFF Bナンバー識別表示：ON 識別記号：《》	360
7 9 4 2 着信設定		
7 9 4 2 1 Aナンバー	[電話着信音] 電話：メロディ／Calling [テレビ電話着信音] テレビ電話：メロディ／GlobalCalling [メール着信音] メール：メロディ／Commune 鳴動時間（秒）：10 [SMS着信音] SMS：メロディ／Commune 鳴動時間（秒）：10	360
7 9 4 2 2 Bナンバー	[電話着信音] 電話：メロディ／ClassicalCalling [テレビ電話着信音] テレビ電話：メロディ／ShortNormalCalling [メール着信音] メール：メロディ／Wood 鳴動時間（秒）：10 [SMS着信音] SMS：メロディ／Wood 鳴動時間（秒）：10	360
7 9 5 2in1機能OFF	―	360
7 9 6 着信回避設定		
7 9 6 1 着信回避設定変更	―	360
7 9 6 2 着信回避設定確認	―	360
7 9 6 3 モード切替連動設定	―	360
7 9 6 4 着信回避設定（海外）	―	360
7 0 メロディコール	―	84
7 * 留守番電話サービス		
7 * 1 開始	―	354
7 * 2 呼出時間	―	354
7 * 3 停止	―	354
7 * 4 設定確認	―	354
7 * 5 メッセージ再生	―	354

メニュー	お買い上げ時	参照
7*6設定	―	354
7*7メッセージ問合せ	―	354
7*8件数増加鳴動設定	ON	354
7*9表示消去	―	354
7*0テレビ電話設定	―	354
7#その他ネットワークサービス		
7#1転送でんわ		
7#11開始	―	355
7#12停止	―	355
7#13転送先変更	―	355
7#14転送先通話中時設定	―	355
7#15設定確認	―	355
7#2キャッチホン		
7#21開始	―	354
7#22停止	―	354
7#23設定確認	―	354
7#3英語ガイダンス		
7#31設定	―	356
7#32設定確認	―	356
7#4遠隔操作設定		
7#41開始	―	357
7#42停止	―	357
7#43設定確認	―	357
7#5マルチナンバー		
7#51通常発信番号設定	―	357
7#52通常発信番号設定確認	―	357
7#53電話番号設定	基本契約番号　名称：基本契約番号 電話番号：ご契約電話番号 付加番号1　名称：付加番号1 付加番号2　名称：付加番号2 付加番号1、2　電話番号：未登録 マルチナンバー発信：無効	357
7#54着信音設定	[付加番号1、付加番号2] 個別設定：OFF	357
7#6追加サービス		
7#61USSD登録	―	361
7#62USSD応答ワーディング登録	―	361
7□イミテーションコール		
7□1イミテーションコール開始	―	323
7□2イミテーションコール設定	鳴動開始時間：すぐに鳴らす 着信音：メロディ／Calling 着信音量：レベル6	323

■本体設定

メニュー	お買い上げ時	参照
81画面・ディスプレイ		
811きせかえツール設定	お買い上げ時→P412	95
812待受画面設定		
8121待受画面選択	きせかえツールに従う	89
8122待受スライドショー	―	90
8123待受カスタマイズ	―	90
8124時計表示設定	お買い上げ時→P412	100
8125電池アイコン設定	きせかえツールに従う	98
8126アンテナアイコン設定	きせかえツールに従う	98
8127インフォメーション表示設定	表示する	182
813MyFACE設定		
8131MyFACE利用設定	利用する	91
8132更新通知表示設定	表示する	91
8133ローミング時自動更新設定	自動更新しない	91
8134低電力時動作設定	自動更新する	91
8135MyFACEビューア設定		
81351サウンド設定	Level 5	91
81352ページ内データ取得設定	毎回確認	91
81353Script動作設定	有効	91
81354端末情報利用設定	利用する	91
81355文字サイズ設定	中（標準）	91
81356Cookie設定	有効	91
81357Cookie削除	―	91
81358通信継続確認設定	毎回確認	91

メニュー	お買い上げ時	参照
814カラーテーマ設定	お買い上げ時→P412	94
815各種画面設定		
8151電話発着信画像		
81511電話発信設定	イメージ表示：きせかえツールに従う	91
81512電話着信設定	イメージ表示：きせかえツールに従う	91
81513人物画像表示設定	ON	92
8152メール送受信画像		
81521メール送信設定	イメージ表示：きせかえツールに従う	92
81522メール受信設定	イメージ表示：きせかえツールに従う	92
81523メール受信完了設定	イメージ表示：きせかえツールに従う	92
81524SMS受信完了設定	イメージ表示：きせかえツールに従う	92
81525メッセージR受信完了設定	イメージ表示：きせかえツールに従う	92
81526メッセージF受信完了設定	イメージ表示：きせかえツールに従う	92
81527問合せ設定	イメージ表示：きせかえツールに従う	92
8153テレビ電話画像		
81531テレビ電話発信設定	イメージ表示：きせかえツールに従う	91
81532テレビ電話着信設定	イメージ表示：きせかえツールに従う	91
8154着信表示設定		
81541電話／メール着信時設定	メインディスプレイ着信表示 電話着信時表示：名前＋電話番号 メール着信時テロップ表示：名前＋題名 背面ディスプレイ着信表示 電話着信時表示、メール着信時表示：名前表示	115
81542不在着信お知らせ	ON	99
816マチキャラ設定		
8161表示設定	表示設定：ON／ひつじのしつじくん	94
8162自動アップデート設定	ON	94
8163アップデート通知設定	ON	94
817メニュー設定		
8171表示メニュー設定	ノーマルメニュー	94

メニュー	お買い上げ時	参照
8172セレクトメニュー登録	現在地確認、2in1モード切替、電卓、赤外線受信、ecoモードON／OFF、自動返信ON／OFF設定、プライバシーモード起動設定、ミュージックプレーヤー	321
8173リセット		
81731メニュー操作履歴リセット	－	97
81732メニュー設定オールリセット	－	97
818背面自動点灯設定	ON	94
819プライバシービューレベル設定	レベル1	93
810背面アニメーション設定		
8101開閉アニメーション	お買い上げ時→P412	92
8102電話着信アニメーション		
81021メモリ別アニメーション	－	92
81022グループ別アニメーション	－	92
81023会社名別アニメーション	－	92
81024電話着信アニメーション	アニメーション：OFF	92
8103メール着信アニメーション		
81031メモリ別アニメーション	－	92
81032グループ別アニメーション	－	92
81033会社名別アニメーション	－	92
81034メール着信アニメーション	アニメーション：OFF	92
82音／バイブ／マナー		
821着信音設定		
8211音声電話	電話：メロディ／Calling	83
8212テレビ電話	テレビ電話：メロディ／GolbalCalling	83
8213メール		
82131メール着信音	メール：メロディ／Commune 鳴動時間（秒）：10	83
82132メッセージR着信音	メッセージR：メロディ／Commune 鳴動時間（秒）：10	83
82133メッセージF着信音	メッセージF：メロディ／Commune 鳴動時間（秒）：10	83
82134SMS着信音	SMS：メロディ／Commune 鳴動時間（秒）：10	83

メニュー	お買い上げ時	参照
[8][2][2]その他音設定		
[8][2][2][1] i コンシェル着信音	i コンシェル：メロディ／LightSteps 鳴動時間（秒）：10	83
[8][2][2][2]GPS測位鳴動音		
[8][2][2][2][1]現在地確認	鳴動音選択：OFF	85
[8][2][2][2][2]現在地通知	鳴動音選択：メロディ／DoorChime	85
[8][2][2][2][3]位置提供／許可	鳴動音選択：メロディ／MorningLight	85
[8][2][2][2][4]位置提供／毎回確認	鳴動音選択：メロディ／MorningLight	85
[8][2][2][3]アラーム音		
[8][2][2][3][1]アラーム音	アラーム音：メロディ／AlarmClock	85
[8][2][2][3][2]スケジュール音	アラーム：メロディ／時間になりました	85
[8][2][2][4]操作確認音		
[8][2][2][4][1]キー確認音	キー音1	84
[8][2][2][4][2]開閉操作音	開閉音1	84
[8][2][2][4][3]静止画撮影シャッター音	標準	84
[8][2][2][4][4]動画撮影シャッター音	標準	84
[8][2][2][5]充電確認音	ON	85
[8][2][2][6]電池アラーム音	ON	85
[8][2][3]音量設定		
[8][2][3][1]着信音量		
[8][2][3][1][1]電話着信音量	Level 5	83
[8][2][3][1][2]受話音量	Level 5	83
[8][2][3][2]メール・メッセージ着信音量	Level 5	83
[8][2][3][3]GPS測位鳴動音量	Level 5	83
[8][2][3][4] i コンシェル着信音量	Level 5	83
[8][2][3][5]アラーム音量		
[8][2][3][5][1]アラーム音量	Level 5	83
[8][2][3][5][2]ワンセグアラーム音量	Level 15	83
[8][2][3][5][3]スケジュール音量	Level 5	83
[8][2][3][6] i アプリ音量	Level 5	83
[8][2][3][7]操作確認音量	Level 5	83

メニュー	お買い上げ時	参照
[8][2][3][8]メロディ音量	Level 5	83
[8][2][3][9]待受 i モーション音量	Level 5	83
[8][2][3][0]電子辞書音量	Level 5	83
[8][2][4]バイブレータ設定		
[8][2][4][1]電話着信時		
[8][2][4][1][1]電話着信時	OFF	84
[8][2][4][1][2]テレビ電話着信時	OFF	84
[8][2][4][2]メール・メッセージ着信時		
[8][2][4][2][1]メール着信時	OFF	84
[8][2][4][2][2]メッセージR着信時	OFF	84
[8][2][4][2][3]メッセージF着信時	OFF	84
[8][2][4][3]GPS測位時		
[8][2][4][3][1]現在地確認時	OFF	84
[8][2][4][3][2]現在地通知時	パターンB	84
[8][2][4][3][3]位置提供／許可時	パターンC	84
[8][2][4][3][4]位置提供／毎回確認時	パターンC	84
[8][2][4][4] i コンシェル着信時	OFF	84
[8][2][4][5]アラーム鳴動時		
[8][2][4][5][1]アラーム鳴動時	OFF	84
[8][2][4][5][2]スケジュール鳴動時	OFF	84
[8][2][4][6] i アプリ利用時	ON	84
[8][2][4][7]マナーサポート検出時	パターンA	84
[8][2][5]マナーモード選択	通常マナーモード	86
[8][2][6]音楽再生音優先設定	ON	229
[8][2][7]マチキャラおしゃべり設定	ON	95
[8][3]照明・イルミネーション		
[8][3][1]照明設定		
[8][3][1][1]照明点灯時間設定	［通常時］10秒 ［ACアダプタ接続時、 i モード中、 i アプリ］端末設定に従う ［静止画撮影中、動画撮影中］常時点灯	92
[8][3][1][2]画面オフ時間設定	1分	92
[8][3][1][3]明るさ調整	［通常設定］自動調整 ［ i モード、 i アプリ］ 端末設定に従う	92

メニュー	お買い上げ時	参照
832イルミネーション設定		
8321一括設定	―	98
8322カスタマイズ設定		
83221着信イルミネーション	すべてのイルミネーションパターン：点滅 すべてのイルミネーションカラー：レモン	98
83222通話中イルミネーション	通話中イルミネーション：OFF	98
83223GPS測位イルミネーション	現在地確認イルミネーションパターン：OFF 現在地通知、位置提供／許可、位置提供／毎回確認イルミネーションパターン：はやく点滅 現在地通知、位置提供／許可、位置提供／毎回確認イルミネーションカラー：レモン	98
83224ICカードアクセスイルミネーション	ICカードイルミネーション：ON イルミネーションカラー：レモン	98
83225端末クローズイルミネーション	端末クローズ時点灯：ON イルミネーションパターン：パターン2 イルミネーションカラー：アクア	98
833キーイルミネーション設定		
8331キーバックライト設定	キーバックライト：ON キーバックライト色：アクア	98
8332一括設定	―	98
8333カスタマイズ設定		
83331着信キーイルミネーション	電話着信：レモン メール着信：ラムネ メッセージR着信、メッセージF着信：グレープ テレビ電話着信：ストロベリー ｉコンシェル着信：アクア	98
83332送信キーイルミネーション	メール送信：レモン	98
83333データ送受信キーイルミネーション	データ送受信：レモン	98
83334端末オープンキーイルミネーション	端末オープン：レモン	98
84文字表示／入力		

メニュー	お買い上げ時	参照
841文字サイズ設定	中（標準）	99
842フォント選択	漢字／英数字：丸ゴシック ひらがな／カタカナ：漢字／英数字と同じ	99
843文字入力設定		
8431文字入力	入力方式：かな入力 日・英語入力予測：ON 自動カーソル：普通	341
8432変換学習リセット	―	341
8433学習辞書登録	―	341
844Select language	日本語	100
845マルチリンガル利用設定	マルチリンガル設定：OFF	349
846着信ひかえめ設定	着信ひかえめ設定：OFF	99
85時計		
851日付時刻設定※3	自動時刻・時差補正：ON オフセット時間：＋／00時間00分	49
852時計表示設定	お買い上げ時→P412	100
853自動電源ON／OFF		
8531自動電源ON	自動電源ON：OFF	314
8532自動電源OFF	自動電源OFF：OFF	314
8533アラーム自動電源ON	OFF	314
854時報設定	設定：OFF	99
855端末リフレッシュ設定	［リフレッシュ実行］― ［自動実施設定］ 自動実施：ON 実施時刻：端末により異なる 繰り返し：曜日指定／端末により異なる	337
86ロック・セキュリティ		
861ロック		
8611自動キーロック		
86111クローズロック設定	クローズロック：OFF	115
86112無操作ロック設定	無操作ロック：OFF	116
8612オールロック	―	107
8613パーソナルデータロック	OFF	109
8614ダイヤル発信制限	OFF	110

メニュー	お買い上げ時	参照
862プライバシーモード		
8621電話／メールの設定	電話・履歴：指定電話帳非表示 メール・履歴：指定フォルダを非表示 シークレット属性電話着信動作：未登録番号として扱う シークレット属性メール着信動作：表示・通知しない プライバシー新着通知：OFF	111
8622その他の表示設定	マイピクチャ、iモーション、マイドキュメント、その他、Bookmark：指定フォルダを非表示 マイコレクション：指定アルバムを非表示 メモ・スケジュール：指定スケジュール非表示 iアプリ、位置履歴（GPS）、画面メモ：表示する	112
8623プライバシーモード起動設定	起動／解除操作：なし 自動起動：OFF	112
8624予測学習設定	予測学習：学習する	114
8625シークレット反映	—	114
863セキュリティ設定		
8631端末暗証番号設定	［暗証番号］0000 ［パスワード］1111	103 118
8632指紋登録	—	106
8633登録済み指紋一覧	—	106
8634指紋のみ認証設定	OFF	106
864セキュリティランプ設定	ON	117
865親子モード	［親子モード設定］OFF ［ワンタッチアラーム設定］ ワンタッチアラーム設定：OFF	117
866スキャン機能		
8661パターンデータ更新	—	439
8662自動更新設定	—	439
8663スキャン機能設定	スキャン機能、メッセージスキャン：有効	440
8664バージョン表示	—	440
867パスワードマネージャー	—	347

メニュー	お買い上げ時	参照
868microSDパスワード設定	—	294
869UIMカード（FOMAカード）設定	［PIN1コード変更、PIN2コード変更、PIN1入力ON／OFF切替］—	104
860着信拒否設定		
8601登録外着信拒否	OFF	119
8602メモリ別着信拒否／許可	拒否設定	119
8603非通知設定	設定解除	119
8604公衆電話	設定解除	119
8605通知不可能	設定解除	119
86*ICカードロック	OFF	250
86#電話／メール着信時設定	メインディスプレイ着信表示 電話着信時表示：名前＋電話番号 メール着信時テロップ表示：名前＋題名 背面ディスプレイ着信表示 電話着信時表示、メール着信時表示：名前表示	115
87電池		
871ecoモード設定		
8711ecoモードON／OFF	OFF	93
8712ecoモード動作設定	標準省電力	93
872ecoモード自動起動設定	自動起動設定：ON 電池残量：40% 設定アシスト機能：OFF	94
873電池残量	—	47
874電池アイコン設定	きせかえツールに従う	98
88外部接続		
881USBモード※4	通信モード	294
882Bluetooth		
8821接続待機	—	332
8822Bluetooth受信	—	334
8823Bluetooth全件送信	—	334
8824機器リスト・接続・切断	—	331
8825新規機器登録	—	331
8826Bluetooth電源オン／オフ	—	332
8827Bluetooth設定		

メニュー	お買い上げ時	参照
88271自局情報	機器名称：F01E	335
88272サーチ時間	サーチ時間（秒）：5	335
88273ミュージック自動起動設定	ON	335
88274着信音送出設定	送る	335
88275全件転送パスワード設定	パスワード無し	335
883Wi-Fi		
8831クライアントモード（子機）		
88311Wi-Fiモードオン／オフ	―	388
88312接続先一覧	―	388
88313新規接続先設定		
883131AOSS	―	386
883132WPS	―	386
883133検索登録	―	387
883134手動登録	SSID、接続先名：ー 認証方式：なし	387
88314クライアントモード情報表示	―	389
88315クライアントモード設定リセット	―	389
8832アクセスポイントモード（親機）		
88321APモードオン	―	383
88322APローカルモードオン	―	383
88323接続先（APN）一覧	mopera U 128k	382
88324外部機器登録一覧	―	384
88325APモード情報表示	―	384
88326無線設定	SSID：端末により異なる ステルス／Any接続拒否、AP省電力モード：OFF 認証方式：なし（open） 無線チャネル：Auto 機器未接続動作：15分後に終了 接続台数制限：1 MACアドレス制限：無効	382
88327APモード確認表示	毎回表示	385
88328APモード利用設定	利用しない	385

メニュー	お買い上げ時	参照
88329WEB設定ユーザ管理	ユーザ名：root パスワード：ー ローカルIPアドレス：192.168.0.1	385
88320APモード設定リセット	―	385
884F-LINK／ホームメディア		
8841F-LINK		
88411パソコン連携	―	390
88412ダイレクト送信	―	390
88413ダイレクト受信	―	391
88414データ共有／取込	―	391
88415受信データ確認	―	392
88416設定		
884161保存先設定	本体	392
884162F-LINK名設定	F-LINK名：端末により異なる	392
884163無線設定	SSID：端末により異なる ステルス／Any接続拒否、AP省電力モード：OFF 認証方式：なし（open） 無線チャネル：Auto 機器未接続動作：15分後に終了 接続台数制限：1 MACアドレス制限：無効	392
8842ホームメディア		
88421外部機器のデータ取得	―	393
88422外部機器へデータ送信	―	393
88423外部機器へデータ公開	―	394
88424クライアント設定	自動接続：OFF 静止画の保存先、動画の保存先：本体	393
88425サーバ設定	［公開フォルダ設定］ マイピクチャ、ｉモーション・ムービー、インポート：未設定 ［機器名称設定］F-01E	394
885フェムトセル	［フェムトセル利用設定］ フェムトセル利用設定：OFF	337
886印刷設定	―	335

メニュー	お買い上げ時	参照
887データ送受信設定	通信終了音：OFF 自動認証：なし 電話帳の画像送信：あり	303
888バックアップ／復元	－	292
89その他設定		
891セルフモード	OFF	109
892初期設定	［日付時刻設定］ 自動時刻・時差補正：ON ［端末暗証番号設定］0000 ［指紋設定］OFF ［キー確認音設定］キー音1 ［文字サイズ設定］中（標準） ［位置提供可否設定］位置提供OFF	48
893データ一括削除	－	124
894各種設定リセット	－	124
895ソフトウェア更新※5	［更新実行］－ ［自動更新設定］ 自動更新設定：自動で更新 曜日：指定なし 時刻：03時00分	435
896端末エラー情報送信設定	ON	434
897リモート機能設定確認	－	125
898メモリ確認	－	299
899サイドキー長押し設定	カメラキー：ミュージックプレーヤー 上サイドキー：マナーモード設定／解除 下サイドキー：ｉモード問い合わせ	321
890モーションセンサー設定	モーションセンサー：ON オートローテーション：設定項目のみ有効 ワンセグ、フルブラウザ／PDF／ドキュメント、マイピクチャ、Music&Videoチャネル、ｉモーション・ムービー／レコーダー番組：ON ｉモード：OFF	39
80きせかえ／ライフスタイル		
801きせかえツール	お買い上げ時→P412	95
802トータルカスタマイズ	－	98
803ライフスタイル設定		
8031時間毎ライフスタイル	－	88
8032場所毎ライフスタイル	－	88
804マナーサポート設定		
8041マナーサポート検知設定	乗り物マナーサポート、マナーモード設定：ON 自動返信設定、ロケーションマナーサポート：OFF	87
8042マナーサポート通知設定	バイブレータ設定：パターンA 振動時間（秒）：5	87

■地図／海外

メニュー	お買い上げ時	参照
91地図	－	257
92ナビ	－	257
93イマドコサーチ		
931イマドコかんたんサーチ	－	266
932イマドコサーチ	－	266
94ｉエリア－周辺情報－	－	266
95GPSアプリ一覧	－	259
96現在地確認／通知		
961現在地確認	－	258
962現在地通知	－	262
97地図・GPS設定／履歴		
971位置履歴	－	264
972地図設定		
9721地図選択	地図アプリ	265
9722地図起動時動作設定	測位する	265
973GPSボタン設定	地図を見る	259
974位置提供可否設定	位置提供OFF	260
975オートGPS		
9751ドコモ提供サービス設定	利用しない	263
9752オートGPS動作設定	ON	263
9753設定サービス一覧	－	264

メニュー	お買い上げ時	参照
9754オートGPS履歴	―	264
9755低電力時動作設定	停止する	264
976測位モード設定		
9761現在地確認	標準モード	265
9762現在地通知	標準モード	265
9763位置提供	標準モード	265
977現在地通知先一覧	―	262
978サービス利用設定	―	261
979サービス利用／接続先設定	接続先：ドコモ	261
970点灯色／鳴動音設定		
9701現在地確認	鳴動音選択、バイブレータ設定、イルミネーション設定：OFF 鳴動時間（秒）：10	266
9702現在地通知	鳴動音選択：メロディ／DoorChime バイブレータ設定：パターンB 鳴動時間（秒）：10 イルミネーション設定：はやく点滅／レモン	266
9703位置提供		
97031位置提供／許可	鳴動音選択：メロディ／MorningLight バイブレータ設定：パターンC 鳴動時間（秒）：20 イルミネーション設定：はやく点滅／レモン	266
97032位置提供／毎回確認	鳴動音選択：メロディ／MorningLight バイブレータ設定：パターンC 鳴動時間（秒）：20 イルミネーション設定：はやく点滅／レモン	266
98海外ネットワークサーチ		
9813G/GSM切替	自動	368
982ネットワークサーチ設定	オート	367
983優先ネットワーク設定	―	368
984オペレータ名表示設定	表示あり	368
985在圏状態表示	―	368

メニュー	お買い上げ時	参照
986再検索アイコン表示設定	表示する	367
99海外設定		
991お問合せ（海外）		
9911海外紛失・盗難等	―	371
9912海外故障	―	371
992ローミング時着信規制		
9921規制開始	―	369
9922規制停止	―	369
9923規制確認	―	369
993ローミング着信通知		
9931通知開始	―	369
9932通知停止	―	369
9933通知設定確認	―	369
994ローミングガイダンス		
9941開始	―	368
9942停止	―	368
9943設定確認	―	368
995国際ダイヤルアシスト		
9951自動変換機能	国番号変換：ON／+81 日本 国際プレフィックス変換：ON／WORLD CALL 009130010	58
9952国番号	―	58
9953国際プレフィックス	―	58
996ｉモードサービス利用設定		
9961ｉモード	―	369
9962お預かりサービス／ｉコンシェル	―	369
9963ｉチャネル	―	369
9964ｉウィジェット	―	369
9965MyFACE自動更新設定	自動更新しない	370
997メール／メッセージ利用設定		
9971メール選択受信	OFF	370
9972メッセージR	―	370
998ネットワークサービス		

メニュー	お買い上げ時	参照
9981遠隔操作（有料）	—	370
9982番号通知お願い（有料）	—	370
9983ローミング着信通知（有料）	—	370
9984ローミングガイダンス（有料）	—	371
9985留守番電話（有料）		
99851開始	—	370
99852停止	—	370
99853メッセージ再生	—	370
99854設定	—	370
99855呼出時間	—	370
9986転送でんわ（有料）		
99861開始	—	370
99862停止	—	370
99863設定	—	370

■ｉコンシェル

メニュー	お買い上げ時	参照
*ｉコンシェル	—	181

■プロフィール

メニュー	お買い上げ時	参照
0プロフィール	—	50 322

■おサイフケータイ

メニュー	お買い上げ時	参照
#1ICカード一覧	—	248
#2DCMX	—	248
#3トルカ	—	252
#4ICカードロック設定		
#41ICカードロック	OFF	250
#42ICカードオートロック設定	オートロック：OFF	251
#43ICカードロック解除予約	—	251
#44電源OFF時ICロック設定	直前のロック状態を継続	251
#5設定		
#51ICカードからトルカ取得	ON	254
#52ワンセグからトルカ取得	ON	213
#53トルカ重複チェック	ON	254
#54トルカ自動読取チェック	ON	254
#55トルカ自動表示	ON	254
#56トルカサウンド設定	Level 5	254
#6ICカード利用状況	—	250
#7ICオーナー確認	—	250
#8ICオーナー変更	—	250
#9ｉモードで探す	—	248

※1 各種設定リセットを行っても、署名はリセットされません。
※2 各種設定リセットを行うと、ドコモminiUIMカードに保存されている証明書もすべて有効になります。
※3 各種設定リセットを行うと、自動時刻・時差補正（タイムゾーン、サマータイム含む）とオフセット時間がお買い上げ時の設定に戻ります。
※4 USBケーブル接続中は、各種設定リセットを行ってもお買い上げ時の設定には戻りません。
※5 各種設定リセットを行うと、自動更新設定がお買い上げ時の設定に戻ります。

端末色により異なるきせかえツールの設定項目

項目		端末色	
		Black	Red
きせかえツール設定		Silver	Rose Brown
時計表示設定	デザイン	ON／デジタル1	ON／デジタル+アナログ
	形式	12時間表示	
	表示位置	上	中
	曜日	英語	
カラーテーマ設定		シルバー	ローズブラウン

項目			端末色	
			Black	Red
背面アニメーション設定	開閉アニメーション	アニメーション	OFF	
		アニメーションパターン	パターン2	パターン3

きせかえツールの「シンプルメニュー」を設定した場合

1電話機能	1電話帳検索	5 i アプリ	1ソフト一覧
	2電話帳登録		2待受画面選択
	3伝言メモ／音声メモ		3 i アプリ設定
	4発着信履歴	6データBOX	1マイピクチャ
	5通話時間・料金		2ミュージック
	6声の宅配便		3 i モーション・ムービー
	7留守番電話サービス		4メロディ
	8プロフィール情報		5マイドキュメント
2メール	1受信BOX		6キャラ電
	2送信BOX		7ワンセグ
	3未送信BOX	7便利ツール	1バーコードリーダー
	4新規メール作成		2電卓
	5メール／メッセージ問合せ		3アラーム
3 i モード／web	1 i Menu 検索		4赤外線／iC通信
	2Bookmark		5スケジュール
	3画面メモ		6メモ
	4サイト閲覧履歴		7使いかたガイド
	5 i チャネル	8設定	1画面・ディスプレイ
	6フルブラウザホーム		2音／バイブ／マナー
4カメラ／TV	1カメラ		3ロック・セキュリティ
	2マイピクチャ		4日付時刻設定
	3待受画面選択	0プロフィール情報	
	4ワンセグ視聴		

メロディ一覧

メロディ一覧（［　］内は作曲者名）	
Calling	ClassicalCalling
GlobalCalling	NormalCalling
ShortNormalCalling	でか着信音
Commune	Wood
Cloud	LightSteps
DoorChime	ButtonTone
MorningLight	LampShade
マリンバ	SavannaWind
Bossa nova	HealingNight
モルダウ［Bedrich Smetana］	A Foggy Day［George Gershwin］
ColorfulDishes	Masque
La Valse De Paris	AlarmClock
WakeUp	もうすぐ予定の時間です
時間になりました	まちへ行くのうた
誕生日	祝婚歌［Wilhelm Richard Wagner］
ジングルベル［James Pierpont］	さくら［日本民謡］
おもちゃの兵隊のマーチ［Leon Jessel］	登場
トッカータとフーガ［Johann Sebastian Bach］	無音

ダイヤルキーの文字割り当て一覧（かな入力方式）

キー	ひらがな／漢字モード（全角）	カタカナモード（全角または半角）	英字モード（全角または半角）	数字モード（全角または半角）※1
1	あ い う え お	ア イ ウ エ オ 1	. ／ @ － ： ～※2 _ 1	1
2	か き く け こ	カ キ ク ケ コ 2	a b c 2	2
3	さ し す せ そ	サ シ ス セ ソ 3	d e f 3	3
4	た ち つ て と	タ チ ツ テ ト 4	g h i 4	4
5	な に ぬ ね の	ナ ニ ヌ ネ ノ 5	j k l 5	5
6	は ひ ふ へ ほ	ハ ヒ フ ヘ ホ 6	m n o 6	6
7	ま み む め も	マ ミ ム メ モ 7	p q r s 7	7
8	や ゆ よ	ヤ ユ ヨ 8	t u v 8	8
9	ら り る れ ろ	ラ リ ル レ ロ 9	w x y z 9	9
0	わ を ん ー	ワ※3 ヲ ン ー 0	0	0 +※4
✱	大文字と小文字の切り替え 濁点、半濁点の付加 改行	大文字と小文字の切り替え 濁点、半濁点の付加 改行	大文字と小文字の切り替え 改行	＊ P※4
#	、 。 ？ ！ ・ ■	、 。 ？ ！ ・ ■	, . ? ! ' - & ( ) ¥ ■	# T※4
iα			※半角の場合のみ入力できます（iモードメールおよびSMSの本文入力画面を除く）。 @docomo.ne.jp .com .or.jp .go.jp .ne.jp .co.jp .ac.jp http://www. www. .html .htm	

■：半角空白 ■：ダイヤルキーを押す操作を繰り返しても大文字と小文字が切り替わります。

※1 「＊」「#」「P」「T」「+」は、これらの文字が有効な入力欄のみ入力できます。

※2 半角の場合は「~」が入力されます。

※3 全角の場合のみ大文字と小文字が切り替わります。

※4 該当するキーを1秒以上押すと入力できます。

絵文字一覧

ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換できます。

絵文字	読　み
	かお、えがお、わらう、わらい、わーい、うれしい、にこにこ、にこ
	かお、おこる、いかり、ぷん、ちっ
	かお、かなしい、こまった、ごめん、がく、がくー、なき、らくたん
	かお、かなしい、こまった、さいあく、もうやだ、なき
	かお、だめ、ふら、なき、びっくり
	かお、こまる、うーむ、うーん、うむ、むすっ、かんがえる
	かお、ほっ
	かお、ひやあせ、たらー、だらー、あせ、あせる、にがわらい
	かお、ひやあせ、たらー、だらー、あせ、あせる
	かお、おこる、ぷー、ぶー、いかり、むか、むかっ、むかつく
	かお、ぽけー、しらー、しらけ、ぼー
	かお、はーと、はあと、らぶ、すき、わーい、うれしい
	かお、あっかんべー、べー、いたずら、あかんべ、あかんべー
	かお、うぃんく、ういんく、ぱちっ、ぱち
	かお、うれしい、わーい、きゃっ、きゃ、きゃー、きゃあ、にこ
	かお、がまん、んー、なき
	かお、どうぶつ、ねこ、にゃん、にゃんこ、にゃんにゃん
	かお、かなしい、なく、えーん、わーん、なきがお、なき、なみだ
	かお、なみだ、かなしい、ぽろり、なく、なきがお、なき
	かお、おいしい、うまい、まんぞく、たべる
	かお、えがお、わらう、うっしっし、うしし、ししし、うれしい、にこ、にやり、わら、わらい

絵文字	読　み
	かお、さけぶ、さけび、げっそり、ひゃー、むんく、がーん、しょっく
	はーと、あい、こころ、すき、らぶ
	はーと、あい、こころ、どきどき、すき、らぶ、ゆれるはーと
	はーと、しつれん、ふられた、わかれた、しょっく
	はーと、あい、こころ、すき、らぶ、はーとたち
	やじるし、ぐっど、あがる、あげる、ぐっと、あげ、うえ、や
	やじるし、ばっど、さがる、さげる、ばっと、おちこむ、した、だうん、や
!	びっくり、あっ、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん、おどろき
!?	びっくり、ほんと、えっ、えー、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん、おどろき
!!	びっくり、ちょー、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん、おどろき
	おんぷ、おんがく、うた、るん、るんるん
	おんぷ、おんがく、うた、さんれんぷ、るん、むーど、るんるん
	きらきら、ぴかぴか、あたらしい、きら、ぴか、ほし
	でんきゅう、ぴか、あいであ、あいでぃあ、ひらめき、きら
	ぐー、ぐう、じゃんけん、て、こぶし、ぱんち、からだ
	ちょき、じゃんけん、て、ぴーす、からだ
	ぱー、ぱあ、じゃんけん、て、ばい、さんせい、からだ、じゃあね、ばいばい
	て、おっけー、おーけー、おーけい、おうけい、ぐっど、ゆび、おやゆび、ぐっと、おっけ、からだ、ぐー、らじゃー
	がんばる、がんばれ、ぱんち、ぐー、ぐう、いかり、からだ、て

絵文字	読　み
	いかり、おこる、おこり、きれる、むかつく、むか、むかっ
	しょっく、ぐらぐら、どん、すいみん、どんっ、しょうげき
	あせ、あせる、ひやあせ、あせあせ、とびちる
	あせ、あせる、ひやあせ、なみだ、だらー、たらー、たらーっ、たらーん
	いそぐ、いそげ、だっしゅ、ためいき、ふぅ、ふう、ふー、はしる、にげろ
	のばす、ちょうおん、ちょーおん、ー、せん、なみ、ぼう、ぼうせん
	のばす、くるり、ちょうおん、ちょーおん、ー、せん、ぼう、ぼうせん
	おっけー、おーけー、おーけい、おうけい、けってい、おっけ
	えぬじー、だめ、ちぇっかー
	ばくだん、ばくはつ、いかり
	おやすみ、すいみん、ねる、ねむい、ぐー、ずー、ぐう、ずう
	かお、め、からだ、みて、みる
	かお、みみ、からだ、きく
	あし、あしあと、あるく、とほ、からだ、きっく、けり、ける
	てんき、はれ、たいよう
	てんき、くもり、くも
	てんき、あめ、かさ
	てんき、ゆき、ゆきだるま
	てんき、かみなり、いかずち、いかづち、でんき、ぴか、むかつく
	てんき、うずまき、たいふう、あらし、ぐるぐる、くるくる、めまい、くる、ぐる、まる
	てんき、きり、あめ
	てんき、こさめ、あめ、かさ
	どうぶつ、いぬ、わん、わんこ、わんわん

絵文字	読　み
	どうぶつ、ねこ、にゃん、にゃんこ、にゃんにゃん
	かたつむり、まいまい、でんでんむし、どうぶつ、むし
	ひよこ、とり、どうぶつ、ぴよ、ぴよぴよ
	ぺんぎん、とり、どうぶつ
	さかな、おさかな、どうぶつ、たべもの
	うま、どうぶつ、けいば
	ぶた、どうぶつ、ぶー
	すぽーつ、うんどう、はしる、にげる、いそぐ、だっしゅ、ひと
	じてんしゃ、ちゃり、ちゃりんこ、のりもの、すぽーつ
	のりもの、こうつう、でんしゃ、れっしゃ、えき、いどう、ちかてつ
	のりもの、こうつう、ちかてつ、えむ、めとろ
	のりもの、こうつう、しんかんせん、のぞみ、ひかり、こだま
	のりもの、こうつう、じどうしゃ、くるま、たくしー、どらいぶ、せだん、いどう
	のりもの、こうつう、じどうしゃ、くるま、たくしー、どらいぶ、あーるぶい、いどう
	のりもの、こうつう、ばす、いどう
	のりもの、こうつう、ふね、ふぇりー、こうかい
	のりもの、こうつう、ひこうき、じぇっと、じぇっとき、ふらいと、くうこう
	のりもの、よっと、ふね、りぞーと
	つりー、くりすます、き
	いえ、うち、おうち、じたく、たてもの
	びる、かいしゃ、しょくば、がっこう、たてもの
	ゆうびん、ゆうびんきょく、ぽすと
	びょういん、びょうき、けが
	ぎんこう、ばんく

絵文字	読　み
	えーてぃーえむ、えいてぃえむ、ぎんこう、ばんく
	ほてる
	こんびに、こんびにえんす、こんびにえんすすとあ
	がそりんすたんど、がそりん、がすすた、すたんど、がす、がすすたんど、じーえす
	ちゅうしゃじょう、ちゅうしゃ、ぱーきんぐ、ぴー
	がっこう、だいがく
	なみ、うみ、つなみ、おおなみ、うぇーぶ
	ふじさん、やま
	しんごう、しんごうき
	おんせん、ふろ、おふろ、いいきぶん
	といれ、かっぷる、でーと、けっこん、べんじょ
	しょくじ、ごはん、れすとらん、ふぁみれす、たべる、めし
	こーひー、どりんく、のみもの、かっぷ、こっぷ、きっさてん、さてん、おちゃ、かふぇ、しょくじ
	かくてる、おさけ、さけ、ばー、ぐらす、しょくじ、のみもの
	びーる、おさけ、さけ、いざかや、のみかい、こんぱ、かんぱい、しょくじ、じょっき、のみもの
	とっくり、おちょこ、おさけ、さけ、にほんしゅ、かんぱい、のみもの
	わいんぐらす、わいん、おさけ、さけ、かんぱい、ぐらす、のみもの
	おにぎり、おむすび、ごはん、おべんとう、べんとう、たべもの
	ぱん、ぶれっど、ごはん、しょくじ、しょくぱん、たべもの
	はんばーがー、ばーがー、けいしょく、ふぁーすとふーど、たべもの
	どんぶり、らーめん、めん、うどん、そば、ごはん、しょくじ、たべもの
	ゆのみ、おゆのみ、おちゃ、ちゃ、のみもの、まったり

絵文字	読　み
	けーき、しょーとけーき、でざーと、おかし、かし、すいーつ、たべもの
	ぷれぜんと、たんじょうび、おくりもの、おめでとう
	ろうそく、きゃんどる、たんじょうび、ばーすでい、ばーすでー、おめでとう
	かばん、ばっぐ、てさげ、りょこう、かいもの、ばっく
	りぼん、ちょうねくたい、ねくたい、あめ、おしゃれ
	さくらんぼ、ちぇりー、くだもの、ふるーつ
	ばなな、くだもの、たべもの、ふるーつ
	りんご、あっぷる、くだもの、たべもの、ふるーつ
	ちゅーりっぷ、はな
	わかば、ふたば、はっぱ、は、め
	くろーばー、よつば、はっぱ、はな
	もみじ、こうよう、はっぱ、は
	さくら、はな
	はな、かわいい
	きす、きっす、くちびる、くち、ちゅ、ちゅう、ちゅー、きすまーく、ちゅっ
	はいひーる、ひーる、くつ、あし、おしゃれ、ふく
	はさみ、かっと、びよういん、びようしつ、さんぱつ、とこや、さろん
	まいく、からおけ、うた、うたう
	えいが、えいがかん、しねま、かめら、さつえい、びでお、むーびー
	かちんこ、さつえい、すたーと、はこ
	うま、けいば、もくば、めりーごーらんど、ゆうえんち
	おんがく、おと、きく、へっどほん、へっどふぉん
	え、あーと、げいじゅつ、びじゅつ、ぱれっと
	えんげき、ひと、しんし、ぼうし

絵文字	読　み
	いべんと、はた
	ちけっと、きっぷ
	すぽーつ、うんどう、しゃつ、たんくとっぷ、えぷろん、ふく
	すぽーつ、うんどう、やきゅう、そふと、ぼーる、そふとぼーる
	すぽーつ、うんどう、ごるふ、くらぶ
	すぽーつ、うんどう、てにす、たっきゅう、らけっと
	すぽーつ、うんどう、さっかー、ぼーる
	すぽーつ、うんどう、すきー、すのーぼーど、ぼーど、すけーと、すのぼ、すべる、そり
	すぽーつ、うんどう、ばすけっと、ばすけ、ばすけっとぼーる
	すぽーつ、うんどう、ごーる、はた、れーす、えふわん、もーたーすぽーつ、ふらっぐ
	すぽーつ、うんどう、すのーぼーど、ぼーど、すのぼ、すべる、さーふぃん
	たばこ、しがー、しがれっと、きつえん、いっぷく
	たばこ、しがー、しがれっと、きんえん
	かめら、しゃしん、さつえい、げきしゃ
	てれび、がめん、ばんぐみ
	ぱそこん、ぴーしー、こんぴゅーた、こんぴゅーたー
	げーむ、こんとろーら、こんとろーらー
	しーでぃー、あるばむ、しんぐる、でぃすく、でぃーぶいでぃー
	れんち、すぱな、こうぐ、どうぐ
	えんぴつ、ぶんぼうぐ、ぺん、めも
	ほん、のーと、しょしんしゃ
	くりっぷ、ぶんぼうぐ、てんぷ
	べる、ちゃぺる、かね、けっこん
	おうかん、かんむり、おうさま
	ゆびわ、あくせさりー、りんぐ、おしゃれ

絵文字	読　み
	すなどけい、とけい、じかん
	うでどけい、とけい、うぉっち、じかん
	がまぐち、さいふ、おかね、かね
	どるぶくろ、どる、かね、おかね
	けしょう、くちべに、るーじゅ、りっぷ、おしゃれ、こすめ
	めがね
	しゃつ、てぃーしゃつ、ふく、ようふく、てぃしゃつ
	ずぼん、ぱんつ、じーぱん、じーんず、ふく、ようふく
	くつ、しゅーず、すにーかー、あし、ふく
	どあ、とびら、と
	いす、ざせき、すわる
	くるまいす
	せいざ、おひつじざ、おひつじ
	せいざ、おうしざ、おうし
	せいざ、ふたござ、ふたご、すなどけい
	せいざ、かにざ、かに
	せいざ、ししざ、しし
	せいざ、おとめざ、おとめ
	せいざ、てんびんざ、てんびん、おもち、もち
	せいざ、さそりざ、さそり
	せいざ、いてざ、いて、あがる、あっぷ
	せいざ、やぎざ、やぎ
	せいざ、みずがめざ、みずがめ、なみ
	せいざ、うおざ、うお、さかな
	でんわ、くろでん、てれふぉん、てれほん、てる、てれ
	けいたいでんわ、けいたい、けーたい、でんわ、ぴっち、ふぉーん、ふぉん
	めーる、てがみ、あどれす

絵文字	読　み
	てがみ、めーる、らぶれたー、こいぶみ、らぶめーる
	めも、しょるい、れぽーと、しゅくだい、しけん
	でんわ、けいたいでんわ、けいたい、けーたい、ふぉーん、ふぉん、ぴっち、ちゃくしん、でんわばんごう
	めーる、てがみ、じゅしん、あどれす
	ふぁっくす、ふぁくす、じゅしん
	ぽけべる、ぽけっとべる、ぺーじゃー、べる
🕘	じかん、じこく、たいむ、とけい
	よる、よなか、しんや、れいと、おやすみ、つき
●	つき、しんげつ、まる、よる
◐	つき、にっしょく、よる
◑	つき、はんげつ、はんつき、よる
◒	つき、みかづき、よる
○	つき、まんげつ、まる
	ふくろ、つぼ
	ぺんさき、ぺん、めも
	はんこ、ひと、ひとかげ、すたんぷ
	あいもーど、あい、どこも
	あいもーど、あい、どこも
	あいあぷり、あるふぁ、あぷり
	あいあぷり、あるふぁ、あぷり
	どこもていきょう、でい、でー、でぃー
	どこもぽいんと、ぽいんと、でい、でー、でぃー
↔	やじるし、さゆう、や
↕	やじるし、じょうげ、や
↗	やじるし、みぎうえ、あがる、あげる、あっぷ、みぎななめうえ、うえ、ななめ、や

絵文字	読　み
↘	やじるし、みぎした、さがる、さげる、だうん、みぎななめした、した、ななめ、や
↖	やじるし、ひだりうえ、あがる、あげる、あっぷ、ひだりななめうえ、うえ、ななめ、や
↙	やじるし、ひだりした、さがる、さげる、だうん、ひだりななめした、した、ななめ、や
♥	とらんぷ、はーと、あい、こころ
♠	とらんぷ、すぺーど
♦	とらんぷ、だいや
♣	とらんぷ、くらぶ
¥	えん、かね、きんがく、ねだん、りょうきん、おかね、ゆうりょう
	ただ、むりょう、じゆう、ひま、ふりー
	あいでぃ、あいでぃー、あいでー
	かぎ、きー、ひみつ、ぱすわーど、ろっく
	かいぎょう、まがる、つづく、つづき、つぎ、りたーん
	さくじょ、しーえる、くりあ、くーる
	にゅー、にゅう、あたらしい、しん
	ひみつ、まるひ、ひ
	きんし、げんきん、だめ、きん
	くうしつ、くうせき、くうしゃ、あき、あく、から、くう
	ごうかく、ごう
	まんしつ、まんせき、まんしゃ、いっぱい、まんたん、ふる、まん
	さがす、しらべる、むしめがね、さーち
	はた、もくひょう、ごるふ、いちじょうほう、いち、ふらっぐ
	やじるし、りさいくる、かいてん、まわる、くりかえし、りたーん、りばーす
⚠	けいこく、きけん、びっくり、ちゅうい

絵文字	読　み
[illegible]	だいやる、だいある、ふりーだいやる、ふりーだいある
#	しゃーぷ
Ⓠ	もばきゅー、もばきゅう、しつもん、きゅう、きゅー
©	こぴーらいと、しー、まるしー
®	れじすたーどとれーどまーく、とれーどまーく、あーる、まるあーる
™	とれーどまーく、てぃーえむ
1	いち、すうじ、ばんごう、かず
2	に、すうじ、ばんごう、かず
3	さん、すうじ、ばんごう、かず
4	よん、し、すうじ、ばんごう、かず
5	ご、すうじ、ばんごう、かず
6	ろく、すうじ、ばんごう、かず
7	しち、なな、すうじ、ばんごう、かず
8	はち、すうじ、ばんごう、かず
9	きゅう、く、きゅー、すうじ、ばんごう、かず
0	ぜろ、れい、すうじ、ばんごう、かず
SOON	すぐ、もうすぐ、すーん、はやく
ON!	おん
END	おわり、えんど

マルチアクセスの組み合わせ

現在実行中の動作ごとに発生・実行する処理の動作可否を次に示します。

- ｉモード中（ｉモード接続）は、ｉチャネルおよびｉコンシェル（情報の受信を除く）、フルブラウザ、データ放送サイトでの通信を含みます。
- ｉモードメール受信は、メッセージR/F、ｉチャネルおよびｉコンシェルの情報の受信を含みます。

○：新たに実行できる　△：条件により新たに実行できる　×：新たに実行できない

現在の状態			音声電話中	テレビ電話中	ｉモード中	データ通信中（パケット）	データ通信中（64K）	Wi-Fi通信中（アクセスポイントモード）	Wi-Fi通信中（クライアントモード）
発生・実行する処理	音声電話	発信	△※1	×	○	○	×	○	○
		着信	△※1、2、3	△※2、3、4	○	○	△※2、3、4	○	○
	テレビ電話	発信	×	×	○※7	×	×	×	○
		着信	△※2、3、4	△※2、3、4	△※8	△※2、5	△※2、3、10	△※5、11	○
	ｉモード	接続	○	×	△※9	×	×	×	○
	ｉモードメール	送信	○	×	○	×	×	×	○
		受信	○	×	○	×	×	△※12	○
	SMS	送信	○	×	○	○	×	○	○
		受信	○	○	○	○	○	○	○
	データ通信（パケット）	発信	○	×	×	×	×	×	○
		着信	○	×	×	×	×	×	○
	データ通信（64K）	発信	×	×	×	×	×	×	○
		着信	△※3、5、6	△※3、5、6	△※5、6	△※5、6	△※5、6	×	○
	Wi-Fi通信（アクセスポイントモード）	接続	×	×	×	×	×	×	×
	Wi-Fi通信（クライアントモード）	接続	○	×	○	×	×	×	×

※1　キャッチホンをご利用の場合は、通話中に別の相手に電話をかけたり受けたりできます。
※2　留守番電話サービスまたは転送でんわサービスをご利用の場合は各サービスで対応できます。
※3　通話中着信設定が開始の場合、通話中の着信動作選択に従います。
※4　キャッチホンが開始の場合、現在の通話や通信を切断して応答できます。
※5　不在着信として記録されます。
※6　転送でんわサービスを開始にし、呼出時間が「0秒」の場合は、転送でんわサービスで対応できます。
※7　ｉモードが切断されます。
※8　パケット通信中着信設定に従います。
※9　ｉコンシェル、データ放送サイトの接続が可能です。
※10　キャッチホンが開始の場合、不在着信として記録されます。
※11　留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始にし、呼出時間が「0秒」の場合は各サービスで対応できます。
※12　エリアメールは受信可能です。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション品を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってお取り扱いしていない商品もあります。
詳細は、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプション品の詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 電池パック F19
- リアカバー F75
- FOMA ACアダプタ 01／02※1
- 卓上ホルダ F33
- キャリングケースL 01
- キャリングケース 02
- 平型ステレオイヤホンセット P01※2
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01※2／P02※2
- 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01
- イヤホン変換アダプタ 01
- ステレオイヤホンマイク 01
- イヤホンマイク 01
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02※3
- 車内ホルダ 01
- FOMA DCアダプタ 01／02
- 車載ハンズフリーキット 01※4
- FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01
- FOMA USB接続ケーブル※3
- FOMA 乾電池アダプタ 01
- FOMA 補助充電アダプタ 01／02／03
- イヤホンジャック変換アダプタ P001※2
- スイッチ付イヤホンマイク P001※5／P002※5
- ステレオイヤホンセット P001※5
- マイク付リモコン F01※2
- イヤホンターミナル P001※5
- ワイヤレスイヤホンセット P01
- ワイヤレスイヤホンセット 02／03
- Bluetoothヘッドセット F01
- Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01
- FOMA 海外兼用ACアダプタ 01※1
- FOMA室内用補助アンテナ※6
- FOMA室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）※6
- 骨伝導レシーバマイク 01※2／02
- FOMA ecoソーラーパネル 01

※1 ACアダプタの充電方法について→P45
※2 F-01Eと接続するには、外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01が必要です。
※3 USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※4 F-01Eを充電するには、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01が必要です。
※5 F-01Eと接続するには、外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01とイヤホンジャック変換アダプタ P001が必要です。
※6 日本国内で使用してください。

動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画（MP4形式）を再生するには、アップルコンピュータ株式会社のQuickTime Player（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3＋3GPP）が必要です。
QuickTime Playerは次のホームページからダウンロードできます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

- ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細は、上記ホームページをご覧ください。

故障かな？と思ったら

- まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→P435
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源・充電

●FOMA端末の電源が入らない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P42
- 電池切れになっていませんか。→P44、47

●充電ができない（充電中にランプが点灯しない）

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P42
- アダプタとFOMA端末が正しくセットされていますか。→P45
- ACアダプタ（別売）をご使用の場合、ACアダプタのコネクタがFOMA端末または付属の卓上ホルダにしっかりと接続されていますか。→P45
- アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。→P45、46
- 卓上ホルダを使用する場合、FOMA端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇してランプが消える場合があります。温度が高い状態では安全のために充電を停止しているため、ご使用後にFOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

●充電が完了しない（充電しているのに電池残量が減る）

通話中や通信中は充電が完了しない場合があります。また、ワンセグ視聴／録画中、動画／ｉモーション再生中、Music&Videoチャネル番組取得中、Music&Videoチャネルプレーヤーやミュージックプレーヤー起動中、ｉアプリの動作中などに充電を開始するとご使用の充電アダプタによっては電池残量値が減り、充電が完了しないことがありますが、FOMA端末の異常ではありません。充電を完了させるには、動作を終了してから充電することをおすすめします。

●FOMA端末の電源が切れない

[終話キー]を10秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。

■ 端末操作・画面

●電源断・再起動が起きる

電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

●キー操作をしても動作しない

- 次の機能を起動していませんか。
  - オールロック→P107
  - おまかせロック→P108
  - HOLD→P115
  - 自動キーロック→P115

●電池の使用時間が短い

- 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。

●ドコモminiUIMカードが認識されない

ドコモminiUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P40

●キーを押したときの画面の反応が遅い

FOMA端末に大量のデータが保存されているときや、FOMA端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。

●操作中・充電中に熱くなる

操作中や充電中、充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。

●ディスプレイが暗い（見えにくい）

- 次の設定を変更していませんか。
  - 照明設定→P92
  - プライバシービュー→P93
  - ecoモード→P93
  - ワンセグecoモード→P207

●時計がずれる

長い間、電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。日付時刻設定の自動時刻・時差補正を「ON」にして電波のよい所で電源を入れ直してください。→P49

●ディスプレイがちらつく

照明設定の明るさ調整を「自動調整」にすると、ディスプレイの照明が周囲の明るさによって自動的に変更されたとき、ちらついて見える場合があります。→P92

●ディスプレイに常時点灯する／点灯しないドット（点）がある

FOMA端末のディスプレイは非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に常時点灯するドットや点灯しないドットが存在する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり、FOMA端末の故障ではありません。あらかじめご了承ください。

●ディスプレイに残像が残る

- FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、しばらくの間ディスプレイから残像が消えないことがあります。電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- FOMA端末を開いたまましばらく同じ画面を表示していると、何か操作して画面が切り替わったとき、前の画面表示の残像が残る場合があります。

■ 通話・音声

●通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる

- 次の設定を変更していませんか。
  - 通話中の受話音量→P60
  - 音量設定の受話音量→P83
- 次の機能をONにすると相手の声が聞き取りやすくなります。
  - はっきりボイス→P61
  - ゆっくりボイス→P61
- 市販の保護シートで受話口をふさいでいませんか。
- 受話口を耳でふさいでいませんか。

●通話ができない（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）

- ドコモminiUIMカードを入れ直してください。→P40
- 電池パックを入れ直してください。→P42
- 電源を入れ直してください。→P48
- 電波の性質により圏外ではなく、アンテナアイコンが3本表示されている状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- 次の設定を変更していませんか。
  - 着信拒否設定→P119
  - 3G/GSM切替→P368
- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

●着信音が鳴らない

- 音量設定の電話着信音量を「Silent」にしていませんか。→P83
- 次の機能を起動していませんか。
  - 公共モード（ドライブモード）→P64
  - マナーモード→P85
  - セルフモード→P109
  - プライバシーモード→P110
- 次の設定を変更していませんか。
  - 着信拒否設定→P119
  - 呼出動作開始時間設定→P120
- 次の設定を「0秒」にしていませんか。
  - 着信詳細設定のオート着信設定の自動着信時間→P64
  - 伝言メモ応答時間設定→P66
  - 留守番電話サービスの呼出時間→P354
  - 転送でんわサービスの呼出時間→P355

●ダイヤルキーを押しても発信できない

- 次の機能を起動していませんか。
  - オールロック→P107
  - おまかせロック→P108
  - セルフモード→P109
  - ダイヤル発信制限→P110
  - 自動キーロック→P115
  - 親子モードの各種利用制限の電話発信／メール送信設定→P118

●通話中、自分の声が相手に届きにくい

マイクを指でふさいでいませんか。

■ｉモード・メール

●ｉモード、ｉモードメール、ｉアプリ、ｉチャネル、ｉコンシェルに接続できない

- 接続先設定を「ｉモード」以外にしていませんか。→P173
- ｉモードを途中からご契約いただいた場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

●メールを自動で受信しない

メール選択受信設定を「ON」にしていませんか。→P147

●ｉモード中のアイコンが点滅したまま消えない

ｉモード（センター）問い合わせ・メール送受信などの後や途中でｉモード接続が途切れたときは、ｉは点滅したままになります。データのやりとりを行わなければ自動的に切断されますが、[終話キー]を押せばすぐに終了できます。

●添付ファイルが削除されて画像を見ることができない

- メール受信添付ファイル設定を確認してください。→P150
- メールサイズ制限を確認してください。詳しくは『ご利用ガイドブック（ｉモード編）』をご覧ください。

■ ワンセグ・カメラ

●ワンセグの視聴ができない

- 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送波の弱い場所にいませんか。→P202
- チャンネルを設定していますか。→P203

●カメラで撮影した静止画や動画がぼやける

- カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。
- シーン別撮影の「自動シーン認識」を利用してください。→P195
- 次の機能を利用してもピントを合わせることができます。
  - 手動オートフォーカス→P189
  - トラッキングフォーカス→P192
- 近くの被写体を撮影するときはAFモードを「接写」に、人物を撮影するときは「顔優先AF」に切り替えてください。→P192
- 手ぶれ補正を設定して撮影してください。→P193

■ おサイフケータイ

●おサイフケータイ対応ｉアプリが削除できない

- ICカード内データを削除した後、ｉアプリを削除してください。なお、iD 設定アプリ、オンラインサービス一覧は削除できません。→P242
- 削除したいｉアプリが利用しているICカード内データを削除しないと、ｉアプリを削除できない場合があります。削除できなかった場合は、ドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

●おサイフケータイが使えない

- 電池パックを取り外すと、ICカードロックの設定に関わらずICカード機能が利用できなくなります。→P42
- 次の機能を起動していませんか。
  - おまかせロック→P108
  - ICカードロック→P250
- FOMA端末のマークがある位置を読み取り機にかざしていますか。→P248

■ 海外利用

●海外で、アンテナアイコンが表示されているのにFOMA端末が使えない

WORLD WINGのお申し込みをされていますか。WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。

●海外で、圏外が表示されFOMA端末が使えない

- 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。
- 利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」で確認してください。
- 次の方法でネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してください。
  - ネットワークサーチ設定を「オート」に変更→P367
  - 3G/GSM切替を「自動」に変更→P368
- FOMA端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。

●海外で利用中に突然、FOMA端末が使えなくなった

利用停止目安額を超えていませんか。国際ローミング（WORLD WING）のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、利用累積額を精算してください。

●海外で電話がかかってこない

- パケット通信中着信設定を「テレビ電話優先」以外にしていませんか。→P69
- ローミング時着信規制を規制開始にしていませんか。→P369
- GSM/GPRSネットワーク利用中にテレビ電話は利用できません。

●相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない

相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、FOMA端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

■ データ管理・データ表示

●microSDカードに保存したデータが表示されない

- パソコンなどでデータを保存したときは情報更新を行ってください（WMAファイルを除く）。→P293
- microSDカードのチェックをしてください。→P293
- 他の携帯電話でmicroSDカードにパスワードを設定していませんか。→P294

●データ転送が行われない

USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

●各機能で設定した画像やメロディなどが動作せず、お買い上げ時の設定で動作する

画像やメロディなどの取得時に挿入していたドコモminiUIMカードが挿入されていますか。→P41

●画像が表示できない

画像が壊れている場合は表示できません。

■ Bluetooth機能

●Bluetooth機器と接続ができない／サーチしても見つからない

Bluetooth機器を登録待機状態にしてから、FOMA端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度、機器登録を行う場合はFOMA端末とBluetooth機器の両方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。

●カーナビやハンズフリー対応機器などの外部機器を接続した状態でFOMA端末から発信できない
相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

■ 地図・GPS機能

●オートGPSサービス情報が設定できない
- 電池残量が少なくなり、オートGPS機能が停止していませんか。低電力時動作設定により、オートGPS機能が停止している場合は、オートGPSサービス情報は設定できません。低電力時動作設定を「停止しない」にするか、充電をすることで設定できるようになります。→P264
- オートGPS動作設定が「OFF」になっていませんか。→P263
- オートGPS機能が動作しない状態になっていませんか。→P263

■ その他

●指紋認証や登録の際、センサーに指を触れていないのに「操作が速すぎます」「操作が遅すぎます」と表示される
センサー表面が濡れていたり、結露していたりすることが考えられます。柔らかい布で水分を取り除いてからご使用ください。

●漢字が正しく表示されない
マルチリンガル利用設定のマルチリンガル設定を「ON」にしていませんか。→P349

●オートローテーション機能が動作しない
- モーションセンサー設定を変更していませんか。→P39
- 機能によってはオートローテーションに対応していないものがあります。

●FOMA端末を持ち上げたときに背面ディスプレイの照明が点灯する／点灯しない
- 背面自動点灯設定に従って動作します。→P94
- 背面ディスプレイの照明は、持ち上げたときの速度や傾きを感知して点灯します。背面自動点灯設定を「ON」にしていても、ゆっくりと持ち上げたり、傾きが足りなかったりすると、点灯しない場合があります。
- ecoモードがONでフル省電力の場合は、背面自動点灯設定が「OFF」になります。→P93

●ランプの点灯色や明るさに差異がある
- 次の現象はランプに用いているLEDやFOMA端末の特性によるものであり、FOMA端末の故障ではありません。あらかじめご了承ください。
  - FOMA端末ごとに、あるいはランプによって点灯色や明るさに差異があります。
  - FOMA端末の塗装色により、ランプ個々の色が異なる色に見えることがあります。
- 次のいずれかの色が点灯しない場合は、ドコモショップなど窓口にご連絡ください。
  - イルミネーション設定のイルミネーションカラー「パプリカ」「ミント」「アクア」→P98
  - キーバックライト設定のキーバックライト色「パプリカ」「ミント」「アクア」→P98

●FOMA端末を閉じているとき、ランプが点滅する
- 次の設定を変更していませんか。
  - 不在着信お知らせ→P99
  - 時報設定→P99
  - セキュリティランプ設定→P117
  - USBモード→P294

●パソコンなどとFOMA端末を接続したときに指紋認証できない
デスクトップパソコンなどアースを必要とする機器にFOMA端末をUSBケーブルで接続するときは、必ず機器のアースが接続されていることを確認してください。アースが接続されていない状態で接続している間は、指紋認証できない場合があります。そのときは、接続する機器の金属部分（筐体や外部接続用コネクタなど）に触れながら指紋認証を行うか、FOMA端末を機器から取り外して指紋認証を行ってください。

エラーメッセージ一覧

- エラーメッセージ内の「(数字)」または「(xxx)」は、ｉモードセンターから送信されたエラーを区別するためのコードです。

●以下の宛先にはメール送信できませんでした（561）○○@△△△.ne.jp
表示された宛先にメールが正しく送信できませんでした。

●遠隔操作可能なサービスは未契約です
留守番電話サービスまたは転送でんわサービスが未契約です。利用するには別途ご契約が必要です。

●応答がありませんでした（408）
サイトやホームページから規定時間内に応答がなく、通信が切断されました。しばらくたってから操作し直してください。

●オールロック中
オールロック中です。→P107

●おまかせロック中です
おまかせロック中です。→P108

●画像に誤りがあり正しく動作しません
画像に誤りがあるため、Flash画像を表示できません。

●起動できませんでした
起動や選局の処理でエラーが発生したため、ワンセグ視聴を起動できませんでした。

●圏外です
電波の届かない所かFOMAサービスエリア外にいるため実行できません。

●現在お使いのドコモUIMカード（FOMAカード）がICオーナーではないため起動できません。詳細はおサイフケータイ メニューのICオーナーをご確認ください
ICオーナーの登録後に、異なるドコモminiUIMカードに差し替えておサイフケータイ対応ｉアプリを起動しようとした場合に表示されます。

●現在お使いのドコモUIMカード（FOMAカード）がICオーナーではないためダウンロードできません。詳細はおサイフケータイ メニューのICオーナーをご確認ください
ICオーナーの登録後に、異なるドコモminiUIMカードに差し替えておサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードしようとした場合に表示されます。

●現在お使いのドコモUIMカード（FOMAカード）がICオーナーではないためバージョンアップできません。詳細はおサイフケータイ メニューのICオーナーをご確認ください
ICオーナーの登録後に、異なるドコモminiUIMカードに差し替えておサイフケータイ対応ｉアプリをバージョンアップしようとした場合に表示されます。

●更新できませんでした
- パターンデータの更新に失敗しました。他に起動している機能をすべて終了し、電波状態のよい所で更新し直してください。
- Bluetooth機器の情報更新に失敗した場合に表示されます。見通し距離またはBluetooth機器の電源が入っていることを確認してください。→P330

●このカードでは本機能は利用できません
他社のSIMカードを挿入しているため、起動できませんでした。

●このカードは使用できません
ドコモminiUIMカードが正しく取り付けられていないか、使用できないカードが挿入されています。→P40

●この形式のデータは実行できません
FOMA端末で対応していないファイル形式のデータはmicroSDカードからFOMA端末に移動／コピーしたり、表示したりできません。

●このサイトとのSSL／TLS通信は無効です
サイトの証明書が書き換えられています。接続できません。

●このサイトの安全性が確認できません。接続しますか？
サイトの証明書がFOMA端末で対応していません。

●このサイトは安全でない可能性があります。接続しますか？
サイトの証明書が有効期限前か期限切れです。→P174

●この接続先の安全性が確認できません。接続しますか？
CA証明書が有効期限切れです。→P174

●この接続先は安全でない可能性があります。接続しますか？
サイトの証明書のCN名（サーバ名）が実際のサーバ名と一致していません。

●このソフトは現在利用できません
IP（情報サービス提供者）によってｉアプリの使用が停止されています。

●このソフトは最新です
既に最新のｉアプリにバージョンアップされています。

●このチャンネルは受信できません
- 放送圏外のため受信できません。放送波の受信状態のよい所で操作し直してください。
- 有料放送または何らかの原因で受信できません。

●このチャンネルは放送休止中です
選局したチャンネルが放送休止中です。

●このデータは再生できない可能性があります
動画／ｉモーションがFOMA端末で対応していない形式です。

●サービス未契約です

- ｉモードが未契約です。利用するにはお申し込みが必要です。
- ｉモードを途中から契約された場合は、FOMA端末の電源を入れ直してください。

●サービス未提供です

SMSが未提供です。

●再起動しました　電源ON時の電池の抜き差しや、電池パックの金属部分の汚れは再起動の原因となります。金属部分は定期的な清掃をお勧めします。清掃には乾いた綿棒を使用してください。

電源が入っている状態で電池パックを取り外し、すぐに取り付け直した場合に表示されます。また、電池パックの金属部分が汚れている場合にも表示されることがありますが故障ではありません。電池パックの金属部分は定期的に清掃してください。

●再起動しました　ドコモUIMカード（FOMAカード）の金属部分の汚れは再起動の原因となります。金属部分は定期的な清掃をお勧めします。清掃には乾いた綿棒を使用してください。

ドコモminiUIMカードの金属部分が汚れている場合に表示されることがありますが故障ではありません。ドコモminiUIMカードの金属部分は定期的に清掃してください。

●再生可能日前です。再生できません

- Music&Videoチャネルに設定されている再生期間より前のため再生できません。番組情報を確認してください。→P225
- 音楽データに設定されている再生期間より前のため再生できません。情報表示を確認してください。→P222
- ｉモーションに設定されている再生期間より前のため再生できません。情報表示を確認してください。→P297

●再生期限の更新が必要なデータがあります。携帯電話／ドコモUIMカード（FOMAカード）の製造番号を送信し、サイトに接続しますか？

ミュージックプレーヤーで音楽を再生する際に再生期限切れのうた・ホーダイがあると表示されます。「はい」を選択すると、音楽データを更新します（データを更新する際のパケット通信料は有料です）。「いいえ」を選択すると、再生期限切れのうた・ホーダイは利用できません。→P220

●再生できません。更新が可能なデータは本体をPCに接続し、転送元ソフトを起動して更新してください

音楽データの再生期限が切れているか、再生期限の確認ができない、またはFOMA端末の故障や修理、電話機の変更などによってFOMA端末固有の情報が変更されたため、再生できません。パソコンで再生期限内であることを確認し、FOMA端末をパソコンに接続して同期をとると、再生できます。→P217

●サイトが移動しました（301）

サイトやホームページが自動的にURL転送を行っているか、URLが変更されています。

●サイトに接続できませんでした（403）

接続を拒否されるなど、何らかの原因でサイトに接続できませんでした。

●削除しますか？ ICカード内データも削除されます

ｉアプリを削除するとICカード内データも削除されるおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれます。ｉアプリおよびICカード内データを削除するときは「はい」を選択します。

●指定サイトがみつかりません（404）

URLが正しいかどうか確認してください。

●指定サイトに表示データがありません（204）

指定のサイトにデータがありませんでした。

●指定されたソフトが起動できませんでした

ｉアプリにエラーが発生したため、起動できません。ｉアプリToで起動するとき、ソフト動作設定や起動条件などに問題があると起動できません。

●指定したサイトへは接続できませんでした（504）

何らかの原因で、指定のサイトなどに接続できませんでした。

●しばらくお待ちください

- 音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。
- 110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。

●しばらくお待ちください（パケット）

パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●指紋センサーが起動できませんでした。センサーの表面を清掃してください

センサー表面を清掃しても表示される場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

●既にメッセージをお預かりしています

既にSMSは送信済みです。

●正常に接続できませんでした（400）

サイトやホームページのエラーにより接続できません。URLを確認してください。

●積算料金が既定の上限に達したため通話が切断されました

積算通話料金をリセットしてください。→P324

●積算料金が既定の上限に達したため保留中の通話が切断されました

積算通話料金をリセットしてください。→P324

●積算料金が既定の上限に達しているため発信できません

積算通話料金をリセットしてください。→P324

●セキュリティエラーのため、終了しました

許可されていない操作やｉアプリの動作があったため、ｉアプリが終了しました。

● セキュリティエラーのため、ｉアプリ待受画面を解除しました
許可されていない操作やｉアプリの動作があったため、ｉアプリ待受画面が終了しました。

● 接続相手が見つかりません。続けますか？
通信を開始してから相手が見つからないまま一定時間が経過しました。FOMA端末を正しく配置してください。→P299、330

● 接続が中断されました
電波状態のよい所で操作し直してください。同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

● 接続できませんでした（562）
ｉモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい所で操作し直してください。

● 設定時間内に接続できませんでした
ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

● セルフモード中です
セルフモード中です。→P109

● 送信できませんでした
表示された宛先にメールが正しく送信できませんでした。

● 送信できませんでした（552）
ｉモードセンターのエラーにより、ｉモードメールの送信に失敗しました。しばらくたってから送信し直してください。

● ソフトに誤りがあります
ｉアプリのデータに誤りがあるためダウンロードできません。

● ソフトを起動し、ICカード内データを削除後、ソフトを削除してください
ICカード内データを削除してから、おサイフケータイ対応ｉアプリを削除してください。

● ダイヤル発信制限中です
ダイヤル発信制限中は禁止されている操作ができません。→P110

● 注意！電話番号やURLの記述があります。送信元に心当たりが無い場合はご注意ください。
スキャン機能設定のメッセージスキャンが「有効」のとき、電話番号やURLの記載が含まれているSMSを表示しようとしました（mopera Uメールや留守番電話の着信通知などをSMSで受信した場合は、表示されません）。

● 中断されました
通信中にエラーが発生しました。データの送受信が終了するまでFOMA端末を正しい位置から動かさないでください。→P299、330

● 通信エラーが発生しました
「OK」を選択してGPS機能を終了し、しばらくたってから操作し直してください。

● データ転送モードへ移行できませんでした
FOMA端末が通信中のため、データ転送モードへ移行できませんでした。通信が終了してから操作し直してください。

● データベースの更新を行います
- データBOXのデータベースの修復を行います。修復を行っても、データBOX内の次の情報などは修復できない可能性があります。
  - 破損したデータ
  - 作成したフォルダ（フォルダ内のデータは消えずに、移動元のフォルダに残っています。）
  - 再生制限のあるｉモーション、音楽データ
  - プリインストール以外のPDFデータ
  - データBOXに保存されるｉアプリが使用する一部のデータ

● データまたはmicroSDにアクセスできません
- microSDカードに保存しているデータまたはmicroSDカードに問題があるため、アクセスできません。次の操作を行ってください。
  - 新しいmicroSDカードの取り付け→P285
  - microSDカードの初期化→P293
  - microSDカードのチェック→P293

● 電話帳のシークレット属性をメールに反映しますか？電話帳、メールの件数によっては、時間がかかる場合があります
シークレット属性が設定されている電話帳を外部から取り込んだり、電話帳にシークレット属性を設定したりした場合に表示されます。→P114

● 問い合わせに失敗しました
電波状態のよい所で操作し直してください。同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

● 登録された指紋と一致しません
もう一度、指紋認証をやり直すか、端末暗証番号で認証操作を行ってください。ただし、指紋のみ認証設定が「ON」の場合は、端末暗証番号での認証操作ができません。→P106

● 登録できるサービスがいっぱいです。上書きされたサービスの楽曲は再生できなくなります。上書きしますか？
登録できるうた・ホーダイのサービスが上限値を超えています。「はい」を選択すると再生期限の最も古いサービスから上書きされます。また、上書きされたサービスからダウンロードした音楽データは再生できなくなります。

● ドコモUIMカード（FOMAカード）が異なるためご利用できません
ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能により操作できません。→P41

● ドコモUIMカード（FOMAカード）が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした
ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能によりｉアプリを起動できません。→P41

● ドコモUIMカード（FOMAカード）が挿入されていないため指定されたソフトが起動できませんでした
受信したデータにｉアプリToが設定されていても、ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能により起動できません。→P41

●ドコモUIMカード（FOMAカード）を挿入／再確認してください
ドコモminiUIMカードが正しく取り付けられていないか、破損している可能性があります。→P40

●長すぎる項目がありました。入力が完全ではありません
サイトなどに表示されている項目を選択して電話帳に登録するときに、文字数が規定の長さを超えています。「OK」を選択すると超過分は削除された状態で電話帳の登録画面が表示されます。

●入力データをご確認ください（205）
サイトやホームページの入力データに誤りがあります。

●認証接続できませんでした
- 認証パスワードが正しくないため、赤外線通信／iC通信でのデータの全件送信ができませんでした。→P301
- 認証パスワードが正しくないため、赤外線通信／iC通信でのデータの全件受信ができませんでした。→P301
- 認証パスワードが正しくないため、Bluetooth通信でのデータの全件送信や全件受信ができませんでした。→P334

●認証タイプに未対応です（401）
認証タイプに対応していないため、指定のサイトやホームページに接続できません。

●パスワードをご確認ください（401）
サイトやホームページの認証画面に入力したユーザ名またはパスワードに誤りがあります。

●不正なデータが含まれています
バーコードリーダーで読み取ったデータからｉアプリを起動する場合、データに不正があるときは起動できません。

●不正なmicroSDです。著作権保護機能は利用できません
何らかの原因でmicroSDカード内の認証領域にアクセスできません。エラーの発生したmicroSDカードには、コンテンツ移行対応のデータを保存できません。

●他の機能が起動中のため起動できません
パターンデータの更新を行う場合は、他の機能をすべて終了してください。

●保存領域に誤りがあるため、パスワードマネージャーを使用できません。終了します
パスワードマネージャーの保存領域に誤りがあるため、パスワードの登録や引用ができません。

●無効なデータを受信しました（xxx）
- 指定のサイトやホームページに対応していません。
- URLを確認してください。
- 受信データにエラーがあるため表示できません。

●メモリ不足です
メモリが不足したため処理を中断します。頻繁に表示される場合は、一度電源を入れ直してください。

●ユーザ証明書がありません。継続しますか？
ユーザ証明書がダウンロードされていません。

●読取機による携帯電話内トルカの自動読取機能を利用しますか？
「はい」を選択し、トルカ自動読取チェックを「ON」にしてください。

●料金情報の読込ができませんでした
ドコモminiUIMカードが正しく取り付けられていないか、異常があります。→P40

●料金情報のリセットができませんでした
ドコモminiUIMカードが正しく取り付けられていないか、異常があります。→P40

●ワークメモリ不足です
メモリが不足したため処理を中断します。頻繁に表示される場合は、一度電源を入れ直してください。

●Bluetooth接続できませんでした
Bluetooth機器との接続に失敗した場合に表示されます。見通し距離またはBluetooth機器の電源が入っていることを確認してください。→P330

●Bluetooth認証できませんでした
Bluetoothパスキーが正しくないため、Bluetooth機器の登録ができませんでした。→P331

●ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？
ｉアプリ利用時の通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。継続して利用するには「はい」、通信を終了して継続するには「いいえ」、終了するには「ｉアプリ終了」を選択します。

●ｉアプリ利用を継続し、通信を行いますか？
「ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？」と表示された後で、再びｉアプリが通信しようとしました。

●ｉモーション最大サイズを超えています
最大サイズを超えたため、取得を中断しました。→P178

●ｉモードセンターが混みあっています。しばらくお待ちください（555）
ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●ICカード内データが削除できないソフトが存在します。それ以外を削除しますか？
削除するｉアプリの中に、ICカード内データを削除できないために削除できないおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれています。それ以外のｉアプリを削除するときは「はい」を選択します。

●ICカード内データにエラーがあるため削除できません
ICカード内データに不正があるおサイフケータイ対応ｉアプリは削除できません。

●ICカードロック設定中です
ICカードロック中です。→P250

●PINロック解除コードがロックされています
ドコモショップの窓口にお問い合わせください。

● **SMSがいっぱいです。これ以上コピーできません**

ドコモminiUIMカードの保存領域が不足しているため、SMSを保存できません。ドコモminiUIMカード内のSMSを削除してください。→P144

● **SMSセンター設定を確認してください**

SMS設定のSMSセンター設定が誤っています。→P154

● **SSL／TLS通信が切断されました**

SSL／TLS通信中にエラーが発生したか、サーバ側での認証エラーのためSSL／TLS通信が中断されました。

● **SSL／TLS通信が無効です**

SSL／TLS通信の認証処理で問題が検出されました。接続は中止されます。

● **SSL／TLS通信が無効に設定されています**

FOMA端末の証明書が無効に設定されています。設定を変更してください。→P174

● **“○○○.ne.jp”宛のメールが混み合っているため、送信することができません（555）Unable to send. “○○○.ne.jp” is not available temporarily. (555)**

ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。メッセージ内に表示されるドメイン名は送信先により異なります。

保証とアフターサービス

❖保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障、修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化、消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、ｉモード、ｉアプリでダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。
  ※ 本FOMA端末は、電話帳やｉモーション、ｉアプリの利用するデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
  ※ 本FOMA端末はケータイデータお預かりサービス（お申し込みが必要な有料サービス）をご利用いただくことより、電話帳などのデータをお預かりセンターにバックアップしていただくことができます。
  ※ パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（→P377）とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用になることにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

❖アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください（→P424）。それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（ディスプレイ・コネクタなどの破損）による故障、損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 次の場合は、修理できないことがあります。

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や、内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（イヤホンマイク端子）・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

- ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

- FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

■ お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災、けが、故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- 次のような場合は改造とみなされる場合があります。
  - ディスプレイ部やボタン部にシールなどを貼る
  - 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
  - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障、損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、FOMA端末の故障、修理やその他お取り扱いによって、クリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合はもう一度設定してくださるようお願いします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- FOMA端末の受話口部やスピーカーなどに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけるとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本FOMA端末は防水性能を有しておりますが、FOMA端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によっては修理できないことがあります。

▲メモリダイヤル（電話帳機能）および ダウンロード情報などについて▼

FOMA端末を機種変更や故障修理する際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化、消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合があります。本FOMA端末はFOMA端末にダウンロードされた画像・着信メロディを含むデータおよびお客様が作成されたデータを故障修理時に限り移し替えを行います（一部移し替えできないデータもあります。また、故障の程度によっては移し替えできない場合があります）。

※ FOMA端末に保存されたデータの容量により、移し替えに時間がかかる場合、もしくは移し替えができない場合があります。

端末エラー情報送信設定

ご利用のFOMA端末にエラーが発生した場合に記録したエラー情報をドコモに送信する設定を行います。

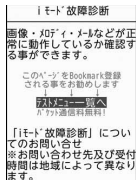
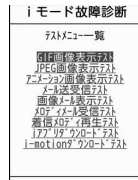
- エラーが発生しても、エラーの種別によっては記録されない場合があります。
- 記録された情報は夜間にドコモに送信されます。
- エラー情報が送信される際のパケット通信料は無料です。
- 送信された情報は、個人を特定する情報は含まれません。

1 MENU 8 9 6 ▶ 認証操作 ▶ 1 または 2

ｉモード故障診断サイト

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

TOP画面

ｉモード故障診断
ﾃｽﾄﾒﾆｭｰ一覧
GIF画像表示ﾃｽﾄ
JPEG画像表示ﾃｽﾄ
ｱﾆﾒｰｼｮﾝ画像表示ﾃｽﾄ
ﾒｰﾙ送受信ﾃｽﾄ
画像ﾒｰﾙ表示ﾃｽﾄ
ﾒﾛﾃﾞｨﾒｰﾙ受信ﾃｽﾄ
着信ﾒﾛﾃﾞｨ再生ﾃｽﾄ
iｱﾌﾟﾘﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞﾃｽﾄ
i-motionﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞﾃｽﾄ

テストメニュー一覧画面

- 「ｉモード故障診断サイト」へのアクセス方法
  ｉMenu→お客様サポート→お問い合わせ→故障・電波状況お問い合わせ先→ｉモード故障診断

サイトアクセス用
QRコード

  ※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。
- 海外でのご利用は有料となります。
- FOMA端末の機種によりテスト項目は異なります。また、テスト項目は変更になることがあります。
- 各テスト項目で動作を確認する際は、サイト内の注意事項をよくお読みになり、テストを行ってください。
- ｉモード故障診断サイトへの接続およびメール送信テストを行う際に、お客様のFOMA端末固有の情報（機種名やメールアドレスなど）が自動的にサーバ（ｉモード故障診断サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をｉモード故障診断以外の目的には利用いたしません。

ソフトウェア更新

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。FOMA端末を操作する上で重要な部分であるソフトウェアを更新することで、FOMA端末の機能・操作性を向上させることができます。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お客様サポート」でご案内させていただきます。

- 更新方法には、次の3種類があります。
  自動更新：新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書き換えを行います。
  即時更新：更新したいときすぐに更新を行います。
  予約更新：更新する日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。

✔お知らせ

- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様のFOMA端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。
- 接続先設定が「ｉモード」以外の場合でもソフトウェア更新ができます。
- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新は、電池をフル充電して、電池残量が十分にある状態（→P47）で実行してください。

- 次の場合はソフトウェア更新を実行できません。
  - ドコモminiUIMカードが挿入されていないとき
  - 電池がフル充電されていないとき
  - 電源が切れているとき
  - 圏外が表示されているとき
  - 他の機能を実行しているとき
  - PIN1コード入力中
  - PIN1コードロック中
  - おまかせロック中
  - セルフモード中
  - 国際ローミング中
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- PIN1入力ON／OFF切替が「ON」のときソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時には、PIN1コード入力画面が表示されません。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は音声電話の着信のみ受けられます。
- ソフトウェア更新の際には、サーバ（当社のサイト）へSSL／TLS通信を行います。証明書設定で証明書を有効にしてください。お買い上げ時は、有効に設定されています。→P174
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナアイコンが3本表示されている状態（→P48）で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、もう一度電波状態のよい所でソフトウェア更新を行ってください。
- ソフトウェア更新後、表示されていたセンターに未受信のｉモードメールやメッセージR/Fありのアイコンは消えます。また、メール選択受信設定が「ON」の場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にｉモードセンターにメールがあることを通知する画面が表示されない場合があります。→P137
- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。

◆ ソフトウェア更新の自動更新設定

ソフトウェア更新が必要なとき、自動で更新を行うか更新が必要なことを通知するかを選択できます。
- お買い上げ時は、自動更新設定が「自動で更新」、曜日が「指定なし」、時刻が「03時00分」に設定されています。

1 MENU 8 9 5 ▶認証操作▶「自動更新設定」▶各項目を設定▶ 📷［完了］

- 自動更新設定を「自動で更新」にした場合は、自動で更新する曜日と時刻を設定します。「設定しない」にした場合は、自動更新不可の確認画面で「はい」を選択します。

❖ソフトウェア更新が必要になると

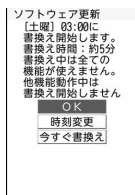
ソフトウェア更新が必要になると（書き換え予告アイコン）や（更新お知らせアイコン）が表示されます。

■ 自動更新設定を「自動で更新」にした場合

自動的に更新ファイルがダウンロードされ、待受画面に（書き換え予告アイコン）が表示されます。（書き換え予告アイコン）を選択すると、書き換えの開始時刻を確認したり変更したりできます。

〈例〉書き換えの時刻を確認する

1 ▶ (書き換え予告アイコン) を選択

書き換えする曜日と時刻が表示されます。「OK」を選択すると待受画面に戻り、(書き換え予告アイコン) が消えます。

時刻の変更：「時刻変更」▶認証操作▶各項目を設定▶ [完了]
すぐに書き換える：「今すぐ書換え」▶認証操作▶約5秒後に自動的に書き換え開始▶書き換え終了後、自動的に再起動▶「OK」

■ **自動更新設定を「更新の通知のみ」にした場合**

(更新お知らせアイコン) を選択して起動してください。→P437

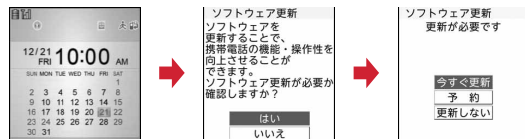
✔**お知らせ**

- (書き換え予告アイコン) は次の場合に表示されます。
  - 更新ファイルのダウンロードが完了した場合
  - 他の機能が起動していて書き換えできなかった場合
  - 書き換えを中止した場合や書き換えの開始時刻を変更した場合
- (更新お知らせアイコン) は次の場合に表示されます。
  - ドコモから通知があった場合
  - ソフトウェア更新画面を表示した場合
  - 予約更新に失敗した場合や予約更新を取り消した場合
  - 予約が解除された場合 (データ一括削除を行った場合を除く)

◆ ソフトウェア更新の起動

ソフトウェア更新を起動するには待受画面で (更新お知らせアイコン) を選択する方法とメニューの項目番号を押す方法があります。

〈例〉更新お知らせアイコンから起動する

1 ▶ (更新お知らせアイコン) を選択▶「はい」▶認証操作

ソフトウェア更新画面

- 「いいえ」を選択すると更新お知らせアイコン消去の確認画面が表示されます。
- 更新が必要な場合は「更新が必要です」と表示されます (ソフトウェア更新画面)。「今すぐ更新 (→P437)」または「予約 (→P438)」を選択します。
- 更新が必要ない場合は「更新は必要ありません。このままご利用ください」と表示されます。

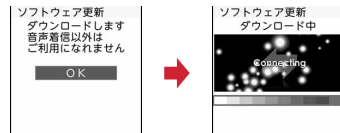
メニューからの起動： MENU 8 9 5 ▶認証操作▶「更新実行」

◆ ソフトウェアの即時更新

すぐにソフトウェア更新を開始します。

- サーバが混み合っていて、即時更新ができない場合があります。

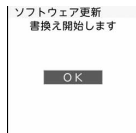
1 ソフトウェア更新画面 (→P437) で「今すぐ更新」▶約5秒後に自動的にダウンロード開始

「OK」を選択すると、すぐにダウンロードを開始します。

- ダウンロードを中止するときは を押します。

サーバが混み合っているとき：「予約」
予約更新→P438

2 ダウンロード終了後、約5秒後に自動的に書き換え開始

「OK」を選択すると、すぐに書き換えを開始します。

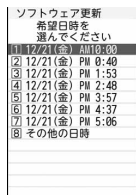
• 書き換え中は、すべてのキー操作が無効となり、更新を中止することができません。

3 書き換え終了後、自動的に再起動▶「OK」

◆ ソフトウェアの予約更新

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混み合っている場合には、あらかじめソフトウェア更新を起動する日時をサーバと通信して設定しておきます。

〈例〉表示されている候補から予約する

1 ソフトウェア更新画面（→P437）で「予約」

予約可能な日時がサーバの時刻で表示されます。

2 希望日時を選択▶「はい」

表示されている候補以外から予約：

①「その他の日時」▶希望日を選択

各時間帯の予約の空き状況が表示されます。[📷]を押すと、説明を表示できます。

② 希望時間帯を選択

サーバに接続され、選択した希望日と時間帯に近い予約候補が表示されます。

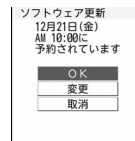
③ 希望日時を選択▶「はい」

3 「OK」

予約の設定が完了すると、待受画面に(予約アイコン）が表示されます。

❖ソフトウェア更新の予約確認

予約した日時の確認や変更などを行います。

1 [MENU][8][9][5]▶認証操作▶「更新実行」

2 内容を確認▶「OK」

予約の変更：「変更」▶希望日を選択▶希望時間帯を選択▶希望日時を選択▶「はい」▶「OK」

予約の取り消し：「取消」▶「はい」▶「OK」

❖予約の日時になると

予約日時になると次の画面が表示され、約5秒後に自動的にソフトウェア更新が開始されます（「OK」を選択すると、すぐにソフトウェア更新が開始されます）。予約日時前には、電池がフル充電されていることをご確認の上、電波の十分届く所でFOMA端末を待受画面にしておいてください。ダウンロードが完了するとソフトウェアの書き換えが行われ、再起動します。

✔お知らせ

- 次の場合は、ソフトウェア更新の予約が解除されることがあります。
  - 電池パックを取り外した場合や電池が切れたまま充電しなかった場合
  - データ一括削除を行った場合
  - おまかせロック中に予約日時になったとき
- ソフトウェア更新の設定中、または他の機能を使用していると予約日時になっても起動しないことがあるのでご注意ください。パケット通信中に予約日時になったときは、パケット通信終了後にソフトウェア更新を開始します。

スキャン機能

サイトからのダウンロードやｉモードメールなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。→P439
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際にFOMA端末に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータがFOMA端末にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能によって障害などの発生を防ぐことができませんのであらかじめご了承ください。

◆パターンデータの更新

まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

自動更新設定が「無効」のときや、パターンデータの自動更新に失敗したときは、パターンデータを手動で更新してください。

1 MENU 8 6 6 1 ▶「はい」▶「はい」

パターンデータのダウンロードと更新が開始されます。

2「OK」

- パターンデータの更新が必要ない場合は「パターンデータは最新です」と表示されます。

✔お知らせ

- パターンデータ更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- パターンデータ更新中に音声電話の着信があった場合は、更新が中断されます。

◆パターンデータの自動更新設定

スキャン機能で利用するパターンデータを自動的に更新するように設定できます。

- パターンデータの自動更新が行われると、待受画面にまたはが表示されます。各アイコンを選択し、メッセージを確認した後、「OK」を選択してください。

1 MENU 8 6 6 2

2「有効」▶「はい」▶「はい」▶「OK」

自動更新設定を無効にする：「無効」▶「はい」▶「OK」

◆スキャン機能設定

本設定を「有効」にすると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックします。SMSにスキャン機能を実行するかを設定することもできます。

- 障害を引き起こすデータを検出すると5段階の警告レベルで表示されます。→P440

1 MENU 8 6 6 3 ▶各項目を設定▶ 📷［登録］▶「はい」

◆スキャン結果の表示

■スキャンされた問題要素の表示

① 警告レベル画面表示中に「詳細」

問題要素が6個以上検出された場合は、6個目以降の問題要素名は省略され、検出された問題要素の総数が表示されます。

問題要素一覧
PadMB001.EB
PadMB007.EB
PadMB010.EB
PadMB013.EB
PadMB016.EB
以下省略、総数6
OK

■スキャン結果の表示

警告レベル	対応方法
警告レベル0 問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります OK 詳細	「OK」：起動中のアプリケーションの処理を続行する 「詳細」：検出された問題要素の名前の一覧を表示する
警告レベル1 問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります 動作を中止しますか？ はい いいえ 詳細	「はい」：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止する 「いいえ」：起動中のアプリケーションの処理を続行する 「詳細」：検出された問題要素の名前の一覧を表示する
警告レベル2 問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があるため終了します OK 詳細	「OK」：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止する 「詳細」：検出された問題要素の名前の一覧を表示する
警告レベル3 問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります データを削除しますか？ はい いいえ 詳細	「はい」：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除する 「いいえ」：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止する 「詳細」：検出された問題要素の名前の一覧を表示する
警告レベル4 問題要素が検出されました 正常に動作できないためデータを削除します OK 詳細	「OK」：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除する 「詳細」：検出された問題要素の名前の一覧を表示する

✔お知らせ

- Music&Videoチャネルの番組取得中に問題要素が検出され、警告メッセージを確認しないままFOMA端末の電源が切れた場合、次回FOMA端末を起動した際に、警告レベル画面が表示されます。
- 待受画面に設定しているｉアプリに問題要素が見つかり起動を中止した場合は、ｉアプリ待受画面が解除されます。
- 問題要素によっては、「詳細」ボタンが表示されない場合があります。

◆パターンデータのバージョン表示

パターンデータのバージョンを確認します。

1 MENU 8 6 6 4

主な仕様

■本体

項目		仕様
品名		F-01E
サイズ		高さ約111mm×幅約50mm× 厚さ約11.7mm（最厚部：約16.2mm）
質量		約110g（電池パック装着時）
連続待受時間※1、2、3	FOMA／3G	静止時（自動）：約550時間
	GSM	静止時（自動）：約260時間
連続通話時間※2、3、4	FOMA／3G	音声電話時：約210分
	GSM	約240分
ワンセグ視聴時間※2、5		約230分
充電時間※6		ACアダプタ：約130分 DCアダプタ：約130分
ディスプレイ	方式	ディスプレイ：TFT16777216色 背面ディスプレイ：有機EL1色
	サイズ	ディスプレイ：約3.3inch 背面ディスプレイ：約0.8inch
	画素数	ディスプレイ：409920画素（横480ドット×縦854ドット） 背面ディスプレイ：3744画素（横96ドット×縦39ドット）
撮像素子	種類	CMOS
	サイズ	1/3.0inch
	有効画素数	約1310万画素
カメラ部	記録画素数（最大時）	約1300万画素
	ズーム（デジタル）	最大約35.1倍（静止画）、最大約16.0倍（動画）
記録部	静止画記録枚数※7	最大約1400枚（お買い上げ時）
	静止画連続撮影	7枚
	静止画ファイル形式	JPEG
	動画録画時間※8	最大約375秒（本体保存時） 最大約60分（microSDカード1GB保存時）
	動画ファイル形式	MP4
	ワンセグ録画時間	最大約221分（本体保存時・お買い上げ時） 最大約320分（microSDカード1GB保存時）
音楽再生	連続再生時間	ｉモーション：約600分※9 着うたフル®：約3660分※9、10 WMAファイル：約3720分※10 Music&Videoチャネル（音声）：約3660分※10 Music&Videoチャネル（動画）：約210分
保存容量	着うた®／着うたフル®	約712MB
	着うたフル®	約500MB
無線LAN	方式	IEEE802.11b/g/n※11準拠（アクセスポイントモードはIEEE802.11b/g）

※1 連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。

※2 電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受の時間が約半分程度になったり、ワンセグ視聴時間が短くなる場合があります。

※3 通話やｉモード通信をしなくても、カメラ、ワンセグ、ｉアプリ、オートGPS、Wi-Fi、Bluetooth機能などの各種機能のご利用頻度が多い場合、通話（通信）・待受時間は短くなります。

※4 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態での時間の目安です。

※5 ワンセグ視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で、ステレオイヤホンマイク 01（別売）を使用して視聴できる時間の目安です。

※6 充電時間とは、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA端末の電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。

※7 静止画記録枚数とは、画像サイズが「VGA（640×480)」、画質選択が「NORMAL」、ファイルサイズが25Kバイトの場合です。
※8 動画録画時間とは、1件あたりの数値です。画像サイズが「VGA（640×480)」、画質選択が「NORMAL」の場合です。撮影する映像によって異なります。
※9 AAC形式のファイルです。
※10 バックグラウンド再生に対応しています。
※11 IEEE802.11nは、2.4GHzのみ対応しています。

■電池パック

品　名	電池パック F19
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.7V
公称容量	820mAh

保存・登録・保護件数

種　別		保存・登録件数	保護件数
電話帳※1		最大2000件	－
ドコモUIMカード電話帳		最大50件	－
きせかえツール※1		最大50件	－
メール※1	受信メール※2	最大2500件	最大2500件
	送信メール※2	最大500件	最大500件
	未送信メール※2	最大500件	最大500件
	デコメアニメ®テンプレート	最大300件	－
	デコメール®テンプレート	最大300件	－
エリアメール		最大30件	－
ドコモminiUIMカードのSMS※3		最大20件	－
メッセージR※1		最大50件	最大25件
メッセージF※1		最大50件	最大25件
Bookmark※4		最大200件	－
画面メモ※1、4		最大400件	最大400件
ダウンロード辞書		最大10件	－
コンテンツパッケージ※1		最大100件	－
ダウンロードしたフォント※1	漢字／英数字	最大3件	－
	ひらがな／カタカナ	最大5件	－
テレビリンク		最大50件	－
Music&Videoチャネルの番組※1		最大20件	－
ミュージック※1	着うたフル®	最大100件	－
	うた文字	最大100件	－
ｉアプリ※1、5		最大100件	－
トルカ※1		最大200件	－
画像※1、6		最大5000件	－
動画／ｉモーション※1		最大200件	－
メロディ※1		最大500件	－
PDFデータ※1		最大100件	－
マチキャラ※1		最大50件	－
キャラ電※1		最大50件	－
Word、Excel、PowerPoint※1		最大100件	－
ワンセグで録画したビデオ※1		最大10件	－
メモ・スケジュール※1、7		最大2600件	－

※1 実際に保存・登録できる件数は、データサイズや共有している保存領域の使用状況により少なくなる場合があります。
※2 ｉモードメールとSMSの合計件数です。
※3 受信SMSと送信SMSの合計件数です。送達通知は含まれません。
※4 ｉモードとフルブラウザの合計件数です。
※5 ｉアプリとメール連動型ｉアプリの合計件数です。メール連動型ｉアプリは最大5件保存できます。
※6 画像、ワンセグで録画した静止画の合計件数です。
※7 メモ・スケジュール、ｉスケジュール内の予定、ワンセグの視聴／録画予約の合計件数です。ワンセグの視聴／録画予約は合わせて最大100件登録できます。

携帯電話機の比吸収率（SAR）

この機種F-01Eの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.657W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご覧ください。
総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
富士通のホームページ
http://www.fmworld.net/product/phone/sar/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

◆ Declaration of Conformity

The product "F-01E" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.fmworld.net/product/phone/doc/.

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency(RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.665W/kg for HEAD. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/Kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operation positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

◆Federal Communications Commission (FCC) Notice

- This device complies with part 15 of the FCC rules.
  Operation is subject to the following two conditions :
  ① this device may not cause harmful interference, and
  ② this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications made in or to the radio phone, not expressly approved by the manufacturer, will void the user's authority to operate the equipment.
- The device complies with 15.205 of the FCC Rules.

◆FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. Government's requirements for exposure to radio waves.
This model phone contains a radio transmitter and receiver. This model phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy as set by the FCC of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions as accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output level of the phone.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to prove to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC, when tested for use at the ear, is 0.561W/kg, and when worn on the body, is 0.599W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements).
While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirements.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Equipment Authorization Search section at http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ (please search on FCC ID VQK-F01E).
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and which positions the handset at a minimum distance of 1.5 cm from the body.
※ In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the general public is 1.6 Watts/kg (W/kg), averaged over

one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

◆ Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers flight mode or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pace maker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and does not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids

Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices :

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

Warning

This device have been tested to comply with the Sound Pressure Level requirement laid down in the applicable EN 50332-1 and/or EN 50332-2 standards. Permanent hearing loss may occur if earphones or headphones are used at high volume for prolonged periods of time.

<Prevention of Hearing Loss>

Warning statement requirement under EN 60950-1:A12.

Warning: To prevent possible hearing damage, do not listen to high volume levels for long periods.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権

◆ 著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

◆ 商標

本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉアプリDX」「ｉモーション」「デコメール®」「デコメ®」「デコメ絵文字®」「着モーション」「キャラ電」「トルカ」「ケータイデータお預かりサービス」「おまかせロック」「mopera U」「WORLD CALL」「ｉチャネル」「おサイフケータイ」「かざしてリンク」「DCMX」「iD」「セキュリティスキャン」「ｉモーションメール」「ｉエリア」「WORLD WING」「公共モード」「メッセージF」「マルチナンバー」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「iCお引っこしサービス」「ケータイお探しサービス」「マチキャラ」「うた・ホーダイ」「2in1」「Music&Videoチャネル」「メロディコール」「エリアメール」「デコメアニメ®」「ｉコンシェル」「ｉウィジェット」「ｉアプリコール」「ｉスケジュール」「ｉアプリタッチ」「docomo STYLE series」「i Bodymo」「かんたんデコメ」「spモード」「きせかえツール」「声の宅配便」「dマーケット」および「ｉ-mode」ロゴ「ｉ-αppli」ロゴ「Music&Videoチャネル」ロゴ「iC」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Lite®およびAdobe Reader® Mobileテクノロジーを搭載しています。
  Adobe Flash Lite Copyright© 2003-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe Reader Mobile Copyright© 1993-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe、Adobe Reader、およびFlash Lite はAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Document Viewer、NetFront Sync Clientを搭載しています。
  ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。
  Copyright© 2011 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2011 Aplix Corporation. All rights reserved.
JBlendおよびJBlendに関する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 「Facebook」は、Facebook, Inc.の商標または登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- 「マルチタスク／Multitask」は日本電気株式会社の登録商標です。
- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Media®、Windows Vista®、PowerPoint®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft Excel、Microsoft Wordは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。本書ではExcel、Wordのように表記している場合があります。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- Google、モバイルGoogleマップは、Google, Inc.の登録商標です。
- 「モバイルSuica」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- 「CROSS YOU」は、ソニー株式会社の商標です。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2011 All Rights Reserved.
- 「AXISフォント」は株式会社アクシスの登録商標です。
また、「AXIS」フォントはタイププロジェクト株式会社が制作したフォントです。
- 本機には、Symbian Foundation Limitedよりライセンス供与されたソフトウェアが含まれています。
SymbianはSymbian Foundation Limitedの登録商標です。
- 「プライバシーモード」は富士通株式会社の登録商標です。
- Uni-Typeは、株式会社リムコーポレーションと千葉大学工学部との共同研究によって開発されたユニバーサルデザインの書体です。
Uni-Typeは、株式会社リムコーポレーションの登録商標です。
- 「丸ゴシック」、「レイミン」、「丸フォーク」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。また「レイミン」、「丸フォーク」の名称は、同社の商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、Wi-FiロゴおよびWi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED™、WPA™、WPA2™およびWi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Allianceの商標です。
- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。

- DLNA®、DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED™は、Digital Living Network Allianceの商標です。
DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- OBEX™、IrSimple™、IrSS™またはIrSimpleShot™は、Infrared Data Association®の商標です。
- Blu-ray Discおよびロゴは商標です。
- 「くーまん」は株式会社ドラコミュニケーションズの登録商標です。
- 「ぷよぷよ」は株式会社セガの商標または登録商標です。
- その他、本取扱説明書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

◆ その他

- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- 文字認識エンジンは、オムロン（株）のMobile OmCRを使用しています。
- 本製品には、Apache License V2.0に基づきライセンスされるソフトウェアに当社が必要な改変を施して使用しております。
  本製品には、GNU Lesser General Public License（LGPL）、Eclipse Public License（EPL）、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。
  ライセンスに関する詳細は、FOMA端末のMENU→6#1→「その他」から「オープンソースライセンス」をご参照ください。
  また、LGPL（http://www.gnu.org/licenses/）、EPL（http://www.eclipse.org/legal/epl-v10.html）、MPL（http://www.mozilla.org/MPL/MPL-1.1.html）、NPL（http://www.mozilla.org/MPL/NPL-1.1.html）の規定に従い利用しているオープンソースソフトウェアのソースコードを開示しております。詳細については以下のサイトの本製品に関する情報をご覧ください。
  http://www.fmworld.net/product/phone/fp/sb/develop/
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画や i モーション（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- コンテンツ所有者はWindows Mediaデジタル著作権管理テクノロジ（WMDRM）を使用して、著作権を含む自身の知的財産権を保護します。このデバイスはWMDRMソフトウェアを使用してWMDRM保護されたコンテンツにアクセスします。WMDRMソフトウェアがコンテンツの保護に支障を来たした場合、コンテンツ所有者はマイクロソフトに対して、保護されたコンテンツをソフトウェアがWMDRMを使用して再生、コピーするための許可を失効させるように要求することができます。失効しても、WMDRMで保護されていないコンテンツは影響を受けません。WMDRMで保護されたコンテンツのためのライセンスをダウンロードするときは、マイクロソフトがライセンスに“Revocation List”を含めることに同意したものと見なします。コンテンツ所有者は、コンテンツがアクセスされる時にWMDRMをアップグレードするよう要求することがあります。アップグレードを拒否すると、そのアップグレードを必要とするコンテンツにアクセスできなくなります。
- 本製品に搭載しているHMM音声合成エンジンは、修正BSDライセンスを使用しています。

The HMM-Based Speech Synthesis System (HTS)
hts_engine API developed by HTS Working Group
http://hts-engine.sourceforge.net/

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the HTS working group nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- 付属の電子辞書データDVD（試供品）には、以下の辞書データ（27辞書＋6分野別検索）を収録しています。
〈岩波書店〉
広辞苑 第六版 DVD-ROM版+6分野別検索（慣用句・漢字・人名・地名・作品名・季語）（新村出編）
〈研究社〉
リーダーズ英和辞典 第2版（松田徳一郎編）
新和英中辞典 第5版（Martin Collick、David P. Dutcher、田辺宗一、金子稔編）
〈自由国民社〉
現代用語の基礎知識 2012年版（自由国民社編）
〈大修館書店〉
新漢語林MX（鎌田正、米山寅太郎著）
みんなで国語辞典② あふれる新語（北原保雄編著／「もっと明鏡」委員会編集）
KY式日本語（北原保雄編著／「もっと明鏡」委員会編集）
問題な日本語（北原保雄編（北原保雄、小林賢次、砂川有里子、鳥飼浩二、矢澤真人執筆））
築地魚河岸ことばの話（生田與克、冨岡一成著）
〈三省堂〉
デイリー日仏英・仏日英辞典（村松定史監修／三省堂編修所編）
デイリー日独英・独日英辞典（渡辺学監修／三省堂編修所編）
デイリー日中英・中日英辞典（池田巧監修／三省堂編修所編）
デイリー日西英・西日英辞典（上田博人、アントニオ・ルイズ・ティノコ監修／三省堂編修所編）
デイリー日伊英・伊日英辞典（藤村昌昭監修／三省堂編修所編）
デイリー日韓英・韓日英辞典（福井玲・尹亭仁監修／三省堂編修所編）
デイリー日仏英3か国語会話辞典（村松定史監修／三省堂編修所編）
デイリー日独英3か国語会話辞典（渡辺学監修／三省堂編修所編）
デイリー日中英3か国語会話辞典（池田巧・胡興智監修／三省堂編修所編）
デイリー日西英3か国語会話辞典（山村ひろみ監修／三省堂編修所編）
デイリー日伊英3か国語会話辞典（藤村昌昭監修／三省堂編修所編）
デイリー日韓英3か国語会話辞典（尹亭仁監修／三省堂編修所編）

索引

索引

機能名やキーワードを列挙した索引には、「五十音目次」としての機能もあります。なお、「登録」「削除」などの操作については、まず1階層目（**太字**）の機能名やキーワードで検索したのち、2階層目の索引項目から探してください。

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

英数字・記号

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

iモードから iMenu ⇒ お客様サポート ⇒ お申込・お手続き ⇒ 各種お申込・お手続き パケット通信料無料

パソコンから My docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種お申込・お手続き

※iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※iモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によりご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合
航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにするべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。
■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

● 公共モード（ドライブモード／電源OFF）→P64
電話をかけてきた相手に、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンス、または電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

● 伝言メモ→P65
電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音／録画します。

● 着信バイブレータ→P84
電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

● マナーモード／サイレントマナーモード／オリジナルマナーモード→P85
キー確認音や着信音などFOMA端末から鳴る音を消します（マナーモード・サイレントマナーモード）。
マナーモード中の伝言メモの設定や、バイブレータ・着信音量などの変更もできます（オリジナルマナーモード）。
※ただし、シャッター音は消せません。

そのほかにも、留守番電話サービス（→P354）、転送でんわサービス（→P355）などのオプションサービスが利用できます。

総合お問い合わせ先〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

(局番なしの) 151 (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9：00～午後8：00　(年中無休)

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

(局番なしの) 113 (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間　(年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページ、iモードサイトにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/　　iモードサイト　iMenu⇒お客様サポート⇒ドコモショップ

海外での紛失、盗難、精算などについて〈ドコモ インフォメーションセンター〉(24時間受付)

●ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6832-6600* (無料)

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※F-01Eからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります(「+」は「0」キーを1秒以上押します)。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 -8000120-0151*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

海外での故障について〈ネットワークオペレーションセンター〉(24時間受付)

●ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6718-1414* (無料)

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※F-01Eからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります(「+」は「0」キーを1秒以上押します)。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 -8005931-8600*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　富士通株式会社

Li-ion 00

'12.11 (1版)
CA92002-7937